

新 宿 区
障 害 者 生 活 実 態 調 査 報 告 書

令 和 8 年 3 月
新 宿 区

目次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的と方法.....	3
2 調査結果の概要.....	6
第2章 調査結果の詳細.....	19
I 在宅の方を対象とした調査.....	19
1 ご本人について.....	22
2 障害や健康の状況について.....	27
3 相談や福祉の情報について.....	51
4 日中活動や仕事について.....	68
5 外出やバリアフリーについて.....	81
6 福祉サービスについて.....	90
7 災害対策について.....	121
8 権利擁護について.....	126
9 将来について.....	142
10 自由意見.....	148
II 施設に入所している方を対象とした調査.....	155
1 ご本人について.....	158
2 施設入所について.....	163
3 施設での生活について.....	166
4 相談や福祉の情報について.....	176
5 権利擁護について.....	180
6 今後の暮らし方について.....	183
7 自由意見.....	188
III 児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査.....	191
1 お子さんについて.....	194
2 障害や健康の状況について.....	197
3 相談や福祉の情報について.....	216
4 教育・保育について.....	227
5 外出やバリアフリーについて.....	248
6 福祉サービスについて.....	252
7 災害対策について.....	274
8 権利擁護について.....	278
9 将来について.....	288
10 自由意見.....	292
IV サービス事業者を対象とした調査.....	299
1 事業運営について.....	301
2 職員について.....	314
3 サービス提供について.....	322
4 自由意見.....	342
資料 (調査票).....	345

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的と方法	3
2 調査結果の概要	6
第2章 調査結果の詳細	19
I 在宅の方を対象とした調査	19
1 ご本人について	22
2 障害や健康の状況について	27
3 相談や福祉の情報について	51
4 日中活動や仕事について	68
5 外出やバリアフリーについて	81
6 福祉サービスについて	90
7 災害対策について	121
8 権利擁護について	126
9 将来について	142
10 自由意見	148
II 施設に入所している方を対象とした調査	155
1 ご本人について	158
2 施設入所について	163
3 施設での生活について	166
4 相談や福祉の情報について	176
5 権利擁護について	180
6 今後の暮らし方について	183
7 自由意見	188
III 児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査	191
1 お子さんについて	194
2 障害や健康の状況について	197
3 相談や福祉の情報について	216
4 教育・保育について	227
5 外出やバリアフリーについて	248
6 福祉サービスについて	252
7 災害対策について	274
8 権利擁護について	278
9 将来について	288
10 自由意見	292
IV サービス事業者を対象とした調査	299
1 事業運営について	301
2 職員について	314
3 サービス提供について	322
4 自由意見	342
資料 (調査票)	345

第1章 調査の概要

1 調査の目的と方法

(1)調査の目的

令和8年度に策定する「第4期新宿区障害児福祉計画及び第8期新宿区障害福祉計画(令和9年度から令和11年度まで)」「(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス、相談支援、地域生活支援事業の提供体制の確保に関する計画)の策定及び「障害者計画」の見直しを行うために実施しました。

(2)調査の対象と抽出方法

■調査対象

① 在宅の方を対象とした調査	
調査対象	◇新宿区在住の障害者で18歳以上の方 ○ 身体障害者:身体障害者手帳所持者 ○ 知的障害者:愛の手帳所持者 ○ 精神障害者:精神障害者保健福祉手帳所持者・自立支援医療(精神通院医療)受給者 ○ 難病患者:難病医療の給付を受けている方
抽出方法	障害種別ごとに層化抽出調査 ※ グループホーム・福祉ホーム利用者、強度行動障害の状況にある方は悉皆調査
② 施設に入所している方を対象とした調査	
調査対象	◇新宿区が施設入所支援と療養介護の支給決定を行っている方 (区民であった方で、施設所在地に住民票を移した方を含む)
抽出方法	悉皆調査
③ 児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査	
調査対象	◇新宿区在住の障害児とその保護者の方 ○ 身体障害児:身体障害者手帳所持者 ○ 知的障害児:愛の手帳所持者 ○ 精神障害児:精神障害者保健福祉手帳所持者・自立支援医療(精神通院医療)受給者 ○ 難病患者:難病医療の給付を受けている方 ○ 障害者手帳を不所持で障害福祉サービス・地域生活支援事業・児童福祉法に基づく障害児通所支援を現に利用している児童
抽出方法	悉皆調査
④ サービス事業者を対象とした調査	
調査対象	◇新宿区内の指定障害福祉サービス等事業者
抽出方法	悉皆調査

■強度行動障害の状況にある方への悉皆調査について

今回の調査においては、前述の「■調査対象」における①～③の調査について、「強度行動障害」の状況にある方に対して悉皆で調査票を送付しました。

○「強度行動障害」とは

自分の体を叩いたり食べられないものを口に入れる、危険につながる飛び出しなど本人の健康を損ねる行動、他人を叩いたり物を壊す、大泣きが何時間も続くなど周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことを表します。

○悉皆で送付する対象について

対象者	「行動関連項目」の点数が10点以上となっている方
-----	--------------------------

○「行動関連項目」とは

障害支援区分認定調査*の認定調査項目である、「コミュニケーション」・「説明の理解」・「大声・奇声を出す」・「自傷・他害」などの11項目に、医師意見書のてんかんの項目を加えた12項目が行動関連項目とされ、各項目に0～2点の重みづけを行い、24点満点としています。

障害福祉サービスでは、この項目の点数が24点中10点以上の方を「強度行動障害」に係る支援の対象としています。

* 障害福祉サービスの受給に必要な手続として、受給申請者に対して行う聞き取り調査

(3)基準日

令和7年10月1日

(4)調査方法

配布は郵送方式、回答収集は郵送方式又はWeb回答方式

(5)調査期間

令和7年11月17日(月)～12月8日(月)の期間に実施しました。

(6)配布・回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	うちWEB回答	有効回収数に占めるWEB回答の割合	白票無効票	有効回収数	有効回収率
① 在宅の方を対象とした調査	5,190	2,568	541	21.1%	3	2,565	49.4%
② 施設に入所している方を対象とした調査	193	126	17	13.5%	0	126	65.3%
③ 児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査	1,320	705	332	47.1%	0	705	53.4%
④ サービス事業者を対象とした調査	217	165	86	52.1%	0	165	76.0%
全体	6,920	3,564	976	27.4%	3	3,561	51.5%

※ 配布後、宛先不明等の理由で返送された場合は、配布数から除いてあります。

◆ 調査結果の見方について

- ① 集計した数値(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値(%)を全て合計しても、100%にならない場合があります。
- ② 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を越えます。
- ③ 回答結果を見やすくするため、調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢などを一部簡略化している場合があります。
- ④ 障害別の集計では、2つ以上の障害がある方は、それぞれの障害の集計結果に含まれています。このため、障害別の集計を合計したのべ人数は、全体の人数よりも多くなります。
- ⑤ 前回調査比較は、令和4年度に実施した調査と比較をしています。

2 調査結果の概要

(1)在宅の方を対象とした調査

●年齢(問3)

- ・全体では、「70代以上」が30.6%で最も多く、次いで「50代」が18.7%、「60代」が15.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「70代以上」、知的障害は「20代以下」、精神障害は「50代」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「20代以下」が多くなっています。

●手帳や医療券の種類(問5)

- ・全体では、「身体障害者手帳」が52.6%で最も多く、次いで「自立支援医療(精神通院医療)の給付」が20.7%、「愛の手帳」が18.2%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害では9.1%が難病医療の給付を受けています。知的障害では17.7%、精神障害では13.4%、難病・特定疾患では40.7%がそれぞれ身体障害者手帳を所持しています。
- ・強度行動障害では、「愛の手帳」が9割以上と多くなっています。

●医療的ケアの必要性(問8)

- ・全体では、回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は16.1%となっています。
- ・障害別では、全体と比較して、身体障害と難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

●主な介助者(問11)

- ・全体では、「母親」が21.3%で最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が18.6%、「ホームヘルパー」が11.9%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「配偶者・パートナー」、知的障害と精神障害は「母親」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「母親」が7割以上と多くなっています。

●主な介助者の年齢(問12)

- ・全体では、「75歳以上」が23.7%で最も多く、次いで「65～74歳」が23.0%、「50～59歳」が22.4%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「75歳以上」、知的障害は「65～74歳」、精神障害は「50～59歳」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「65～74歳」が多くなっています。

●介助や支援をできなくなった場合(問14)

- ・全体では、「グループホーム、福祉ホームに入居する」が19.9%で最も多く、次いで「ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する」が19.6%、「施設に入所する」が18.1%などとなっています。「まだわからない」は24.3%となっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する」、知的障害と精神障害は「グループホーム、福祉ホームに入居する」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホーム、福祉ホームに入居する」が6割以上と多くなっています。

●日常生活で困っていること(問15)

- ・全体では、「将来に不安を感じている」が42.9%で最も多く、次いで「物価の値上がりなど経済的に不安がある」が40.3%、「健康状態に不安がある」が34.2%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「災害時の避難に不安がある」、知的障害は「役所などの手続きが難しい」、精神障害は「将来に不安を感じている」、難病・特定疾患は「健康状態に不安がある」と「将来に不安を感じている」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「緊急時の対応に不安がある」と「災害時の避難に不安がある」が7割以上と多くなっています。

●気軽に相談するために必要なこと(問17)

- ・全体では、「どんな相談にも対応できる総合窓口」が35.1%で最も多く、次いで「電話やファクスでの相談」が22.1%、「プライバシーの遵守」が21.4%などとなっています。

●過去1年間に利用した通信機器の機能・サービス(問19)

- ・全体では、「電子メールの送受信」が49.4%で最も多く、次いで「ホームページやブログ、動画の閲覧」が46.5%、「SNSの利用(Facebook、X、LINE、Instagramなど)」が42.9%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「電子メールの送受信」、知的障害は「ホームページやブログ、動画の閲覧」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「ホームページやブログ、動画の閲覧」が多くなっています。

●日中の過ごし方(問20)

- ・全体では、「特になにもしていない」が19.4%で最も多く、次いで「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」が15.7%、「自宅で家事をしている」が13.8%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「特に何もしていない」、知的障害は「就労継続支援事業所(A型・B型)、福祉作業所などで働いている」、精神障害は「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」と「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」、難病・特定疾患は「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「通所施設に通っている(生活介護・自立訓練・地域活動支援センター・デイケア等)」が5割以上と多くなっています。

●仕事上の困りごと(問22)

- ・「収入が少ない」が34.3%で最も多く、次いで「体力的につらい」が19.2%、「精神的につらい」が17.3%などとなっています。「特にない」は31.5%となっています。

●就労のために必要な支援等(問24)

- ・全体では、「障害に応じた柔軟な勤務体系」が22.3%で最も多く、次いで「自分に合った仕事を見つける支援」が20.7%、「就労に向けての相談支援」が19.6%などとなっています。「特にない」は13.7%となっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「障害に応じた柔軟な勤務体系」、知的障害は「自分に合った仕事を見つける支援」、精神障害は「就労に向けての相談支援」と「自分に合った仕事を見つける支援」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「障害特性に合った仕事を見つける支援」が多くなっています。

●外出に関して困っていること(問25)

- ・全体では、「疲れたときの休憩場所がない」が19.5%で最も多く、次いで「建物の段差や階段があると移動が困難」が17.4%、「歩道の段差や傾斜があると移動が困難」が15.9%などとなっています。「特にない」は31.2%となっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「建物の段差や階段があると移動が困難」、知的障害は「外出するのに支援が必要である」、精神障害は「疲れたときの休憩場所がない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「外出するのに支援が必要である」が6割以上と多くなっています。

●興味・関心のある社会参加(問26)

- ・「地域との交流(イベントへの参加等)」が26.4%で最も多く、次いで「スポーツ又は文化的な活動を行う団体やサークルへの参加」が19.7%、「当事者同士の交流」が17.5%などとなっています。

●スポーツや運動をする頻度(問27)

- ・全体では、「行っていない」が26.7%で最も多く、次いで「ほぼ毎日」が19.3%、「週3～5回程度」が16.1%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患は共に「行っていない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「週1回程度」が多くなっています。

●障害福祉サービス等の利用状況、利用意向(問29)

- ・全体では、「現在利用している」と「2～3年以内に利用したい」を合わせた『サービスの需要』は、「タクシー利用券」が32.1%、「居宅介護(ホームヘルプ)」が20.5%、「自立支援医療」が19.3%などとなっています。
- ・強度行動障害では、『サービスの需要』は「移動支援事業」が多くなっています。

	障害福祉サービス等	現在利用している(a)	2～3年以内に利用したい(b)	サービスの需要(a+b)
1	タクシー利用券	22.2%	9.9%	32.1%
2	居宅介護(ホームヘルプ)	11.0%	9.4%	20.5%
3	自立支援医療	15.4%	3.9%	19.3%
4	相談支援事業	9.1%	8.6%	17.7%
5	補装具費の支給等	9.6%	6.3%	15.9%
6	移動支援事業	7.9%	6.2%	14.1%
7	日常生活用具給付事業	6.7%	7.3%	13.9%
8	短期入所(ショートステイ)	5.5%	8.0%	13.5%
9	共同生活援助(グループホーム)	5.8%	5.8%	11.6%
10	生活介護	6.4%	4.6%	11.0%

●サービス利用に関して困っていること(問30)

- ・全体では、「サービスに関する情報が少ない」が21.9%で最も多く、次いで「区役所での手続きが大変」が18.6%、「利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない」が8.0%などとなっています。「特にない」は35.0%となっています。
- ・強度行動障害では、「事業者との利用日等の調整が大変」が多くなっています。

●災害が発生したときに困ること(問34)

- ・全体では、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が42.7%で最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が33.4%、「一人では避難できない」が27.6%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」、知的障害は「一人では避難できない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「一人では避難できない」が7割以上と多くなっています。

●差別と感じる取扱いを受けた経験(問36)

- ・全体では、回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの差別とを感じる取扱いを受けた経験がある』方は19.0%となっています。
- ・全体では、「公共交通、公共施設などで」が4.8%で最も多く、次いで「職場で」が4.6%、「民間サービス(飲食店、習い事など)で」と「病院・診療所などで」が3.0%などとなっています。「特にない」は62.2%となっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「公共交通、公共施設などで」、知的障害と精神障害は「職場で」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「公共交通、公共施設などで」が多くなっています。

●障害者差別の解消のために力を入れるべきこと(問38)

- ・全体では、「障害者の一般就労の促進」が25.2%で最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が21.8%、「障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信」が21.3%などとなっています。「特になし」は22.8%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「障害者の一般就労の促進」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が多くなっています。

●成年後見制度の利用意向(問39)

- ・全体では、「利用は考えていない」が37.8%で最も多く、次いで「わからない」が37.3%、「今後利用したい」が10.6%、「現在、利用している」が1.8%となっています。
- ・障害別では、全体と比較して、知的障害は「現在、利用している」と「今後利用したい」が多くなっています。

●今後の生活の希望(問41)

- ・全体では、「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が49.6%で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が7.8%、「高齢者の入所施設に入所する」が5.1%などとなっています。「わからない」は20.9%となっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」、知的障害は「グループホーム、福祉ホームで生活する」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホーム、福祉ホームで生活する」が多くなっています。

●地域で安心して暮らすために重要な施策(問42)

- ・全体では、「経済的支援の充実」が19.6%で最も多く、次いで「相談支援体制の充実」が16.4%、「医療に関するサービスの充実」が15.4%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「経済的支援の充実」、知的障害は「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホームの整備・充実」と「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。

(2)施設に入所している方を対象とした調査

●年齢(問3)

- ・全体では、「50代」が29.4%で最も多く、次いで「60代」が20.6%、「40代」が19.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害で共に「50代」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「50代」が多くなっています。

●手帳の種類(問4)

- ・全体では、「愛の手帳」が62.7%で最も多く、次いで「身体障害者手帳」が41.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が1.6%、「これらの手帳は持っていない」が3.2%となっています。
- ・障害別では、身体障害の方のうち、28.8%が愛の手帳を所持しており、知的障害のある方のうち、19.0%が身体障害者手帳を所持しています。
- ・強度行動障害では、「愛の手帳」が8割以上と多くなっています。

●施設のある地域(問6)

- ・全体では、「関東甲信越(東京都を除く)」が29.4%で最も多く、次いで「新宿区内」が19.8%、「東京都(23区内を除く)」が19.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「東京都(23区内を除く)」、知的障害は「関東甲信越(東京都を除く)」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「関東甲信越(東京都を除く)」が多くなっています。

●入所期間(問7)

- ・全体では、「20年以上」が36.5%で最も多く、次いで「10年以上～20年未満」が31.7%、「5年以上～10年未満」が11.9%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害で比較的長期間入所している人が多くなっています。

●施設に入所した理由(問8)

- ・「家族による介助が難しくなったため」が59.5%で最も多く、次いで「常時介助が必要なため」が34.1%、「生活が保障され安心感があるため」が30.2%などとなっています。

●施設生活で困っていること(問11)

- ・全体では、「身の回りのことが自分では十分にできない」が37.3%で最も多く、次いで「健康状態に不安がある」と「外出の機会が少ない」が28.6%、「家族とあまり会えない」が27.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害で共に「身の回りのことが自分では十分にできない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「身の回りのことが自分では十分にできない」が多くなっています。

●施設への要望(問12)

- ・全体では、「外出機会の増加」が32.5%で最も多く、次いで「余暇活動の充実」が25.4%、「日中活動の充実」が23.8%などとなっています。「特になし」は24.6%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害で共に「外出機会の増加」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「外出機会の増加」と「余暇活動の充実」、「日中活動の充実」、「健康への配慮」が多くなっています。

●医療的ケアの必要性(問13)

- ・全体では、回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は40.5%となっています。
- ・障害別では、身体障害で『何らかの医療的ケアを必要としている』が6割以上となっています。

●成年後見制度の利用意向(問19)

- ・全体では、「現在、利用している」が25.4%、「今後利用したい」が11.1%、「利用は考えていない」が18.3%、「わからない」は39.7%となっています。
- ・障害別では、身体障害は「現在、利用している」が3割以上となっています。

●今後の生活の希望(問21)

- ・「現在の施設で生活したい」が65.1%で最も多く、次いで「施設を退所して、在宅の福祉サービスを利用しながら新宿区内で生活したい」が4.8%、「施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい」が4.0%となっています。「わからない」は16.7%となっています。

●地域で安心して暮らすために重要な施策(問22)

- ・全体では、「入所施設の整備・充実」が23.8%で最も多く、次いで「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が22.2%、「医療に関するサービスの充実」が20.6%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「入所施設の整備・充実」、知的障害は「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。

(3)児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査

●年齢(問3)

- ・全体では、「3～5歳」が28.5%で最も多く、次いで「6～8歳」が23.8%、「9～11歳」が18.9%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「9～11歳」と「12～14歳」、知的障害は「12～14歳」、精神障害と発達障害は「9～11歳」、手帳・診断なしは「3～5歳」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「3～5歳」と「9～11歳」が多くなっています。

●手帳や医療券の種類(問5)

- ・全体では、「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が38.3%で最も多く、次いで「愛の手帳」が29.8%、「発達障害」が28.9%、「身体障害者手帳」が9.5%などとなっています。
- ・身体障害のある方のうち、28.4%が愛の手帳を所持しています。また、医療的ケア児のうち、43.5%が身体障害者手帳、同じく43.5%が愛の手帳を所持しています。

●障害等に気付いたきっかけ(問8)

- ・全体では、「家族や周りの人が気付いた」が29.1%で最も多く、次いで「乳幼児健診で知らされた」が14.9%、「保育園、子ども園、幼稚園の先生が気付いた」が12.9%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「生まれてまもなく知らされた」、知的障害と精神障害、発達障害、手帳・診断なしは「家族や周りの人が気付いた」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「生まれてまもなく知らされた」が多くなっています。

●医療的ケアの必要性(問9)

- ・全体では、回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は8.8%となっています。
- ・障害別では、全体と比較して、身体障害と難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

●介助や支援についての悩み(問13)

- ・全体では、「子どもの特性による育てにくさを感じる」が47.3%で最も多く、次いで「精神的な負担が大きい」が45.2%、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が33.8%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害は「精神的な負担が大きい」、精神障害と手帳・診断なしは「子どもの特性による育てにくさを感じる」、発達障害は「精神的な負担が大きい」と「子どもの特性による育てにくさを感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が多くなっています。
- ・「きょうだい児の世話が十分にできない」は、身体障害(25.4%)と医療的ケア児(31.0%)で多くなっています。

●きょうだい児に関する悩み(問14)

- ・全体では、「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0%で最も多く、次いで「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が60.4%、「きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない」が44.8%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害と発達障害で「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」、手帳・診断なしは「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」と「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が多くなっています。

●日常生活で困っていること(お子さんが困っていること)(問15)

- ・全体では、「将来に不安を感じる」が44.1%で最も多く、次いで「友だちとの関係がうまくいかない」が24.4%、「障害のため、身の回りのことが十分できない」と「緊急時の対応に不安がある」が20.4%などとなっています。「特にない」は24.8%となっています。
- ・障害別では、身体障害は「障害のため、身の回りのことが十分できない」、知的障害と精神障害、発達障害、手帳・診断なしは「将来に不安を感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「障害のため、身の回りのことが十分できない」と「将来に不安を感じる」が多くなっています。

●気軽に相談するために必要なこと(問17)

- ・全体では、「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が42.4%で最も多く、次いで「専門性の高い相談」が39.3%、「どんな相談にも対応できる総合窓口」が28.2%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、発達障害は「専門性の高い相談」、知的障害と手帳・診断なしは「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が多くなっています。

●通園・通学先(問19)

- ・全体では、「小中学校等に在学中」が52.3%で最も多く、次いで「小学校入学前」が38.4%、「高等学校等に在学中」が8.8%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、発達障害は「小中学校等に在学中」、手帳・診断なしは「小学校入学前」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「小中学校等に在学中」が多くなっています。

【小学校入学前】

- ・「保育園」が51.3%で最も多く、次いで「子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関」が42.1%、「幼稚園」が23.2%などとなっています。

【小中学校等に在学中】

- ・全体では、「小学校の通常の学級」が22.5%で最も多く、次いで「小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)」が21.4%、「小学校の特別支援学級」が16.5%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害は「特別支援学校の小学部」、精神障害と手帳・診断なしは「小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)」、発達障害は「小学校の通常の学級」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「特別支援学校の小学部」が多くなっています。

【高等学校等に在学中】

- ・「特別支援学校の高等部」が62.9%で最も多く、次いで「高等学校(定時制・通信制を含む)」が35.5%、「その他の学校」が1.6%などとなっています。

●通園生活等で困っていること(小学校入学前)(問20)

- ・全体では、「本人の成長が心配」が56.8%で最も多く、次いで「子どもの将来に不安がある」が47.2%、「周囲の子どもとの関係が心配」が42.8%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害は「本人の成長が心配」と「子どもの将来に不安がある」、発達障害は「子どもの将来に不安がある」、手帳・診断なしは「本人の成長が心配」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「本人の成長が心配」が多くなっています。

●通学生活等で困っていること(小中学校等または高等学校等に在学中)(問22)

- ・全体では、「子どもの将来に不安がある」が61.3%で最も多く、次いで「本人の成長が心配」が42.5%、「今後の進路について迷っている」が39.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、発達障害は「子どもの将来に不安がある」、手帳・診断なしは「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「子どもの将来に不安がある」が多くなっています。

●高等学校(高等部)卒業後の進路(お子さんの希望)(問26)

- ・全体では、「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が41.9%で最も多く、次いで「就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う(福祉作業所、わーくすここ・からなど)」が30.6%、「大学や短期大学へ通う」が27.4%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害と発達障害は「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が多くなっています。

●外出に関して困っていること(問28)

- ・全体では、回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『外出に関して困っている』方は51.8%となっています。
- ・全体では、「外出するのに支援が必要である」が20.7%で最も多く、次いで「自動車・自転車に危険を感じる」が19.0%、「駅構内の移動や乗り換えが困難」が11.3%などとなっています。「特にない」は43.3%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、発達障害は「外出するのに支援が必要である」、精神障害と手帳・診断なしは「自動車・自転車に危険を感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「外出するのに支援が必要である」が多くなっています。

●スポーツや運動をする頻度(問29)

- ・全体では、「ほぼ毎日」が34.8%で最も多く、次いで「週3～5回程度」が22.4%、「週1回程度」が15.5%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「行っていない」、知的障害と発達障害、手帳・診断なしは「ほぼ毎日」、精神障害は「週3～5回程度」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「行っていない」が多くなっています。

●障害福祉サービス等の利用状況、利用意向(問30)

- ・「現在利用している」と「2～3年以内に利用したい」を合わせた『サービスの需要』は、「放課後等デイサービス」が61.7%、「児童発達支援」が44.0%、「移動支援事業」が22.1%などとなっています。

	障害児通所支援等	現在利用している(a)	2～3年以内に利用したい(b)	サービスの需要(a+b)
1	放課後等デイサービス	42.3%	19.4%	61.7%
2	児童発達支援	39.9%	4.1%	44.0%
3	移動支援事業	13.0%	9.1%	22.1%
4	日中一時支援事業(障害児等タイムケア)	4.7%	12.5%	17.2%
5	短期入所(ショートステイ)	2.6%	11.2%	13.8%
6	相談支援事業	5.1%	8.5%	13.6%
7	保育所等訪問支援	5.2%	5.1%	10.4%
8	日中一時支援事業(日中ショート)	1.7%	8.4%	10.1%
9	タクシー利用券	8.4%	1.3%	9.6%
10	補装具費の支給等	8.5%	1.0%	9.5%

●サービス利用に関して困っていること(問31)

- ・全体では、「サービスに関する情報が少ない」が35.5%で最も多く、次いで「利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない」が23.1%、「区役所での手続きが大変」が18.3%などとなっています。「特にない」は29.8%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。

●災害が発生したときに困ること(問34)

- ・全体では、「一人では避難できない」が42.7%で最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が30.2%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が28.9%などとなっています。「特にない」は23.0%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、発達障害、手帳・診断なしは「一人では避難できない」、精神障害は「近くに助けてくれる人がいない」と「一人では避難できない」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「一人では避難できない」が多くなっています。

●差別と感じる取扱いを受けた経験(問36)

- ・全体では、回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの差別とを感じる取扱いを受けた経験がある』方は25.1%となっています。
- ・全体では、「学校、教育の場面で」が9.4%で最も多く、次いで「保育園、子ども園、幼稚園などで」が7.1%、「公共交通、公共施設などで」が3.7%などとなっています。「特にない」は70.1%となっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、発達障害は「学校、教育の場面で」、知的障害は「公共交通、公共施設などで」、手帳・診断なしは「保育園、子ども園、幼稚園などで」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「保育園、子ども園、幼稚園などで」が多くなっています。

●障害者差別の解消のために力を入れるべきこと(問38)

- ・「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が43.3%で最も多く、次いで「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が42.6%、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が37.3%などとなっています。

●将来の生活の希望(問41)

- ・全体では、「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が38.6%で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が5.2%、「障害者の入所施設に入所する」が1.7%となっています。「わからない」は43.3%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が多くなっています。

●地域で安心して暮らすために重要な施策(問42)

- ・全体では、「教育・療育の充実」が37.3%で最も多く、次いで「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が25.1%、「雇用・就労支援の充実」が24.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害は「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、精神障害は「雇用・就労支援の充実」、発達障害と手帳・診断なしは「教育・療育の充実」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。

(4) サービス事業者を対象とした調査

●経営主体(問1)

- ・「株式会社・有限会社」が51.5%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が16.4%、「特定非営利活動法人(NPO法人)」が12.7%などとなっています。

●提供しているサービス(問3)

- ・「居宅介護」が35.8%で最も多く、次いで「重度訪問介護」が23.0%、「移動支援事業」が15.8%などとなっています。

●対象としている障害種別等(問5)

- ・「知的障害」が58.8%で最も多く、次いで「発達障害」58.2%、「身体障害」57.6%、「精神障害(高次脳機能障害を含む)」55.8%、「難病」24.2%となっています。

●事業収支(問7)

- ・「黒字だった」が27.9%で最も多く、次いで「ほぼ収支が均衡した」と「やや赤字だった」が17.6%、「大幅な赤字だった」が11.5%となっています。「わからない」は20.6%となっています。

●経営上の課題(問8)

- ・「職員の確保が難しい」が60.0%で最も多く、次いで「事務作業量が多い」が46.1%、「収益の確保が困難」が28.5%などとなっています。

●職員の充足状況(問10)

- ・「やや不足している」が52.7%で最も多く、次いで「非常に不足している」が23.6%、「十分である」が21.2%、「わからない」が0.6%となっています。

●職員が困っていること(問13)

- ・「必要な事務作業が多い」が43.6%で最も多く、次いで「収入が少ない」が38.8%、「体力的にきつい」と「精神的にきつい」が28.5%などとなっています。

●サービス提供の課題(問14)

- ・「困難事例への対応が難しい」が38.2%で最も多く、次いで「変更やキャンセルが多い」が32.1%、「休日や夜間の対応が難しい」が26.1%などとなっています。

●利用者支援で困った時の相談先(問15)

- ・「自事業所のスタッフ」が83.0%で最も多く、次いで「相談支援事業所」が52.1%、「法人本部」が47.9%などとなっています。

●新規サービスへの参入の予定(問18)

- ・回答者全体から「検討していない」及び「その他」と回答した事業者と無回答の事業者を差し引いた『新規に障害福祉サービス等への参入を検討している』事業者は29.7%となっています。
- ・「就労継続支援(B型)」が5.5%で最も多く、次いで「就労選択支援」が4.8%、「放課後等デイサービス」が4.2%などとなっています。「検討していない」は64.2%となっています。

●新規サービスへの参入にあたっての課題(問19)

- ・「福祉人材の確保」が65.4%で最も多く、次いで「土地(賃貸借物件を含む)の確保」が48.1%、「利益(採算)の見込み」が44.2%などとなっています。

●障害者が暮らしやすい地域づくりのために力を入れるべきこと(問26)

- ・「関係機関の連携強化」が63.6%で最も多く、次いで「相談支援事業者への助言・指導、人材育成」が54.5%、「地域住民への普及啓発」が33.9%などとなっています。

●連携強化が必要だと感じる対象(問27)

- ・「基幹相談支援センター(区障害者福祉課)」が49.5%で最も多く、次いで「自事業所とは異なるサービスを提供している他事業所」が43.8%、「自事業所と同サービスを提供している他事業所」と「医療機関」が37.1%などとなっています。

●障害者施策に期待すること(問28)

- ・「事務手続きの簡素化」が67.9%で最も多く、次いで「福祉人材の確保のための方策」が53.3%、「福祉的就労における工賃向上」が29.7%などとなっています。

第2章 調査結果の詳細

I 在宅の方を対象とした調査

<調査票の回答者>

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(〇はひとつ)

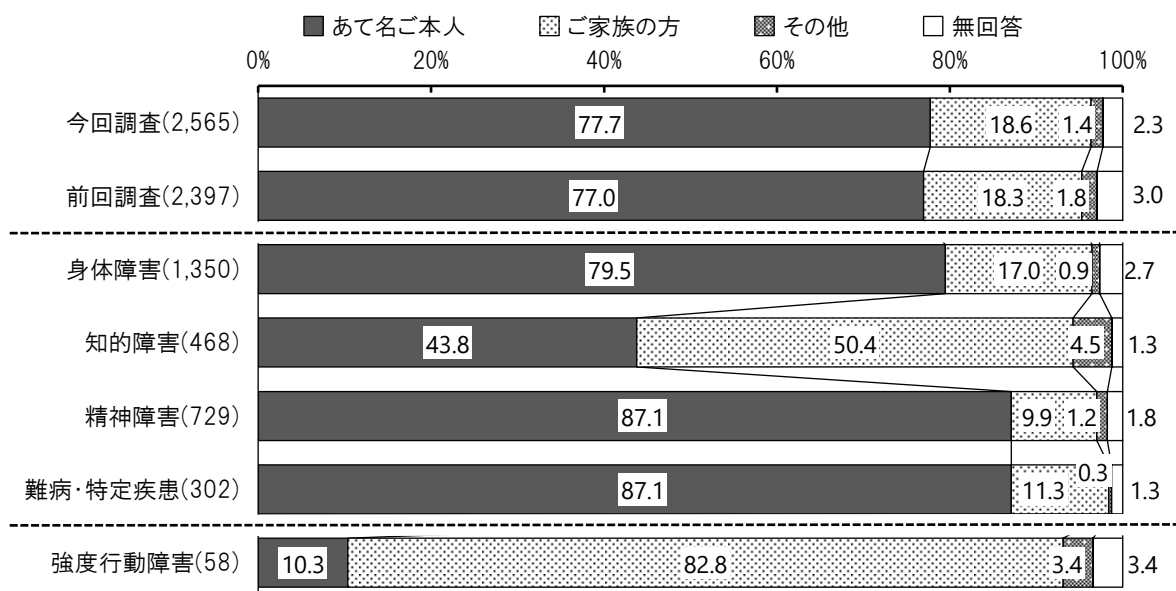
◆「あて名ご本人」が77.7%

【全体】

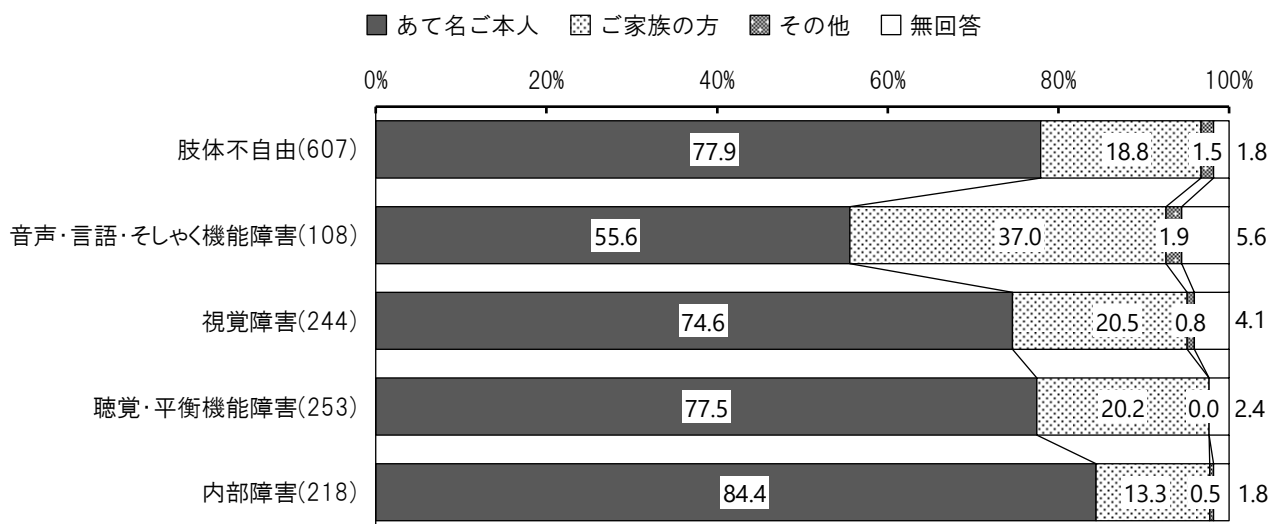
・「あて名ご本人」が77.7%で最も多く、次いで「ご家族の方」が18.6%、「その他」が1.4%となっています。

【障害別】

・身体障害と精神障害、難病・特性疾患は「あて名ご本人」、知的障害は「ご家族の方」が多くなっています。
 ・強度行動障害では、「ご家族の方」が多くなっています。



【身体障害の種類別】



1 ご本人について

(1)性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(○はひとつ)

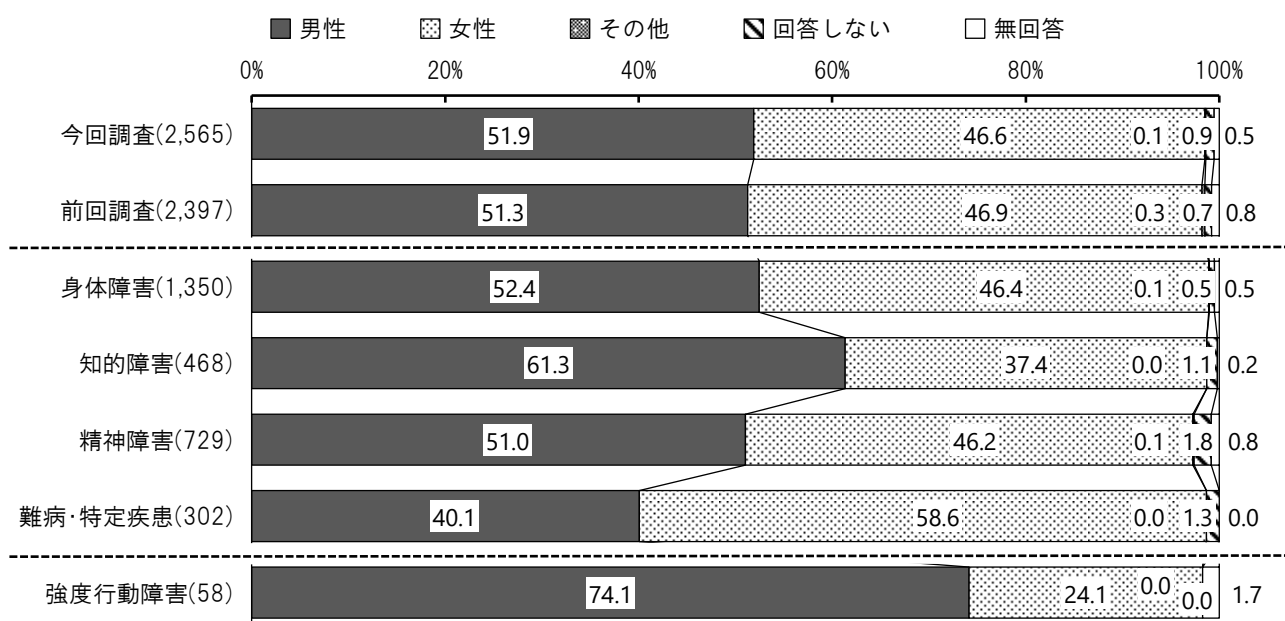
◆「男性」が51.9%、「女性」が46.6%

【全体】

・「男性」が51.9%、「女性」が46.6%、「回答しない」が0.9%、「その他」が0.1%となっています。

【障害別】

- ・知的障害で「男性」、難病・特定疾患で「女性」がやや多くなっています。
- ・強度行動障害では、「男性」が多くなっています。



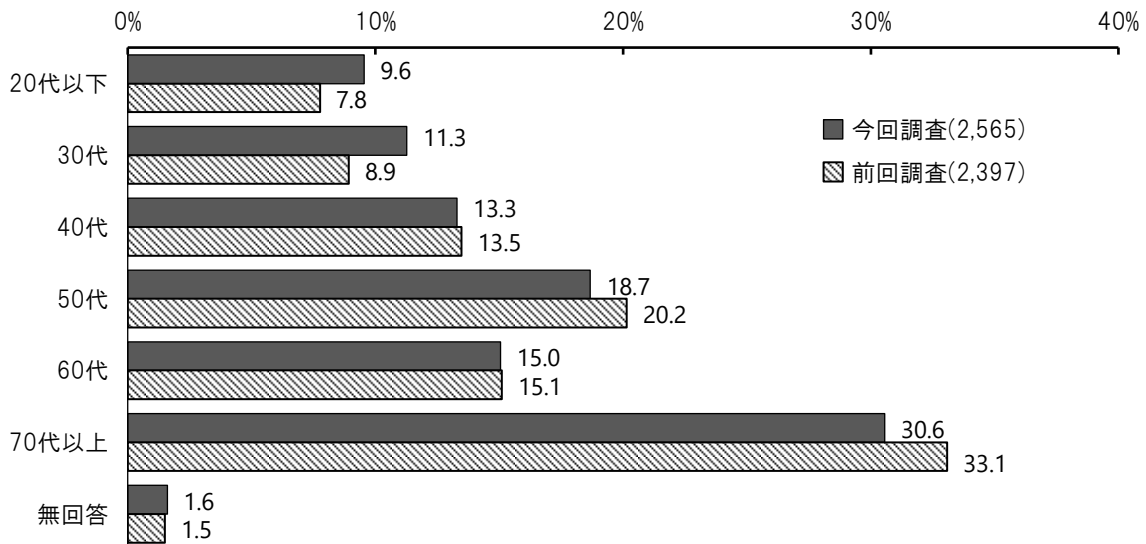
(2)年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。令和7年11月1日現在の満年齢をお書きください。

◆「70代以上」が30.6%

【全体】

- ・「70代以上」が30.6%で最も多く、次いで「50代」が18.7%、「60代」が15.0%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患は「70代以上」、知的障害は「20代以下」、精神障害は「50代」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「20代以下」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
20代以下	4.7	31.2	11.8	2.6	34.5
30代	5.3	24.1	17.6	8.6	27.6
40代	10.0	18.6	18.4	15.2	17.2
50代	18.4	11.8	25.2	20.9	17.2
60代	15.9	6.8	16.2	21.2	-
70代以上	44.5	5.6	9.2	30.5	-
無回答	1.2	1.9	1.6	1.0	3.4

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
20代以下	7.7	6.5	2.9	2.4	5.0
30代	7.2	4.6	2.9	2.8	6.0
40代	12.9	13.0	9.4	6.3	11.0
50代	25.4	18.5	15.6	9.5	14.2
60代	19.8	23.1	13.1	11.9	12.8
70代以上	26.0	32.4	55.3	65.6	50.0
無回答	1.0	1.9	0.8	1.6	0.9

【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能 障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
20代以下	7.8	8.2	11.5	29.1	-	4.5
30代	10.4	19.5	16.5	33.8	11.5	4.5
40代	22.1	16.4	17.3	15.5	23.1	4.5
50代	26.6	30.2	30.9	15.5	38.5	36.4
60代	21.4	16.4	17.3	3.4	19.2	31.8
70代以上	8.4	8.8	4.3	1.4	3.8	18.2
無回答	3.2	0.6	2.2	1.4	3.8	-

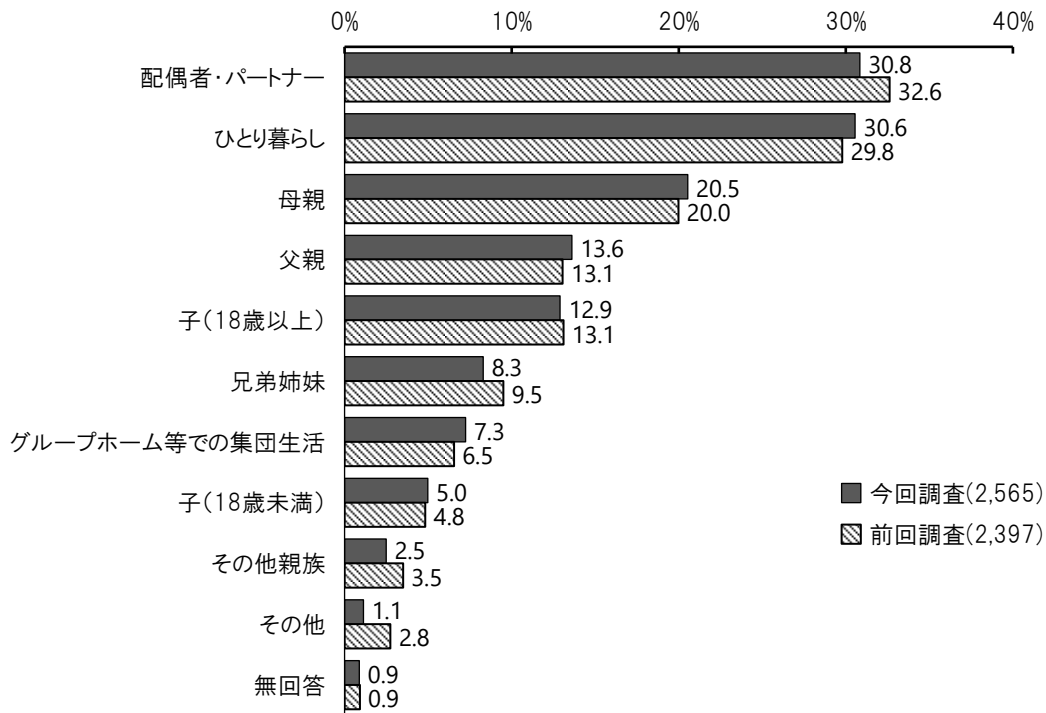
(3)同居家族 [複数回答]

問4 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(〇はいくつでも)

◆「配偶者・パートナー」が30.8%

【全体】

- ・「配偶者・パートナー」が30.8%で最も多く、次いで「ひとり暮らし」が30.6%、「母親」が20.5%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害、難病・特定疾患では「配偶者・パートナー」、知的障害は「母親」、精神障害は「ひとり暮らし」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「母親」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
配偶者・パートナー	38.0	3.0	23.2	46.7	-
ひとり暮らし	32.1	8.3	39.8	31.5	-
母親	12.5	58.3	22.5	12.3	72.4
父親	8.1	43.2	14.4	6.3	48.3
子(18歳以上)	17.2	1.3	6.9	15.9	-
兄弟姉妹	5.0	22.4	8.4	3.3	29.3
グループホーム等での集団生活	4.2	22.9	8.0	2.6	24.1
子(18歳未満)	4.3	0.6	6.7	8.6	-
その他親族	2.7	3.6	1.6	1.0	3.4
その他	1.2	0.9	0.7	1.0	1.7
無回答	1.1	0.2	0.8	-	1.7

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
配偶者・パートナー	33.9	39.8	39.8	38.7	42.2
ひとり暮らし	30.6	20.4	33.2	30.0	33.9
母親	18.9	21.3	11.5	7.9	8.3
父親	12.9	14.8	6.6	4.3	7.3
子(18歳以上)	14.0	14.8	12.7	22.1	20.6
兄弟姉妹	5.9	4.6	6.6	3.2	4.6
グループホーム等での集団生活	6.4	10.2	2.0	3.2	1.4
子(18歳未満)	6.1	2.8	3.7	2.8	3.2
その他親族	2.6	0.9	1.2	2.4	3.2
その他	1.0	0.9	2.5	1.2	1.8
無回答	1.0	1.9	1.2	2.0	0.5

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能 障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
配偶者・パートナー	13.6	28.0	20.9	12.2	34.6	22.7
ひとり暮らし	42.9	45.9	40.3	27.7	34.6	63.6
母親	18.8	17.0	25.2	44.6	19.2	4.5
父親	12.3	11.6	14.4	28.4	11.5	-
子(18歳以上)	3.9	9.7	7.2	2.0	11.5	13.6
兄弟姉妹	7.8	5.0	7.2	15.5	7.7	-
グループホーム等での集団生活	13.0	3.5	5.8	10.1	3.8	4.5
子(18歳未満)	2.6	9.1	7.9	4.1	7.7	4.5
その他親族	1.9	1.9	1.4	1.4	-	-
その他	1.9	0.3	0.7	0.7	-	-
無回答	1.3	0.6	0.7	0.7	3.8	-

2 障害や健康の状況について

(1)手帳や医療券の種類

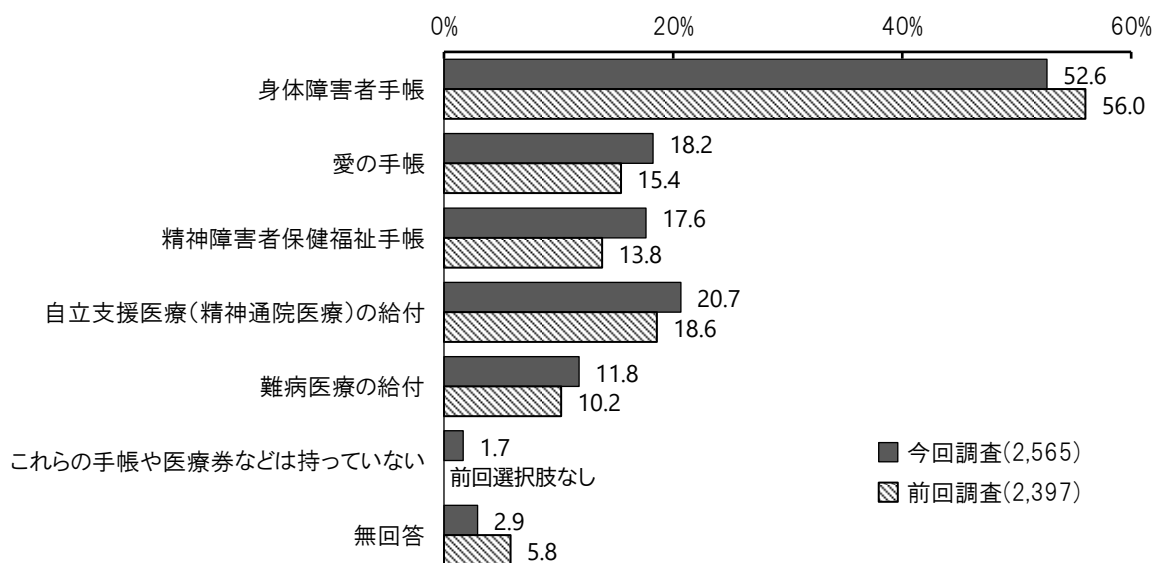
問5 あなたが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度も○をつけてください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けている方は、当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

①手帳や医療券の種類 [複数回答]

◆「身体障害者手帳」が52.6%

【全体】

- ・「身体障害者手帳」が52.6%で最も多く、次いで「自立支援医療(精神通院医療)の給付」が20.7%、「愛の手帳」が18.2%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害では9.1%が難病医療の給付を受けています。知的障害では17.7%、精神障害では13.4%、難病・特定疾患では40.7%がそれぞれ身体障害者手帳を所持しています。
- ・強度行動障害では、「愛の手帳」が9割以上と多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
身体障害者手帳	100.0	17.7	13.4	40.7	17.2
愛の手帳	6.1	100.0	12.9	4.6	96.6
精神障害者保健福祉手帳	4.1	10.7	62.0	6.3	3.4
自立支援医療(精神通院医療)の給付	4.7	15.4	72.7	6.6	17.2
難病医療の給付	9.1	3.0	3.7	100.0	5.2
これらの手帳や医療券などは持っていない	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	1.7

【身体障害の種類別】

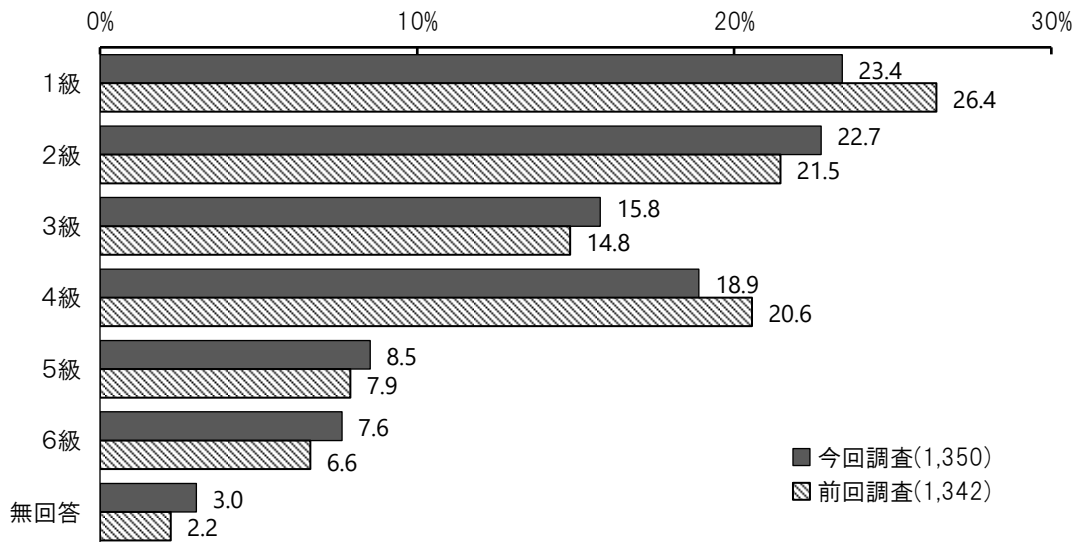
単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
身体障害者手帳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
愛の手帳	9.6	9.3	3.7	3.2	3.7
精神障害者保健福祉手帳	4.0	6.5	4.9	2.4	1.8
自立支援医療(精神通院医療)の給付	4.3	5.6	2.9	1.2	5.0
難病医療の給付	11.7	16.7	7.8	5.1	9.2

②身体障害者手帳の等級

◆「1級」が23.4%

・「1級」が23.4%で最も多く、次いで「2級」が22.7%、「4級」が18.9%などとなっています。



【身体障害の種類別】

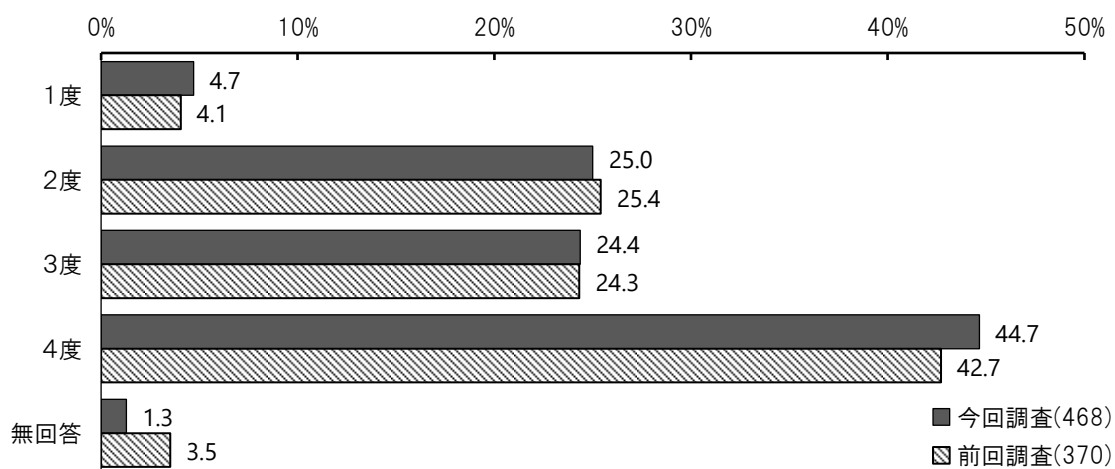
単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
1級	24.1	25.0	31.6	8.7	49.5
2級	21.6	20.4	29.9	28.5	9.2
3級	19.9	25.9	5.3	9.9	14.2
4級	16.5	17.6	7.8	26.1	21.1
5級	10.4	5.6	17.6	1.2	0.9
6級	5.8	-	3.3	20.9	1.4
無回答	1.8	5.6	4.5	4.7	3.7

③愛の手帳の程度

◆「4度」が44.7%

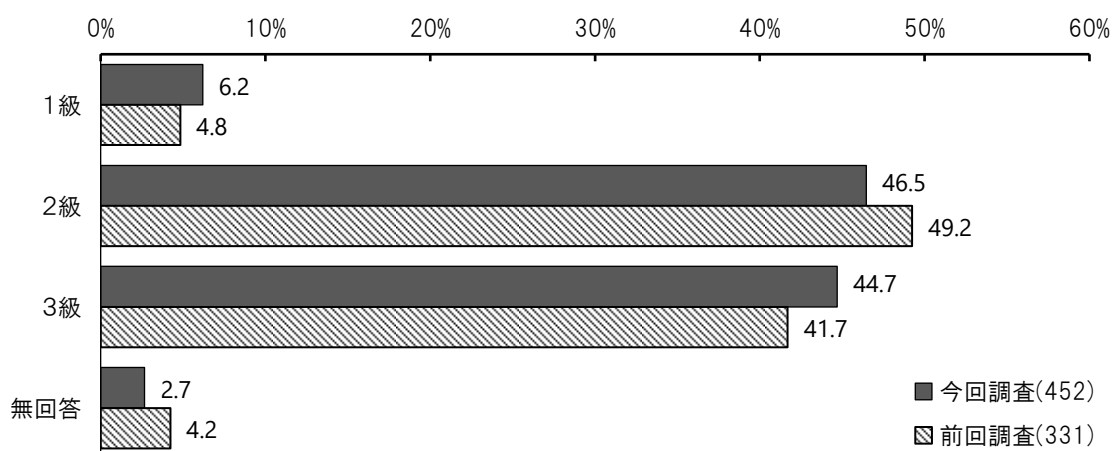
・「4度」が44.7%で最も多く、次いで「2度」が25.0%、「3度」が24.4%などとなっています。



④精神障害者保健福祉手帳の等級

◆「2級」が46.5%

・「2級」が46.5%で最も多く、次いで「3級」が44.7%、「1級」が6.2%などとなっています。



【精神障害の種類別】

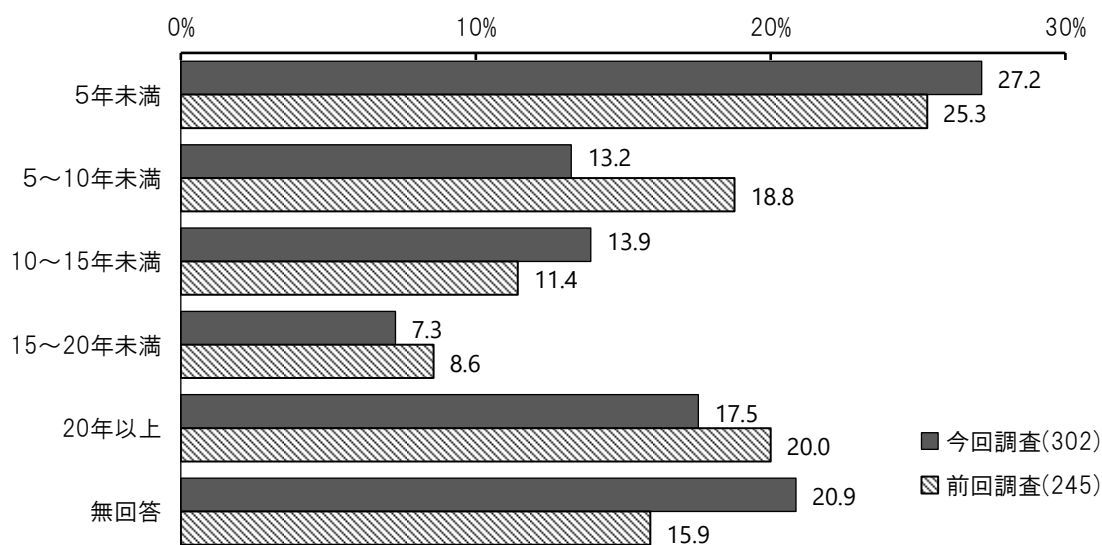
単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(122)	(194)	(95)	(109)	(22)	(10)
1級	6.6	3.6	3.2	5.5	18.2	-
2級	69.7	43.8	47.4	33.9	36.4	40.0
3級	20.5	50.5	46.3	58.7	40.9	60.0
無回答	3.3	2.1	3.2	1.8	4.5	-

⑤難病の診断を受けてからの期間

◆「5年未満」が27.2%

・「5年未満」が27.2%で最も多く、次いで「20年以上」が17.5%、「10～15年未満」が13.9%などとなっています。



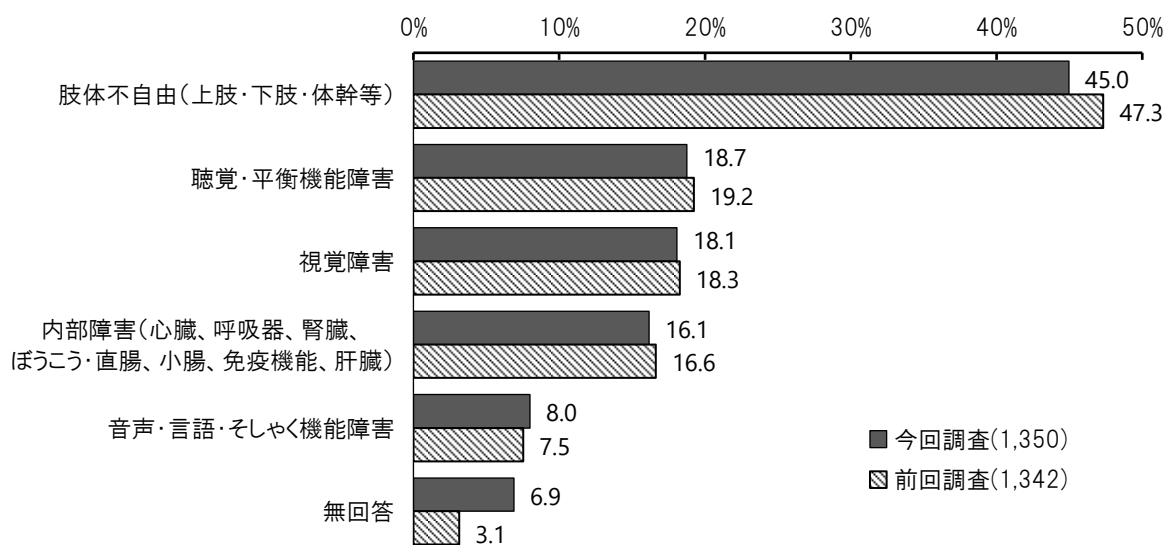
(2)身体障害の種類 [複数回答]

問6 「身体障害者手帳」をお持ちの方にお聞きします。どのような障害がありますか。(〇はいくつでも)

◆「肢体不自由(上肢・下肢・体幹等)」が45.0%

【全体】

・「肢体不自由」が45.0%で最も多く、次いで「聴覚・平衡機能障害」が18.7%、「視覚障害」が18.1%などとなっています。



(3)精神障害の種類

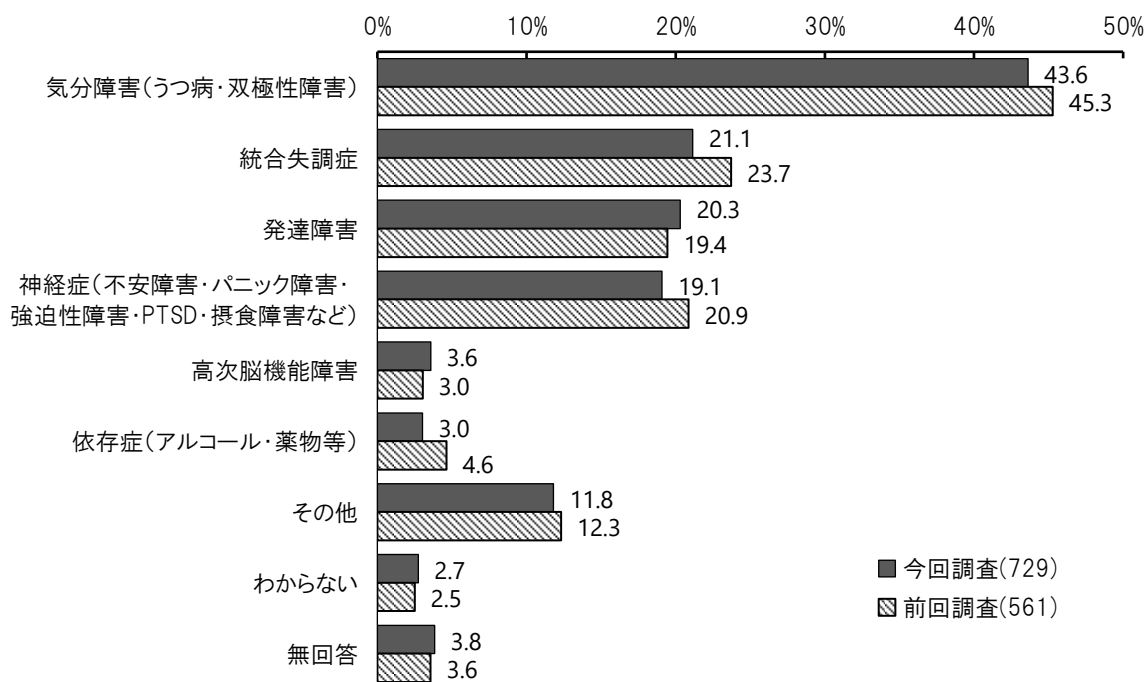
問7 「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方又は「自立支援医療(精神通院医療)の給付」を受けている方、若しくは両方の方にお聞きします。どのような障害がありますか。(〇はいくつでも)

①精神障害の種類 [複数回答]

◆「気分障害(うつ病・双極性障害)」が43.6%

【全体】

・「気分障害(うつ病・双極性障害)」が43.6%で最も多く、次いで「統合失調症」が21.1%、「発達障害」が20.3%などとなっています。



【精神障害の種類別】

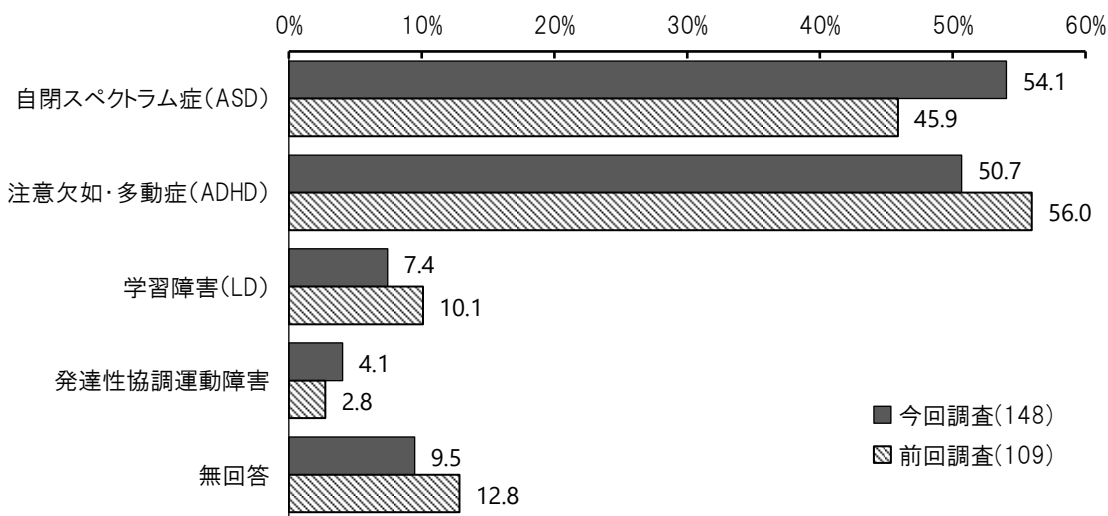
単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
気分障害(うつ病・双極性障害)	14.3	100.0	46.8	29.7	15.4	45.5
統合失調症	100.0	6.9	17.3	6.8	3.8	18.2
発達障害	6.5	13.8	15.1	100.0	3.8	9.1
神経症(不安障害・パニック障害・強迫性障害・PTSD・摂食障害など)	15.6	20.4	100.0	14.2	3.8	18.2
高次脳機能障害	0.6	1.3	0.7	0.7	100.0	-
依存症(アルコール・薬物等)	2.6	3.1	2.9	1.4	-	100.0
その他	4.5	4.7	8.6	6.1	7.7	-

②発達障害の診断名 [複数回答]

◆「自閉スペクトラム症(ASD)」が54.1%

・「自閉スペクトラム症(ASD)」が54.1%で最も多く、次いで「注意欠如・多動症(ADHD)」が50.7%、「学習障害(LD)」が7.4%などとなっています。



【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害
総数	(10)	(44)	(21)	(148)
自閉スペクトラム症(ASD)	50.0	40.9	57.1	54.1
注意欠如・多動症(ADHD)	20.0	72.7	47.6	50.7
学習障害(LD)	10.0	6.8	4.8	7.4
発達性協調運動障害	10.0	-	-	4.1
無回答	30.0	2.3	4.8	9.5

※ 高次脳機能障害と依存症は回答者総数が少数のため非掲載

(4) 医療的ケアの必要性 [複数回答]

問8 あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。(〇はいくつでも)

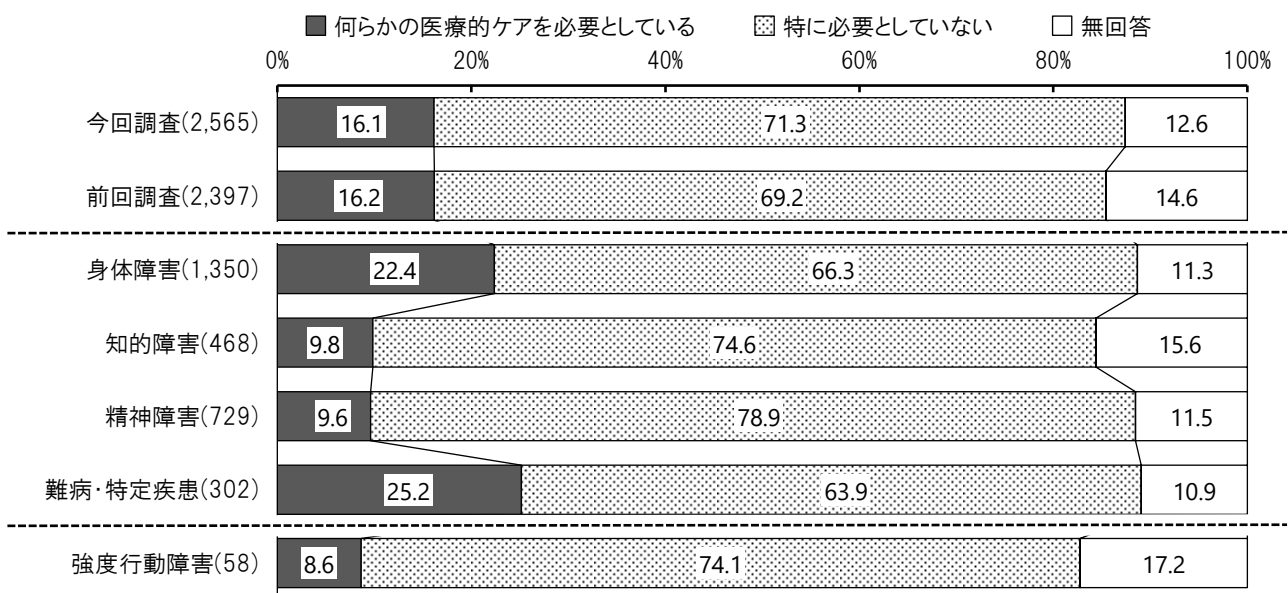
◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が16.1%

【全体】

- ・回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は16.1%となっています。

【障害別】

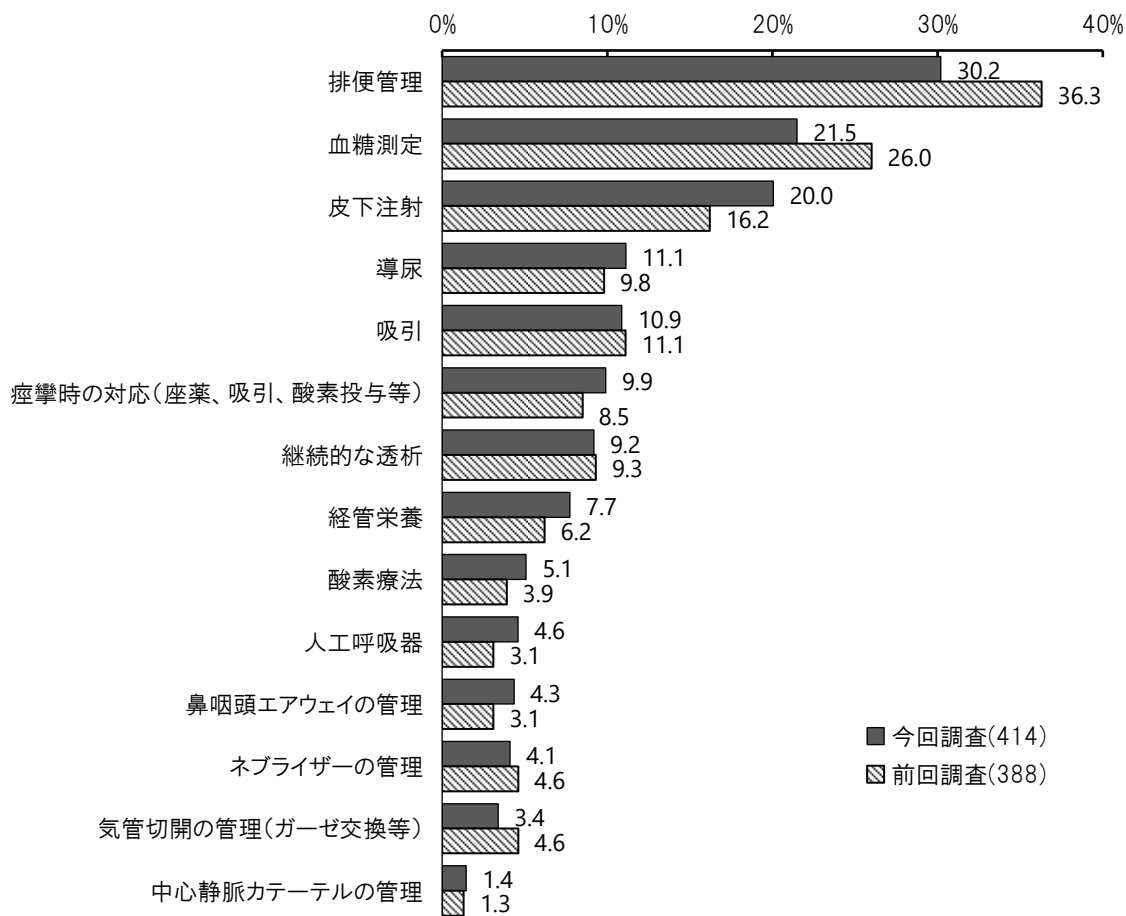
- ・全体と比較して、身体障害と難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。



【何らかの医療的ケアが必要と回答した方のみを集計】 [複数回答]

◆「排便管理」が30.2%

・「排便管理」が30.2%で最も多く、次いで「血糖測定」が21.5%、「皮下注射」が20.0%などとなっています。



※「特に必要としていない」と無回答を除く集計

【障害別】

- ・身体障害は「排便管理」、知的障害は「痙攣時の対応(座薬、吸引、酸素投与等)」、精神障害と難病・特定疾患は「皮下注射」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(302)	(46)	(70)	(76)	(5)
排便管理	34.4	37.0	15.7	23.7	40.0
血糖測定	18.5	8.7	31.4	19.7	20.0
皮下注射	16.6	6.5	32.9	35.5	20.0
導尿	13.6	2.2	4.3	10.5	-
吸引	10.9	15.2	11.4	11.8	20.0
痙攣時の対応(座薬、吸引、酸素投与等)	9.3	45.7	12.9	3.9	60.0
継続的な透析	11.6	2.2	2.9	7.9	-
経管栄養	8.6	10.9	2.9	9.2	-
酸素療法	5.6	4.3	1.4	6.6	-
人工呼吸器	5.3	6.5	4.3	5.3	-
鼻咽頭エアウェイの管理	5.6	4.3	2.9	2.6	-
ネブライザーの管理	4.6	10.9	4.3	2.6	20.0
気管切開の管理(ガーゼ交換等)	4.6	4.3	-	3.9	-
中心静脈カテーテルの管理	1.7	-	-	1.3	-

※「特に必要としていない」と無回答を除く集計

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(149)	(46)	(39)	(46)	(90)
排便管理	43.0	43.5	30.8	30.4	38.9
血糖測定	16.8	10.9	28.2	32.6	11.1
皮下注射	24.2	10.9	15.4	6.5	8.9
導尿	18.1	10.9	12.8	13.0	21.1
吸引	14.1	32.6	7.7	15.2	6.7
痙攣時の対応(座薬、吸引、酸素投与等)	17.4	13.0	10.3	13.0	3.3
継続的な透析	2.0	-	12.8	-	28.9
経管栄養	12.8	23.9	12.8	8.7	3.3
酸素療法	4.7	2.2	7.7	8.7	8.9
人工呼吸器	4.7	10.9	2.6	4.3	8.9
鼻咽頭エアウェイの管理	2.7	13.0	7.7	4.3	3.3
ネブライザーの管理	5.4	10.9	5.1	8.7	2.2
気管切開の管理(ガーゼ交換等)	6.7	19.6	2.6	4.3	3.3
中心静脈カテーテルの管理	0.7	2.2	-	4.3	2.2

※「特に必要としていない」と無回答を除く集計

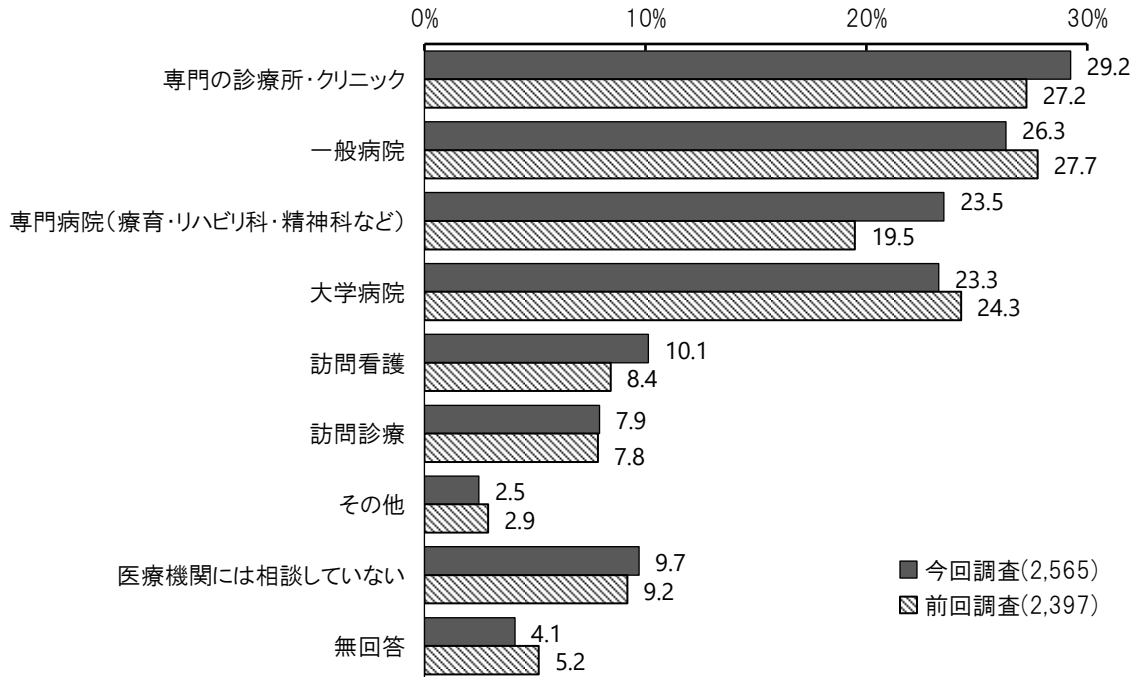
(5)治療や相談をしている医療機関 [複数回答]

問9 あなたは、障害や心身の不調・特性について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(〇はいくつでも)

◆「専門の診療所・クリニック」が29.2%

【全体】

・「専門の診療所・クリニック」が29.2%で最も多く、次いで「一般病院」が26.3%、「専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)」が23.5%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害は「一般病院」、知的障害と精神障害は「専門の診療所・クリニック」、難病・特定疾患は「大学病院」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)」が多くなっています。

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
専門の診療所・クリニック	23.9	30.8	46.8	16.2	39.7
一般病院	32.6	21.4	14.1	36.1	12.1
専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)	16.5	27.1	42.7	14.6	55.2
大学病院	29.7	17.1	14.3	45.0	19.0
訪問看護	11.2	7.1	12.2	9.9	3.4
訪問診療	10.9	9.4	3.7	8.6	15.5
その他	2.8	2.1	1.4	3.6	1.7
医療機関には相談していない	10.9	15.6	1.1	3.3	6.9
無回答	4.2	5.8	1.1	2.3	-

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
専門の診療所・クリニック	19.8	15.7	31.6	24.9	28.0
一般病院	33.4	26.9	32.0	28.9	38.5
専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)	23.6	27.8	9.4	5.9	13.8
大学病院	32.1	26.9	33.6	21.3	35.8
訪問看護	15.3	22.2	8.2	9.9	12.4
訪問診療	16.8	24.1	7.8	8.3	8.3
その他	3.3	6.5	2.9	4.0	0.9
医療機関には相談していない	10.7	4.6	6.6	20.9	3.7
無回答	2.1	4.6	5.3	7.5	3.7

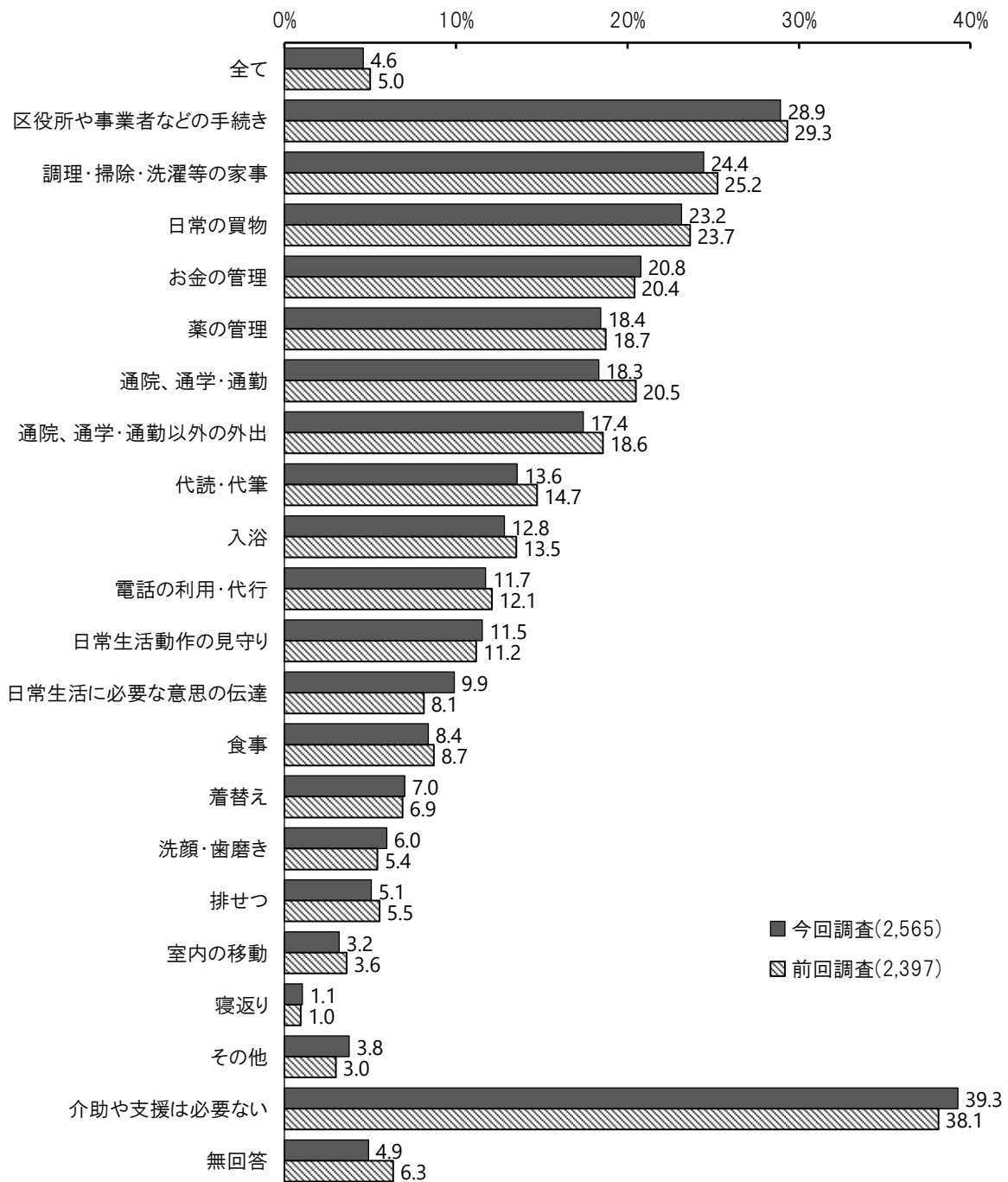
(6) 介助や支援が必要な場面 [複数回答]

問10 あなたは、毎日の生活の中のどのような場面で、介助や支援が必要ですか。(○はいくつでも ※全てに当てはまる場合は「全て」に○)

◆「区役所や事業者などの手続き」が28.9%

【全体】

・「区役所や事業者などの手続き」が28.9%で最も多く、次いで「調理・掃除・洗濯等の家事」が24.4%、「日常の買物」が23.2%などとなっています。「全て」は4.6%、「介助や支援は必要ない」は39.3%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害は「区役所や事業者などの手続き」、難病・特定疾患は「調理・掃除・洗濯等の家事」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「区役所や事業者などの手続き」と「お金の管理」、「通院、通学・通勤」が7割以上と多くなっています。

単位：％、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
全て	6.4	9.0	2.5	5.0	17.2
区役所や事業者などの手続き	25.9	64.3	23.7	16.2	74.1
調理・掃除・洗濯等の家事	22.8	45.7	23.0	18.5	60.3
日常の買物	24.3	41.9	16.6	16.6	65.5
お金の管理	12.5	60.9	21.9	8.9	70.7
薬の管理	13.4	45.9	18.4	11.3	69.0
通院、通学・通勤	19.6	38.2	10.8	11.6	72.4
通院、通学・通勤以外の外出	18.7	38.0	9.6	9.9	65.5
代読・代筆	13.9	34.4	6.0	7.6	60.3
入浴	14.8	18.8	7.7	10.6	37.9
電話の利用・代行	11.6	29.7	6.4	5.0	58.6
日常生活動作の見守り	9.2	25.9	10.0	7.9	55.2
日常生活に必要な意思の伝達	6.8	28.4	9.1	4.0	53.4
食事	7.9	16.2	7.7	6.0	31.0
着替え	8.4	12.6	3.0	5.6	24.1
洗顔・歯磨き	4.5	18.8	4.0	2.6	37.9
排せつ	5.4	12.8	1.8	3.0	27.6
室内の移動	5.2	3.2	0.8	3.6	3.4
寝返り	1.5	0.6	0.4	1.7	1.7
その他	3.5	2.1	5.2	6.0	1.7
介助や支援は必要ない	37.0	13.0	44.0	52.0	-
無回答	4.9	3.2	4.5	4.6	-

【年齢別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	18~39歳	40~64歳	65歳以上
総数	(534)	(1,056)	(934)
全て	6.0	3.7	5.0
区役所や事業者などの手続き	38.2	25.0	27.7
調理・掃除・洗濯等の家事	31.6	23.7	20.8
日常の買物	27.2	19.8	24.1
お金の管理	38.0	17.6	14.3
薬の管理	28.3	16.8	14.6
通院、通学・通勤	21.5	16.0	18.8
通院、通学・通勤以外の外出	23.8	16.3	14.6
代読・代筆	17.2	12.5	12.4
入浴	11.8	11.4	14.9
電話の利用・代行	16.5	8.6	12.4
日常生活動作の見守り	20.0	9.0	9.1
日常生活に必要な意思の伝達	17.0	8.6	6.9
食事	12.9	7.0	7.1
着替え	8.6	7.3	5.6
洗顔・歯磨き	12.7	4.5	3.5
排せつ	7.1	4.6	4.1
室内の移動	3.0	2.5	4.2
寝返り	0.7	1.3	1.0
その他	3.2	4.2	3.7
介助や支援は必要ない	36.1	46.0	34.2
無回答	2.1	2.8	8.5

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
全て	10.7	22.2	6.6	4.0	4.6
区役所や事業者などの手続き	24.1	44.4	39.8	24.5	18.3
調理・掃除・洗濯等の家事	31.3	29.6	28.7	11.9	16.1
日常の買物	28.3	28.7	33.6	17.4	19.7
お金の管理	13.0	16.7	18.0	11.9	8.3
薬の管理	15.8	21.3	16.8	11.1	12.8
通院、通学・通勤	20.9	22.2	31.1	17.4	16.5
通院、通学・通勤以外の外出	20.6	23.1	30.3	13.0	12.4
代読・代筆	12.9	25.0	36.9	6.3	5.5
入浴	22.1	20.4	12.3	10.7	11.0
電話の利用・代行	8.4	25.9	11.1	26.1	6.4
日常生活動作の見守り	11.4	12.0	11.5	7.5	10.6
日常生活に必要な意思の伝達	5.8	18.5	4.9	12.6	5.0
食事	10.5	12.0	12.3	6.3	5.0
着替え	14.8	13.0	5.7	4.7	6.0
洗顔・歯磨き	7.4	8.3	4.1	4.0	1.8
排せつ	8.9	8.3	2.9	3.6	6.9
室内の移動	7.9	5.6	5.7	4.7	4.6
寝返り	2.8	-	0.4	0.8	1.8
その他	3.1	3.7	4.9	4.3	1.4
介助や支援は必要ない	34.3	16.7	20.5	37.9	51.8
無回答	3.3	4.6	5.3	7.1	5.0

(7)主な介助者、その他の介助者

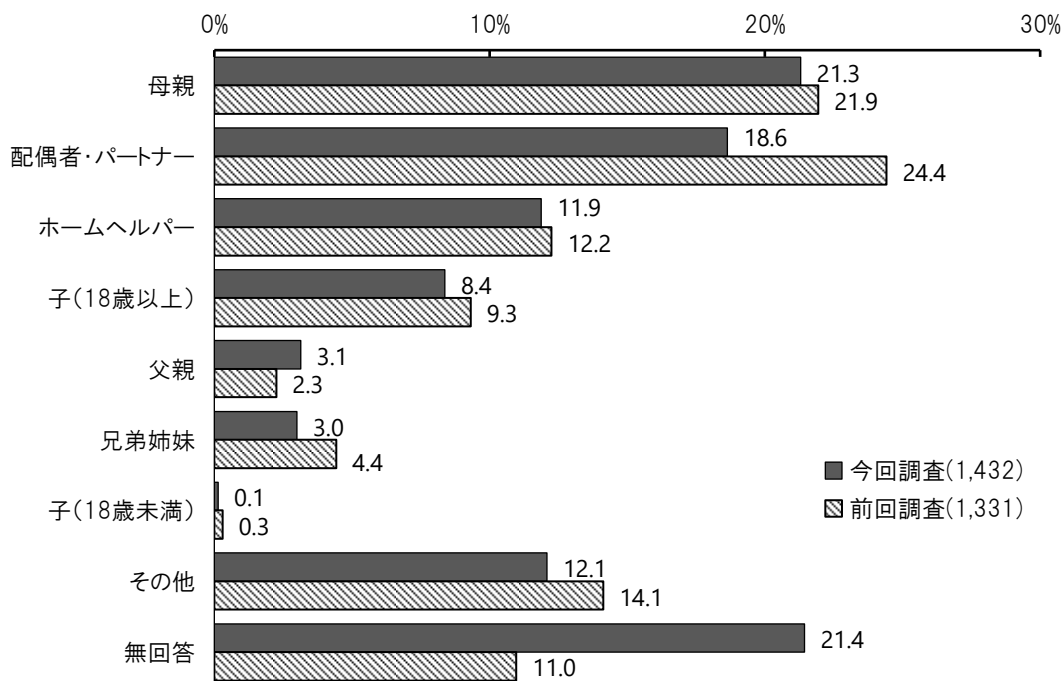
問11 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。あなたを介助・支援している人はどなたですか。【主な介助者】と【その他の介助者】についてお答えください。

①主な介助者

◆「母親」が21.3%

【全体】

・「母親」が21.3%で最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が18.6%、「ホームヘルパー」が11.9%などとなっています。



【障害別】

・身体障害と難病・特定疾患は「配偶者・パートナー」、知的障害と精神障害は「母親」が多くなっています。
 ・強度行動障害では、「母親」が7割以上と多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(785)	(392)	(375)	(131)	(58)
母親	11.6	52.0	22.4	9.2	70.7
配偶者・パートナー	25.9	1.0	17.3	29.0	-
ホームヘルパー	16.1	4.6	11.2	12.2	5.2
子(18歳以上)	11.7	0.5	3.2	11.5	-
父親	1.8	6.9	3.5	4.6	-
兄弟姉妹	2.3	3.8	3.7	1.5	-
子(18歳未満)	0.3	-	-	-	-
その他	10.6	15.1	13.3	8.4	12.1
無回答	19.9	16.1	25.3	23.7	12.1

【年齢別】

- ・ 本人の年齢が18～39歳の場合は「母親」、40～64歳と65歳以上は「配偶者・パートナー」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(330)	(540)	(536)
母親	56.4	19.8	1.1
配偶者・パートナー	7.0	20.2	24.4
ホームヘルパー	3.3	14.3	14.7
子(18歳以上)	-	2.0	20.1
父親	6.4	4.3	-
兄弟姉妹	0.6	3.1	4.1
子(18歳未満)	-	0.2	0.2
その他	9.7	13.5	12.3
無回答	16.7	22.6	22.9

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

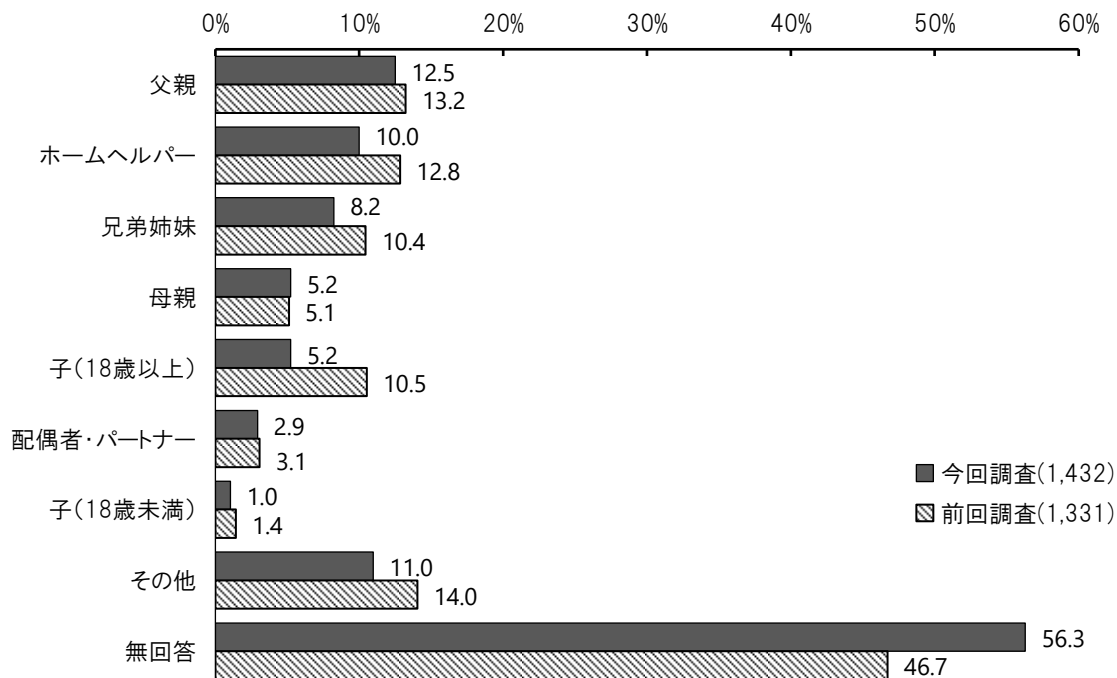
選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(379)	(85)	(181)	(139)	(94)
母親	18.2	18.8	9.4	6.5	6.4
配偶者・パートナー	26.4	34.1	26.0	20.9	26.6
ホームヘルパー	20.6	12.9	13.3	7.2	20.2
子(18歳以上)	7.7	5.9	13.8	21.6	14.9
父親	2.6	3.5	2.2	-	3.2
兄弟姉妹	1.1	1.2	3.9	2.9	1.1
子(18歳未満)	0.5	-	-	-	-
その他	10.0	9.4	13.8	10.8	5.3
無回答	12.9	14.1	17.7	30.2	22.3

②その他の介助者 [複数回答]

◆「父親」が12.5%

【全体】

・「父親」が12.5%で最も多く、次いで「ホームヘルパー」が10.0%、「兄弟姉妹」が8.2%などとなっています。



【障害別】

・身体障害と難病・特定疾患は「ホームヘルパー」、知的障害と精神障害は「父親」が多くなっています。

・強度行動障害では、「父親」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(785)	(392)	(375)	(131)	(58)
父親	7.3	33.7	11.2	6.9	50.0
ホームヘルパー	10.7	15.8	6.1	12.2	31.0
兄弟姉妹	6.0	16.3	6.7	5.3	24.1
母親	3.1	10.5	6.7	6.1	6.9
子(18歳以上)	7.6	0.3	3.5	9.9	-
配偶者・パートナー	4.2	0.5	1.6	3.8	-
子(18歳未満)	1.4	0.3	1.1	1.5	-
その他	11.7	12.2	9.9	7.6	8.6
無回答	58.3	37.8	61.9	58.0	24.1

【年齢別】

- ・ 本人の年齢が18～39歳の場合は「父親」、40～64歳は「兄弟姉妹」、65歳以上は「子(18歳以上)」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(330)	(540)	(536)
父親	37.3	9.4	0.4
ホームヘルパー	16.1	6.7	9.5
兄弟姉妹	13.3	10.6	2.8
母親	10.9	6.9	0.2
子(18歳以上)	-	2.8	10.8
配偶者・パートナー	-	3.5	4.3
子(18歳未満)	0.6	2.2	0.2
その他	9.7	11.1	11.4
無回答	37.9	58.9	64.7

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(379)	(85)	(181)	(139)	(94)
父親	11.6	12.9	4.4	6.5	6.4
ホームヘルパー	16.6	17.6	7.7	7.2	12.8
兄弟姉妹	7.9	4.7	5.5	2.9	5.3
母親	5.3	4.7	2.2	1.4	3.2
子(18歳以上)	6.6	9.4	7.7	7.2	7.4
配偶者・パートナー	4.0	5.9	5.5	1.4	5.3
子(18歳未満)	2.4	2.4	-	0.7	1.1
その他	11.9	10.6	14.4	10.1	10.6
無回答	49.6	47.1	58.6	69.1	60.6

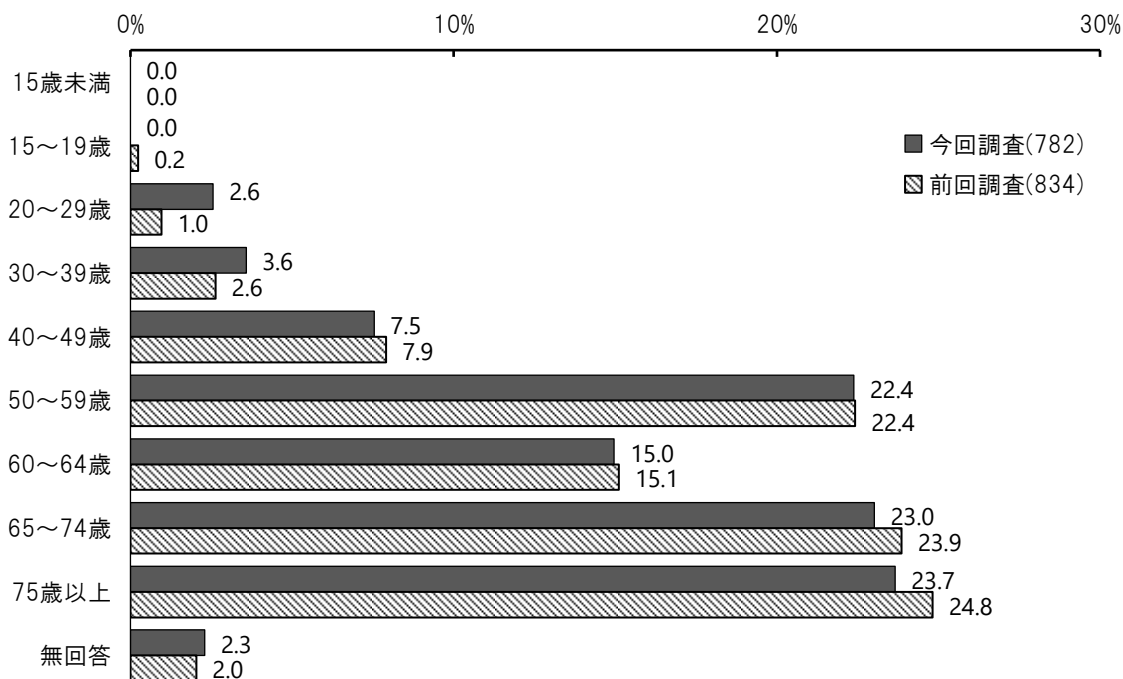
(8)主な介助者の年齢

問12 ご家族が介助・支援している方にお聞きします。あなたを主に介助・支援している人は何歳ですか。(○はひとつ)

◆「75歳以上」が23.7%

【全体】

- ・「75歳以上」が23.7%で最も多く、次いで「65～74歳」が23.0%、「50～59歳」が22.4%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患は「75歳以上」、知的障害は「65～74歳」、精神障害は「50～59歳」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「65～74歳」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(420)	(252)	(188)	(73)	(41)
15歳未満	-	-	-	-	-
15～19歳	-	-	-	-	-
20～29歳	1.9	0.8	5.9	2.7	-
30～39歳	2.6	1.2	7.4	2.7	-
40～49歳	8.3	4.0	11.7	12.3	2.4
50～59歳	21.4	24.2	27.1	12.3	24.4
60～64歳	15.2	17.5	14.9	12.3	14.6
65～74歳	21.2	29.4	17.6	26.0	34.1
75歳以上	26.7	21.4	13.3	28.8	24.4
無回答	2.6	1.6	2.1	2.7	-

【年齢別】

- ・ 本人の年齢が18～39歳の場合は「50～59歳」、40～64歳と65歳以上は「75歳以上」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(232)	(268)	(268)
15歳未満	-	-	-
15～19歳	-	-	-
20～29歳	3.9	3.0	0.7
30～39歳	6.9	3.0	1.5
40～49歳	6.0	10.4	6.0
50～59歳	31.0	19.0	17.9
60～64歳	25.4	9.7	11.9
65～74歳	24.6	21.3	23.5
75歳以上	0.9	31.7	35.4
無回答	1.3	1.9	3.0

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(214)	(54)	(100)	(72)	(49)
15歳未満	-	-	-	-	-
15～19歳	-	-	-	-	-
20～29歳	3.7	-	-	-	2.0
30～39歳	2.3	-	5.0	1.4	4.1
40～49歳	9.3	9.3	10.0	9.7	4.1
50～59歳	22.4	16.7	18.0	16.7	18.4
60～64歳	18.7	13.0	11.0	18.1	14.3
65～74歳	21.0	35.2	15.0	19.4	26.5
75歳以上	20.6	22.2	38.0	30.6	26.5
無回答	1.9	3.7	3.0	4.2	4.1

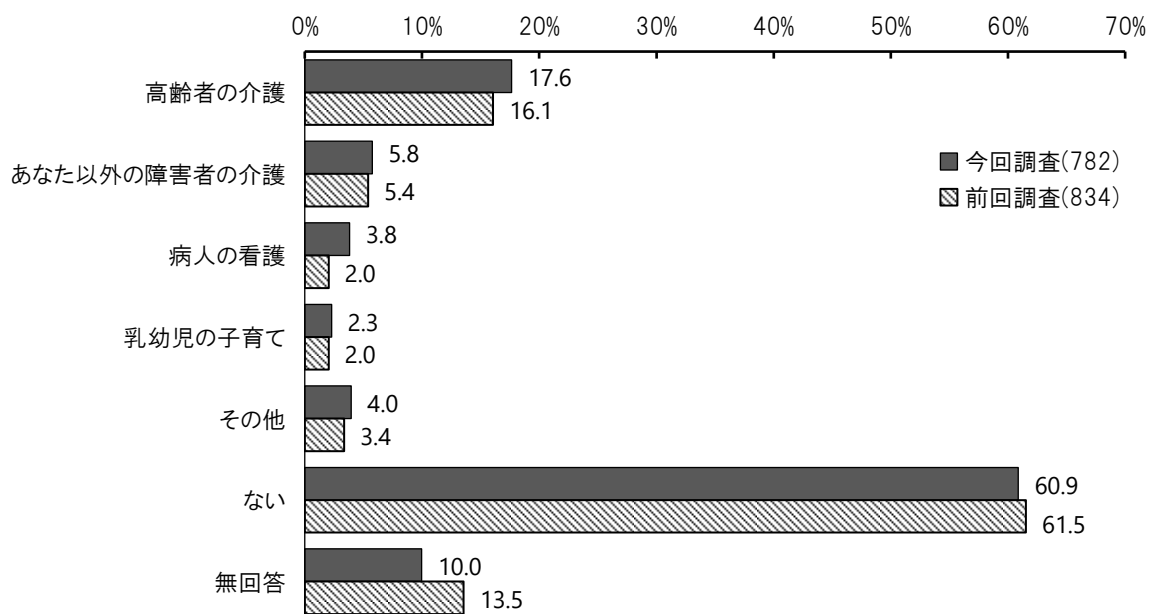
(9)本人以外への介助・支援 [複数回答]

問13 ご家族が介助・支援している方にお聞きします。あなたを主に介助・支援している人は、あなた以外の人を介助・支援することがありますか。それはどのような場合ですか。(〇はいくつでも)

◆「高齢者の介護」が17.6%

【全体】

- ・「高齢者の介護」が17.6%で最も多く、次いで「あなた以外の障害者の介護」が5.8%、「病人の看護」が3.8%などとなっています。「ない」は60.9%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「高齢者の介護」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「高齢者の介護」が3割以上となっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(420)	(252)	(188)	(73)	(41)
高齢者の介護	15.0	22.2	19.7	16.4	31.7
あなた以外の障害者の介護	3.3	9.9	6.9	4.1	14.6
病人の看護	3.8	4.8	4.3	6.8	9.8
乳幼児の子育て	2.1	2.4	2.7	2.7	4.9
その他	3.6	3.2	6.4	2.7	7.3
ない	63.3	55.6	58.5	58.9	51.2
無回答	11.0	9.9	5.9	11.0	4.9

【年齢別】

・ 本人の年齢が18～39歳と40～64歳、65歳以上で共に「高齢者の介護」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(232)	(268)	(268)
高齢者の介護	23.7	19.4	10.8
あなた以外の障害者の介護	8.2	4.9	4.1
病人の看護	5.2	3.0	3.4
乳幼児の子育て	4.3	1.5	1.1
その他	3.4	4.1	4.1
ない	57.8	61.2	63.4
無回答	5.6	8.6	14.9

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(214)	(54)	(100)	(72)	(49)
高齢者の介護	17.8	22.2	12.0	13.9	20.4
あなた以外の障害者の介護	3.7	1.9	3.0	4.2	4.1
病人の看護	3.7	3.7	3.0	2.8	4.1
乳幼児の子育て	2.8	3.7	4.0	4.2	-
その他	2.8	3.7	5.0	4.2	-
ない	63.1	50.0	66.0	58.3	57.1
無回答	7.9	14.8	11.0	16.7	16.3

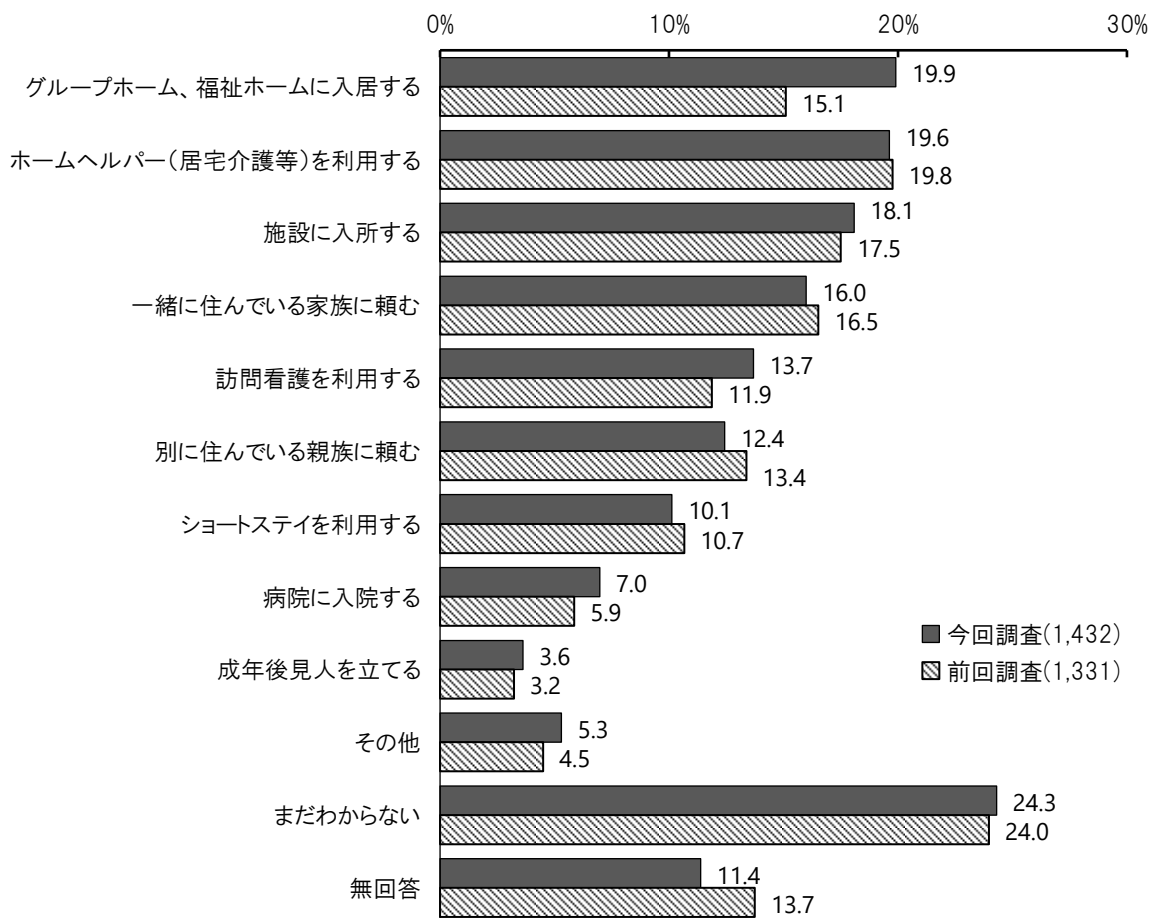
(10) 介助や支援をできなくなった場合 [複数回答]

問14 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。(○はいくつでも)

◆「グループホーム、福祉ホームに入居する」が19.9%

【全体】

・「グループホーム、福祉ホームに入居する」が19.9%で最も多く、次いで「ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する」が19.6%、「施設に入所する」が18.1%などとなっています。「まだわからない」は24.3%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患は「ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する」、知的障害と精神障害は「グループホーム、福祉ホームに入居する」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホーム、福祉ホームに入居する」が6割以上と多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(785)	(392)	(375)	(131)	(58)
グループホーム、福祉ホームに入居する	12.6	45.2	22.7	10.7	63.8
ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する	24.5	13.3	15.2	22.1	17.2
施設に入所する	17.6	24.0	17.1	19.1	24.1
一緒に住んでいる家族に頼む	14.1	27.0	11.2	13.7	19.0
訪問看護を利用する	15.8	5.4	17.1	16.0	6.9
別に住んでいる親族に頼む	12.9	14.8	11.2	13.0	13.8
ショートステイを利用する	9.4	17.3	8.8	9.2	25.9
病院に入院する	6.1	3.8	11.2	14.5	5.2
成年後見人を立てる	2.4	7.9	2.9	3.1	6.9
その他	4.5	4.8	5.9	5.3	5.2
まだわからない	25.7	15.6	28.5	24.4	10.3
無回答	11.5	8.4	12.0	9.9	8.6

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(379)	(85)	(181)	(139)	(94)
グループホーム、福祉ホームに入居する	18.7	21.2	6.6	5.0	9.6
ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する	28.2	24.7	28.7	15.1	20.2
施設に入所する	20.6	21.2	14.4	12.2	18.1
一緒に住んでいる家族に頼む	16.4	14.1	12.7	12.2	16.0
訪問看護を利用する	16.6	12.9	14.9	11.5	18.1
別に住んでいる親族に頼む	13.5	17.6	15.5	12.9	10.6
ショートステイを利用する	11.3	14.1	9.9	6.5	6.4
病院に入院する	6.3	8.2	6.6	5.8	5.3
成年後見人を立てる	3.4	2.4	2.2	-	-
その他	4.2	4.7	4.4	5.8	4.3
まだわからない	24.8	24.7	28.2	30.2	22.3
無回答	5.8	8.2	9.4	20.1	13.8

3 相談や福祉の情報について

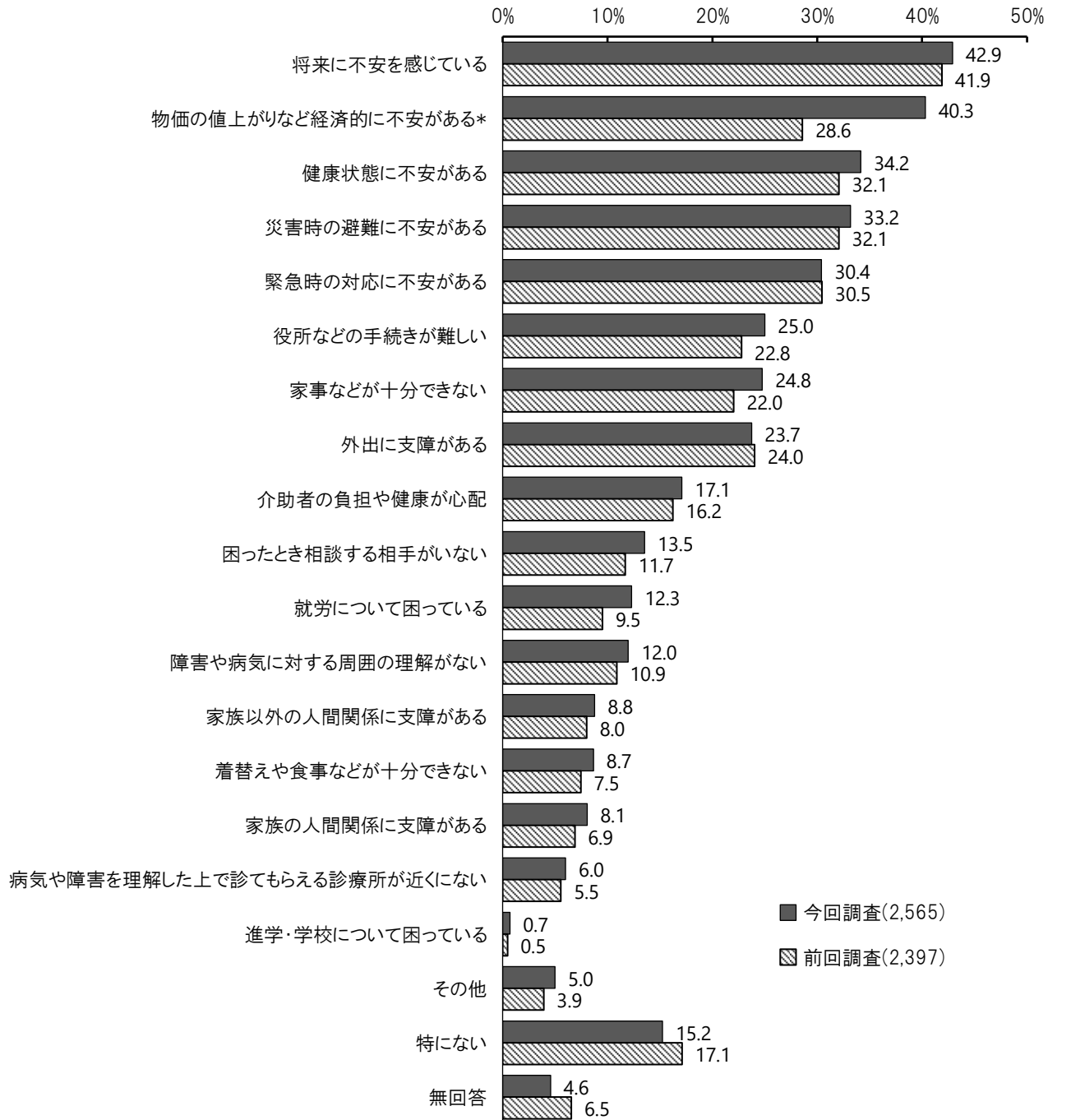
(1)日常生活で困っていること [複数回答]

問15 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

◆「将来に不安を感じている」が42.9%

【全体】

・「将来に不安を感じている」が42.9%で最も多く、次いで「物価の値上がりなど経済的に不安がある」が40.3%、「健康状態に不安がある」が34.2%などとなっています。



* 前回調査では、選択肢「経済的に不安がある」

【障害別】

- ・身体障害は「災害時の避難に不安がある」、知的障害は「役所などの手続きが難しい」、精神障害は「将来に不安を感じている」、難病・特定疾患は「健康状態に不安がある」と「将来に不安を感じている」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「緊急時の対応に不安がある」と「災害時の避難に不安がある」が7割以上と多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
将来に不安を感じている	36.3	43.8	58.2	46.4	63.8
物価の値上がりなど経済的に不安がある	36.7	31.0	53.2	40.7	31.0
健康状態に不安がある	31.6	25.0	44.4	46.4	34.5
災害時の避難に不安がある	37.0	45.7	25.4	29.8	72.4
緊急時の対応に不安がある	33.2	45.7	23.5	24.2	74.1
役所などの手続きが難しい	22.8	48.3	25.0	18.2	58.6
家事などが十分できない	23.4	36.3	26.9	23.5	53.4
外出に支障がある	28.4	27.4	18.8	23.2	56.9
介助者の負担や健康が心配	19.0	26.7	14.0	14.2	51.7
困ったとき相談する相手がない	10.4	14.7	20.3	11.6	24.1
就労について困っている	7.5	10.3	26.2	9.6	10.3
障害や病気に対する周囲の理解がない	10.4	11.1	19.3	11.6	24.1
家族以外の人間関係に支障がある	4.7	13.0	17.7	3.6	17.2
着替えや食事などが十分できない	9.4	14.5	6.6	9.9	34.5
家族の人間関係に支障がある	5.3	8.1	15.9	6.6	13.8
病気や障害を理解した上で診てもらえる 診療所が近くにない	6.3	10.5	5.2	3.6	25.9
進学・学校について困っている	0.5	1.3	1.5	1.0	3.4
その他	4.7	4.9	6.7	3.3	8.6
特にない	15.9	12.2	11.0	14.6	1.7
無回答	5.7	3.6	2.7	4.0	3.4

【年齢別、性別】

単位:%、()内は回答者総数

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	18~39歳	40~64歳	65歳以上	男性	女性
総数	(534)	(1,056)	(934)	(1,331)	(1,196)
将来に不安を感じている	53.0	48.3	30.5	40.6	44.8
物価の値上がりなど経済的に不安がある	39.7	47.1	32.4	39.8	40.1
健康状態に不安がある	30.9	38.4	31.3	32.2	36.1
災害時の避難に不安がある	35.6	34.1	30.4	29.5	37.1
緊急時の対応に不安がある	34.8	30.5	27.1	29.3	31.7
役所などの手続きが難しい	32.4	24.7	21.3	24.2	25.7
家事などが十分できない	29.0	25.9	21.0	21.2	28.8
外出に支障がある	21.7	22.3	26.3	22.3	25.3
介助者の負担や健康が心配	19.3	16.9	15.5	15.8	18.6
困ったとき相談する相手がいない	16.3	17.0	8.1	12.7	14.2
就労について困っている	21.9	17.0	1.2	12.2	12.0
障害や病気に対する周囲の理解がない	15.0	16.0	5.5	10.7	12.8
家族以外の人間関係に支障がある	14.8	10.7	2.9	7.9	9.5
着替えや食事などが十分できない	11.6	7.6	7.9	7.9	9.6
家族の人間関係に支障がある	11.4	10.2	3.6	6.8	9.1
病気や障害を理解した上で診てもらえる 診療所が近くにない	7.1	7.8	3.2	5.6	6.4
進学・学校について困っている	2.1	0.4	0.1	0.3	1.0
その他	4.7	5.4	4.8	5.2	4.6
特になし	12.7	13.7	18.7	17.5	13.0
無回答	2.4	2.6	7.8	3.9	5.4

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
将来に不安を感じている	40.7	35.2	46.3	29.6	36.2
物価の値上がりなど経済的に不安がある	40.2	38.0	39.3	32.0	36.2
健康状態に不安がある	35.7	29.6	32.8	28.5	36.7
災害時の避難に不安がある	43.8	43.5	44.7	36.0	28.4
緊急時の対応に不安がある	38.1	35.2	39.3	34.0	28.0
役所などの手続きが難しい	23.6	26.9	36.5	18.6	16.1
家事などが十分できない	32.1	27.8	29.9	15.0	14.7
外出に支障がある	33.3	32.4	44.3	20.9	18.3
介助者の負担や健康が心配	25.4	28.7	23.8	12.3	16.5
困ったとき相談する相手がいない	10.4	13.0	11.5	9.9	11.5
就労について困っている	11.5	9.3	5.3	2.8	4.6
障害や病気に対する周囲の理解がない	12.2	15.7	12.3	11.9	9.2
家族以外の人間関係に支障がある	6.3	5.6	4.9	3.2	1.4
着替えや食事などが十分できない	15.7	16.7	10.7	6.3	6.0
家族の人間関係に支障がある	6.6	10.2	6.1	5.5	2.8
病気や障害を理解した上で診てもらえる 診療所が近くにない	8.4	6.5	5.7	5.1	5.0
進学・学校について困っている	1.0	1.9	0.4	0.4	0.5
その他	5.6	7.4	6.6	4.7	3.2
特になし	13.3	13.0	7.4	19.4	19.3
無回答	3.8	6.5	6.1	7.1	6.0

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
将来に不安を感じている	55.8	67.9	71.9	64.2	61.5	31.8
物価の値上がりなど経済的に不安がある	53.2	62.3	64.7	55.4	53.8	50.0
健康状態に不安がある	48.7	54.7	54.0	38.5	38.5	40.9
災害時の避難に不安がある	29.2	23.9	30.9	30.4	42.3	9.1
緊急時の対応に不安がある	23.4	21.7	28.1	29.1	42.3	4.5
役所などの手続きが難しい	26.6	19.5	25.2	33.8	46.2	13.6
家事などが十分できない	29.2	29.6	28.8	33.8	38.5	27.3
外出に支障がある	16.9	19.8	29.5	18.9	38.5	9.1
介助者の負担や健康が心配	16.9	13.5	16.5	19.6	34.6	-
困ったとき相談する相手がない	22.1	24.2	30.9	25.0	11.5	9.1
就労について困っている	23.4	32.4	30.2	35.1	42.3	18.2
障害や病気に対する周囲の理解がない	13.6	25.2	30.2	26.4	30.8	18.2
家族以外の人間関係に支障がある	18.2	18.6	24.5	25.7	19.2	-
着替えや食事などが十分できない	6.5	7.2	6.5	8.8	15.4	4.5
家族の人間関係に支障がある	16.2	20.4	26.6	21.6	11.5	4.5
病気や障害を理解した上で診てもらえる 診療所が近くにない	5.8	3.1	6.5	6.1	15.4	-
進学・学校について困っている	1.3	1.3	0.7	2.0	-	-
その他	9.1	6.0	9.4	6.8	11.5	9.1
特になし	14.9	8.5	8.6	5.4	3.8	13.6
無回答	1.9	3.1	2.2	0.7	-	9.1

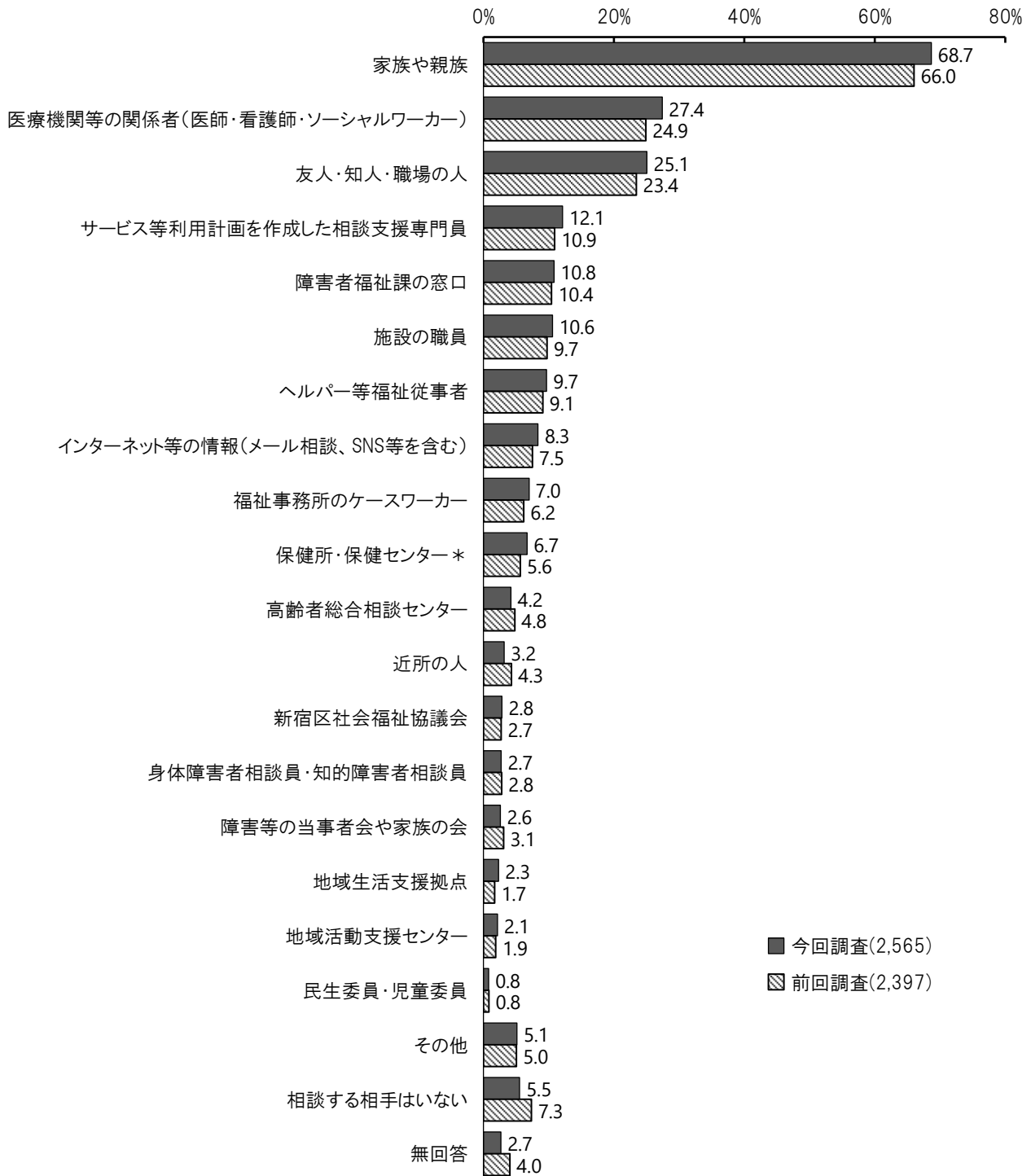
(2)困った時に相談する相手 [複数回答]

問16 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(○はいくつでも)

◆「家族や親族」が68.7%

【全体】

・「家族や親族」が68.7%で最も多く、次いで「医療機関等の関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)」が27.4%、「友人・知人・職場の人」が25.1%などとなっています。



* 前回調査では、選択肢「保健センター」

【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「家族や親族」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「家族や親族」以外では「施設の職員」が6割以上となっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
家族や親族	69.8	75.4	59.4	71.5	81.0
医療機関等の関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)	24.9	19.9	40.9	27.2	31.0
友人・知人・職場の人	24.1	18.2	28.9	25.5	13.8
サービス等利用計画を作成した相談支援専門員	10.2	30.3	11.7	7.3	43.1
障害者福祉課の窓口	13.5	16.5	7.5	9.9	25.9
施設の職員	6.1	35.7	10.3	4.6	60.3
ヘルパー等福祉従事者	11.7	15.8	6.6	7.3	19.0
インターネット等の情報(メール相談、SNS等を含む)	8.3	2.6	11.2	9.9	6.9
福祉事務所のケースワーカー	5.9	6.0	12.5	5.0	3.4
保健所・保健センター	3.2	4.1	15.1	13.9	5.2
高齢者総合相談センター	6.0	0.6	1.9	3.6	-
近所の人	4.0	1.9	2.1	4.0	-
新宿区社会福祉協議会	3.0	4.7	2.7	2.0	3.4
身体障害者相談員・知的障害者相談員	2.4	8.3	1.4	2.3	15.5
障害等の当事者会や家族の会	2.0	7.1	2.3	2.0	10.3
地域生活支援拠点	2.3	4.5	2.3	2.3	8.6
地域活動支援センター	1.9	2.4	3.0	2.0	-
民生委員・児童委員	0.8	1.1	0.8	0.7	-
その他	3.5	7.7	8.0	3.0	5.2
相談する相手はいない	4.8	2.4	7.8	6.6	-
無回答	3.1	1.9	2.2	2.3	1.7

【身体障害の種類別】

単位：％、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
家族や親族	70.7	70.4	68.9	68.8	72.5
医療機関等の関係者(医師・看護師・ ソーシャルワーカー)	27.2	28.7	23.4	16.2	36.2
友人・知人・職場の人	27.7	15.7	23.8	19.0	26.1
サービス等利用計画を作成した 相談支援専門員	14.7	17.6	12.3	8.3	6.0
障害者福祉課の窓口	13.7	10.2	21.3	12.3	11.0
施設の職員	9.6	13.0	6.1	4.7	3.7
ヘルパー等福祉従事者	15.7	17.6	15.2	7.5	9.2
インターネット等の情報(メール相談、 SNS等を含む)	8.7	4.6	7.4	9.1	7.8
福祉事務所のケースワーカー	6.1	6.5	8.6	4.0	3.7
保健所・保健センター	3.3	4.6	5.3	1.2	1.4
高齢者総合相談センター	3.8	3.7	8.2	8.7	6.9
近所の人	3.6	0.9	5.7	4.3	4.1
新宿区社会福祉協議会	2.0	4.6	6.1	2.8	1.8
身体障害者相談員・知的障害者相談員	2.6	4.6	4.1	2.0	1.8
障害等の当事者会や家族の会	3.1	3.7	2.0	2.4	0.5
地域生活支援拠点	1.8	-	5.3	1.6	0.9
地域活動支援センター	1.8	1.9	2.5	2.8	2.3
民生委員・児童委員	0.8	-	0.8	1.2	0.5
その他	4.3	1.9	2.0	2.8	2.8
相談する相手はいない	5.6	6.5	3.3	6.3	4.1
無回答	2.1	3.7	4.5	2.8	1.4

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
家族や親族	59.7	57.2	49.6	66.9	76.9	22.7
医療機関等の関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)	51.9	39.3	44.6	45.3	30.8	36.4
友人・知人・職場の人	23.4	32.7	27.3	33.8	23.1	27.3
サービス等利用計画を作成した相談支援専門員	14.3	7.5	11.5	19.6	3.8	18.2
障害者福祉課の窓口	13.0	5.7	9.4	8.1	3.8	9.1
施設の職員	19.5	4.7	7.9	13.5	7.7	13.6
ヘルパー等福祉従事者	9.7	4.1	3.6	4.1	11.5	9.1
インターネット等の情報(メール相談、SNS等を含む)	7.8	14.8	14.4	14.9	-	4.5
福祉事務所のケースワーカー	16.2	12.3	15.1	8.8	7.7	36.4
保健所・保健センター	26.0	11.9	21.6	15.5	11.5	13.6
高齢者総合相談センター	3.9	2.2	-	-	-	4.5
近所の人	2.6	1.3	2.2	2.0	-	-
新宿区社会福祉協議会	4.5	1.6	2.9	3.4	7.7	4.5
身体障害者相談員・知的障害者相談員	2.6	1.3	2.2	2.7	-	-
障害等の当事者会や家族の会	2.6	1.9	1.4	5.4	3.8	9.1
地域生活支援拠点	3.2	1.3	2.9	2.7	3.8	-
地域活動支援センター	3.2	2.2	2.9	4.1	-	4.5
民生委員・児童委員	1.9	0.3	2.2	1.4	-	-
その他	5.2	7.2	9.4	10.1	3.8	9.1
相談する相手はいない	3.9	9.4	12.2	10.1	3.8	9.1
無回答	1.9	2.2	1.4	1.4	-	4.5

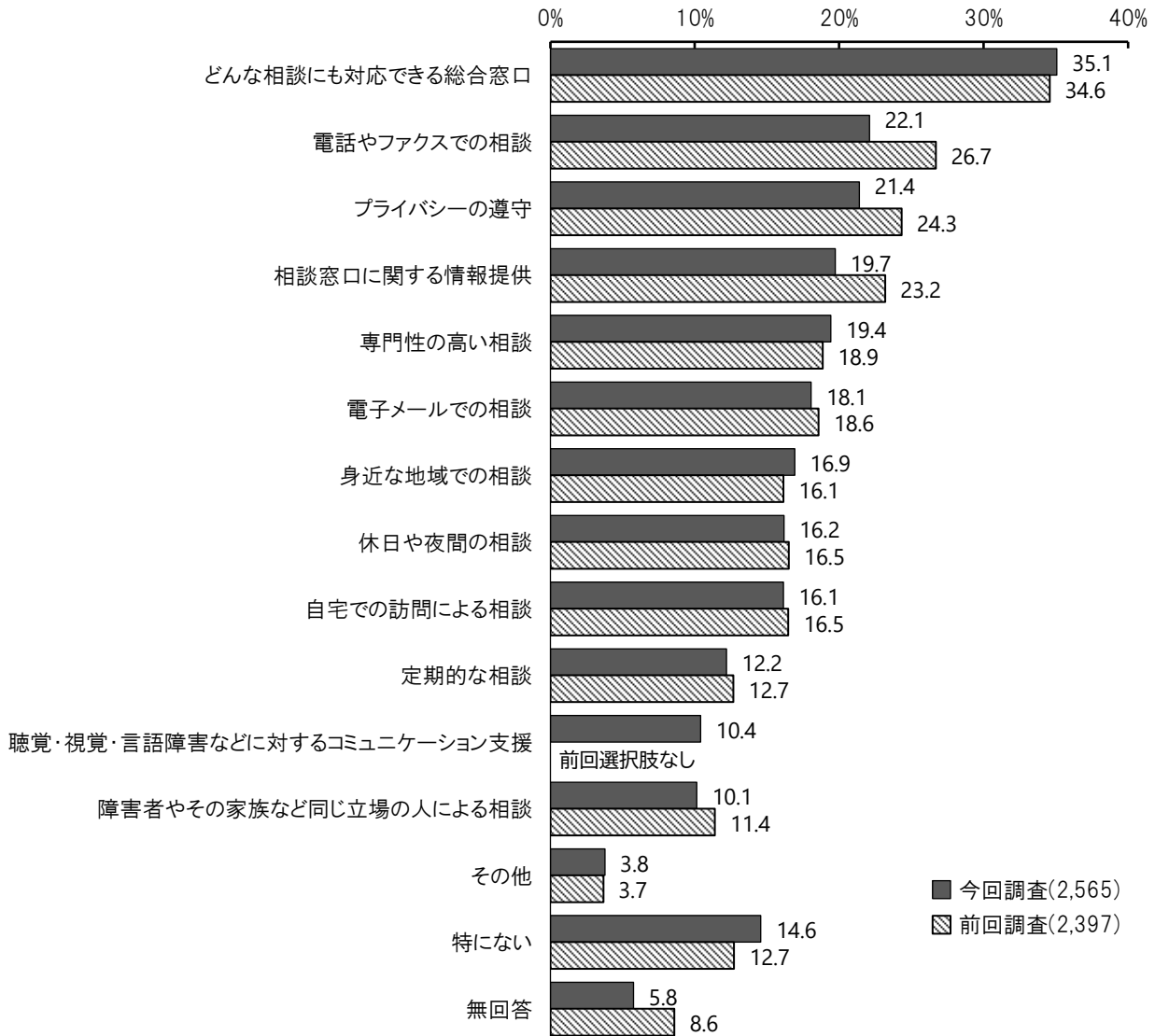
(3)気軽に相談するために必要なこと [複数回答]

問17 あなたは、区役所や基幹相談支援センターなどに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

◆「どんな相談にも対応できる総合窓口」が35.1%

【全体】

・「どんな相談にも対応できる総合窓口」が35.1%で最も多く、次いで「電話やファクスでの相談」が22.1%、「プライバシーの遵守」が21.4%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「どんな相談にも対応できる総合窓口」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「どんな相談にも対応できる総合窓口」と「専門性の高い相談」が4割以上となっています。

単位：％、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
どんな相談にも対応できる総合窓口	34.1	38.9	35.0	35.4	48.3
電話やファクスでの相談	22.7	19.4	24.0	22.8	24.1
プライバシーの遵守	18.1	17.5	31.1	20.9	19.0
相談窓口に関する情報提供	18.4	19.0	23.3	21.9	32.8
専門性の高い相談	16.9	21.2	25.8	22.5	41.4
電子メールでの相談	17.8	12.0	22.2	22.5	12.1
身近な地域での相談	14.8	19.0	20.4	15.9	19.0
休日や夜間の相談	13.3	14.1	24.8	16.2	15.5
自宅での訪問による相談	17.5	16.9	15.9	11.9	13.8
定期的な相談	8.7	20.5	18.1	9.6	22.4
聴覚・視覚・言語障害などに対するコミュニケーション支援	16.1	5.8	5.3	7.9	3.4
障害者やその家族など同じ立場の人による相談	8.7	17.5	12.2	7.6	20.7
その他	2.9	4.3	5.2	4.6	8.6
特になし	14.1	16.7	13.4	11.3	5.2
無回答	6.8	6.0	3.4	4.6	8.6

【身体障害の種類別】

単位：％、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
どんな相談にも対応できる総合窓口	34.4	33.3	32.8	37.9	33.9
電話やファクスでの相談	22.2	14.8	29.5	18.2	23.9
プライバシーの遵守	21.4	13.9	20.1	13.0	18.3
相談窓口に関する情報提供	19.4	21.3	20.1	17.0	16.5
専門性の高い相談	23.1	17.6	15.6	10.3	18.8
電子メールでの相談	22.9	25.0	9.8	17.0	17.4
身近な地域での相談	16.0	12.0	15.6	12.6	12.8
休日や夜間の相談	17.0	12.0	11.9	7.9	12.8
自宅での訪問による相談	18.1	25.0	23.0	17.0	13.8
定期的な相談	10.9	9.3	9.8	5.5	7.3
聴覚・視覚・言語障害などに対するコミュニケーション支援	5.8	22.2	27.0	39.9	3.2
障害者やその家族など同じ立場の人による相談	10.2	7.4	10.2	7.1	11.0
その他	3.1	4.6	4.1	2.0	4.1
特になし	13.8	13.9	11.5	11.5	16.5
無回答	5.9	4.6	5.7	7.1	9.6

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
どんな相談にも対応できる総合窓口	34.4	36.2	42.4	36.5	34.6	22.7
電話やファクスでの相談	34.4	20.4	21.6	25.0	26.9	13.6
プライバシーの遵守	28.6	34.3	36.0	33.8	19.2	31.8
相談窓口に関する情報提供	19.5	27.0	28.1	27.7	19.2	18.2
専門性の高い相談	20.1	29.9	25.2	32.4	30.8	13.6
電子メールでの相談	14.9	27.0	26.6	31.8	19.2	4.5
身近な地域での相談	16.9	23.0	20.1	22.3	26.9	13.6
休日や夜間の相談	22.7	26.4	26.6	32.4	38.5	13.6
自宅での訪問による相談	20.8	11.3	18.0	15.5	23.1	27.3
定期的な相談	18.8	19.5	23.0	23.0	15.4	18.2
聴覚・視覚・言語障害などに対する コミュニケーション支援	6.5	3.1	5.8	6.1	23.1	-
障害者やその家族など同じ立場の人に よる相談	11.7	11.0	15.1	17.6	7.7	-
その他	1.9	5.7	4.3	8.8	11.5	4.5
特になし	14.9	12.3	12.2	8.1	-	13.6
無回答	3.2	3.5	1.4	3.4	3.8	-

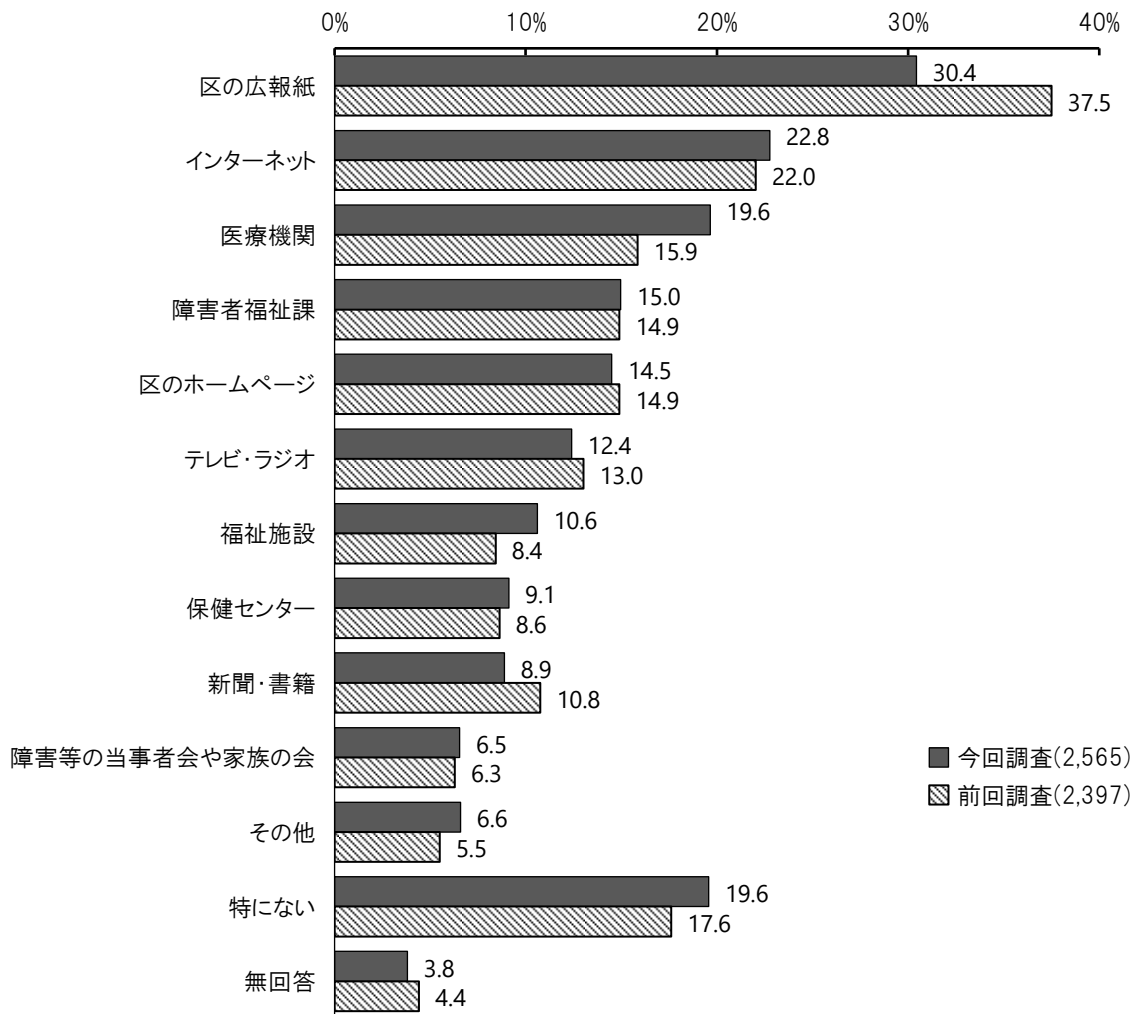
(4)福祉に関する情報の入手先 [複数回答]

問18 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

◆「区の広報紙」が30.4%

【全体】

・「区の広報紙」が30.4%で最も多く、次いで「インターネット」が22.8%、「医療機関」が19.6%などとなっています。「特にない」は19.6%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、難病・特定疾患は「区の広報紙」、精神障害は「インターネット」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「福祉施設」が5割以上と多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
区の広報紙	34.1	30.3	20.6	33.8	43.1
インターネット	20.6	14.3	29.4	23.8	17.2
医療機関	18.1	8.8	28.7	24.2	15.5
障害者福祉課	17.6	23.7	12.5	11.6	39.7
区のホームページ	15.7	7.9	14.8	16.6	10.3
テレビ・ラジオ	13.9	8.5	9.9	12.9	3.4
福祉施設	8.7	27.8	11.2	5.6	51.7
保健センター	4.1	3.8	18.1	22.5	1.7
新聞・書籍	10.5	5.8	5.6	11.9	8.6
障害等の当事者会や家族の会	5.5	23.9	3.6	2.6	39.7
その他	5.9	9.6	7.4	5.0	13.8
特にない	17.4	25.2	18.5	16.9	5.2
無回答	5.0	3.6	2.1	2.3	5.2

【年齢別】

- ・18～39歳と40～64歳は「インターネット」、65歳以上は「区の広報紙」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(534)	(1,056)	(934)
区の広報紙	21.2	23.3	43.5
インターネット	33.1	29.7	9.0
医療機関	17.8	21.1	19.0
障害者福祉課	18.0	17.2	10.5
区のホームページ	14.2	20.3	8.4
テレビ・ラジオ	6.0	10.6	18.1
福祉施設	15.7	10.9	7.0
保健センター	9.6	10.4	7.1
新聞・書籍	4.5	7.1	13.6
障害等の当事者会や家族の会	13.7	6.8	1.9
その他	7.9	6.0	6.6
特にない	22.5	18.9	18.7
無回答	1.7	2.6	6.2

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
区の広報紙	28.8	24.1	31.6	46.2	37.6
インターネット	25.5	24.1	14.3	17.4	22.5
医療機関	15.7	18.5	19.3	16.6	26.6
障害者福祉課	19.9	14.8	21.7	13.0	18.8
区のホームページ	19.1	15.7	14.3	11.1	16.5
テレビ・ラジオ	12.7	12.0	22.5	16.6	10.1
福祉施設	11.7	13.9	7.0	11.1	6.9
保健センター	4.6	6.5	4.9	3.2	2.3
新聞・書籍	9.4	10.2	7.0	18.2	11.5
障害等の当事者会や家族の会	8.6	10.2	4.9	4.3	4.1
その他	7.1	7.4	7.8	5.1	5.0
特になし	17.6	21.3	18.4	12.6	14.7
無回答	3.6	4.6	5.3	5.1	4.6

【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能 障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
区の広報紙	13.6	19.8	16.5	27.7	30.8	9.1
インターネット	18.8	36.8	30.2	41.2	19.2	27.3
医療機関	32.5	29.6	25.9	27.7	38.5	18.2
障害者福祉課	18.2	9.1	7.9	16.2	19.2	9.1
区のホームページ	5.8	20.1	12.9	16.9	11.5	9.1
テレビ・ラジオ	13.0	8.2	12.9	11.5	11.5	22.7
福祉施設	14.3	10.1	10.1	12.8	15.4	22.7
保健センター	24.7	17.0	22.3	16.9	34.6	9.1
新聞・書籍	4.5	5.0	5.0	7.4	11.5	9.1
障害等の当事者会や家族の会	3.2	2.5	1.4	8.1	7.7	4.5
その他	11.0	5.3	7.9	8.8	-	-
特になし	15.6	19.2	22.3	14.9	19.2	27.3
無回答	3.9	1.6	2.2	1.4	-	-

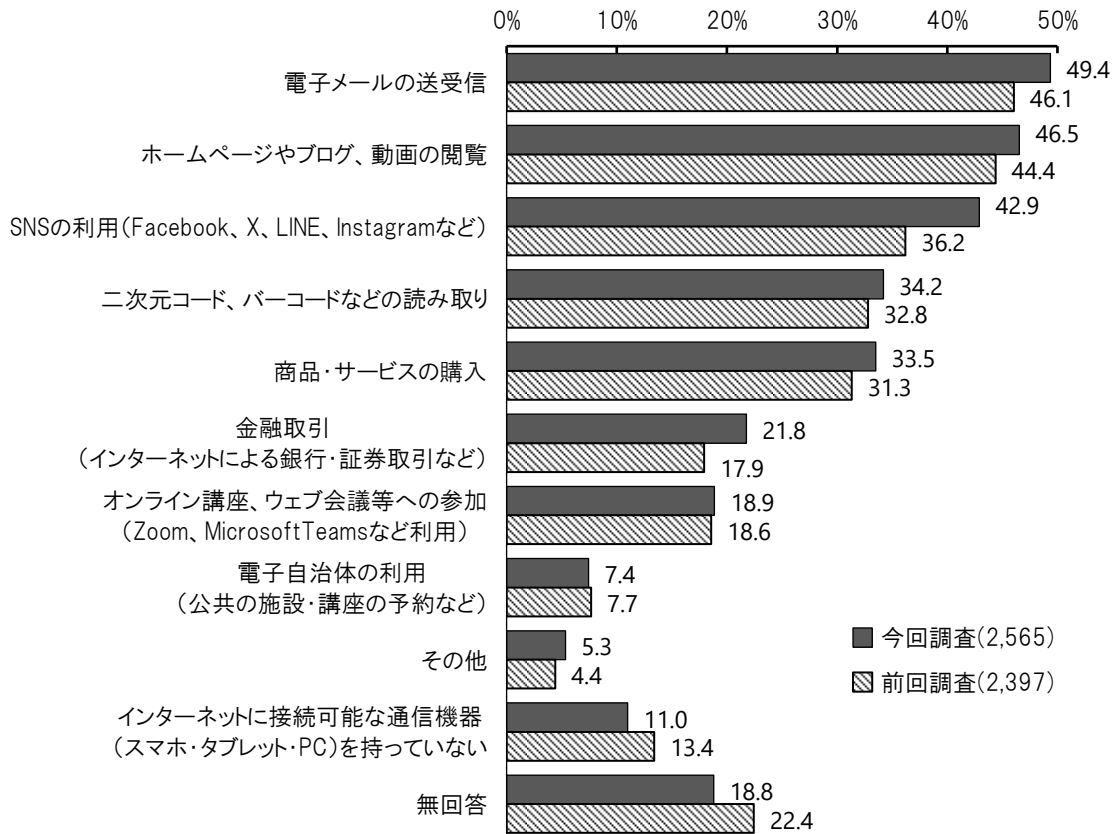
(5)過去1年間に利用した通信機器の機能・サービス [複数回答]

問19 あなたが、過去1年間に利用した、通信機器を使った機能・サービスは何ですか。(〇は
いくつでも)

◆「電子メールの送受信」が49.4%

【全体】

・「電子メールの送受信」が49.4%で最も多く、次いで「ホームページやブログ、動画の閲覧」が46.5%、「SNSの利用(Facebook、X、LINE、Instagramなど)」が42.9%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「電子メールの送受信」、知的障害は「ホームページやブログ、動画の閲覧」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「ホームページやブログ、動画の閲覧」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
電子メールの送受信	46.7	25.6	61.9	60.6	20.7
ホームページやブログ、動画の閲覧	40.7	33.1	59.9	57.6	27.6
SNSの利用(Facebook、X、LINE、Instagramなど)	37.5	30.8	59.4	46.0	8.6
二次元コード、バーコードなどの読み取り	28.7	16.0	50.1	43.0	5.2
商品・サービスの購入	31.2	11.8	44.0	46.0	3.4
金融取引(インターネットによる銀行・証券取引など)	22.1	3.0	28.0	30.1	3.4
オンライン講座、ウェブ会議等への参加(Zoom、Microsoft Teamsなど利用)	18.2	6.2	25.1	26.8	6.9
電子自治体の利用(公共の施設・講座の予約など)	6.4	0.9	11.4	11.3	1.7
その他	6.1	7.3	5.2	3.6	5.2
インターネットに接続可能な通信機器(スマホ・タブレット・PC)を持っていない	12.4	18.2	6.0	8.9	17.2
無回答	20.8	23.5	12.3	14.2	39.7

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
電子メールの送受信	56.5	41.7	36.1	35.6	48.2
ホームページやブログ、動画の閲覧	51.6	38.9	29.9	26.5	46.3
SNSの利用(Facebook、X、LINE、Instagramなど)	46.3	37.0	25.4	28.1	41.3
二次元コード、バーコードなどの読み取り	36.4	23.1	19.7	15.8	35.3
商品・サービスの購入	38.6	28.7	22.5	19.4	39.4
金融取引(インターネットによる銀行・証券取引など)	26.9	25.9	14.8	14.2	28.9
オンライン講座、ウェブ会議等への参加(Zoom、Microsoft Teamsなど利用)	23.4	12.0	14.3	10.3	23.4
電子自治体の利用(公共の施設・講座の予約など)	7.7	6.5	5.7	6.3	7.3
その他	4.4	7.4	11.1	7.1	5.0
インターネットに接続可能な通信機器(スマホ・タブレット・PC)を持っていない	9.1	11.1	17.6	17.8	11.0
無回答	16.5	18.5	24.6	24.5	21.1

【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
電子メールの送受信	49.4	72.3	61.9	68.9	61.5	45.5
ホームページやブログ、動画の閲覧	43.5	69.8	64.0	73.6	50.0	59.1
SNSの利用(Facebook、X、LINE、Instagramなど)	44.2	71.1	64.7	70.9	42.3	54.5
二次元コード、バーコードなどの読み取り	33.1	60.1	48.9	59.5	42.3	27.3
商品・サービスの購入	28.6	55.7	42.4	52.0	26.9	36.4
金融取引(インターネットによる銀行・証券取引など)	11.7	38.4	20.9	33.1	19.2	18.2
オンライン講座、ウェブ会議等への参加 (Zoom、Microsoft Teamsなど利用)	11.7	31.4	25.2	36.5	15.4	13.6
電子自治体の利用(公共の施設・講座の予約など)	5.2	12.9	9.4	15.5	19.2	4.5
その他	5.2	3.8	5.0	5.4	7.7	4.5
インターネットに接続可能な通信機器 (スマホ・タブレット・PC)を持っていない	9.7	4.4	5.0	4.7	11.5	4.5
無回答	15.6	8.8	11.5	8.1	3.8	18.2

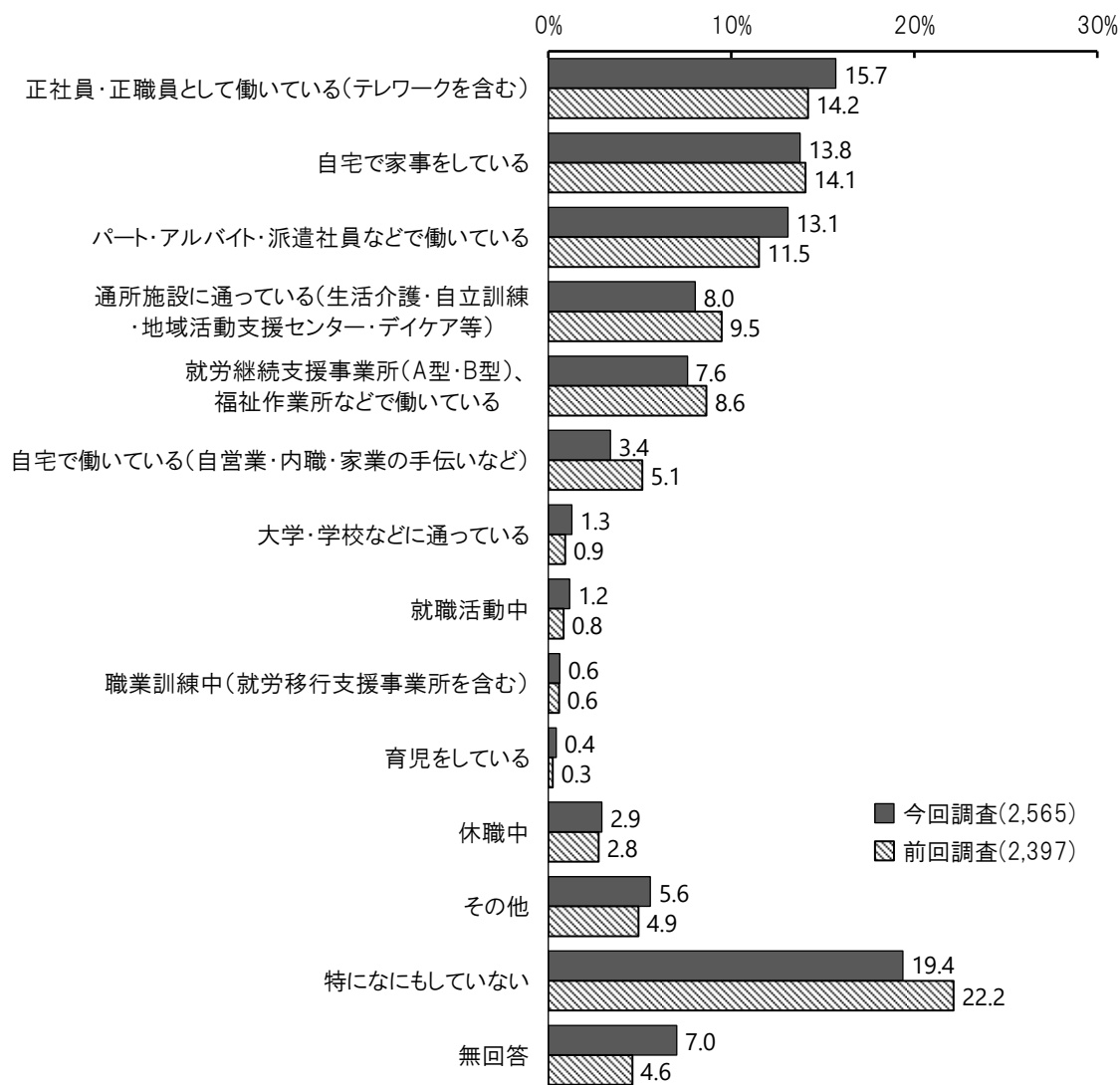
4 日中活動や仕事について

(1)日中の過ごし方

問20 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(○はひとつ)

◆「特になにもしていない」が19.4%

・「特になにもしていない」が19.4%で最も多く、次いで「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」が15.7%、「自宅で家事をしている」が13.8%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害は「特に何もしていない」、知的障害は「就労継続支援事業所(A型・B型)、福祉作業所などで働いている」、精神障害は「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」と「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」、難病・特定疾患は「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「通所施設に通っている(生活介護・自立訓練・地域活動支援センター・デイケア等)」が5割以上と多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・ 難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
正社員・正職員として働いている (テレワークを含む)	14.8	9.6	16.6	20.9	3.4
自宅で家事をしている	16.5	1.7	10.0	17.9	1.7
パート・アルバイト・派遣社員などで 働いている	9.3	17.5	16.6	12.3	1.7
通所施設に通っている(生活介護・自立 訓練・地域活動支援センター・デイケア等)	7.6	21.2	7.4	4.0	58.6
就労継続支援事業所(A型・B型)、 福祉作業所などで働いている	3.1	29.1	8.6	2.0	24.1
自宅で働いている(自営業・内職 ・家業の手伝いなど)	4.2	0.6	2.3	7.0	-
大学・学校などに通っている	1.3	2.4	1.0	0.3	-
就職活動中	0.9	0.9	2.1	1.3	1.7
職業訓練中(就労移行支援事業所を含む)	0.3	1.5	1.1	-	-
育児をしている	0.4	0.2	0.7	0.7	-
休職中	2.3	0.9	5.3	3.3	-
その他	6.5	2.6	5.9	5.6	3.4
特になにもしていない	24.4	6.8	16.5	18.9	3.4
無回答	8.3	5.1	5.9	6.0	1.7

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
正社員・正職員として働いている (テレワークを含む)	16.8	6.5	8.6	11.5	20.6
自宅で家事をしている	11.7	9.3	16.8	25.3	19.3
パート・アルバイト・派遣社員などで 働いている	9.2	7.4	7.4	9.1	11.0
通所施設に通っている(生活介護・自立 訓練・地域活動支援センター・デイケア等)	9.4	13.9	7.8	5.5	8.7
就労継続支援事業所(A型・B型)、 福祉作業所などで働いている	5.6	3.7	2.0	1.2	0.9
自宅で働いている(自営業・内職 ・家業の手伝いなど)	4.0	7.4	4.9	4.3	3.7
大学・学校などに通っている	2.0	0.9	1.2	0.4	1.4
就職活動中	1.2	-	1.2	0.4	-
職業訓練中(就労移行支援事業所を含む)	0.5	-	-	-	-
育児をしている	0.5	-	-	0.4	-
休職中	2.8	2.8	2.0	0.8	1.4
その他	6.9	9.3	9.8	4.7	5.5
特になにもしていない	22.6	27.8	26.2	26.9	21.6
無回答	6.9	11.1	11.9	9.5	6.0

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能 障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
正社員・正職員として働いている (テレワークを含む)	6.5	17.3	9.4	22.3	3.8	9.1
自宅で家事をしている	14.9	11.9	9.4	4.1	-	9.1
パート・アルバイト・派遣社員などで 働いている	11.0	18.2	17.3	23.0	23.1	9.1
通所施設に通っている(生活介護・自立 訓練・地域活動支援センター・デイケア等)	7.8	4.1	5.0	10.8	23.1	9.1
就労継続支援事業所(A型・B型)、 福祉作業所などで働いている	14.9	3.8	8.6	8.8	7.7	9.1
自宅で働いている(自営業・内職 ・家業の手伝いなど)	1.3	3.5	1.4	2.0	7.7	4.5
大学・学校などに通っている	0.6	1.3	1.4	2.7	-	-
就職活動中	1.9	2.5	1.4	2.0	-	-
職業訓練中(就労移行支援事業所を含む)	1.9	1.6	1.4	2.0	-	4.5
育児をしている	-	0.6	1.4	0.7	-	-
休職中	4.5	7.2	7.2	3.4	3.8	4.5
その他	7.8	4.1	7.9	4.7	7.7	4.5
特になにもしていない	16.9	18.6	22.3	9.5	15.4	27.3
無回答	9.7	5.3	5.8	4.1	7.7	9.1

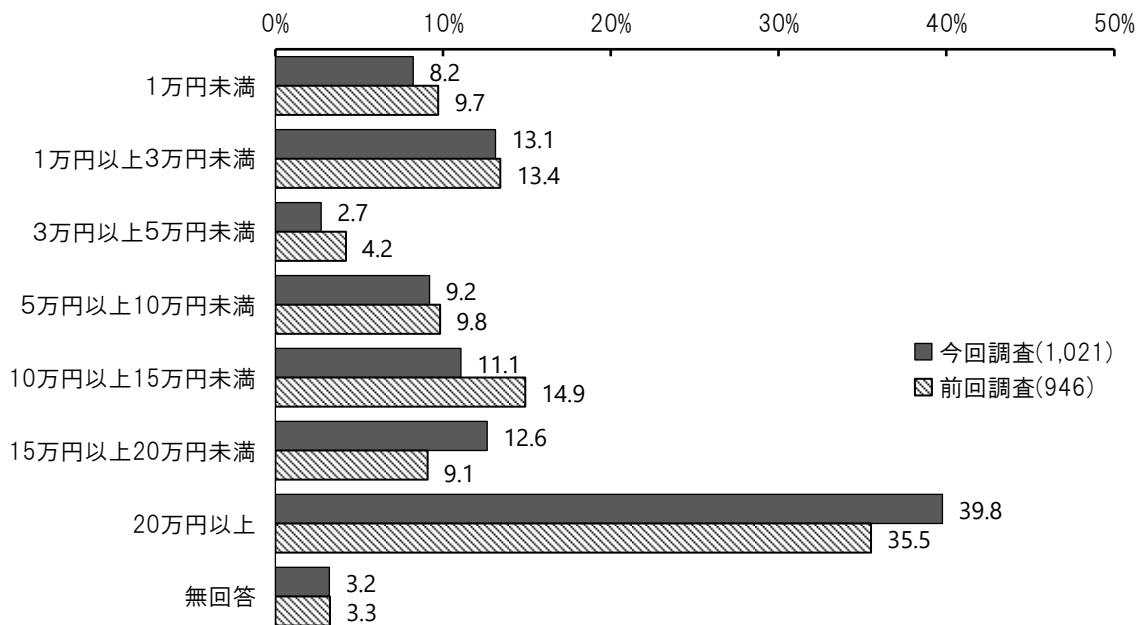
(2)給与・工賃の額

問21 就労している方にお聞きします。仕事で得ている給与・工賃の金額について、税金を引く前の合計月額はいくらですか。(〇はひとつ)

◆「20万円以上」が39.8%

【全体】

- ・「20万円以上」が39.8%で最も多く、次いで「1万円以上3万円未満」が13.1%、「15万円以上20万円未満」が12.6%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「20万円以上」、知的障害は「1万円以上3万円未満」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「1万円以上3万円未満」が5割以上と多くなっています。

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(425)	(266)	(322)	(127)	(17)
1万円未満	6.8	15.8	9.9	4.7	35.3
1万円以上3万円未満	7.1	32.7	13.0	7.1	52.9
3万円以上5万円未満	2.8	1.9	4.0	1.6	-
5万円以上10万円未満	9.4	7.9	9.0	7.1	5.9
10万円以上15万円未満	8.7	21.4	7.1	10.2	5.9
15万円以上20万円未満	12.2	12.4	13.0	16.5	-
20万円以上	49.2	4.5	42.2	49.6	-
無回答	3.8	3.4	1.6	3.1	-

【働き方別】

- ・正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)は「20万円以上」、パート・アルバイト・派遣社員などで働いているは「10万円以上15万円未満」、自宅で働いている(自営業・内職・家業の手伝いなど)は「20万円以上」、就労継続支援事業所(A型・B型)、福祉作業所などで働いているは「1万円以上3万円未満」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	正社員・正職員 として働いている (テレワークを含む)	パート・アルバイト・ 派遣社員などで 働いている	自宅で働いている (自営業・内職・ 家業の手伝いなど)	就労継続支援 事業所(A型・B型)、 福祉作業所などで 働いている
総数	(403)	(336)	(87)	(195)
1万円未満	0.5	2.1	11.5	33.3
1万円以上3万円未満	0.5	4.8	9.2	55.4
3万円以上5万円未満	0.2	4.8	4.6	3.6
5万円以上10万円未満	0.7	19.9	17.2	4.6
10万円以上15万円未満	5.7	24.4	6.9	1.0
15万円以上20万円未満	13.2	19.9	10.3	-
20万円以上	76.7	19.9	33.3	0.5
無回答	2.5	4.2	6.9	1.5

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(216)	(27)	(56)	(66)	(79)
1万円未満	6.9	11.1	10.7	9.1	5.1
1万円以上3万円未満	9.3	14.8	10.7	4.5	2.5
3万円以上5万円未満	2.8	7.4	3.6	1.5	1.3
5万円以上10万円未満	7.4	14.8	19.6	13.6	6.3
10万円以上15万円未満	8.8	11.1	5.4	7.6	6.3
15万円以上20万円未満	10.2	7.4	7.1	19.7	16.5
20万円以上	52.3	29.6	39.3	37.9	59.5
無回答	2.3	3.7	3.6	6.1	2.5

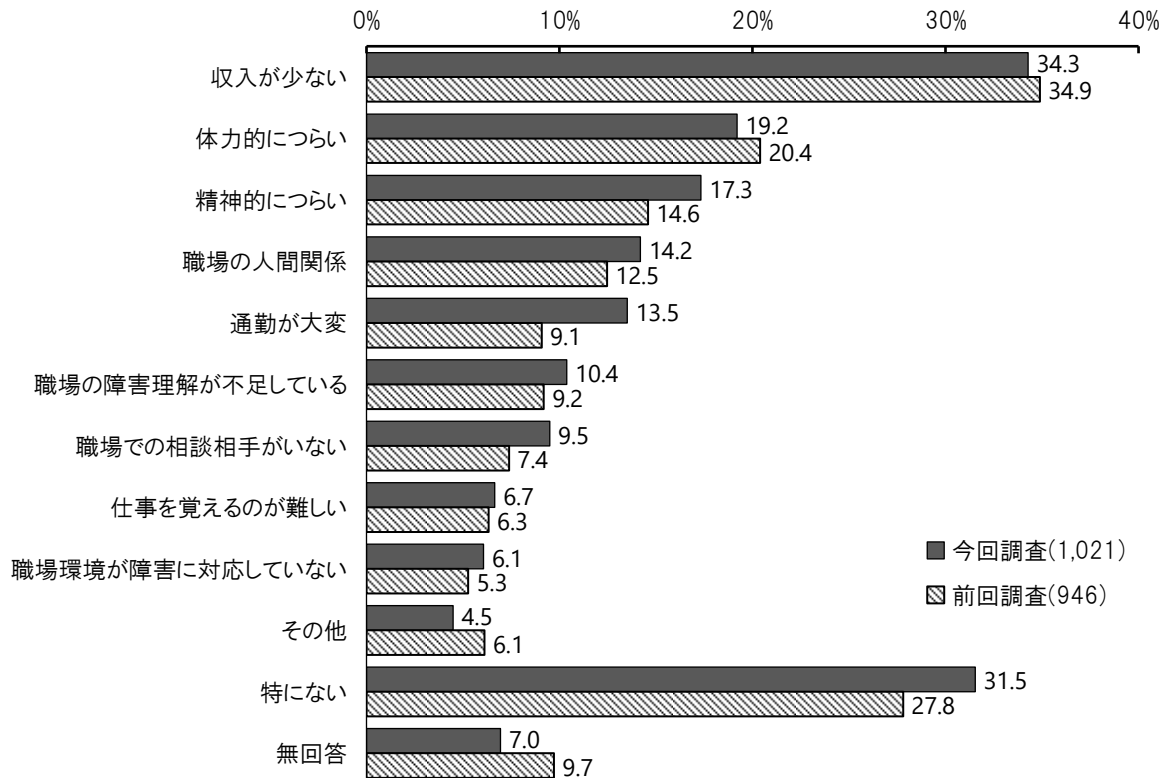
(3)仕事上の困りごと [複数回答]

問22 就労している方にお聞きします。仕事をする上で困っていることはありますか(〇はいくつでも)

◆「収入が少ない」が34.3%

【全体】

- ・「収入が少ない」が34.3%で最も多く、次いで「体力的につらい」が19.2%、「精神的につらい」が17.3%などとなっています。「特にない」は31.5%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「収入が少ない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「収入が少ない」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害 (425)	知的障害 (266)	精神障害 (322)	特定疾患・ 難病 (127)	強度行動障害 (17)
収入が少ない	26.6	35.7	44.7	37.8	41.2
体力的につらい	21.4	9.0	22.7	26.8	5.9
精神的につらい	12.2	8.6	31.7	21.3	-
職場の人間関係	12.7	12.4	20.8	12.6	11.8
通勤が大変	16.2	7.9	15.5	15.0	5.9
職場の障害理解が不足している	11.3	10.2	11.5	8.7	5.9
職場での相談相手がいない	7.3	7.5	14.9	7.1	11.8
仕事を覚えるのが難しい	4.2	9.0	12.1	5.5	11.8
職場環境が障害に対応していない	7.3	4.1	6.8	4.7	5.9
その他	5.2	2.3	4.7	3.1	5.9
特にない	34.1	36.1	22.0	33.1	41.2
無回答	7.8	6.8	5.0	8.7	5.9

【働き方別】

- ・「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」と「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」、「自宅で働いている(自営業・内職・家業の手伝いなど)」、「就労継続支援事業所(A型・B型)、福祉作業所などで働いている」で共に「収入が少ない」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	正社員・正職員 として働いている (テレワークを含む)	パート・アルバイト・ 派遣社員などで 働いている	自宅で働いている (自営業・内職・ 家業の手伝いなど)	就労継続支援 事業所(A型・B型)、 福祉作業所などで 働いている
総数	(403)	(336)	(87)	(195)
収入が少ない	25.1	39.3	31.0	46.2
体力的につらい	20.1	21.1	23.0	12.3
精神的につらい	20.3	16.7	14.9	13.3
職場の人間関係	17.4	13.7	2.3	13.8
通勤が大変	15.4	16.7	2.3	9.2
職場の障害理解が不足している	11.9	14.0	1.1	5.1
職場での相談相手がいない	10.2	12.2	2.3	6.7
仕事を覚えるのが難しい	4.2	9.2	4.6	8.2
職場環境が障害に対応していない	6.7	8.0	2.3	3.1
その他	5.2	3.9	6.9	3.1
特にない	34.7	26.5	36.8	31.3
無回答	7.4	6.8	11.5	4.1

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(216)	(27)	(56)	(66)	(79)
収入が少ない	29.2	33.3	17.9	13.6	35.4
体力的につらい	24.5	7.4	17.9	15.2	27.8
精神的につらい	14.4	11.1	12.5	3.0	16.5
職場の人間関係	15.7	11.1	8.9	10.6	10.1
通勤が大変	21.3	11.1	10.7	9.1	12.7
職場の障害理解が不足している	12.5	7.4	8.9	15.2	12.7
職場での相談相手がいない	8.3	3.7	7.1	4.5	7.6
仕事を覚えるのが難しい	5.6	7.4	5.4	3.0	2.5
職場環境が障害に対応していない	8.8	3.7	8.9	4.5	7.6
その他	2.8	3.7	12.5	9.1	2.5
特にない	34.3	33.3	30.4	43.9	27.8
無回答	6.0	7.4	8.9	9.1	8.9

【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(52)	(136)	(51)	(83)	(11)	(7)
収入が少ない	51.9	48.5	51.0	43.4	54.5	42.9
体力的につらい	32.7	27.2	23.5	24.1	18.2	28.6
精神的につらい	40.4	41.2	33.3	32.5	18.2	28.6
職場の人間関係	30.8	21.3	27.5	22.9	9.1	-
通勤が大変	15.4	17.6	17.6	15.7	36.4	14.3
職場の障害理解が不足している	9.6	5.9	13.7	15.7	9.1	-
職場での相談相手がいない	5.8	17.6	21.6	15.7	9.1	14.3
仕事を覚えるのが難しい	21.2	10.3	11.8	16.9	9.1	-
職場環境が障害に対応していない	5.8	8.1	5.9	13.3	-	-
その他	1.9	8.1	3.9	6.0	-	-
特になし	25.0	16.2	9.8	20.5	27.3	28.6
無回答	3.8	5.1	2.0	2.4	-	14.3

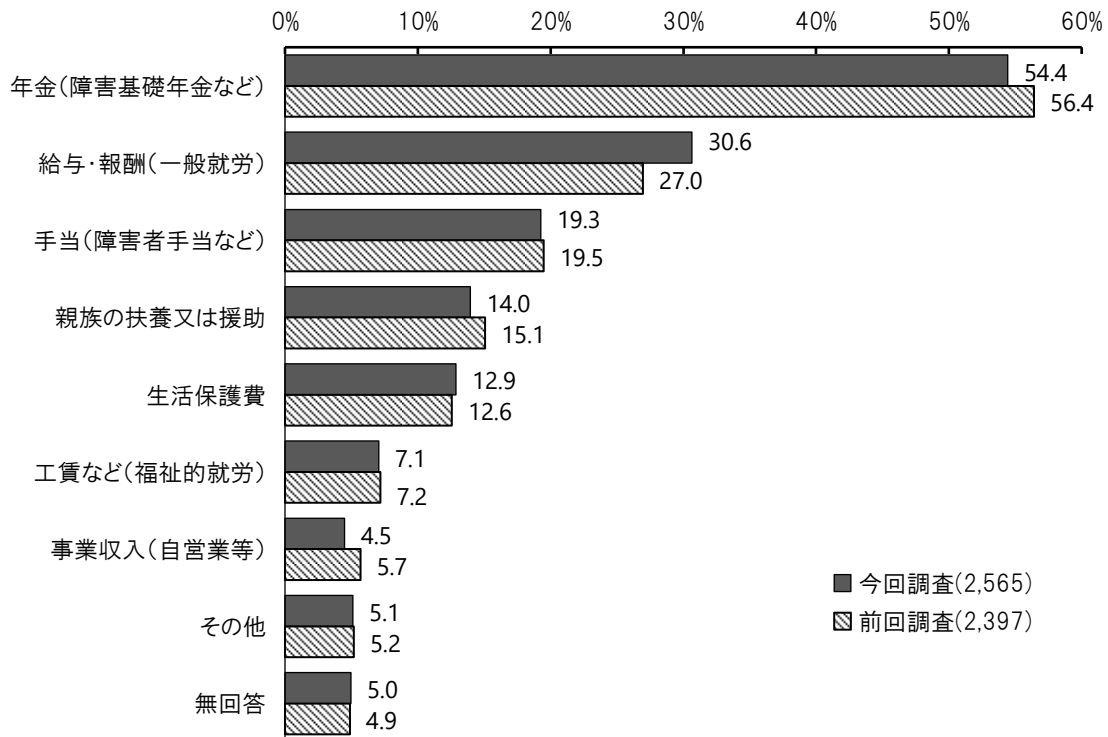
(4)主な収入の内訳 [複数回答]

問23 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きます。(〇は3つまで)

◆「年金(障害基礎年金など)」が54.4%

【全体】

- ・「年金(障害基礎年金など)」が54.4%で最も多く、次いで「給与・報酬(一般就労)」が30.6%、「手当(障害者手当など)」が19.3%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「年金(障害基礎年金など)」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「年金(障害基礎年金など)」以外では「手当(障害者手当など)」が6割以上となっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
年金(障害基礎年金など)	60.4	66.2	40.9	46.0	87.9
給与・報酬(一般就労)	25.9	27.1	36.1	37.7	3.4
手当(障害者手当など)	21.0	40.8	11.8	20.5	60.3
親族の扶養又は援助	10.5	22.6	17.0	11.9	32.8
生活保護費	11.3	8.5	24.0	7.3	1.7
工賃など(福祉的就労)	3.3	27.1	7.7	1.7	34.5
事業収入(自営業等)	6.1	-	2.7	6.3	-
その他	5.3	2.8	6.4	4.3	1.7
無回答	5.0	5.8	2.9	6.3	3.4

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
年金(障害基礎年金など)	55.7	66.7	64.3	75.1	56.4
給与・報酬(一般就労)	28.0	19.4	17.6	20.9	31.2
手当(障害者手当など)	26.2	29.6	21.3	20.2	17.0
親族の扶養又は援助	13.7	17.6	8.2	7.9	10.1
生活保護費	11.2	6.5	11.1	8.3	8.3
工賃など(福祉的就労)	6.1	3.7	2.0	1.6	0.9
事業収入(自営業等)	5.3	5.6	5.7	6.7	6.9
その他	5.9	4.6	6.1	4.0	3.7
無回答	3.8	8.3	7.0	5.9	6.0

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能 障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
年金(障害基礎年金など)	56.5	36.5	33.1	41.2	57.7	31.8
給与・報酬(一般就労)	18.8	39.9	25.2	45.9	30.8	22.7
手当(障害者手当など)	9.1	9.4	15.1	16.9	7.7	4.5
親族の扶養又は援助	18.2	15.7	15.1	21.6	30.8	4.5
生活保護費	36.4	23.9	35.3	15.5	15.4	63.6
工賃など(福祉的就労)	14.3	2.5	9.4	9.5	-	9.1
事業収入(自営業等)	0.6	2.5	2.9	3.4	7.7	-
その他	7.1	7.2	4.3	4.7	3.8	4.5
無回答	3.9	1.3	4.3	2.7	-	-

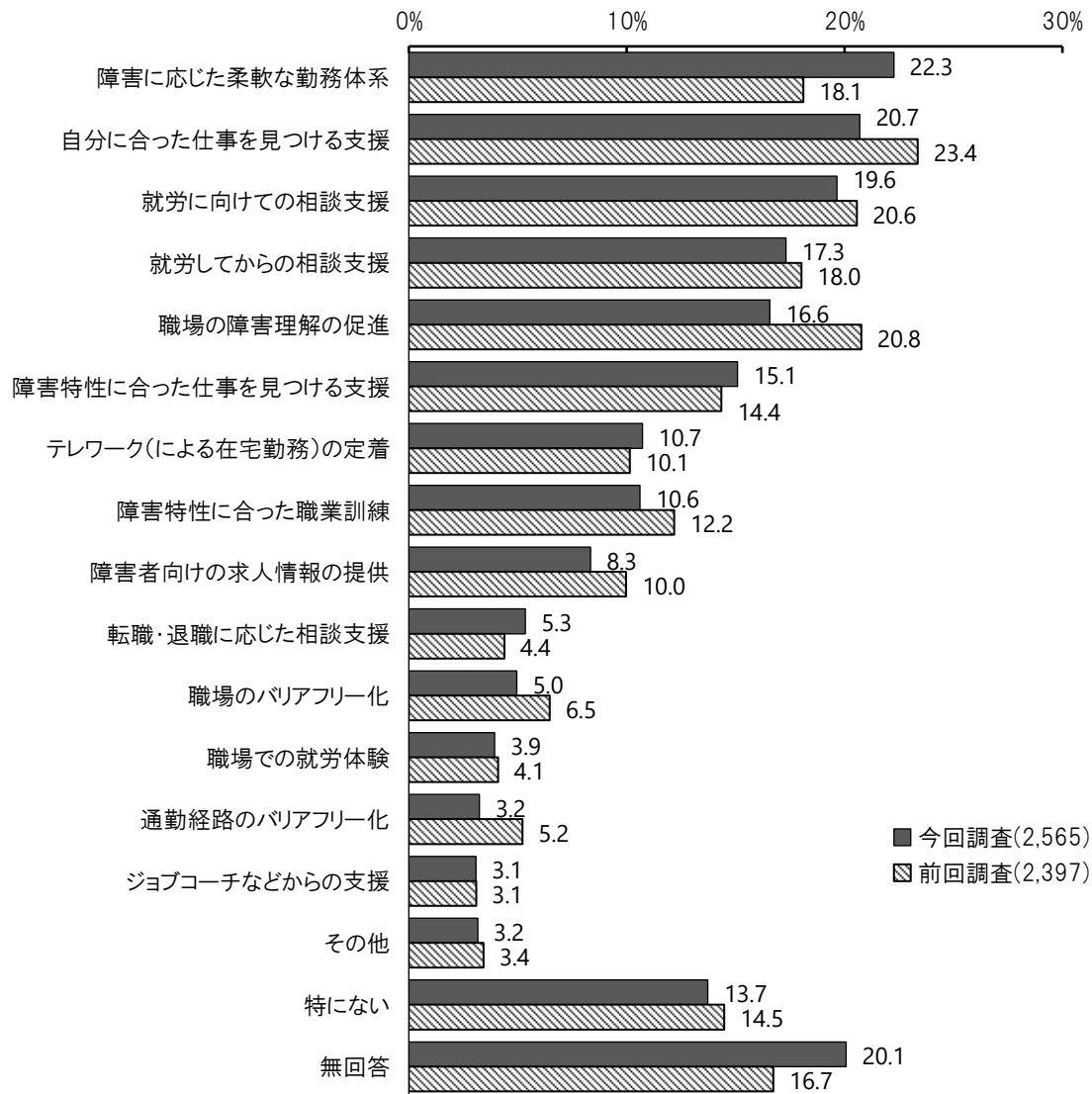
(5)就労のために必要な支援等 [複数回答]

問24 障害のある方が企業などで働くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆「障害に応じた柔軟な勤務体系」が22.3%

【全体】

・「障害に応じた柔軟な勤務体系」が22.3%で最も多く、次いで「自分に合った仕事を見つける支援」が20.7%、「就労に向けての相談支援」が19.6%などとなっています。「特にない」は13.7%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患は「障害に応じた柔軟な勤務体系」、知的障害は「自分に合った仕事を見つける支援」、精神障害は「就労に向けての相談支援」と「自分に合った仕事を見つける支援」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「障害特性に合った仕事を見つける支援」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・ 難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
障害に応じた柔軟な勤務体系	20.0	21.4	24.6	26.2	12.1
自分に合った仕事を見つける支援	17.0	27.4	25.2	21.5	17.2
就労に向けての相談支援	17.3	15.6	25.2	19.2	17.2
就労してからの相談支援	12.9	17.3	24.7	16.2	12.1
職場の障害理解の促進	14.3	21.2	19.3	15.2	22.4
障害特性に合った仕事を見つける支援	13.7	17.3	17.6	12.6	25.9
テレワーク(による在宅勤務)の定着	11.3	1.9	13.3	14.9	-
障害特性に合った職業訓練	9.1	14.3	13.3	8.3	19.0
障害者向けの求人情報の提供	9.9	3.8	9.2	9.6	1.7
転職・退職に応じた相談支援	4.7	4.1	7.4	6.3	1.7
職場のバリアフリー化	7.7	1.7	1.9	6.6	-
職場での就労体験	2.5	10.0	4.5	1.7	10.3
通勤経路のバリアフリー化	4.7	0.6	1.5	5.3	-
ジョブコーチなどからの支援	1.8	9.8	3.3	0.7	12.1
その他	3.4	1.9	4.0	3.6	1.7
特になし	15.9	15.0	9.9	13.6	6.9
無回答	22.5	17.3	14.0	19.9	32.8

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
障害に応じた柔軟な勤務体系	22.6	13.9	16.8	16.2	22.9
自分に合った仕事を見つける支援	17.0	12.0	16.0	16.6	16.5
就労に向けての相談支援	19.8	10.2	17.2	10.3	17.9
就労してからの相談支援	15.2	7.4	12.7	7.9	12.4
職場の障害理解の促進	15.2	7.4	11.1	17.4	11.9
障害特性に合った仕事を見つける支援	13.3	14.8	15.2	16.2	13.8
テレワーク(による在宅勤務)の定着	14.0	13.0	9.0	7.9	11.0
障害特性に合った職業訓練	9.9	7.4	11.9	6.7	8.3
障害者向けの求人情報の提供	11.9	7.4	8.2	9.1	7.3
転職・退職に応じた相談支援	5.3	1.9	4.5	4.0	4.6
職場のバリアフリー化	11.7	11.1	7.0	3.2	6.9
職場での就労体験	2.5	1.9	2.0	2.0	3.7
通勤経路のバリアフリー化	7.7	3.7	3.3	1.2	3.2
ジョブコーチなどからの支援	2.3	1.9	0.8	1.6	0.9
その他	3.0	7.4	4.5	3.6	3.2
特になし	13.2	22.2	15.6	16.2	19.3
無回答	19.3	23.1	24.6	30.0	21.6

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能 障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
障害に応じた柔軟な勤務体系	18.2	28.0	25.2	29.1	26.9	13.6
自分に合った仕事を見つける支援	24.0	28.0	18.7	29.1	26.9	18.2
就労に向けての相談支援	26.0	30.8	24.5	22.3	34.6	31.8
就労してからの相談支援	24.0	26.4	25.2	25.0	23.1	22.7
職場の障害理解の促進	18.2	20.1	17.3	25.0	15.4	9.1
障害特性に合った仕事を見つける支援	13.0	14.8	17.3	23.0	23.1	13.6
テレワーク(による在宅勤務)の定着	6.5	18.9	12.9	15.5	-	9.1
障害特性に合った職業訓練	13.0	12.3	13.7	18.9	26.9	9.1
障害者向けの求人情報の提供	9.1	11.6	8.6	8.1	19.2	4.5
転職・退職に応じた相談支援	6.5	9.7	5.0	8.8	-	4.5
職場のバリアフリー化	4.5	1.3	2.9	1.4	-	4.5
職場での就労体験	5.2	4.1	2.2	8.1	7.7	-
通勤経路のバリアフリー化	1.3	0.3	0.7	0.7	3.8	4.5
ジョブコーチなどからの支援	1.9	1.9	3.6	7.4	-	4.5
その他	1.9	2.5	5.8	6.8	15.4	4.5
特になし	15.6	7.5	11.5	4.1	7.7	18.2
無回答	15.6	12.6	18.7	10.1	3.8	18.2

5 外出やバリアフリーについて

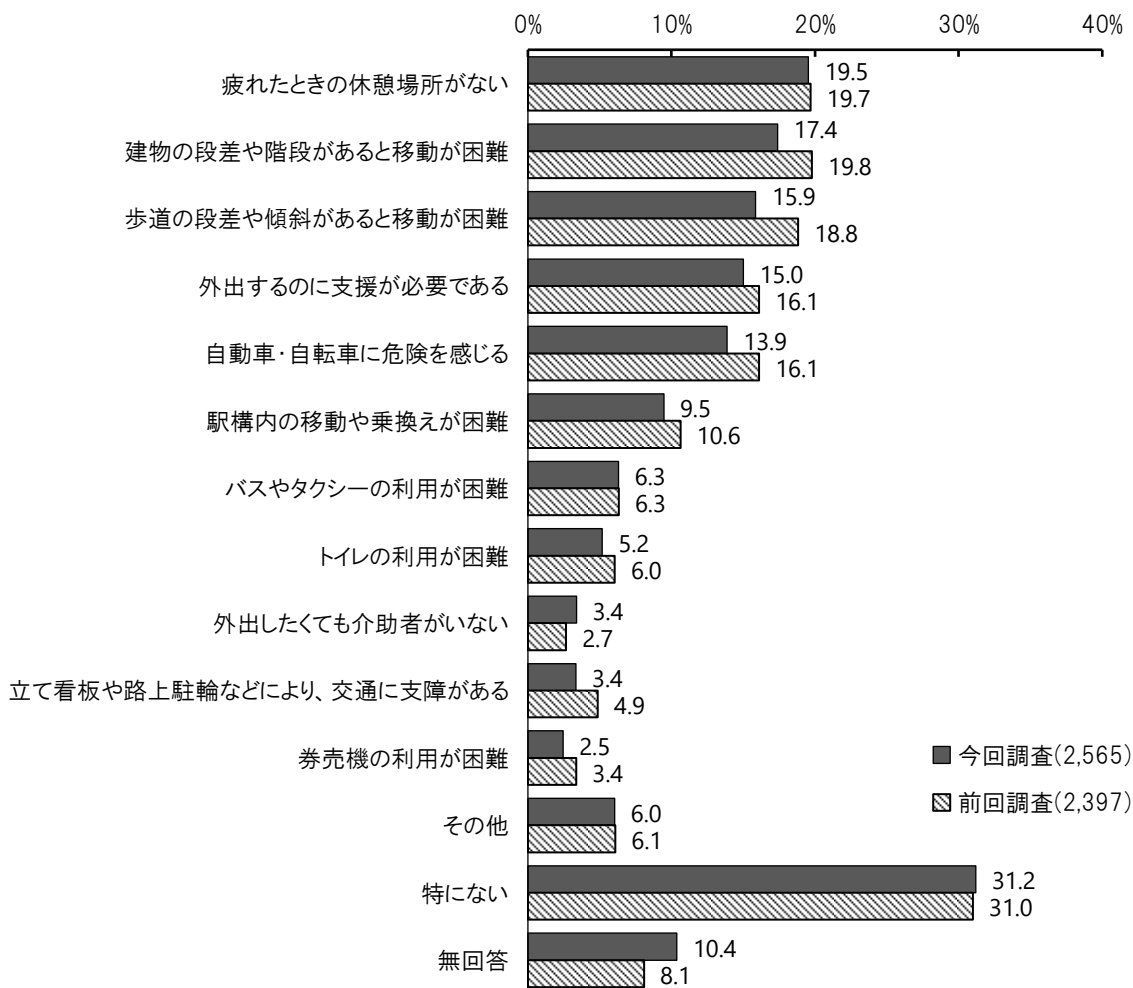
(1)外出に関して困っていること [複数回答]

問25 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。(〇は3つまで)

◆「疲れたときの休憩場所がない」が19.5%

【全体】

- ・「疲れたときの休憩場所がない」が19.5%で最も多く、次いで「建物の段差や階段があると移動が困難」が17.4%、「歩道の段差や傾斜があると移動が困難」が15.9%などとなっています。「特にない」は31.2%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患は「建物の段差や階段があると移動が困難」、知的障害は「外出するのに支援が必要である」、精神障害は「疲れたときの休憩場所がない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「外出するのに支援が必要である」が6割以上と多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
疲れたときの休憩場所がない	18.6	7.1	27.2	19.9	1.7
建物の段差や階段があると移動が困難	27.0	8.1	7.7	24.5	3.4
歩道の段差や傾斜があると移動が困難	24.2	6.8	6.9	20.2	6.9
外出するのに支援が必要である	16.3	32.1	9.3	8.9	60.3
自動車・自転車に危険を感じる	16.1	11.3	13.6	15.6	6.9
駅構内の移動や乗換えが困難	11.6	10.9	6.6	5.6	5.2
バスやタクシーの利用が困難	7.3	11.3	5.1	6.0	8.6
トイレの利用が困難	6.5	5.3	3.2	7.0	3.4
外出したくても介助者がいない	2.8	8.3	2.5	2.6	17.2
立て看板や路上駐輪などにより、 交通に支障がある	4.5	1.7	2.9	3.0	-
券売機の利用が困難	2.7	5.1	1.4	1.3	6.9
その他	6.1	5.1	8.1	6.0	8.6
特になし	22.0	31.8	40.5	32.1	15.5
無回答	11.9	12.2	6.6	10.6	19.0

【年齢別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(534)	(1,056)	(934)
疲れたときの休憩場所がない	18.4	18.8	20.9
建物の段差や階段があると移動が困難	9.4	16.6	23.2
歩道の段差や傾斜があると移動が困難	6.7	14.7	22.9
外出するのに支援が必要である	19.1	12.6	15.2
自動車・自転車に危険を感じる	11.6	14.3	14.8
駅構内の移動や乗換えが困難	9.4	9.5	9.4
バスやタクシーの利用が困難	7.1	6.5	5.6
トイレの利用が困難	5.6	5.3	4.7
外出したくても介助者がいない	4.9	3.2	2.7
立て看板や路上駐輪などにより、 交通に支障がある	1.7	3.9	3.7
券売機の利用が困難	2.8	2.6	2.1
その他	6.4	6.7	4.9
特になし	40.3	33.6	23.7
無回答	6.4	8.1	14.6

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
疲れたときの休憩場所がない	18.9	8.3	10.7	20.9	23.9
建物の段差や階段があると移動が困難	36.4	23.1	27.5	16.2	23.9
歩道の段差や傾斜があると移動が困難	30.1	16.7	29.1	17.8	20.2
外出するのに支援が必要である	18.6	26.9	25.0	14.2	13.3
自動車・自転車に危険を感じる	14.0	11.1	24.2	19.0	13.3
駅構内の移動や乗換えが困難	14.0	4.6	13.5	8.7	7.8
バスやタクシーの利用が困難	10.0	11.1	8.6	5.1	3.2
トイレの利用が困難	8.9	6.5	7.8	3.2	6.4
外出したくても介助者がいない	4.0	4.6	2.5	1.2	1.8
立て看板や路上駐輪などにより、 交通に支障がある	4.3	2.8	11.1	1.2	2.8
券売機の利用が困難	2.0	2.8	5.7	3.2	2.8
その他	5.3	6.5	9.4	7.5	2.8
特になし	15.3	22.2	6.1	26.9	36.2
無回答	11.7	16.7	17.2	11.9	9.6

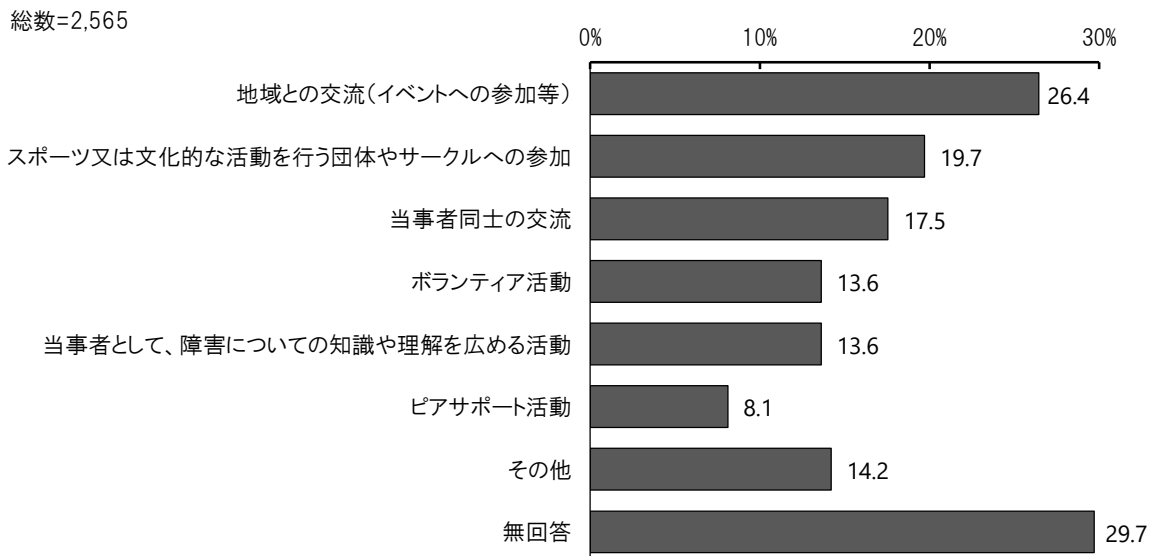
(2)興味・関心のある社会参加 [複数回答]

問26 あなたは、地域との交流やボランティア活動などの社会参加について、どのようなことに興味・関心がありますか。(〇はいくつでも)

◆「地域との交流(イベントへの参加等)」が26.4%

【全体】

- ・「地域との交流(イベントへの参加等)」が26.4%で最も多く、次いで「スポーツ又は文化的な活動を行う団体やサークルへの参加」が19.7%、「当事者同士の交流」が17.5%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「地域との交流(イベントへの参加等)」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「地域との交流(イベントへの参加等)」が多くなっています。

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
地域との交流(イベントへの参加等)	25.1	35.0	26.1	24.2	39.7
スポーツ又は文化的な活動を行う団体やサークルへの参加	17.5	25.6	21.3	19.5	25.9
当事者同士の交流	15.1	20.7	19.3	18.2	19.0
ボランティア活動	11.9	9.8	17.8	14.2	6.9
当事者として、障害についての知識や理解を広める活動	13.3	9.8	17.1	11.9	17.2
ピアサポート活動	7.3	6.2	11.5	6.3	1.7
その他	14.4	13.9	16.0	13.6	13.8
無回答	33.3	25.0	24.7	29.8	24.1

【年齢別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	18~39歳	40~64歳	65歳以上
総数	(534)	(1,056)	(934)
地域との交流(イベントへの参加等)	30.7	27.8	22.4
スポーツ又は文化的な活動を行う団体やサークルへの参加	27.3	20.5	14.2
当事者同士の交流	24.3	19.9	11.0
ボランティア活動	17.4	15.2	9.9
当事者として、障害についての知識や理解を広める活動	16.3	16.4	8.9
ピアサポート活動	9.9	9.8	5.0
その他	12.2	15.4	14.2
無回答	21.2	23.5	40.6

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
地域との交流(イベントへの参加等)	28.5	25.9	23.8	26.1	24.3
スポーツ又は文化的な活動を行う団体やサークルへの参加	19.4	16.7	16.8	18.2	17.9
当事者同士の交流	16.0	19.4	13.9	17.8	13.8
ボランティア活動	14.0	8.3	9.4	9.9	11.5
当事者として、障害についての知識や理解を広める活動	16.1	14.8	11.1	15.8	8.3
ピアサポート活動	6.8	7.4	8.6	9.9	4.6
その他	13.7	21.3	18.4	8.7	15.6
無回答	28.3	33.3	38.9	34.4	32.1

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
地域との交流(イベントへの参加等)	27.3	24.2	23.7	31.1	26.9	27.3
スポーツ又は文化的な活動を行う団体やサークルへの参加	20.1	20.4	20.1	32.4	38.5	18.2
当事者同士の交流	16.9	18.6	19.4	31.8	34.6	22.7
ボランティア活動	19.5	17.6	20.9	16.9	19.2	18.2
当事者として、障害についての知識や理解を広める活動	16.9	18.6	22.3	23.6	26.9	13.6
ピアサポート活動	14.3	12.6	14.4	12.2	15.4	4.5
その他	17.5	15.7	20.9	16.2	11.5	13.6
無回答	26.0	23.6	25.2	16.2	15.4	31.8

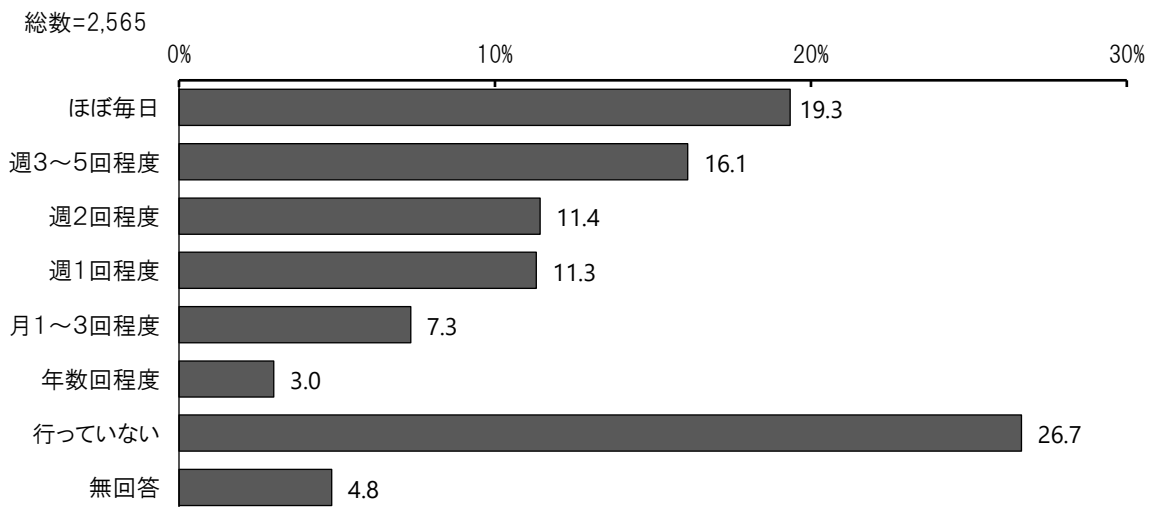
(3)スポーツや運動をする頻度

問27 あなたが、スポーツや運動(気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わない階段移動、体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの等を含む。)をする頻度はどの程度ですか。(○はひとつ)

◆「行っていない」が26.7%

【全体】

- ・「行っていない」が26.7%で最も多く、次いで「ほぼ毎日」が19.3%、「週3～5回程度」が16.1%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患は共に「行っていない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「週1回程度」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
ほぼ毎日	19.9	20.9	16.3	18.9	22.4
週3～5回程度	14.9	15.2	16.9	14.2	15.5
週2回程度	10.9	10.0	13.4	11.9	10.3
週1回程度	10.1	12.0	12.8	11.9	24.1
月1～3回程度	6.1	9.6	9.9	5.0	5.2
年数回程度	2.3	3.6	3.7	4.3	1.7
行っていない	29.9	23.9	25.0	28.1	13.8
無回答	5.9	4.7	2.1	5.6	6.9

【年齢別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(534)	(1,056)	(934)
ほぼ毎日	19.1	18.8	20.2
週3～5回程度	17.8	16.1	15.2
週2回程度	11.8	11.5	11.1
週1回程度	14.0	11.5	9.4
月1～3回程度	13.1	7.7	3.6
年数回程度	4.7	3.6	1.4
行っていない	17.8	27.2	31.5
無回答	1.7	3.7	7.5

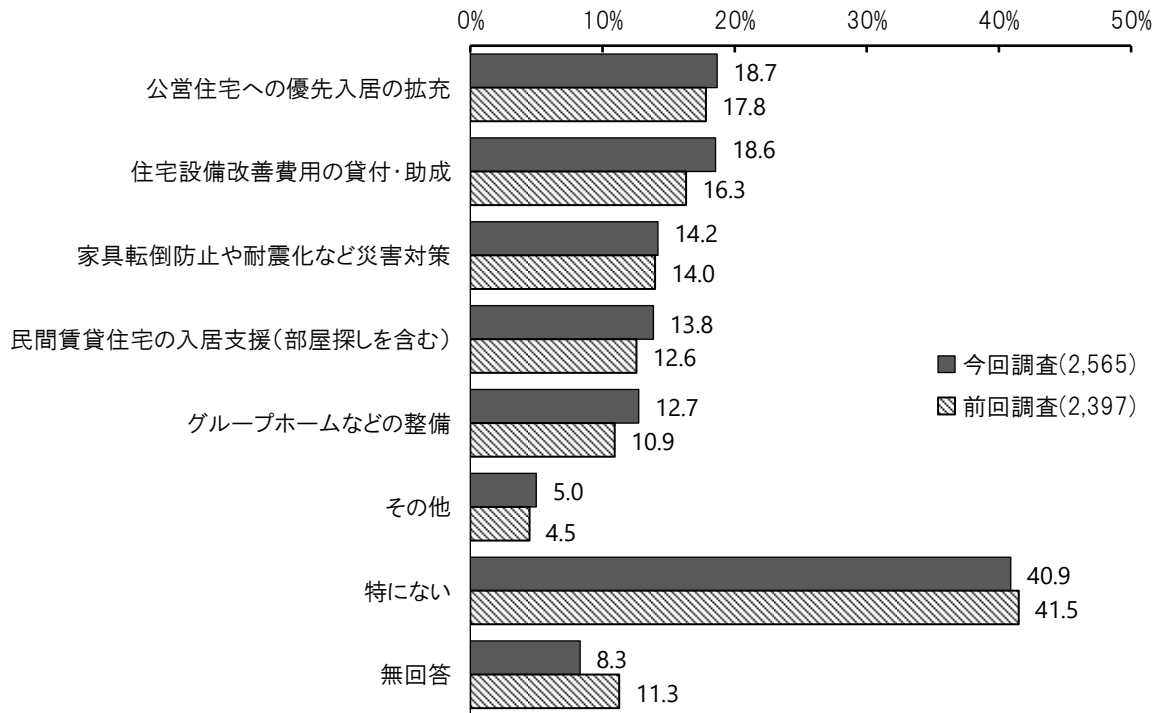
(4)住まいに関して必要な支援 [複数回答]

問28 あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。(○はいくつでも)

◆「公営住宅への優先入居の拡充」が18.7%

【全体】

- ・「公営住宅への優先入居の拡充」が18.7%で最も多く、次いで「住宅設備改善費用の貸付・助成」が18.6%、「家具転倒防止や耐震化など災害対策」が14.2%などとなっています。「特にない」は40.9%となっています。



【障害別】

- ・身体障害は「住宅設備改善費用の貸付・助成」、知的障害は「グループホームなどの整備」、精神障害は「公営住宅への優先入居の拡充」、難病・特定疾患は「公営住宅への優先入居の拡充」と「住宅設備改善費用の貸付・助成」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホームなどの整備」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
公営住宅への優先入居の拡充	18.4	12.4	24.4	20.2	5.2
住宅設備改善費用の貸付・助成	22.0	12.8	16.0	20.2	17.2
家具転倒防止や耐震化など災害対策	15.9	10.0	13.2	12.3	8.6
民間賃貸住宅の入居支援(部屋探しを含む)	13.3	10.0	18.7	13.9	15.5
グループホームなどの整備	8.0	42.3	11.8	7.0	69.0
その他	4.3	6.4	7.7	4.6	12.1
特にない	40.3	34.2	39.9	44.4	12.1
無回答	9.7	6.4	5.9	8.3	8.6

【年齢別】

- ・18～39歳は「グループホームなどの整備」、40～64歳は「公営住宅への優先入居の拡充」、65歳以上は「住宅設備改善費用の貸付・助成」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(534)	(1,056)	(934)
公営住宅への優先入居の拡充	18.7	25.5	10.3
住宅設備改善費用の貸付・助成	16.5	20.3	17.7
家具転倒防止や耐震化など災害対策	11.4	12.6	17.0
民間賃貸住宅の入居支援(部屋探しを含む)	19.7	17.8	5.7
グループホームなどの整備	24.2	12.9	5.8
その他	7.3	5.1	3.6
特にない	40.6	38.9	44.0
無回答	3.2	5.4	14.3

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
公営住宅への優先入居の拡充	20.8	18.5	22.1	13.8	16.5
住宅設備改善費用の貸付・助成	28.5	30.6	16.8	19.0	25.7
家具転倒防止や耐震化など災害対策	18.0	13.9	16.0	14.6	13.3
民間賃貸住宅の入居支援(部屋探しを含む)	16.3	18.5	12.3	11.5	14.7
グループホームなどの整備	11.7	15.7	8.6	4.7	7.3
その他	5.6	4.6	5.3	2.8	2.3
特にない	35.4	31.5	38.1	43.5	43.6
無回答	6.9	10.2	11.5	15.0	8.3

6 福祉サービスについて

(1)障害福祉サービス等の利用状況、利用意向

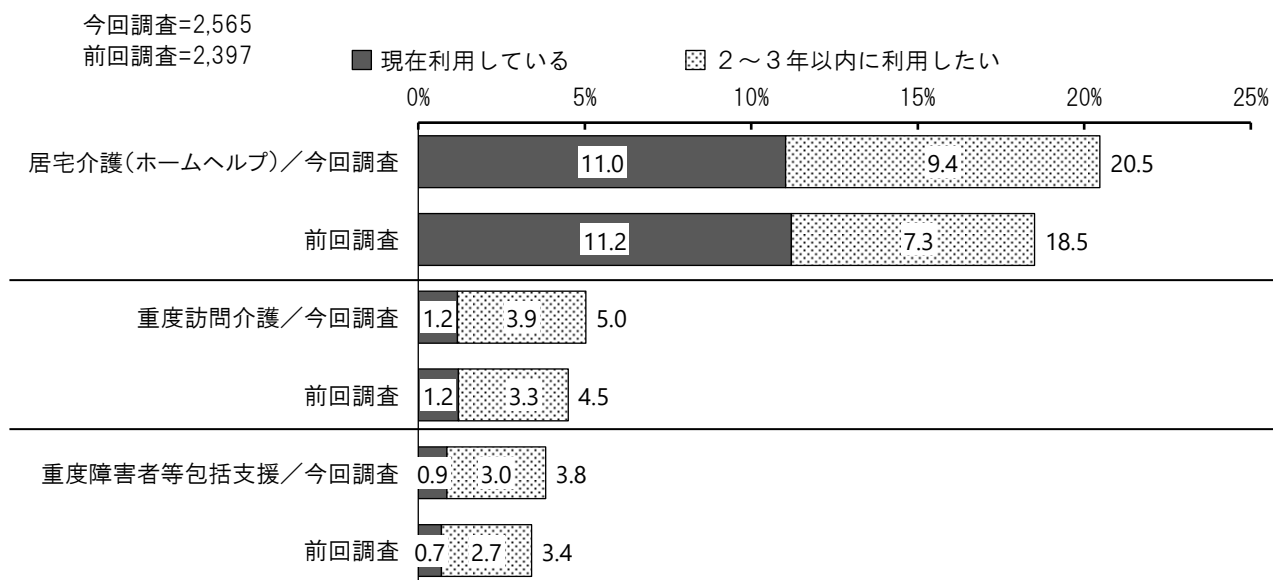
問29 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いますか。

①自宅での生活を支援するサービス

◆「現在利用している」と「2～3年以内に利用したい」を合わせた『サービスの需要』（以下『サービスの需要』と表記）は、「居宅介護」で**20.5%**

【全体】

- ・「現在利用している」は、居宅介護（ホームヘルプ）が11.0%、重度訪問介護が1.2%、重度障害者等包括支援が0.9%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、居宅介護（ホームヘルプ）が9.4%、重度訪問介護が3.9%、重度障害者等包括支援が3.0%となっています。



サービス名	サービスの内容
居宅介護（ホームヘルプ）	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。
重度訪問介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。
重度障害者等包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	居宅介護 (ホームヘルプ)		重度訪問介護		重度障害者等 包括支援	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い
全体	2,565 100.0	283 11.0	242 9.4	30 1.2	99 3.9	22 0.9	76 3.0
身体障害	1,350 100.0	199 14.7	134 9.9	20 1.5	61 4.5	14 1.0	46 3.4
知的障害	468 100.0	64 13.7	59 12.6	6 1.3	32 6.8	4 0.9	23 4.9
精神障害	729 100.0	55 7.5	58 8.0	8 1.1	16 2.2	5 0.7	16 2.2
難病・特定疾患	302 100.0	32 10.6	24 7.9	2 0.7	12 4.0	2 0.7	12 4.0
強度行動障害	58 100.0	16 27.6	11 19.0	1 1.7	7 12.1	- -	4 6.9

【身体障害の種類別】

上段:人 下段:%	全体	居宅介護 (ホームヘルプ)		重度訪問介護		重度障害者等 包括支援	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い
全体	1,350 100.0	199 14.7	134 9.9	20 1.5	61 4.5	14 1.0	46 3.4
肢体不自由	607 100.0	125 20.6	58 9.6	15 2.5	36 5.9	10 1.6	26 4.3
音声・言語・ そしゃく機能障害	108 100.0	23 21.3	7 6.5	5 4.6	7 6.5	4 3.7	9 8.3
視覚障害	244 100.0	44 18.0	30 12.3	2 0.8	16 6.6	2 0.8	10 4.1
聴覚・ 平衡機能障害	253 100.0	24 9.5	23 9.1	3 1.2	9 3.6	2 0.8	8 3.2
内部障害	218 100.0	25 11.5	18 8.3	3 1.4	8 3.7	2 0.9	6 2.8

【精神障害の種類別】

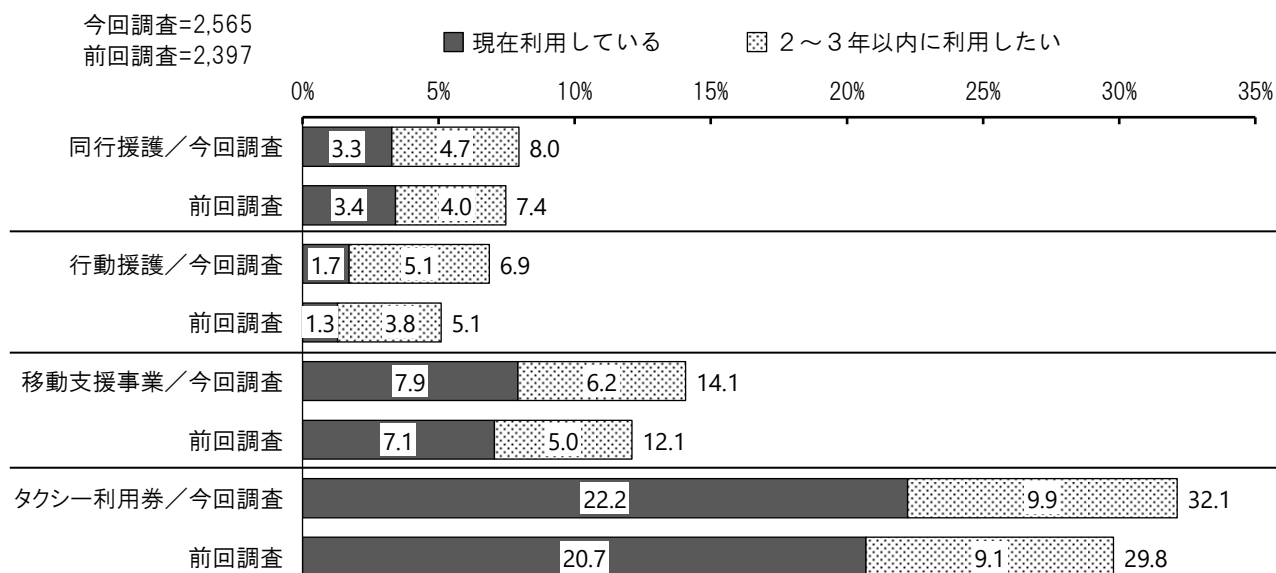
上段:人 下段:%	全体	居宅介護 (ホームヘルプ)	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い
全体	729 100.0	55 7.5	58 8.0
統合失調症	154 100.0	17 11.0	7 4.5
気分障害	318 100.0	18 5.7	25 7.9
神経症	139 100.0	8 5.8	12 8.6
発達障害	148 100.0	9 6.1	16 10.8
高次脳機能障害	26 100.0	3 11.5	4 15.4
依存症	22 100.0	3 13.6	1 4.5

②外出を支援するサービス

◆タクシー利用券のサービスの需要は32.1%

【全体】

- ・「現在利用している」は、同行援護が3.3%、行動援護が1.7%、移動支援事業が7.9%、タクシー利用券が22.2%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、同行援護が4.7%、行動援護が5.1%、移動支援事業が6.2%、タクシー利用券が9.9%となっています。



サービス名	サービスの内容
同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。
行動援護	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。
移動支援事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。
タクシー利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャー利用券を別に交付します。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	同行援護		行動援護		移動支援事業		タクシー利用券	
		現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい
全体	2,565 100.0	84 3.3	120 4.7	44 1.7	132 5.1	203 7.9	158 6.2	570 22.2	254 9.9
身体障害	1,350 100.0	70 5.2	80 5.9	22 1.6	78 5.8	86 6.4	86 6.4	495 36.7	146 10.8
知的障害	468 100.0	13 2.8	23 4.9	20 4.3	33 7.1	148 31.6	57 12.2	96 20.5	33 7.1
精神障害	729 100.0	7 1.0	19 2.6	8 1.1	27 3.7	34 4.7	38 5.2	34 4.7	70 9.6
難病・特定疾患	302 100.0	4 1.3	14 4.6	5 1.7	15 5.0	10 3.3	14 4.6	57 18.9	37 12.3
強度行動障害	58 100.0	1 1.7	3 5.2	7 12.1	9 15.5	31 53.4	10 17.2	25 43.1	3 5.2

【身体障害の種類別】

上段:人 下段:%	全体	同行援護		行動援護		移動支援事業		タクシー利用券	
		現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい
全体	1,350 100.0	70 5.2	80 5.9	22 1.6	78 5.8	86 6.4	86 6.4	495 36.7	146 10.8
肢体不自由	607 100.0	16 2.6	24 4.0	13 2.1	36 5.9	66 10.9	45 7.4	288 47.4	72 11.9
音声・言語・ そしゃく機能障害	108 100.0	3 2.8	7 6.5	4 3.7	8 7.4	11 10.2	8 7.4	40 37.0	11 10.2
視覚障害	244 100.0	48 19.7	43 17.6	6 2.5	22 9.0	14 5.7	18 7.4	110 45.1	22 9.0
聴覚・ 平衡機能障害	253 100.0	7 2.8	10 4.0	2 0.8	16 6.3	4 1.6	18 7.1	32 12.6	29 11.5
内部障害	218 100.0	9 4.1	5 2.3	6 2.8	12 5.5	15 6.9	9 4.1	107 49.1	16 7.3

【精神障害の種類別】

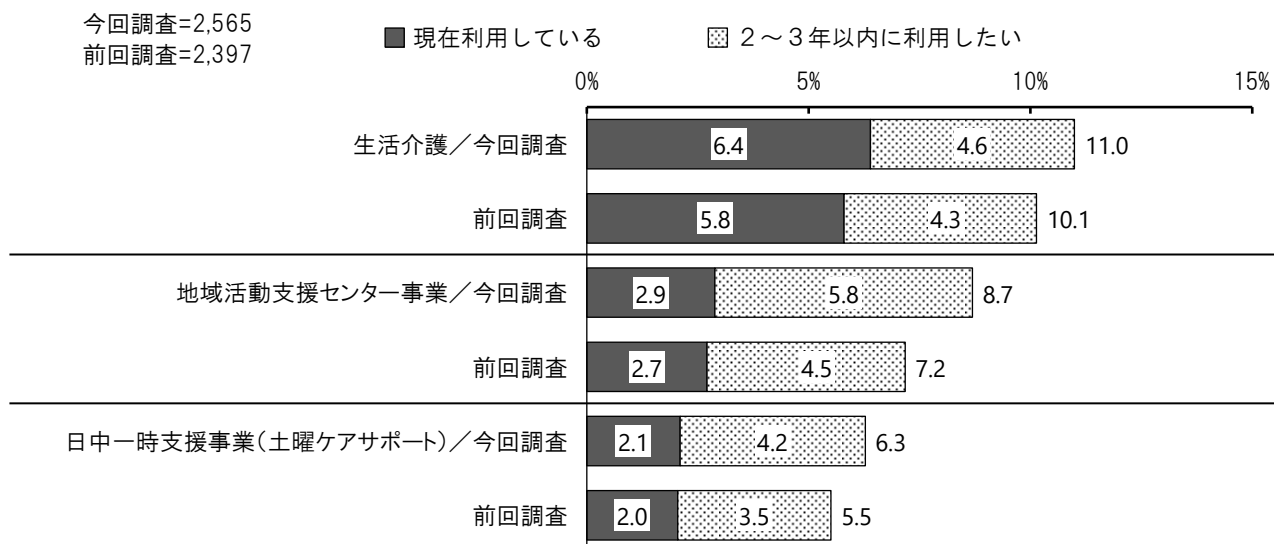
上段:人 下段:%	全体	移動支援事業	
		現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい
全体	729 100.0	34 4.7	38 5.2
統合失調症	154 100.0	5 3.2	8 5.2
気分障害	318 100.0	3 0.9	14 4.4
神経症	139 100.0	4 2.9	11 7.9
発達障害	148 100.0	15 10.1	8 5.4
高次脳機能障害	26 100.0	1 3.8	3 11.5
依存症	22 100.0	-	-

③日中の活動を支援するサービス

◆生活介護のサービスの需要は11.0%

【全体】

- ・「現在利用している」は、生活介護が6.4%、地域活動支援センター事業が2.9%、日中一時支援事業(土曜ケアサポート)が2.1%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、生活介護が4.6%、地域活動支援センター事業が5.8%、日中一時支援事業(土曜ケアサポート)が4.2%となっています。



サービス名	サービスの内容
生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。
地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。
日中一時支援事業(土曜ケアサポート)	生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	生活介護		地域活動支援センター事業		日中一時支援事業(土曜ケアサポート)	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,565 100.0	164 6.4	118 4.6	74 2.9	149 5.8	54 2.1	107 4.2
身体障害	1,350 100.0	93 6.9	70 5.2	34 2.5	81 6.0	33 2.4	55 4.1
知的障害	468 100.0	94 20.1	25 5.3	25 5.3	37 7.9	42 9.0	37 7.9
精神障害	729 100.0	24 3.3	25 3.4	24 3.3	34 4.7	8 1.1	26 3.6
難病・特定疾患	302 100.0	13 4.3	16 5.3	7 2.3	17 5.6	3 1.0	7 2.3
強度行動障害	58 100.0	28 48.3	2 3.4	7 12.1	5 8.6	8 13.8	10 17.2

【身体障害の種類別】

上段:人 下段:%	全体	生活介護		地域活動支援 センター事業		日中一時支援事業 (土曜ケアサポート)	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	1,350 100.0	93 6.9	70 5.2	34 2.5	81 6.0	33 2.4	55 4.1
肢体不自由	607 100.0	69 11.4	34 5.6	16 2.6	34 5.6	28 4.6	24 4.0
音声・言語・ そしゃく機能障害	108 100.0	19 17.6	7 6.5	7 6.5	6 5.6	8 7.4	5 4.6
視覚障害	244 100.0	15 6.1	19 7.8	13 5.3	23 9.4	6 2.5	12 4.9
聴覚・ 平衡機能障害	253 100.0	9 3.6	14 5.5	6 2.4	20 7.9	3 1.2	11 4.3
内部障害	218 100.0	14 6.4	9 4.1	2 0.9	12 5.5	5 2.3	7 3.2

【精神障害の種類別】

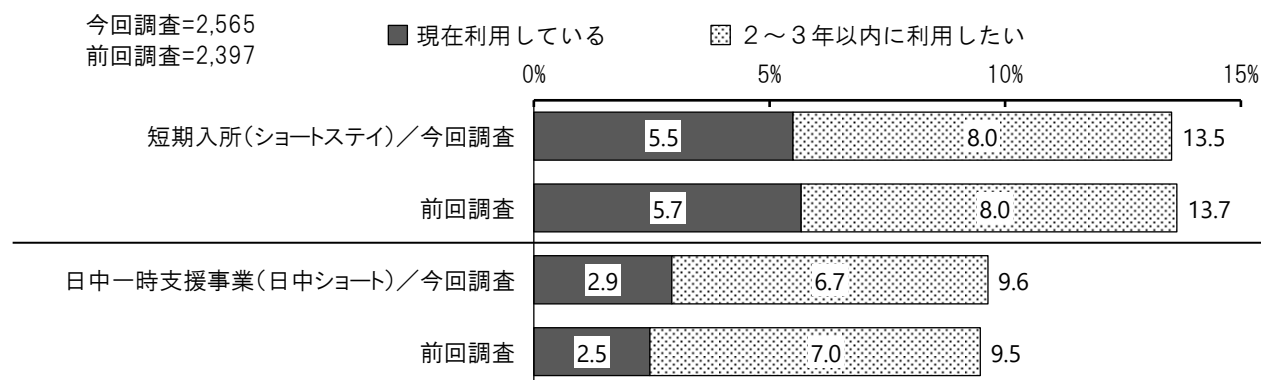
上段:人 下段:%	全体	地域活動支援 センター事業	
		現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	729 100.0	24 3.3	34 4.7
統合失調症	154 100.0	9 5.8	8 5.2
気分障害	318 100.0	4 1.3	17 5.3
神経症	139 100.0	7 5.0	9 6.5
発達障害	148 100.0	6 4.1	6 4.1
高次脳機能障害	26 100.0	1 3.8	1 3.8
依存症	22 100.0	2 9.1	- -

④一時的な支援を行うサービス

◆短期入所のサービスの需要は13.5%

【全体】

- ・「現在利用している」は、短期入所(ショートステイ)が5.5%、日中一時支援事業(日中ショート)が2.9%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、短期入所(ショートステイ)が8.0%、日中一時支援事業(日中ショート)が6.7%となっています。



サービス名	サービスの内容
短期入所(ショートステイ)	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。
日中一時支援事業(日中ショート)	介護を行う方の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	短期入所 (ショートステイ)		日中一時支援事業 (日中ショート)	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	2,565 100.0	141 5.5	206 8.0	75 2.9	172 6.7
身体障害	1,350 100.0	61 4.5	121 9.0	39 2.9	99 7.3
知的障害	468 100.0	88 18.8	62 13.2	39 8.3	58 12.4
精神障害	729 100.0	25 3.4	37 5.1	11 1.5	31 4.3
難病・特定疾患	302 100.0	11 3.6	23 7.6	7 2.3	15 5.0
強度行動障害	58 100.0	27 46.6	10 17.2	12 20.7	8 13.8

【身体障害の種類別】

上段:人 下段:%	全体	短期入所 (ショートステイ)		日中一時支援事業 (日中ショート)	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	1,350 100.0	61 4.5	121 9.0	39 2.9	99 7.3
肢体不自由	607 100.0	45 7.4	49 8.1	27 4.4	52 8.6
音声・言語・ そしゃく機能障害	108 100.0	12 11.1	11 10.2	5 4.6	13 12.0
視覚障害	244 100.0	10 4.1	37 15.2	4 1.6	25 10.2
聴覚・ 平衡機能障害	253 100.0	6 2.4	29 11.5	6 2.4	17 6.7
内部障害	218 100.0	9 4.1	15 6.9	7 3.2	15 6.9

【精神障害の種類別】

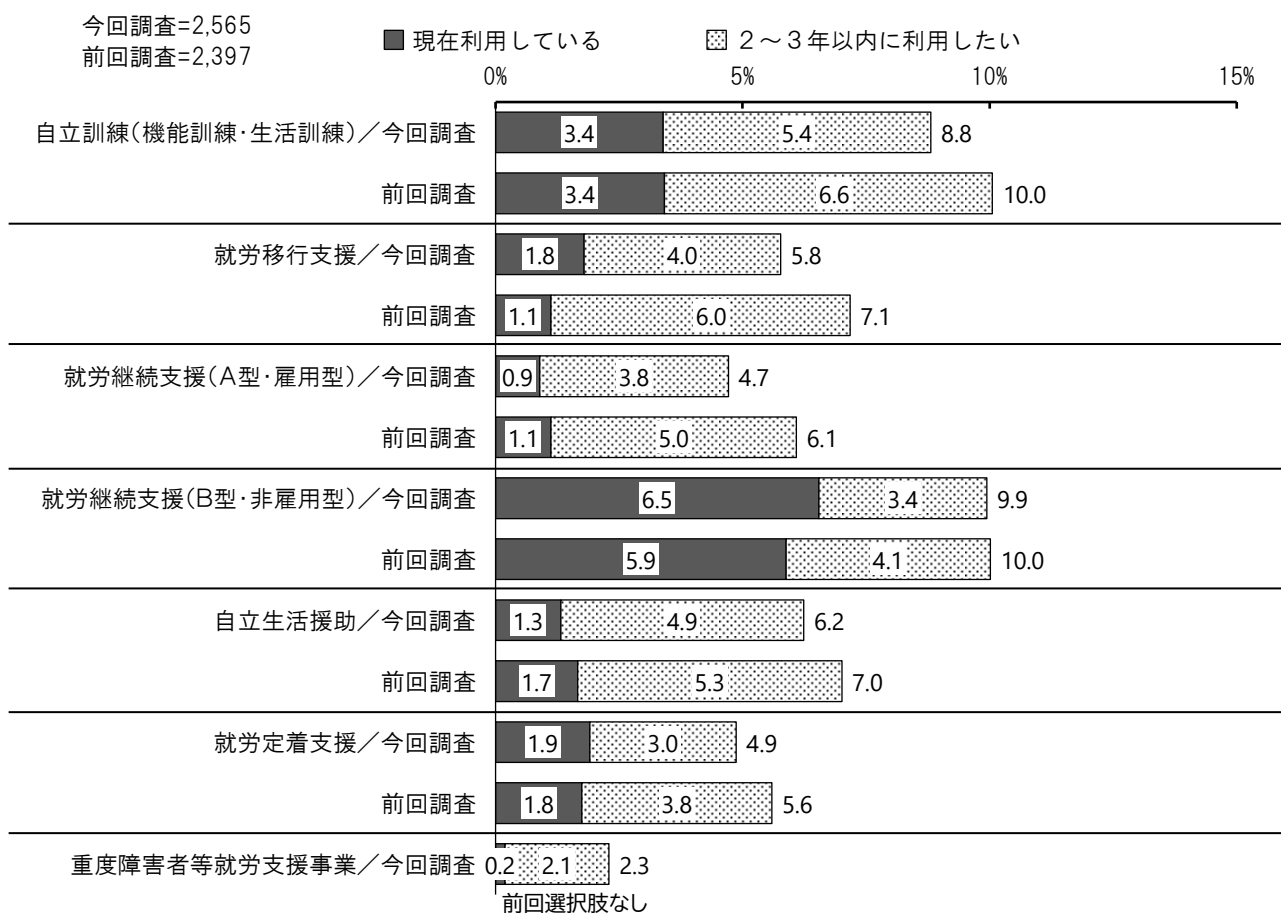
上段:人 下段:%	全体	短期入所 (ショートステイ)	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	729 100.0	25 3.4	37 5.1
統合失調症	154 100.0	6 3.9	7 4.5
気分障害	318 100.0	6 1.9	15 4.7
神経症	139 100.0	2 1.4	6 4.3
発達障害	148 100.0	9 6.1	9 6.1
高次脳機能障害	26 100.0	1 3.8	- -
依存症	22 100.0	- -	3 13.6

⑤自立や就労を支援するサービス

◆就労継続支援(B型・非雇用型)のサービスの需要は9.9%

【全体】

- ・「現在利用している」は、自立訓練(機能訓練・生活訓練)が3.4%、就労移行支援が1.8%、就労継続支援(A型・雇用型)が0.9%、就労継続支援(B型・非雇用型)が6.5%、自立生活援助が1.3%、就労定着支援が1.9%、重度障害者等就労支援事業が0.2%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、自立訓練(機能訓練・生活訓練)が5.4%、就労移行支援が4.0%、就労継続支援(A型・雇用型)が3.8%、就労継続支援(B型・非雇用型)が3.4%、自立生活援助が4.9%、就労定着支援が3.0%、重度障害者等就労支援事業が2.1%となっています。



サービス名	サービスの内容
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。通所型と宿泊型があります。
就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。
就労継続支援 (A型・雇成型)	障害者に雇成型の就労や生産活動の機会を提供します。
就労継続支援 (B型・非雇成型)	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。
自立生活援助	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。
就労定着支援	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。
重度障害者等 就労支援事業	重度障害者等に対する就労支援として、雇用施策と連動して、通勤、職場等で必要となる支援を行います。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	自立訓練(機能 訓練・生活訓練)		就労移行支援		就労継続支援 (A型・雇成型)		就労継続支援 (B型・非雇成型)	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	2,565 100.0	87 3.4	139 5.4	46 1.8	102 4.0	23 0.9	98 3.8	168 6.5	87 3.4
身体障害	1,350 100.0	56 4.1	73 5.4	20 1.5	39 2.9	7 0.5	45 3.3	40 3.0	36 2.7
知的障害	468 100.0	26 5.6	27 5.8	15 3.2	26 5.6	11 2.4	22 4.7	114 24.4	22 4.7
精神障害	729 100.0	17 2.3	43 5.9	21 2.9	44 6.0	10 1.4	41 5.6	57 7.8	39 5.3
難病・特定疾患	302 100.0	8 2.6	18 6.0	4 1.3	7 2.3	-	7 2.3	8 2.6	5 1.7
強度行動障害	58 100.0	6 10.3	4 6.9	-	2 3.4	1 1.7	1 1.7	10 17.2	2 3.4

上段:人 下段:%	自立生活援助		就労定着支援		重度障害者等 就労支援事業	
	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	34 1.3	126 4.9	49 1.9	76 3.0	5 0.2	54 2.1
身体障害	17 1.3	61 4.5	11 0.8	32 2.4	1 0.1	29 2.1
知的障害	7 1.5	28 6.0	23 4.9	19 4.1	2 0.4	15 3.2
精神障害	12 1.6	52 7.1	31 4.3	33 4.5	2 0.3	17 2.3
難病・特定疾患	-	10 3.3	3 1.0	5 1.7	-	4 1.3
強度行動障害	-	4 6.9	-	-	2 3.4	1 1.7

【身体障害の種類別】

上段:人 下段:%	全体	自立訓練(機能 訓練・生活訓練)		就労移行支援		就労継続支援 (A型・雇用型)		就労継続支援 (B型・非雇用型)	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い
全体	1,350 100.0	56 4.1	73 5.4	20 1.5	39 2.9	7 0.5	45 3.3	40 3.0	36 2.7
肢体不自由	607 100.0	33 5.4	34 5.6	11 1.8	22 3.6	4 0.7	29 4.8	31 5.1	21 3.5
音声・言語・ そしゃく機能障害	108 100.0	6 5.6	4 3.7	3 2.8	4 3.7	1 0.9	5 4.6	6 5.6	5 4.6
視覚障害	244 100.0	11 4.5	20 8.2	2 0.8	10 4.1	1 0.4	11 4.5	4 1.6	11 4.5
聴覚・ 平衡機能障害	253 100.0	7 2.8	13 5.1	- -	7 2.8	2 0.8	7 2.8	6 2.4	6 2.4
内部障害	218 100.0	13 6.0	8 3.7	3 1.4	3 1.4	1 0.5	4 1.8	3 1.4	4 1.8

上段:人 下段:%	自立生活援助		就労定着支援		重度障害者等 就労支援事業	
	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年以 内に 利用 した い
全体	17 1.3	61 4.5	11 0.8	32 2.4	1 0.1	29 2.1
肢体不自由	8 1.3	36 5.9	6 1.0	18 3.0	1 0.2	13 2.1
音声・言語・ そしゃく機能障害	2 1.9	7 6.5	3 2.8	5 4.6	1 0.9	3 2.8
視覚障害	4 1.6	15 6.1	2 0.8	9 3.7	-	12 4.9
聴覚・ 平衡機能障害	3 1.2	12 4.7	1 0.4	8 3.2	-	6 2.4
内部障害	5 2.3	6 2.8	1 0.5	3 1.4	-	3 1.4

【精神障害の種類別】

上段:人 下段:%	全体	自立訓練(機能 訓練・生活訓練)		就労移行支援		就労継続支援 (A型・雇用型)		就労継続支援 (B型・非雇用型)	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	729 100.0	17 2.3	43 5.9	21 2.9	44 6.0	10 1.4	41 5.6	57 7.8	39 5.3
統合失調症	154 100.0	5 3.2	7 4.5	5 3.2	7 4.5	2 1.3	8 5.2	23 14.9	6 3.9
気分障害	318 100.0	7 2.2	21 6.6	11 3.5	23 7.2	4 1.3	21 6.6	13 4.1	21 6.6
神経症	139 100.0	1 0.7	10 7.2	4 2.9	13 9.4	3 2.2	9 6.5	10 7.2	11 7.9
発達障害	148 100.0	8 5.4	13 8.8	3 2.0	14 9.5	1 0.7	14 9.5	11 7.4	15 10.1
高次脳機能障害	26 100.0	- -	3 11.5	1 3.8	1 3.8	1 3.8	1 3.8	1 3.8	1 3.8
依存症	22 100.0	2 9.1	- -	1 4.5	1 4.5	- -	1 4.5	2 9.1	1 4.5

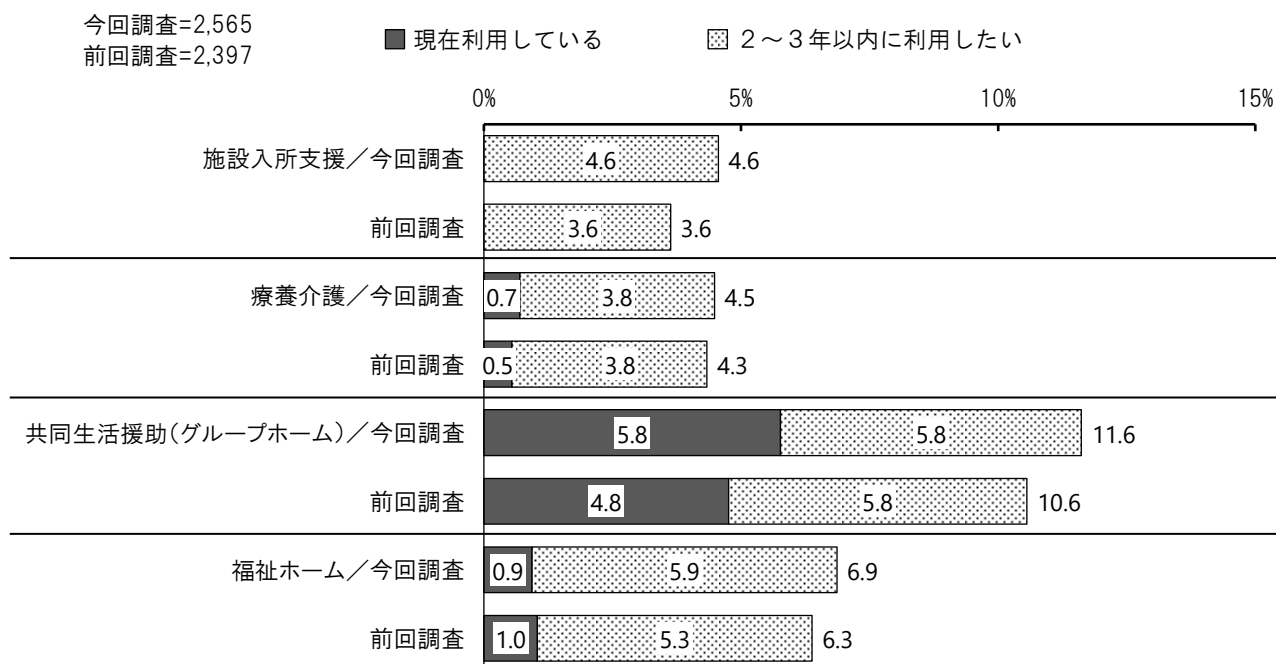
上段:人 下段:%	自立生活援助		就労定着支援		重度障害者等 就労支援事業	
	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	12 1.6	52 7.1	31 4.3	33 4.5	2 0.3	17 2.3
統合失調症	4 2.6	11 7.1	6 3.9	5 3.2	- -	2 1.3
気分障害	7 2.2	24 7.5	13 4.1	17 5.3	2 0.6	8 2.5
神経症	2 1.4	14 10.1	6 4.3	8 5.8	- -	5 3.6
発達障害	2 1.4	17 11.5	14 9.5	13 8.8	- -	2 1.4
高次脳機能障害	- -	1 3.8	- -	1 3.8	- -	1 3.8
依存症	1 4.5	1 4.5	- -	- -	- -	- -

⑥住まいの場・住まいに関するサービス

◆共同生活援助(グループホーム)のサービスの需要は11.6%

【全体】

- ・「現在利用している」は、療養介護が0.7%、共同生活援助(グループホーム)が5.8%、福祉ホームが0.9%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、施設入所支援が4.6%、療養介護が3.8%、共同生活援助(グループホーム)が5.8%、福祉ホームが5.9%となっています。



サービス名	サービスの内容
施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。
療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。
共同生活援助(グループホーム)	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。
福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	施設入所支援		療養介護		共同生活援助 (グループホーム)		福祉ホーム	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	2,565 100.0	-	117 4.6	18 0.7	97 3.8	148 5.8	150 5.8	24 0.9	152 5.9
身体障害	1,350 100.0	-	70 5.2	9 0.7	70 5.2	26 1.9	56 4.1	17 1.3	84 6.2
知的障害	468 100.0	-	42 9.0	3 0.6	15 3.2	99 21.2	84 17.9	6 1.3	40 8.5
精神障害	729 100.0	-	22 3.0	7 1.0	20 2.7	55 7.5	38 5.2	6 0.8	41 5.6
難病・特定疾患	302 100.0	-	11 3.6	4 1.3	11 3.6	4 1.3	9 3.0	-	13 4.3
強度行動障害	58 100.0	-	9 15.5	-	3 5.2	16 27.6	20 34.5	-	5 8.6

【年齢別】

上段:人 下段:%	全体	施設入所支援		療養介護		共同生活援助 (グループホーム)		福祉ホーム	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	2,565 100.0	-	117 4.6	18 0.7	97 3.8	148 5.8	150 5.8	24 0.9	152 5.9
18～39歳	534 100.0	-	33 6.2	1 0.2	13 2.4	46 8.6	65 12.2	2 0.4	33 6.2
40～64歳	1,056 100.0	-	34 3.2	5 0.5	28 2.7	81 7.7	46 4.4	14 1.3	50 4.7
65歳以上	934 100.0	-	50 5.4	12 1.3	55 5.9	20 2.1	37 4.0	8 0.9	68 7.3

【身体障害の種類別】

上段:人 下段:%	全体	施設入所支援		療養介護		共同生活援助 (グループホーム)		福祉ホーム	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	1,350 100.0	-	70 5.2	9 0.7	70 5.2	26 1.9	56 4.1	17 1.3	84 6.2
肢体不自由	607 100.0	-	37 6.1	4 0.7	30 4.9	19 3.1	29 4.8	14 2.3	38 6.3
音声・言語・ そしゃく機能障害	108 100.0	-	6 5.6	1 0.9	9 8.3	4 3.7	7 6.5	3 2.8	7 6.5
視覚障害	244 100.0	-	22 9.0	3 1.2	19 7.8	1 0.4	15 6.1	2 0.8	24 9.8
聴覚・ 平衡機能障害	253 100.0	-	13 5.1	1 0.4	15 5.9	3 1.2	10 4.0	2 0.8	19 7.5
内部障害	218 100.0	-	6 2.8	1 0.5	14 6.4	-	7 3.2	1 0.5	11 5.0

【精神障害の種類別】

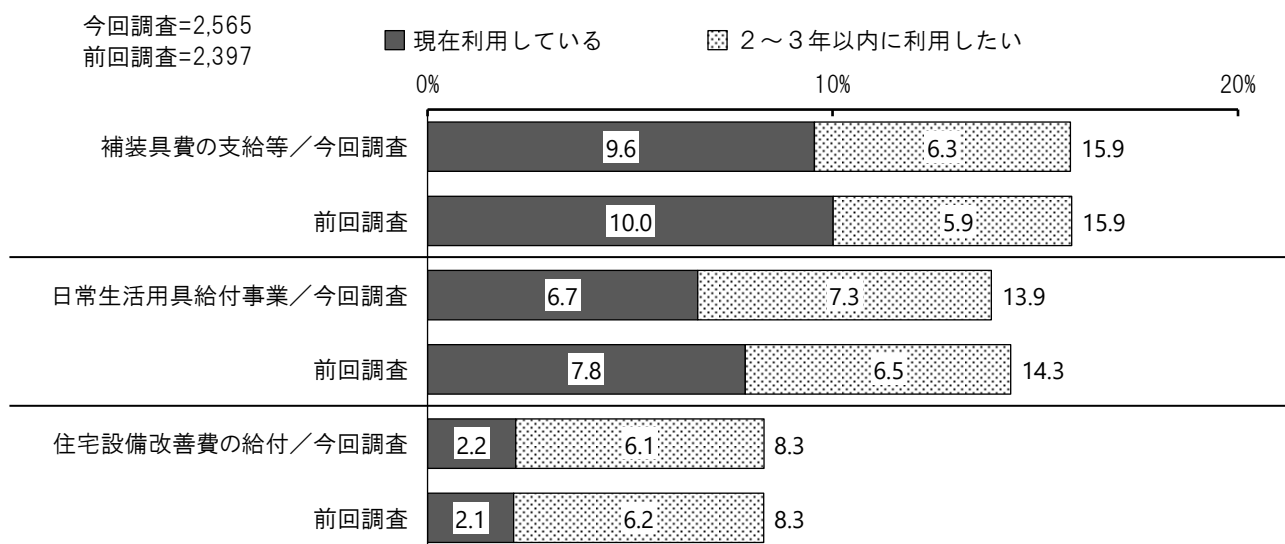
上段:人 下段:%	全体	共同生活援助 (グループホーム)		福祉ホーム	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	729 100.0	55 7.5	38 5.2	6 0.8	41 5.6
統合失調症	154 100.0	21 13.6	8 5.2	2 1.3	11 7.1
気分障害	318 100.0	11 3.5	13 4.1	1 0.3	21 6.6
神経症	139 100.0	8 5.8	9 6.5	2 1.4	8 5.8
発達障害	148 100.0	13 8.8	15 10.1	2 1.4	8 5.4
高次脳機能障害	26 100.0	1 3.8	1 3.8	-	1 3.8
依存症	22 100.0	1 4.5	-	-	-

⑦補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

◆補装具費の支給等のサービスの需要は15.9%

【全体】

- ・「現在利用している」は、補装具費の支給等が9.6%、日常生活用具給付事業が6.7%、住宅設備改善費の給付が2.2%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、補装具費の支給等が6.3%、日常生活用具給付事業が7.3%、住宅設備改善費の給付が6.1%となっています。



サービス名	サービスの内容
補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。
日常生活用具給付事業	日常生活における福祉用具の給付を行います。
住宅設備改善費の給付	在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	補装具費の支給等		日常生活用具給付事業		住宅設備改善費の給付	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,565 100.0	245 9.6	162 6.3	171 6.7	186 7.3	56 2.2	157 6.1
身体障害	1,350 100.0	228 16.9	133 9.9	151 11.2	132 9.8	47 3.5	109 8.1
知的障害	468 100.0	35 7.5	13 2.8	23 4.9	23 4.9	5 1.1	24 5.1
精神障害	729 100.0	23 3.2	21 2.9	15 2.1	37 5.1	3 0.4	31 4.3
難病・特定疾患	302 100.0	26 8.6	25 8.3	22 7.3	26 8.6	9 3.0	22 7.3
強度行動障害	58 100.0	5 8.6	1 1.7	2 3.4	2 3.4	1 1.7	2 3.4

【身体障害の種類別】

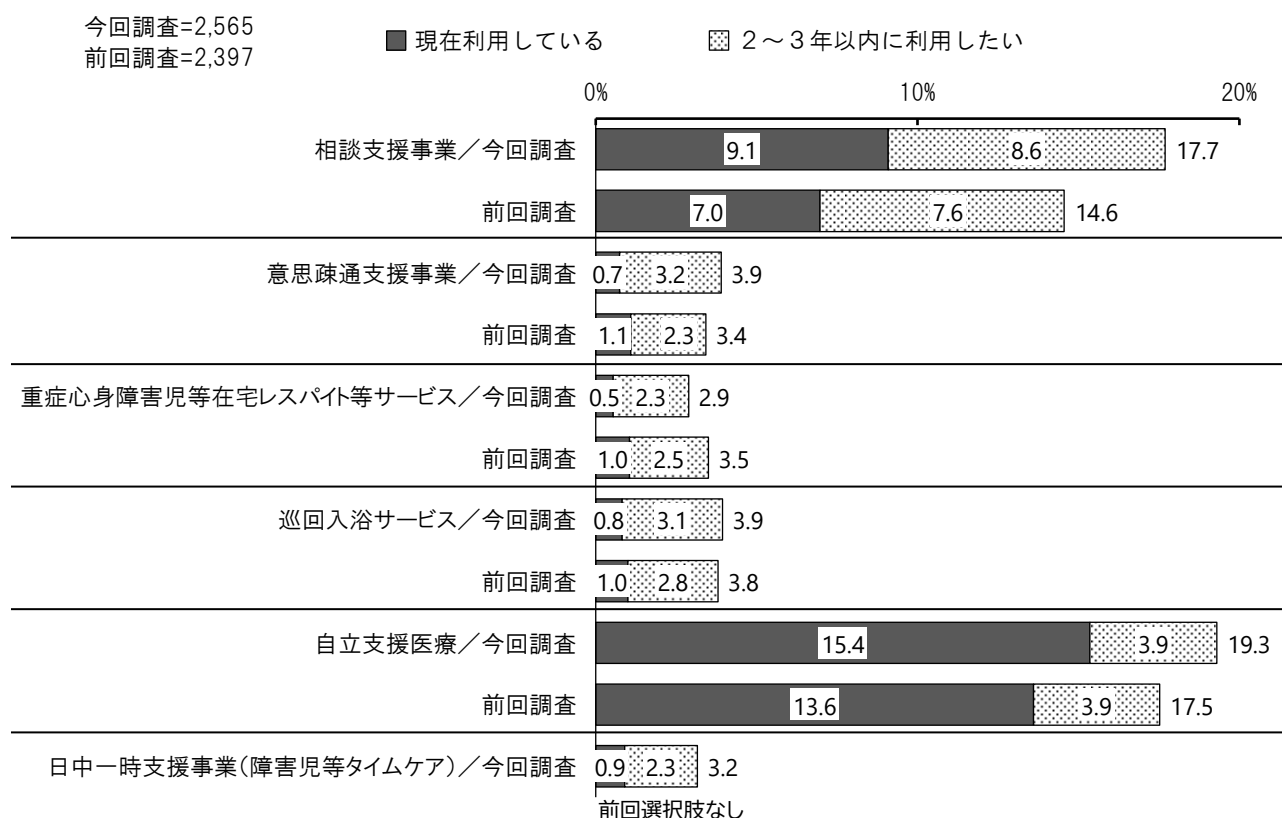
上段:人 下段:%	全体	補装具費の 支給等		日常生活用具 給付事業		住宅設備改善費 の給付	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	1,350 100.0	228 16.9	133 9.9	151 11.2	132 9.8	47 3.5	109 8.1
肢体不自由	607 100.0	134 22.1	74 12.2	91 15.0	66 10.9	36 5.9	61 10.0
音声・言語・ そしゃく機能障害	108 100.0	22 20.4	11 10.2	24 22.2	9 8.3	12 11.1	6 5.6
視覚障害	244 100.0	47 19.3	26 10.7	34 13.9	35 14.3	9 3.7	23 9.4
聴覚・ 平衡機能障害	253 100.0	40 15.8	23 9.1	23 9.1	19 7.5	4 1.6	17 6.7
内部障害	218 100.0	31 14.2	13 6.0	21 9.6	11 5.0	8 3.7	17 7.8

⑧日常生活のサービス

◆自立支援医療のサービスの需要は19.3%

【全体】

- ・「現在利用している」は、相談支援事業が9.1%、意思疎通支援事業が0.7%、重症心身障害児等在宅レスパイト等サービスが0.5%、巡回入浴サービスが0.8%、自立支援医療が15.4%、日中一時支援事業(障害児等タイムケア)が0.9%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、相談支援事業が8.6%、意思疎通支援事業が3.2%、重症心身障害児等在宅レスパイト等サービスが2.3%、巡回入浴サービスが3.1%、自立支援医療が3.9%、日中一時支援事業(障害児等タイムケア)が2.3%となっています。



サービス名	サービスの内容
相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。
意思疎通支援事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。
重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス	医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。
巡回入浴サービス	在宅で寝たきりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。
自立支援医療	障害を軽減する医療(更生医療・育成医療・精神通院)を給付します。
日中一時支援事業(障害児等タイムケア)	障害児(者)の、日中活動終了後・放課後・夏休み等の長期学校休校中の活動場所を提供します。※年齢制限はありません

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	相談支援事業		意思疎通支援 事業		重症心身障害児等 在宅レスパイト等 サービス		巡回入浴 サービス		自立支援医療		日中一時支援 事業(障害児等 タイムケア)	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい
全体	2,565 100.0	233 9.1	221 8.6	19 0.7	81 3.2	14 0.5	60 2.3	21 0.8	80 3.1	394 15.4	101 3.9	23 0.9	58 2.3
身体障害	1,350 100.0	103 7.6	130 9.6	17 1.3	56 4.1	12 0.9	41 3.0	17 1.3	58 4.3	70 5.2	56 4.1	7 0.5	32 2.4
知的障害	468 100.0	126 26.9	38 8.1	- -	14 3.0	2 0.4	17 3.6	2 0.4	13 2.8	67 14.3	21 4.5	17 3.6	26 5.6
精神障害	729 100.0	62 8.5	56 7.7	3 0.4	20 2.7	3 0.4	17 2.3	4 0.5	15 2.1	357 49.0	29 4.0	7 1.0	13 1.8
難病・特定疾患	302 100.0	20 6.6	24 7.9	- -	6 2.0	1 0.3	6 2.0	7 2.3	9 3.0	16 5.3	9 3.0	1 0.3	5 1.7
強度行動障害	58 100.0	21 36.2	6 10.3	- -	- -	- -	2 3.4	- -	- -	9 15.5	1 1.7	4 6.9	4 6.9

【身体障害の種類別】

上段:人 下段:%	全体	相談支援事業		意思疎通支援 事業		重症心身障害児等 在宅レスパイト等 サービス		巡回入浴 サービス		自立支援医療		日中一時支援 事業(障害児等 タイムケア)	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以内 に 利用 したい
全体	1,350 100.0	103 7.6	130 9.6	17 1.3	56 4.1	12 0.9	41 3.0	17 1.3	58 4.3	70 5.2	56 4.1	7 0.5	32 2.4
肢体不自由	607 100.0	65 10.7	60 9.9	2 0.3	18 3.0	9 1.5	22 3.6	15 2.5	29 4.8	31 5.1	33 5.4	7 1.2	17 2.8
音声・言語・ そしゃく機能障害	108 100.0	15 13.9	8 7.4	2 1.9	7 6.5	1 0.9	8 7.4	5 4.6	12 11.1	7 6.5	9 8.3	- -	6 5.6
視覚障害	244 100.0	21 8.6	30 12.3	- -	14 5.7	- -	13 5.3	1 0.4	17 7.0	5 2.0	12 4.9	- -	11 4.5
聴覚・ 平衡機能障害	253 100.0	11 4.3	26 10.3	15 5.9	25 9.9	2 0.8	9 3.6	1 0.4	13 5.1	2 0.8	8 3.2	- -	9 3.6
内部障害	218 100.0	14 6.4	14 6.4	1 0.5	4 1.8	2 0.9	6 2.8	1 0.5	7 3.2	22 10.1	7 3.2	- -	4 1.8

【精神障害の種類別】

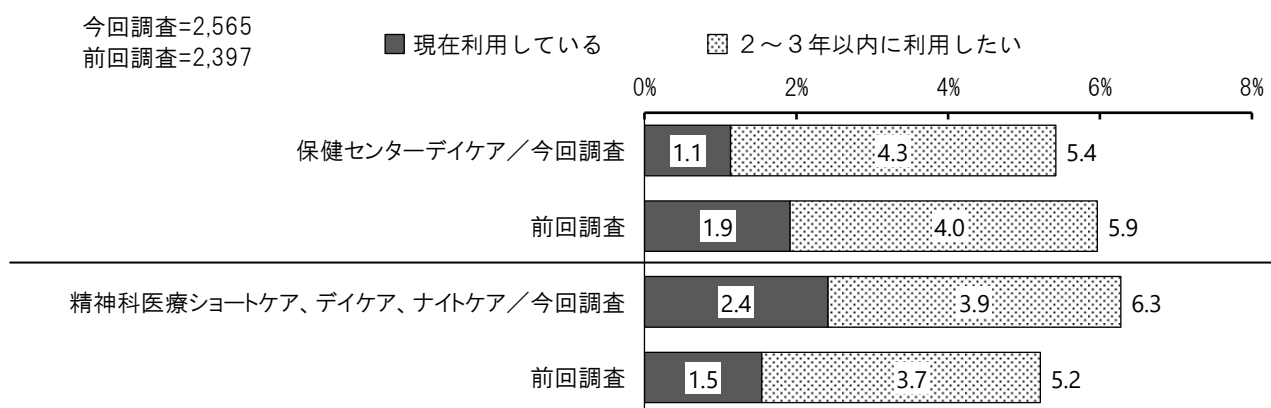
上段:人 下段:%	全体	自立支援医療	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	729 100.0	357 49.0	29 4.0
統合失調症	154 100.0	75 48.7	3 1.9
気分障害	318 100.0	160 50.3	17 5.3
神経症	139 100.0	70 50.4	8 5.8
発達障害	148 100.0	88 59.5	4 2.7
高次脳機能障害	26 100.0	9 34.6	- -
依存症	22 100.0	7 31.8	- -

⑨精神障害者を対象としたデイケア

◆精神科医療ショートケア、デイケア、ナイトケアのサービスの需要は6.3%

【全体】

- ・「現在利用している」は、保健センターデイケアが1.1%、精神科医療ショートケア、デイケア、ナイトケアが2.4%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、保健センターデイケアが4.3%、精神科医療ショートケア、デイケア、ナイトケアが3.9%となっています。



サービス名	サービスの内容
保健センターデイケア	グループでの活動を通じて生活習慣や対人関係を築けるようになるための場の提供を行います。
精神科医療ショートケア、デイケア、ナイトケア	精神科治療(医療保険)の一環。グループ活動を通して、生活習慣や対人関係の練習など社会復帰の準備を行う場です。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	保健センター デイケア		精神科医療ショート ケア、デイケア、 ナイトケア	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	2,565 100.0	29 1.1	110 4.3	62 2.4	99 3.9
精神障害	729 100.0	14 1.9	50 6.9	52 7.1	63 8.6

【精神障害の種類別】

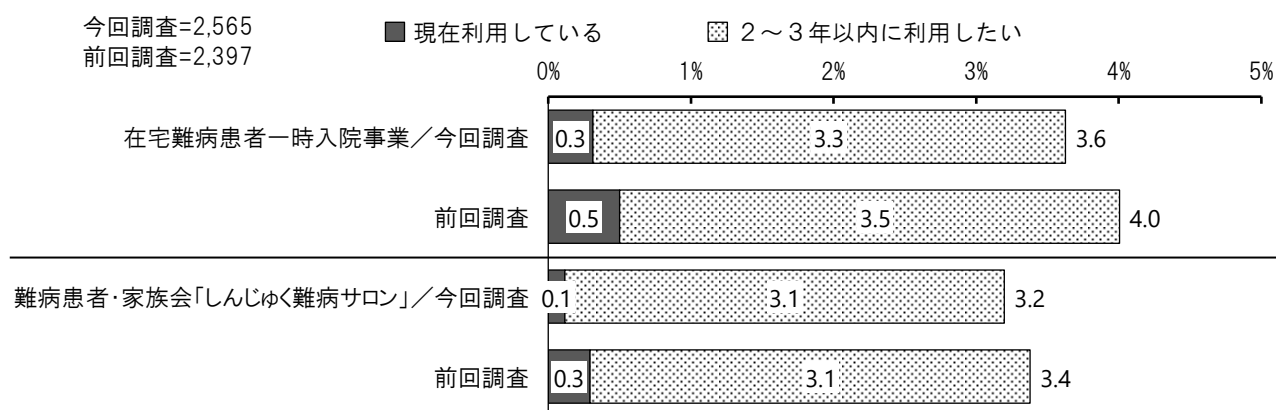
上段:人 下段:%	全体	保健センター デイケア		精神科医療ショート ケア、デイケア、 ナイトケア	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	729 100.0	14 1.9	50 6.9	52 7.1	63 8.6
統合失調症	154 100.0	4 2.6	12 7.8	19 12.3	14 9.1
気分障害	318 100.0	3 0.9	24 7.5	17 5.3	35 11.0
神経症	139 100.0	2 1.4	10 7.2	9 6.5	16 11.5
発達障害	148 100.0	5 3.4	14 9.5	13 8.8	15 10.1
高次脳機能障害	26 100.0	1 3.8	4 15.4	1 3.8	3 11.5
依存症	22 100.0	- -	- -	4 18.2	1 4.5

⑩難病患者に関する支援

◆在宅難病患者一時入院事業のサービスの需要は3.6%

【全体】

- ・「現在利用している」は、在宅難病患者一時入院事業が0.3%、難病患者・家族会「しんじゆく難病サロン」が0.1%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、在宅難病患者一時入院事業が3.3%、難病患者・家族会「しんじゆく難病サロン」が3.1%となっています。



サービス名	サービスの内容
在宅難病患者一時入院事業	難病医療の給付を受けている方で、介護者が一時的に介護できなくなった場合、東京都が委託している病院に短期間入院することができます。
難病患者・家族会「しんじゆく難病サロン」	難病を抱えながらも自分らしく生活するため、療養生活の情報交換や体験を分かち合うことができます。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	在宅難病患者一時入院事業		難病患者・家族会「しんじゆく難病サロン」	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,565 100.0	8 0.3	85 3.3	3 0.1	79 3.1
難病・特定疾患	302 100.0	3 1.0	30 9.9	1 0.3	27 8.9

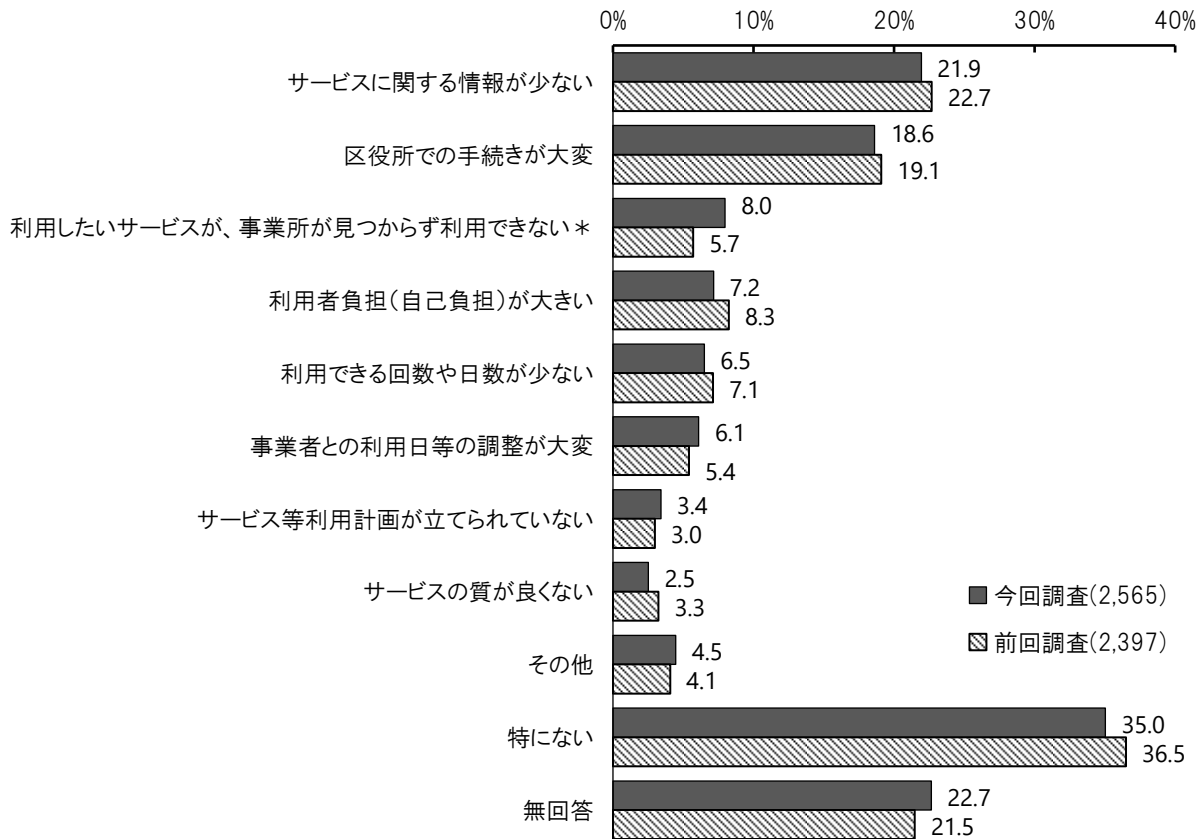
(2)サービス利用に関して困っていること [複数回答]

問30 あなたは、サービス利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

◆「サービスに関する情報が少ない」が21.9%

【全体】

・「サービスに関する情報が少ない」が21.9%で最も多く、次いで「区役所での手続きが大変」が18.6%、「利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない」が8.0%などとなっています。「特にない」は35.0%となっています。



* 前回調査では、選択肢「利用したいサービスが利用できない」

【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「事業者との利用日等の調整が大変」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
サービスに関する情報が少ない	22.4	19.4	25.5	19.2	19.0
区役所での手続きが大変	18.1	19.2	21.5	16.9	15.5
利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない	8.3	12.2	8.9	6.3	22.4
利用者負担(自己負担)が大きい	7.3	5.8	8.6	7.0	5.2
利用できる回数や日数が少ない	6.9	9.4	5.9	6.0	25.9
事業者との利用日等の調整が大変	5.6	14.7	5.2	5.3	36.2
サービス等利用計画が立てられていない	3.3	1.5	5.3	3.3	5.2
サービスの質が良くない	3.0	2.4	2.6	1.7	5.2
その他	4.1	6.0	5.6	6.3	12.1
特になし	33.3	29.5	39.0	37.4	12.1
無回答	25.6	19.7	14.7	21.2	15.5

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
サービスに関する情報が少ない	26.2	25.9	18.9	21.7	22.5
区役所での手続きが大変	21.9	21.3	18.4	13.8	19.7
利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない	10.4	18.5	9.4	6.7	6.9
利用者負担(自己負担)が大きい	8.1	6.5	5.7	6.7	9.2
利用できる回数や日数が少ない	9.7	13.9	6.6	5.5	8.3
事業者との利用日等の調整が大変	8.2	11.1	7.4	4.7	2.8
サービス等利用計画が立てられていない	3.5	4.6	3.3	6.3	1.8
サービスの質が良くない	3.5	4.6	2.9	2.0	3.7
その他	5.9	10.2	6.1	2.4	2.3
特になし	31.8	34.3	29.5	34.4	35.3
無回答	19.8	16.7	27.5	31.6	21.1

(3) サービス等利用計画の現状

問31 障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。サービス等利用計画について、現状を教えてください。(〇はひとつ)

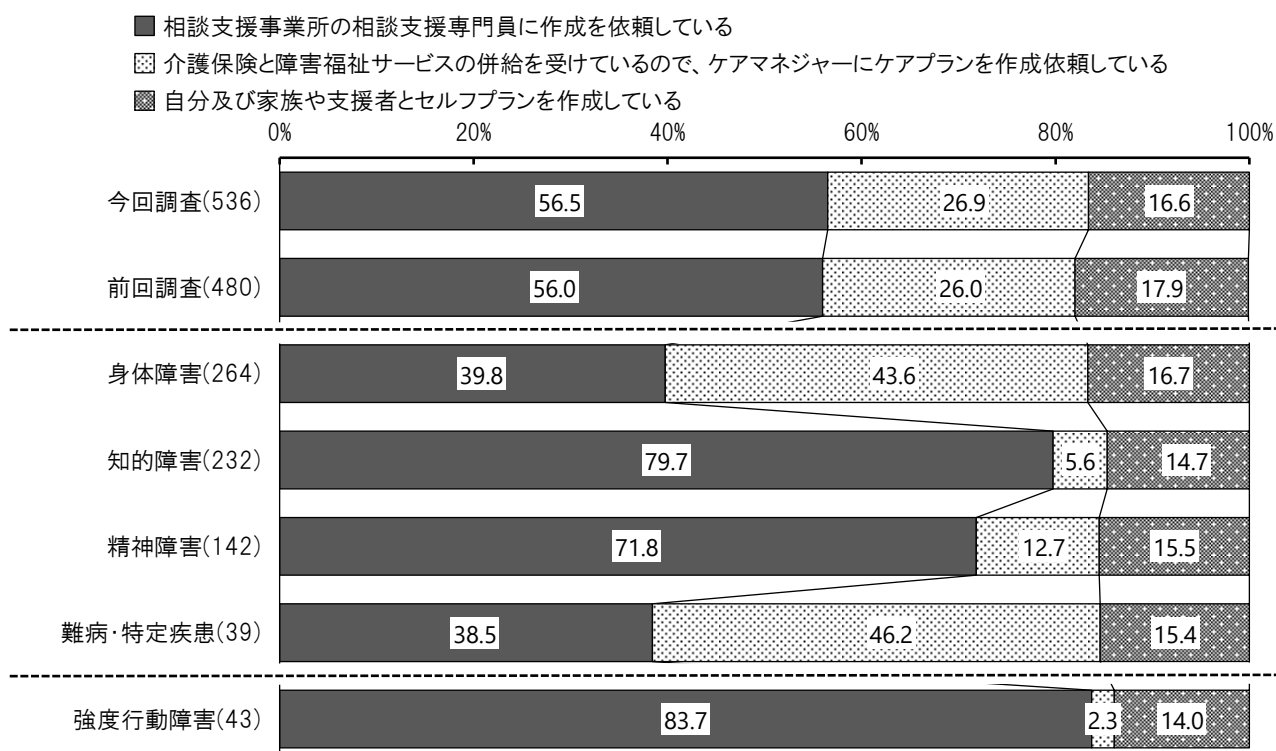
◆「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が56.5%

【全体】

- ・「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が56.5%で最も多く、次いで「介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネジャーにケアプランを作成依頼している」が26.9%、「自分及び家族や支援者とセルフプランを作成している」が16.6%となっています。

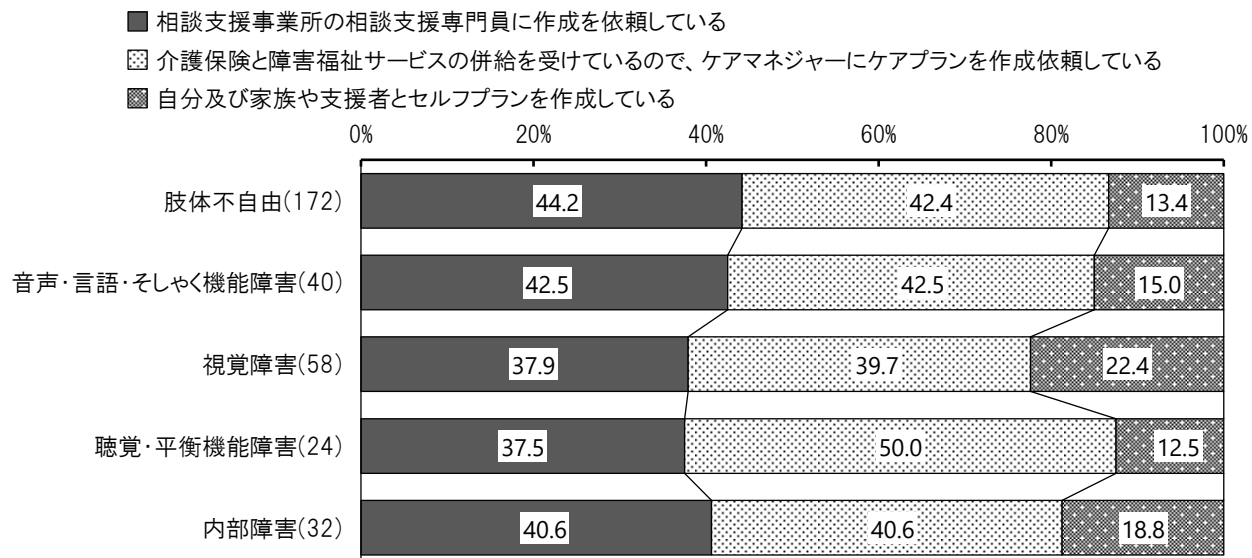
【障害別】

- ・知的障害と精神障害で「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が多くなっています。



※ 無回答を除いた集計

【身体障害の種類別】



※ 無回答を除いた集計

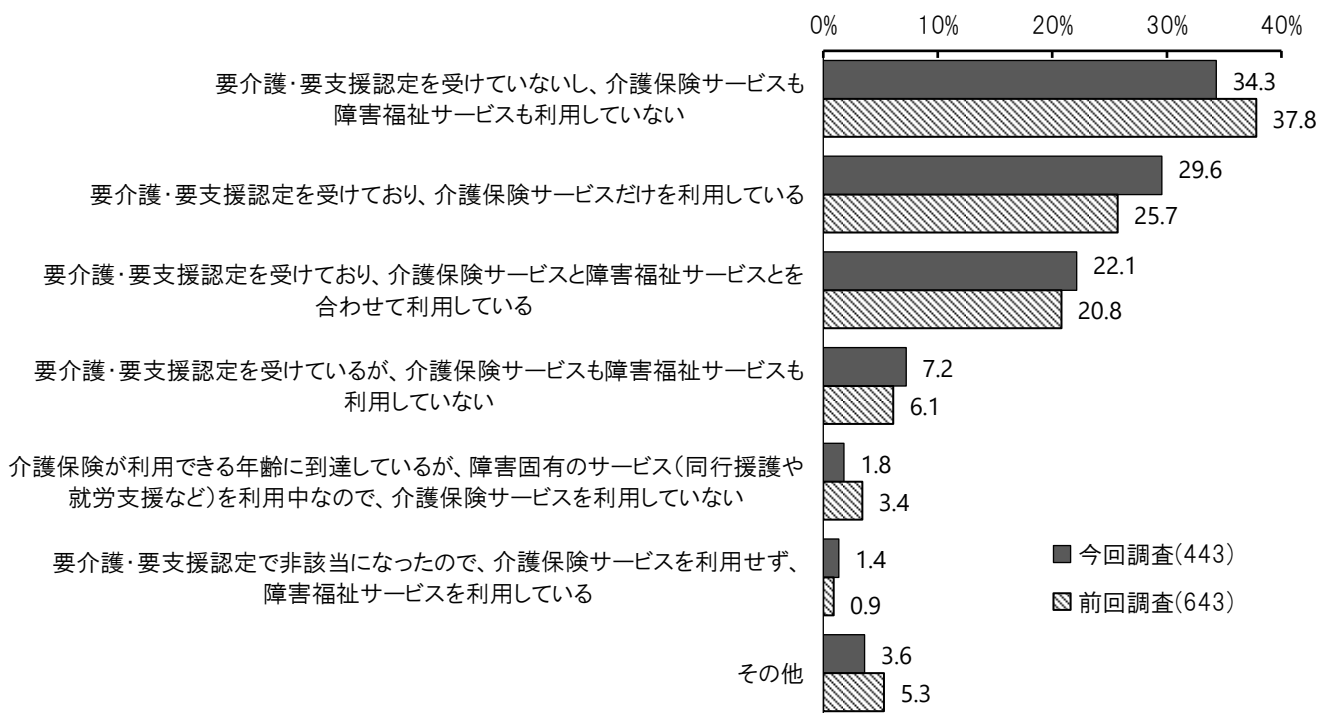
(4)介護保険サービスの利用状況

問32 65歳以上の方(40～64歳で特定疾病の、いわゆる介護保険の「第2号被保険者」の方を含みます)にお聞きします。あなたに当てはまるものはどれですか。(○はひとつ)

◆「要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない」が34.3%

【全体】

・「要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない」が34.3%で最も多く、次いで「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している」が29.6%、「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している」が22.1%などとなっています。



※ 無回答を除いた集計

【障害別】

- ・身体障害は「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している」、知的障害は「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している」、精神障害と難病・特定疾患は「要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病
総数	(360)	(24)	(75)	(82)
要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない	28.9	20.8	45.3	40.2
要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している	30.0	16.7	21.3	24.4
要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している	26.7	33.3	18.7	19.5
要介護・要支援認定を受けているが、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない	8.1	8.3	1.3	6.1
介護保険が利用できる年齢に到達しているが、障害固有のサービス(同行援護や就労支援など)を利用中なので、介護保険サービスを利用していない	2.2	4.2	2.7	1.2
要介護・要支援認定で非該当になったので、介護保険サービスを利用せず、障害福祉サービスを利用している	1.1	4.2	4.0	2.4
その他	3.1	12.5	6.7	6.1

※ 無回答を除いた集計

※ 強度行動障害は回答者総数が少数のため非掲載

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(116)	(28)	(72)	(74)	(57)
要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない	19.8	17.9	27.8	45.9	31.6
要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している	34.5	28.6	25.0	32.4	29.8
要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している	35.3	35.7	25.0	12.2	24.6
要介護・要支援認定を受けているが、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない	6.0	3.6	12.5	5.4	8.8
介護保険が利用できる年齢に到達しているが、障害固有のサービス(同行援護や就労支援など)を利用中なので、介護保険サービスを利用していない	0.9	-	5.6	1.4	1.8
要介護・要支援認定で非該当になったので、介護保険サービスを利用せず、障害福祉サービスを利用している	0.9	7.1	-	1.4	-
その他	2.6	7.1	4.2	1.4	3.5

※ 無回答を除いた集計

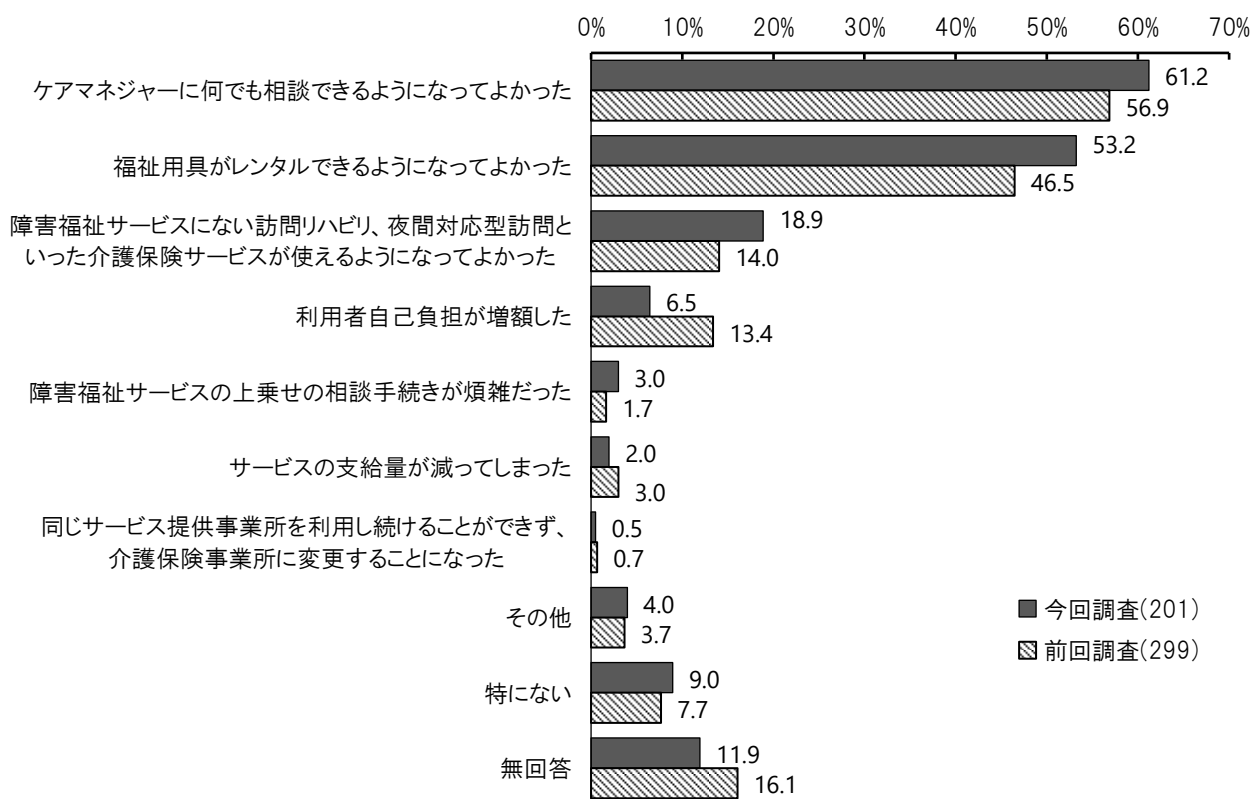
(5)介護保険サービスの利用に関すること [複数回答]

問33 介護保険サービスを利用している方のうち、障害福祉サービスを利用したことがある方にお聞きします。介護保険サービスを利用するようになって、どんなことがありましたか。(〇はいくつでも)

◆「ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかった」が61.2%

【全体】

- ・「ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかった」が61.2%で最も多く、次いで「福祉用具がレンタルできるようになってよかった」が53.2%、「障害福祉サービスにない訪問リハビリ、夜間対応型訪問といった介護保険サービスが使えるようになってよかった」が18.9%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と精神障害は「ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかった」、難病・特定疾患は「福祉用具がレンタルできるようになってよかった」が多くなっています。

単位：％、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病
総数	(163)	(10)	(23)	(29)
ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかった	60.7	50.0	65.2	48.3
福祉用具がレンタルできるようになってよかった	57.7	30.0	39.1	51.7
障害福祉サービスにない訪問リハビリ、夜間対応型訪問といった介護保険サービスが使えるようになってよかった	20.9	-	13.0	24.1
利用者自己負担が増額した	6.1	-	4.3	10.3
障害福祉サービスの上乗せの相談手続きが煩雑だった	3.1	-	8.7	6.9
サービスの支給量が減ってしまった	1.8	-	-	6.9
同じサービス提供事業所を利用し続けることができず、介護保険事業所に変更することになった	0.6	-	-	-
その他	4.9	-	-	10.3
特になし	8.0	30.0	8.7	13.8
無回答	10.4	10.0	13.0	13.8

※ 強度行動障害は回答者総数が少数のため非掲載

【身体障害の種類別】

単位：％、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(87)	(19)	(32)	(23)	(28)
ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかった	57.5	47.4	68.8	69.6	75.0
福祉用具がレンタルできるようになってよかった	59.8	57.9	56.3	65.2	53.6
障害福祉サービスにない訪問リハビリ、夜間対応型訪問といった介護保険サービスが使えるようになってよかった	29.9	36.8	9.4	17.4	21.4
利用者自己負担が増額した	9.2	15.8	6.3	4.3	-
障害福祉サービスの上乗せの相談手続きが煩雑だった	3.4	-	3.1	-	-
サービスの支給量が減ってしまった	2.3	-	3.1	-	-
同じサービス提供事業所を利用し続けることができず、介護保険事業所に変更することになった	-	-	-	4.3	-
その他	5.7	10.5	3.1	4.3	3.6
特になし	8.0	-	12.5	8.7	-
無回答	9.2	21.1	9.4	13.0	14.3

7 災害対策について

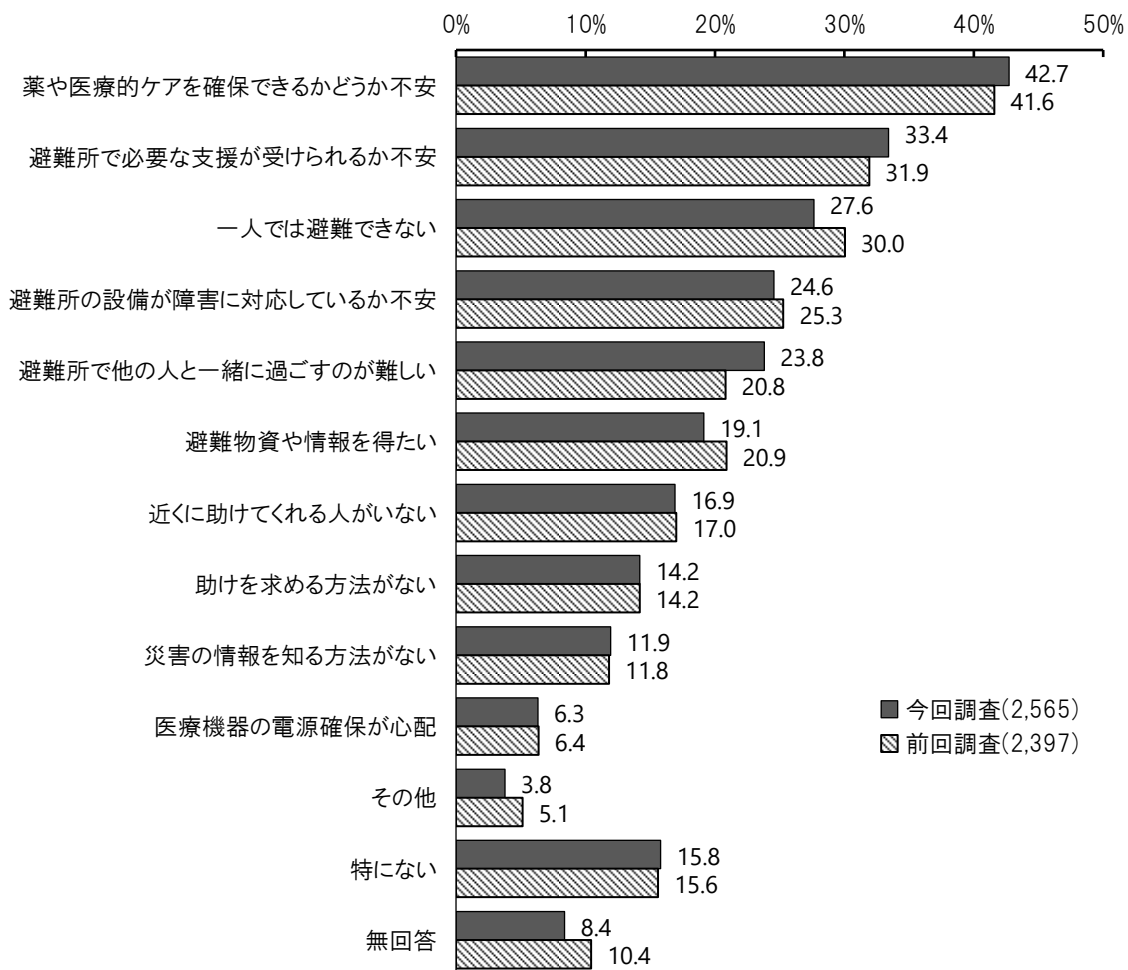
(1)災害が発生したときに困ること [複数回答]

問34 あなたが、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

◆「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が42.7%

【全体】

- ・「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が42.7%で最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が33.4%、「一人では避難できない」が27.6%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」、知的障害は「一人では避難できない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「一人では避難できない」が7割以上と多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	39.0	35.0	52.9	55.6	50.0
避難所で必要な支援が受けられるか不安	34.4	41.7	31.3	33.1	72.4
一人では避難できない	31.9	47.9	17.3	20.5	79.3
避難所の設備が障害に対応しているか不安	30.2	28.4	18.5	19.2	46.6
避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	19.6	34.8	32.2	18.9	69.0
避難物資や情報を得たい	17.4	18.6	23.3	15.9	31.0
近くに助けてくれる人がいない	16.9	12.0	21.1	18.2	15.5
助けを求める方法がない	14.2	18.8	14.1	12.6	27.6
災害の情報を知る方法がない	11.7	15.6	11.2	8.6	29.3
医療機器の電源確保が心配	7.0	4.7	6.3	7.0	5.2
その他	3.9	3.2	3.8	2.3	5.2
特になし	15.8	17.5	14.0	13.6	1.7
無回答	10.1	6.6	5.6	7.3	3.4

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	40.4	40.7	38.1	30.0	61.0
避難所で必要な支援が受けられるか不安	39.4	38.9	39.3	32.4	31.2
一人では避難できない	40.5	39.8	44.3	24.9	17.9
避難所の設備が障害に対応しているか不安	38.1	34.3	35.2	23.7	24.8
避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	23.1	27.8	21.3	21.7	13.8
避難物資や情報を得たい	17.8	19.4	20.9	20.6	15.6
近くに助けてくれる人がいない	19.1	15.7	20.9	17.8	12.4
助けを求める方法がない	15.3	19.4	18.9	17.8	8.7
災害の情報を知る方法がない	9.6	18.5	12.3	20.6	8.3
医療機器の電源確保が心配	7.6	12.0	6.1	8.7	7.3
その他	4.0	5.6	4.1	4.7	2.8
特になし	13.3	20.4	11.5	17.8	14.7
無回答	7.6	8.3	10.2	13.8	9.6

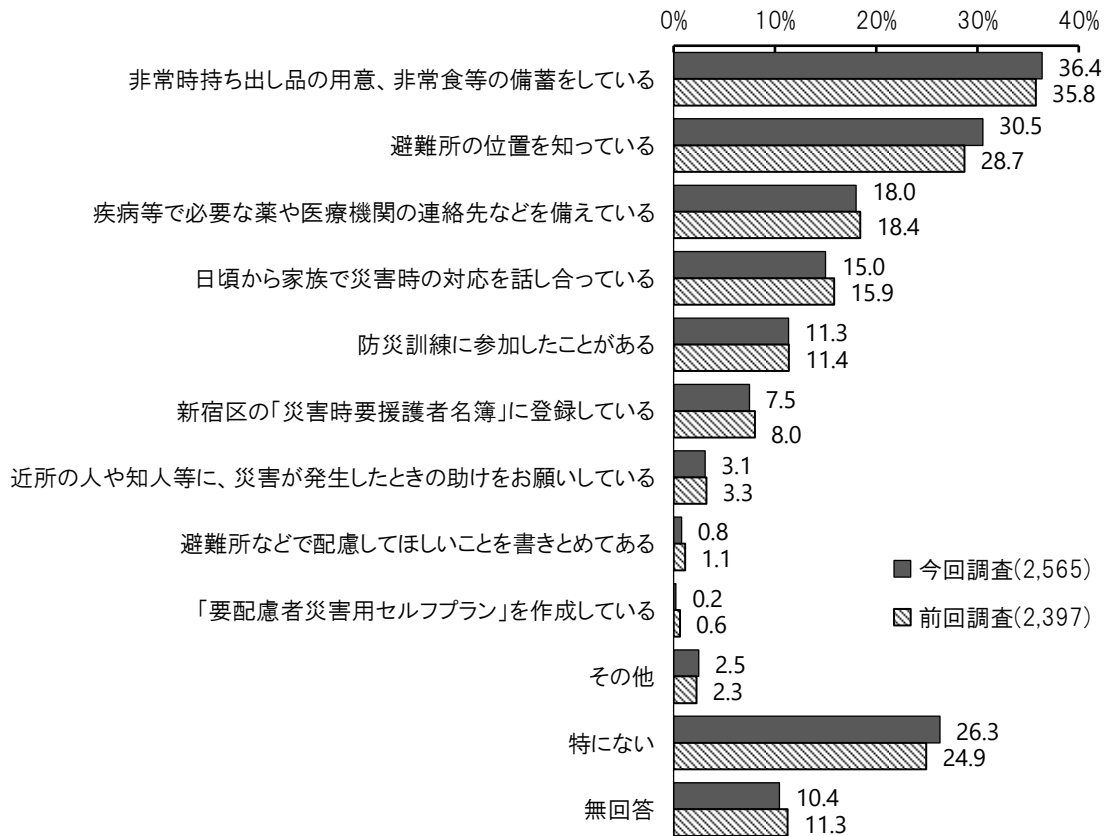
(2)災害に対して備えていること [複数回答]

問35 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

◆「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が36.4%

【全体】

・「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が36.4%で最も多く、次いで「避難所の位置を知っている」が30.5%、「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が18.0%などとなっています。「特にない」は26.3%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・ 難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている	35.7	37.0	35.0	42.1	32.8
避難所の位置を知っている	30.7	24.8	30.9	31.1	17.2
疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	19.0	15.4	17.4	26.2	15.5
日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	16.4	18.4	11.4	12.6	13.8
防災訓練に参加したことがある	10.5	16.2	10.0	7.0	12.1
新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している	8.6	17.7	3.3	10.6	27.6
近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている	3.7	4.5	1.9	1.3	-
避難所などで配慮してほしいことを書きとめてある	0.8	1.7	0.7	0.7	-
「要配慮者災害用セルフプラン」を作成している	0.3	0.2	-	0.3	1.7
その他	2.6	3.2	2.6	2.0	5.2
特になし	25.0	24.8	31.6	21.5	25.9
無回答	12.1	9.2	6.7	9.9	12.1

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
非常時持ち出し品の用意、非常食等の 備蓄をしている	37.4	29.6	38.5	32.8	35.3
避難所の位置を知っている	31.6	23.1	28.7	30.8	30.3
疾病等で必要な薬や医療機関の 連絡先などを備えている	19.6	16.7	18.9	13.4	32.1
日頃から家族で災害時の対応を 話し合っている	15.7	11.1	18.9	17.4	13.8
防災訓練に参加したことがある	9.4	10.2	13.1	15.4	8.7
新宿区の「災害時要援護者名簿」に 登録している	11.9	10.2	10.2	6.7	6.4
近所の人や知人等に、災害が発生した ときの助けをお願いしている	4.1	5.6	4.9	3.2	2.8
避難所などで配慮してほしいことを 書きとめてある	0.5	-	-	2.4	0.5
「要配慮者災害用セルフプラン」を 作成している	0.3	-	0.4	0.4	-
その他	2.3	3.7	3.7	2.8	2.8
特になし	26.2	36.1	19.3	22.9	28.0
無回答	10.2	12.0	13.5	15.8	7.8

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能 障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
非常時持ち出し品の用意、非常食等の 備蓄をしている	22.7	37.1	41.7	40.5	42.3	22.7
避難所の位置を知っている	26.6	34.9	32.4	31.8	15.4	27.3
疾病等で必要な薬や医療機関の 連絡先などを備えている	16.2	18.9	25.9	15.5	15.4	13.6
日頃から家族で災害時の対応を 話し合っている	9.1	11.3	10.8	14.9	7.7	9.1
防災訓練に参加したことがある	9.7	9.4	10.8	16.2	-	9.1
新宿区の「災害時要援護者名簿」に 登録している	1.9	2.5	1.4	8.8	3.8	-
近所の人や知人等に、災害が発生した ときの助けをお願いしている	4.5	2.5	2.2	1.4	-	4.5
避難所などで配慮してほしいことを 書きとめてある	-	0.3	2.2	2.0	-	-
「要配慮者災害用セルフプラン」を 作成している	-	-	-	-	-	-
その他	3.9	2.2	3.6	2.0	3.8	13.6
特になし	34.4	31.1	28.8	25.7	34.6	31.8
無回答	13.0	4.4	4.3	4.7	3.8	4.5

8 権利擁護について

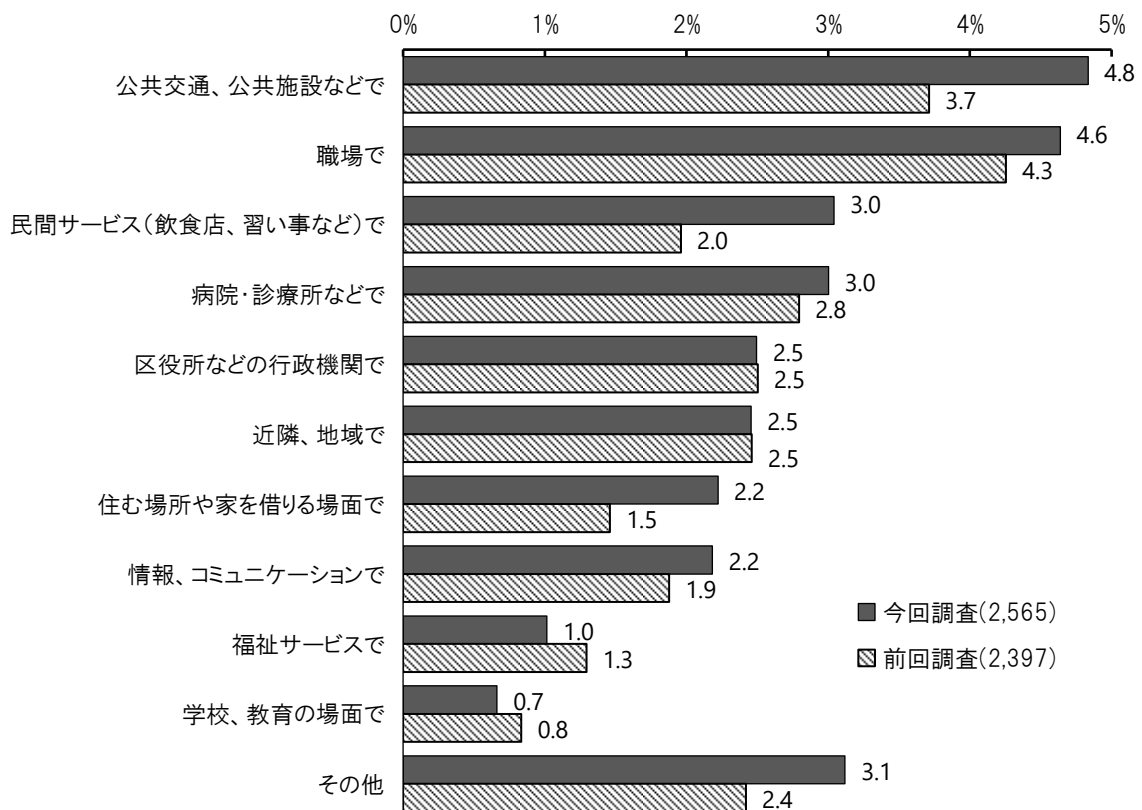
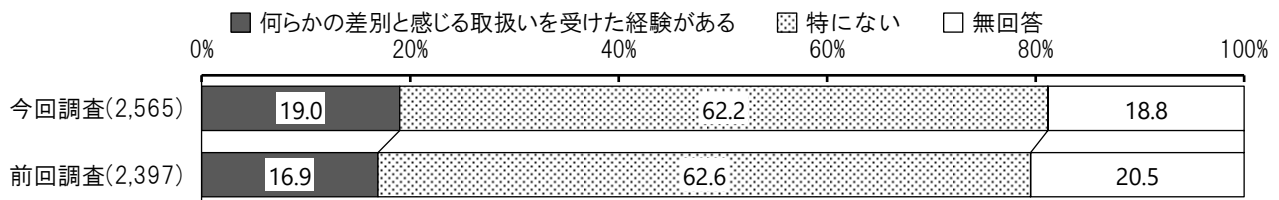
(1) 差別と感ずる取扱いを受けた経験 [複数回答]

問36 あなたは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感ずる取扱いを受けた経験がありますか。(〇はいくつでも)

◆『何らかの差別と感ずる取扱いを受けた経験がある』方は**19.0%**、
「公共交通、公共施設などで」が**4.8%**

【全体】

- ・回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの差別と感ずる取扱いを受けた経験がある』方は19.0%となっています。
- ・「公共交通、公共施設などで」が4.8%で最も多く、次いで「職場で」が4.6%、「民間サービス(飲食店、習い事など)で」と「病院・診療所などで」が3.0%などとなっています。「特にない」は62.2%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患は「公共交通、公共施設などで」、知的障害と精神障害は「職場で」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「公共交通、公共施設などで」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
公共交通、公共施設などで	6.1	4.1	4.7	4.6	15.5
職場で	3.6	4.5	7.7	3.0	1.7
民間サービス(飲食店、習い事など)で	4.3	2.4	1.9	4.3	5.2
病院・診療所などで	3.0	3.0	4.5	2.3	6.9
区役所などの行政機関で	2.6	1.9	4.0	1.3	5.2
近隣、地域で	2.8	3.6	2.6	0.7	3.4
住む場所や家を借りる場面で	2.3	1.7	3.4	2.6	-
情報、コミュニケーションで	2.4	1.5	3.3	1.0	1.7
福祉サービスで	1.0	1.5	1.5	1.3	5.2
学校、教育の場面で	0.7	1.1	0.5	0.7	-
その他	2.6	4.3	4.5	3.3	8.6
特にない	61.2	63.0	61.7	62.3	44.8
無回答	20.1	15.4	12.8	21.5	17.2

【性別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	男性	女性
総数	(1,331)	(1,196)
公共交通、公共施設などで	4.7	4.8
職場で	4.2	5.0
民間サービス(飲食店、習い事など)で	3.1	2.8
病院・診療所などで	2.8	3.0
区役所などの行政機関で	2.8	1.9
近隣、地域で	2.3	2.7
住む場所や家を借りる場面で	1.9	2.4
情報、コミュニケーションで	2.2	2.1
福祉サービスで	0.7	1.3
学校、教育の場面で	0.5	0.8
その他	3.5	2.7
特にない	64.2	60.4
無回答	16.7	21.1

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
公共交通、公共施設などで	9.9	3.7	4.9	5.1	5.5
職場で	4.3	1.9	3.7	3.6	2.3
民間サービス(飲食店、習い事など)で	5.4	1.9	5.3	4.7	3.7
病院・診療所などで	4.1	3.7	3.3	2.4	3.2
区役所などの行政機関で	3.1	3.7	2.5	3.2	2.3
近隣、地域で	3.6	1.9	3.7	2.8	1.4
住む場所や家を借りる場面で	2.8	3.7	2.5	2.8	0.5
情報、コミュニケーションで	2.0	6.5	2.0	5.5	0.9
福祉サービスで	1.2	1.9	0.8	1.2	0.5
学校、教育の場面で	1.0	0.9	-	1.2	0.5
その他	3.6	1.9	1.6	3.2	1.8
特にない	58.8	62.0	61.1	54.5	69.3
無回答	18.0	17.6	23.0	23.3	17.4

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能 障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
公共交通、公共施設などで	6.5	5.3	7.9	5.4	3.8	-
職場で	4.5	8.5	4.3	12.8	11.5	4.5
民間サービス(飲食店、習い事など)で	2.6	1.6	2.9	2.7	3.8	-
病院・診療所などで	5.8	5.7	7.9	1.4	11.5	4.5
区役所などの行政機関で	3.9	4.4	8.6	4.1	7.7	4.5
近隣、地域で	5.2	2.5	3.6	2.0	3.8	-
住む場所や家を借りる場面で	4.5	3.8	3.6	3.4	7.7	13.6
情報、コミュニケーションで	2.6	4.1	5.0	6.8	7.7	9.1
福祉サービスで	1.3	1.3	2.9	2.7	7.7	4.5
学校、教育の場面で	0.6	0.6	0.7	2.0	-	-
その他	5.2	3.8	5.8	6.8	-	-
特にない	58.4	63.8	51.1	56.1	61.5	72.7
無回答	13.0	11.6	16.5	9.5	3.8	4.5

※ ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【記述式回答・主な意見】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
バスに乗車した際、運転手が横柄な態度をした。	知的障害	男性、50代、ご家族
車いすに乗っているとき、タクシーが避けて走り去っていく。	肢体不自由	女性、90代、ご家族
バスやタクシー(車いす対応マークのついている車種)の乗車拒否がとても多い。	肢体不自由	女性、20代、本人
公共交通機関(電車)を利用する時、一時的に止めてしまうため、嫌な目をされたことが多々ある。	肢体不自由、内部障害	男性、20代、本人
乗り換えの駅職員に、非常に冷たく対応された。	肢体不自由、難病・特定疾患	女性、40代、本人
電車の優先席に元気な若者が座り、高齢者の方、ヘルプマークを付けた人に席を譲らない。	知的障害、精神障害	女性、70代、ご家族
職場で「バカ」などの悪口を言われたり「そんなことばかりしていたら仕事なくなって辞めさせられるよ」と脅されたり、障害者と関わりたくないと言われた。	知的障害、精神障害	男性、10代、本人
職場で「平等」という名のもと、障害に対し、配慮がなく健常者と同じ条件、設備で働いた。身体的に不可能であることについても配慮されず、「出来なかった、やれなかった」と怒られ、減給された。	視覚障害	女性、60代、本人
病気が原因で休職した後に、遠回しに、あてにならないので退職して欲しいと言われた。	難病・特定疾患	女性、50代、本人
残業が出来ない為、アルバイト職員と同じ作業しかさせてもらえない。「過小な要求」型のパワハラを受けている。	肢体不自由、難病・特定疾患	女性、40代、本人
転職時、障害者雇用の枠で「吃音があり発声に時間がかかる」事を改め伝えた上で面接を受けたが、スムーズにコミュニケーションが取れないことを理由に不採用となった。	精神障害	女性、20代、本人
B型作業所で、職員とのコミュニケーションが上手いかかず、職員の人手不足により、面倒が見られないことを理由に作業時間を短縮された。それにより工賃も下げられ納得できない。	知的障害	女性、20代、ご家族
求人先の面接で知的障害は掃除していればいいと言われた。	知的障害、精神障害	女性、30代、本人
無職であることをことさらに強調され、バカにしたような見下したような態度、言動をされる。	精神障害	男性、40代、本人
あるサービスを利用しようとしたが、メールでやり取りできず、電話のみでしか連絡が取れず、使えなかった。	聴覚・平衡機能障害	女性、20代、本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
シュノーケリングを申し込む際、パーキンソン病を理由に断られた。薬が効いていれば、通常と変わらないことを説明しても受け入れてもらえなかった。	難病・特定疾患	女性、50代、本人
車椅子を店の前に置いて店内に入ろうとしたところ拒否された。	肢体不自由	男性、40代、本人
レストラン等で、店内に段差があるという理由で、車いすでの入店を断られた。店内で支えがあれば移動できると説明しても聞き入れてもらえない。家を探す時に、外出時のみ車椅子を使用すると説明したにもかかわらず、車椅子利用者を認めない物件が多くあった。(※原文は英語)	肢体不自由	女性、20代、本人
温泉施設の利用拒否	肢体不自由	男性、30代、本人
夜間に(身体的な)救急病院にかかった時に、すれ違い時に「プシコ」(精神科を意味する隠語)だからと言っている医師がいた。軽蔑的な感じで話しており悲しくなった。	精神障害	女性、50代、本人
歯医者で断られることがある。	内部障害	男性、30代、本人
病気を理由に医療を受けられなかった。	内部障害	男性、40代、本人
区役所で手続き待ちの間、内部障害があると伝えたが、座る場所がなく他に立っている人もいたので我慢するよう言われた。	内部障害	男性、50代、本人
ロービジョンに対する理解がされておらず、白杖を持っていると全盲と思われ、見えるのではないかと詐病・似非障害者とされる。	視覚障害	男性、60代、本人
障害を持っていると打ち明けると周りの対応がよそよそしくなったり、距離を置かれたり、面倒がられる時がある。	精神障害	女性、30代、本人
障害特性を理解されず、近隣や地域で疎遠にされたり、白い目で見られたり、陰口を叩かれるなど、度々感じる。	知的障害、精神障害	女性、30代、施設職員
聴覚障害を理由にアパートの入居審査を受けられなかった。	聴覚・平衡機能障害	女性、無回答、本人
民間住宅を探している際に、障害者がいるという理由で断られる。	知的障害	男性、20代、ご家族
視野狭窄であることから歩行中に接触して舌打ちされたり、手を振り払われたことがある。	視覚障害	女性、60代、本人
近所の人から、30代の成人に対し坊やと声をかけられた。	知的障害、精神障害	男性、30代、本人
信号待ちの時、ヘルプマークを見て、子どもたちに「このマークを付けている人は、ヤバイ人なんだよー」と言われた。	知的障害	男性、20代、ご家族

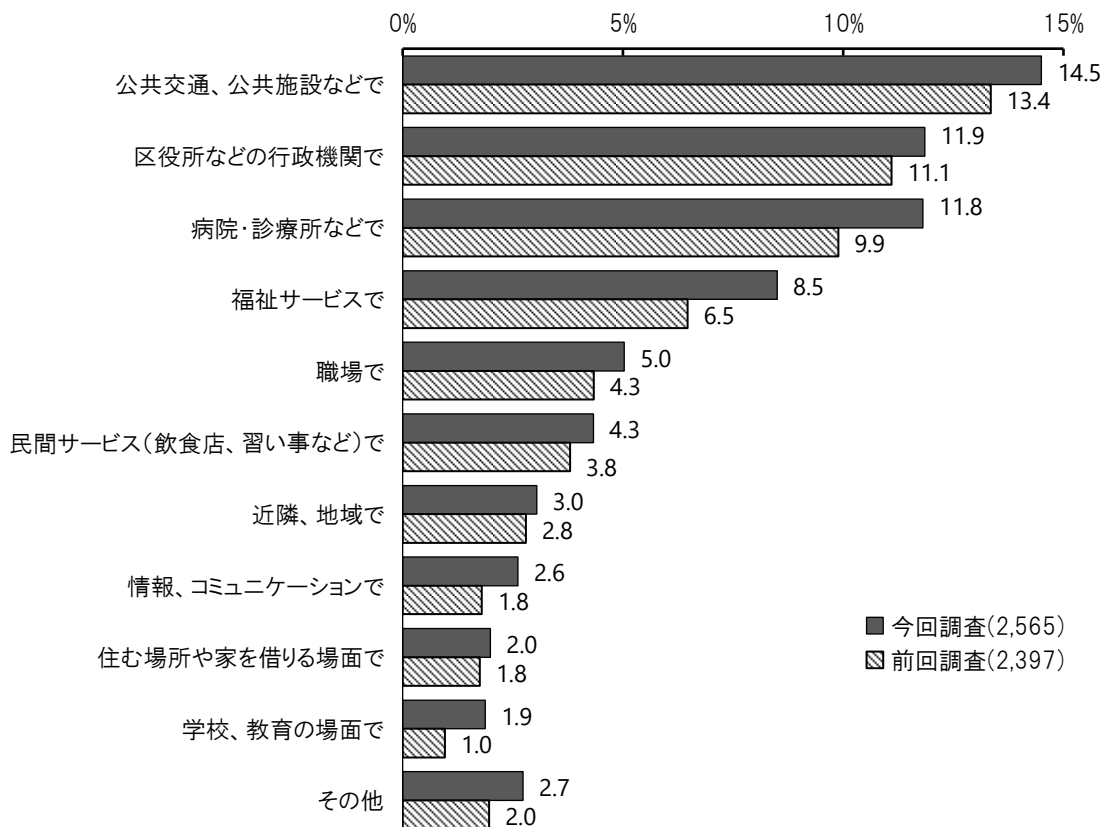
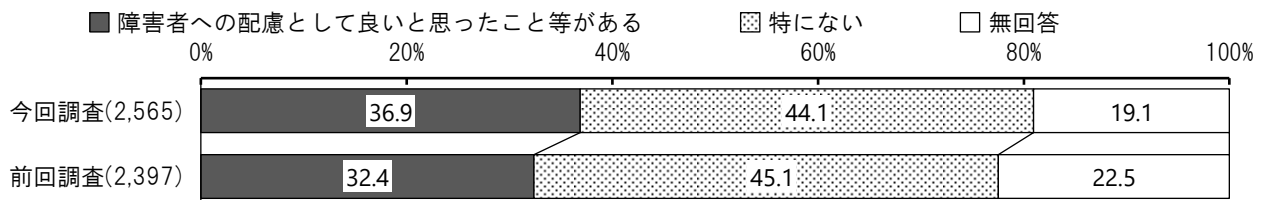
(2)配慮があってよかったこと [複数回答]

問37 あなたが、障害者への配慮として良いと思ったこと、配慮があって助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。(〇はいくつでも)

◆『障害者への配慮として良いと思ったこと等がある』方は**36.9%**、
「公共交通、公共施設などで」が**14.5%**

【全体】

- ・回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『障害者への配慮として良いと思ったこと等がある』方は36.9%となっています。
- ・「公共交通、公共施設などで」が14.5%で最も多く、次いで「区役所などの行政機関で」が11.9%、「病院・診療所などで」が11.8%などとなっています。「特にない」は44.1%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と精神障害は「公共交通、公共施設などで」、知的障害は「福祉サービスで」、難病・特定疾患は「病院・診療所などで」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「病院・診療所などで」が多くなっています。

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
公共交通、公共施設などで	17.0	13.7	13.2	11.3	12.1
区役所などの行政機関で	13.2	9.8	11.5	11.9	13.8
病院・診療所などで	13.2	11.1	12.9	12.6	20.7
福祉サービスで	8.2	14.3	10.2	8.3	13.8
職場で	4.1	7.7	7.1	3.6	5.2
民間サービス(飲食店、習い事など)で	5.9	3.0	4.0	3.3	3.4
近隣、地域で	4.1	3.0	2.3	3.0	8.6
情報、コミュニケーションで	2.7	2.1	3.3	2.0	1.7
住む場所や家を借りる場面で	1.7	2.6	2.7	1.0	5.2
学校、教育の場面で	1.9	4.1	2.5	0.3	8.6
その他	2.9	2.8	3.4	2.0	1.7
特にない	40.2	44.9	49.5	43.4	32.8
無回答	20.2	16.9	12.2	21.5	20.7

【身体障害の種類別】

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	肢体不自由	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
公共交通、公共施設などで	20.4	15.7	18.0	10.7	14.7
区役所などの行政機関で	12.9	13.0	12.7	16.2	11.9
病院・診療所などで	14.5	13.9	12.7	17.4	11.9
福祉サービスで	10.9	14.8	7.8	6.7	7.3
職場で	5.4	1.9	3.7	3.6	4.1
民間サービス(飲食店、習い事など)で	8.4	3.7	6.1	3.6	5.0
近隣、地域で	4.6	2.8	5.7	2.4	2.8
情報、コミュニケーションで	2.0	1.9	2.5	4.3	2.8
住む場所や家を借りる場面で	2.3	1.9	2.5	0.8	0.9
学校、教育の場面で	3.3	1.9	1.2	0.4	2.3
その他	3.0	2.8	0.8	3.6	2.8
特にない	38.9	41.7	36.5	36.4	43.6
無回答	17.6	16.7	24.2	24.5	19.3

※ ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【記述式回答・主な意見】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
都バスの乗降の際にゆっくりでいいですよ等の声掛けをしてもらえるようになった。	知的障害	女性、40代、ご家族
都営バスが無料になって移動のハードルが下がった。以前はお金も元気もなく、道でうずくまって中々家に帰ることが出来なかった。	精神障害	女性、30代、本人
バスに乗車した時、席が満席でしたが運転手さんが「どなたか席を譲ってもらえませんか」と呼び掛けてくれ、乗客から快く席を譲ってもらい、座ることが出来た。	肢体不自由	男性、60代、本人
企業のホームページからスロープ設置のお願いの投稿をしたら、施設の入り口の段差にスロープを設置することで、利用できるようになった。駅のホームに、段差解消のドアの表示の掲載されるようになり、どこのドアなら乗車が出来るか明確になって、迷わなくなった	肢体不自由、難病・特定疾患	女性、40代、本人
電車に乗る時に駅員から「お手伝いしましょうか？」と声をかけてもらった。	身体障害、精神障害	男性、40代、本人
車いす利用者に対して慣れてきたと感じる(駅員さん等)。コンビニ等でも、とてもやさしいことが多い。	肢体不自由	女性、80代、ご家族
エレベーターの「障害者等優先」が大きく色分けなどされ掲示され、アナウンスされるようになった。最近では優先エレベーターだとこちらが大きな声でお願いしなくても降りて譲ってもらえることが増えた。	肢体不自由	女性、50代、本人
ヘルプマークをつけているので、最近は席を譲ってくれるようになった。	難病・特定疾患	女性、60代、本人
都営交通の無料乗車券や、障害者手帳で割引を受けられるサービス等が良いこと。職場でも、業務量の調整などの配慮を受けており助かっている。	精神障害	男性、30代、本人
職場の仲間に自分の症状を伝え、必要であれば一度休憩したり等の理解が得られること。	精神障害	男性、30代、本人
勤務時間や職場環境など、本人に合わせて対応してもらえた。	知的障害、精神障害	男性30代、ご家族
区役所で職員の笑顔の対応、筆談に時間をかけてくれた。親切が嬉しかった。	聴覚・平衡機能障害	男性、90代、本人
訪問リハビリテーションの利用開始に向けて、勤務先に就業中に訪問リハビリの為に中抜けすることを、フレックス勤務を活用することで了承してもらった。	肢体不自由	女性、30代、本人
在宅勤務やフレックスタイムを積極的にすすめてもらっていること。	難病・特定疾患	女性、30代、本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
障害者向けの採用を推進している。	難病・特定疾患	男性、20代、本人
リワークでOB、OG交流やスタッフに相談が出来る点、会社とのやり取りについても相談できる点。	精神障害	女性、20代、本人
歯科治療で、本人が苦痛や不安を感じないですむ、静脈鎮静剤で十分な治療ができた。障害者本人に対しても付き添う、家族に対しても丁寧な説明と対応だった。	知的障害、精神障害	男性、30代、ご家族
作業所で自信がない時に「自信持ってください」と女性の職員さんに言われたこと。話しかけてくれるところ。	精神障害	女性、40代、本人
子供が受験する際の配慮申請がちゃんと通ったこと。断られることなくスムーズに進んだ。	精神障害	女性、30代、本人
公共交通機関における障害者援助、トイレのバリアフリー、多目的対応が増えており、利便性が上がっている。	内部障害、難病・特定疾患	男性、40代、本人
携帯ショップでスタッフが話してる内容をiPadでzoomモニターで手話通訳をつけてくれた。手話通訳で対応してもらえると思わなかったのでも嬉しく思った。	聴覚・平衡機能障害	女性、40代、本人
筆談やスマホアプリの音声文字変換等で対応してくれた。	聴覚・平衡機能障害	女性、60代、本人
言葉が分からないので実際の動作で示してくれた。	音声・言語・そしゃく機能障害	男性、40代、ご家族
外出時に声をかけてくれる人が多くなった。	視覚障害	男性、50代、本人
歩道に備えられていたフットランプが点灯するようになった。暗所での移動が見えづらく困っていたので助かった。	視覚障害、難病・特定疾患	女性、30代、本人
大学の専門部署が合理的配慮依頼を取りまとめてくれて授業時のサポートを受けられている。	肢体不自由	男性、10代、本人
近隣の方が、本人に、おはよう、いってらっしゃい、おかえり等、声かけしてくれる。電車に乗ると、よかったらどうぞと声かけをしてくれる方が多い。	内部障害、知的障害	男性、20代、ご家族
障害課の対応が良い。合気道や空手の道場の対応が良い。自動車学校で特別指導チームを作ってくれた。	知的障害	男性、20代、ご家族
参加するスポーツ団体でユニファイドスポーツが常態化されてきている。	知的障害	女性、30代、本人
飲食店にて車いすが十分に通れる場所に案内してもらった。	肢体不自由、内部障害	男性、20代、本人
少しずつですが、障害理解を持っている人が増えていると感じる。	知的障害	男性、20代、ご家族

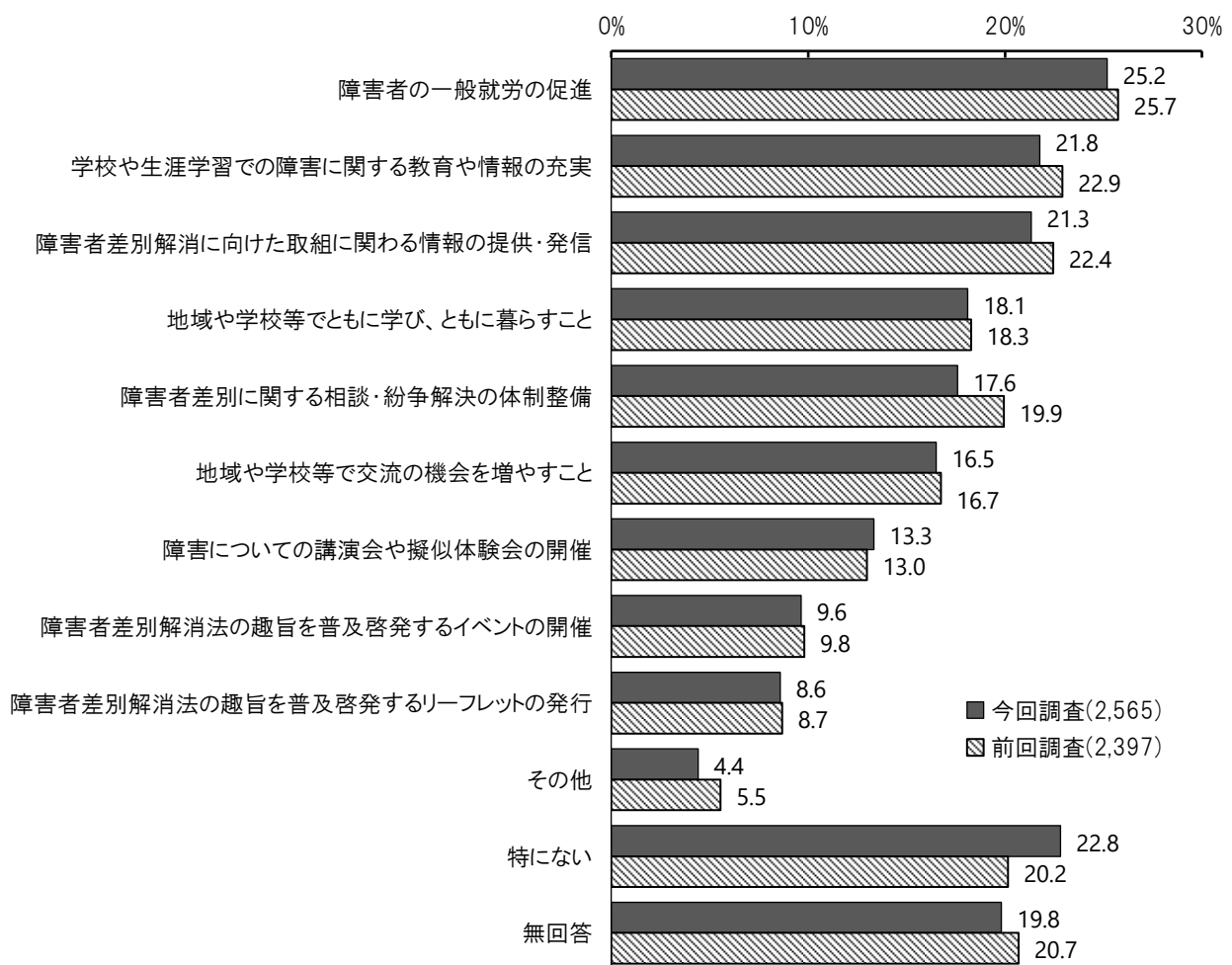
(3)障害者差別の解消のために力を入れるべきこと [複数回答]

問38 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

◆「障害者の一般就労の促進」が25.2%

【全体】

・「障害者の一般就労の促進」が25.2%で最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が21.8%、「障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信」が21.3%などとなっています。「特にない」は22.8%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「障害者の一般就労の促進」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・ 難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
障害者の一般就労の促進	22.2	26.3	31.8	24.8	19.0
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実	20.1	24.1	24.7	21.5	36.2
障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信	20.1	23.1	24.6	19.2	32.8
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	15.9	24.1	17.7	17.9	22.4
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	15.4	18.8	22.9	16.6	27.6
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	14.4	25.0	16.7	13.6	20.7
障害についての講演会や疑似体験会の開催	13.0	17.1	13.4	11.3	20.7
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	8.1	13.2	11.8	7.0	17.2
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	7.3	10.7	9.7	7.3	13.8
その他	4.1	4.5	6.4	3.6	12.1
特になし	23.9	21.4	22.8	23.5	10.3
無回答	22.9	16.2	12.3	20.5	10.3

【年齢別】

- ・ 18～39歳と40～64歳は「障害者の一般就労の促進」、65歳以上は「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」と「障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(534)	(1,056)	(934)
障害者の一般就労の促進	35.8	30.6	12.8
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実	28.8	24.5	14.5
障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信	25.8	24.9	14.5
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	26.6	19.0	11.9
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	21.7	20.4	12.1
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	24.9	17.7	10.5
障害についての講演会や疑似体験会の開催	17.2	14.9	9.0
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	13.3	11.3	5.1
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	8.2	10.2	6.5
その他	5.8	4.5	3.2
特になし	20.2	22.3	25.6
無回答	7.9	12.6	34.2

【身体障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
障害者の一般就労の促進	27.0	13.9	19.3	21.3	17.9
学校や生涯学習での障害に関する教育や 情報の充実	23.7	18.5	21.7	17.8	21.6
障害者差別解消に向けた取組に関わる 情報の提供・発信	22.9	21.3	14.3	23.7	21.6
地域や学校等でともに学び、 ともに暮らすこと	20.1	13.9	15.6	16.2	13.3
障害者差別に関する相談・紛争解決の 体制整備	16.0	10.2	13.5	19.4	17.4
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	17.0	15.7	14.3	15.8	14.2
障害についての講演会や疑似体験会の 開催	13.8	11.1	17.6	17.4	8.3
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発する イベントの開催	9.4	9.3	9.0	8.3	7.3
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発する リーフレットの発行	6.9	4.6	10.7	8.3	6.0
その他	4.3	5.6	5.3	4.3	4.6
特になし	21.1	33.3	22.1	21.3	27.1
無回答	18.8	22.2	24.2	27.3	23.9

【精神障害の種類別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能 障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
障害者の一般就労の促進	27.3	36.2	35.3	39.2	50.0	22.7
学校や生涯学習での障害に関する教育や 情報の充実	18.8	26.1	28.8	30.4	26.9	13.6
障害者差別解消に向けた取組に関わる 情報の提供・発信	22.1	25.2	28.8	27.7	19.2	31.8
地域や学校等でともに学び、 ともに暮らすこと	10.4	17.0	19.4	25.7	19.2	22.7
障害者差別に関する相談・紛争解決の 体制整備	20.8	24.2	33.1	30.4	11.5	18.2
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	9.1	14.5	19.4	24.3	19.2	9.1
障害についての講演会や疑似体験会の 開催	13.6	13.2	12.9	14.9	11.5	9.1
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発する イベントの開催	13.6	10.1	14.4	14.2	7.7	4.5
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発する リーフレットの発行	13.0	9.1	8.6	8.8	3.8	9.1
その他	2.6	6.6	7.2	9.5	11.5	-
特になし	26.6	22.6	18.0	14.2	15.4	40.9
無回答	15.6	11.0	13.7	6.1	11.5	-

(4) 成年後見制度の利用意向

問39 成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)

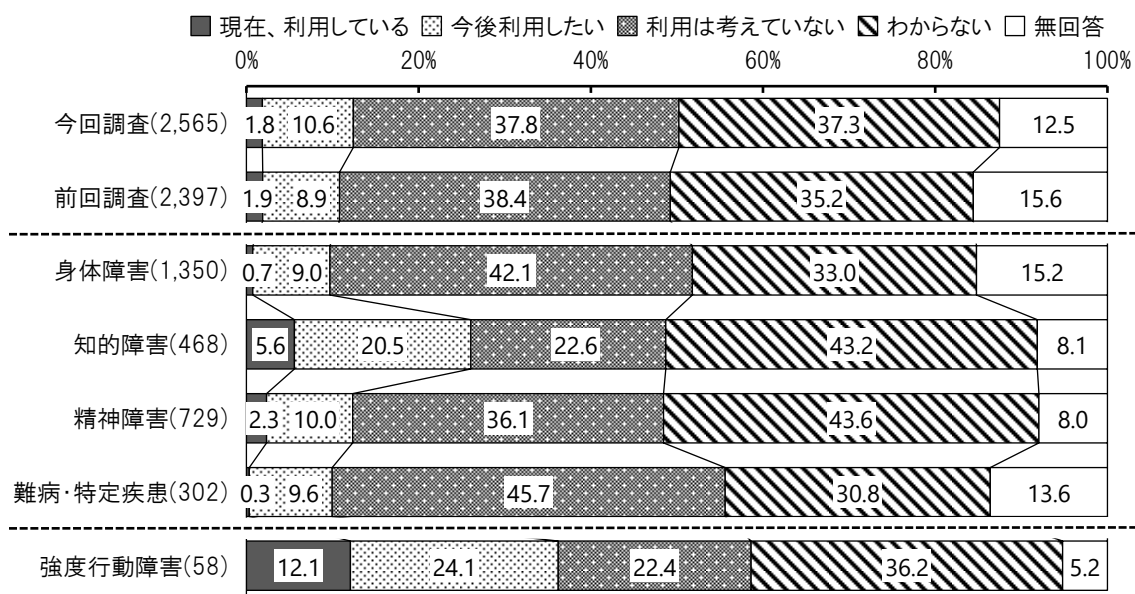
◆「今後利用したい」が10.6%に対し、「利用は考えていない」は37.8%

【全体】

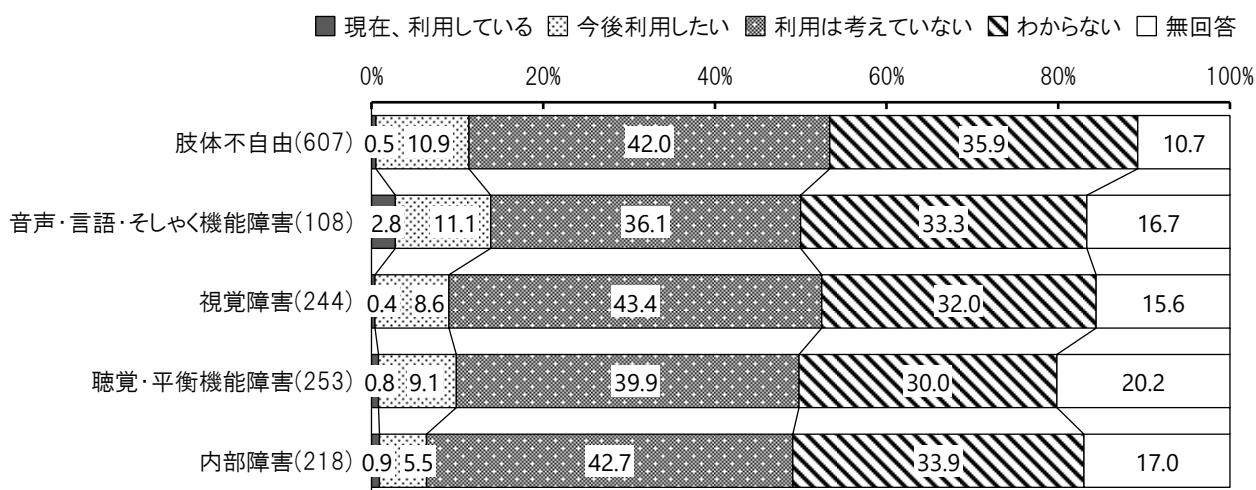
・「利用は考えていない」が37.8%で最も多く、次いで「わからない」が37.3%、「今後利用したい」が10.6%、「現在、利用している」が1.8%となっています。

【障害別】

・全体と比較して、知的障害は「現在、利用している」と「今後利用したい」が多くなっています。



【身体障害の種類別】



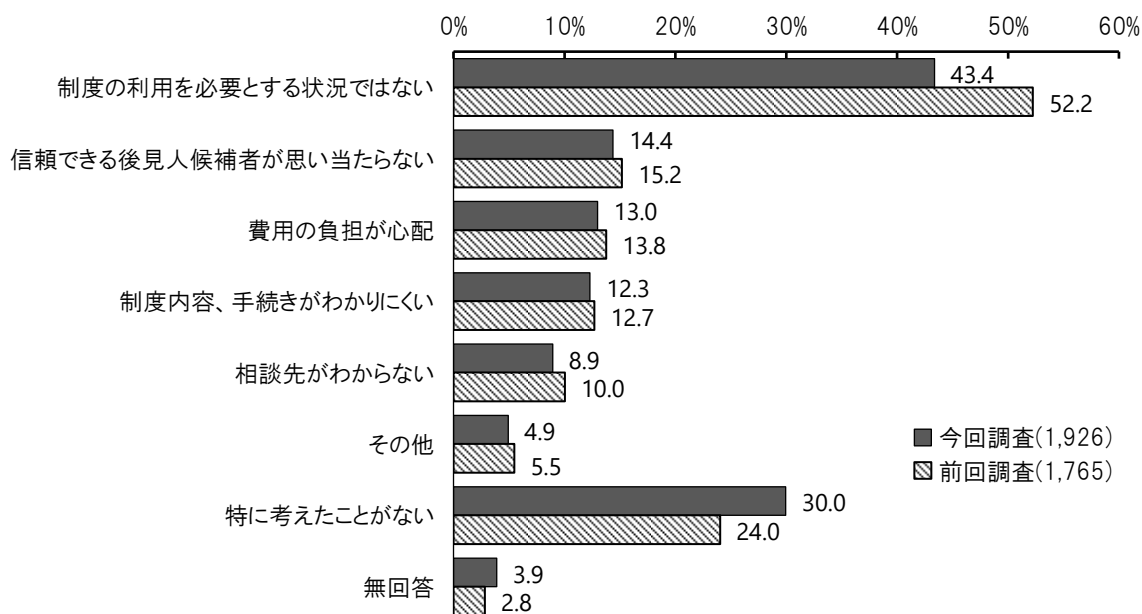
(5)成年後見制度を利用しない理由 [複数回答]

問40 成年後見制度の利用を考えていない方又はわからない方にお聞きします。その理由はなんですか。(〇はいくつでも)

◆「制度の利用を必要とする状況ではない」が43.4%

【全体】

・「制度の利用を必要とする状況ではない」が43.4%で最も多く、次いで「信頼できる後見人候補者が思い当たらない」が14.4%、「費用の負担が心配」が13.0%などとなっています。「特に考えたことがない」は30.0%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「制度の利用を必要とする状況ではない」、が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「信頼できる後見人候補者が思い当たらない」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害 (1,014)	知的障害 (308)	精神障害 (581)	特定疾患・ 難病 (231)	強度行動障害 (34)
制度の利用を必要とする状況ではない	46.5	30.2	39.4	55.0	38.2
信頼できる後見人候補者が思い当たらない	11.1	23.7	18.8	8.7	47.1
費用の負担が心配	9.3	23.4	15.7	10.0	26.5
制度内容、手続きがわかりにくい	11.8	16.9	12.6	9.1	26.5
相談先がわからない	8.1	13.3	10.7	5.2	2.9
その他	5.1	8.4	4.8	2.2	8.8
特に考えたことがない	28.3	30.2	31.7	28.6	11.8
無回答	4.6	4.5	2.1	3.9	2.9

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(473)	(75)	(184)	(177)	(167)
制度の利用を必要とする状況ではない	47.8	50.7	42.9	40.7	56.3
信頼できる後見人候補者が思い当たらない	13.7	14.7	13.0	10.2	9.0
費用の負担が心配	9.7	9.3	9.2	10.7	6.0
制度内容、手続きがわかりにくい	12.5	14.7	15.8	9.6	8.4
相談先がわからない	10.4	5.3	7.1	6.8	7.2
その他	4.9	9.3	4.3	5.6	4.2
特に考えたことがない	25.6	25.3	31.0	31.1	26.3
無回答	4.4	4.0	4.3	7.3	3.0

9 将来について

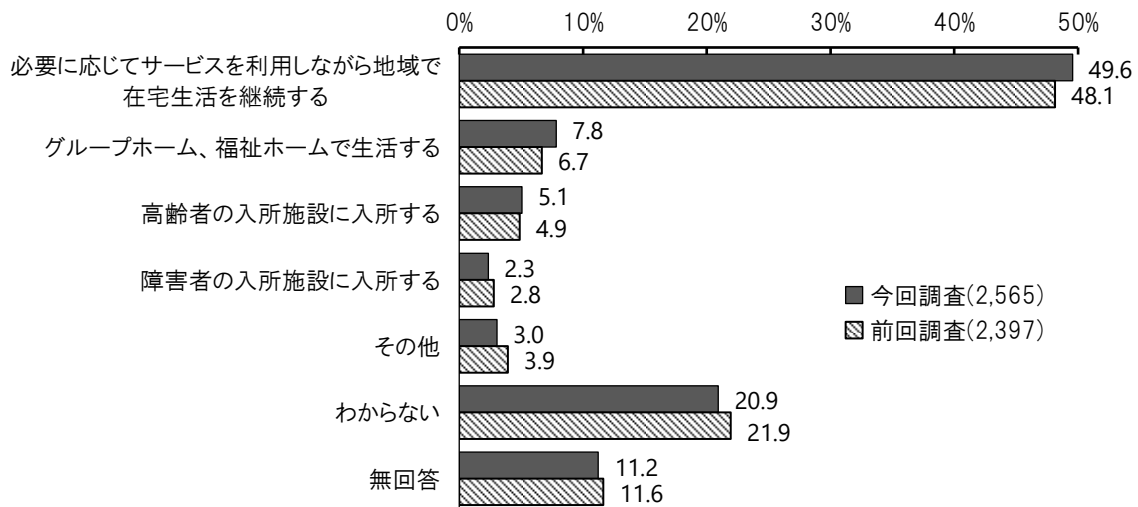
(1) 今後の生活の希望

問41 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(〇はひとつ)

◆「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が49.6%

【全体】

- ・「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が49.6%で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が7.8%、「高齢者の入所施設に入所する」が5.1%などとなっています。「わからない」は20.9%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」、知的障害は「グループホーム、福祉ホームで生活する」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホーム、福祉ホームで生活する」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する	53.8	25.9	52.0	57.0	17.2
グループホーム、福祉ホームで生活する	3.8	32.5	6.7	1.7	46.6
高齢者の入所施設に入所する	5.0	2.6	3.7	8.3	1.7
障害者の入所施設に入所する	2.4	6.2	1.8	1.0	12.1
その他	2.7	2.6	4.3	4.3	1.7
わからない	19.9	17.9	23.3	18.5	5.2
無回答	12.4	12.4	8.2	9.3	15.5

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
必要に応じてサービスを利用しながら 地域で在宅生活を継続する	54.2	51.9	55.7	46.6	59.2
グループホーム、福祉ホームで生活する	6.1	5.6	2.0	2.4	3.2
高齢者の入所施設に入所する	5.1	5.6	5.3	6.3	2.8
障害者の入所施設に入所する	2.5	4.6	4.1	3.2	0.9
その他	2.8	5.6	2.5	3.2	3.2
わからない	18.3	17.6	19.7	25.3	17.9
無回答	11.0	9.3	10.7	13.0	12.8

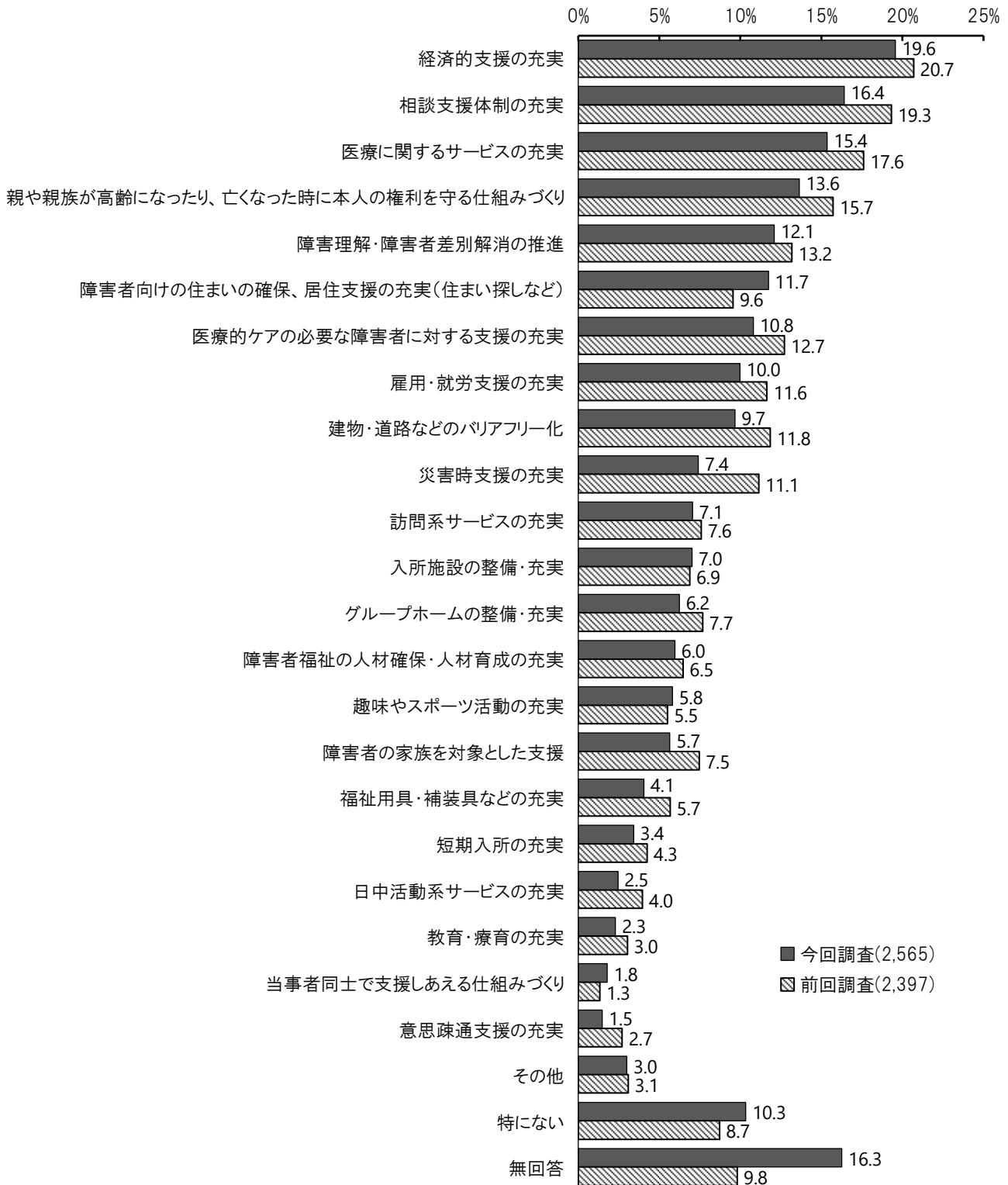
(2)地域で安心して暮らすために重要な施策 [複数回答]

問42 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆「経済的支援の充実」が19.6%

【全体】

・「経済的支援の充実」が19.6%で最も多く、次いで「相談支援体制の充実」が16.4%、「医療に関するサービスの充実」が15.4%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「経済的支援の充実」、知的障害は「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホームの整備・充実」と「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定疾患・難病	強度行動障害
総数	(1,350)	(468)	(729)	(302)	(58)
経済的支援の充実	17.0	12.4	28.3	23.5	12.1
相談支援体制の充実	15.6	12.6	20.2	14.9	13.8
医療に関するサービスの充実	14.8	4.9	16.5	22.8	1.7
親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	9.6	30.3	15.1	8.6	31.0
障害理解・障害者差別解消の推進	12.1	10.7	16.0	7.0	3.4
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実(住まい探しなど)	11.9	11.8	13.3	10.6	13.8
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実	12.0	7.9	10.4	14.6	5.2
雇用・就労支援の充実	7.0	9.0	16.2	9.6	-
建物・道路などのバリアフリー化	15.0	1.7	2.9	15.6	-
災害時支援の充実	8.7	3.4	5.3	7.9	1.7
訪問系サービスの充実	9.0	3.4	5.1	6.6	-
入所施設の整備・充実	7.1	11.1	3.4	7.3	29.3
グループホームの整備・充実	3.4	24.4	5.1	3.3	31.0
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	6.4	13.5	3.2	4.0	29.3
趣味やスポーツ活動の充実	4.4	6.6	7.4	6.3	5.2
障害者の家族を対象とした支援	5.4	5.1	7.0	6.6	8.6
福祉用具・補装具などの充実	6.8	-	0.8	4.3	-
短期入所の充実	3.5	9.0	1.6	3.0	13.8
日中活動系サービスの充実	3.0	3.4	1.9	2.3	5.2
教育・療育の充実	2.1	0.9	3.2	4.0	3.4
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	0.9	1.7	3.6	1.3	-
意思疎通支援の充実	1.7	1.3	1.4	0.3	-
その他	2.4	3.0	4.8	3.6	-
特になし	10.7	10.0	9.5	7.9	-
無回答	17.8	17.1	12.6	15.9	25.9

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(607)	(108)	(244)	(253)	(218)
経済的支援の充実	18.6	15.7	19.3	13.0	15.6
相談支援体制の充実	14.3	15.7	20.9	13.0	14.2
医療に関するサービスの充実	14.3	14.8	12.3	17.0	20.6
親や親族が高齢になったり、亡くなった 時に本人の権利を守る仕組みづくり	11.4	12.0	10.2	8.7	9.2
障害理解・障害者差別解消の推進	10.2	8.3	13.1	15.0	11.5
障害者向けの住まいの確保、居住支援の 充実(住まい探しなど)	14.5	13.0	13.9	7.9	9.6
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の 充実	11.0	13.0	10.2	13.8	15.1
雇用・就労支援の充実	8.4	3.7	5.7	4.3	7.3
建物・道路などのバリアフリー化	18.1	9.3	17.2	10.7	12.4
災害時支援の充実	7.9	3.7	9.0	11.5	11.9
訪問系サービスの充実	10.4	5.6	10.7	5.9	7.8
入所施設の整備・充実	8.6	11.1	7.4	5.9	5.5
グループホームの整備・充実	4.1	6.5	2.9	3.2	2.8
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	6.8	8.3	8.2	5.5	4.6
趣味やスポーツ活動の充実	4.8	1.9	4.9	4.7	2.8
障害者の家族を対象とした支援	5.3	11.1	6.1	5.1	5.5
福祉用具・補装具などの充実	7.4	5.6	7.0	8.3	6.0
短期入所の充実	4.8	5.6	3.3	2.8	2.3
日中活動系サービスの充実	4.4	1.9	2.9	1.2	2.8
教育・療育の充実	2.0	0.9	2.0	2.8	1.8
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	0.3	1.9	0.8	1.6	1.4
意思疎通支援の充実	1.2	1.9	1.6	4.7	0.5
その他	2.0	0.9	2.5	2.8	3.2
特になし	8.4	10.2	6.1	10.7	12.8
無回答	18.1	21.3	14.8	20.6	18.3

【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(154)	(318)	(139)	(148)	(26)	(22)
経済的支援の充実	22.1	35.5	36.0	19.6	34.6	13.6
相談支援体制の充実	18.8	20.1	25.2	18.9	23.1	18.2
医療に関するサービスの充実	15.6	19.5	13.7	10.1	11.5	9.1
親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	18.8	11.3	12.9	22.3	15.4	4.5
障害理解・障害者差別解消の推進	20.8	17.0	17.3	19.6	7.7	13.6
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実(住まい探しなど)	14.3	16.4	14.4	18.9	26.9	9.1
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実	12.3	9.7	9.4	6.8	19.2	9.1
雇用・就労支援の充実	11.7	20.1	19.4	21.6	19.2	9.1
建物・道路などのバリアフリー化	2.6	2.5	2.9	1.4	3.8	4.5
災害時支援の充実	1.9	6.6	5.0	4.7	11.5	9.1
訪問系サービスの充実	6.5	4.1	4.3	3.4	11.5	4.5
入所施設の整備・充実	2.6	2.5	2.9	3.4	7.7	-
グループホームの整備・充実	5.8	0.9	5.0	8.1	-	-
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	-	1.9	4.3	6.8	-	-
趣味やスポーツ活動の充実	7.1	6.6	5.8	10.1	19.2	9.1
障害者の家族を対象とした支援	3.9	7.5	7.9	4.7	23.1	-
福祉用具・補装具などの充実	1.3	0.9	2.2	-	-	-
短期入所の充実	0.6	1.3	-	2.7	-	-
日中活動系サービスの充実	1.9	1.6	3.6	2.0	11.5	-
教育・療育の充実	2.6	3.1	1.4	4.1	-	-
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	1.9	3.1	3.6	4.7	-	4.5
意思疎通支援の充実	1.9	0.6	-	1.4	-	-
その他	5.2	4.7	3.6	5.4	3.8	4.5
特になし	12.3	8.5	9.4	6.8	-	18.2
無回答	14.9	11.9	10.8	14.9	3.8	22.7

10 自由意見

問43 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

・「区への意見・要望」が145件と最も多く、次いで「福祉サービス」が100件、「経済的支援」が67件などとなっています。

回答の内容		件数
1	区への意見・要望	145
2	福祉サービス	100
3	経済的支援	67
4	将来の不安	53
5	生活環境	52
6	障害理解	34
7	就労	28
8	健康・医療	20
9	その他	104
合計		603

※ ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【1 区への意見・要望】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
サービスや申請方法などが知りたい。実際にどのようなサポート・サービスがあるのかを知らないため、検索もできない。Webサイトなどの、時間を気にせずに自分に合ったサービスや支援策を知ることができる窓口がほしい。	内部障害	女性、80歳、ご家族
制度に関する情報提供を充実させてほしい。区のHPにも掲載されているのかもしれないが、難解で制度の内容や手続きを理解するのは困難。情報提供をより分かりやすく、必要とする情報を入手できるようにしてほしい。	難病・特定疾患	男性、40代、本人
介護サービス、障害福祉サービスの区別が分かりにくい。ニーズは分野に分けられるようなものではない。一人一人に対するサービスを包括的に考えてもらいたい。	聴覚・平衡機能障害	女性、80代、ご家族
手続きを出張所でも行えるようにしてほしい。障害福祉課に、説明なしの手続きや視覚障害を無視したような対応の職員が複数名いる。対応についての研修やマニュアルなどをきちんと行ってほしい。	視覚障害	女性、50代、本人
新宿区役所の障害福祉課にはいつも丁寧な対応をしてくださっていただき感謝しています。	肢体不自由	男性、50代、本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
手続きのために区役所に行く必要があるが、平日しか開いていなく、仕事を休まないといけないため困る。	精神障害	男性、40代、本人
何の手続きにしても時間がかかるし、窓口に行く事自体も大変で手続きを後回しにしてしまうことも多い。手続きの簡略化やネット申請できる範囲を拡大してほしい。	精神障害	女性、20代、本人
当事者としては新宿での生活は恵まれていると思う。ただ福祉に携わる職員、関係者の待遇はどうなのか？人材の育成、十分な人材確保に一層の力を注いでほしい。	肢体不自由、音声・言語・そしやく機能障害、知的障害	男性、50代、ご家族
精神福祉手帳や障害年金などの更新頻度が高すぎる。郵送、ネットでの申請等を可能にしてほしい。外出機会の少ない人には、更新の申請期間が1ヵ月しかないのは負担が大きい。	精神障害	男性、40代、本人
不要な福祉や過剰なサービスがないか、施策全体を再点検し、公費の効率的かつ公平な配分を徹底してほしい。	精神障害	女性、30代、本人
アンケートを回答することで様々なサービスがあることを知ることができた。区には色々な施設やサービスがあること、もっと区政について知っておきたいと感じた。	精神障害	女性、60代、本人
年の瀬の最も多忙な時期の回答は厳しく、もう少し配布時期を検討してほしい。提出期間が短かすぎる。	内部障害	男性、80代、ご家族
アンケートの回答だけで大分疲れた。もっと簡略化してほしい。	精神障害	女性、30代、本人
障害者が受けられる支援の内容を知る機会に乏しい。生活に身近な支援策を口頭で説明してもらったり、関連して質問などができる機会を設けてほしい。	精神障害	男性、60代、本人

【2 福祉サービス】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
ショートステイの利用の予約が難しい。予約を取りやすくしてほしい。	知的障害	女性、20代、本人
重度の障害者を抱える家族の中ではグループホームへのニーズが高まっている。近年、グループホームの整備は進んでいるが、重度の障害者は依然として「排除」されているのではと思えてならない。今後の整備の際は、重度の障害者も受け入れるよう行政は事業者を強く指導してほしい。	肢体不自由、聴覚・平衡機能障害、知的障害	男性、40代、ご家族
入所施設、グループホームが不足している。18歳の壁があるので、生活介護の時間延長、日中タイムケアの18歳以上枠の拡大(未満は放課後等デイサービスが充実している)、日中タイムケアの公平性の確保をお願いしたい。	知的障害	男性、10代、ご家族

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
本人が1人で眠られないため、1人で泊まれるように家以外で練習の場が必要です。トワイライトサービスが利用できると、少しずつ慣れる機会が持てるようになる。将来的にグループホームに入居できるように、短期入所で”泊まりなし”のサービスを利用できるようにしてほしい。	知的障害	男性、30代、ご家族
福祉作業所の終了後(16:00)から夜19:00位まで面倒と夕食を見てくれる施設があると良い。	知的障害	女性、20代、ご家族
吸引以外の簡単な医療行為ですらヘルパーさんとやって貰えない。家族が居ない事もある。もっとヘルパーさんにも医療行為に参加できる様に勉強してもらい全員が最低限の医療行為をマスターして欲しい	肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、難病・特定疾患	男性、70代、ご家族
風邪をはじめとする感染症で重症化するため、通所や短期入所等の利用は現実的に難しいので、そういう人を受け入れられる施設があると助かる。施設内での医療にかかれる看護師等の質を確保して欲しい。	肢体不自由、知的障害	女性、20代、ご家族
障害のある人が福祉サービスの適切な利用を続けるのには、相談支援専門員の存在は欠かせない。人材の確保や育成、身分の確定を進めてほしい。ヘルパー、支援員不足は生活の質を上げることに大きな支障となっている。	知的障害	女性、40代、ご家族
支援者と利用者が「対等」という理念を聞くが、私はそれがストレスになっている。利用者は客として「支援」という仕事を支援者に依頼している。その認識が欠けて支援者を友達のように思ってしまうと、依存が生まれやすい。	精神障害	女性、20代、本人
病院等への外出時に妻に同行してもらっているが、妻が体調不良や都合が悪い時に同行してもらえるサービスを探している。また、妻が寝込んだ時の食事の用意や家事についても心配している。	視覚障害	男性、70代、本人
ヘルパーや施設職員のスキル向上を希望する。申し送りをお願い事項を記載してもそれが守られていないなど、細かいことがたくさんある。施設職員へ直接伝えることには不安があり、我慢してしまう。	肢体不自由、知的障害	男性、10代、ご家族
同じ病名でも症状の程度は様々なので、同じ病気で同じような症状の方と意見交換ができる場があると嬉しい(日常で気を付けていることなど)。	難病・特定疾患	女性、30代、本人

【3 経済的支援】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
一番感謝しているのはお金の補助です。物価高の現在、難病医療の給付金が非常にありがたく、役に立っています。	難病・特定疾患	男性、50代、本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
物価高騰で生活が苦しいため、障害者向けの特別給付金がもらえるとうれしい。	知的障害	女性、50代、本人
区営住宅を増やして欲しい。生活保護をはじめ、障害者雇用での給与では、民間の賃貸では毎月の生活費が苦しい。	知的障害、精神障害	男性、30代、本人
タクシー券の増額。住宅サービスの拡充(家賃補助、公営住宅をもっと増やしてほしい)。本人のみでなく、介護してる人に対するバックアップを考えて欲しい。	視覚障害、難病・特定疾患	男性、60代、本人
生活費高騰が、障害者の生活を直撃している。家賃高騰で民間の賃貸物件を借りる事が困難になりつつある。補助金や、光熱費の補填、家賃費用の補填があれば助かる。	精神障害	無回答、30代、本人
障害基礎年金の金額を上げてほしい。就労移行支援事業所に通っている間は動けないので増額して欲しい。	精神障害	男性、30代、本人
難病で薬の値段が高い。自己負担が大きい。ある程度収入があっても、月額数万円の医療費が毎月掛かり困る。	難病・特定疾患	男性、30代、本人
新宿区のグループホーム代はとても高い。補助をもらっていても大変。月々20万円近い生活費家賃なので、もう少しもらえると、将来が安心できます。	肢体不自由、知的障害	女性、20代、ご家族

【4 将来の不安】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
父親が元気なうちは何とかなると思えるが、父親が亡くなった後のことを考えると、どうしたらよいのかわからない。	精神障害	女性、30代、本人
親亡き後の事は一番気になる事で、兄も障害があり、頼る事は出来ない。後見人制度はまだまだ使い難いし、人間をそう簡単に信じる事は不可能ではないかと強く思います。	身体障害、知的障害	女性、40代、本人
親亡き後の生活について、現在、母親が担っている福祉サービスの契約・申請、財産・預金の管理、通院などを誰にどこに託すか。分かりやすく安心な仕組みを構築してほしい。	知的障害	男性、20代、ご家族
重度知的障害者なので、本人の意思に添った支援を親亡き後も継続出来るような人材と体制が必要。	知的障害	男性、50代、ご家族
親の高齢化で、兄弟に負担がある。施設入所していても大切な手続きは家族がやらなければいけない。本人への支援とともに家族への支援もお願いしたい。体だけでなく、精神面でも家族は負担を強いられている。	肢体不自由、知的障害	女性、50代、ご家族
災害時、障害をもっている人たちが、安心して身を寄せることのできる場所の確保が急がれる。	知的障害	女性、30代、ご家族
新宿区の福祉は充実している。ただ、親の生活も年金に頼っていることを考えると、いつまでもこの地域にいますが、物価高で難しくなり、将来に対して不安がある。	知的障害	男性、20代、ご家族

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
親なき後、成年後見人も1回決めたら一生解約出来ないなど、自由が出来ないと決めがある様なので、親が元気なうちは決めかねている。	肢体不自由	男性 30代、ご家族
仕事も今はまだ働けていますが1、2年後はわからないので常に不安です。	肢体不自由	女性、50代、本人
民間の借家で契約を2年単位で更新しているが、定年を迎えたあと、契約の更新を行い続けられるか不安。初期費用、継続費用が掛からない公営住宅等の優先入居等に関する情報環境の整備、提供の充実をお願いしたい。	視覚障害	男性、50代、本人

【5 生活環境】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
バリアフリー化は進んだが、健常者目線でのバリアフリーと感ずることもある。障害者の意見も取り入れて欲しい。	肢体不自由	男性、50代、本人
人身事故等で交通機関がストップすると、車内アナウンスが全く聞こえないため、途方に暮れる。人身事故等で電車が止まったりした時は車内アナウンスだけでなく、車内の電光掲示板に情報を入れるようお願いしたい。	聴覚・平衡機能障害	女性、無回答、本人
街や施設のバリアフリー化は必須。鉄道や建物利用などで、エレベーターの数が少なすぎる。場所がわかりにくい。	肢体不自由	男性、60代、本人
点字ブロックの充実。横断歩道の音で青信号が分かる設備の充実。	視覚障害	男性、40代、本人
白杖で歩行していて街路樹の枝に何度か顔をぶつけている。2メートル位まで切つてあると助かる。	視覚障害	男性、50代、本人
外出時に周りにトイレがなく公共施設や駅のトイレまで移動するのに苦労することが多い。コンビニ・スーパー等も利用できない所も多く、店舗開放などを検討してほしい。	難病・特定疾患	女性、50代、本人
路上で危険運転の電動自転車、キックボードが多く、外出時に怖い思いをする。身体が不自由な人は、とっさに体勢を変えようとしても転倒しやすく、ケガのリスクも高い。	肢体不自由、難病・特定疾患	男性、50代、本人
タクシー運転手が車いす利用者への対応方法をよく知らない。車内の座席の折りたたみ方が分からなかったり、スロープの使い方に慣れていなかったりするため、乗車を断られてしまうことがある。車いす利用者への接遇や操作方法に関する研修をもっと充実させてほしい。	肢体不自由	男性、20代、本人
新宿区役所へのアクセスがハード。視覚障害者にとって人混みの中を歩くのは大変。保健所は離れた所にある移動するのが大変。街灯はLEDだと明るくて歩きやすい。	視覚障害、難病・特定疾患	女性、30代、本人

【6 障害理解】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
必要以上に障害者扱いされたくない。同情されるのもうれしくない。出来る限り迷惑を掛けずに生活するよう心掛けているので、現状の生活を続けたい。	肢体不自由	女性、80代、本人
内部障害者の施策充実は、特に期待していません。ヘルプマークをつけていても、外見で判断されることが多い。	内部障害	男性、50代、本人
親族の中にも、無理解な方が少なからずいることが、生きにくさを促進している。「いろいろな背景の人たちがいる」ことを積極的に認識し、より若い世代で障害を抱える人たちが生きやすくなって欲しい。	精神障害	女性、40代、本人
障害者も、普通に暮らしている人間と、違いはちょっとだけで、大して変わりはないという理解が必要。でも聴こえないというストレスはとても大きい。	聴覚・平衡機能障害	男性、60代、本人
障害者となり、弱者、差別の対象となった事、日常生活の不便さ、不自由さへの苦しみ、辛さは計りしれない。当事者でなければ分からない。災害時の恐怖、死への覚悟等心のケアが必要でもあろうと思う。	肢体不自由、視覚障害、内部障害	女性、60代、本人
SNSなどで、「精神障害の人は子どもを産むな！」や、障害年金に対する批判が見られる。一部の人の軽はずみな発信で、障害や疾患に対する偏見が生まれている現状が悲しいなと感じている。	精神障害	女性、20代、本人

【7 就労】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
障害者の自立のためには就労機会があることが重要。政府・地方自治体には就労支援、民間企業への啓発というより自ら障害者雇用を率先して進めることを求めます。	音声・言語・そしやく機能障害	男性、70代、本人
工賃が低く過ぎる。1か月、給食費引いたら2,000円程。仕事に行きたくても働かせてもらえない。	知的障害	女性、20代、ご家族
軽度の障害者であっても、就職等が思うようにならず、能力に見合った所得が得られず、リストラの不安がある。雇用における障害者の受容促進のための施策の充実を望む。	肢体不自由	男性、50代、本人
就労継続支援B型を利用中だが、仕事につなげるのが難しい。しかし、A型はほぼ仕事と同じ感じなので、A型が工賃低くてもいいのでもっとハードル低いと利用しやすい。	精神障害	女性、40代、本人
疾病による休職期間の可能日数が企業によりばらつきがあるのもおかしい。障害があっても一般就労ができる(健常者と待遇も変わらない)、障害があることをオープンにして就活しても不利にならない制度を実現してほしい。	精神障害	女性、30代、本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
障害者雇用は週20時間以上の勤務が条件になっているが、短時間から(週6時間～)可能にしてほしい。在宅勤務の機会を増やす取り組みを進めてほしい。	精神障害	女性、40代、本人

【8 健康・医療】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
成人してから大きな事故に遭い、身体障害者となった。障害の受容、障害と共に生きるつらさや悲しみなど、心理的支援は全くといって良いほど受けられなかった。ピアサポートもあるが喪失、グリーフ、障害受容などを専門とするカウンセラーと相談できる仕組みを構築してほしい。	肢体不自由、精神障害	女性、60代、本人
気分によって症状がすぐに変化する。症状によって病院に行く回数が増えるので手帳があることで、負担が軽減されて助かっている。	精神障害	女性、40代、本人
医療が進み、いつか障害も治せる時が来ると信じ、今まで来た。リハビリ系の施設、人材が増えることを望んでいる。だれでもが生きている喜びを感じることが大切です。	肢体不自由	女性、70代、本人
病気をしたとき、身体的なことなど相談や受診をしたいときに断られることが多い。ちゃんと診てもらうことが出来ない。医療機関で疎まれるのでまともに相談も出来ない。	肢体不自由、知的障害	女性、40代、ご家族
医学の最先端の知識が臨床の場に活用されていないと感じる。	難病・特定疾患	男性、無回答、本人

【9 その他】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
より困難な状況にある人への支援を優先的に行ってほしい。その上で障害のある人もない人も、より余裕のある暮らしが出来る社会にしてほしい。	精神障害	女性、30代、本人
症状が軽いので不安はないが、相談することがあっても、なかなか行動に出せない、言えない。	難病・特定疾患	女性、60代、本人
わが国の障害者行政は比較的良いサービスを提供している。インフラ整備(外面)などは非常に高い評価をせざるをえない。世界でもトップクラスの障害者対応になったが、内面の精神面での不安は大いに残る。	肢体不自由、知的障害、難病・特定疾患	男性、70代、本人
在宅で気ままに過ごす。病院、介護施設の利用を望まない。歩く事をつづけ、スポーツを楽しむ。自然に消滅。	肢体不自由、聴覚・平衡機能障害、難病・特定疾患	女性、80代、本人

Ⅱ 施設に入所している方を対象とした調査

<調査票の回答者>

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

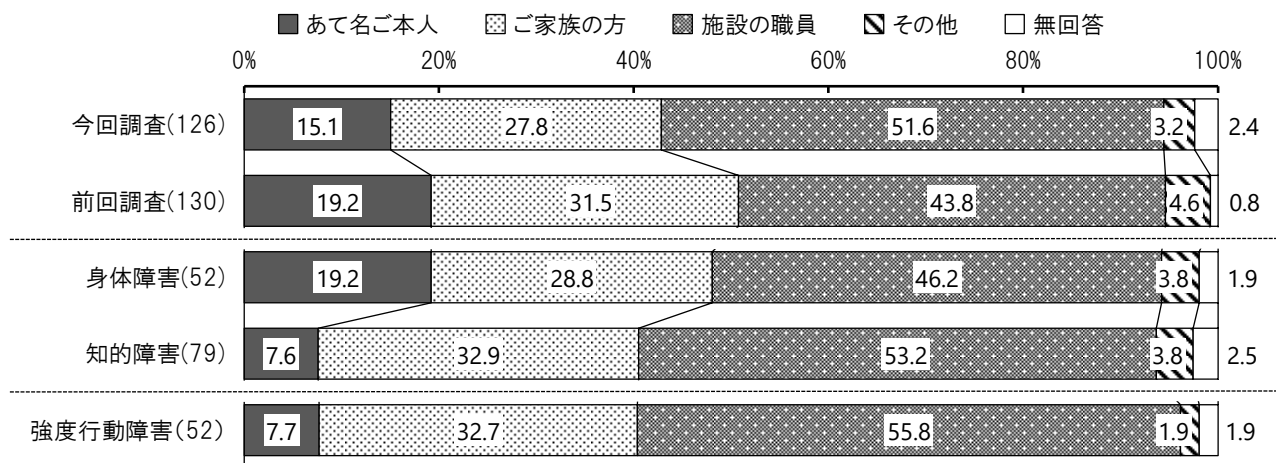
◆「施設の職員」が51.6%

【全体】

- ・「施設の職員」が51.6%で最も多く、次いで「ご家族の方」が27.8%、「あて名ご本人」が15.1%などとなっています。

【障害別】

- ・全体と比較して、知的障害は「あて名ご本人」が少なくなっています。
- ・全体と比較して、強度行動障害は「あて名ご本人」が少なくなっています。



1 ご本人について

(1)性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(○はひとつ)

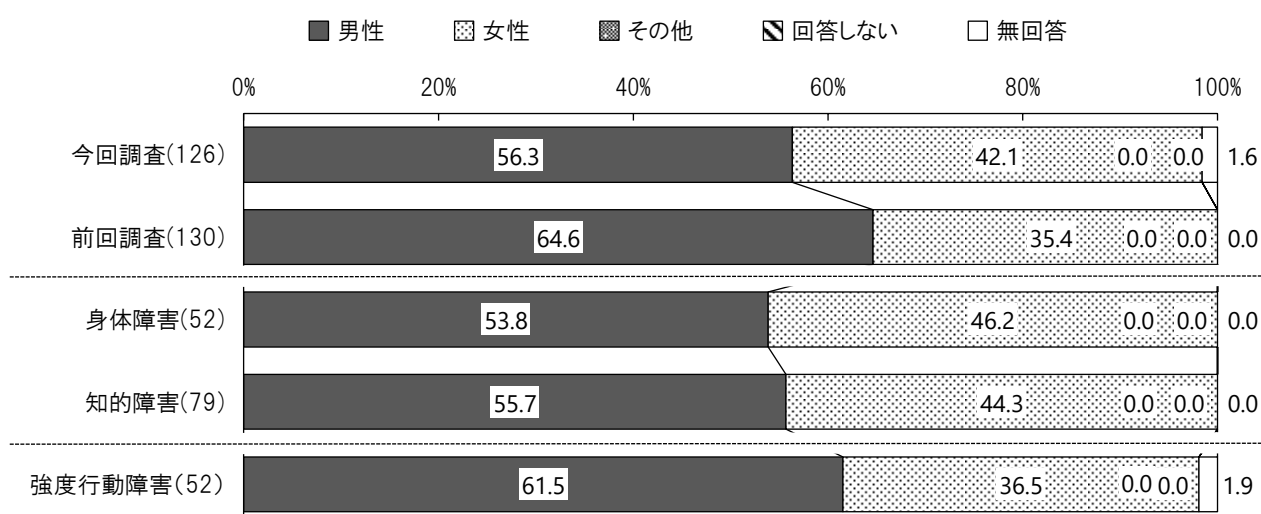
◆「男性」が56.3%、「女性」が42.1%

【全体】

・「男性」が56.3%、「女性」が42.1%となっています。

【障害別】

・障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



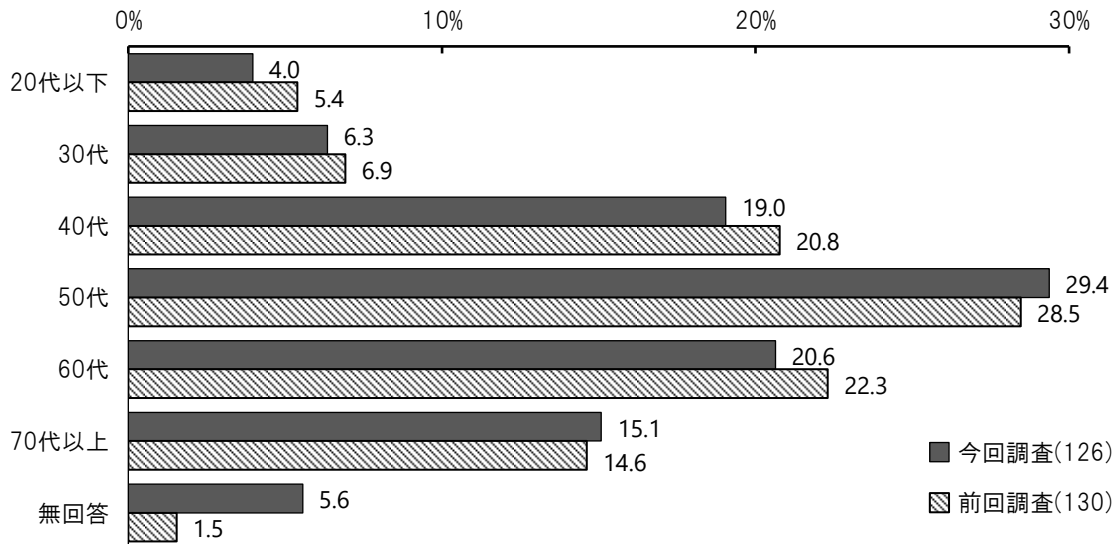
(2)年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。令和7年11月1日現在の満年齢をお書きください。

◆「50代」が29.4%

【全体】

・「50代」が29.4%で最も多く、次いで「60代」が20.6%、「40代」が19.0%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「50代」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「50代」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
20代以下	1.9	5.1	7.7
30代	5.8	6.3	5.8
40代	19.2	24.1	21.2
50代	30.8	29.1	32.7
60代	21.2	17.7	15.4
70代以上	19.2	13.9	9.6
無回答	1.9	3.8	7.7

(3)手帳の種類

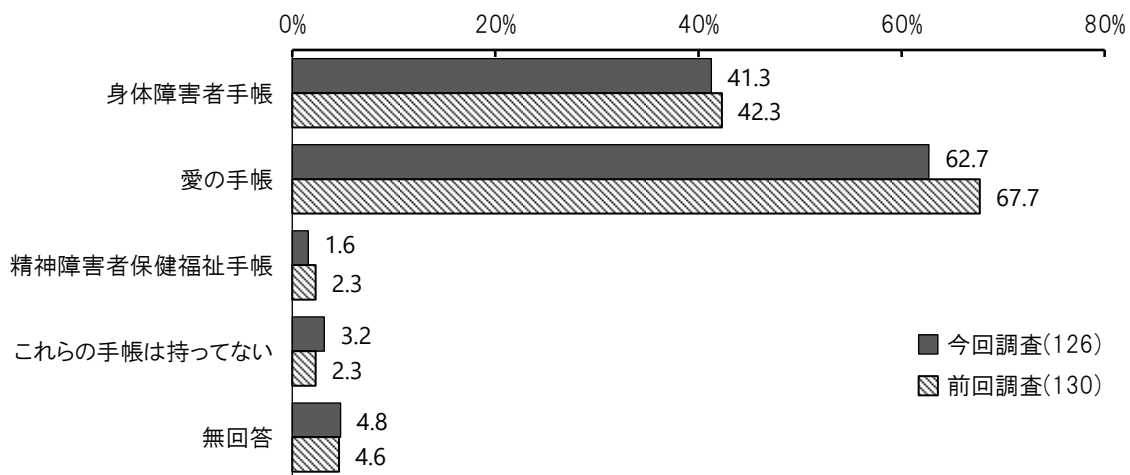
問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。(○はいくつでも)

①手帳の種類 [複数回答]

◆「愛の手帳」が62.7%

【全体】

・「愛の手帳」が62.7%で最も多く、次いで「身体障害者手帳」が41.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が1.6%、「これらの手帳は持っていない」が3.2%となっています。



【障害別】

- ・身体障害では28.8%が愛の手帳を所持しており、知的障害では19.0%が身体障害者手帳を所持しています。
- ・強度行動障害では、「愛の手帳」が8割以上と多くなっています。

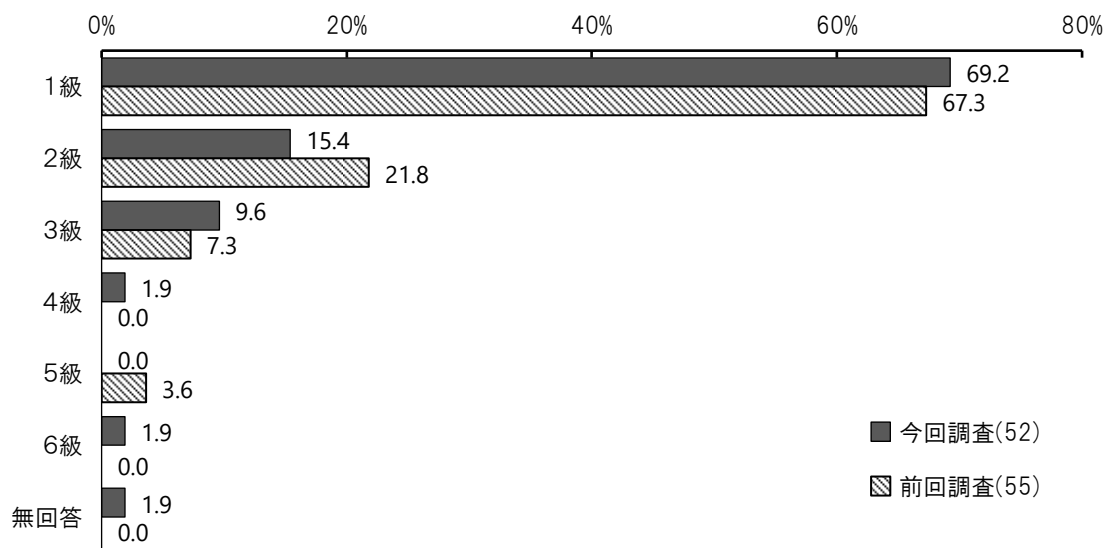
単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
身体障害者手帳	100.0	19.0	17.3
愛の手帳	28.8	100.0	86.5
精神障害者保健福祉手帳	1.9	2.5	3.8
これらの手帳は持っていない	-	-	3.8
無回答	-	-	3.8

②身体障害の等級

◆「1級」が69.2%

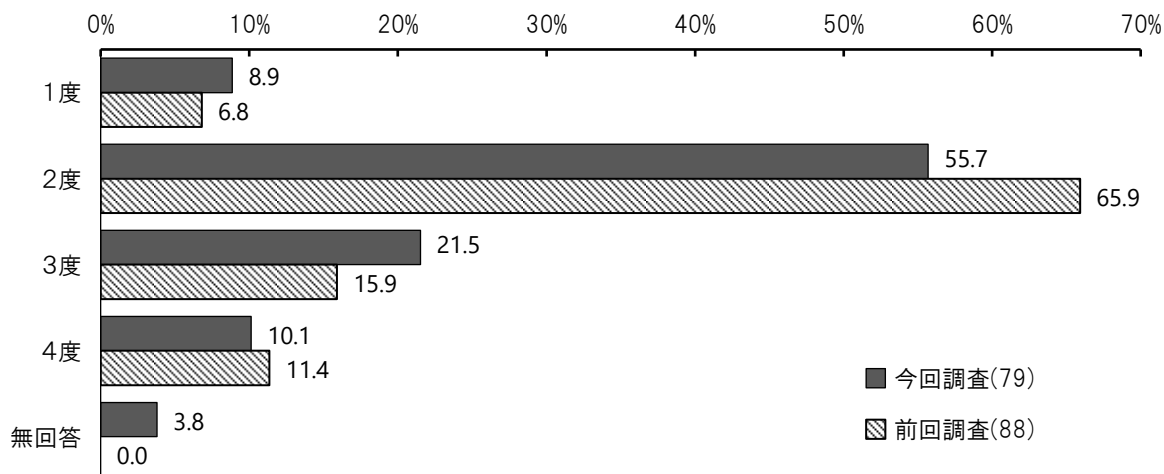
・「1級」が69.2%で最も多く、次いで「2級」が15.4%、「3級」が9.6%などとなっています。



③愛の手帳の程度

◆「2度」が55.7%

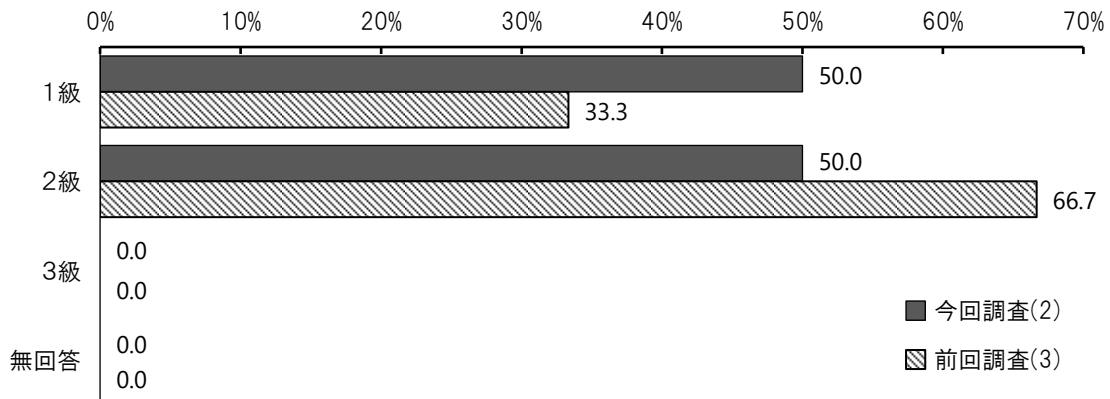
・「2度」が55.7%で最も多く、次いで「3度」が21.5%、「4度」が10.1%などとなっています。



④精神障害者保健福祉手帳の等級

◆「1級」と「2級」が50.0%

・「1級」と「2級」がそれぞれ50.0%となっています。



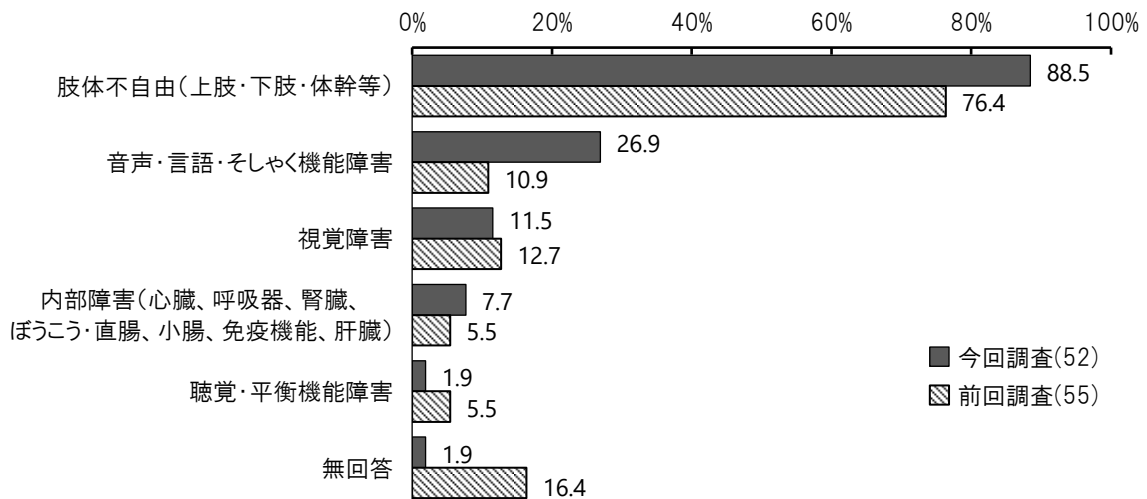
(4)身体障害の種類 [複数回答]

問5 「身体障害者手帳」をお持ちの方にお聞きします。どのような障害がありますか。(〇はいくつでも)

◆「肢体不自由(上肢・下肢・体幹等)」が88.5%

【全体】

・「肢体不自由(上肢・下肢・体幹等)」が88.5%で最も多く、次いで「音声・言語・そしゃく機能障害」が26.9%、「視覚障害」が11.5%などとなっています。



。

2 施設入所について

(1)施設のある地域

問6 あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きます。(○はひとつ)

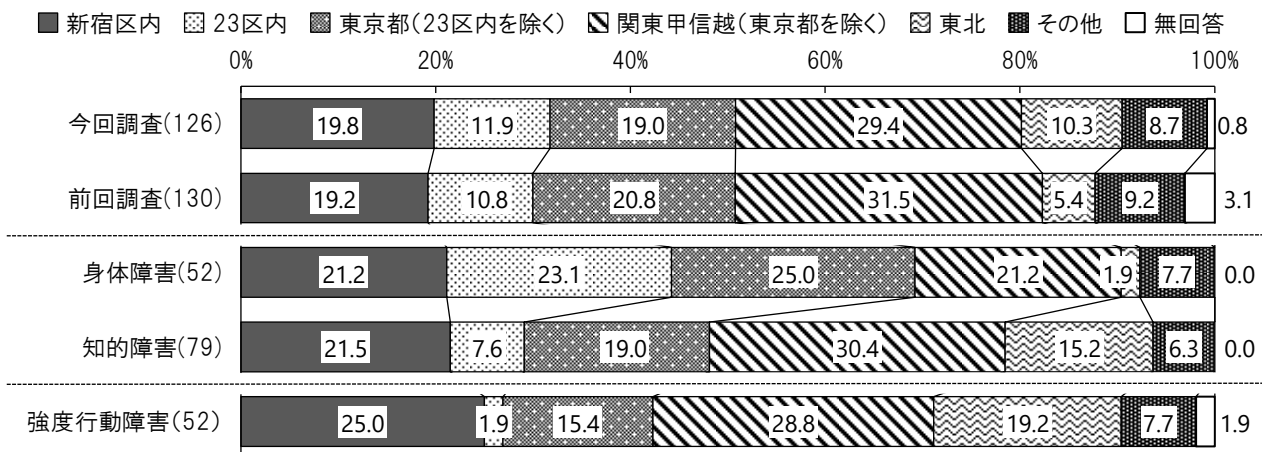
◆「関東甲信越(東京都を除く)」が29.4%

【全体】

- ・「関東甲信越(東京都を除く)」が29.4%で最も多く、次いで「新宿区内」が19.8%、「東京都(23区内を除く)」が19.0%などとなっています。

【障害別】

- ・身体障害は「東京都(23区内を除く)」、知的障害は「関東甲信越(東京都を除く)」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「関東甲信越(東京都を除く)」が多くなっています。



【年齢別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
総数	(5)	(8)	(24)	(37)	(26)	(19)
新宿区内	20.0	75.0	25.0	13.5	19.2	5.3
23区内	20.0	12.5	16.7	5.4	11.5	15.8
東京都(23区内を除く)	20.0	12.5	37.5	16.2	11.5	15.8
関東甲信越(東京都を除く)	-	-	16.7	35.1	46.2	36.8
東北	40.0	-	-	16.2	3.8	15.8
その他	-	-	4.2	13.5	7.7	10.5
無回答	-	-	-	-	-	-

(2)入所期間

問7 あなたが現在の施設に入所してからの年数をお聞きします。(〇はひとつ)

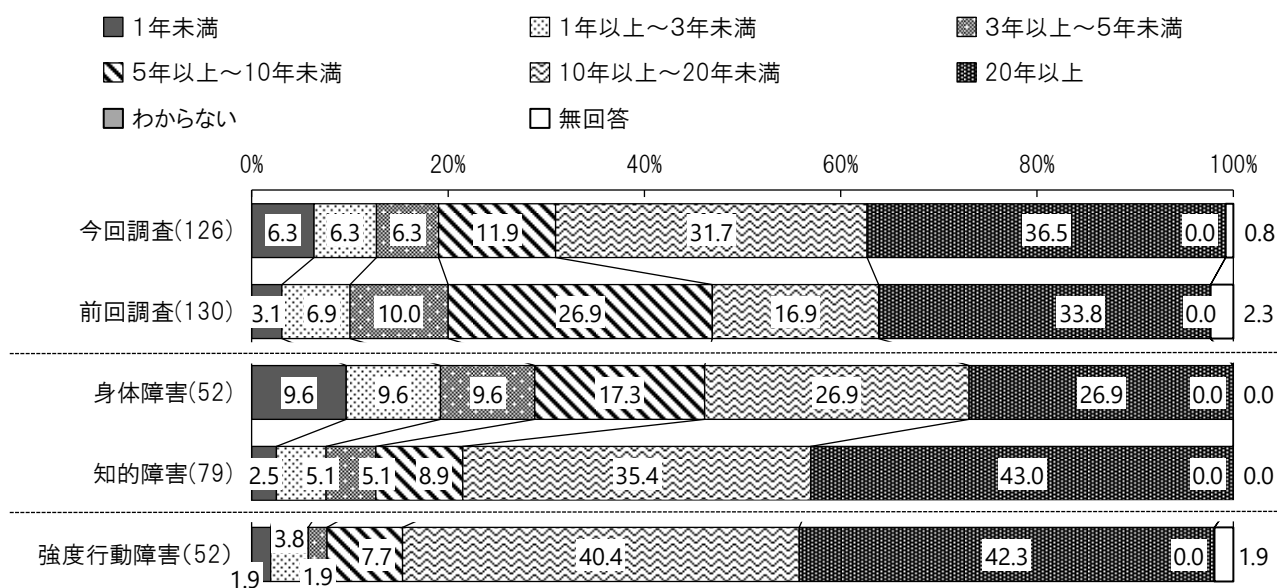
◆「20年以上」が36.5%

【全体】

・「20年以上」が36.5%で最も多く、次いで「10年以上～20年未満」が31.7%、「5年以上～10年未満」が11.9%などとなっています。

【障害別】

・知的障害で比較的長期間入所している人が多くなっています。



【施設のある地域別】

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	新宿区内	23区内	東京都 (23区内を 除く)	関東甲信越 (東京都を 除く)	東北	その他
総数	(25)	(15)	(24)	(37)	(13)	(11)
1年未満	4.0	13.3	8.3	5.4	-	9.1
1年以上～3年未満	8.0	13.3	4.2	-	23.1	-
3年以上～5年未満	4.0	-	8.3	13.5	-	-
5年以上～10年未満	4.0	33.3	12.5	10.8	7.7	9.1
10年以上～20年未満	80.0	20.0	20.8	24.3	-	27.3
20年以上	-	20.0	45.8	45.9	69.2	54.5
わからない	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-

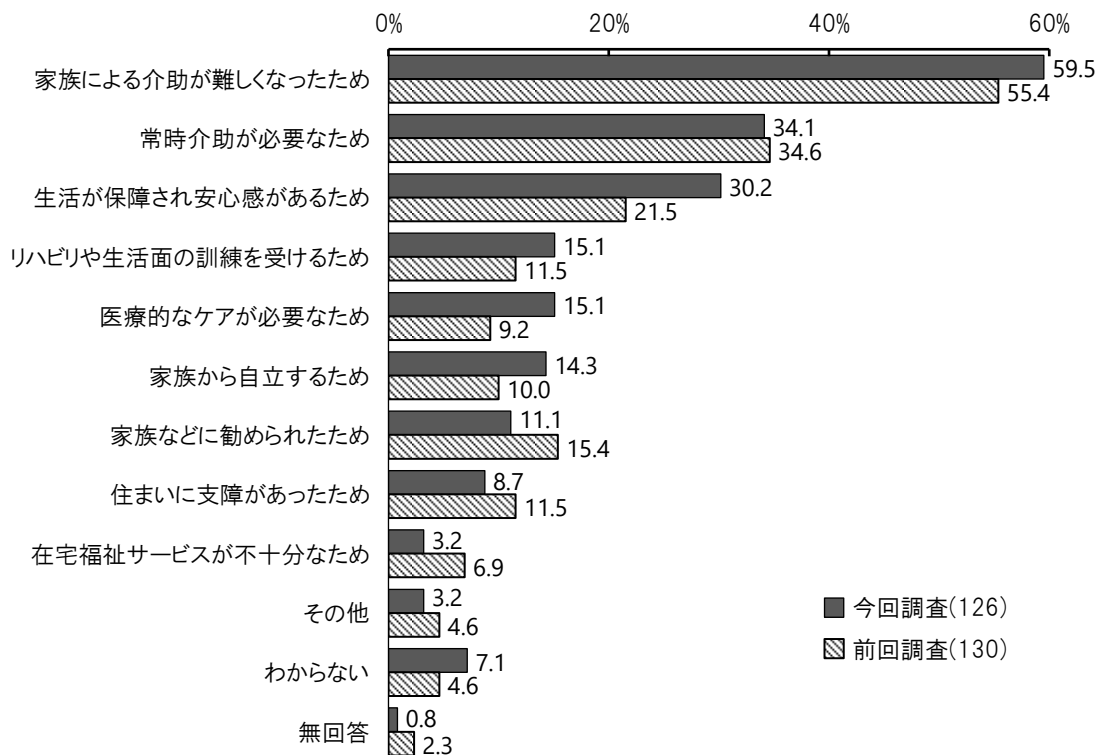
(3)施設に入所した理由 [複数回答]

問8 あなたが現在の施設に入所することになった理由は何ですか。(○はいくつでも)

◆「家族による介助が難しくなったため」が59.5%

【全体】

- ・「家族による介助が難しくなったため」が59.5%で最も多く、次いで「常時介助が必要なため」が34.1%、「生活が保障され安心感があるため」が30.2%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「家族による介助が難しくなったため」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「家族による介助が難しくなったため」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
家族による介助が難しくなったため	63.5	64.6	65.4
常時介助が必要なため	48.1	26.6	25.0
生活が保障され安心感があるため	26.9	32.9	28.8
リハビリや生活面の訓練を受けるため	21.2	13.9	13.5
医療的なケアが必要なため	26.9	8.9	5.8
家族から自立するため	11.5	16.5	17.3
家族などに勧められたため	11.5	10.1	7.7
住まいに支障があったため	17.3	2.5	5.8
在宅福祉サービスが不十分なため	3.8	2.5	1.9
その他	-	3.8	3.8
わからない	5.8	6.3	5.8
無回答	-	-	1.9

3 施設での生活について

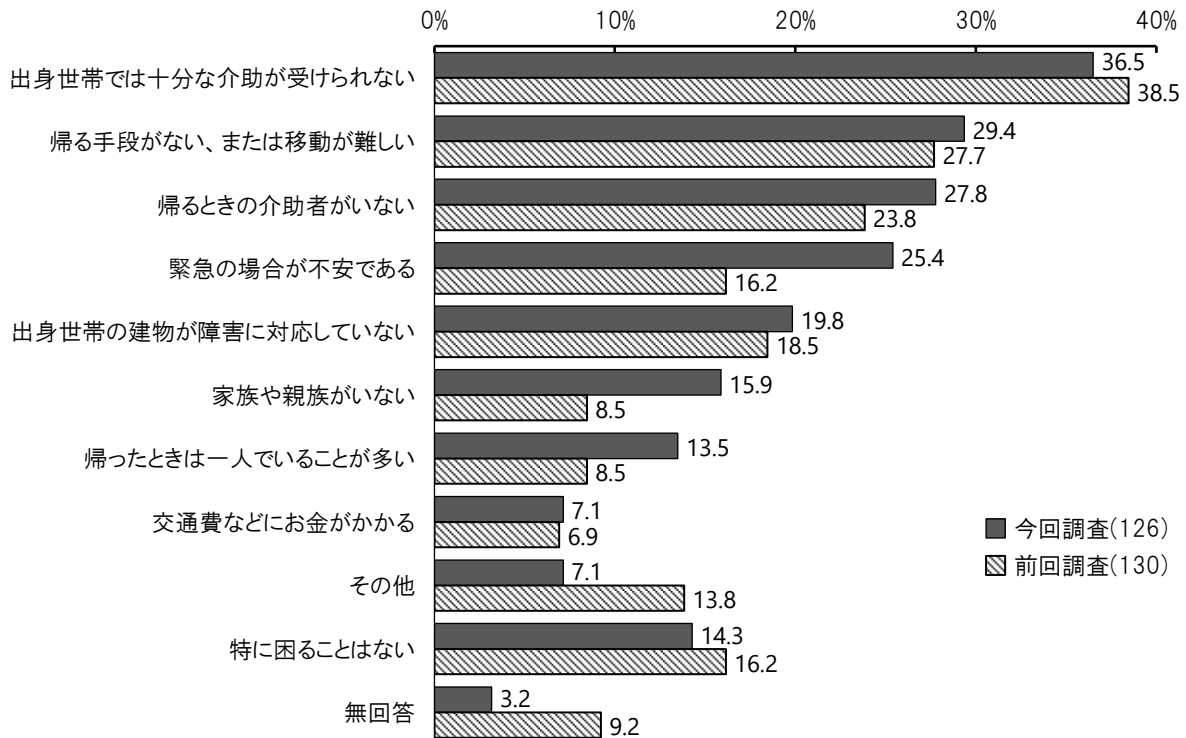
(1) 出身世帯に帰るときなどに困ること [複数回答]

問9 あなたが一時、出身世帯(施設に入る前に住んでいた家)などに帰るときに困ることはありますか。(〇はいくつでも)

◆「出身世帯では十分な介助が受けられない」が36.5%

【全体】

・「出身世帯では十分な介助が受けられない」が36.5%で最も多く、次いで「帰る手段がない、または移動が難しい」が29.4%、「帰るときの介助者がいない」が27.8%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「出身世帯では十分な介助が受けられない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「出身世帯では十分な介助が受けられない」が多くなっています。

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
出身世帯では十分な介助が受けられない	48.1	35.4	34.6
帰る手段がない、または移動が難しい	40.4	29.1	25.0
帰るときの介助者がいない	30.8	27.8	21.2
緊急の場合が不安である	38.5	16.5	19.2
出身世帯の建物が障害に対応していない	34.6	13.9	9.6
家族や親族がいない	17.3	16.5	17.3
帰ったときは一人であることが多い	21.2	10.1	5.8
交通費などにお金がかかる	11.5	3.8	3.8
その他	7.7	5.1	3.8
特に困ることはない	7.7	15.2	15.4
無回答	-	2.5	1.9

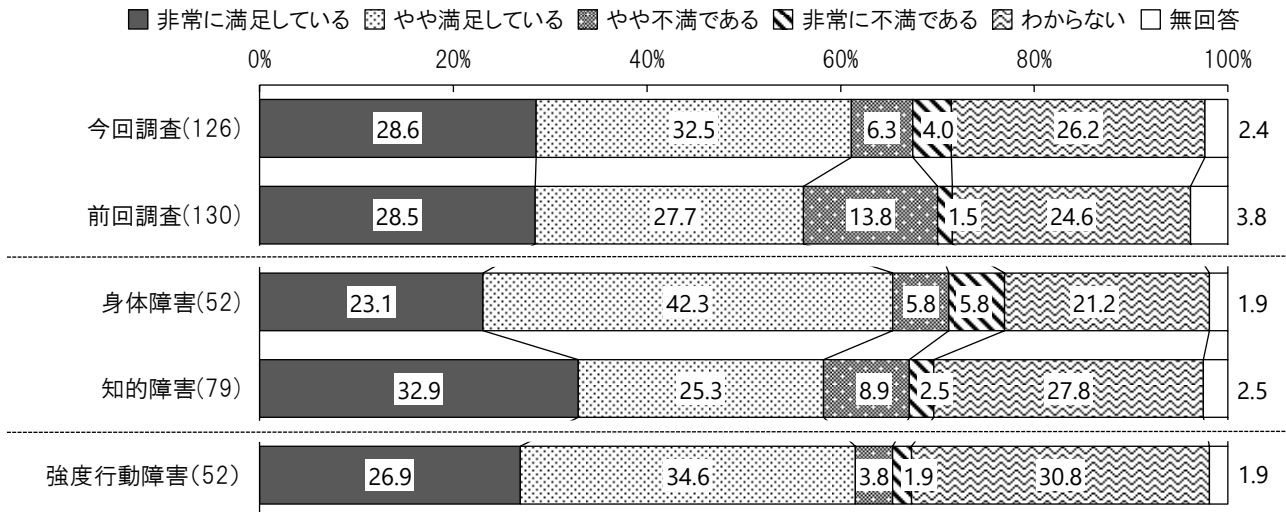
(2)施設生活の満足度

問10 あなたは、施設での生活に満足していますか。(○はひとつ)

◆「やや満足している」が32.5%

【全体】

・「やや満足している」が32.5%で最も多く、次いで「非常に満足している」が28.6%、「やや不満である」が6.3%、「非常に不満である」が4.0%となっています。「わからない」は26.2%となっています。



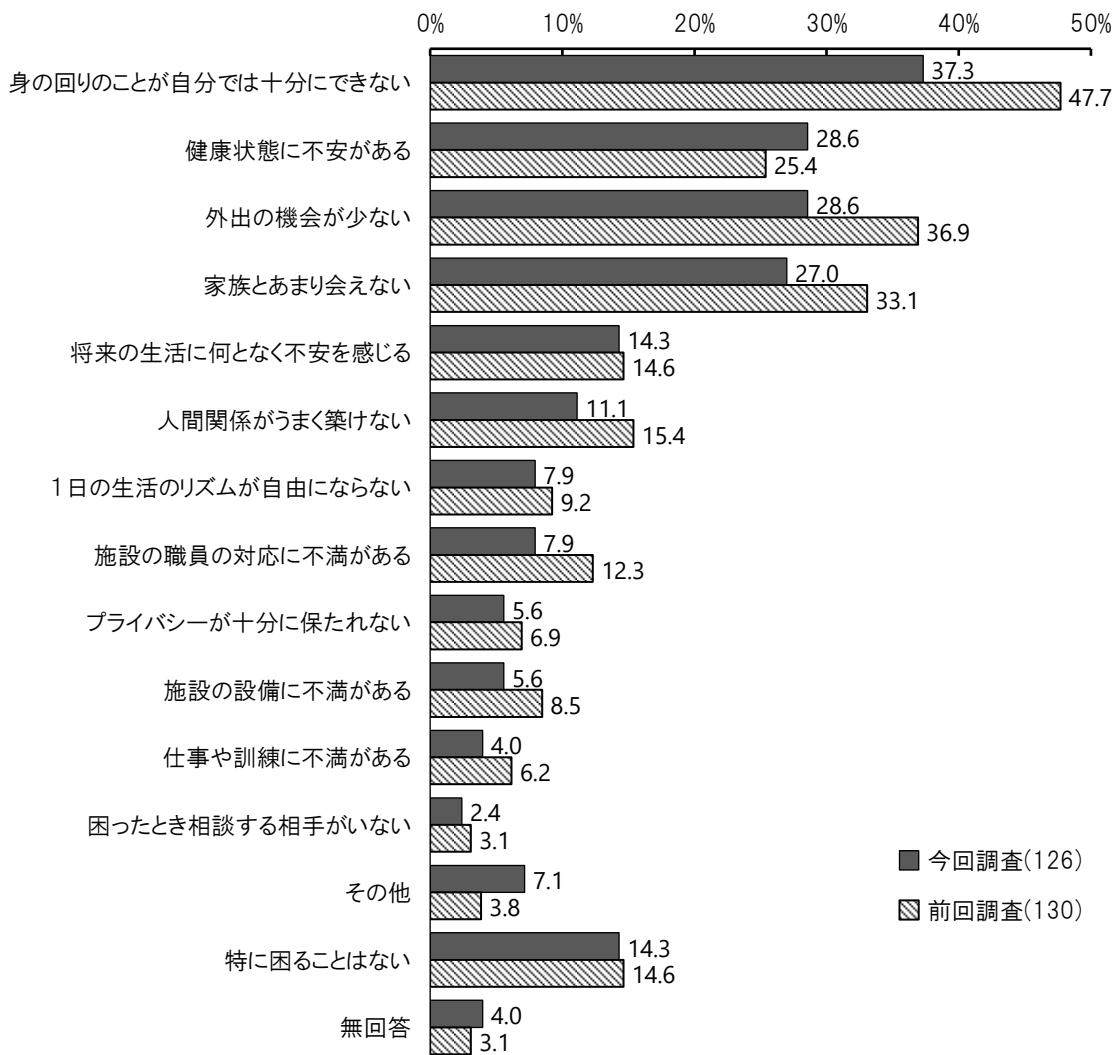
(3)施設生活で困っていること [複数回答]

問11 あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。(〇は
いくつでも)

◆「身の回りのことが自分では十分にできない」が37.3%

【全体】

・「身の回りのことが自分では十分にできない」が37.3%で最も多く、次いで「健康状態に不安がある」と「外出の機会が少ない」が28.6%、「家族とあまり会えない」が27.0%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「身の回りのことが自分では十分にできない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「身の回りのことが自分では十分にできない」が多くなっています。

単位: %、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
身の回りのことが自分では十分にできない	46.2	38.0	42.3
健康状態に不安がある	32.7	26.6	32.7
外出の機会が少ない	32.7	24.1	25.0
家族とあまり会えない	26.9	30.4	28.8
将来の生活に何となく不安を感じる	26.9	8.9	9.6
人間関係がうまく築けない	11.5	10.1	13.5
1日の生活のリズムが自由にならない	9.6	5.1	3.8
施設の職員の対応に不満がある	11.5	3.8	1.9
プライバシーが十分に保たれない	7.7	2.5	-
施設の設備に不満がある	5.8	6.3	3.8
仕事や訓練に不満がある	7.7	2.5	-
困ったとき相談する相手がいない	-	2.5	-
その他	9.6	6.3	5.8
特に困ることはない	5.8	16.5	13.5
無回答	3.8	3.8	1.9

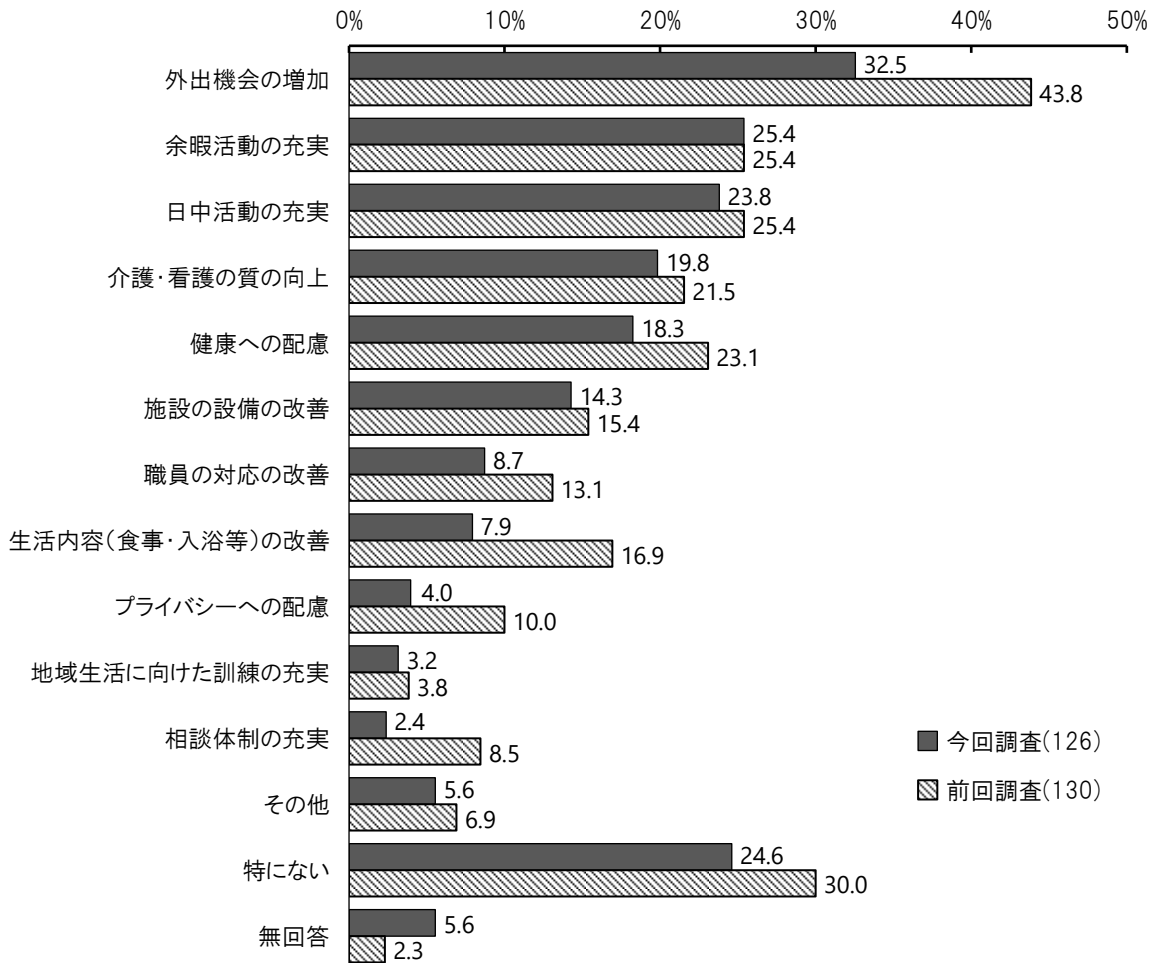
(4)施設への要望 [複数回答]

問12 あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。(〇はいくつでも)

◆「外出機会の増加」が32.5%

【全体】

・「外出機会の増加」が32.5%で最も多く、次いで「余暇活動の充実」が25.4%、「日中活動の充実」が23.8%などとなっています。「特にない」は24.6%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「外出機会の増加」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「外出機会の増加」と「余暇活動の充実」、「日中活動の充実」、「健康への配慮」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
外出機会の増加	32.7	31.6	28.8
余暇活動の充実	28.8	24.1	28.8
日中活動の充実	21.2	25.3	28.8
介護・看護の質の向上	19.2	17.7	21.2
健康への配慮	15.4	20.3	28.8
施設の設備の改善	21.2	12.7	11.5
職員の対応の改善	13.5	5.1	5.8
生活内容(食事・入浴等)の改善	11.5	7.6	5.8
プライバシーへの配慮	5.8	2.5	1.9
地域生活に向けた訓練の充実	1.9	3.8	1.9
相談体制の充実	5.8	-	-
その他	5.8	5.1	3.8
特にない	23.1	25.3	26.9
無回答	9.6	3.8	1.9

(5) 医療的ケアの必要性 [複数回答]

問13 あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。(〇はいくつでも)

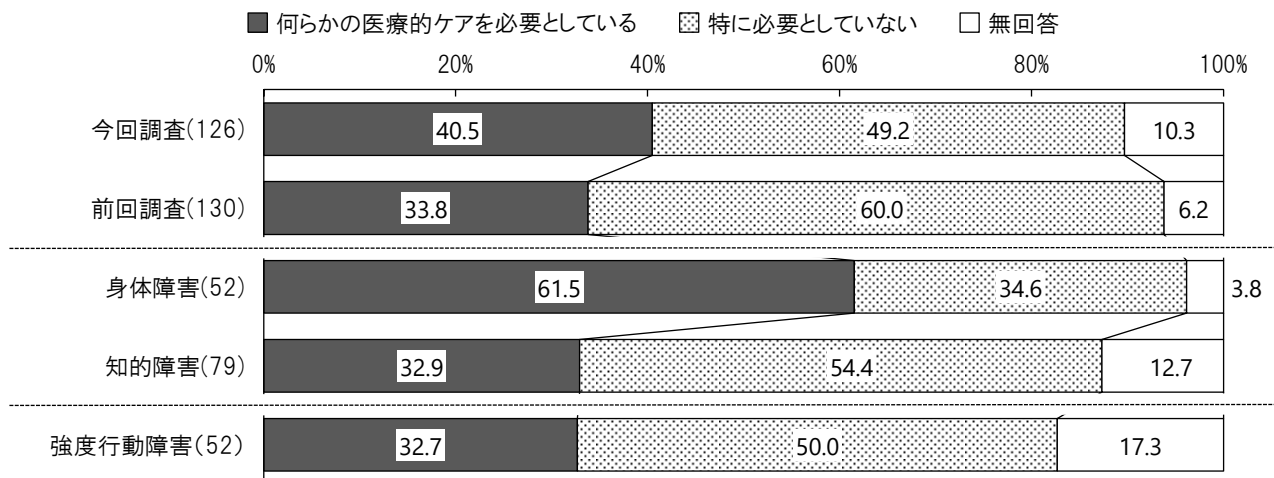
◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が40.5%

【全体】

- ・回答者全体から「特に必要としない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は40.5%となっています。

【障害別】

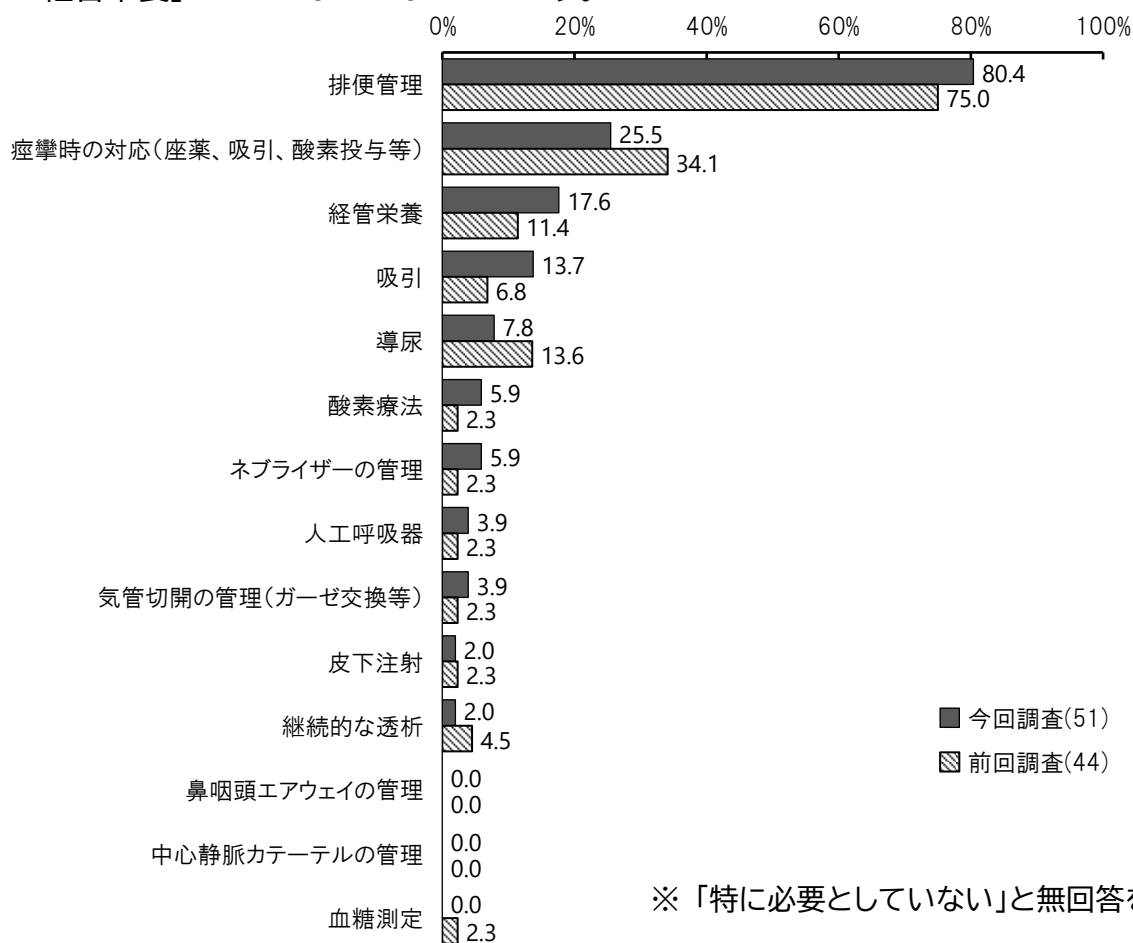
- ・身体障害で『何らかの医療的ケアを必要としている』が6割以上となっています。



【何らかの医療的ケアが必要と回答した方のみの集計】 [複数回答]

◆「排便管理」が80.4%

- ・「排便管理」が80.4%で最も多く、次いで「痙攣時の対応(座薬、吸引、酸素投与等)」が25.5%、「経管栄養」が17.6%などとなっています。



※ 「特に必要としていない」と無回答を除く集計

【障害別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(32)	(26)	(17)
排便管理	84.4	80.8	88.2
痙攣時の対応(座薬、吸引、酸素投与等)	25.0	26.9	29.4
経管栄養	28.1	3.8	-
吸引	21.9	-	-
導尿	9.4	3.8	-
酸素療法	6.3	-	-
ネブライザーの管理	9.4	3.8	5.9
人工呼吸器	3.1	-	-
気管切開の管理(ガーゼ交換等)	6.3	-	-
皮下注射	-	3.8	-
継続的な透析	3.1	-	-
鼻咽頭エアウェイの管理	-	-	-
中心静脈カテーテルの管理	-	-	-
血糖測定	-	-	-

※ 「特に必要としていない」と無回答を除く集計

(6)外出の頻度

問14 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

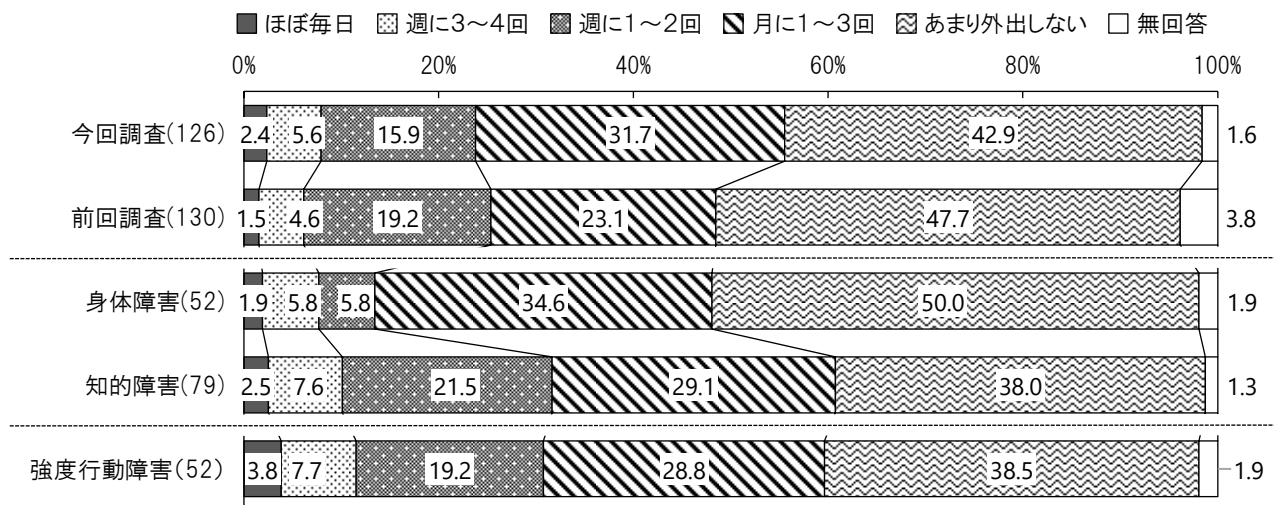
◆「あまり外出しない」が42.9%

【全体】

・「あまり外出しない」が42.9%で最も多く、次いで「月に1～3回」が31.7%、「週に1～2回」が15.9%などとなっています。

【障害別】

・全体と比較して、知的障害は「週に1～2回」が多くなっています。



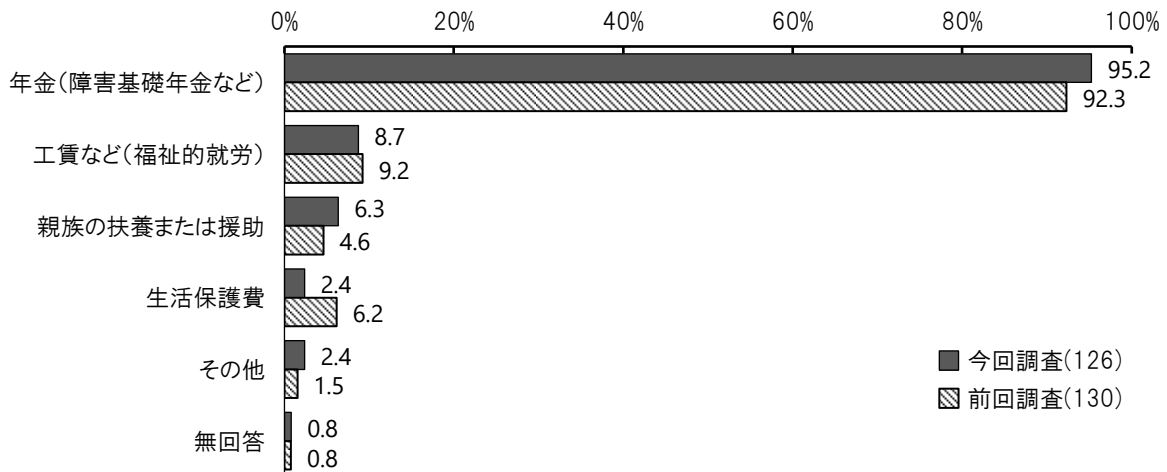
(7)主な収入 [複数回答]

問15 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きます。(○は2つまで)

◆「年金(障害基礎年金など)」が95.2%

【全体】

- ・「年金(障害基礎年金など)」が95.2%で最も多く、次いで「工賃など(福祉的就労)」が8.7%、「親族の扶養または援助」が6.3%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「年金(障害基礎年金など)」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「年金(障害基礎年金など)」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
年金(障害基礎年金など)	92.3	98.7	98.1
工賃など(福祉的就労)	7.7	8.9	9.6
親族の扶養または援助	9.6	8.9	5.8
生活保護費	5.8	-	-
その他	-	1.3	1.9
無回答	1.9	-	1.9

4 相談や福祉の情報について

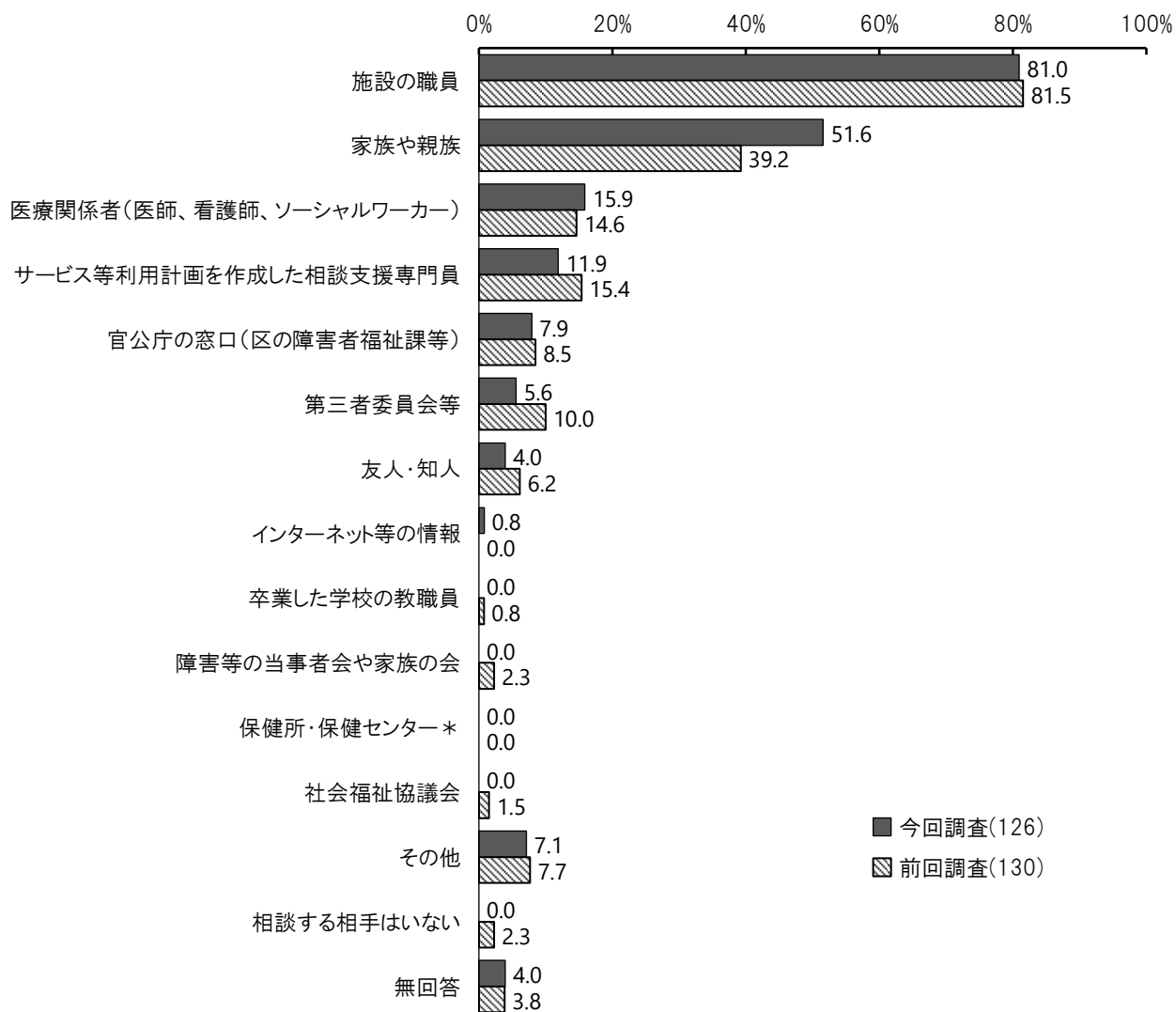
(1)困った時に相談する相手 [複数回答]

問16 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

◆「施設の職員」が81.0%

【全体】

- ・「施設の職員」が81.0%で最も多く、次いで「家族や親族」が51.6%、「医療関係者(医師、看護師、ソーシャルワーカー)」が15.9%などとなっています。



* 前回調査では、選択肢「保健センター」

【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「施設の職員」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「施設の職員」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
施設の職員	80.8	81.0	82.7
家族や親族	63.5	49.4	42.3
医療関係者(医師、看護師、ソーシャルワーカー)	25.0	10.1	11.5
サービス等利用計画を作成した相談支援専門員	15.4	11.4	15.4
官公庁の窓口(区の障害者福祉課等)	15.4	6.3	3.8
第三者委員会等	3.8	6.3	5.8
友人・知人	5.8	2.5	3.8
インターネット等の情報	1.9	-	-
卒業した学校の教職員	-	-	-
障害等の当事者会や家族の会	-	-	-
保健所・保健センター	-	-	-
社会福祉協議会	-	-	-
その他	5.8	8.9	11.5
相談する相手はいない	-	-	-
無回答	1.9	3.8	3.8

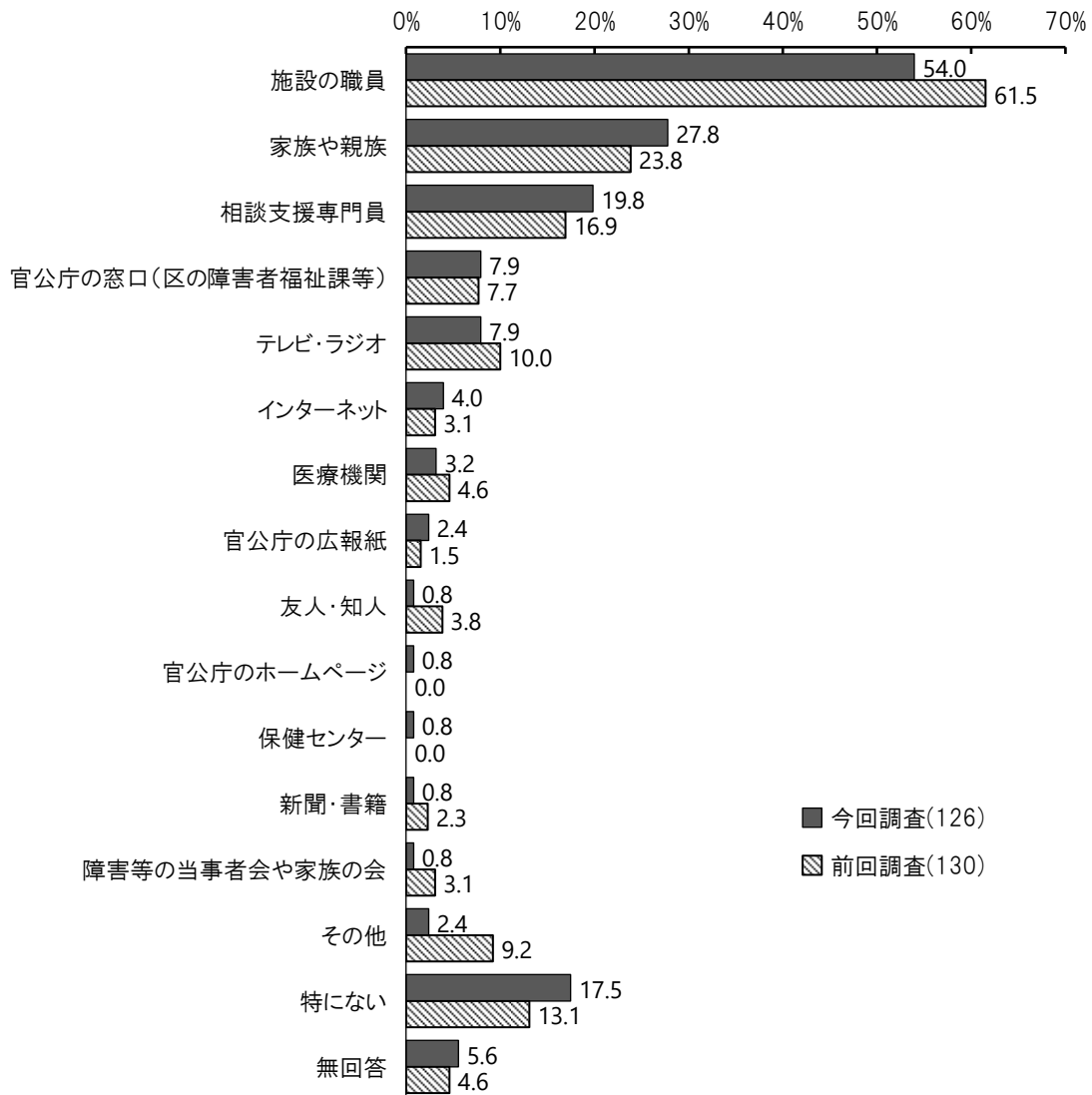
(2)福祉情報の入手先 [複数回答]

問17 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

◆「施設の職員」が54.0%

【全体】

・「施設の職員」が54.0%で最も多く、次いで「家族や親族」が27.8%、「相談支援専門員」が19.8%などとなっています。「特にない」は17.5%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「施設の職員」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「施設の職員」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
施設の職員	61.5	55.7	53.8
家族や親族	36.5	22.8	21.2
相談支援専門員	30.8	20.3	15.4
官公庁の窓口(区の障害者福祉課等)	15.4	5.1	-
テレビ・ラジオ	5.8	7.6	5.8
インターネット	5.8	3.8	-
医療機関	1.9	2.5	1.9
官公庁の広報紙	3.8	1.3	-
友人・知人	1.9	-	-
官公庁のホームページ	-	1.3	-
保健センター	1.9	-	-
新聞・書籍	-	1.3	-
障害等の当事者会や家族の会	-	1.3	-
その他	-	3.8	3.8
特にない	7.7	16.5	23.1
無回答	5.8	6.3	7.7

5 権利擁護について

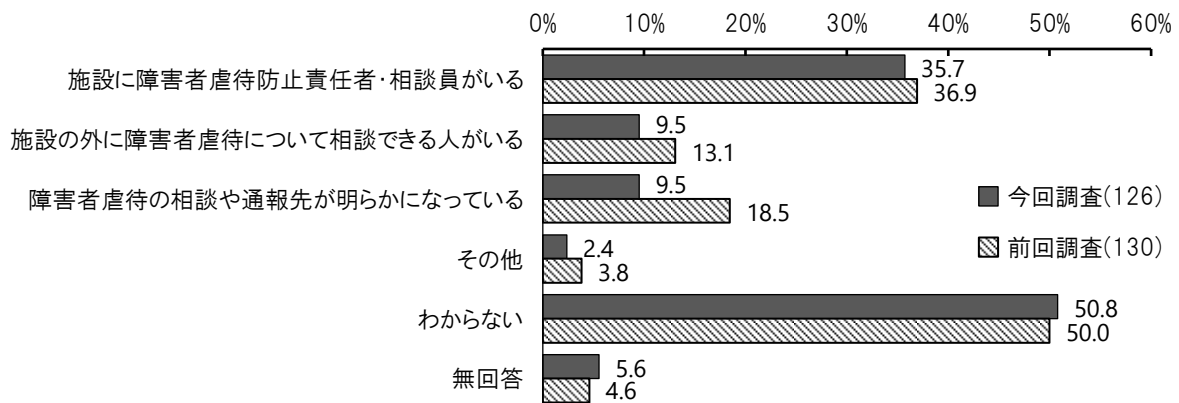
(1) 障害者虐待防止に向けた取り組みの認知状況 [複数回答]

問18 あなたは、障害者虐待の防止に向けた取組を知っていますか。(○はいくつでも)

◆「施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる」が35.7%

【全体】

- ・「施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる」が35.7%で最も多く、次いで「施設の外に障害者虐待について相談できる人がいる」と「障害者虐待の相談や通報先が明らかになっている」が9.5%などとなっています。「わからない」は50.8%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる」が多くなっています。

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる	48.1	31.6	36.5
施設の外に障害者虐待について相談できる人がいる	9.6	7.6	9.6
障害者虐待の相談や通報先が明らかになっている	9.6	10.1	5.8
その他	5.8	1.3	-
わからない	36.5	55.7	53.8
無回答	3.8	6.3	5.8

(2)成年後見制度の利用意向

問19 成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)

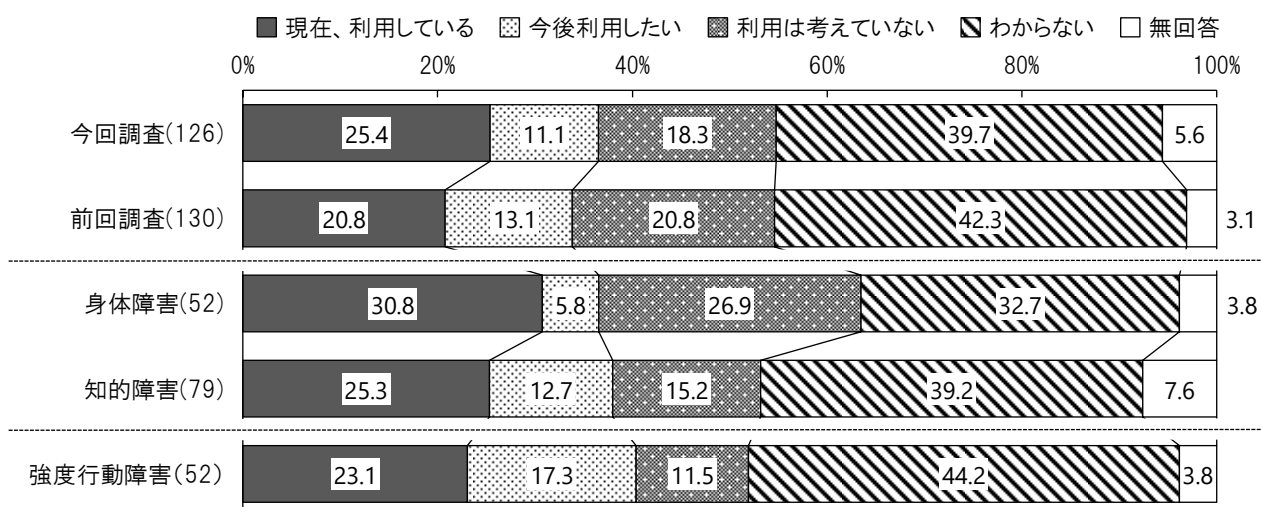
◆「現在、利用している」が25.4%、「今後利用したい」が11.1%

【全体】

・「現在、利用している」が25.4%、「今後利用したい」が11.1%、「利用は考えていない」が18.3%、「わからない」は39.7%となっています。

【障害別】

・身体障害は「現在、利用している」が3割以上となっています。



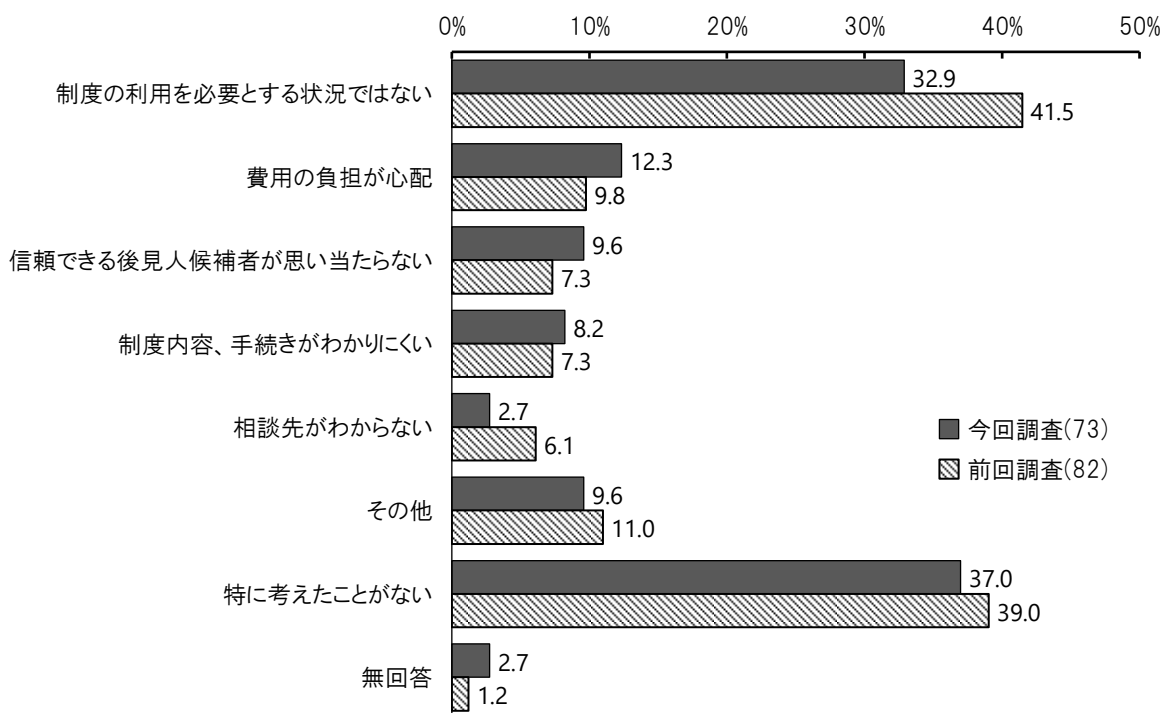
(3) 成年後見制度を利用しない理由 [複数回答]

問20 成年後見制度の利用を考えていない方又はわからない方にお聞きします。その理由はなんですか。(〇はいくつでも)

◆「制度の利用を必要とする状況ではない」が32.9%

【全体】

・「制度の利用を必要とする状況ではない」が32.9%で最も多く、次いで「費用の負担が心配」が12.3%、「信頼できる後見人候補者が思い当たらない」が9.6%などとなっています。「特に考えたことがない」は37.0%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で共に「制度の利用を必要とする状況ではない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「制度の利用を必要とする状況ではない」が多くなっています。

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(31)	(43)	(29)
制度の利用を必要とする状況ではない	48.4	25.6	31.0
費用の負担が心配	6.5	18.6	13.8
信頼できる後見人候補者が思い当たらない	3.2	16.3	13.8
制度内容、手続きがわかりにくい	6.5	9.3	10.3
相談先がわからない	-	2.3	3.4
その他	9.7	14.0	10.3
特に考えたことがない	29.0	34.9	41.4
無回答	3.2	2.3	3.4

6 今後の暮らし方について

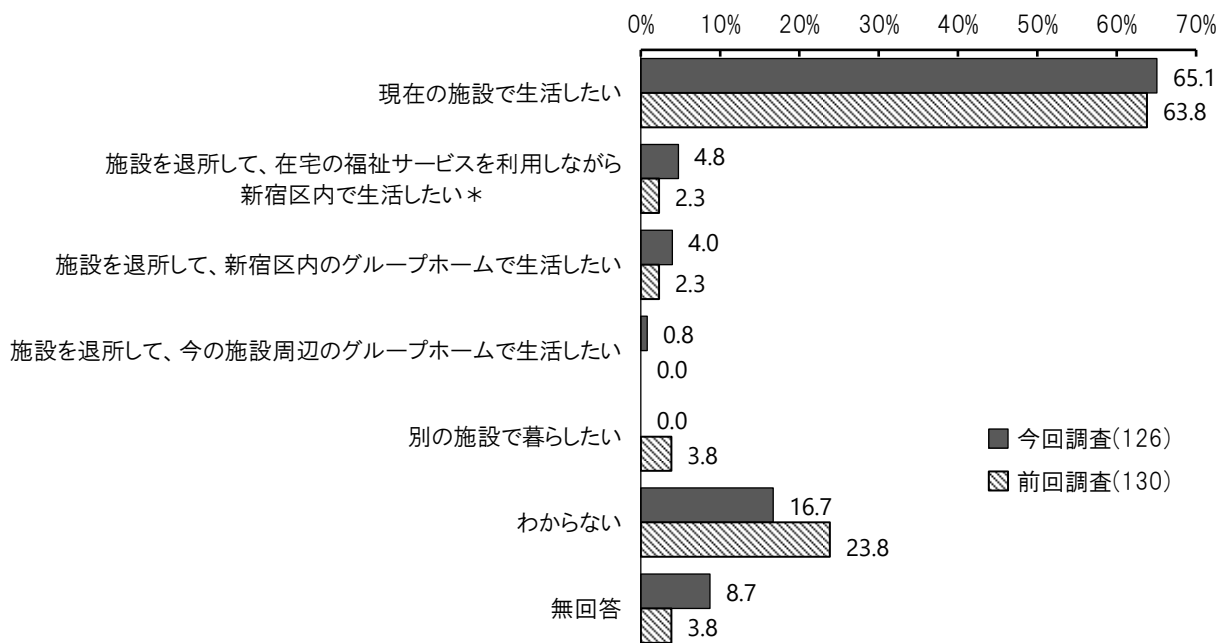
(1) 今後の生活の希望

問21 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)

◆「現在の施設で生活したい」が65.1%

【全体】

・「現在の施設で生活したい」が65.1%で最も多く、次いで「施設を退所して、在宅の福祉サービスを利用しながら新宿区内で生活したい」が4.8%、「施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい」が4.0%となっています。「わからない」は16.7%となっています。



* 前回調査では、選択肢「施設を退所して、必要に応じてサービスを利用しながら新宿区内で生活したい」

【障害別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
現在の施設で生活したい	65.4	65.8	61.5
施設を退所して、在宅の福祉サービスを利用しながら新宿区内で生活したい	5.8	2.5	3.8
施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい	3.8	3.8	3.8
施設を退所して、今の施設周辺のグループホームで生活したい	1.9	-	-
別の施設で暮らしたい	-	-	-
わからない	15.4	17.7	21.2
無回答	7.7	10.1	9.6

【施設のある地域別】

選択肢/属性	新宿区内	23区内	東京都 (23区内を除く)	関東甲信越 (東京都を除く)	東北	その他
総数	(25)	(15)	(24)	(37)	(13)	(11)
現在の施設で生活したい	80.0	60.0	62.5	62.2	76.9	36.4
施設を退所して、在宅の福祉サービスを利用しながら新宿区内で生活したい	-	13.3	4.2	5.4	-	9.1
施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい	4.0	6.7	4.2	2.7	7.7	9.1
施設を退所して、今の施設周辺のグループホームで生活したい	-	-	-	2.7	-	-
別の施設で暮らしたい	-	-	-	-	-	-
わからない	-	26.7	16.7	21.6	15.4	27.3
無回答	16.0	-	12.5	5.4	-	18.2

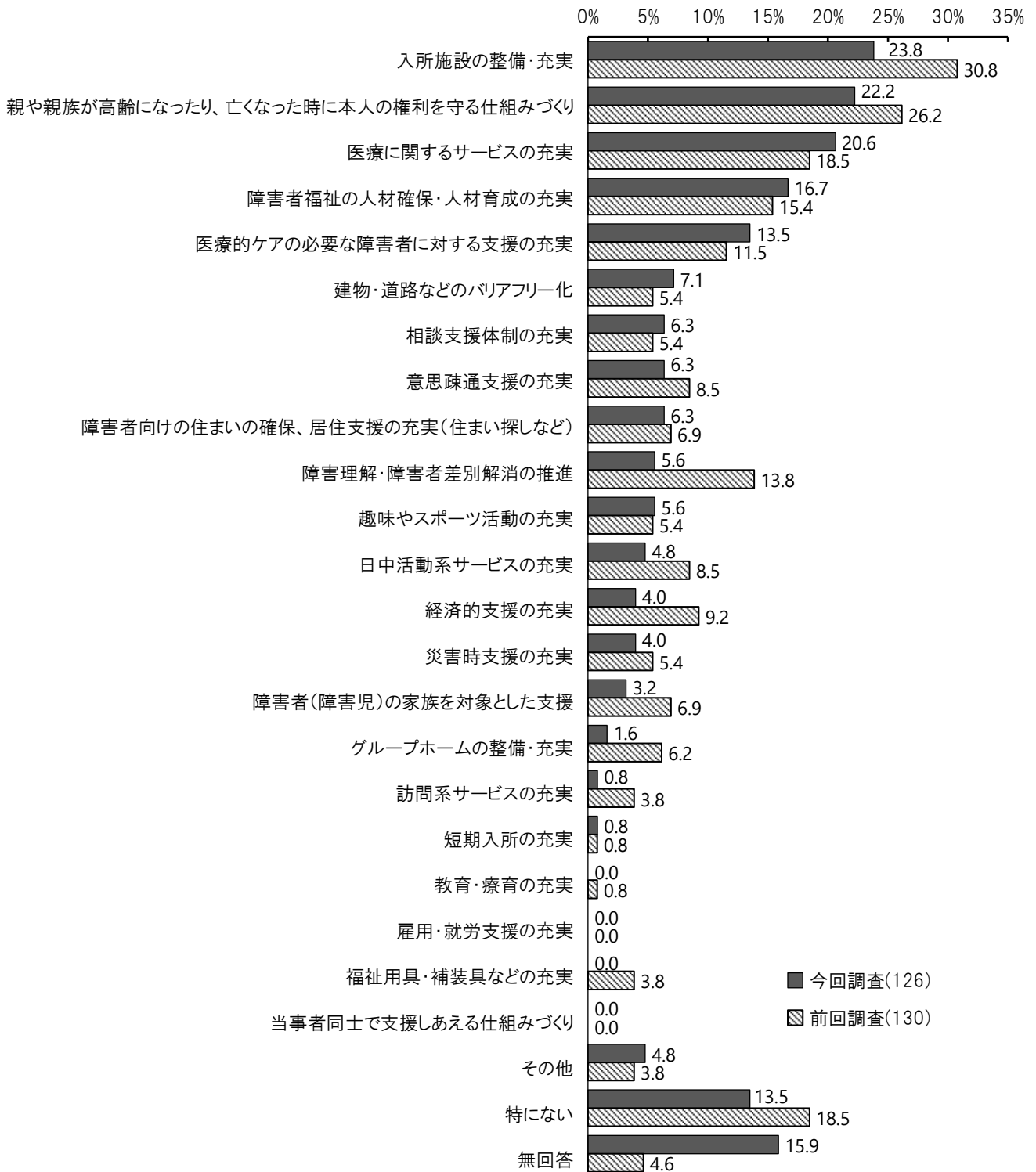
(2)地域で安心して暮らすために重要な施策 [複数回答]

問22 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆「入所施設の整備・充実」が23.8%

【全体】

・「入所施設の整備・充実」が23.8%で最も多く、次いで「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が22.2%、「医療に関するサービスの充実」が20.6%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害は「入所施設の整備・充実」、知的障害は「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	強度行動障害
総数	(52)	(79)	(52)
入所施設の整備・充実	26.9	25.3	23.1
親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	13.5	27.8	34.6
医療に関するサービスの充実	21.2	22.8	21.2
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	17.3	15.2	15.4
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実	17.3	11.4	11.5
建物・道路などのバリアフリー化	11.5	5.1	3.8
相談支援体制の充実	7.7	6.3	7.7
意思疎通支援の充実	5.8	8.9	9.6
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実(住まい探しなど)	5.8	6.3	7.7
障害理解・障害者差別解消の推進	1.9	6.3	11.5
趣味やスポーツ活動の充実	5.8	7.6	9.6
日中活動系サービスの充実	3.8	6.3	5.8
経済的支援の充実	7.7	2.5	1.9
災害時支援の充実	3.8	6.3	7.7
障害者(障害児)の家族を対象とした支援	3.8	2.5	1.9
グループホームの整備・充実	1.9	1.3	1.9
訪問系サービスの充実	1.9	-	-
短期入所の充実	-	1.3	1.9
教育・療育の充実	-	-	-
雇用・就労支援の充実	-	-	-
福祉用具・補装具などの充実	-	-	-
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	-	-	-
その他	3.8	2.5	3.8
特にない	9.6	12.7	13.5
無回答	15.4	17.7	11.5

【性別】

- ・男性は「入所施設の整備・充実」と「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、女性は「入所施設の整備・充実」と「医療に関するサービスの充実」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	男性	女性
総数	(71)	(53)
入所施設の整備・充実	22.5	24.5
親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	22.5	22.6
医療に関するサービスの充実	16.9	24.5
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	14.1	20.8
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実	11.3	15.1
建物・道路などのバリアフリー化	5.6	7.5
相談支援体制の充実	8.5	3.8
意思疎通支援の充実	9.9	1.9
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実(住まい探しなど)	5.6	5.7
障害理解・障害者差別解消の推進	5.6	5.7
趣味やスポーツ活動の充実	8.5	1.9
日中活動系サービスの充実	4.2	5.7
経済的支援の充実	5.6	1.9
災害時支援の充実	4.2	3.8
障害者(障害児)の家族を対象とした支援	2.8	3.8
グループホームの整備・充実	1.4	1.9
訪問系サービスの充実	-	1.9
短期入所の充実	-	1.9
教育・療育の充実	-	-
雇用・就労支援の充実	-	-
福祉用具・補装具などの充実	-	-
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	-	-
その他	4.2	5.7
特になし	8.5	20.8
無回答	19.7	11.3

7 自由意見

問23 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・「区への意見・要望」が7件と最も多く、次いで「福祉サービス・障害福祉制度」が4件、「将来への不安(親亡き後)」が3件などとなっています。

回答の内容		件数
1	区への意見・要望	7
2	福祉サービス・障害福祉制度等	4
3	将来の不安(親亡き後)	3
4	その他	3
合計		17

※ ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【1 区への意見・要望】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
制度の狭間を埋める支援・人材不足への対応・地域包括的な支援体制の整備など障害のある方が安心して生活を送れるように計画の実現をお願いします。	知的障害	男性、50代、施設の職員
入所施設の充実の為の施策に期待する。	肢体不自由、知的障害	女性、40代、ご家族
精神障害者向けだけでなく、身体障害者向けのグループホームが必要だと思います。身体障害者と精神障害者との共同生活は色々ストレスが溜まります。なぜ新宿区では、身体障害者向けのグループホームがないのでしょうか？	肢体不自由	男性、40代、ご本人
障害のある方が安心して生活できるような施策をお願いします。	肢体不自由、知的障害	女性、50代、施設の職員
このようなアンケートにお金をかける意味は少ないと思う。やるにしても、ある程度意思疎通できる人と、そうでない人で質問を分けてはどうか。	肢体不自由	女性、70代、ご家族
施設を出ると言わないで欲しい。	知的障害	男性、30代、ご家族
来年、新宿区のグループホームに入居予定。最初は不安定な為、生活全般においてやさしく、ていねいに教えてほしい。(本人より)	知的障害	男性、20代、施設の職員

【2 福祉サービス・障害福祉制度等】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
<p>現行の成年後見人制度等、福祉施策はいろいろありますが、実情に合っていないのではと感じるものもあります。施設の職員の皆様は、勉強もしっかりされ、親身に対応していただき感謝しています。発作時の対応、通院にも注意深く対応していただいています。</p>	知的障害	男性、30代、ご家族
<p>現在入所している施設で職員に手厚く支援を受けていると信じて、安心して入所させております。</p>	知的障害	男性、40代、ご家族
<p>障害者福祉は、昔と比べとても向上して有難く思っています。ただ、仕事の大変さに見合った収入が確保することが出来れば、スタッフの方々の定着率も高く、結果質も高くなると思います。</p>	知的障害	男性、30代、ご家族
<p>ご本人より、「昼食に外出してラーメンを食べてきた、おいしかった」とお話を聞きました。今後とも、安全に、安心して外出を楽しめる環境があると良いと思います。</p>	知的障害	女性、80代、施設の職員

【3 将来の不安(親亡き後)】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
<p>親が高齢になっていく中、最も気になります点は、親亡き後の本人の生活です。その意味で、問22で列挙された施策の中の「22 親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」の更なる充実の実現を切にお願いしたいと思います。</p>	知的障害	男性、40代、ご家族
<p>子に障害があっても一緒に暮らしたい思いがありますが、親の力が衰え支えられないのが現実です。一人一人の状況には異なることばかりですので、障害のある子供を支える、社会資源となるサービスが多様となります。共に知恵を出し豊かに地域生活ができる社会にと願っています。</p>	知的障害	男性、40代、ご家族
<p>「親がどうにもならなくなった時では遅い。委ねる先には子供を丸ごと把握しておいてほしい。そのため、それだけの時間は必要」と考えていました。でも他県に出すなら、まだ迷っていたかも知れません。区内に施設を作ってもらい、安心しています。この先、私に残された時間はどの位？と現実的に考えるこの頃ですが、施設に近いことで現状が見えやすいからか、心は穏やかです。</p>	知的障害	女性、50代、ご家族

Ⅲ 児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査

<調査票の回答者>

問1 この調査票に回答していただく方は、あて名のお子さんから見て、どなたにあたりますか。(〇はひとつ)

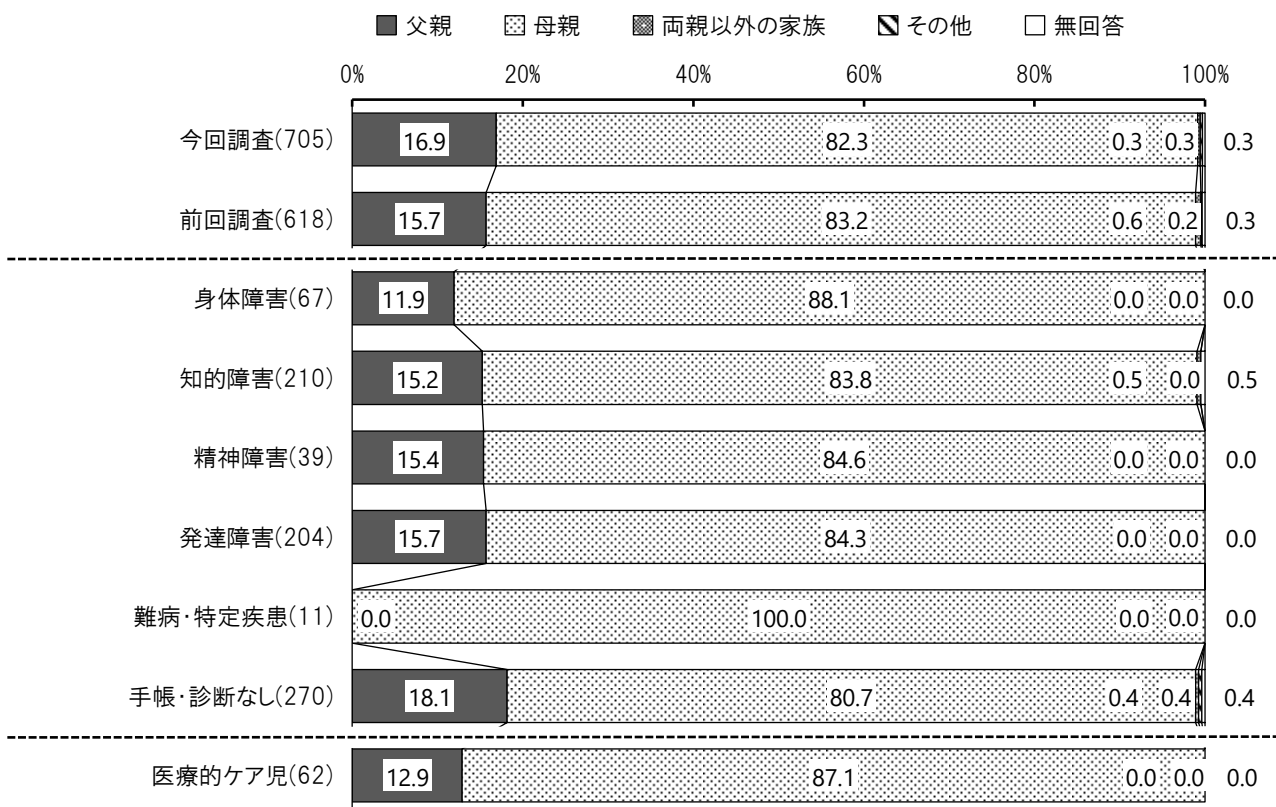
◆「母親」が82.3%

【全体】

・「母親」が82.3%で最も多く、次いで「父親」が16.9%、「両親以外の家族」が0.3%などとなっています。

【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、難病・特定疾患、手帳・診断なしで共に「母親」が8割以上と多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「母親」が8割以上と多くなっています。



※ 問9で、何らかの医療的ケアを必要としていると回答した方を「医療的ケア児」として集計。以下同様。

1 お子さんについて

(1)性別

問2 お子さんの性別をお聞きします。(○はひとつ)

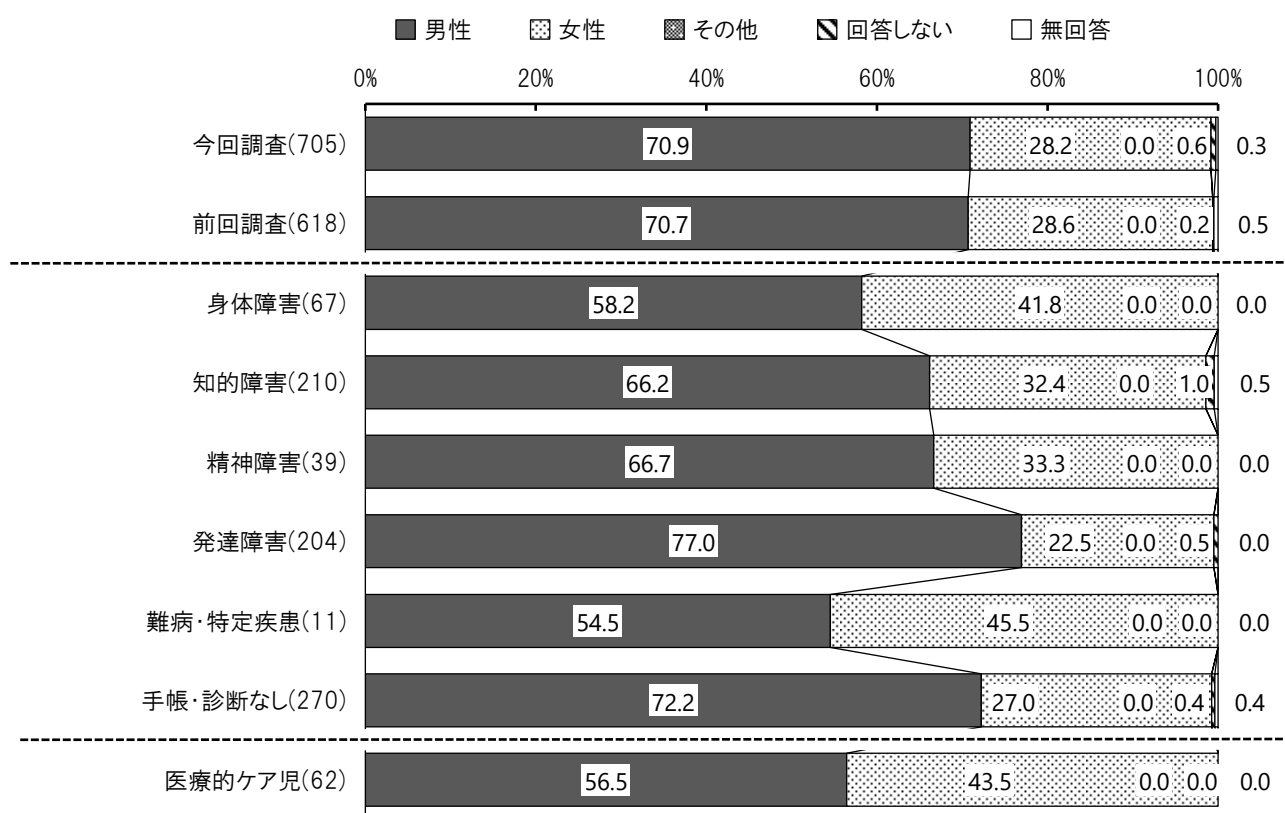
◆「男性」が70.9%、「女性」が28.2%

【全体】

・「男性」が70.9%、「女性」が28.2%などとなっています。

【障害別】

・発達障害と手帳・診断なしは「男性」が7割以上と多くなっています。



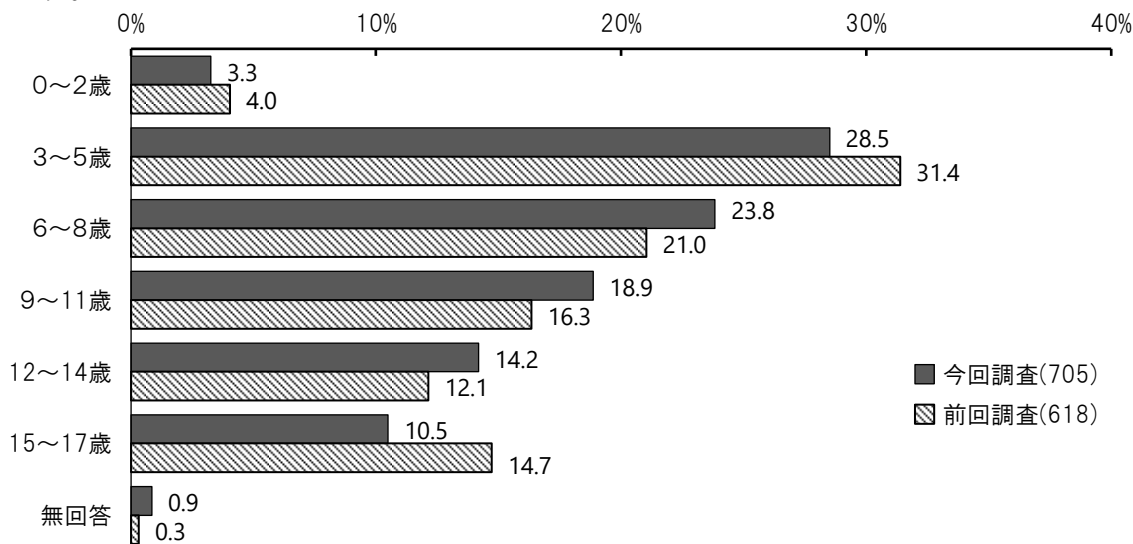
(2)年齢

問3 お子さんの年齢をお聞きします。令和7年11月1日現在の満年齢をお書きください。

◆「3～5歳」が28.5%

【全体】

- ・「3～5歳」が28.5%で最も多く、次いで「6～8歳」が23.8%、「9～11歳」が18.9%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害は「9～11歳」と「12～14歳」、知的障害は「12～14歳」、精神障害と発達障害は「9～11歳」、手帳・診断なしは「3～5歳」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「3～5歳」と「9～11歳」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
0～2歳	4.5	1.4	2.6	0.5	9.1	4.8	8.1
3～5歳	9.0	12.4	10.3	19.1	18.2	49.3	21.0
6～8歳	19.4	18.6	7.7	24.0	18.2	27.8	19.4
9～11歳	22.4	19.5	33.3	24.5	18.2	12.6	21.0
12～14歳	22.4	24.8	15.4	18.6	27.3	4.1	16.1
15～17歳	19.4	21.9	30.8	12.7	9.1	1.1	12.9
無回答	3.0	1.4	-	0.5	-	0.4	1.6

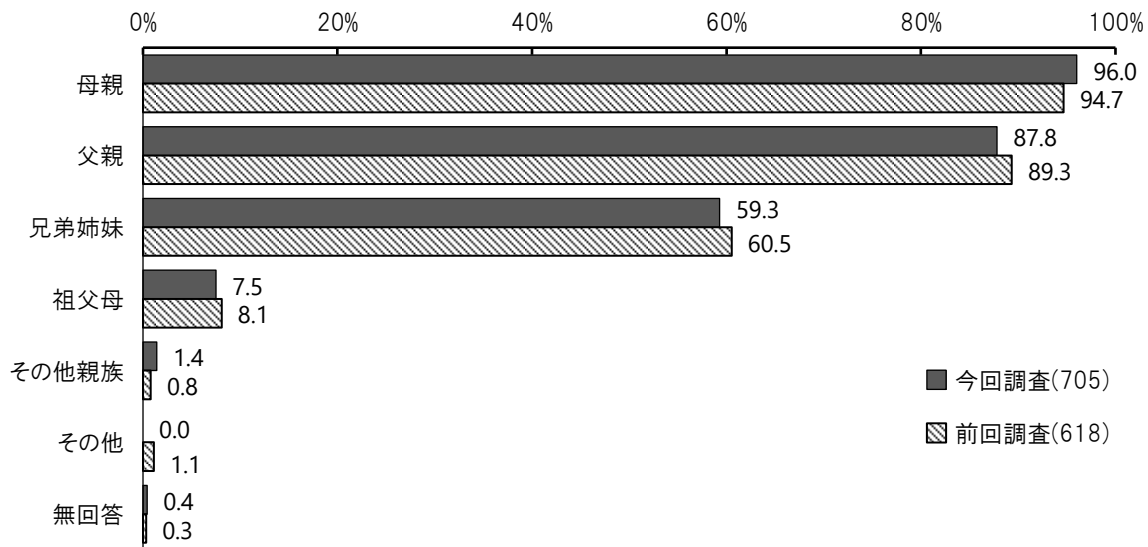
(3)同居家族 [複数回答]

問4 あて名のお子さんと一緒に住んでいるのは誰ですか。(○はいくつでも)

◆「母親」が96.0%

【全体】

・「母親」が96.0%で最も多く、次いで「父親」が87.8%、「兄弟姉妹」が59.3%などとなっています。



【障害別】

・全体と比較して、精神障害は「父親」が少なくなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	診断なし・手帳なし	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
母親	94.0	97.1	100.0	94.6	100.0	96.7	98.4
父親	83.6	83.3	71.8	84.8	81.8	93.7	88.7
兄弟姉妹	67.2	60.5	61.5	54.4	36.4	59.6	61.3
祖父母	1.5	10.0	12.8	5.9	-	7.8	6.5
その他親族	-	1.0	-	2.9	-	1.1	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1.5	1.0	-	-	-	0.4	1.6

2 障害や健康の状況について

(1)手帳や医療券の種類

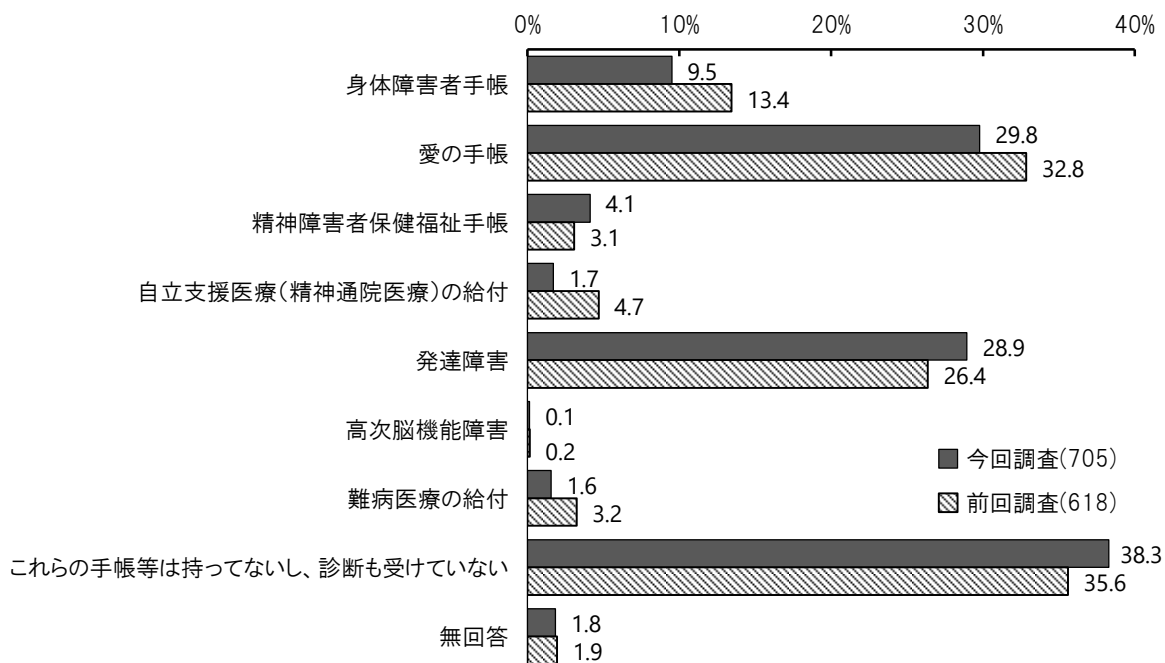
問5 お子さんが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度も○をつけてください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

①手帳や医療券の種類 [複数回答]

◆「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が38.3%

【全体】

・「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が38.3%で最も多く、次いで「愛の手帳」が29.8%、「発達障害」が28.9%、「身体障害者手帳」が9.5%などとなっています。



【障害別】

・身体障害のある方のうち、28.4%が愛の手帳を所持しています。また、医療的ケア児のうち、43.5%が身体障害者手帳、同じく43.5%が愛の手帳を所持しています。

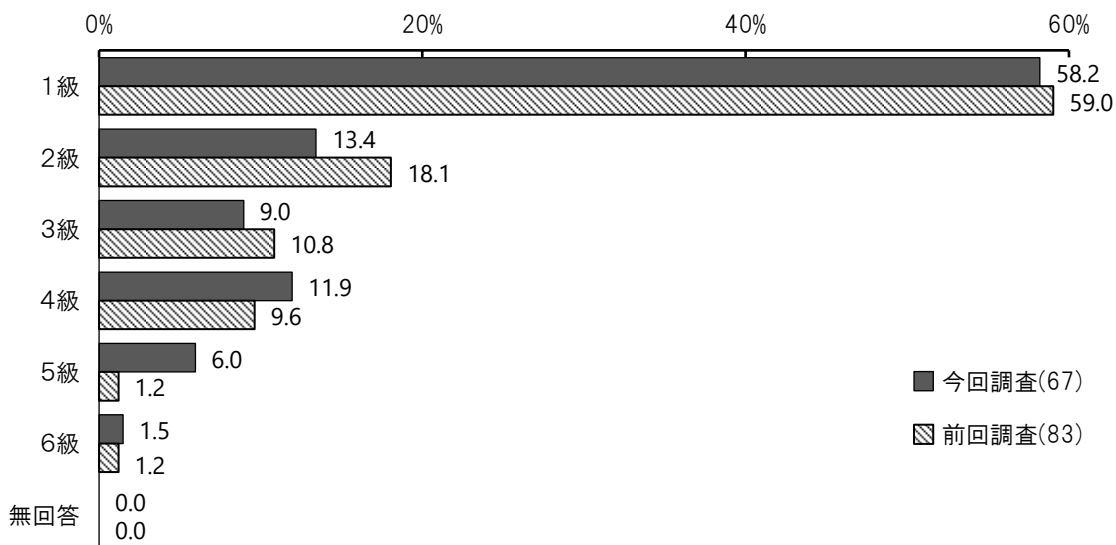
単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(62)
身体障害者手帳	100.0	9.0	2.6	0.5	45.5	43.5
愛の手帳	28.4	100.0	12.8	30.4	36.4	43.5
精神障害者保健福祉手帳	1.5	1.9	74.4	6.9	-	4.8
自立支援医療(精神通院医療)の給付	-	0.5	30.8	2.5	-	1.6
発達障害	1.5	29.5	43.6	100.0	27.3	17.7
高次脳機能障害	-	0.5	-	0.5	-	-
難病医療の給付	7.5	1.9	-	1.5	100.0	8.1
これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない	-	-	-	-	-	14.5
無回答	-	-	-	-	-	1.6

②身体障害者手帳の等級

◆「1級」が58.2%

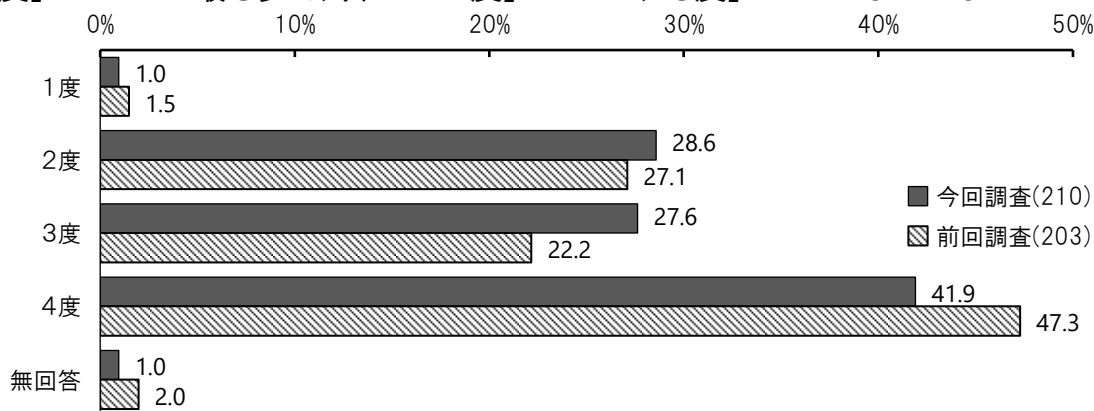
・「1級」が58.2%で最も多く、次いで「2級」が13.4%、「4級」が11.9%などとなっています。



③愛の手帳の程度

◆「4度」が41.9%

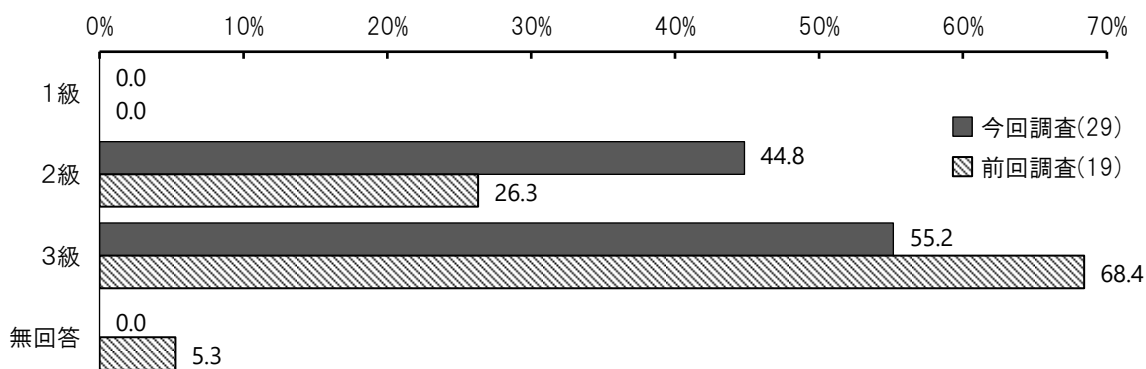
・「4度」が41.9%で最も多く、次いで「2度」が28.6%、「3度」が27.6%などとなっています。



④精神障害者保健福祉手帳の等級

◆「3級」が55.2%

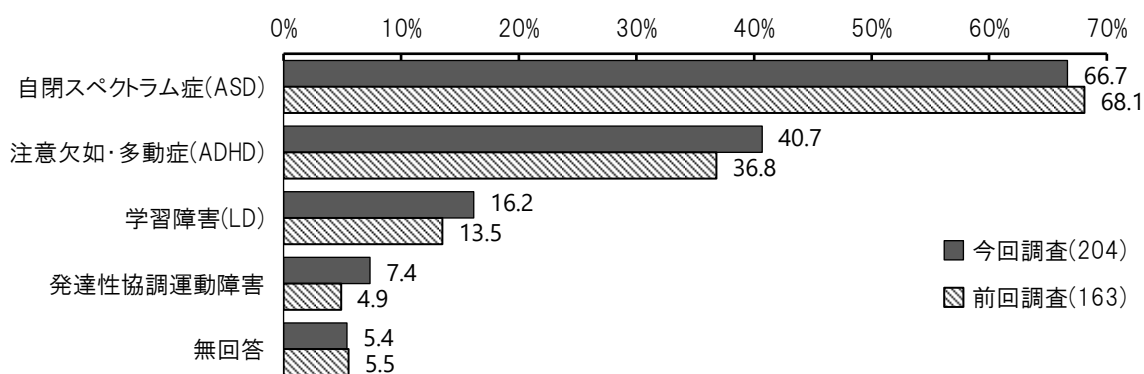
・「3級」が55.2%、「2級」が44.8%となっています。



⑤発達障害の診断名 [複数回答]

◆「自閉スペクトラム症(ASD)」が66.7%

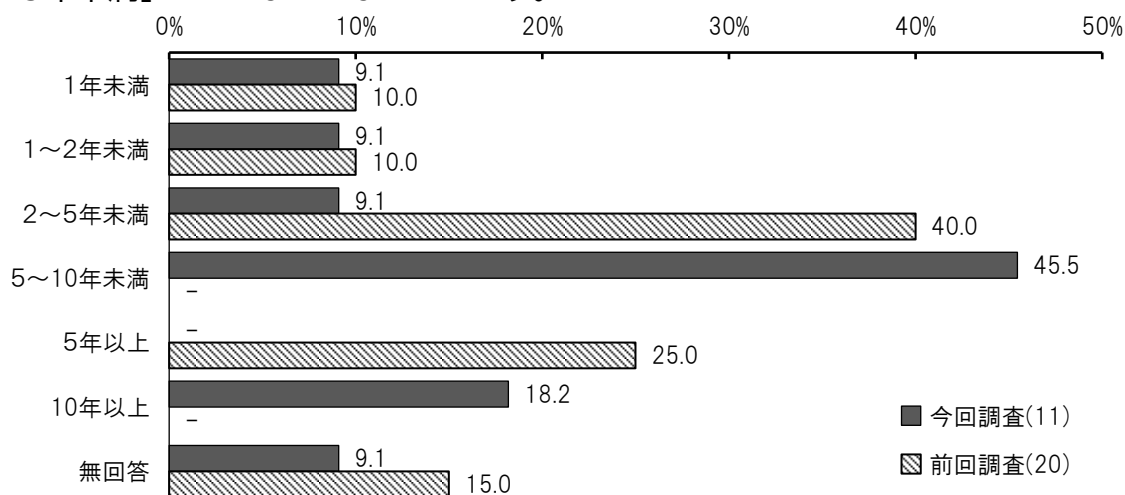
- ・「自閉スペクトラム症(ASD)」が66.7%で最も多く、次いで「注意欠如・多動症(ADHD)」が40.7%、「学習障害(LD)」が16.2%などとなっています。



⑥難病の診断を受けてからの期間

◆「5～10年未満」が45.5%

- ・「5～10年未満」が45.5%で最も多く、次いで「10年以上」が18.2%、「1年未満」と「1～2年未満」、「2～5年未満」が9.1%などとなっています。



※ 前回調査の集計区分は、回答が5年以上の場合は「5年以上」として集計

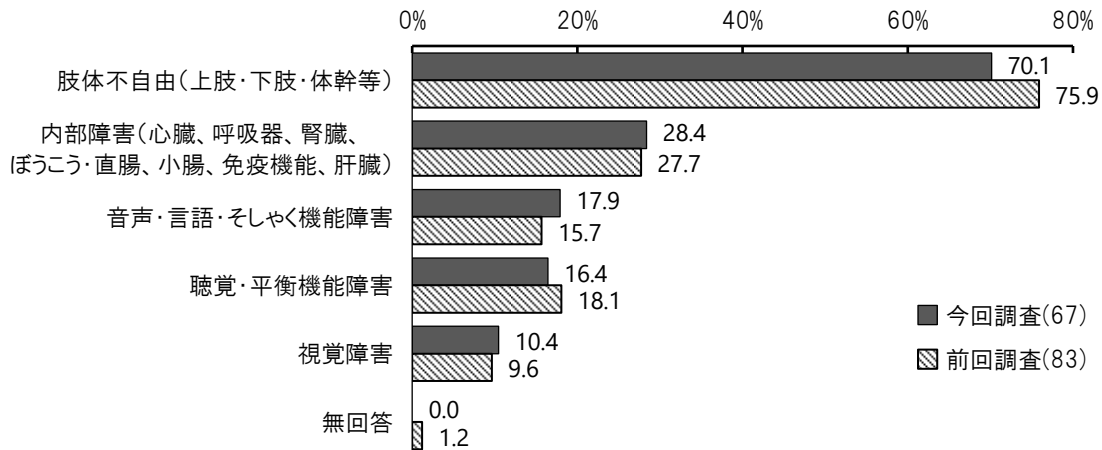
(2)身体障害の種類 [複数回答]

問6 「身体障害者手帳」をお持ちの方にお聞きします。どのような障害がありますか。(〇は
いくつでも)

◆「肢体不自由(上肢・下肢・体幹等)」が70.1%

【全体】

・「肢体不自由(上肢・下肢・体幹等)」が70.1%で最も多く、次いで「内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)」が28.4%、「音声・言語・そしゃく機能障害」が17.9%などとなっています。



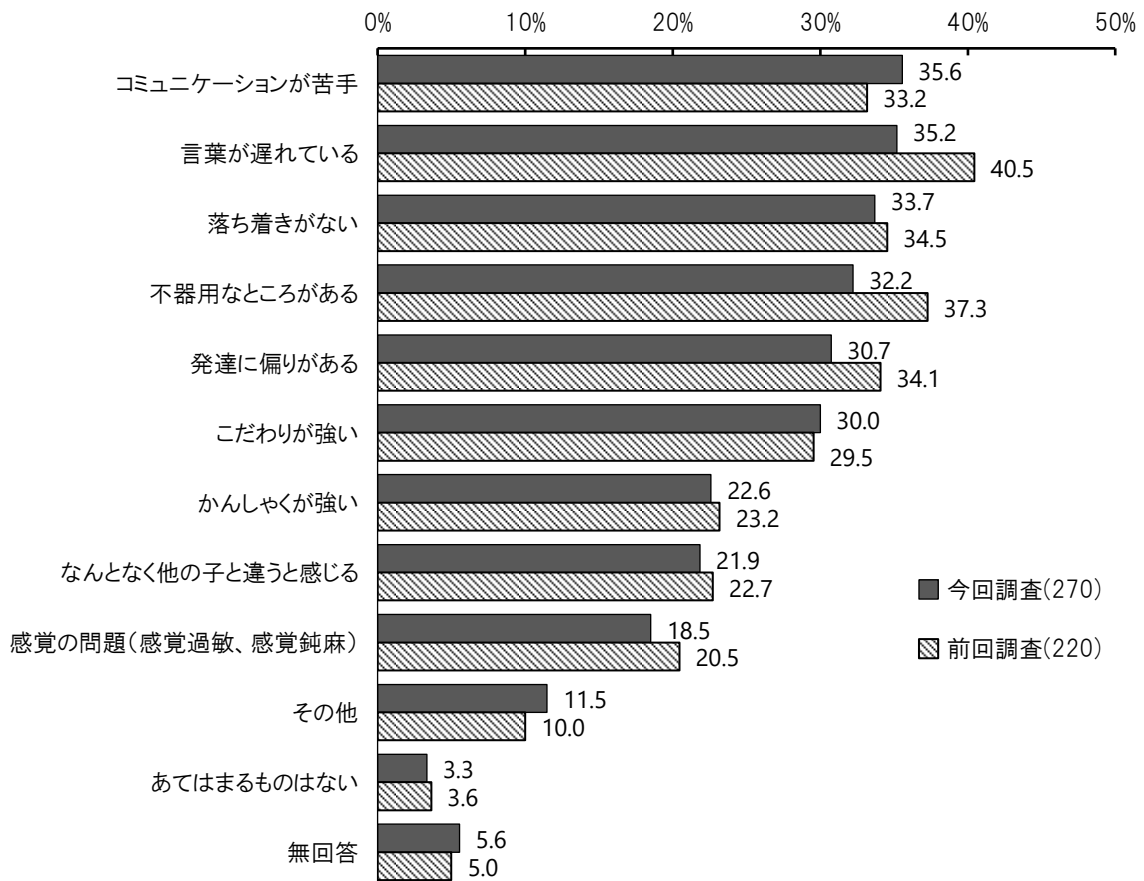
(3) 発達の特徴として心配なこと [複数回答]

問7 障害者手帳等をお持ちでなく、診断も受けていない方にお聞きします。お子さんの発達の特徴として心配なことはありますか。(〇はいくつでも)

◆「コミュニケーションが苦手」が35.6%

【全体】

・「コミュニケーションが苦手」が35.6%で最も多く、次いで「言葉が遅れている」が35.2%、「落ち着きがない」が33.7%などとなっています。



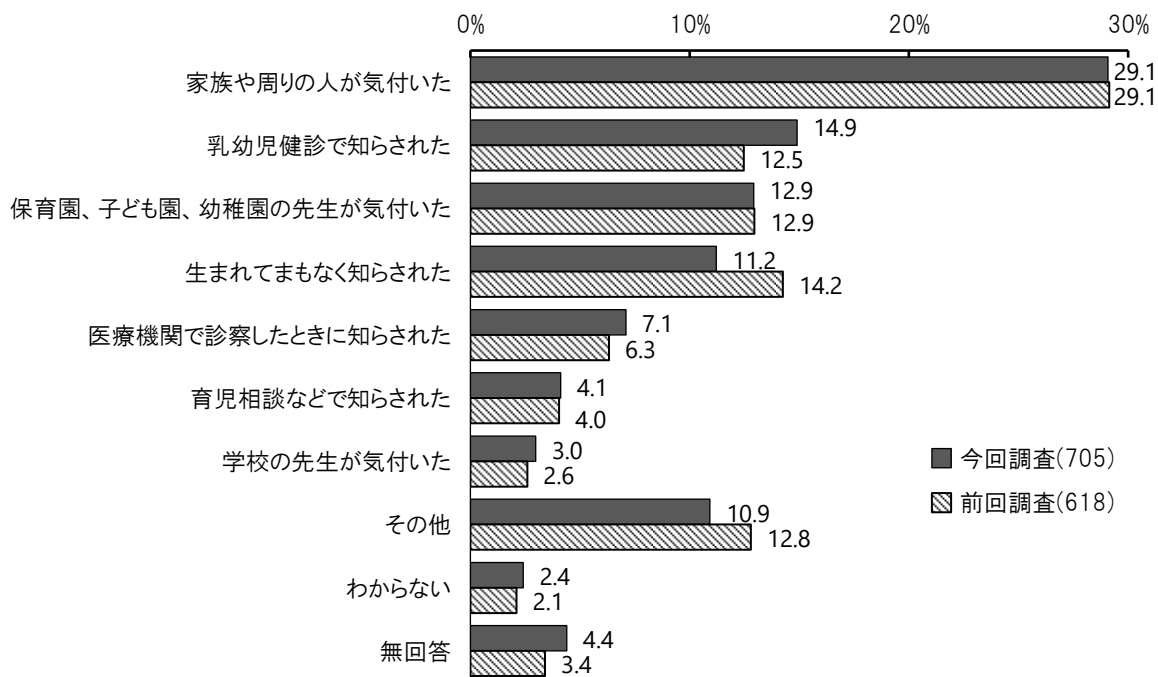
(4)障害等に気付いたきっかけ

問8 お子さんの障害や心身の不調・特性について、初めてわかったのは、どのようなときでしたか。(○はひとつ)

◆「家族や周りの人が気付いた」が29.1%

【全体】

- ・「家族や周りの人が気付いた」が29.1%で最も多く、次いで「乳幼児健診で知らされた」が14.9%、「保育園、子ども園、幼稚園の先生が気付いた」が12.9%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害は「生まれてまもなく知らされた」、知的障害と精神障害、発達障害、手帳・診断なしは「家族や周りの人が気付いた」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「生まれてまもなく知らされた」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
家族や周りの人が気付いた	7.5	26.2	30.8	33.8	27.3	32.6	8.1
乳幼児健診で知らされた	1.5	18.6	10.3	15.7	-	17.4	9.7
保育園、子ども園、幼稚園の先生が気付いた	-	5.7	17.9	14.7	-	18.1	3.2
生まれてまもなく知らされた	49.3	22.9	5.1	2.0	9.1	2.2	50.0
医療機関で診察したときに知らされた	16.4	8.1	7.7	6.9	18.2	4.1	8.1
育児相談などで知らされた	-	6.2	-	4.4	9.1	4.1	1.6
学校の先生が気付いた	-	-	7.7	7.4	-	1.9	-
その他	22.4	10.0	17.9	10.8	27.3	9.6	12.9
わからない	-	1.0	-	-	-	5.6	1.6
無回答	3.0	1.4	2.6	4.4	9.1	4.4	4.8

(5) 医療的ケアの必要性 [複数回答]

問9 お子さんは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。(○はいくつでも)

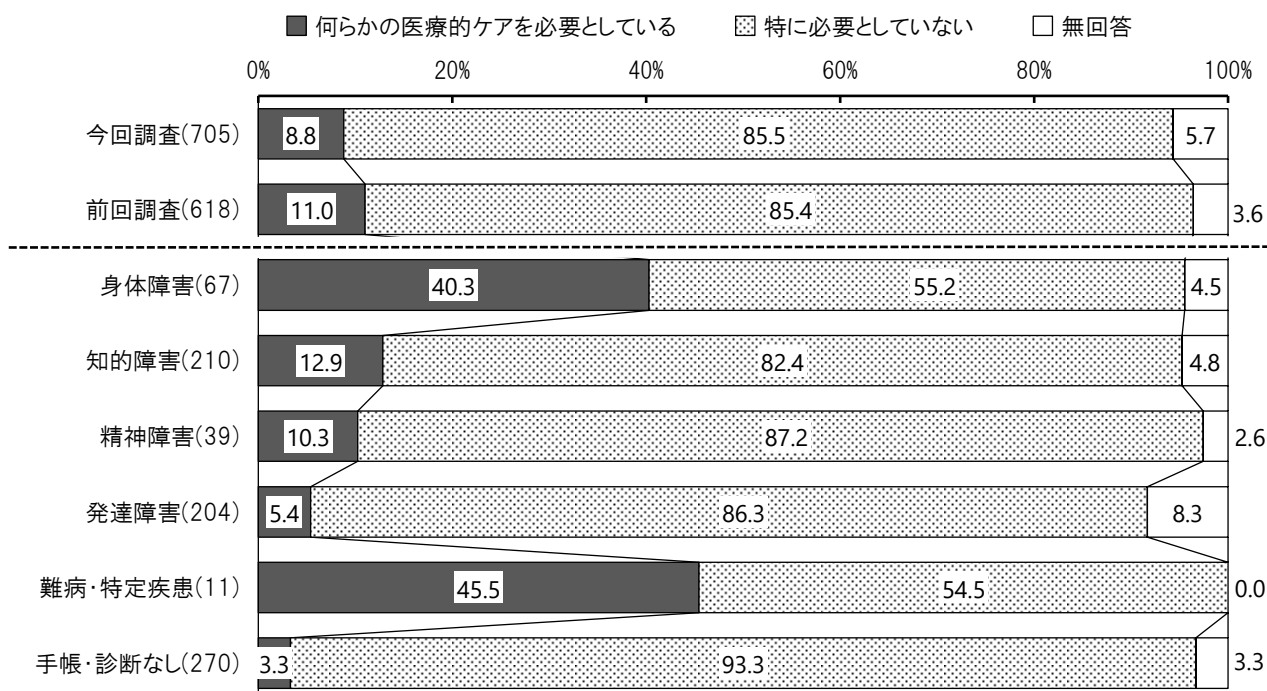
◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が8.8%

【全体】

- ・回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は8.8%となっています。

【障害別】

- ・全体と比較して、身体障害と難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

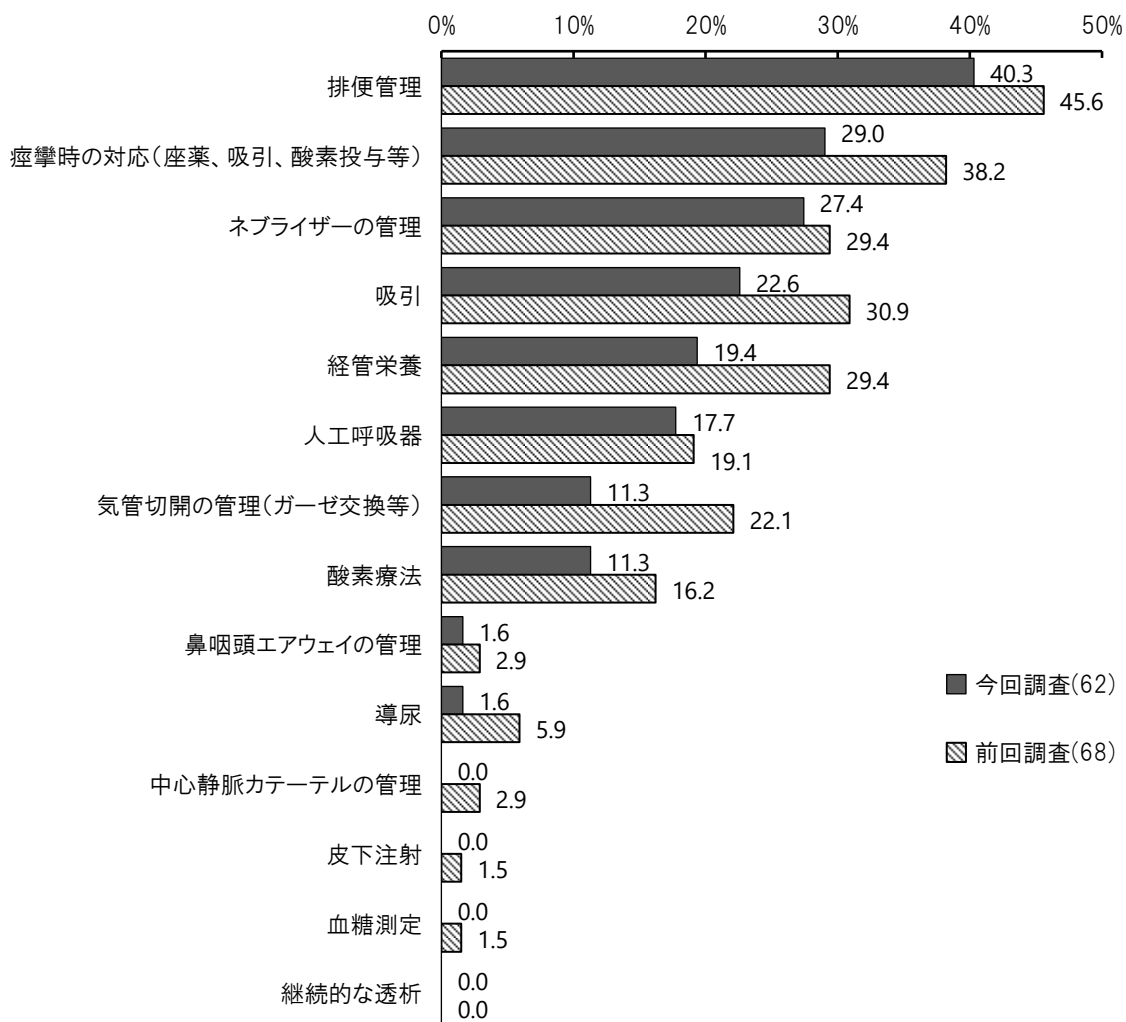


【何らかの医療的ケアが必要と回答した方のみを集計】 [複数回答]

◆「排便管理」が40.3%

【全体】

- ・「排便管理」が40.3%で最も多く、次いで「痙攣時の対応(座薬、吸引、酸素投与等)」が29.0%、「ネブライザーの管理」が27.4%などとなっています。



※「特に必要としていない」と無回答を除く集計

【障害別】

- ・「排便管理」以外では、身体障害は「経管栄養」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「排便管理」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	診断なし手帳	医療的ケア児
総数	(27)	(27)	(4)	(11)	(5)	(9)	(62)
排便管理	48.1	44.4	50.0	45.5	20.0	22.2	40.3
痙攣時の対応(座薬、吸引、酸素投与等)	25.9	29.6	50.0	27.3	60.0	22.2	29.0
ネブライザーの管理	33.3	18.5	-	9.1	20.0	33.3	27.4
吸引	33.3	18.5	-	9.1	20.0	22.2	22.6
経管栄養	44.4	7.4	-	-	20.0	-	19.4
人工呼吸器	33.3	11.1	-	9.1	20.0	-	17.7
気管切開の管理(ガーゼ交換等)	22.2	11.1	-	-	20.0	-	11.3
酸素療法	18.5	11.1	-	-	20.0	-	11.3
鼻咽喉頭エアウェイの管理	3.7	-	-	-	20.0	-	1.6
導尿	3.7	-	-	-	-	-	1.6
中心静脈カテーテルの管理	-	-	-	-	-	-	-
皮下注射	-	-	-	-	-	-	-
血糖測定	-	-	-	-	-	-	-
継続的な透析	-	-	-	-	-	-	-

※「特に必要としていない」と無回答を除く集計

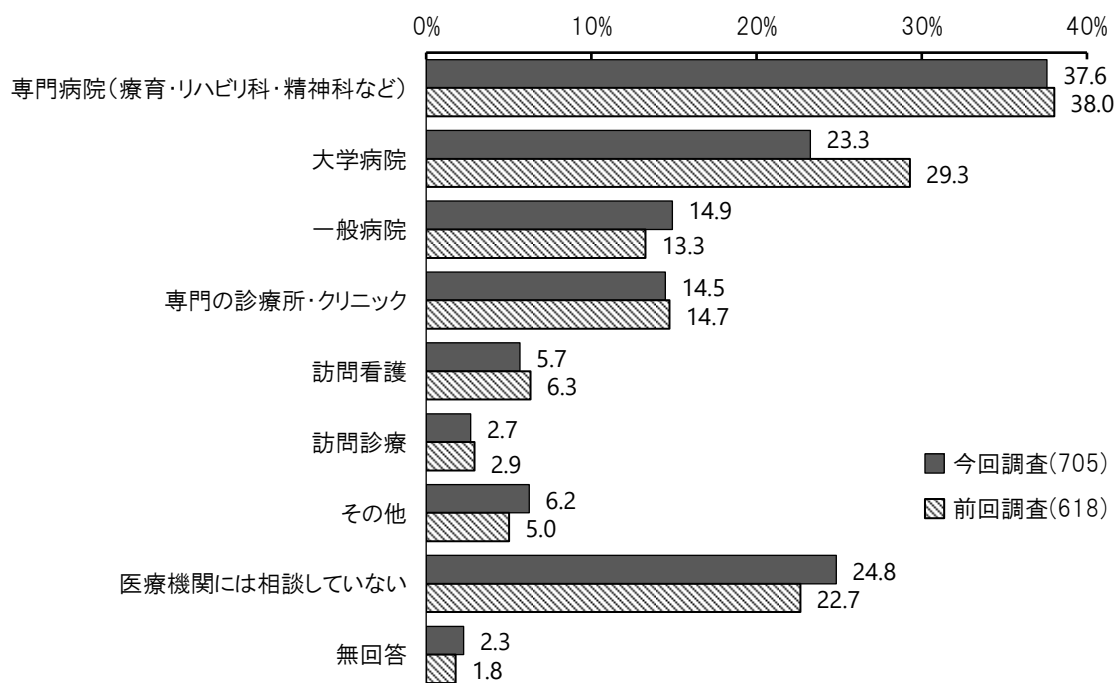
(6)治療や相談をしている医療機関 [複数回答]

問10 お子さんの障害や心身の不調・特性について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(〇はいくつでも)

◆「専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)」が37.6%

【全体】

- ・「専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)」が37.6%で最も多く、次いで「大学病院」が23.3%、「一般病院」が14.9%などとなっています。「医療機関には相談していない」は24.8%となっています。



【障害別】

- ・「専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)」以外では、身体障害は「大学病院」、精神障害は「専門の診療所・クリニック」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定難病・疾患	診断なし・手帳なし	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)	65.7	39.0	56.4	39.7	63.6	29.6	62.9
大学病院	58.2	28.1	23.1	24.0	63.6	11.1	53.2
一般病院	23.9	19.5	5.1	12.3	9.1	13.3	19.4
専門の診療所・クリニック	14.9	13.8	30.8	26.0	45.5	5.6	17.7
訪問看護	28.4	7.1	10.3	3.9	54.5	0.7	32.3
訪問診療	17.9	2.9	5.1	1.5	-	0.4	19.4
その他	4.5	4.8	2.6	2.5	-	9.3	3.2
医療機関には相談していない	3.0	19.5	2.6	12.3	-	40.4	4.8
無回答	1.5	3.3	-	1.5	-	3.3	1.6

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	内部障害
総数	(47)	(12)	(7)	(11)	(19)
専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)	78.7	75.0	71.4	45.5	47.4
大学病院	55.3	66.7	42.9	63.6	73.7
一般病院	17.0	16.7	28.6	45.5	31.6
専門の診療所・クリニック	12.8	16.7	28.6	18.2	31.6
訪問看護	19.1	25.0	14.3	27.3	21.1
訪問診療	19.1	25.0	14.3	27.3	21.1
その他	6.4	-	-	-	-
医療機関には相談していない	2.1	-	-	9.1	-
無回答	2.1	-	-	-	-

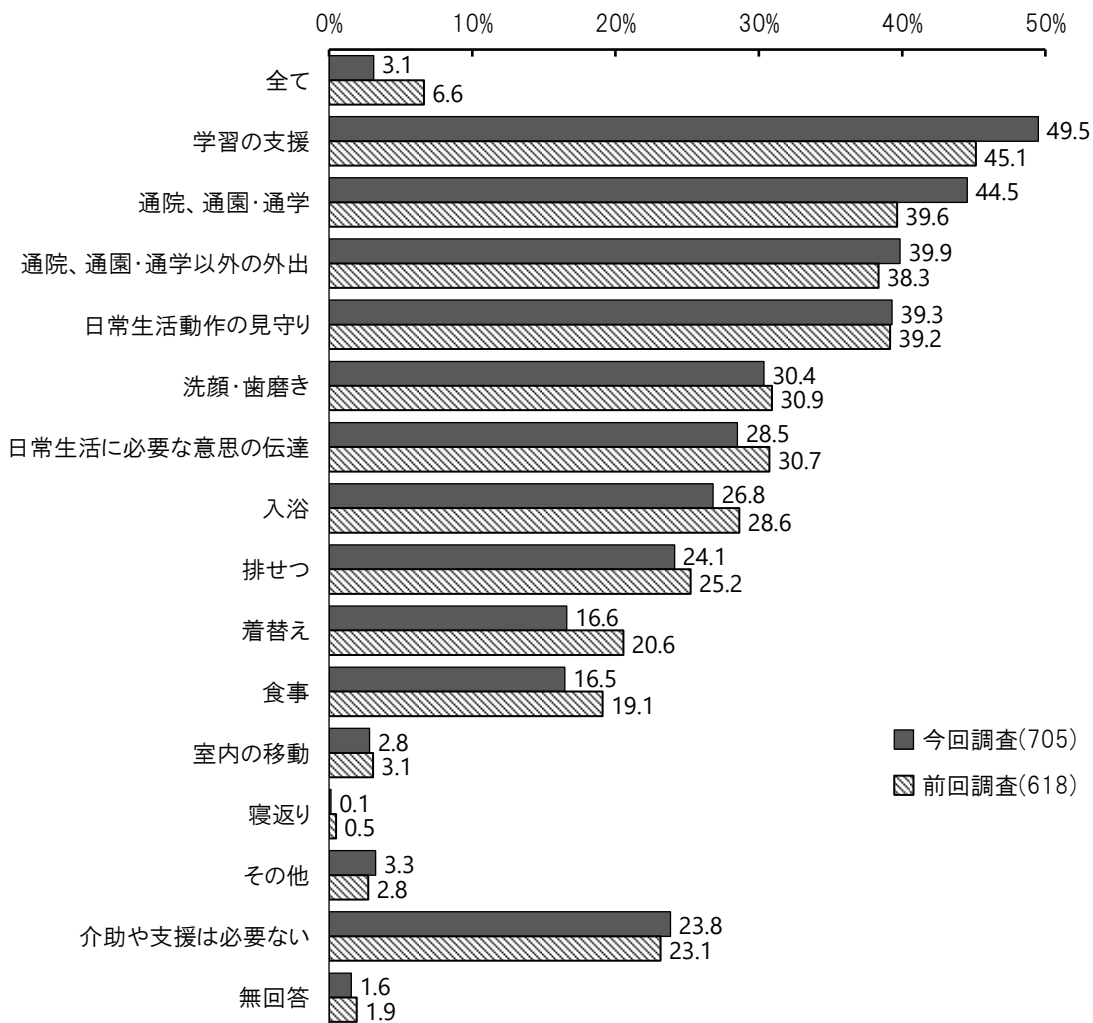
(7) 介助や支援が必要なこと [複数回答]

問11 お子さんは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。(○はいくつでも ※全てに当てはまる場合は「全て」に○)

◆「学習の支援」が49.5%

【全体】

・「学習の支援」が49.5%で最も多く、次いで「通院、通園・通学」が44.5%、「通院、通園・通学以外の外出」が39.9%などとなっています。「全て」は3.1%、「介助や支援は必要ない」は23.8%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と手帳・診断なしは「通院、通園・通学」、知的障害と精神障害、発達障害は「学習の支援」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「通院、通園・通学」と「通院、通園・通学以外の外出」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
全て	20.9	2.9	5.1	1.0	9.1	0.7	19.4
学習の支援	44.8	75.7	46.2	58.3	45.5	34.4	54.8
通院、通園・通学	58.2	69.5	25.6	41.7	54.5	34.8	64.5
通院、通園・通学以外の外出	50.7	69.5	33.3	39.2	45.5	26.3	64.5
日常生活動作の見守り	47.8	62.9	43.6	38.7	72.7	28.5	58.1
洗顔・歯磨き	44.8	47.6	10.3	28.9	54.5	23.3	54.8
日常生活に必要な意思の伝達	32.8	55.7	30.8	29.4	45.5	15.6	43.5
入浴	46.3	40.5	10.3	24.5	45.5	21.5	46.8
排せつ	46.3	38.1	10.3	20.1	45.5	19.3	56.5
着替え	37.3	27.1	7.7	14.7	36.4	11.1	37.1
食事	35.8	26.2	10.3	15.7	36.4	11.1	37.1
室内の移動	22.4	4.8	-	0.5	18.2	-	8.1
寝返り	-	-	-	-	-	0.4	-
その他	4.5	2.4	5.1	3.9	18.2	3.3	1.6
介助や支援は必要ない	10.4	5.2	17.9	19.1	9.1	37.8	4.8
無回答	1.5	1.9	-	1.5	-	1.9	1.6

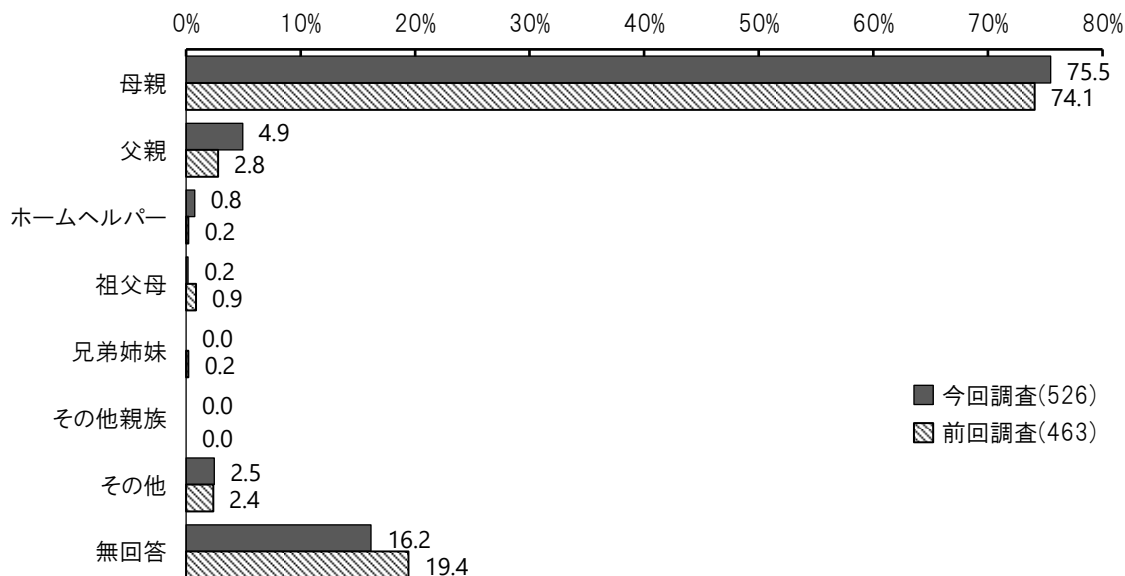
(8)主な介助者

問12 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。お子さんを主に介助・支援している人はどなたですか。(○はひとつ)

◆「母親」が75.5%

【全体】

・「母親」が75.5%で最も多く、次いで「父親」が4.9%、「ホームヘルパー」が0.8%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「母親」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「母親」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(59)	(195)	(32)	(162)	(10)	(163)	(58)
母親	78.0	72.8	81.3	69.8	60.0	80.4	77.6
父親	-	8.2	3.1	5.6	10.0	2.5	3.4
ホームヘルパー	1.7	2.1	-	0.6	-	-	1.7
祖父母	-	0.5	-	-	-	-	-
兄弟姉妹	-	-	-	-	-	-	-
その他親族	-	-	-	-	-	-	-
その他	3.4	4.1	3.1	1.2	20.0	1.2	1.7
無回答	16.9	12.3	12.5	22.8	10.0	16.0	15.5

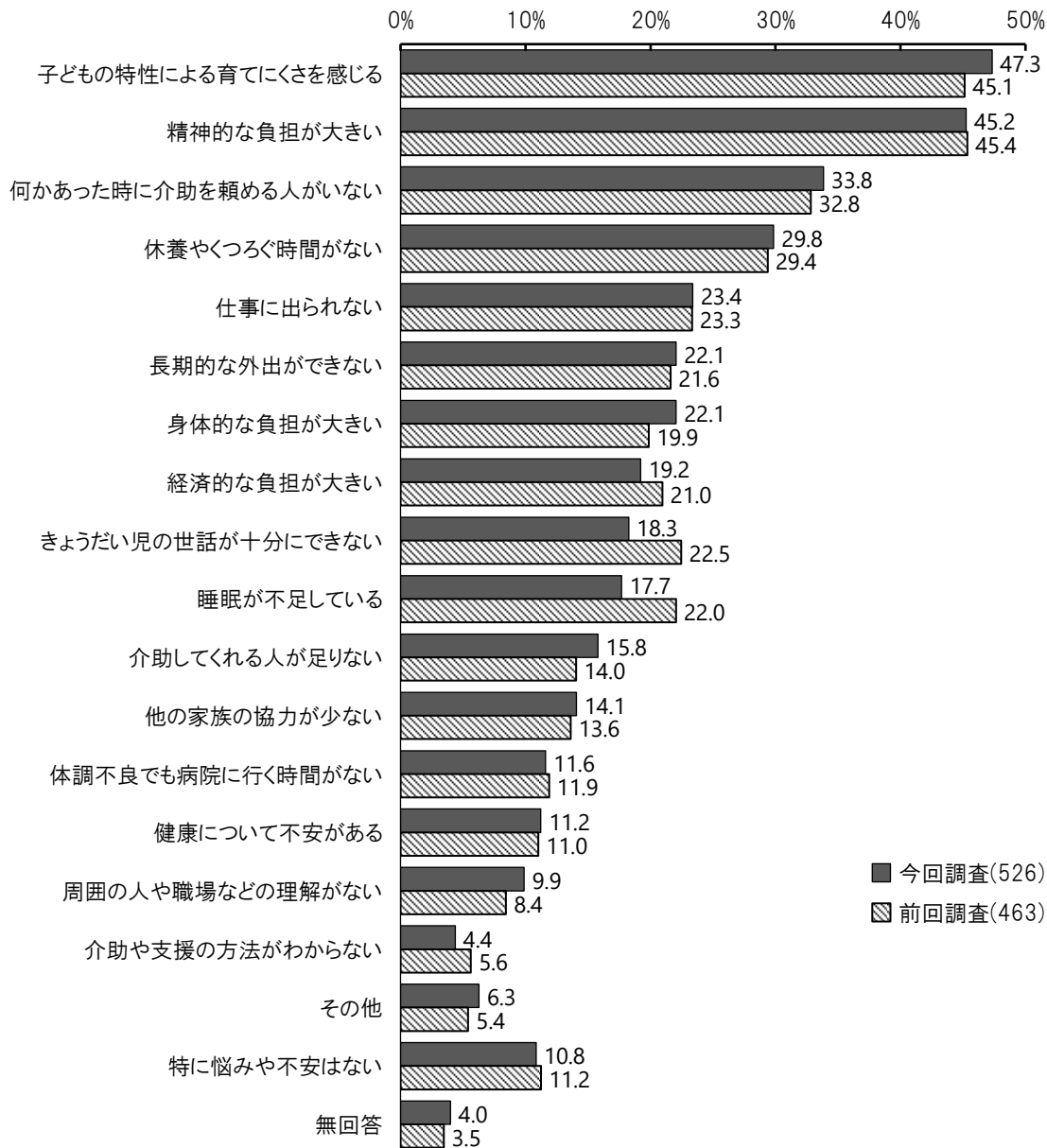
(9) 介助や支援についての悩み [複数回答]

問13 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。お子さんを介助・支援する立場から、どのような悩みや不安を抱えていますか。(〇はいくつでも)

◆「子どもの特性による育てにくさを感じる」が47.3%

【全体】

・「子どもの特性による育てにくさを感じる」が47.3%で最も多く、次いで「精神的な負担が大きい」が45.2%、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が33.8%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害は「精神的な負担が大きい」、精神障害と手帳・診断なしは「子どもの特性による育てにくさを感じる」、発達障害は「精神的な負担が大きい」と「子どもの特性による育てにくさを感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が多くなっています。
- ・「きょうだい児の世話が十分にできない」は、身体障害(25.4%)と医療的ケア児(31.0%)が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし手帳	医療的ケア児
総数	(59)	(195)	(32)	(162)	(10)	(163)	(58)
子どもの特性による育てにくさを感じる	32.2	49.7	78.1	54.3	10.0	41.7	37.9
精神的な負担が大きい	54.2	50.8	68.8	54.3	60.0	31.9	53.4
何かあった時に介助を頼める人がいない	50.8	48.7	53.1	34.0	60.0	17.8	58.6
休養やくつろぐ時間がない	44.1	32.3	50.0	30.9	40.0	22.7	46.6
仕事に出られない	42.4	30.3	43.8	24.7	50.0	12.9	39.7
長期的な外出ができない	44.1	34.4	43.8	25.3	30.0	8.0	53.4
身体的な負担が大きい	50.8	25.6	46.9	19.8	30.0	13.5	43.1
経済的な負担が大きい	18.6	27.2	34.4	23.5	20.0	7.4	32.8
きょうだい児の世話が十分にできない	25.4	19.0	21.9	14.2	10.0	17.8	31.0
睡眠が不足している	33.9	19.5	28.1	16.0	40.0	13.5	44.8
介助してくれる人が足りない	37.3	20.5	25.0	13.0	30.0	7.4	34.5
他の家族の協力が少ない	20.3	17.4	15.6	16.0	40.0	8.6	19.0
体調不良でも病院に行く時間がない	23.7	11.3	25.0	11.1	20.0	6.7	25.9
健康について不安がある	22.0	14.4	31.3	8.6	30.0	3.7	27.6
周囲の人や職場などの理解がない	6.8	11.8	21.9	14.2	10.0	6.1	8.6
介助や支援の方法がわからない	6.8	6.2	18.8	3.7	10.0	1.8	1.7
その他	5.1	8.2	6.3	3.7	-	6.1	5.2
特に悩みや不安はない	1.7	6.2	3.1	8.0	30.0	19.0	3.4
無回答	1.7	2.6	3.1	6.2	-	3.7	3.4

【通園先(小学校入学前)別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	保育園	子ども園	幼稚園	子ども総合センター (児童発達支援 センターあいあい)	子ども総合センター 以外の児童発達支援 などの療育機関	その他
総数	(93)	(39)	(41)	(39)	(89)	(5)
子どもの特性による育てにくさを感じる	44.1	43.6	56.1	53.8	52.8	40.0
精神的な負担が大きい	40.9	38.5	36.6	53.8	40.4	-
何かあった時に介助を頼める人がいない	36.6	30.8	22.0	35.9	33.7	20.0
休養やくつろぐ時間がない	33.3	35.9	26.8	43.6	34.8	-
仕事に出られない	18.3	12.8	24.4	17.9	20.2	40.0
長期的な外出ができない	11.8	7.7	17.1	10.3	15.7	20.0
身体的な負担が大きい	23.7	23.1	17.1	28.2	28.1	-
経済的な負担が大きい	8.6	7.7	17.1	10.3	12.4	20.0
きょうだい児の世話が十分にできない	20.4	25.6	17.1	20.5	20.2	20.0
睡眠が不足している	21.5	15.4	7.3	25.6	20.2	20.0
介助してくれる人が足りない	14.0	17.9	9.8	17.9	14.6	20.0
他の家族の協力が少ない	15.1	5.1	9.8	10.3	11.2	-
体調不良でも病院に行く時間がない	12.9	10.3	14.6	23.1	12.4	-
健康について不安がある	7.5	7.7	4.9	10.3	12.4	-
周囲の人や職場などの理解がない	10.8	10.3	4.9	7.7	4.5	-
介助や支援の方法がわからない	6.5	2.6	-	5.1	6.7	-
その他	6.5	5.1	-	2.6	7.9	-
特に悩みや不安はない	16.1	10.3	14.6	10.3	12.4	20.0
無回答	5.4	5.1	4.9	5.1	1.1	-

※ 通園・通所はしていないは回答者総数が少数のため非掲載

【通学先(小・中学校)別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	小学校の通常の学級	小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)	小学校の特別支援学級	特別支援学校の小学部
総数	(52)	(58)	(57)	(51)
子どもの特性による育てにくさを感じる	48.1	62.1	49.1	43.1
精神的な負担が大きい	44.2	44.8	47.4	58.8
何かあった時に介助を頼める人がいない	23.1	25.9	22.8	60.8
休養やくつろぐ時間がない	26.9	31.0	22.8	35.3
仕事に出られない	23.1	13.8	28.1	43.1
長期的な外出ができない	17.3	10.3	24.6	51.0
身体的な負担が大きい	15.4	19.0	10.5	37.3
経済的な負担が大きい	21.2	27.6	22.8	29.4
きょうだい児の世話が十分にできない	15.4	10.3	15.8	15.7
睡眠が不足している	9.6	13.8	12.3	35.3
介助してくれる人が足りない	13.5	13.8	15.8	33.3
他の家族の協力が少ない	15.4	20.7	10.5	17.6
体調不良でも病院に行く時間がない	15.4	13.8	3.5	21.6
健康について不安がある	7.7	8.6	8.8	17.6
周囲の人や職場などの理解がない	9.6	13.8	5.3	9.8
介助や支援の方法がわからない	-	6.9	3.5	2.0
その他	9.6	1.7	10.5	5.9
特に悩みや不安はない	11.5	15.5	8.8	2.0
無回答	5.8	6.9	-	-

選択肢/属性	中学校の通常の学級	中学校の特別支援学級	特別支援学校の中学部
総数	(11)	(22)	(36)
子どもの特性による育てにくさを感じる	36.4	40.9	36.1
精神的な負担が大きい	63.6	59.1	47.2
何かあった時に介助を頼める人がいない	9.1	27.3	61.1
休養やくつろぐ時間がない	27.3	22.7	36.1
仕事に出られない	-	22.7	33.3
長期的な外出ができない	9.1	22.7	41.7
身体的な負担が大きい	18.2	18.2	33.3
経済的な負担が大きい	9.1	18.2	25.0
きょうだい児の世話が十分にできない	-	9.1	27.8
睡眠が不足している	9.1	9.1	22.2
介助してくれる人が足りない	9.1	-	19.4
他の家族の協力が少ない	9.1	18.2	22.2
体調不良でも病院に行く時間がない	-	4.5	16.7
健康について不安がある	9.1	13.6	19.4
周囲の人や職場などの理解がない	9.1	22.7	11.1
介助や支援の方法がわからない	-	4.5	5.6
その他	9.1	-	11.1
特に悩みや不安はない	9.1	18.2	2.8
無回答	9.1	4.5	-

※ 中学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)は回答者総数が少数のため非掲載

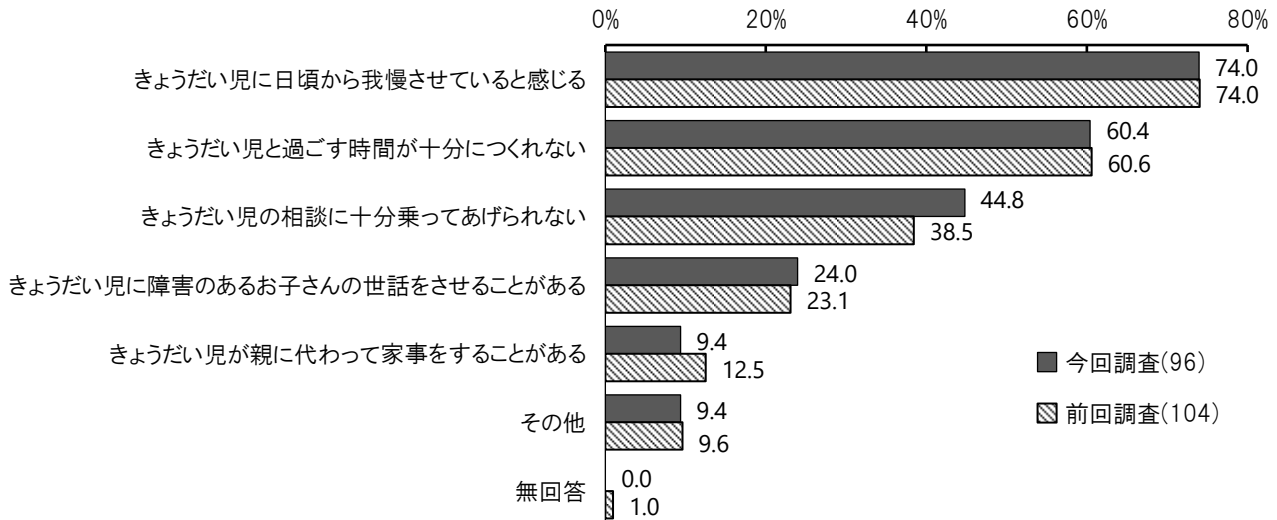
(10)きょうだい児に関する悩み [複数回答]

問14 問13で「きょうだい児の世話が十分にできない」と回答した方にお聞きします。
 具体的にどのような悩みや不安を抱えていますか。(〇はいくつでも)

◆「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0%

【全体】

・「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0%で最も多く、次いで「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が60.4%、「きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない」が44.8%などとなっています。



【障害別】

- ・知的障害と発達障害で「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」、手帳・診断なしは「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」と「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が多くなっています。

単位: %、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	手帳・診断なし	医療的ケア児
総数	(15)	(37)	(7)	(23)	(29)	(18)
きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる	80.0	73.0	100.0	82.6	65.5	55.6
きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない	66.7	62.2	71.4	56.5	65.5	77.8
きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない	33.3	51.4	42.9	52.2	34.5	27.8
きょうだい児に障害のあるお子さんの世話をさせることがある	33.3	40.5	-	21.7	13.8	50.0
きょうだい児が親に代わって家事をすることがある	13.3	16.2	-	8.7	6.9	22.2
その他	-	13.5	14.3	21.7	3.4	5.6
無回答	-	-	-	-	-	-

※ 難病・特定疾患は回答者総数が少数のため非掲載

3 相談や福祉の情報について

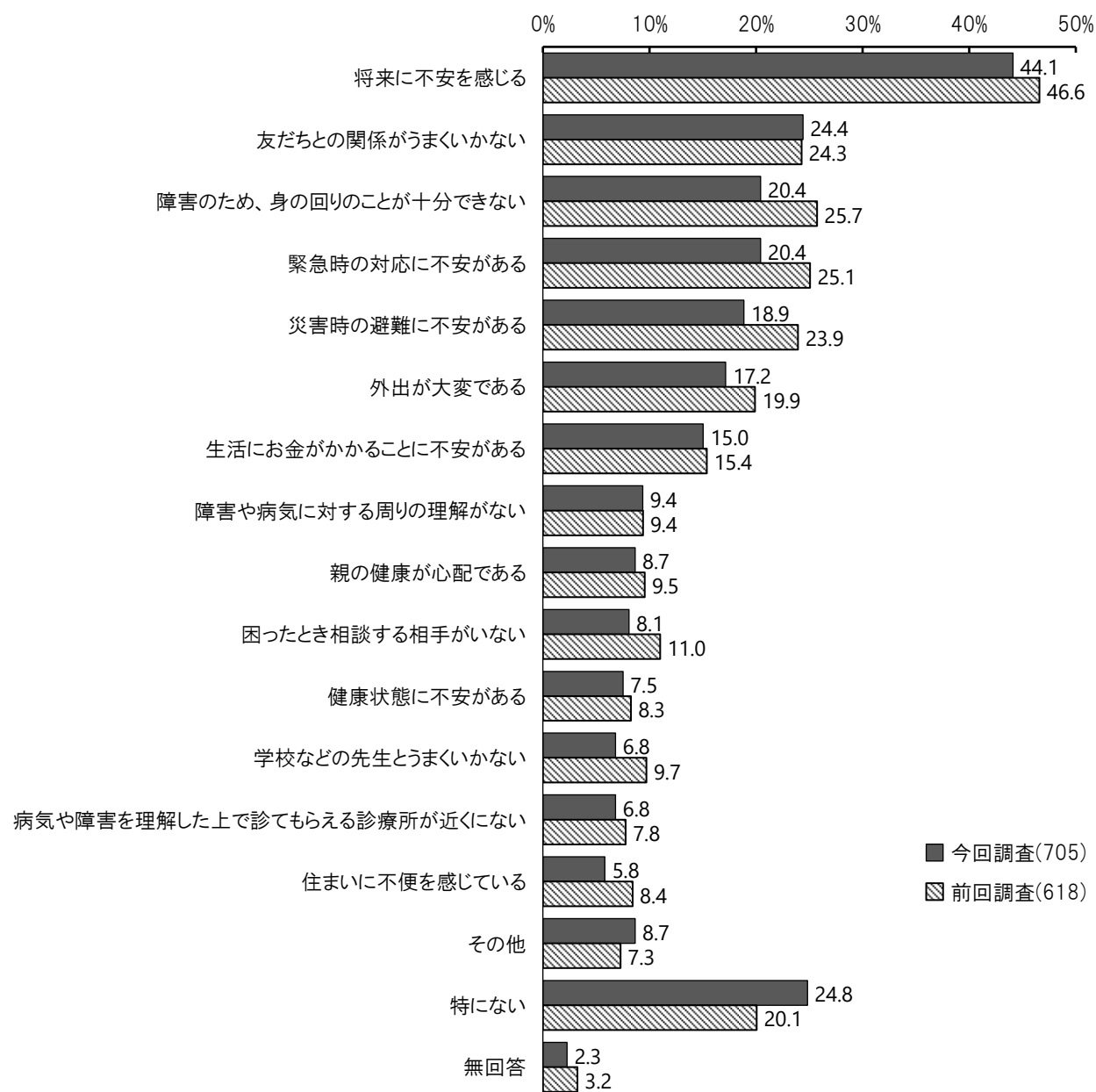
(1) 日常生活で困っていること(お子さんが困っていること) [複数回答]

問15 お子さんが、日常生活で困っていることがありますか。(○はいくつでも)
(お子さんの思いをご回答ください)

◆「将来に不安を感じる」が44.1%

【全体】

・「将来に不安を感じる」が44.1%で最も多く、次いで「友だちとの関係がうまくいかない」が24.4%、「障害のため、身の回りのことが十分できない」と「緊急時の対応に不安がある」が20.4%などとなっています。「特にない」は24.8%となっています。



【障害別】

- ・身体障害は「障害のため、身の回りのことが十分できない」、知的障害と精神障害、発達障害、手帳・診断なしは「将来に不安を感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「障害のため、身の回りのことが十分できない」と「将来に不安を感じる」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
将来に不安を感じる	49.3	66.2	56.4	48.5	36.4	27.4	53.2
友だちとの関係がうまくいかない	10.4	17.6	43.6	37.7	18.2	21.9	16.1
障害のため、身の回りのことが十分できない	50.7	39.5	33.3	21.6	27.3	3.7	53.2
緊急時の対応に不安がある	35.8	35.2	28.2	25.0	27.3	6.3	43.5
災害時の避難に不安がある	41.8	36.7	17.9	21.1	27.3	4.1	41.9
外出が大変である	44.8	30.5	17.9	17.6	27.3	5.6	46.8
生活にお金がかかることに不安がある	20.9	24.8	35.9	17.6	27.3	5.6	24.2
障害や病気に対する周りの理解がない	10.4	15.2	28.2	12.7	9.1	2.2	19.4
親の健康が心配である	16.4	14.3	20.5	9.3	9.1	3.0	25.8
困ったとき相談する相手がいない	7.5	14.8	7.7	9.3	-	3.0	16.1
健康状態に不安がある	22.4	10.0	17.9	5.9	27.3	3.7	30.6
学校などの先生とうまくいかない	3.0	4.3	20.5	13.2	-	4.4	3.2
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	4.5	12.4	7.7	7.8	9.1	3.0	8.1
住まいに不便を感じている	19.4	10.5	5.1	4.9	18.2	3.0	14.5
その他	7.5	8.1	12.8	11.8	36.4	5.9	11.3
特になし	9.0	11.9	20.5	15.2	18.2	41.9	4.8
無回答	1.5	0.5	-	2.0	-	3.3	-

【年齢別】

- ・年齢が高くなるほど「将来に不安を感じる」が増加しています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	0～5歳	6～11歳	12～17歳
総数	(224)	(301)	(174)
将来に不安を感じる	35.3	42.9	58.0
友だちとの関係がうまくいかない	20.1	26.9	25.9
障害のため、身の回りのことが十分できない	13.4	19.9	29.3
緊急時の対応に不安がある	12.5	18.3	34.5
災害時の避難に不安がある	10.3	17.6	32.2
外出が大変である	16.1	14.0	23.6
生活にお金がかかることに不安がある	9.4	15.0	21.8
障害や病気に対する周りの理解がない	4.0	8.3	17.8
親の健康が心配である	6.3	6.6	15.5
困ったとき相談する相手がいない	4.5	7.3	14.4
健康状態に不安がある	6.3	5.6	12.6
学校などの先生とうまくいかない	2.7	9.0	8.6
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	2.7	6.6	12.6
住まいに不便を感じている	5.4	4.7	8.0
その他	8.0	8.0	10.3
特になし	33.9	24.3	14.4
無回答	4.5	1.7	-

【通学先(小・中学校)別】

・小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)は「友だちとの関係がうまくいかない」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	小学校の通常の学級	小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)	小学校の特別支援学級	特別支援学校の小学部
総数	(83)	(79)	(61)	(52)
将来に不安を感じる	32.5	34.2	63.9	65.4
友だちとの関係がうまくいかない	30.1	43.0	19.7	7.7
障害のため、身の回りのことが十分できない	9.6	10.1	23.0	50.0
緊急時の対応に不安がある	12.0	13.9	29.5	36.5
災害時の避難に不安がある	9.6	10.1	34.4	38.5
外出が大変である	8.4	5.1	21.3	38.5
生活にお金がかかることに不安がある	8.4	11.4	14.8	30.8
障害や病気に対する周りの理解がない	9.6	11.4	6.6	9.6
親の健康が心配である	2.4	5.1	8.2	21.2
困ったとき相談する相手がいない	9.6	5.1	9.8	9.6
健康状態に不安がある	6.0	2.5	3.3	13.5
学校などの先生とうまくいかない	13.3	20.3	6.6	-
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	6.0	1.3	6.6	17.3
住まいに不便を感じている	3.6	1.3	3.3	13.5
その他	8.4	10.1	8.2	11.5
特にない	31.3	24.1	18.0	9.6
無回答	2.4	1.3	-	1.9

選択肢/属性	中学校の通常の学級	中学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)	中学校の特別支援学級	特別支援学校の中学部
総数	(26)	(3)	(25)	(38)
将来に不安を感じる	46.2	-	60.0	63.2
友だちとの関係がうまくいかない	34.6	33.3	36.0	13.2
障害のため、身の回りのことが十分できない	7.7	-	16.0	60.5
緊急時の対応に不安がある	11.5	-	28.0	57.9
災害時の避難に不安がある	3.8	-	36.0	55.3
外出が大変である	7.7	-	20.0	50.0
生活にお金がかかることに不安がある	11.5	33.3	20.0	18.4
障害や病気に対する周りの理解がない	3.8	33.3	8.0	26.3
親の健康が心配である	-	-	16.0	21.1
困ったとき相談する相手がいない	7.7	33.3	12.0	21.1
健康状態に不安がある	7.7	-	8.0	13.2
学校などの先生とうまくいかない	-	-	8.0	5.3
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	-	-	4.0	18.4
住まいに不便を感じている	-	-	4.0	21.1
その他	23.1	33.3	8.0	2.6
特にない	19.2	-	16.0	5.3
無回答	-	-	-	-

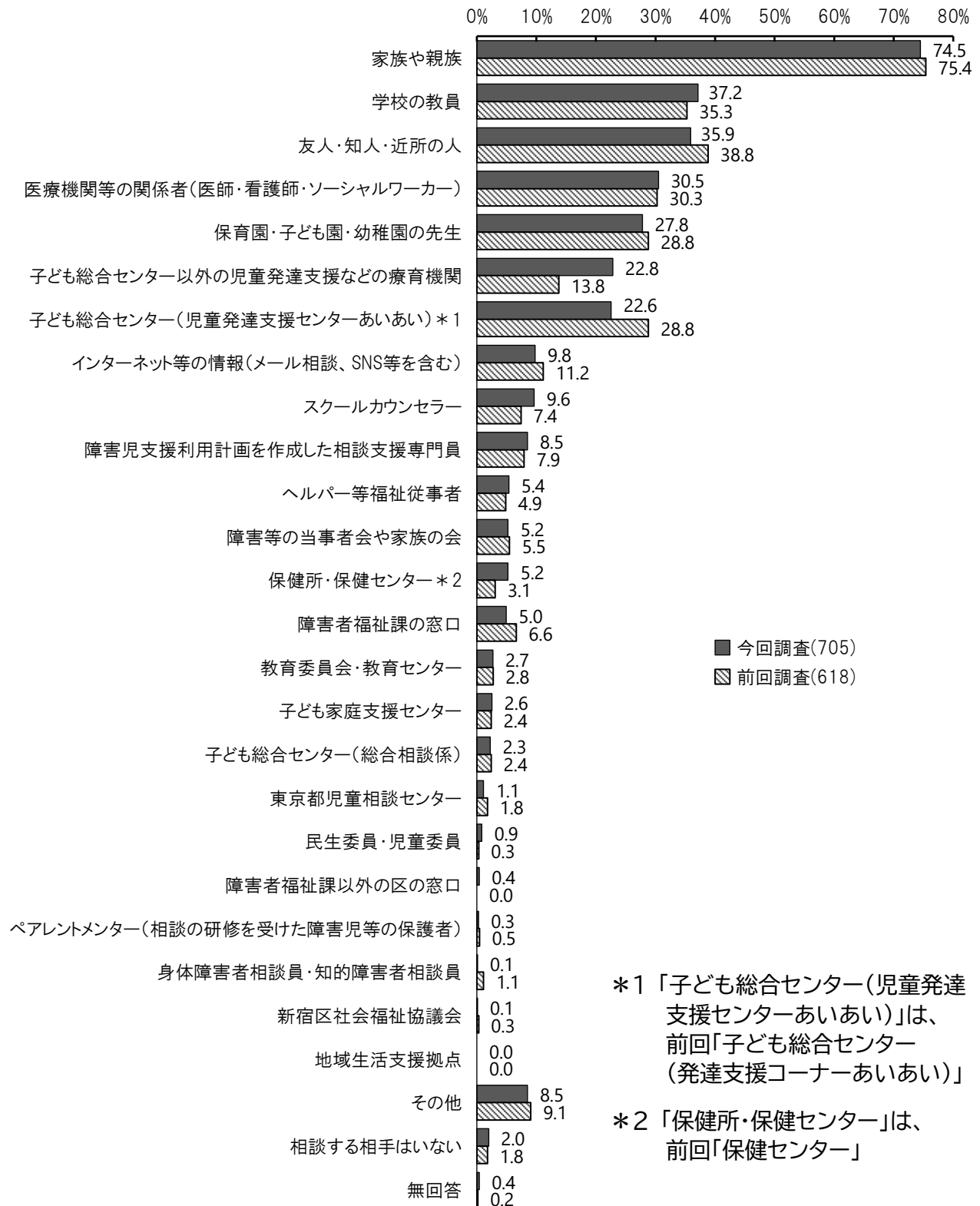
(2)困った時に相談する相手 [複数回答]

問16 お子さんやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。(○はいくつでも)

◆「家族や親族」が74.5%

【全体】

・「家族や親族」が74.5%で最も多く、次いで「学校の教員」が37.2%、「友人・知人・近所の人」が35.9%などとなっています。



*1 「子ども総合センター(児童発達支援センターあいあい)」は、前回「子ども総合センター(発達支援コーナーあいあい)」

*2 「保健所・保健センター」は、前回「保健センター」

【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「家族や親族」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「家族や親族」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
家族や親族	83.6	72.9	61.5	73.5	90.9	74.8	87.1
学校の教員	43.3	55.2	33.3	41.7	36.4	23.3	35.5
友人・知人・近所の人	38.8	32.9	35.9	33.8	36.4	35.2	43.5
医療機関等の関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)	58.2	33.8	53.8	35.8	72.7	19.6	50.0
保育園・子ども園・幼稚園の先生	10.4	9.5	12.8	19.1	36.4	46.7	24.2
子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関	4.5	16.7	2.6	23.5	18.2	31.1	14.5
子ども総合センター(児童発達支援センターあいあい)	10.4	9.0	10.3	17.6	27.3	35.9	17.7
インターネット等の情報(メール相談、SNS等を含む)	10.4	11.4	20.5	8.3	9.1	8.5	12.9
スクールカウンセラー	1.5	2.9	25.6	17.2	18.2	8.1	-
障害児支援利用計画を作成した相談支援専門員	10.4	9.5	10.3	10.3	36.4	4.4	16.1
ヘルパー等福祉従事者	22.4	12.4	2.6	4.4	27.3	0.7	24.2
障害等の当事者会や家族の会	19.4	11.0	-	1.5	36.4	0.7	25.8
保健所・保健センター	7.5	1.9	7.7	2.9	18.2	7.8	9.7
障害者福祉課の窓口	20.9	9.5	5.1	4.4	9.1	0.4	17.7
教育委員会・教育センター	1.5	2.4	5.1	4.9	9.1	1.5	3.2
子ども家庭支援センター	-	1.0	7.7	2.5	-	4.1	1.6
子ども総合センター(総合相談係)	1.5	2.9	-	1.5	-	3.0	3.2
東京都児童相談センター	1.5	1.4	7.7	1.5	-	-	-
民生委員・児童委員	-	1.0	2.6	1.5	-	0.4	-
障害者福祉課以外の区の窓口	-	1.0	2.6	0.5	-	-	1.6
ペアレントメンター(相談の研修を受けた障害児等の保護者)	-	0.5	-	-	-	0.4	-
身体障害者相談員・知的障害者相談員	-	-	-	-	9.1	-	1.6
新宿区社会福祉協議会	-	0.5	-	-	-	-	-
地域生活支援拠点	-	-	-	-	-	-	-
その他	4.5	9.5	10.3	8.8	9.1	6.7	9.7
相談する相手はいない	1.5	2.9	7.7	1.5	-	2.2	6.5
無回答	1.5	1.0	-	-	-	-	-

【年齢別】

- ・「家族や親族」以外では、0～5歳は「保育園・子ども園・幼稚園の先生」と「子ども総合センター（児童発達支援センターあいあい）」、6歳～11歳、12～17歳では「学校の教員」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	0～5歳	6～11歳	12～17歳
総数	(224)	(301)	(174)
家族や親族	80.4	70.8	73.0
学校の教員	3.1	52.5	55.2
友人・知人・近所の人	40.2	34.2	32.8
医療機関等の関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)	24.6	28.9	40.8
保育園・子ども園・幼稚園の先生	68.3	13.6	0.6
子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関	34.8	20.6	12.1
子ども総合センター(児童発達支援センターあいあい)	49.1	14.0	2.9
インターネット等の情報(メール相談、SNS等を含む)	10.7	7.3	12.6
スクールカウンセラー	0.4	17.3	8.6
障害児支援利用計画を作成した相談支援専門員	8.9	10.0	5.7
ヘルパー等福祉従事者	1.3	7.0	8.0
障害等の当事者会や家族の会	4.0	5.3	6.9
保健所・保健センター	10.7	2.0	3.4
障害者福祉課の窓口	1.8	4.3	10.3
教育委員会・教育センター	0.9	3.0	4.6
子ども家庭支援センター	3.1	3.3	0.6
子ども総合センター(総合相談係)	4.0	1.7	1.1
東京都児童相談センター	-	1.7	1.7
民生委員・児童委員	0.9	1.3	-
障害者福祉課以外の区の窓口	-	0.7	0.6
ペアレントメンター(相談の研修を受けた障害児等の保護者)	-	0.7	-
身体障害者相談員・知的障害者相談員	0.4	-	-
新宿区社会福祉協議会	-	0.3	-
地域生活支援拠点	-	-	-
その他	7.1	8.0	11.5
相談する相手はいない	0.9	2.7	2.3
無回答	-	0.7	-

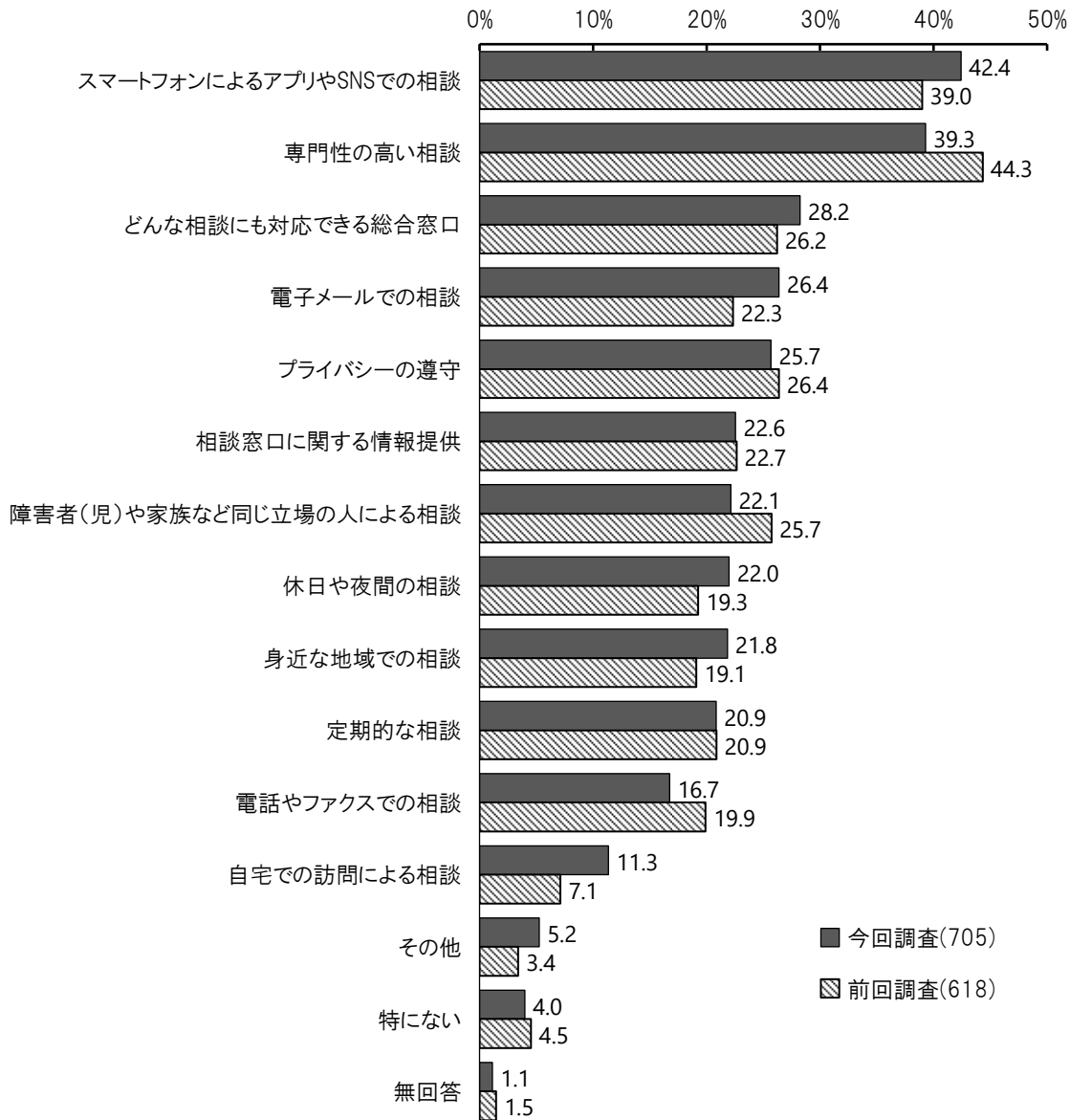
(3)気軽に相談するために必要なこと [複数回答]

問17 区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

◆「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が42.4%

【全体】

・「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が42.4%で最も多く、次いで「専門性の高い相談」が39.3%、「どんな相談にも対応できる総合窓口」が28.2%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と精神障害、発達障害は「専門性の高い相談」、知的障害と手帳・診断なしは「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定 難病 疾患	診断なし 手帳	医療的 ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
スマートフォンによるアプリや SNSでの相談	44.8	42.4	46.2	38.2	36.4	43.7	45.2
専門性の高い相談	50.7	39.0	56.4	41.2	72.7	33.0	43.5
どんな相談にも対応できる総合窓口	34.3	31.9	28.2	24.0	45.5	28.1	32.3
電子メールでの相談	34.3	27.6	23.1	25.0	18.2	25.2	32.3
プライバシーの遵守	22.4	26.2	35.9	20.1	18.2	28.5	30.6
相談窓口に関する情報提供	25.4	26.7	23.1	25.0	27.3	19.6	29.0
障害者(児)や家族など同じ立場の人 による相談	29.9	29.5	23.1	27.0	45.5	14.1	32.3
休日や夜間の相談	20.9	19.0	41.0	22.1	27.3	22.6	21.0
身近な地域での相談	23.9	18.1	30.8	22.5	18.2	23.0	25.8
定期的な相談	16.4	15.2	28.2	18.1	18.2	24.8	21.0
電話やファクスでの相談	16.4	17.6	12.8	15.2	9.1	17.4	14.5
自宅での訪問による相談	17.9	7.6	15.4	10.8	9.1	12.2	17.7
その他	4.5	6.7	2.6	3.9	9.1	4.4	3.2
特にない	6.0	3.3	-	2.5	9.1	5.2	6.5
無回答	-	2.4	-	1.5	-	0.4	1.6

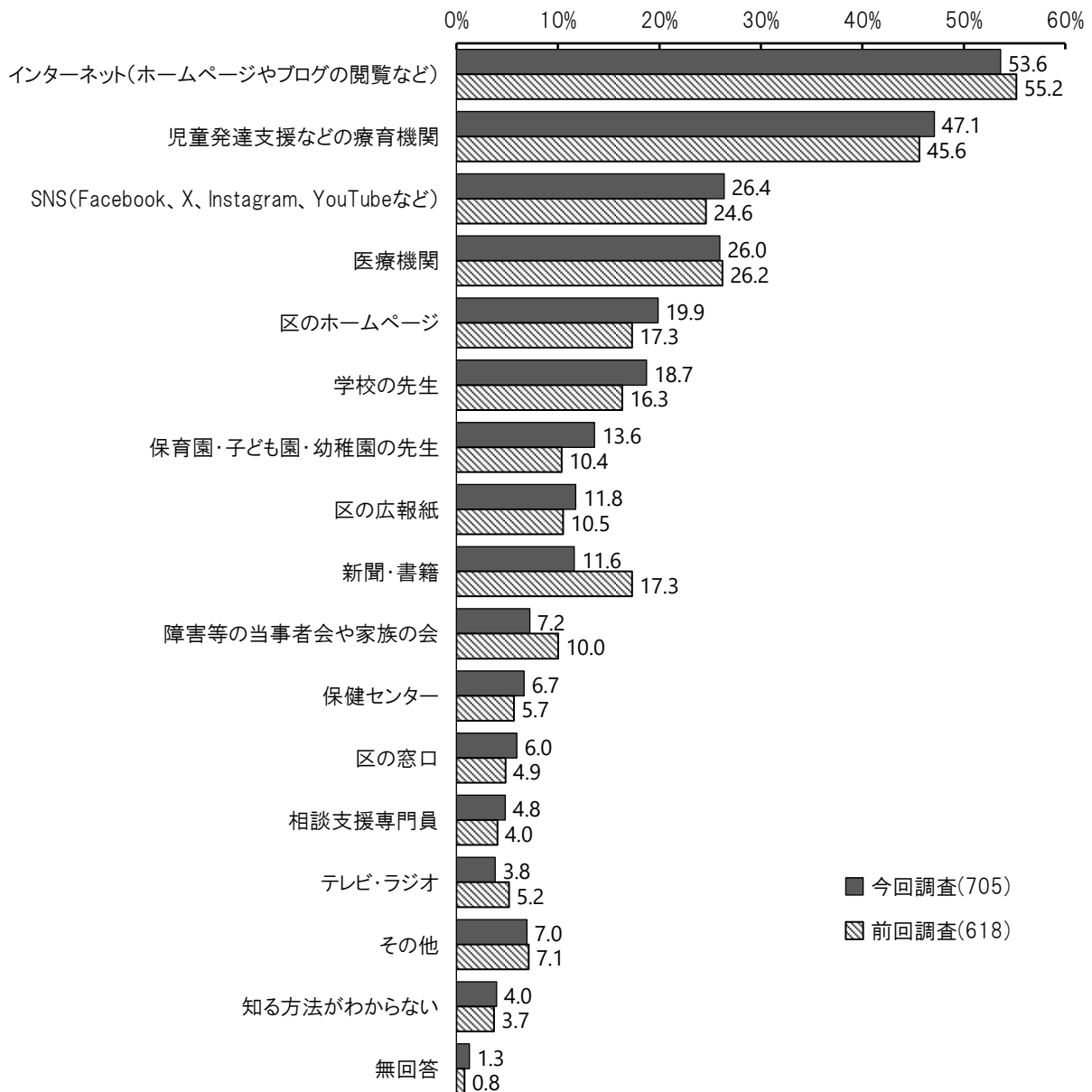
(4)福祉情報の入手先 [複数回答]

問18 障害などに関する知識や福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

◆「インターネット(ホームページやブログの閲覧など)」が53.6%

【全体】

・「インターネット(ホームページやブログの閲覧など)」が53.6%で最も多く、次いで「児童発達支援などの療育機関」が47.1%、「SNS(Facebook、X、Instagram、YouTubeなど)」が26.4%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害は「インターネット(ホームページやブログの閲覧など)」、手帳・診断なしは「児童発達支援などの療育機関」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「インターネット(ホームページやブログの閲覧など)」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定 難病・ 疾患	診断なし 手帳	医療的 ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
インターネット (ホームページやブログの閲覧など)	47.8	55.7	64.1	59.8	72.7	48.5	53.2
児童発達支援などの療育機関	14.9	32.9	38.5	48.0	54.5	60.7	35.5
SNS(Facebook、X、Instagram、 YouTubeなど)	34.3	22.4	43.6	26.0	45.5	23.3	48.4
医療機関	44.8	30.0	51.3	32.4	72.7	16.3	46.8
区のホームページ	16.4	21.4	23.1	14.7	18.2	21.9	17.7
学校の先生	23.9	33.8	17.9	20.6	27.3	9.3	21.0
保育園・子ども園・幼稚園の先生	4.5	3.8	10.3	8.3	18.2	24.1	9.7
区の広報紙	16.4	14.3	23.1	12.7	27.3	8.1	21.0
新聞・書籍	6.0	9.0	28.2	15.2	27.3	9.3	9.7
障害等の当事者会や家族の会	20.9	12.9	2.6	3.4	45.5	2.2	27.4
保健センター	4.5	1.9	12.8	4.9	18.2	9.6	6.5
区の窓口	16.4	7.6	7.7	4.4	18.2	3.7	16.1
相談支援専門員	11.9	4.8	10.3	3.9	9.1	2.6	6.5
テレビ・ラジオ	6.0	5.2	5.1	2.9	9.1	3.0	4.8
その他	17.9	7.6	7.7	6.4	18.2	4.8	16.1
知る方法がわからない	3.0	6.7	2.6	2.9	-	3.0	4.8
無回答	-	1.0	2.6	1.5	-	1.9	1.6

【年齢別】

・0～5歳は「児童発達支援などの療育機関」、6歳～11歳と12～17歳では「インターネット（ホームページやブログの閲覧など）」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	0～5歳	6～11歳	12～17歳
総数	(224)	(301)	(174)
インターネット(ホームページやブログの閲覧など)	51.3	52.8	58.6
児童発達支援などの療育機関	64.3	49.5	21.3
SNS(Facebook、X、Instagram、YouTubeなど)	31.7	27.2	19.0
医療機関	21.4	25.2	33.3
区のホームページ	24.6	17.3	18.4
学校の先生	2.2	22.6	33.3
保育園・子ども園・幼稚園の先生	31.7	7.3	1.1
区の広報紙	5.4	13.6	17.2
新聞・書籍	7.1	13.6	14.4
障害等の当事者会や家族の会	3.6	7.3	12.1
保健センター	12.5	3.7	4.6
区の窓口	5.8	3.3	10.9
相談支援専門員	2.2	6.6	5.2
テレビ・ラジオ	4.9	2.0	5.7
その他	5.8	7.3	7.5
知る方法がわからない	2.2	3.3	6.9
無回答	1.3	1.3	1.1

4 教育・保育について

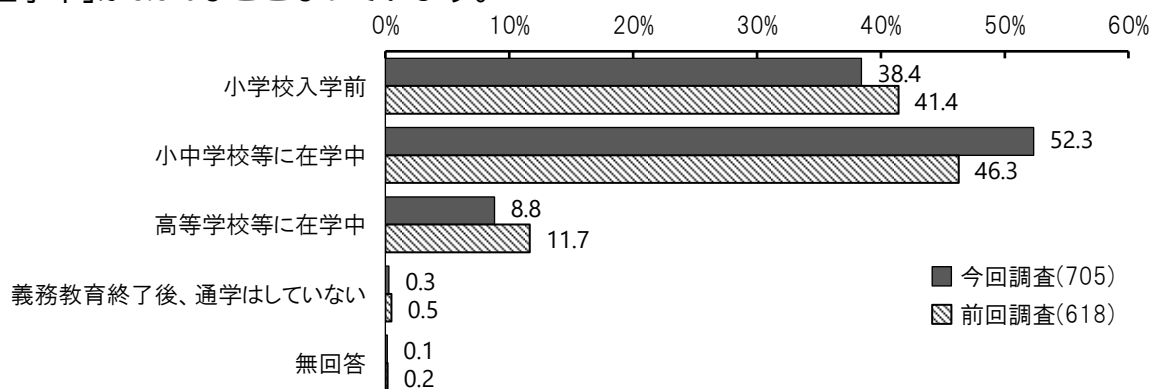
(1)通園・通学先

問19 お子さんが通園・通学などを行っているところをお聞きします。

◆「小中学校等に在学中」が52.3%

【全体】

- ・「小中学校等に在学中」が52.3%で最も多く、次いで「小学校入学前」が38.4%、「高等学校等に在学中」が8.8%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害は「小中学校等に在学中」、手帳・診断なしは「小学校入学前」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「小中学校等に在学中」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

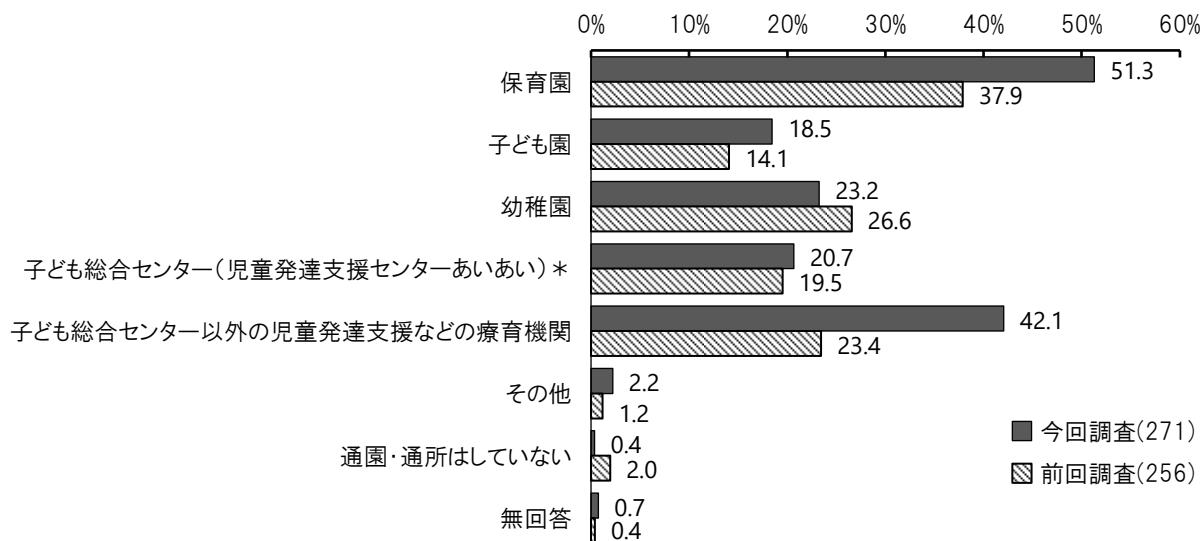
選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
小学校入学前	13.4	19.5	12.8	25.0	27.3	64.1	35.5
小中学校等に在学中	71.6	61.9	56.4	62.7	63.6	34.4	54.8
高等学校等に在学中	14.9	18.6	30.8	11.3	9.1	1.1	9.7
義務教育終了後、通学はしていない	-	-	-	1.0	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	0.4	-

①小学校入学前 [複数回答]

◆「保育園」が51.3%

【全体】

- ・「保育園」が51.3%で最も多く、次いで「子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関」が42.1%、「幼稚園」が23.2%などとなっています。



* 前回調査では、選択肢「子ども総合センター(児童発達コーナーあいあい)」

【障害別】

- ・知的障害と発達障害、手帳・診断なしで共に「保育園」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「保育園」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

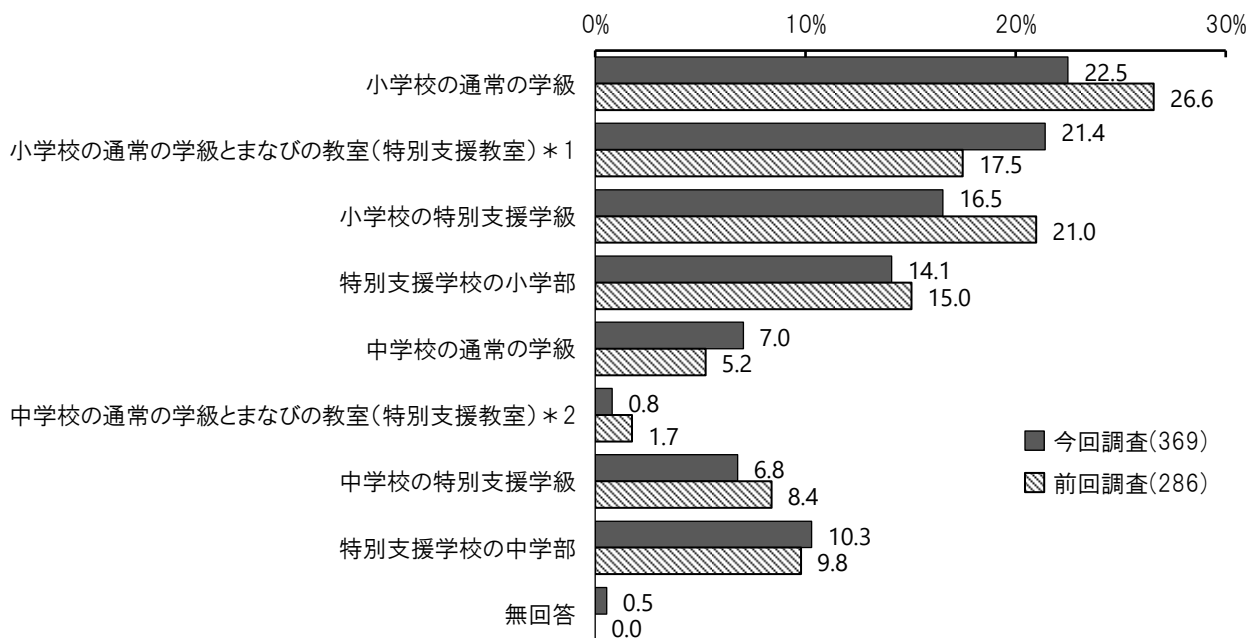
選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定 難病・ 疾患	診断なし 手帳・	医療的 ケア児
総数	(9)	(41)	(5)	(51)	(3)	(173)	(22)
保育園	44.4	56.1	60.0	54.9	66.7	52.6	50.0
子ども園	11.1	14.6	-	15.7	33.3	17.9	27.3
幼稚園	-	14.6	40.0	21.6	-	26.0	13.6
子ども総合センター (児童発達支援センターあいあい)	22.2	12.2	60.0	23.5	-	21.4	22.7
子ども総合センター以外の 児童発達支援などの療育機関	66.7	46.3	60.0	51.0	33.3	39.9	31.8
その他	11.1	2.4	-	3.9	-	1.2	4.5
通園・通所はしていない	11.1	-	-	-	-	-	4.5
無回答	-	2.4	-	2.0	-	-	-

②小中学校等に在学中

◆「小学校の通常の学級」が22.5%

【全体】

・「小学校の通常の学級」が22.5%で最も多く、次いで「小学校の通常の学級とまなびの教室（特別支援教室）」が21.4%、「小学校の特別支援学級」が16.5%などとなっています。



※ 前回調査は複数回答

*1 前回調査では、選択肢「小学校のまなびの教室(特別支援教室)」

*2 前回調査では、選択肢「中学校のまなびの教室(特別支援教室)」

【障害別】

- ・身体障害と知的障害は「特別支援学校の小学部」、精神障害と手帳・診断なしは「小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)」、発達障害は「小学校の通常の学級」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「特別支援学校の小学部」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

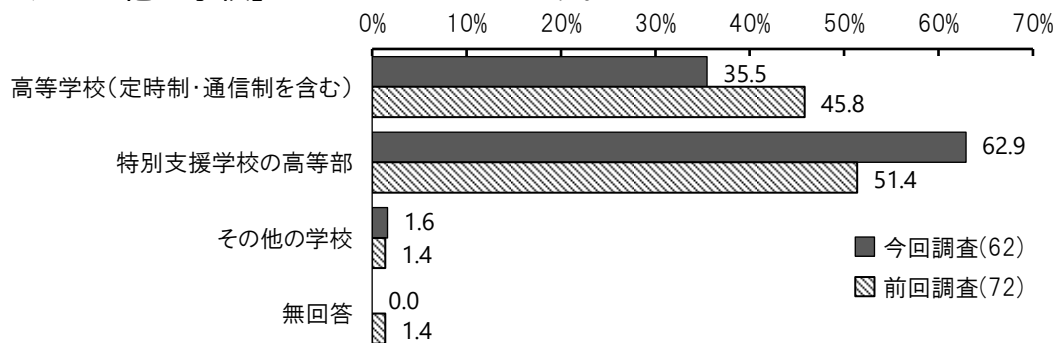
選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(48)	(130)	(22)	(128)	(7)	(93)	(34)
小学校の通常の学級	16.7	3.1	27.3	25.8	14.3	36.6	11.8
小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)	6.3	1.5	40.9	24.2	14.3	39.8	2.9
小学校の特別支援学級	6.3	27.7	4.5	18.0	-	10.8	20.6
特別支援学校の小学部	35.4	29.2	-	7.0	42.9	2.2	32.4
中学校の通常の学級	8.3	1.5	18.2	7.8	14.3	8.6	2.9
中学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)	-	-	-	1.6	-	1.1	-
中学校の特別支援学級	2.1	14.6	4.5	7.8	14.3	1.1	2.9
特別支援学校の中学部	25.0	22.3	-	6.3	-	-	26.5
無回答	-	-	4.5	1.6	-	-	-

③高等学校等に在学中

◆「特別支援学校の高等部」が62.9%

【全体】

・「特別支援学校の高等部」が62.9%で最も多く、次いで「高等学校(定時制・通信制を含む)」が35.5%、「その他の学校」が1.6%となっています。



【障害別】

・知的障害と発達障害で共に「特別支援学校の高等部」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	診断なし 手帳 なし	医療的ケア児
総数	(10)	(39)	(12)	(23)	(3)	(6)
高等学校(定時制・通信制を含む)	30.0	15.4	50.0	39.1	66.7	-
特別支援学校の高等部	70.0	84.6	50.0	56.5	33.3	100.0
その他の学校	-	-	-	4.3	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-

※ 難病・特定疾患は回答者総数が少数のため非掲載

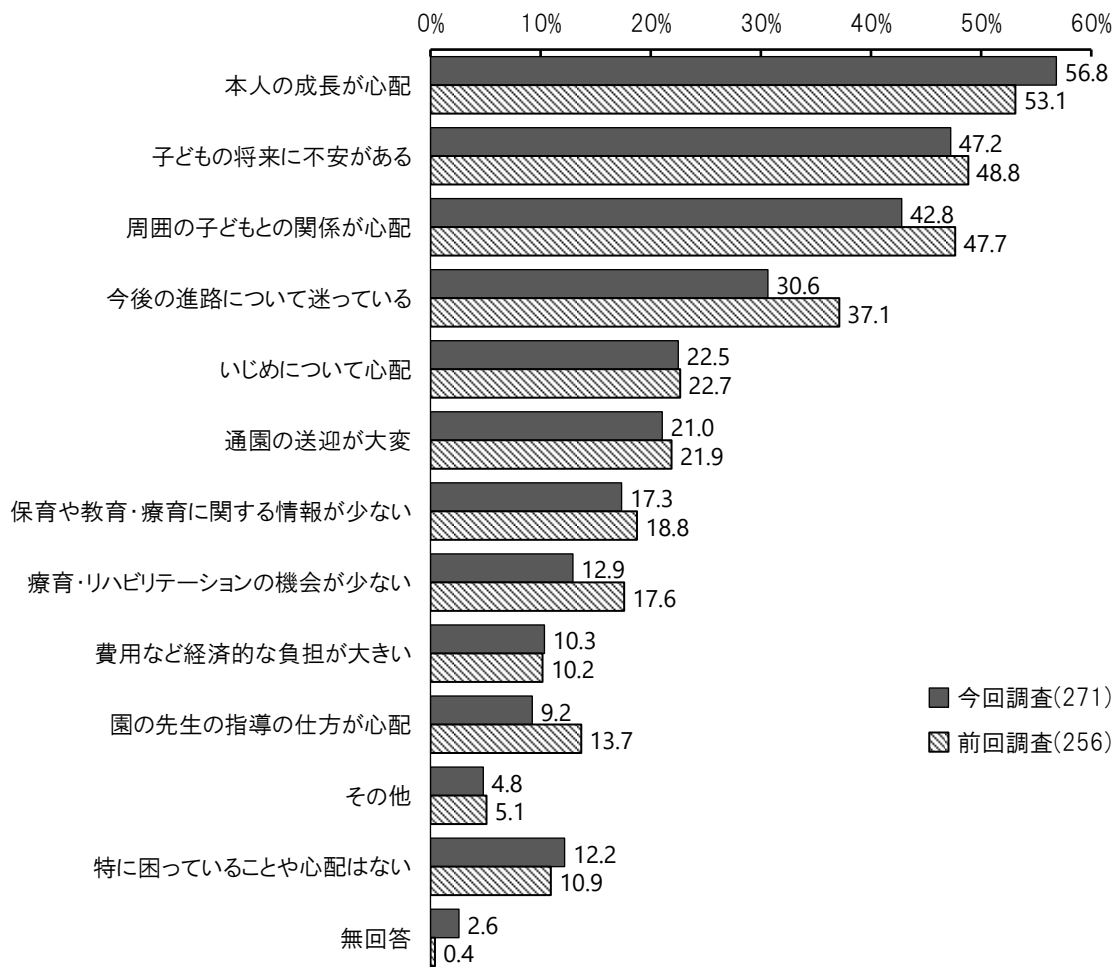
(2)通園生活等で困っていること(小学校入学前) [複数回答]

問20 「小学校入学前」と回答した方にお聞きします。通園生活や今後の進路等で困っていることや心配していることはありますか。(〇はいくつでも)

◆「本人の成長が心配」が56.8%

【全体】

・「本人の成長が心配」が56.8%で最も多く、次いで「子どもの将来に不安がある」が47.2%、「周囲の子どもとの関係が心配」が42.8%などとなっています。



【障害別】

- ・知的障害は「本人の成長が心配」と「子どもの将来に不安がある」、発達障害は「子どもの将来に不安がある」、手帳・診断なしは「本人の成長が心配」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「本人の成長が心配」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定 難病・ 疾患	診断なし 手帳・	医療的ケア児
総数	(9)	(41)	(5)	(51)	(3)	(173)	(22)
本人の成長が心配	77.8	70.7	20.0	64.7	66.7	52.6	63.6
子どもの将来に不安がある	66.7	70.7	40.0	72.5	66.7	37.0	45.5
周囲の子どもとの関係が心配	44.4	26.8	20.0	51.0	66.7	44.5	45.5
今後の進路について迷っている	66.7	43.9	40.0	37.3	100.0	23.7	45.5
いじめについて心配	44.4	17.1	20.0	29.4	33.3	19.7	36.4
通園の送迎が大変	55.6	29.3	40.0	25.5	33.3	17.3	18.2
保育や教育・療育に関する情報が少ない	44.4	29.3	40.0	13.7	33.3	13.9	27.3
療育・リハビリテーションの機会が少ない	44.4	24.4	20.0	5.9	33.3	10.4	22.7
費用など経済的な負担が大きい	22.2	12.2	20.0	17.6	33.3	8.1	9.1
園の先生の指導の仕方が心配	11.1	12.2	20.0	5.9	-	8.7	9.1
その他	11.1	4.9	20.0	3.9	-	4.0	4.5
特に困っていることや心配はない	-	-	20.0	2.0	-	17.9	-
無回答	-	-	-	2.0	-	2.3	4.5

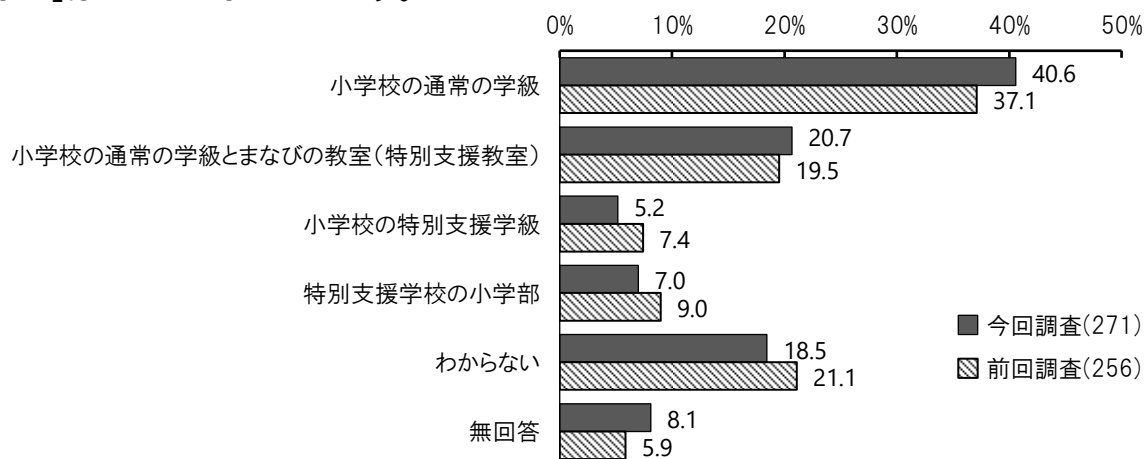
(3) 小学校の入学希望

問21 「小学校入学前」と回答した方にお聞きします。小学校はどの教育機関を希望しますか。(○はひとつ)

◆「小学校の通常の学級」が40.6%

【全体】

・「小学校の通常の学級」が40.6%で最も多く、次いで「小学校の通常の学級とまなびの教室（特別支援教室）」が20.7%、「特別支援学校の小学部」が7.0%などとなっています。「わからない」は18.5%となっています。



【障害別】

- ・ 知的障害は「特別支援学校の小学部」、発達障害と手帳・診断なしは「小学校の通常の学級」が多くなっています。
- ・ 医療的ケア児では、「小学校の通常の学級」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(9)	(41)	(5)	(51)	(3)	(173)	(22)
小学校の通常の学級	11.1	14.6	60.0	25.5	-	49.7	22.7
小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)	-	7.3	-	21.6	33.3	23.1	9.1
小学校の特別支援学級	-	14.6	20.0	9.8	-	1.7	13.6
特別支援学校の小学部	22.2	34.1	-	19.6	-	1.7	13.6
わからない	55.6	26.8	20.0	15.7	66.7	15.0	31.8
無回答	11.1	2.4	-	7.8	-	8.7	9.1

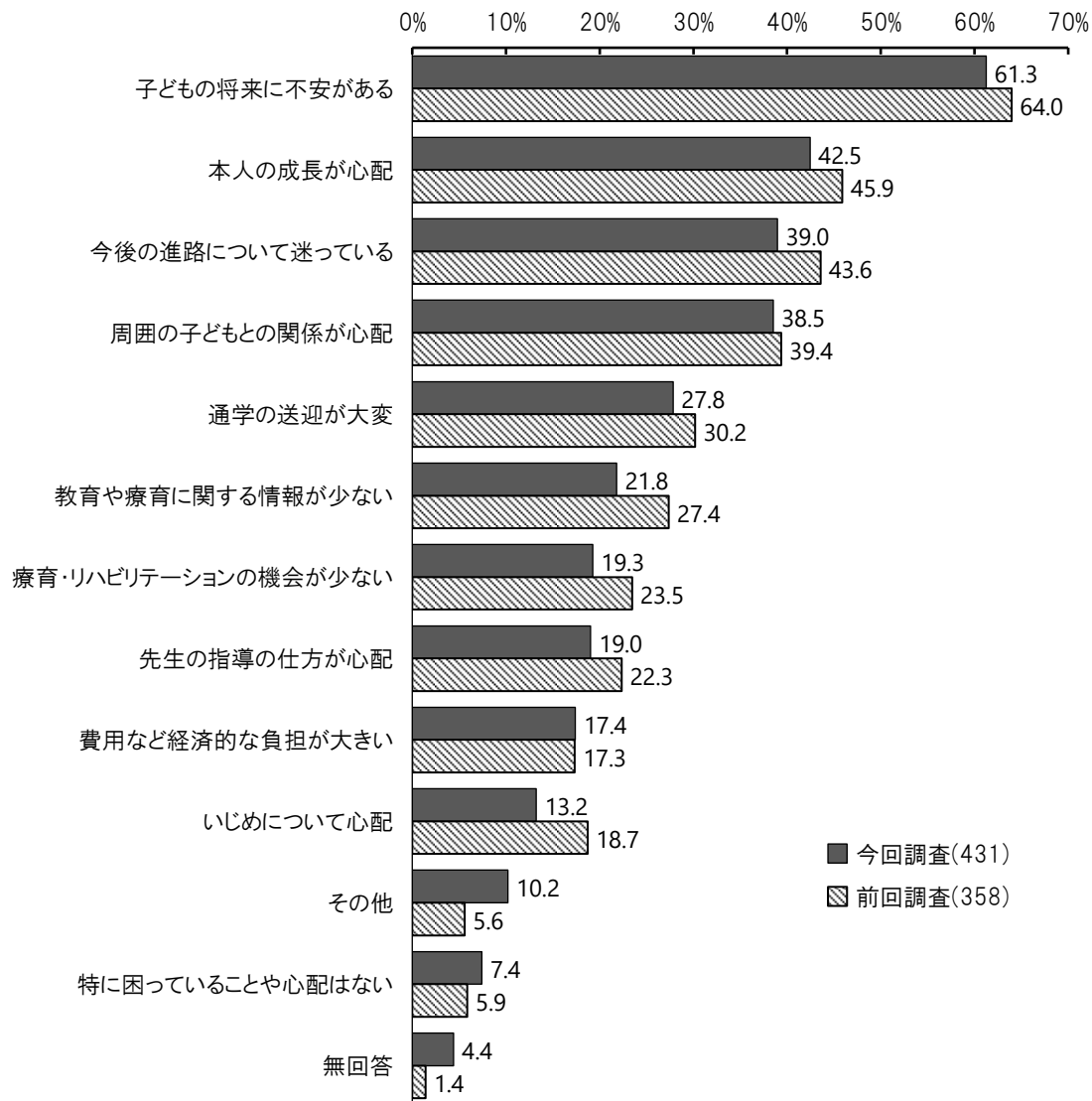
(4)通学生活等で困っていること(小中学校等または高等学校等に在学中) [複数回答]

問22 「小中学校等に在学中」または「高等学校等に在学中」と回答した方にお聞きします。
通学生活等で困っていることや心配していることはありますか。(〇はいくつでも)

◆「子どもの将来に不安がある」が61.3%

【全体】

- ・「子どもの将来に不安がある」が61.3%で最も多く、次いで「本人の成長が心配」が42.5%、「今後の進路について迷っている」が39.0%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害は「子どもの将来に不安がある」、手帳・診断なしは「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「子どもの将来に不安がある」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし手帳	医療的ケア児
総数	(58)	(169)	(34)	(151)	(8)	(96)	(40)
子どもの将来に不安がある	58.6	75.7	70.6	66.2	50.0	42.7	72.5
本人の成長が心配	39.7	40.2	64.7	43.7	62.5	38.5	42.5
今後の進路について迷っている	34.5	43.8	50.0	49.0	37.5	27.1	40.0
周囲の子どもとの関係が心配	19.0	25.4	64.7	51.7	37.5	45.8	15.0
通学の送迎が大変	41.4	43.8	29.4	24.5	50.0	13.5	60.0
教育や療育に関する情報が少ない	19.0	26.0	32.4	29.8	12.5	14.6	32.5
療育・リハビリテーションの機会が少ない	22.4	21.9	23.5	24.5	25.0	10.4	37.5
先生の指導の仕方が心配	15.5	14.2	32.4	21.2	12.5	24.0	22.5
費用など経済的な負担が大きい	13.8	18.9	32.4	23.8	12.5	6.3	20.0
いじめについて心配	8.6	7.1	17.6	18.5	12.5	13.5	5.0
その他	8.6	8.9	17.6	9.3	-	9.4	15.0
特に困っていることや心配はない	6.9	5.3	5.9	4.0	-	12.5	-
無回答	6.9	3.6	5.9	6.0	12.5	2.1	2.5

【年齢別】

- ・「子どもの将来に不安がある」以外では、6～11歳では「本人の成長が心配」「周囲の子どもとの関係が心配」、12～17歳では「今後の進路について迷っている」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	6～11歳	12～17歳
総数	(256)	(172)
子どもの将来に不安がある	56.6	68.0
本人の成長が心配	46.5	36.6
今後の進路について迷っている	36.3	42.4
周囲の子どもとの関係が心配	43.8	30.8
通学の送迎が大変	30.5	23.8
教育や療育に関する情報が少ない	22.7	20.9
療育・リハビリテーションの機会が少ない	17.2	22.7
先生の指導の仕方が心配	20.7	16.9
費用など経済的な負担が大きい	15.2	20.3
いじめについて心配	16.0	9.3
その他	9.8	11.0
特に困っていることや心配はない	7.4	7.6
無回答	3.5	5.8

【通学先(小・中学校)別】

- ・ 小学校の通常の学級と小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)は「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	小学校の通常の学級	小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)	小学校の特別支援学級	特別支援学校の小学部
総数	(83)	(79)	(61)	(52)
子どもの将来に不安がある	43.4	55.7	63.9	71.2
本人の成長が心配	34.9	54.4	41.0	51.9
今後の進路について迷っている	27.7	41.8	42.6	32.7
周囲の子どもとの関係が心配	44.6	63.3	37.7	15.4
通学の送迎が大変	12.0	13.9	60.7	42.3
教育や療育に関する情報が少ない	16.9	26.6	23.0	23.1
療育・リハビリテーションの機会が少ない	15.7	17.7	14.8	25.0
先生の指導の仕方が心配	22.9	29.1	18.0	11.5
費用など経済的な負担が大きい	10.8	22.8	16.4	17.3
いじめについて心配	19.3	26.6	9.8	-
その他	9.6	11.4	6.6	11.5
特に困っていることや心配はない	15.7	3.8	3.3	3.8
無回答	1.2	3.8	9.8	1.9

選択肢/属性	中学校の通常の学級	中学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)	中学校の特別支援学級	特別支援学校の中学部
総数	(26)	(3)	(25)	(38)
子どもの将来に不安がある	53.8	66.7	72.0	86.8
本人の成長が心配	50.0	-	44.0	47.4
今後の進路について迷っている	38.5	-	60.0	47.4
周囲の子どもとの関係が心配	50.0	66.7	44.0	10.5
通学の送迎が大変	3.8	-	24.0	50.0
教育や療育に関する情報が少ない	15.4	-	36.0	28.9
療育・リハビリテーションの機会が少ない	23.1	-	28.0	23.7
先生の指導の仕方が心配	26.9	-	20.0	7.9
費用など経済的な負担が大きい	34.6	66.7	4.0	13.2
いじめについて心配	15.4	-	12.0	7.9
その他	11.5	33.3	16.0	10.5
特に困っていることや心配はない	7.7	-	4.0	-
無回答	-	-	-	-

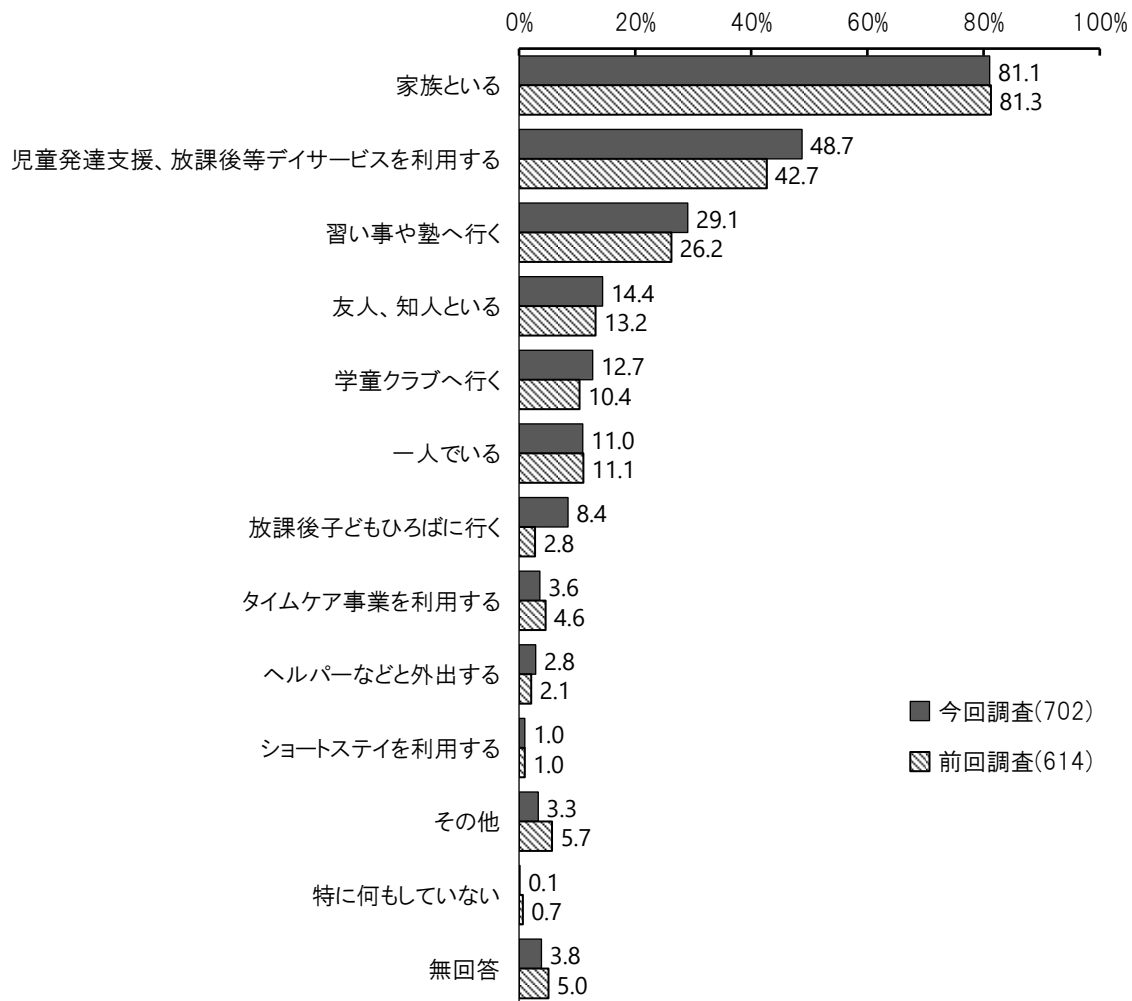
(5)放課後や長期休校中などの過ごし方の現状 [複数回答]

問23 「小学校入学前」、「小中学校等に在学中」又は「高等学校等に在学中」と回答した方にお聞きします。放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんはどのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

◆「家族といる」が81.1%

【全体】

・「家族といる」が81.1%で最も多く、次いで「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する」が48.7%、「習い事や塾へ行く」が29.1%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「家族という」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「家族という」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	手帳・診断なし	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(202)	(11)	(269)	(62)
家族という	82.1	76.7	76.9	75.7	90.9	87.7	90.3
児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する	38.8	55.7	43.6	54.5	27.3	43.5	48.4
習い事や塾へ行く	11.9	19.0	30.8	31.7	36.4	34.2	14.5
友人、知人という	9.0	3.8	30.8	14.4	-	17.5	3.2
学童クラブへ行く	13.4	10.5	23.1	15.3	9.1	11.2	11.3
一人でいる	6.0	10.5	30.8	15.3	9.1	8.6	1.6
放課後子どもひろばに行く	7.5	2.9	12.8	6.9	9.1	10.8	3.2
タイムケア事業を利用する	7.5	11.0	-	2.5	-	-	3.2
ヘルパーなどと外出する	13.4	4.3	5.1	3.0	9.1	0.7	11.3
ショートステイを利用する	3.0	1.4	5.1	1.5	-	-	1.6
その他	6.0	5.2	2.6	4.5	-	1.1	4.8
特に何もしていない	-	-	-	-	-	0.4	-
無回答	7.5	3.3	5.1	5.0	-	2.2	1.6

【通園・通学先別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	小学校入学前	小中学校等に在学中	高等学校等に在学中
総数	(271)	(369)	(62)
家族という	93.0	73.7	72.6
児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する	36.9	59.9	33.9
習い事や塾へ行く	23.6	34.4	21.0
友人、知人という	10.3	16.0	22.6
学童クラブへ行く	1.5	22.8	1.6
一人でいる	2.6	14.6	25.8
放課後子どもひろばに行く	1.5	14.9	-
タイムケア事業を利用する	-	5.4	8.1
ヘルパーなどと外出する	0.7	3.5	8.1
ショートステイを利用する	0.4	1.4	1.6
その他	1.8	3.8	6.5
特に何もしていない	-	0.3	-
無回答	4.8	1.9	11.3

(6)放課後や長期休校中などの過ごし方の希望 [複数回答]

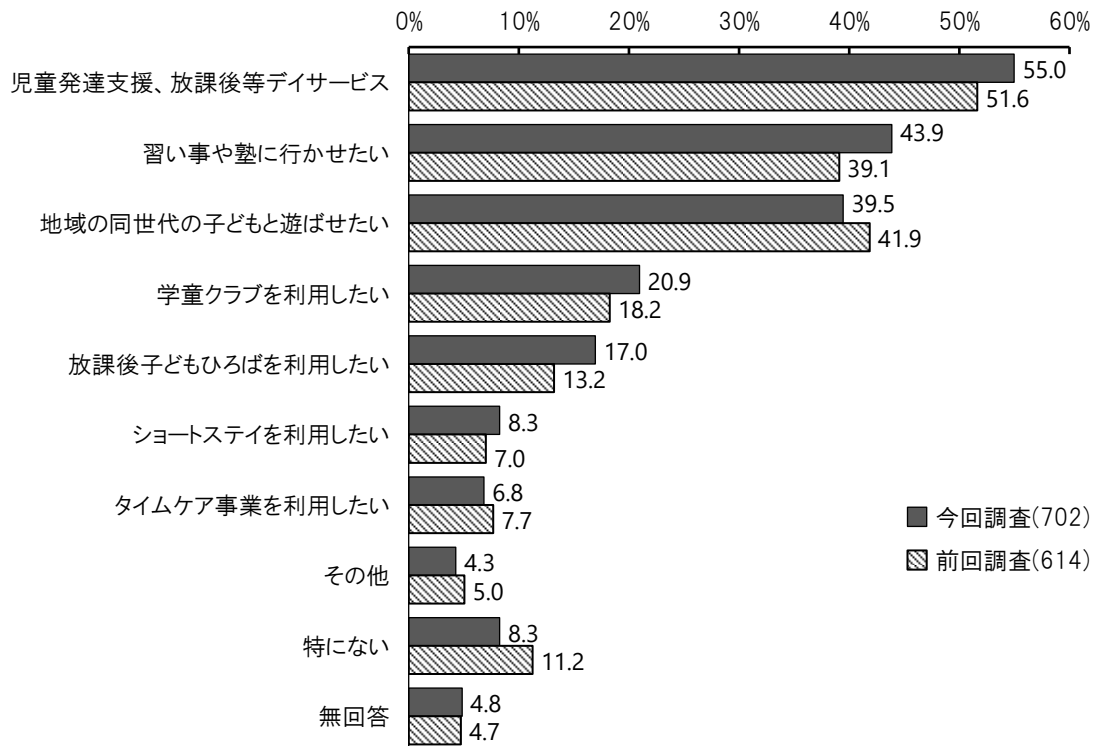
問24 「小学校入学前」、「小中学校等に在学中」又は「高等学校等に在学中」と回答した方にお聞きします。

放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんがどのように過ごすことを希望していますか。(〇はいくつでも)

◆「児童発達支援、放課後等デイサービス」が55.0%

【全体】

・「児童発達支援、放課後等デイサービス」が55.0%で最も多く、次いで「習い事や塾に行かせたい」が43.9%、「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が39.5%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害は「児童発達支援、放課後等デイサービス」、手帳・診断なしは「習い事や塾に行かせたい」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「児童発達支援、放課後等デイサービス」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	手帳・診断なし	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(202)	(11)	(269)	(62)
児童発達支援、放課後等デイサービス	49.3	62.9	56.4	57.9	36.4	49.4	62.9
習い事や塾に行かせたい	25.4	31.9	48.7	40.6	36.4	55.0	27.4
地域の同世代の子どもと遊ばせたい	32.8	23.8	43.6	34.2	36.4	49.1	35.5
学童クラブを利用したい	16.4	11.0	17.9	18.8	18.2	27.1	16.1
放課後子どもひろばを利用したい	11.9	8.1	17.9	11.9	18.2	23.0	11.3
ショートステイを利用したい	16.4	13.8	7.7	8.4	18.2	4.1	19.4
タイムケア事業を利用したい	11.9	14.8	7.7	6.4	18.2	2.6	11.3
その他	9.0	5.2	-	4.5	-	3.0	4.8
特になし	7.5	8.1	5.1	6.9	27.3	9.7	8.1
無回答	9.0	4.3	5.1	5.9	18.2	3.3	4.8

【通園・通学先別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	小学校入学前	小中学校等に在学中	高等学校等に在学中
総数	(271)	(369)	(62)
児童発達支援、放課後等デイサービス	52.0	59.1	43.5
習い事や塾に行かせたい	47.6	44.2	25.8
地域の同世代の子どもと遊ばせたい	45.8	39.0	14.5
学童クラブを利用したい	28.4	19.0	-
放課後子どもひろばを利用したい	20.7	17.1	-
ショートステイを利用したい	6.6	9.2	9.7
タイムケア事業を利用したい	6.6	6.8	8.1
その他	3.7	4.3	6.5
特になし	8.9	6.0	19.4
無回答	6.3	2.2	14.5

【通園先(小学校入学前)別】

- ・ 幼稚園と子ども総合センター(児童発達支援センターあいあい)は「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	保育園	子ども園	幼稚園	子ども総合センター (児童発達支援センターあいあい)	子ども総合センター 以外の児童発達支援 などの療育機関	その他
総数	(139)	(50)	(63)	(56)	(114)	(6)
児童発達支援、放課後等デイサービス	49.6	52.0	57.1	44.6	63.2	66.7
習い事や塾に行かせたい	45.3	50.0	58.7	48.2	47.4	33.3
地域の同世代の子どもと遊ばせたい	35.3	50.0	63.5	55.4	43.9	50.0
学童クラブを利用したい	30.9	46.0	12.7	32.1	34.2	33.3
放課後子どもひろばを利用したい	22.3	20.0	19.0	30.4	22.8	16.7
ショートステイを利用したい	5.0	6.0	7.9	7.1	10.5	-
タイムケア事業を利用したい	5.0	8.0	7.9	5.4	6.1	-
その他	5.0	2.0	1.6	1.8	6.1	-
特にない	10.1	12.0	3.2	8.9	7.0	16.7
無回答	7.2	6.0	4.8	5.4	4.4	-

※ 通園・通所はしていないは回答者総数が少数のため非掲載

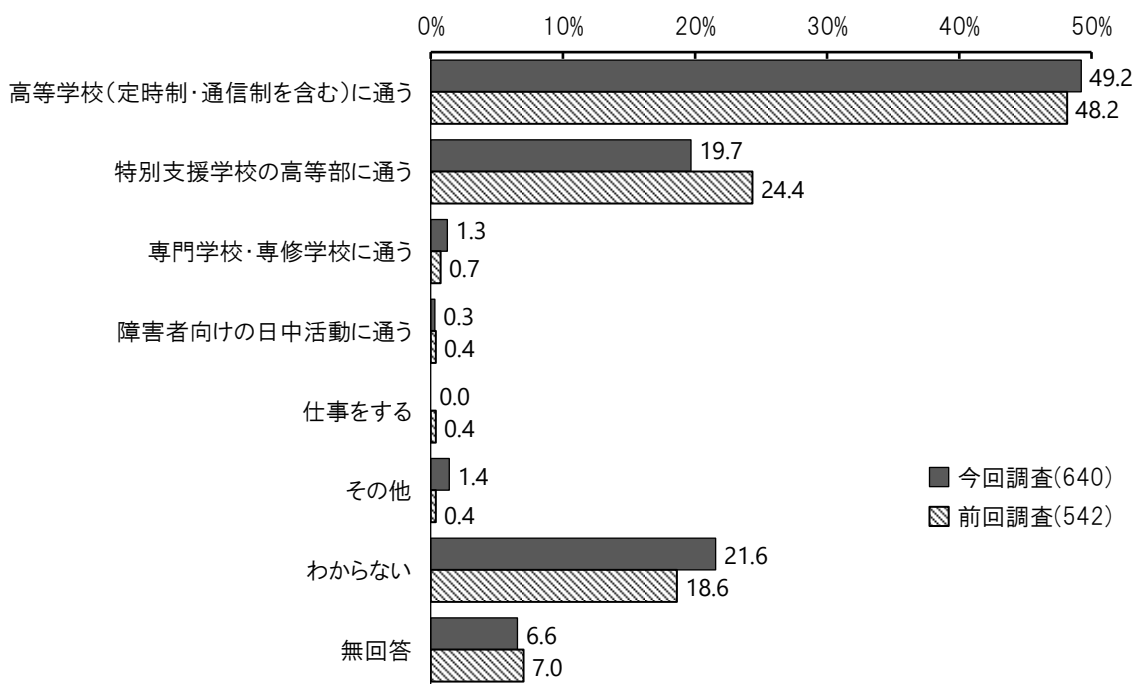
(7) 中学校(中学部)卒業後の進路

問25 「小学校入学前」又は「小中学校等に在学中」と回答した方にお聞きします。中学校(中学部)卒業後はどのような進路を希望しますか。(○はひとつ)

◆「高等学校(定時制・通信制を含む)に通う」が49.2%

【全体】

・「高等学校(定時制・通信制を含む)に通う」が49.2%で最も多く、次いで「特別支援学校の高等部に通う」が19.7%、「専門学校・専修学校に通う」が1.3%などとなっています。「わからない」は21.6%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害は「特別支援学校の高等部に通う」、精神障害と発達障害、手帳・診断なしは「高等学校(定時制・通信制を含む)に通う」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「特別支援学校の高等部に通う」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし・手帳なし	医療的ケア児
総数	(57)	(171)	(27)	(179)	(10)	(266)	(56)
高等学校(定時制・通信制を含む)に通う	22.8	9.9	74.1	48.6	40.0	68.8	21.4
特別支援学校の高等部に通う	42.1	57.9	7.4	16.8	30.0	1.5	41.1
専門学校・専修学校に通う	-	1.8	7.4	2.8	-	-	-
障害者向けの日中活動に通う	1.8	0.6	-	-	-	-	1.8
仕事をする	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	0.6	-	2.2	-	1.9	1.8
わからない	22.8	22.8	11.1	21.8	20.0	21.4	26.8
無回答	10.5	6.4	-	7.8	10.0	6.4	7.1

【通学先(小・中学校)別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	小学校の通常の 学級	小学校の 通常の学級と まなびの教室 (特別支援教室)	小学校の特別支 援学級	特別支援学校の 小学部
総数	(83)	(79)	(61)	(52)
高等学校(定時制・通信制を含む)に通う	75.9	74.7	23.0	5.8
特別支援学校の高等部に通う	1.2	1.3	34.4	75.0
専門学校・専修学校に通う	1.2	2.5	3.3	-
障害者向けの日中活動に通う	-	-	-	1.9
仕事をする	-	-	-	-
その他	2.4	2.5	-	1.9
わからない	14.5	15.2	27.9	11.5
無回答	4.8	3.8	11.5	3.8

選択肢/属性	中学校の通常の 学級	中学校の 通常の学級と まなびの教室 (特別支援教室)	中学校の 特別支援学級	特別支援学校の 中学部
総数	(26)	(3)	(25)	(38)
高等学校(定時制・通信制を含む)に通う	84.6	33.3	12.0	2.6
特別支援学校の高等部に通う	3.8	-	60.0	94.7
専門学校・専修学校に通う	-	33.3	-	-
障害者向けの日中活動に通う	-	-	-	-
仕事をする	-	-	-	-
その他	3.8	33.3	-	-
わからない	3.8	-	24.0	2.6
無回答	3.8	-	4.0	-

(8)高等学校(高等部)卒業後の進路 [複数回答]

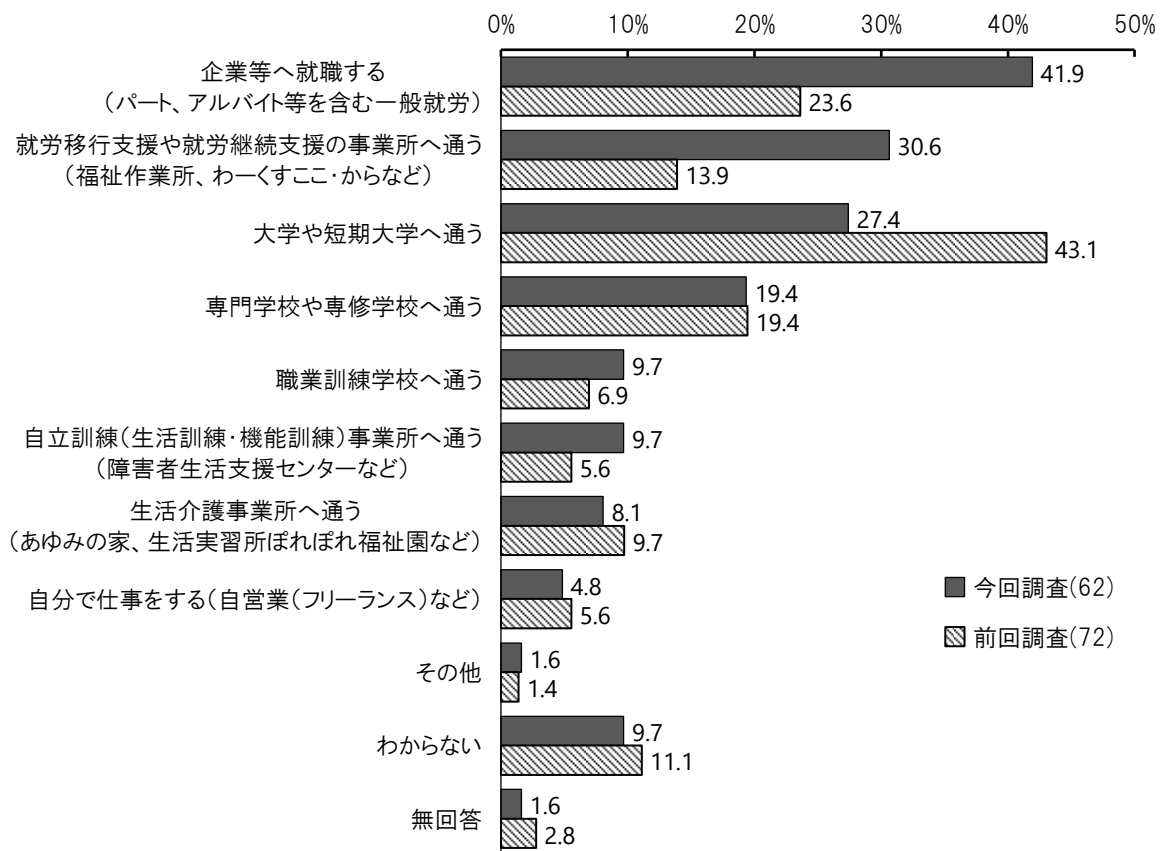
問26 「高等学校等に在学中」の方にお聞きします。高等学校(高等部)卒業後の日中の過ごし方は、どのようにしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

①お子さんの希望 [複数回答]

◆「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が41.9%

【全体】

・「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が41.9%で最も多く、次いで「就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う(福祉作業所、わーくすここ・からなど)」が30.6%、「大学や短期大学へ通う」が27.4%などとなっています。



【障害別】

- ・知的障害と発達障害は「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(10)	(39)	(12)	(23)	(3)	(6)
企業等へ就職する (パート、アルバイト等を含む一般就労)	10.0	51.3	50.0	43.5	33.3	50.0
就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う (福祉作業所、わーくすここ・からなど)	10.0	43.6	33.3	26.1	-	33.3
大学や短期大学へ通う	40.0	10.3	25.0	26.1	66.7	-
専門学校や専修学校へ通う	10.0	12.8	25.0	30.4	33.3	16.7
職業訓練学校へ通う	-	12.8	8.3	13.0	-	-
自立訓練(生活訓練・機能訓練)事業所へ通う (障害者生活支援センターなど)	10.0	12.8	8.3	13.0	-	33.3
生活介護事業所へ通う (あゆみの家、生活実習所ぽれぽれ福祉園など)	40.0	7.7	-	4.3	-	50.0
自分で仕事をする(自営業(フリーランス)など)	10.0	2.6	8.3	8.7	-	-
その他	-	2.6	-	4.3	-	-
わからない	10.0	15.4	8.3	13.0	-	-
無回答	-	-	-	4.3	-	-

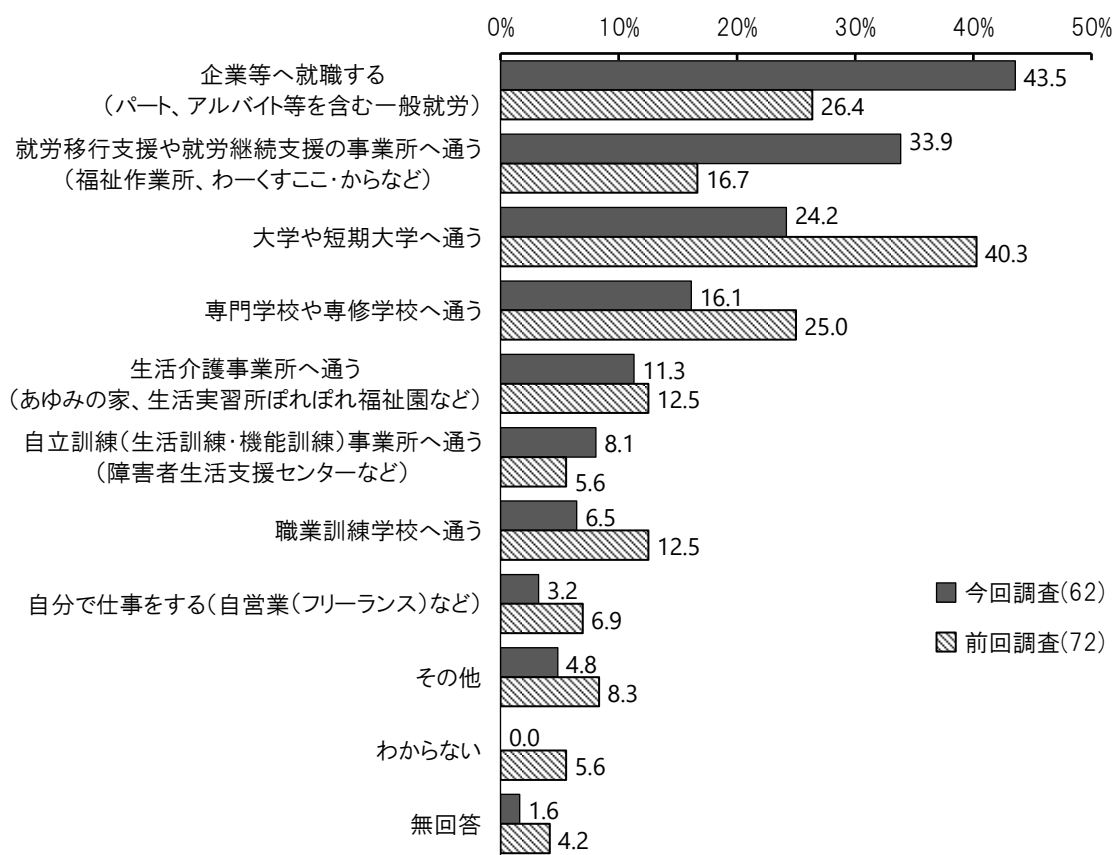
※ 難病・特定疾患は回答者総数が少数のため非掲載

②保護者の方の希望 [複数回答]

◆「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が43.5%

【全体】

・「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が43.5%で最も多く、次いで「就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う(福祉作業所、わーくすここ・からなど)」が33.9%、「大学や短期大学へ通う」が24.2%などとなっています。



【障害別】

- ・知的障害と発達障害は「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(10)	(39)	(12)	(23)	(3)	(6)
企業等へ就職する (パート、アルバイト等を含む一般就労)	10.0	53.8	41.7	39.1	33.3	33.3
就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う (福祉作業所、わーくすここ・からなど)	-	51.3	41.7	30.4	-	33.3
大学や短期大学へ通う	40.0	5.1	25.0	21.7	66.7	-
専門学校や専修学校へ通う	10.0	10.3	8.3	21.7	33.3	-
生活介護事業所へ通う (あゆみの家、生活実習所ぼれぼれ福祉園など)	40.0	15.4	8.3	13.0	-	50.0
自立訓練(生活訓練・機能訓練)事業所へ通う (障害者生活支援センターなど)	10.0	12.8	-	8.7	-	16.7
職業訓練学校へ通う	-	10.3	-	4.3	-	-
自分で仕事をする(自営業(フリーランス)など)	-	2.6	8.3	8.7	-	-
その他	10.0	5.1	-	8.7	-	-
わからない	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	4.3	-	-

※ 難病・特定疾患は回答者総数が少数のため非掲載

5 外出やバリアフリーについて

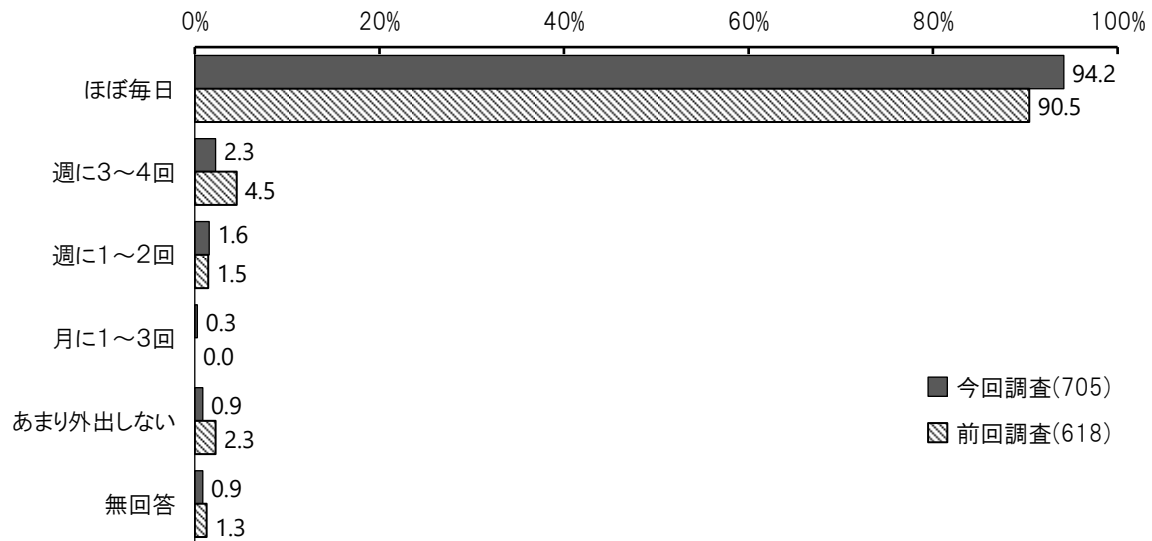
(1)外出の頻度

問27 お子さんは、どのくらいの頻度で外出(通園・通学含む)していますか。(○はひとつ)

◆「ほぼ毎日」が94.2%

【全体】

- ・「ほぼ毎日」が94.2%で最も多く、次いで「週に3～4回」が2.3%、「週に1～2回」が1.6%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「ほぼ毎日」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「ほぼ毎日」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
ほぼ毎日	82.1	95.7	87.2	92.6	72.7	95.9	82.3
週に3～4回	7.5	1.9	5.1	2.9	18.2	1.9	8.1
週に1～2回	4.5	1.4	5.1	2.0	-	0.4	3.2
月に1～3回	1.5	-	2.6	0.5	9.1	-	1.6
あまり外出しない	4.5	0.5	-	0.5	-	0.7	3.2
無回答	-	0.5	-	1.5	-	1.1	1.6

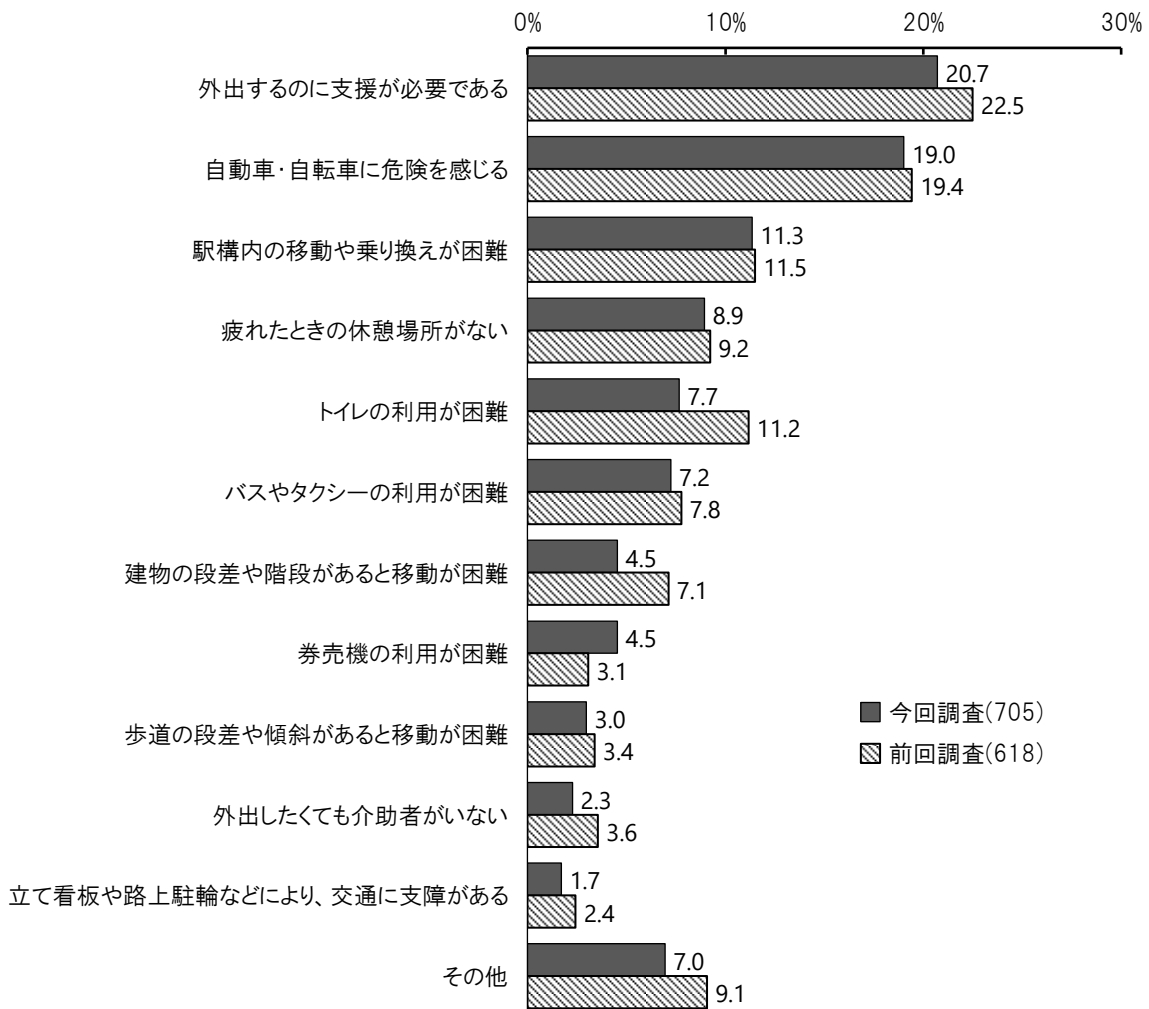
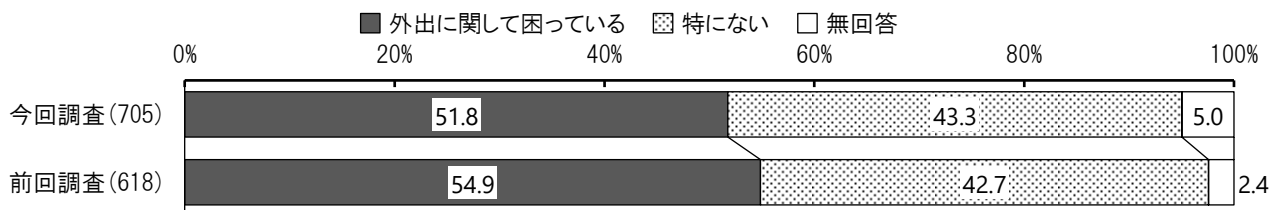
(2)外出に関して困っていること [複数回答]

問28 お子さんは、外出(通園・通学以外)に関してどのようなことで困っていますか。
(〇は3つまで)

◆『外出に関して困っている』方は51.8%、「外出するのに支援が必要である」が20.7%

【全体】

- ・回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『外出に関して困っている』方は51.8%となっています。
- ・「外出するのに支援が必要である」が20.7%で最も多く、次いで「自動車・自転車に危険を感じる」が19.0%、「駅構内の移動や乗り換えが困難」が11.3%などとなっています。「特にない」は43.3%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、発達障害は「外出するのに支援が必要である」、精神障害と手帳・診断なしは「自動車・自転車に危険を感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「外出するのに支援が必要である」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
外出するのに支援が必要である	31.3	44.3	15.4	23.0	27.3	6.3	33.9
自動車・自転車に危険を感じる	16.4	22.4	25.6	20.1	18.2	15.2	19.4
駅構内の移動や乗り換えが困難	19.4	20.0	12.8	10.3	-	6.3	17.7
疲れたときの休憩場所がない	9.0	7.1	15.4	10.3	18.2	7.4	11.3
トイレの利用が困難	17.9	14.3	7.7	6.9	9.1	4.1	11.3
バスやタクシーの利用が困難	16.4	12.4	7.7	5.4	18.2	3.7	11.3
建物の段差や階段があると移動が困難	29.9	6.7	-	0.5	18.2	1.5	17.7
券売機の利用が困難	6.0	8.1	7.7	5.4	-	1.9	4.8
歩道の段差や傾斜があると移動が困難	22.4	3.8	-	-	9.1	0.7	12.9
外出したくても介助者がいない	1.5	6.7	-	2.0	-	-	4.8
立て看板や路上駐輪などにより、 交通に支障がある	1.5	1.0	5.1	2.0	-	2.2	1.6
その他	7.5	6.2	15.4	10.8	-	4.8	8.1
特になし	10.4	21.0	43.6	38.7	27.3	62.6	12.9
無回答	11.9	4.8	2.6	5.9	18.2	4.8	17.7

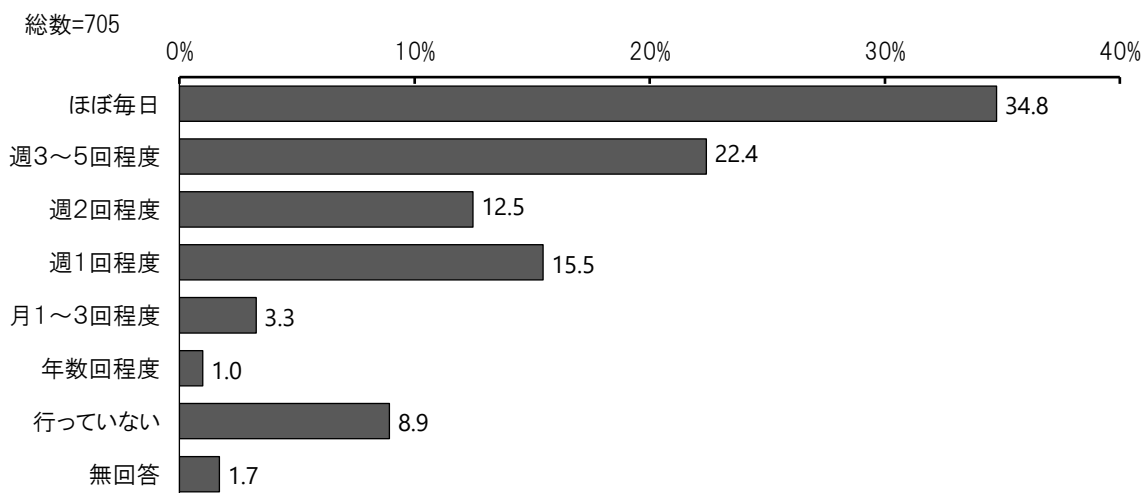
(3)スポーツや運動をする頻度

問29 お子さんが、スポーツや運動(気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わない階段移動、体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの等を含む。)をする頻度はどの程度ですか。(○はひとつ)

◆「ほぼ毎日」が34.8%

【全体】

- ・「ほぼ毎日」が34.8%で最も多く、次いで「週3～5回程度」が22.4%、「週1回程度」が15.5%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害は「行っていない」、知的障害と発達障害、手帳・診断なしは「ほぼ毎日」、精神障害は「週3～5回程度」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「行っていない」が多くなっています。

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
ほぼ毎日	19.4	27.1	17.9	31.4	18.2	45.2	19.4
週3～5回程度	14.9	20.0	33.3	21.1	9.1	24.1	9.7
週2回程度	13.4	14.3	12.8	11.8	18.2	10.7	14.5
週1回程度	16.4	17.6	17.9	22.5	9.1	9.6	17.7
月1～3回程度	10.4	3.3	7.7	2.9	36.4	2.2	8.1
年数回程度	-	1.9	2.6	1.5	-	0.4	3.2
行っていない	25.4	13.3	7.7	6.4	9.1	5.9	24.2
無回答	-	2.4	-	2.5	-	1.9	3.2

6 福祉サービスについて

(1)障害福祉サービス等の利用状況、利用意向

問30 お子さんは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いますか。

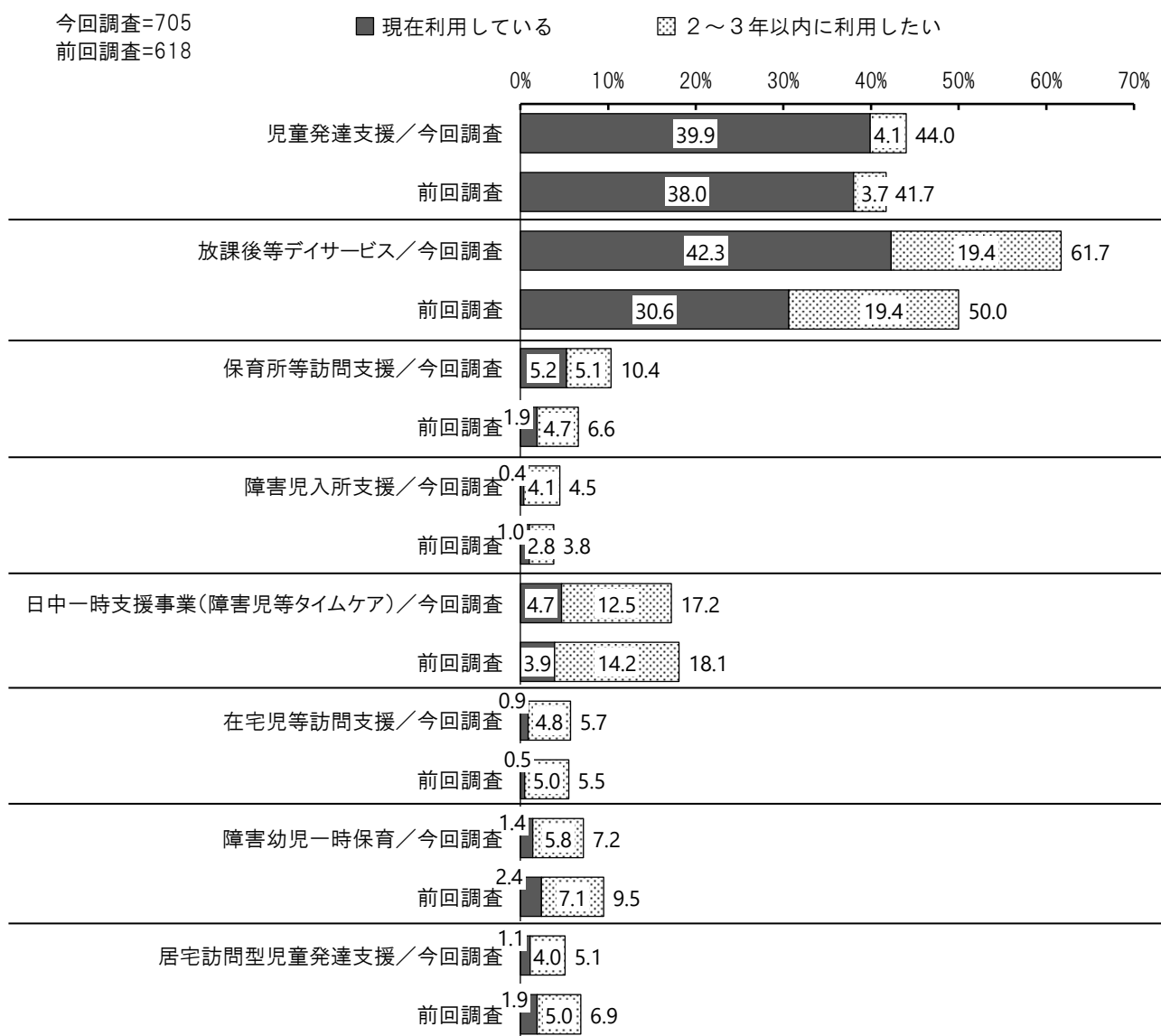
A 主に18歳未満の方が利用するサービス

①主に18歳未満の方が利用するサービス

◆放課後等デイサービスのサービスの需要は61.7%

【全体】

- ・「現在利用している」は、児童発達支援が39.9%、放課後等デイサービスが42.3%、保育所等訪問支援が5.2%などとなっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、放課後等デイサービスが19.4%、日中一時支援事業(障害児等タイムケア)が12.5%、障害幼児一時保育が5.8%などとなっています。



サービス名	サービスの内容
児童発達支援	療育を必要とする障害児等が施設に通い、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。
放課後等デイサービス	就学している障害児に、放課後や休校日に生活能力の訓練、社会交流機会を提供します。
保育所等訪問支援	保育所等に通う障害児が集団生活に適応するために必要な専門的支援を提供します。
障害児入所支援	福祉型障害児入所施設と医療型障害児入所施設の2種類。入所手続きは児童相談センターが窓口です。
日中一時支援事業 (障害児等タイムケア)	障害児の放課後及び夏休み等の長期学校休校中の活動場所を提供します。
在宅児等訪問支援	障害児等の自宅を訪問し、遊びや生活の指導、情報提供を行います。
障害幼児一時保育	一時的に保育が必要なとき、障害幼児等の保育を行います。
居宅訪問型児童発達支援	障害児等の居宅を訪問し、日常生活における動作の指導、知識技能の付与等の支援を行います。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	児童発達支援		放課後等 デイサービス		保育所等 訪問支援		障害児入所支援	
		現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	705 100.0	281 39.9	29 4.1	298 42.3	137 19.4	37 5.2	36 5.1	3 0.4	29 4.1
身体障害	67 100.0	12 17.9	5 7.5	30 44.8	11 16.4	2 3.0	4 6.0	2 3.0	9 13.4
知的障害	210 100.0	48 22.9	8 3.8	114 54.3	34 16.2	8 3.8	8 3.8	1 0.5	17 8.1
精神障害	39 100.0	6 15.4	2 5.1	15 38.5	8 20.5	2 5.1	2 5.1	1 2.6	2 5.1
発達障害	204 100.0	73 35.8	5 2.5	97 47.5	41 20.1	11 5.4	6 2.9	1 0.5	7 3.4
難病・特定疾患	11 100.0	3 27.3	1 9.1	5 45.5	2 18.2	1 9.1	2 18.2	-	3 27.3
手帳・診断なし	270 100.0	157 58.1	9 3.3	82 30.4	60 22.2	16 5.9	15 5.6	-	3 1.1
医療的ケア児	62 100.0	19 30.6	5 8.1	28 45.2	16 25.8	3 4.8	7 11.3	2 3.2	7 11.3

上段:人 下段:%	日中一時支援事業 (障害児等タイムケア)		在宅児等 訪問支援		障害幼児 一時保育		居宅訪問型 児童発達支援	
	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	33 4.7	88 12.5	6 0.9	34 4.8	10 1.4	41 5.8	8 1.1	28 4.0
身体障害	5 7.5	19 28.4	2 3.0	7 10.4	-	9 13.4	5 7.5	3 4.5
知的障害	28 13.3	43 20.5	2 1.0	9 4.3	2 1.0	16 7.6	3 1.4	7 3.3
精神障害	2 5.1	6 15.4	2 5.1	3 7.7	-	3 7.7	-	2 5.1
発達障害	10 4.9	26 12.7	2 1.0	10 4.9	7 3.4	9 4.4	-	10 4.9
難病・特定疾患	-	3 27.3	1 9.1	1 9.1	-	2 18.2	1 9.1	1 9.1
手帳・診断なし	-	15 5.6	1 0.4	9 3.3	3 1.1	10 3.7	1 0.4	8 3.0
医療的ケア児	2 3.2	15 24.2	2 3.2	6 9.7	-	8 12.9	5 8.1	4 6.5

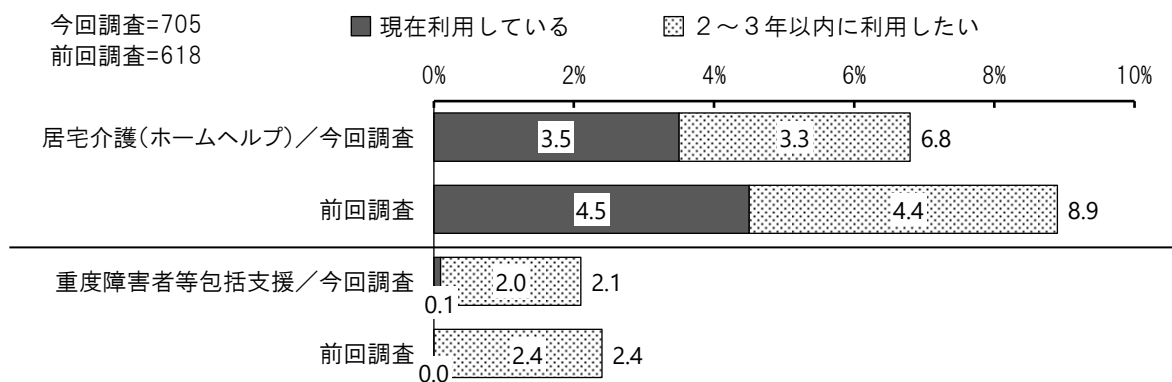
B 児童期～成人期を通じて利用できるサービス

②自宅での生活を支援するサービス

◆居宅介護のサービスの需要は6.8%

【全体】

- ・「現在利用している」は、居宅介護(ホームヘルプ)が3.5%、重度障害者等包括支援が0.1%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、居宅介護(ホームヘルプ)が3.3%、重度障害者等包括支援が2.0%となっています。



サービス名	サービスの内容
居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。
重度障害者等包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。

【障害別】

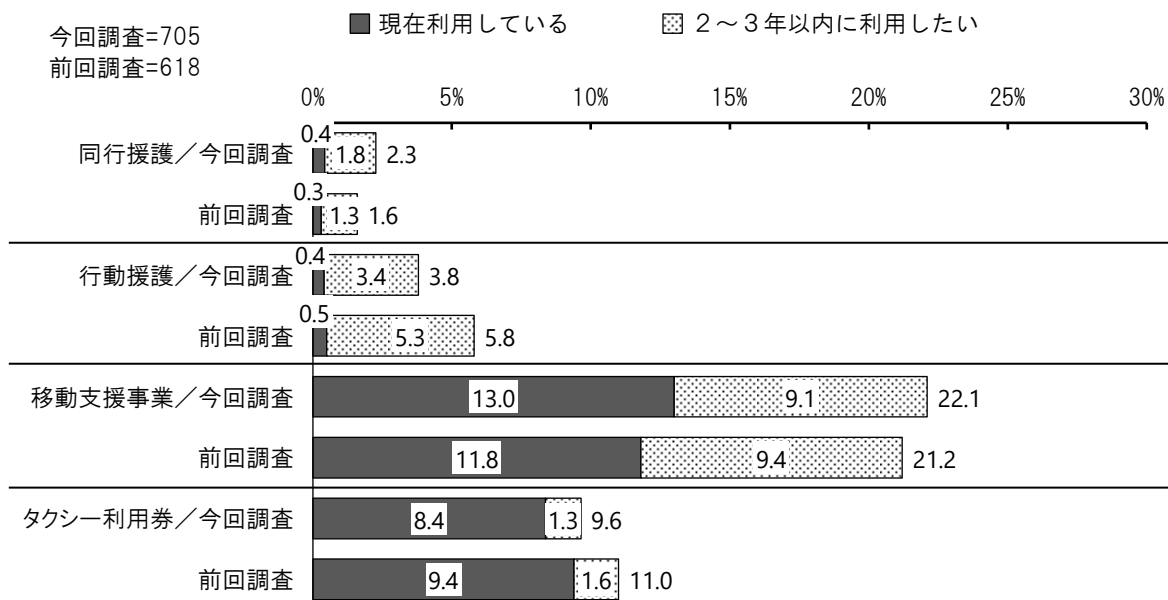
上段:人 下段:%	全体	居宅介護 (ホームヘルプ)		重度障害者等 包括支援	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	705 100.0	25 3.5	23 3.3	1 0.1	14 2.0
身体障害	67 100.0	20 29.9	7 10.4	1 1.5	8 11.9
知的障害	210 100.0	14 6.7	14 6.7	1 0.5	9 4.3
精神障害	39 100.0	- -	4 10.3	- -	1 2.6
発達障害	204 100.0	3 1.5	5 2.5	1 0.5	1 0.5
難病・特定疾患	11 100.0	2 18.2	1 9.1	1 9.1	- -
手帳・診断なし	270 100.0	- -	2 0.7	- -	1 0.4
医療的ケア児	62 100.0	14 22.6	4 6.5	1 1.6	3 4.8

③外出を支援するサービス

◆移動支援事業のサービスの需要は22.1%

【全体】

- ・「現在利用している」は、同行援護が0.4%、行動援護が0.4%、移動支援事業が13.0%、タクシー利用券が8.4%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、同行援護が1.8%、行動援護が3.4%、移動支援事業が9.1%、タクシー利用券が1.3%となっています。



サービス名	サービスの内容
同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。
行動援護	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。
移動支援事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。
タクシー利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャー利用券を別に交付します。

【障害別】

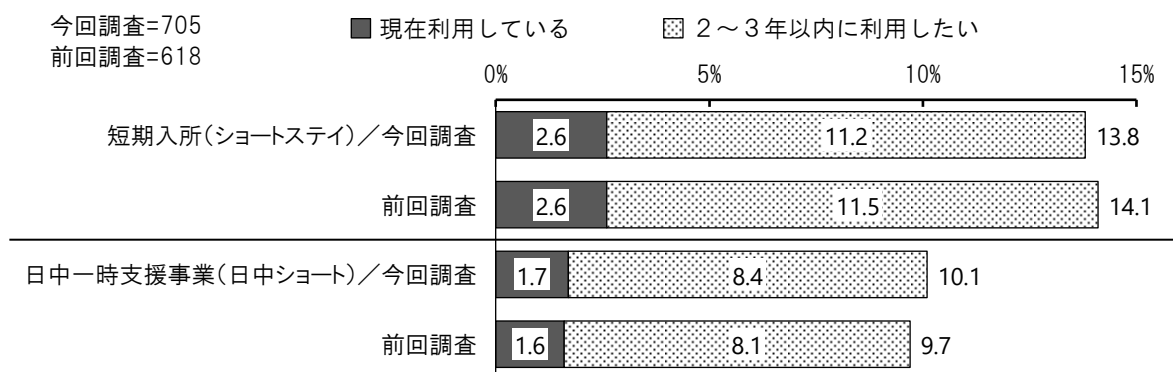
上段:人 下段:%	全体	同行援護		行動援護		移動支援事業		タクシー利用券	
		現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい
全体	705 100.0	3 0.4	13 1.8	3 0.4	24 3.4	92 13.0	64 9.1	59 8.4	9 1.3
身体障害	67 100.0	3 4.5	5 7.5	1 1.5	5 7.5	27 40.3	7 10.4	34 50.7	4 6.0
知的障害	210 100.0	2 1.0	6 2.9	3 1.4	17 8.1	61 29.0	43 20.5	35 16.7	4 1.9
精神障害	39 100.0	- -	1 2.6	1 2.6	- -	4 10.3	5 12.8	2 5.1	1 2.6
発達障害	204 100.0	- -	2 1.0	3 1.5	8 3.9	23 11.3	23 11.3	8 3.9	1 0.5
難病・特定疾患	11 100.0	1 9.1	- -	1 9.1	1 9.1	3 27.3	2 18.2	4 36.4	- -
手帳・診断なし	270 100.0	- -	2 0.7	- -	1 0.4	5 1.9	6 2.2	- -	- -
医療的ケア児	62 100.0	2 3.2	4 6.5	1 1.6	6 9.7	20 32.3	14 22.6	24 38.7	1 1.6

④一時的な支援を行うサービス

◆短期入所のサービスの需要は13.8%

【全体】

- ・「現在利用している」は、短期入所(ショートステイ)が2.6%、日中一時支援事業(日中ショート)が1.7%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、短期入所(ショートステイ)が11.2%、日中一時支援事業(日中ショート)が8.4%となっています。



サービス名	サービスの内容
短期入所 (ショートステイ)	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。
日中一時支援事業 (日中ショート)	介護を行う方の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。

【障害別】

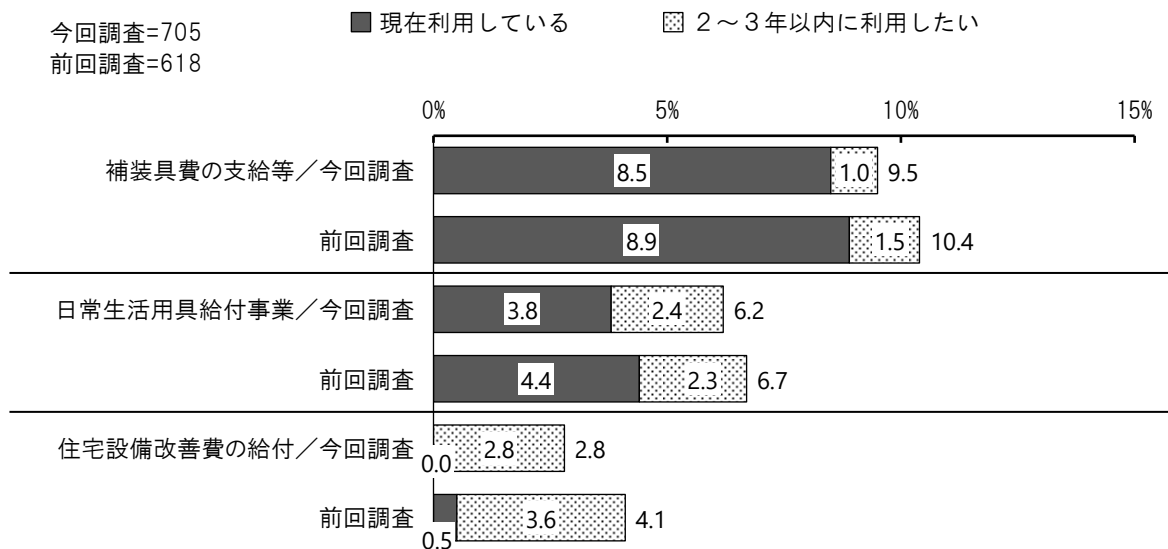
上段:人 下段:%	全体	短期入所 (ショートステイ)		日中一時支援事業 (日中ショート)	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	705 100.0	18 2.6	79 11.2	12 1.7	59 8.4
身体障害	67 100.0	9 13.4	20 29.9	6 9.0	18 26.9
知的障害	210 100.0	10 4.8	54 25.7	5 2.4	38 18.1
精神障害	39 100.0	2 5.1	5 12.8	1 2.6	5 12.8
発達障害	204 100.0	5 2.5	22 10.8	2 1.0	17 8.3
難病・特定疾患	11 100.0	1 9.1	2 18.2	-	3 27.3
手帳・診断なし	270 100.0	1 0.4	5 1.9	1 0.4	4 1.5
医療的ケア児	62 100.0	6 9.7	11 17.7	4 6.5	16 25.8

⑤補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

◆補装具費の支給等のサービスの需要は9.5%

【全体】

- ・「現在利用している」は、補装具費の支給等が8.5%、日常生活用具給付事業が3.8%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、補装具費の支給等が1.0%、日常生活用具給付事業が2.4%、住宅設備改善費の給付が2.8%となっています。



サービス名	サービスの内容
補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。
日常生活用具給付事業	日常生活における福祉用具の給付を行います。
住宅設備改善費の給付	在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。

【障害別】

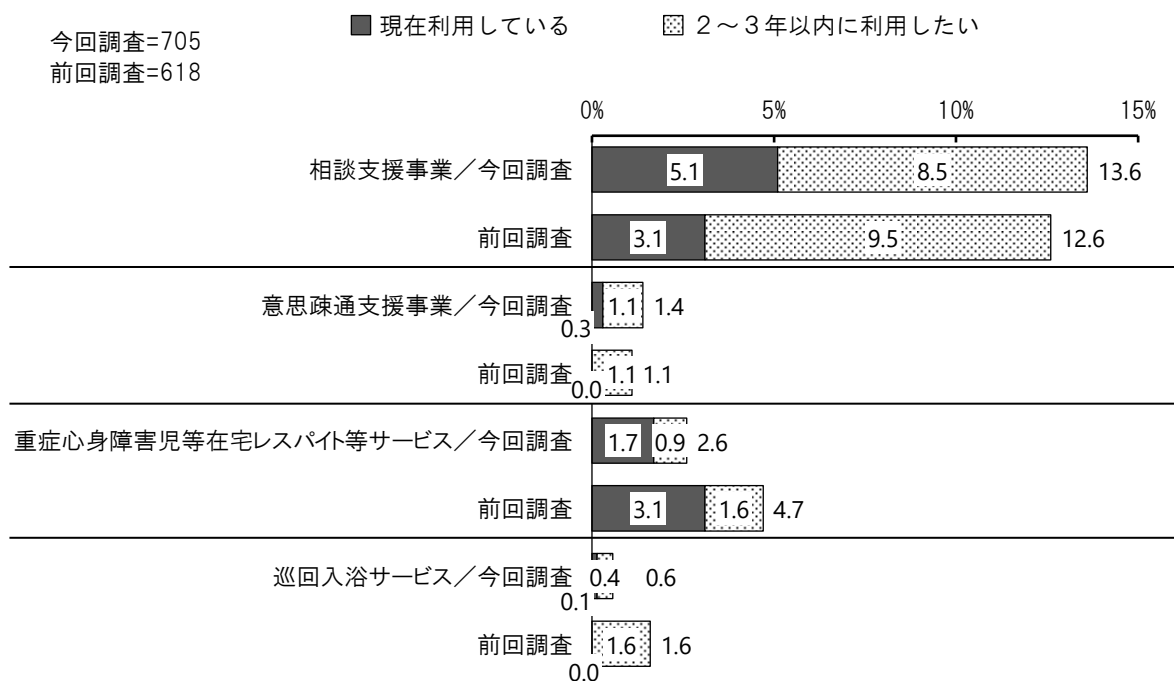
上段:人 下段:%	全体	補装具費の 支給等		日常生活用具 給付事業		住宅設備改善費 の給付	
		現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい
全体	705 100.0	60 8.5	7 1.0	27 3.8	17 2.4	- -	20 2.8
身体障害	67 100.0	39 58.2	5 7.5	26 38.8	9 13.4	- -	17 25.4
知的障害	210 100.0	26 12.4	3 1.4	11 5.2	10 4.8	- -	7 3.3
精神障害	39 100.0	1 2.6	- -	- -	- -	- -	- -
発達障害	204 100.0	2 1.0	- -	1 0.5	1 0.5	- -	1 0.5
難病・特定疾患	11 100.0	5 45.5	- -	2 18.2	1 9.1	- -	2 18.2
手帳・診断なし	270 100.0	6 2.2	- -	- -	- -	- -	- -
医療的ケア児	62 100.0	23 37.1	3 4.8	17 27.4	5 8.1	- -	8 12.9

⑥日常生活のサービス

◆相談支援事業のサービスの需要は13.6%

【全体】

- ・「現在利用している」は、相談支援事業が5.1%、意思疎通支援事業が0.3%、重症心身障害児等在宅レスパイト等サービスが1.7%、巡回入浴サービスが0.1%となっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、相談支援事業が8.5%、意思疎通支援事業が1.1%、重症心身障害児等在宅レスパイト等サービスが0.9%、巡回入浴サービスが0.6%となっています。



サービス名	サービスの内容
相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。
意思疎通支援事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。
重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス	医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。
巡回入浴サービス	在宅で寝たきりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。

【障害別】

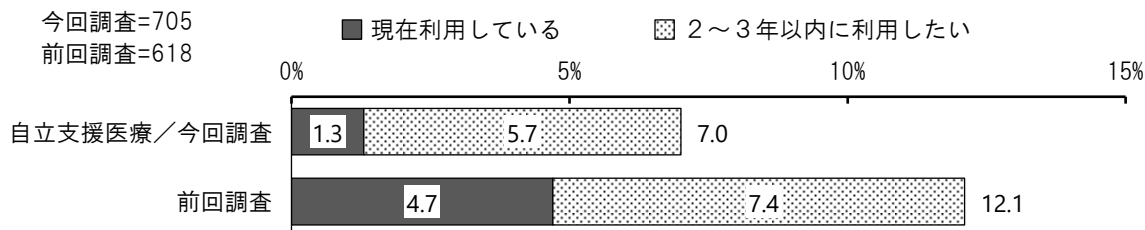
上段:人 下段:%	全体	相談支援事業		意思疎通 支援事業		重症心身障害児等 在宅レスパイト等 サービス		巡回入浴 サービス	
		現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい	現在利用して いる	2～3年以内 に利用したい
全体	705 100.0	36 5.1	60 8.5	2 0.3	8 1.1	12 1.7	6 0.9	1 0.1	3 0.4
身体障害	67 100.0	10 14.9	11 16.4	2 3.0	6 9.0	10 14.9	5 7.5	- -	2 3.0
知的障害	210 100.0	14 6.7	30 14.3	1 0.5	4 1.9	4 1.9	3 1.4	1 0.5	1 0.5
精神障害	39 100.0	5 12.8	6 15.4	- -	- -	- -	- -	- -	- -
発達障害	204 100.0	8 3.9	22 10.8	- -	- -	1 0.5	- -	- -	- -
難病・特定疾患	11 100.0	4 36.4	- -	- -	- -	3 27.3	- -	- -	- -
手帳・診断なし	270 100.0	6 2.2	9 3.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -
医療的ケア児	62 100.0	11 17.7	9 14.5	1 1.6	2 3.2	12 19.4	2 3.2	- -	2 3.2

⑦医療に関する支援

◆自立支援医療のサービスの需要は7.0%

【全体】

・自立支援医療は、「現在利用している」が1.3%、「2～3年以内に利用したい」が5.7%となっています。



サービス名	サービスの内容
自立支援医療	障害を軽減する医療(更生医療・育成医療・精神通院医療)を給付します。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	自立支援医療	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	705 100.0	9 1.3	40 5.7
身体障害	67 100.0	1 1.5	4 6.0
知的障害	210 100.0	5 2.4	18 8.6
精神障害	39 100.0	6 15.4	9 23.1
発達障害	204 100.0	6 2.9	16 7.8
難病・特定疾患	11 100.0	-	-
手帳・診断なし	270 100.0	-	4 1.5
医療的ケア児	62 100.0	3 4.8	4 6.5

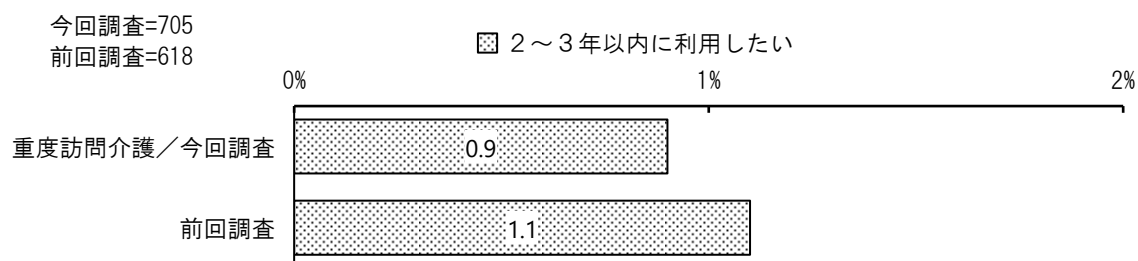
C 主に18歳以上の方が利用するサービス

⑧自宅での生活を支援するサービス

◆重度訪問介護の利用意向は0.9%

【全体】

- ・ 重度訪問介護は「2～3年以内に利用したい」が0.9%となっています。



サービス名	サービスの内容
重度訪問介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	重度訪問 介護
		に2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	705 100.0	6 0.9
身体障害	67 100.0	4 6.0
知的障害	210 100.0	3 1.4
精神障害	39 100.0	- -
発達障害	204 100.0	- -
難病・特定疾患	11 100.0	1 9.1
手帳・診断なし	270 100.0	- -
医療的ケア児	62 100.0	1 1.6

⑨日中の活動を支援するサービス

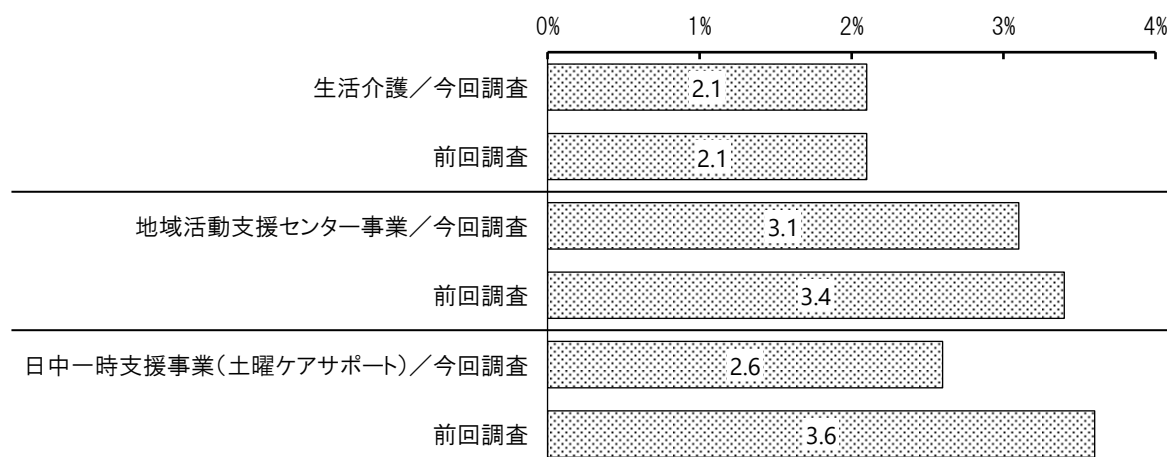
◆地域活動支援センター事業の利用意向は3.1%

【全体】

・「2～3年以内に利用したい」は、生活介護が2.1%、地域活動支援センター事業が3.1%、日中一時支援事業(土曜ケアサポート)が2.6%となっています。

今回調査=705
前回調査=618

■ 2～3年以内に利用したい



サービス名	サービスの内容
生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。
地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。
日中一時支援事業(土曜ケアサポート)	生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	生活介護	地域活動支援センター事業	日中一時支援事業(土曜ケアサポート)
		に2～3年以内に利用したい	に2～3年以内に利用したい	に2～3年以内に利用したい
全体	705 100.0	15 2.1	22 3.1	18 2.6
身体障害	67 100.0	9 13.4	10 14.9	7 10.4
知的障害	210 100.0	10 4.8	12 5.7	12 5.7
精神障害	39 100.0	-	2 5.1	2 5.1
発達障害	204 100.0	2 1.0	4 2.0	5 2.5
難病・特定疾患	11 100.0	1 9.1	-	-
手帳・診断なし	270 100.0	-	1 0.4	-
医療的ケア児	62 100.0	4 6.5	5 8.1	5 8.1

⑩自立や就労を支援するサービス

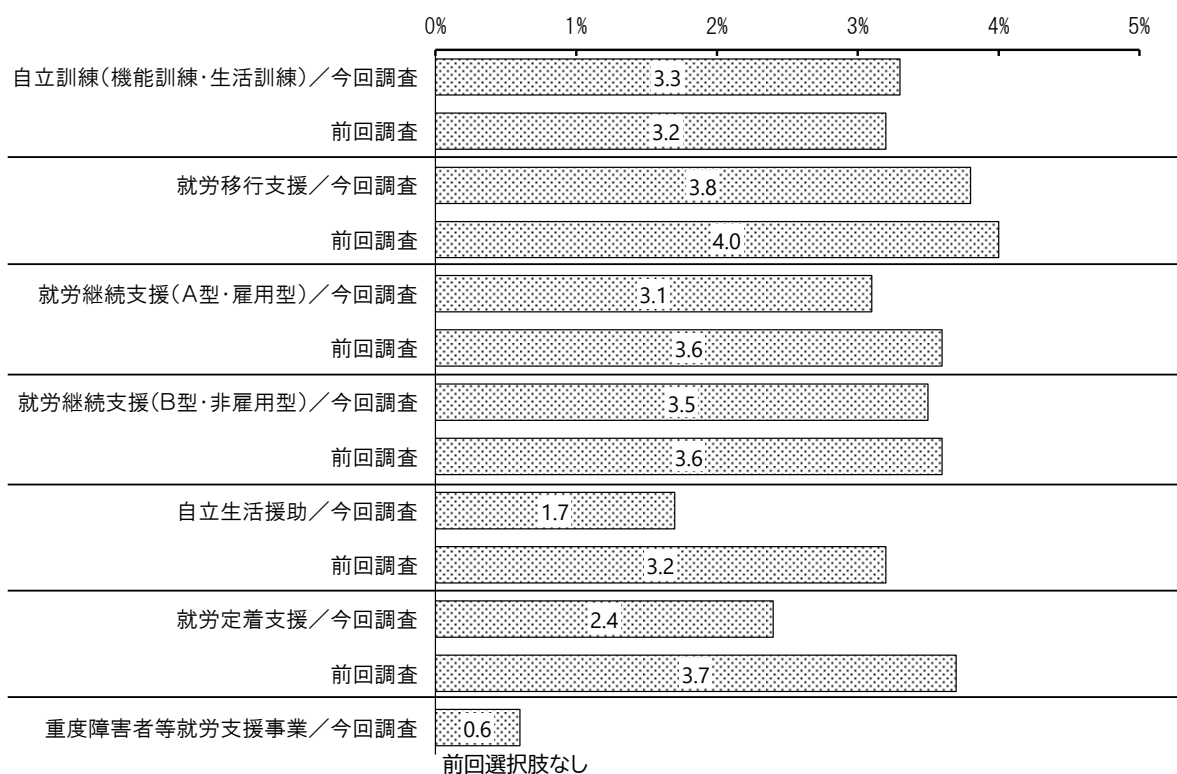
◆就労移行支援の利用意向は3.8%

【全体】

・「2～3年以内に利用したい」は、自立訓練(機能訓練・生活訓練)が3.3%、就労移行支援が3.8%、就労継続支援(A型・雇成型)が3.1%、就労継続支援(B型・非雇成型)が3.5%、自立生活援助が1.7%、就労定着支援が2.4%、重度障害者等就労支援事業が0.6%となっています。

今回調査=705
前回調査=618

■ 2～3年以内に利用したい



サービス名	サービスの内容
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。通所型と宿泊型があります。
就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。
就労継続支援 (A型・雇用型)	障害者に雇用型の就労や生産活動の機会を提供します。
就労継続支援 (B型・非雇用型)	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。
自立生活援助	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。
就労定着支援	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。
重度障害者等 就労支援事業	重度障害者等に対する就労支援として、雇用施策と連動して、通勤、職場等で必要となる支援を行います。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	自立訓練 (機能訓練・ 生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援 (A型・ 雇用型)	就労継続支援 (B型・ 非雇用型)	自立生活援助	就労定着支援	重度障害者等 就労支援事業
		に2 〜3 年以 内 に利 用し たい	に2 〜3 年以 内 に利 用し たい	に2 〜3 年以 内 に利 用し たい	に2 〜3 年以 内 に利 用し たい	に2 〜3 年以 内 に利 用し たい	に2 〜3 年以 内 に利 用し たい	に2 〜3 年以 内 に利 用し たい
全体	705 100.0	23 3.3	27 3.8	22 3.1	25 3.5	12 1.7	17 2.4	4 0.6
身体障害	67 100.0	6 9.0	3 4.5	1 1.5	1 1.5	1 1.5	- -	- -
知的障害	210 100.0	17 8.1	17 8.1	16 7.6	20 9.5	9 4.3	12 5.7	4 1.9
精神障害	39 100.0	3 7.7	5 12.8	4 10.3	3 7.7	- -	2 5.1	- -
発達障害	204 100.0	6 2.9	11 5.4	7 3.4	6 2.9	4 2.0	6 2.9	- -
難病・特定疾患	11 100.0	2 18.2	1 9.1	1 9.1	- -	1 9.1	- -	- -
手帳・診断なし	270 100.0	- -	- -	1 0.4	1 0.4	1 0.4	1 0.4	- -
医療的ケア児	62 100.0	2 3.2	1 1.6	1 1.6	2 3.2	1 1.6	1 1.6	1 1.6

①住まいの場・住まいに関するサービス

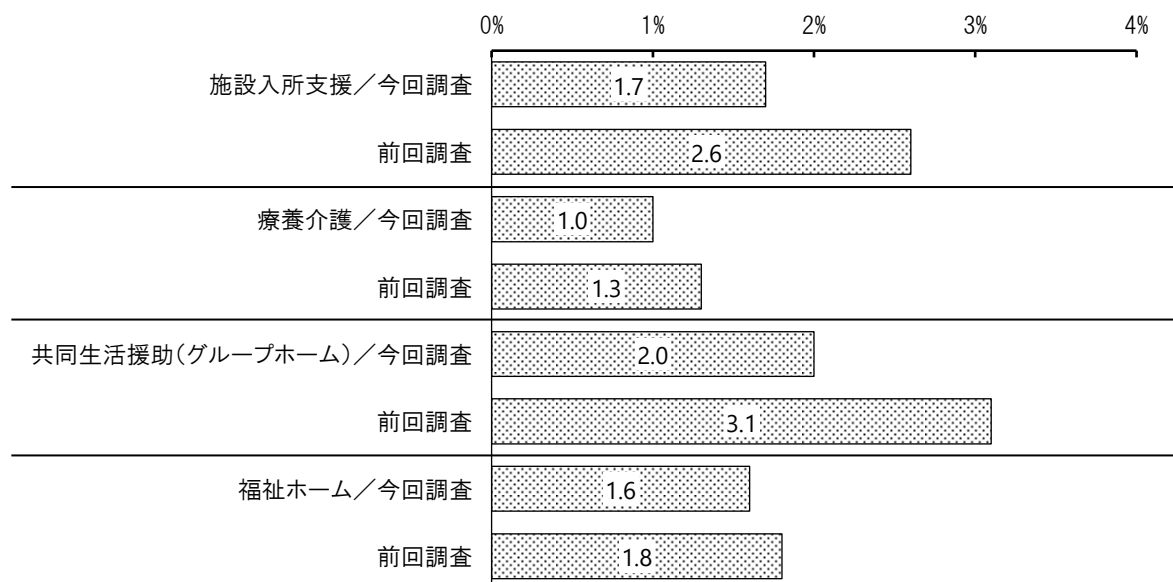
◆共同生活援助(グループホーム)の利用意向は2.0%

【全体】

・「2～3年以内に利用したい」は、施設入所支援が1.7%、療養介護が1.0%、共同生活援助(グループホーム)が2.0%、福祉ホームが1.6%となっています。

今回調査=705
前回調査=618

■ 2～3年以内に利用したい



サービス名	サービスの内容
施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。
療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。
共同生活援助(グループホーム)	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。
福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。

【障害別】

上段:人 下段:%	全体	施設入所支援	療養介護	共同生活援助 (グループ ホーム)	福祉ホーム
		2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	705 100.0	12 1.7	7 1.0	14 2.0	11 1.6
身体障害	67 100.0	6 9.0	1 1.5	4 6.0	2 3.0
知的障害	210 100.0	10 4.8	3 1.4	12 5.7	8 3.8
精神障害	39 100.0	1 2.6	2 5.1	2 5.1	1 2.6
発達障害	204 100.0	1 0.5	2 1.0	2 1.0	2 1.0
難病・特定疾患	11 100.0	- -	- -	- -	- -
手帳・診断なし	270 100.0	- -	- -	- -	1 0.4
医療的ケア児	62 100.0	4 6.5	1 1.6	3 4.8	- -

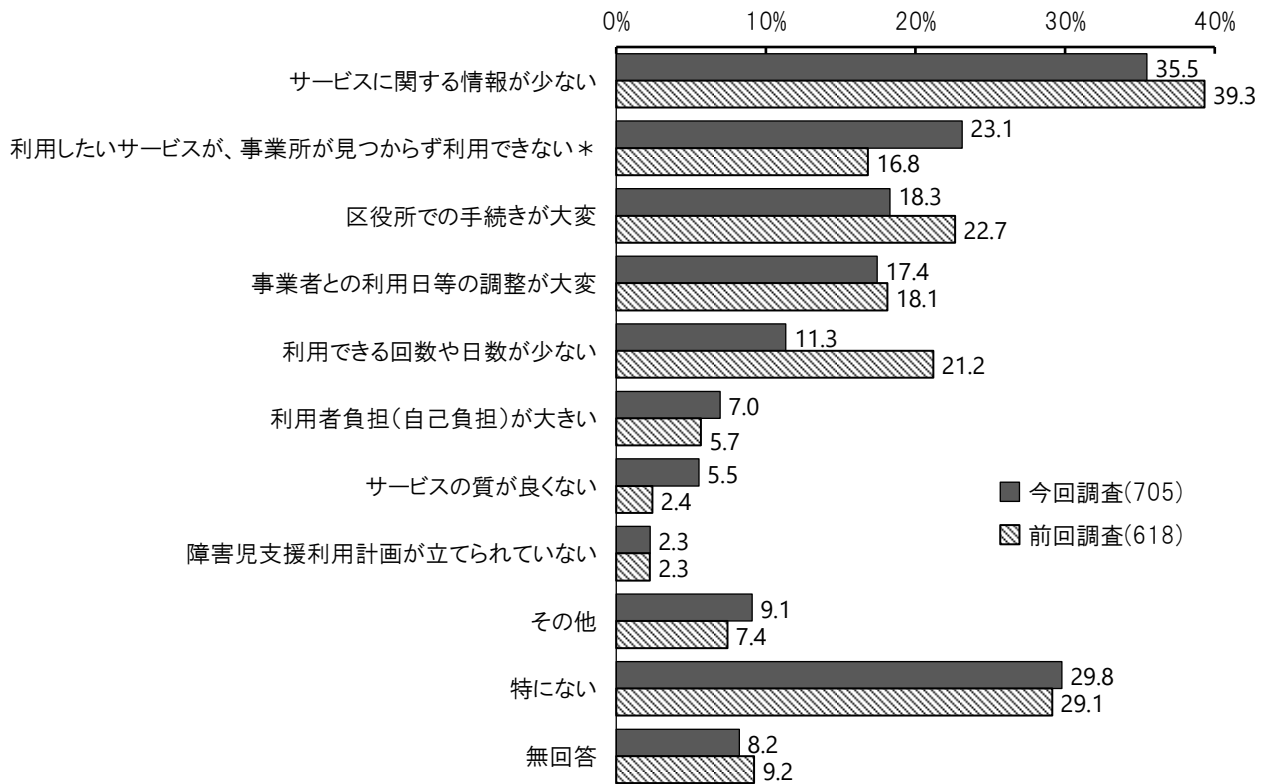
(2)サービス利用に関して困っていること [複数回答]

問31 お子さんのサービス利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

◆「サービスに関する情報が少ない」が35.5%

【全体】

・「サービスに関する情報が少ない」が35.5%で最も多く、次いで「利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない」が23.1%、「区役所での手続きが大変」が18.3%などとなっています。「特にない」は29.8%となっています。



* 前回調査では、選択肢「利用したいサービスが利用できない」

【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	手帳・診断なし	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
サービスに関する情報が少ない	46.3	43.3	46.2	36.3	54.5	27.8	40.3
利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない	29.9	33.3	30.8	25.5	36.4	13.7	37.1
区役所での手続きが大変	34.3	27.1	7.7	16.7	36.4	13.3	30.6
事業者との利用日等の調整が大変	34.3	25.2	17.9	11.8	36.4	13.3	35.5
利用できる回数や日数が少ない	17.9	15.7	7.7	8.3	36.4	8.5	19.4
利用者負担(自己負担)が大きい	9.0	10.0	10.3	5.4	27.3	5.9	8.1
サービスの質が良くない	7.5	7.6	5.1	5.9	27.3	4.1	6.5
障害児支援利用計画が立てられていない	-	4.3	10.3	2.5	-	0.4	8.1
その他	7.5	7.1	20.5	9.3	-	8.9	6.5
特になし	10.4	17.1	25.6	26.5	36.4	40.4	12.9
無回答	11.9	12.4	-	8.8	-	7.0	8.1

(3) サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成状況

問32 障害福祉サービス・児童福祉法に基づくサービスを利用している方にお聞きします。
サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成について、現状を教えてください。
(〇はひとつ)

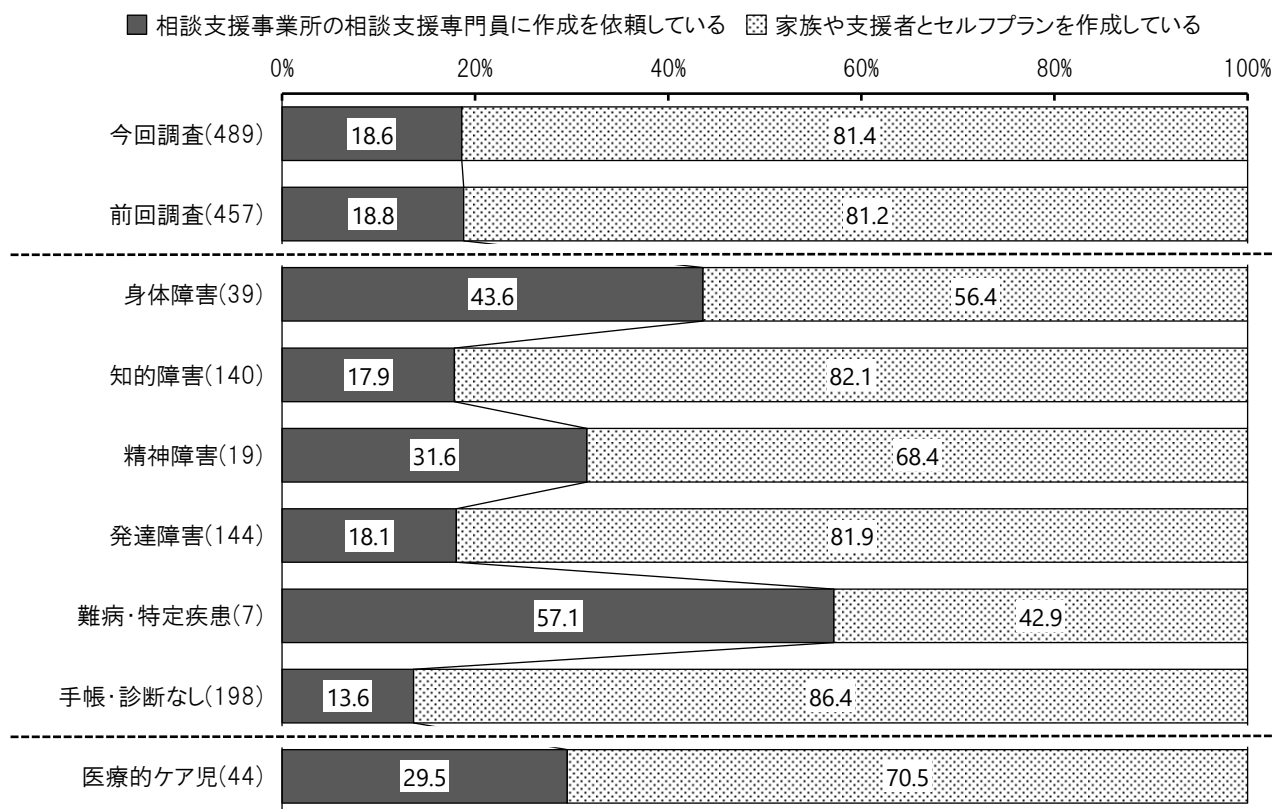
◆「家族や支援者とセルフプランを作成している」が81.4%

【全体】

- ・「家族や支援者とセルフプランを作成している」は81.4%、「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」は18.6%となっています。

【障害別】

- ・全体と比較して、身体障害と難病・特定疾患は「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が多くなっています。
- ・全体と比較して、医療的ケア児は「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が多くなっています。



※ 無回答を除いた集計

(4)利用者負担の負担感

問33 あなたは、サービスの利用者負担(自己負担)をどのように感じていますか。(〇はひとつ)

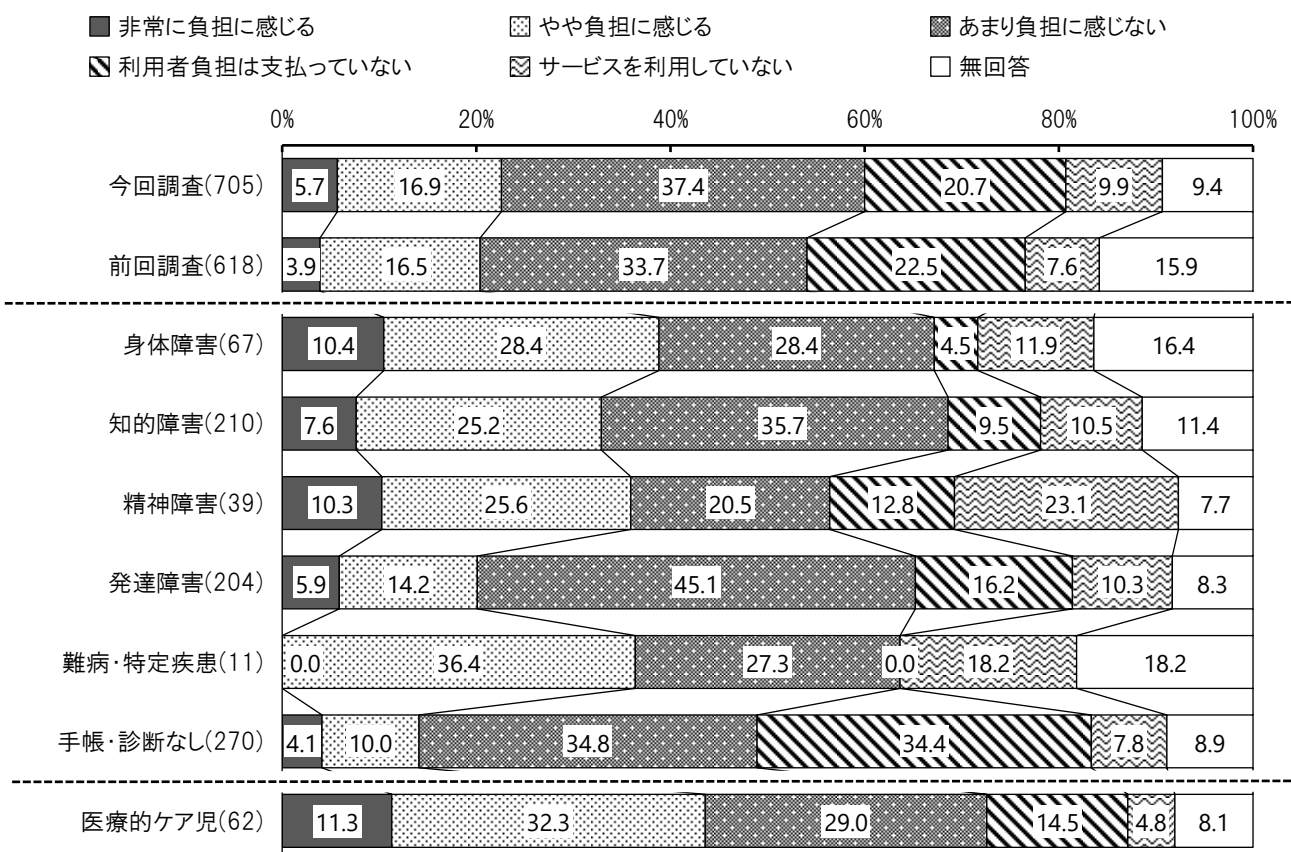
◆「あまり負担に感じない」が37.4%

【全体】

- ・「あまり負担に感じない」が37.4%で最も多く、次いで「利用者負担は支払っていない」が20.7%、「やや負担に感じる」が16.9%などとなっています。

【障害別】

- ・身体障害は「やや負担に感じる」と「あまり負担に感じない」、知的障害と発達障害、手帳・診断なしは「あまり負担に感じない」、精神障害は「やや負担に感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「やや負担に感じる」が多くなっています。



7 災害対策について

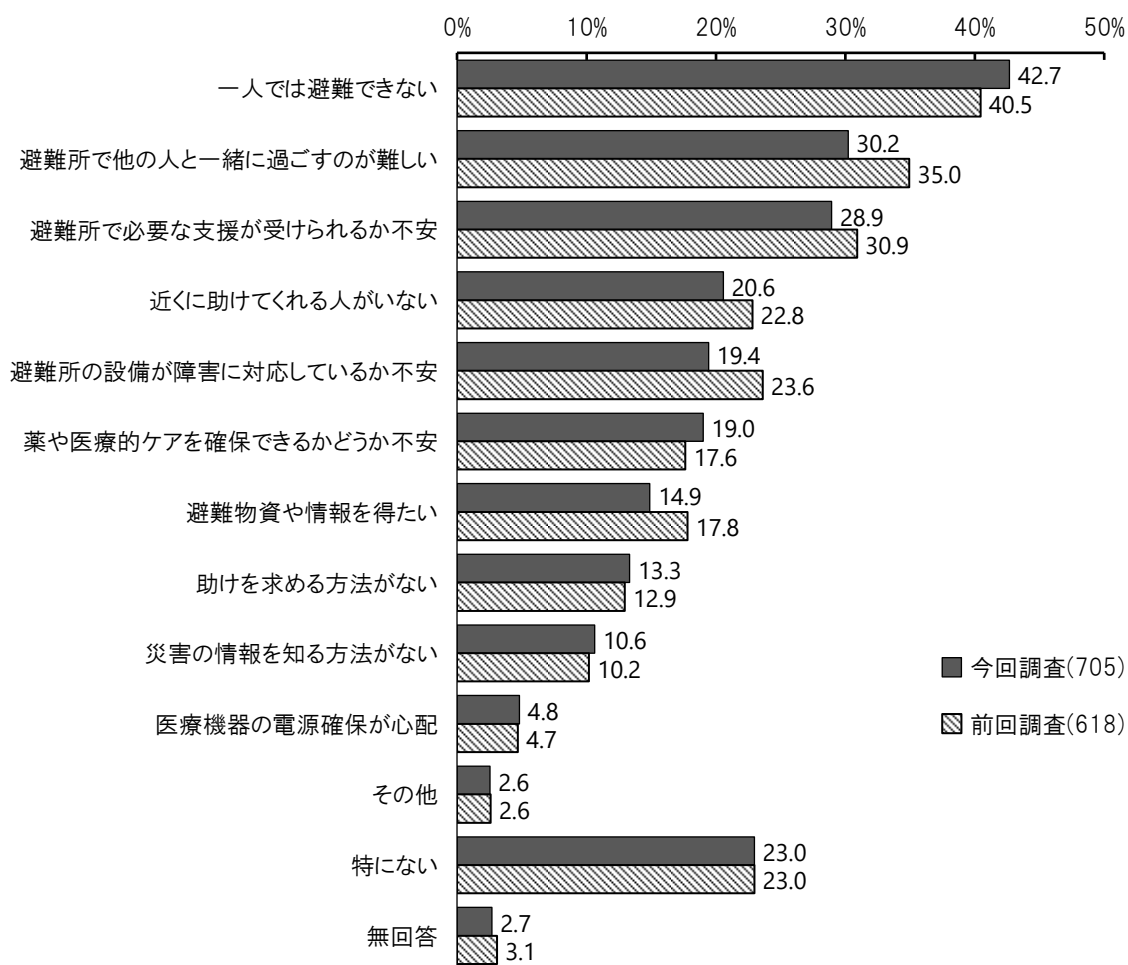
(1)災害が発生したときに困ること [複数回答]

問34 お子さんやご家族の方が、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(○はいくつでも)

◆「一人では避難できない」が42.7%

【全体】

・「一人では避難できない」が42.7%で最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が30.2%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が28.9%などとなっています。「特にない」は23.0%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、発達障害、手帳・診断なしは「一人では避難できない」、精神障害は「近くに助けしてくれる人がいない」と「一人では避難できない」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「一人では避難できない」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	手帳・診断なし	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
一人では避難できない	73.1	62.4	35.9	40.7	36.4	30.7	72.6
避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	34.3	47.1	33.3	38.2	27.3	17.4	45.2
避難所で必要な支援が受けられるか不安	53.7	47.1	30.8	27.0	45.5	18.9	58.1
近くに助けしてくれる人がいない	35.8	28.1	35.9	17.6	36.4	13.0	40.3
避難所の設備が障害に対応しているか不安	52.2	37.6	20.5	18.6	9.1	5.9	40.3
薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	47.8	23.8	33.3	17.6	54.5	10.4	71.0
避難物資や情報を得たい	17.9	21.4	15.4	8.8	18.2	12.6	22.6
助けを求める方法がない	19.4	24.8	17.9	14.2	9.1	6.7	24.2
災害の情報を知る方法がない	7.5	18.1	15.4	12.7	9.1	5.2	12.9
医療機器の電源確保が心配	19.4	5.7	2.6	2.9	18.2	2.6	25.8
その他	3.0	3.8	-	3.9	-	1.5	4.8
特になし	9.0	7.1	30.8	19.1	9.1	33.7	4.8
無回答	3.0	2.9	-	4.4	9.1	2.6	-

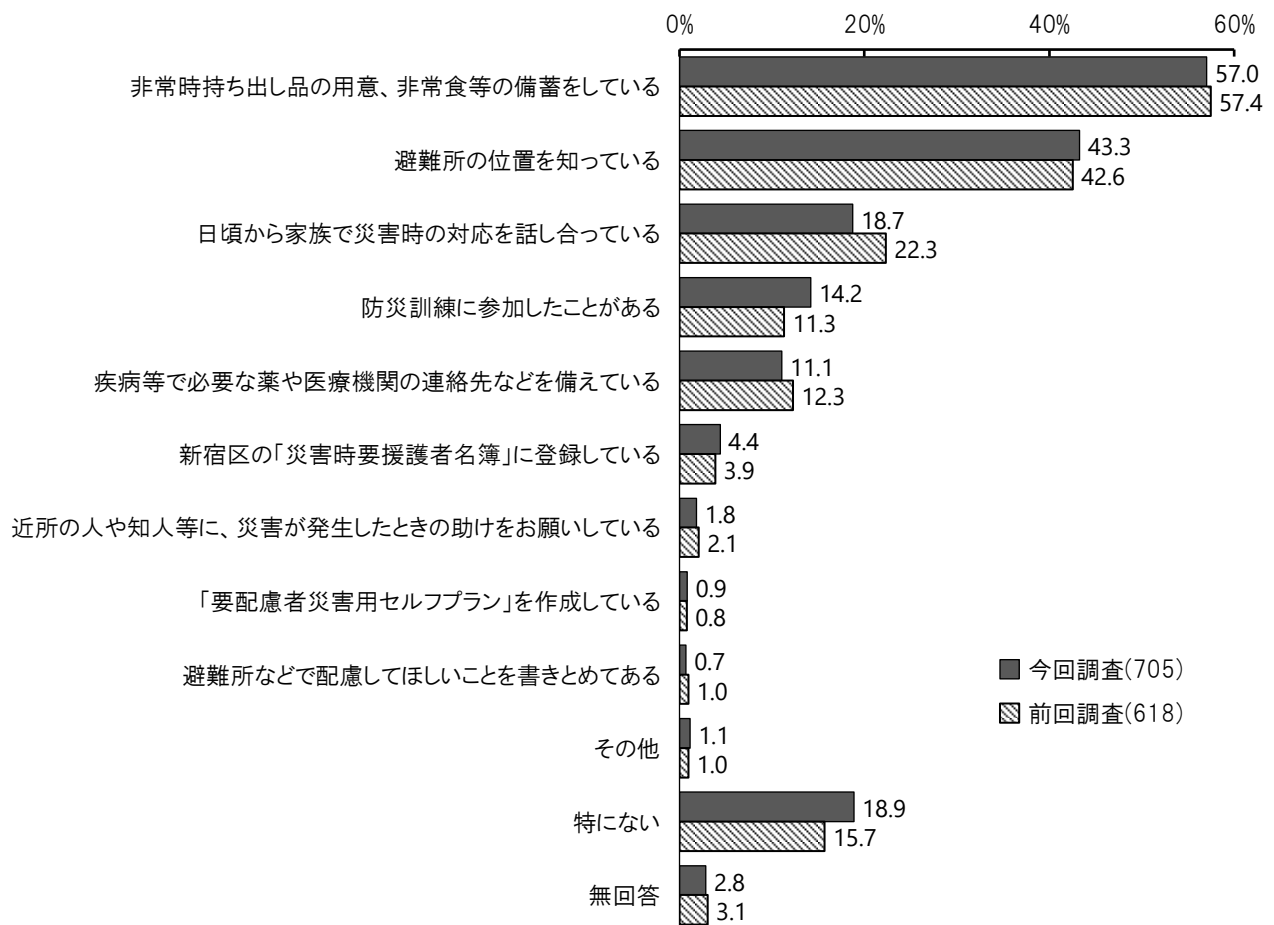
(2)災害に対して備えていること [複数回答]

問35 お子さんやご家族の方は、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

◆「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が57.0%

【全体】

・「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が57.0%で最も多く、次いで「避難所の位置を知っている」が43.3%、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が18.7%などとなっています。「特にない」は18.9%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「避難所の位置を知っている」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている	59.7	55.7	59.0	57.8	72.7	57.4	54.8
避難所の位置を知っている	49.3	41.4	43.6	38.7	63.6	44.8	61.3
日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	22.4	15.7	38.5	15.7	27.3	18.9	25.8
防災訓練に参加したことがある	6.0	12.9	17.9	13.7	9.1	15.6	8.1
疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	35.8	12.4	15.4	6.4	54.5	7.0	45.2
新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している	25.4	6.7	5.1	2.0	9.1	1.1	19.4
近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている	4.5	3.3	2.6	1.5	-	1.1	1.6
「要配慮者災害用セルフプラン」を作成している	7.5	1.4	-	-	9.1	-	8.1
避難所などで配慮してほしいことを書きとめてある	1.5	1.0	-	1.0	9.1	0.7	1.6
その他	1.5	1.0	-	0.5	9.1	1.5	1.6
特になし	11.9	19.5	10.3	20.6	-	18.9	11.3
無回答	-	4.8	2.6	3.9	-	2.2	3.2

8 権利擁護について

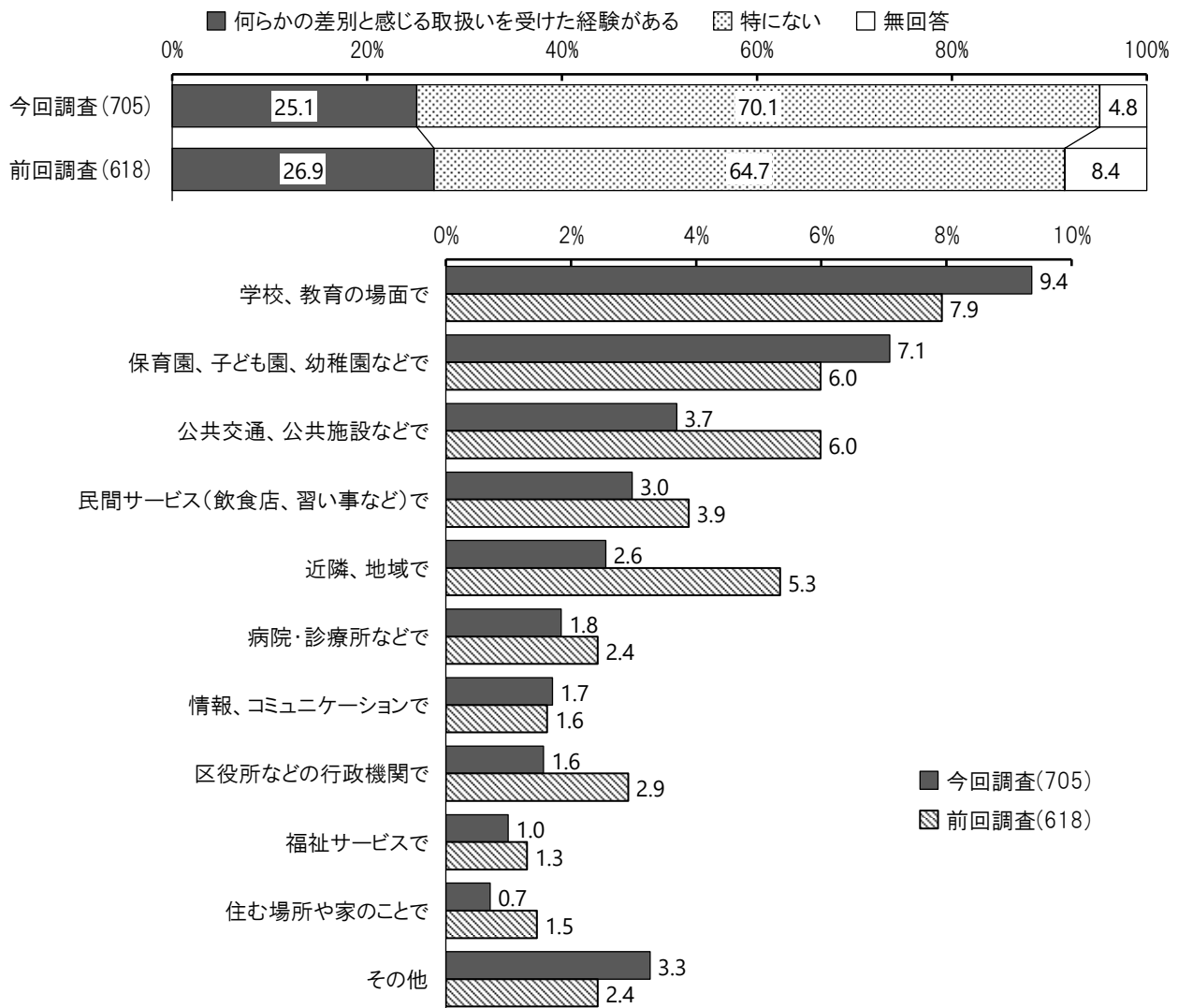
(1)差別と感ずる取扱いを受けた経験 [複数回答]

問36 あなたのお子さんは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感ずる取扱いを受けた経験がありますか。(○はいくつでも)

◆『何らかの差別と感ずる取扱いを受けた経験がある』方は**25.1%**、
「学校、教育の場面で」が**9.4%**

【全体】

- ・回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの差別と感ずる取扱いを受けた経験がある』方は25.1%となっています。
- ・「学校、教育の場面で」が9.4%で最も多く、次いで「保育園、子ども園、幼稚園などで」が7.1%、「公共交通、公共施設などで」が3.7%などとなっています。「特にない」は70.1%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と精神障害、発達障害は「学校、教育の場面で」、知的障害は「公共交通、公共施設などで」、手帳・診断なしは「保育園、子ども園、幼稚園などで」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「保育園、子ども園、幼稚園などで」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定 難病・ 疾患	診断なし 手帳	医療的 ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
学校、教育の場面で	14.9	6.7	17.9	15.7	9.1	4.8	11.3
保育園、子ども園、幼稚園などで	7.5	8.1	7.7	6.9	9.1	7.8	14.5
公共交通、公共施設などで	4.5	8.6	10.3	3.9	-	0.4	6.5
民間サービス(飲食店、習い事などで)	7.5	4.8	5.1	4.9	-	-	12.9
近隣、地域で	4.5	3.8	2.6	2.0	9.1	1.1	4.8
病院・診療所などで	-	4.3	2.6	2.0	-	0.4	-
情報、コミュニケーションで	4.5	2.4	5.1	2.5	-	0.7	4.8
区役所などの行政機関で	4.5	2.9	2.6	1.0	-	0.4	1.6
福祉サービスで	1.5	1.0	2.6	0.5	-	0.7	1.6
住む場所や家のことで	1.5	1.9	5.1	1.0	-	-	4.8
その他	10.4	4.8	-	3.9	9.1	1.1	8.1
特にない	59.7	62.9	71.8	61.3	72.7	81.1	61.3
無回答	4.5	6.2	-	5.4	-	4.8	1.6

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【記述式回答・主な意見】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
学習障害があるため、クラスの子たちに勉強ができない子とレッテルをはられる。	手帳・診断なし	男性、10歳
修学旅行の行程が本人には難しく、先生など人員の確保もできないため、参加は難しいと言われ参加できなかった。	知的障害	女性、12歳
中学校でテストや課題の量など合理的配慮を求めたが、評価が低くなると言われた。子どもは通常学級の雰囲気が好きだったが、ここでしてあげられることは何もないと支援学級を強く勧められた。	発達障害	男性、13歳
支援級の数が足りず、家の近くにないため近所の子どもたちと交流が出来ない。支援級も狭かったり、薄暗い教室で勉強をしなければならない学校もある。普通級との交流授業を希望しても、出来ない学校もあると聞いている。	手帳・診断なし	女性、11歳
小学校自体で露骨な差別を受けたことはほとんど無いが、担任の先生から「特別支援学校へ行くべき」と繰り返し言われたことが負担だった。合理的配慮を相談すると、「それは特別支援学校の対応ですよ？」と眉をひそめられ、十分に話し合いができない場面があった。第三者による抜き打ちの確認など、外部の視点が入る仕組みが必要だと感じている。	知的障害	男性、12歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
いじめを受けたが、加害者への変化はなく、こちらが不登校教室に通わされるなどの対応を強いられた。	精神障害、 発達障害	男性、11歳
学校の宿泊行事において、夜間の医療的ケアは不要であるにもかかわらず、夕食時に医療的ケアに対応できる職員が確保できないことを理由に、保護者の付き添いを求められた。また、付き添う場合に「普段家庭で行っている医療的ケアと同程度の対応をしたい」と申し出たところ、「学校で実施している医療的ケアと同じ内容でなければ認められない。家庭と同じ方法で行う場合は、一度帰宅するか、宿泊施設外で行ってほしい」と言われた。	肢体不自由、 聴覚・平衡機能 障害	女性、13歳
バスや電車の中での声や動きについて、年配の方に「お子さんは悪くないけど、あなたのしつけが悪い」と言われた。	発達障害	男性、6歳
タクシー乗車時(通院中)に手帳を見せると嫌な顔をされることが度々ある。	知的障害	男性、13歳
入園を希望した園(区立)に、空きがあったが障害児枠がいっぱいという理由で入園できず、他の園に決定した。定員に空きがあるのに入園できず残念さと理不尽さを感じた。	知的障害	男性、7歳
学校で事件(トイレへのいたずら)があった時に普段、離席することの多い息子が犯人扱いされた。	発達障害	男性、11歳
電車に乗っていて乗務員に「ちゃんと見ていて下さい」と怒られた。飲食店で「出て行ってくれ」と言われた。自分の職場で「ここは健常者のための場所だ」と言われた。	知的障害、発達 障害	知的障害、 発達障害
大学の情報保障が準備されていない。聴覚障害だと言っただけで一步引かれてしまう。	聴覚・平衡機能 障害	男性、16 歳
学童にお迎えに来てもらう時、周りの保護者に見られたり、「あの子、放デイだって」とうわさされるのが怖かった。学校で、ADHD＝乱暴、落ち着きがないというレッテルを貼っている保護者も少なくなく、偏見の目で見られたらと思うと不安になり、放課後デイサービスをやめるしかなかった。	手帳・診断なし	女性、5歳
障害を理由に、保育園見学に行ったが当園は合わないと思う・希望しないで欲しいと言われた。ベビーシッター、病児シッターをお願いしようとしたが障害を理由に断られた。	視覚障害	男性、7歳
外出時に見た目や奇怪なしぐさによって通行人・周りの人に、あからさまに嫌悪的な態度をとられることがある。	知的障害	男性、11歳
見た目からは障害がわからないため、医療機関で診察を受けるときに極端に嫌がる姿に呆れられる、怪訝な顔をされる。就学相談の中で受けた精神科医師との面談があまりに子どもに対し高圧的で驚いた。	知的障害	男性、8歳
近所の住民からうるさいと苦情を言われた。警察、児童相談所にも通報された。どこに行っても白い目で見られる。	知的障害	男性、8歳

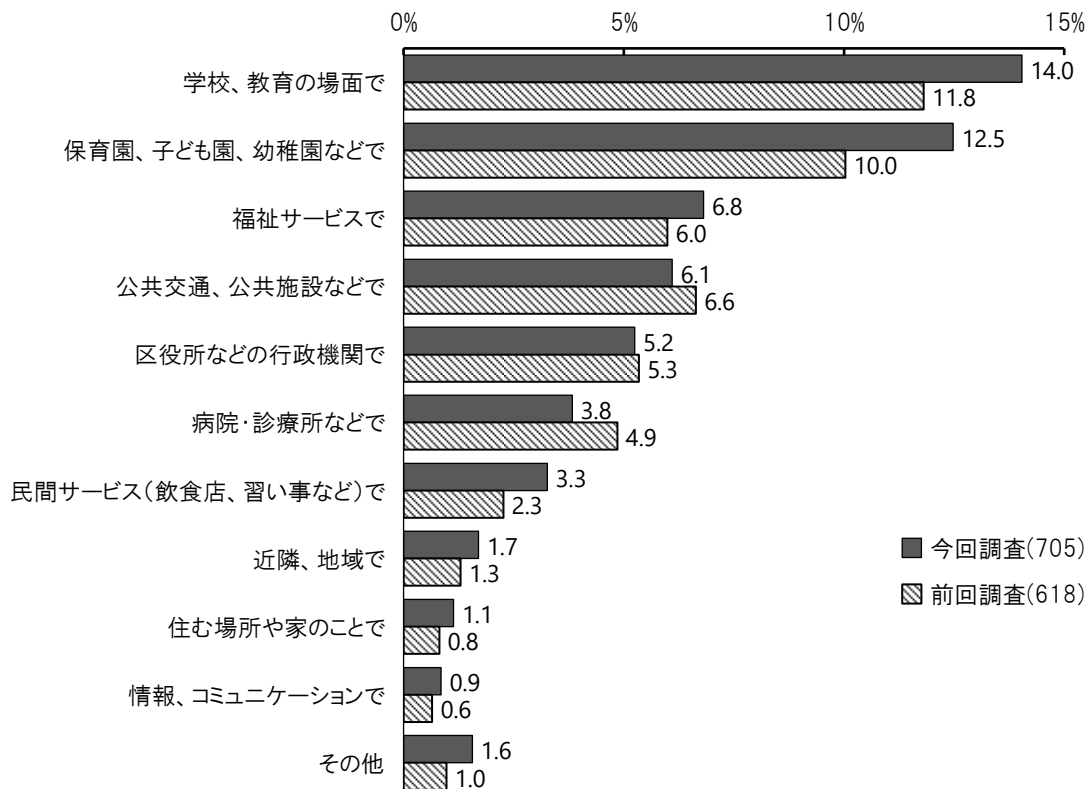
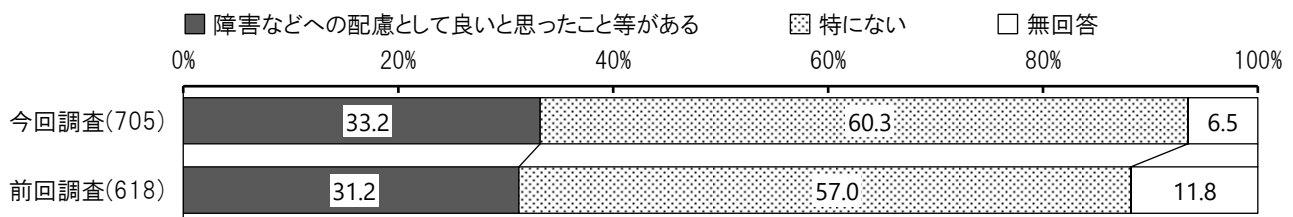
(2) 配慮があって助かったこと [複数回答]

問37 障害者差別解消法と関連して、障害などへの配慮として良いと思ったこと、配慮があって助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。(〇はいくつでも)

◆『障害などへの配慮として良いと思ったこと等がある』方は**33.2%**、
「学校、教育の場面で」が**14.0%**

【全体】

- ・回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『障害などへの配慮として良いと思ったこと等がある』方は33.2%となっています。
- ・「学校、教育の場面で」が14.0%で最も多く、次いで「保育園、子ども園、幼稚園などで」が12.5%、「福祉サービスで」が6.8%などとなっています。「特にない」は60.3%となっています。



【障害別】

- ・身体障害は「公共交通、公共施設などで」、知的障害と精神障害、発達障害は「学校、教育の場面で」、手帳・診断なしは「保育園、子ども園、幼稚園などで」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「保育園、子ども園、幼稚園などで」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病疾患	診断なし手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
学校、教育の場面で	10.4	13.3	12.8	19.6	18.2	11.5	14.5
保育園、子ども園、幼稚園などで	6.0	11.4	10.3	11.3	18.2	13.7	17.7
福祉サービスで	7.5	10.5	10.3	8.3	9.1	3.7	9.7
公共交通、公共施設などで	11.9	10.0	5.1	4.9	18.2	3.7	6.5
区役所などの行政機関で	9.0	6.7	10.3	5.4	-	3.3	6.5
病院・診療所などで	6.0	6.2	10.3	5.4	9.1	1.5	8.1
民間サービス(飲食店、習い事などで	4.5	3.8	2.6	2.9	9.1	3.3	3.2
近隣、地域で	3.0	2.9	-	2.0	-	1.5	4.8
住む場所や家のことで	1.5	1.0	2.6	-	-	1.5	-
情報、コミュニケーションで	1.5	1.0	-	0.5	-	0.7	-
その他	4.5	2.4	5.1	0.5	9.1	0.4	6.5
特にない	53.7	52.9	56.4	53.9	36.4	70.7	51.6
無回答	10.4	8.6	-	7.8	9.1	4.4	4.8

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【記述式回答・主な意見】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
まなびの教室で、マンツーマンの指導が受けられた。	知的障害	男性、9歳
支援級では、個々の特性にあわせた指導、対応を受けられる。	手帳・診断なし	女性、8歳
いじめがあった際、先生が真摯に対応してくれた。	発達障害	女性、6歳
現在はすくい上げられるサービスが多く、特に言語指導を受けられたことで、子どもの発音が劇的に変化した。	手帳・診断なし	男性、6歳
放課後等デイサービスの利用や、あいの療育のおかげで知能向上や支援学級から通常級で充実して日々を過ごせています。	精神障害、発達障害	男性、16歳
園では加配の先生含めて理解ある対応を十分にしてもらえたと感じている。	視覚障害	男性、7歳
保育園で、子どもに合わせた教材や、先生たちが手話を覚えてくれたり、コミュニケーション方法に工夫をもって接してくれた。	聴覚・平衡機能障害	男性、3歳
幼稚園では担任の先生の他に補助の先生がついてくれたので、安心して通うことが出来た。	発達障害	女性、7歳
学童クラブを利用することで、初めて近隣小学校の子どもとの交流機会が持てた。特別支援学校では意思疎通できる子どもが少なく、学童クラブで過ごす時間が貴重な時間となっている。	肢体不自由、内部障害	男性、8歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
保育園の先生が、事業所間連携をはじめ、利用中の療育機関や区と連携するなど、前向きに対応してくれた。	手帳・診断なし	男性、3歳
通っている保育園は色んな子がいて、また障害がある子がいる事により、みんなが良い刺激になり勉強になると言ってもらえて、すごく嬉しかった。	知的障害	男性、2歳
保育園では他の子どもと分け隔てなく接してくれている。保育園内で友達とも仲良く過ごしており、とても良い環境の中で育っています。	手帳・診断なし	男性、5歳
放課後等デイサービスを利用できたことで、外出の機会が増え、他の児童との交流もできたのはありがたい。	手帳・診断なし	女性、12歳
体育の授業でどこまでやれるかを、管理表をもとに細かいところまで話し合いをしてもらえたこと。	内部障害	男性、13歳
定期考査、ノート、課題提出をiPad、タブレットを使って受けられたこと。	発達障害	男性、15歳
学校が地域と協力体制を築いている。	知的障害	女性、16歳
東京オリンピック以降、駅のエレベーター設置が増えた。多目的トイレのユニバーサルベッドの導入が増えた。	肢体不自由、知的障害	女性、14歳
飲食店で広い席を案内してもらえたり、段差でお手伝いの声かけをしてもらえたことがあり、とても助かった。	肢体不自由	女性、8歳
家に入る段差を自治会の方がすぐ改修しましょうと動いてくれて、便利になり嬉しかった。	肢体不自由	男性、16歳
タクシーとバスの割引。特別支援学級のある学校は少なく通学や通院などで割引が使えるのは、とても助かります。	知的障害	女性、11歳
保健センターでの健診の際、職員の方に「何でも相談して」と声をかけて頂き、何かあれば相談できると安心した。	肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害	男性、3歳
区役所や福祉サービスが、以前住んでいた自治体と比べて手厚く、職員の者もテキパキ過不足なく案内してくれた。	精神障害、発達障害	男性、7歳
科学博物館などに介助者割引などがあり、十分に利用することが出来た(不登校気味の時など、有難かったです)。	発達障害	男性、12歳
子どもが叫んだり走ったりすることに対する地域住民の寛容さ。	手帳・診断なし	男性、8歳
病院で聴こえないことを伝えられるカードが設置されていた。	聴覚・平衡機能障害	女性、15歳
発達課題のある人に向けた塾で、拒絶しない体制を取っているとのこと、親としても安心できた。	手帳・診断なし	男性、7歳
並ぶのが大変で、体験に至らない事もあるため、様々な施設で、受給者証などの提示で長時間並ぶ事が難しい時に配慮があって助かった。	手帳・診断なし	男性、5歳
必要に応じて意志確認してもらえ、本人の意思を尊重してもらえる場面があった。	精神障害、発達障害	男性、17歳
ヘルプマークが浸透したこと。	知的障害、発達障害	男性、16歳

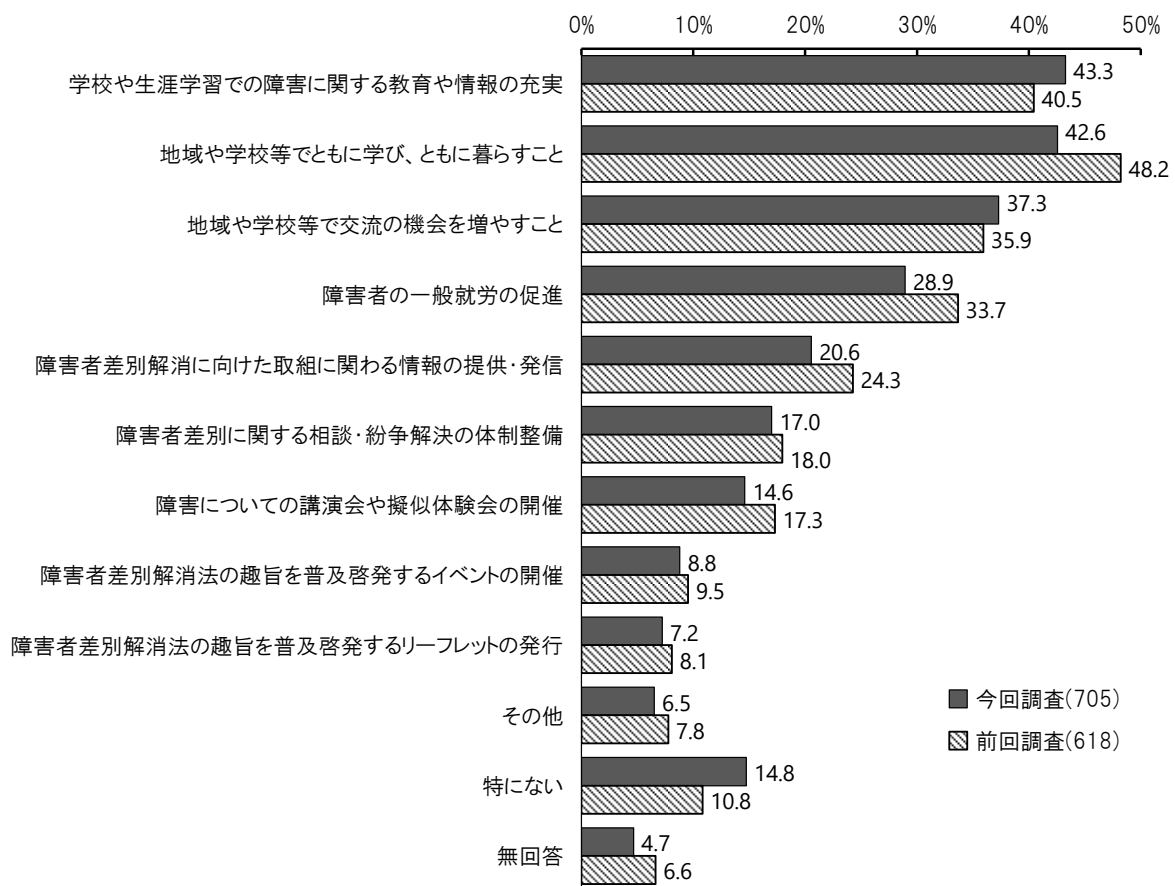
(3)障害者差別の解消のために力を入れるべきこと [複数回答]

問38 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

◆「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が43.3%

【全体】

- ・「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が43.3%で最も多く、次いで「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が42.6%、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が37.3%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害は「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」と「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」、知的障害と精神障害は「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」、発達障害と手帳・診断なしは「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定難病・疾患	手帳・診断なし	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実	53.7	41.9	41.0	44.6	36.4	44.8	53.2
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	53.7	43.8	43.6	42.2	54.5	40.0	48.4
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	46.3	39.5	33.3	36.8	36.4	34.8	48.4
障害者の一般就労の促進	34.3	42.4	33.3	27.0	63.6	20.4	43.5
障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信	25.4	21.4	25.6	23.5	36.4	18.5	21.0
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	16.4	21.0	17.9	19.1	9.1	15.6	17.7
障害についての講演会や疑似体験会の開催	22.4	17.6	20.5	13.2	9.1	12.2	27.4
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	11.9	11.9	12.8	7.4	9.1	6.3	14.5
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	11.9	8.6	10.3	6.4	9.1	5.9	12.9
その他	4.5	9.5	17.9	4.4	-	4.1	6.5
特になし	10.4	11.4	10.3	14.7	-	18.1	14.5
無回答	4.5	4.8	5.1	3.9	-	5.2	1.6

【年齢別】

- ・0～5歳は「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」、6歳～11歳と12～17歳は「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	0～5歳	6～11歳	12～17歳
総数	(224)	(301)	(174)
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実	39.3	44.5	46.0
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	34.4	45.2	48.9
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	37.5	37.2	37.4
障害者の一般就労の促進	25.4	23.9	41.4
障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信	19.6	16.3	29.9
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	14.3	15.6	23.0
障害についての講演会や疑似体験会の開催	11.6	15.3	16.7
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	6.3	8.3	13.2
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	5.8	6.0	11.5
その他	4.0	6.0	10.3
特になし	19.6	14.6	9.2
無回答	6.7	4.7	2.3

(4)成年後見制度の認知状況

問39 成年後見制度を知っていますか。(○はひとつ)

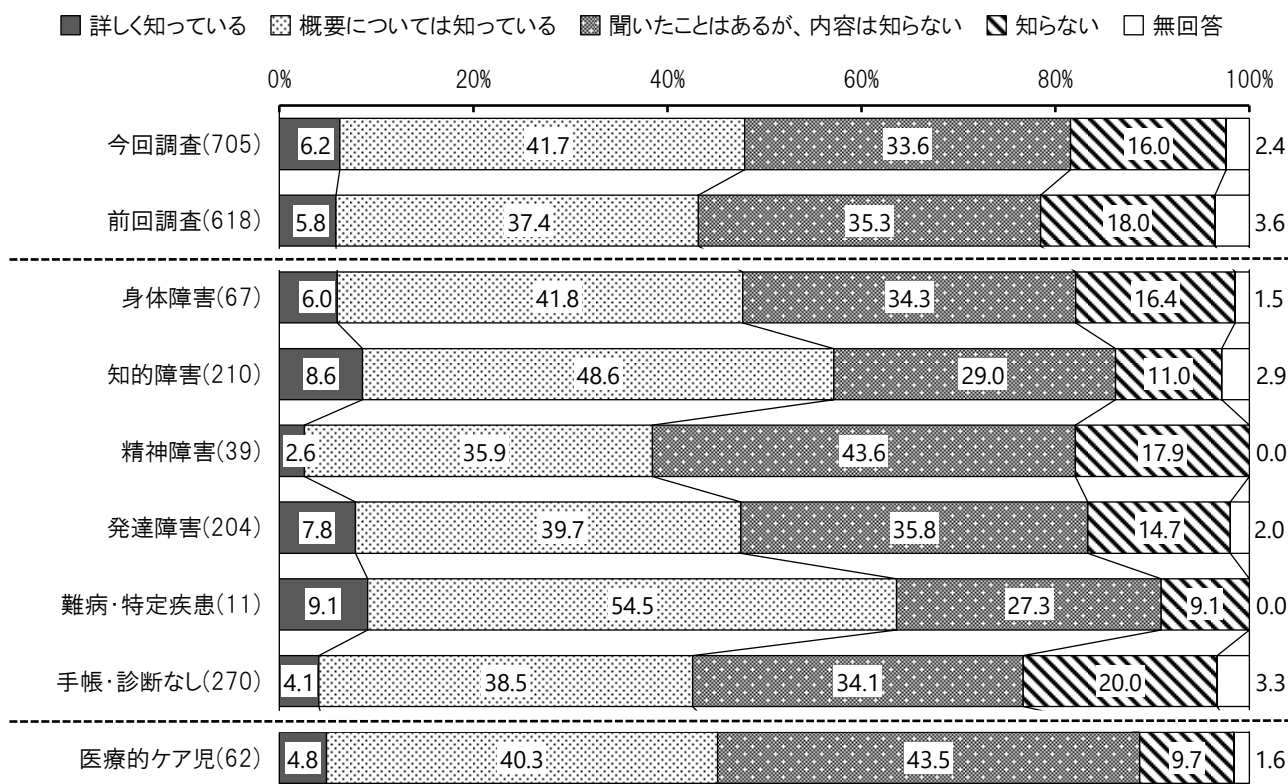
◆「概要については知っている」が41.7%

【全体】

- ・「概要については知っている」が41.7%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が33.6%、「知らない」が16.0%などとなっています。

【障害別】

- ・身体障害と知的障害、発達障害、手帳・診断なしは「概要については知っている」、精神障害は「聞いたことはあるが、内容は知らない」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が多くなっています。



(5)成年後見制度の利用意向

問40 お子さんが成人した後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)

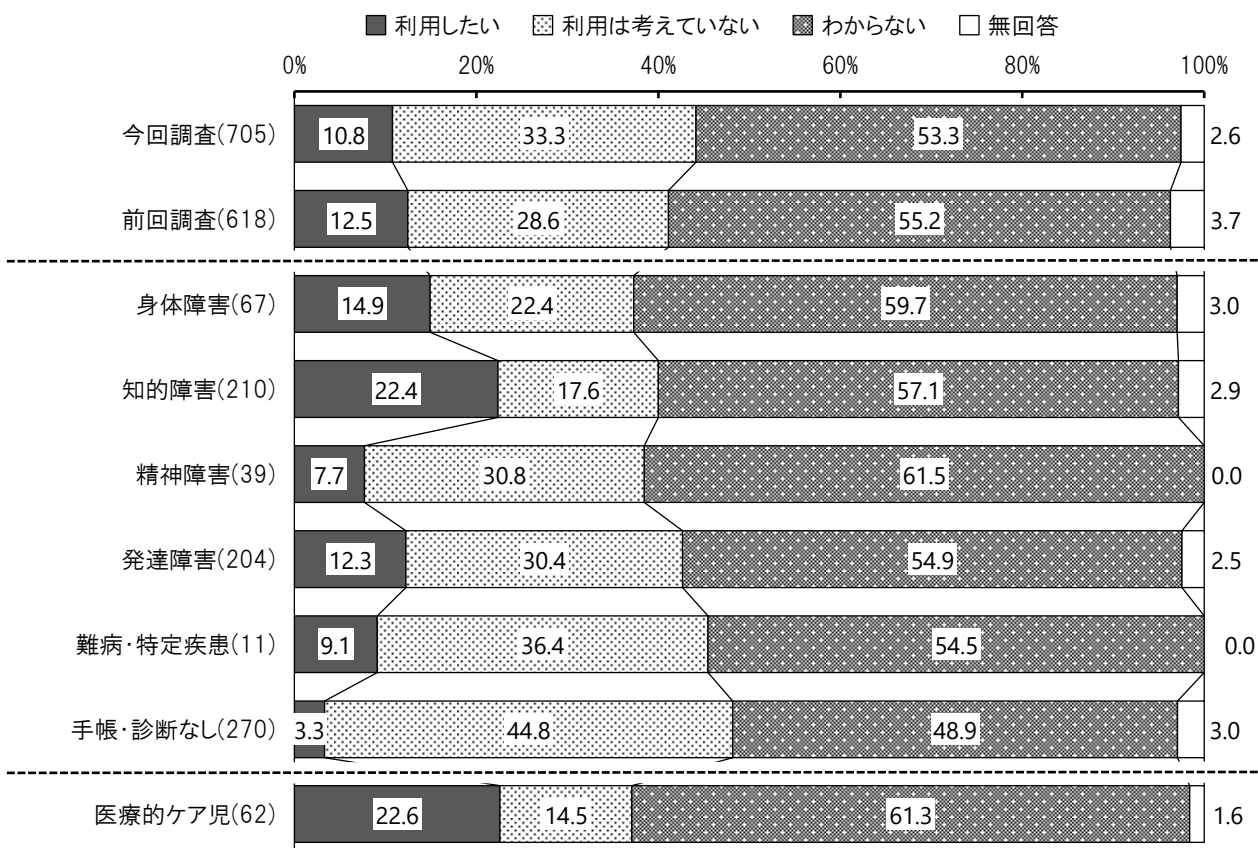
◆「利用したい」が10.8%、「利用は考えていない」が33.3%

【全体】

・「利用したい」が10.8%、「利用は考えていない」が33.3%、「わからない」が53.3%となっています。

【障害別】

- ・身体障害と精神障害、発達障害、難病・特定疾患、手帳・診断なしは「利用は考えていない」、知的障害は「利用したい」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「利用したい」が多くなっています。



9 将来について

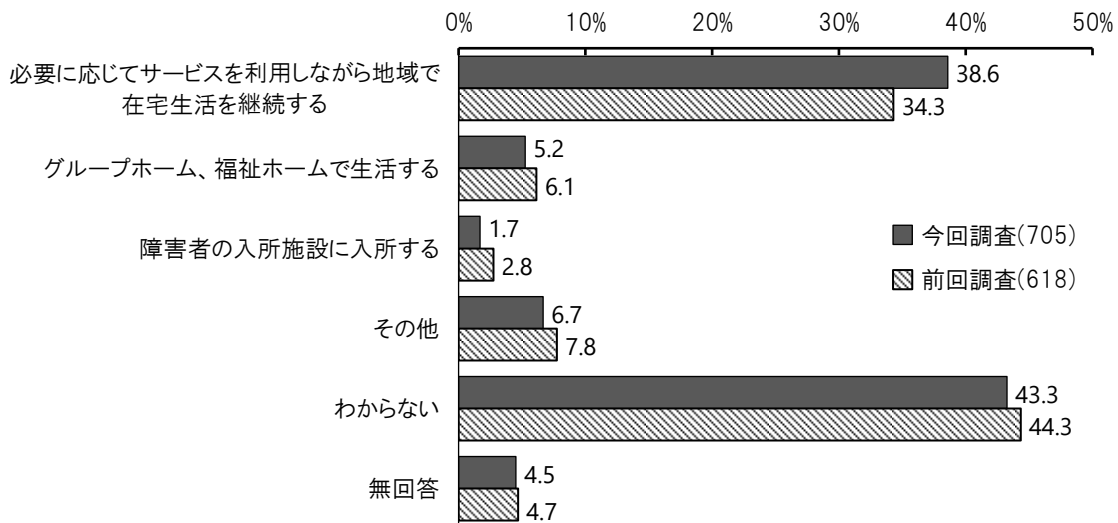
(1) 将来の生活の希望

問41 お子さんは成人後、どのような生活を希望していますか。(○はひとつ)

◆「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が38.6%

【全体】

- ・「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が38.6%で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が5.2%、「障害者の入所施設に入所する」が1.7%となっています。「わからない」は43.3%となっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定難病・疾患	診断なし・手帳	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する	40.3	42.9	48.7	39.7	36.4	32.6	46.8
グループホーム、福祉ホームで生活する	9.0	14.8	7.7	5.4	9.1	0.4	9.7
障害者の入所施設に入所する	6.0	5.2	-	2.0	-	-	4.8
その他	6.0	2.4	12.8	6.4	-	7.4	8.1
わからない	31.3	31.9	30.8	43.1	54.5	53.0	29.0
無回答	7.5	2.9	-	3.4	-	6.7	1.6

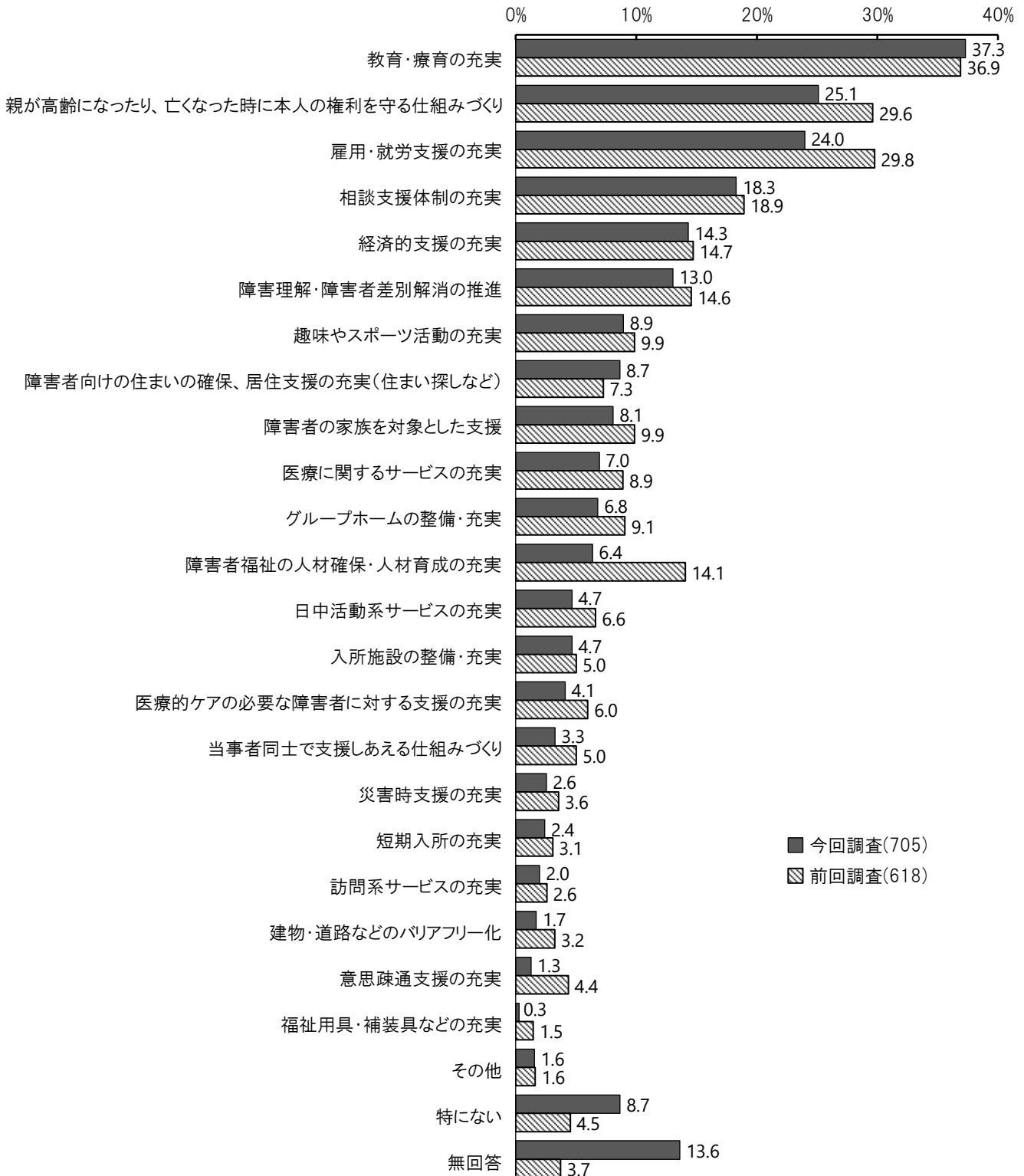
(2)地域で安心して暮らすために重要な施策 [複数回答]

問42 お子さんが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆「教育・療育の充実」が37.3%

【全体】

・「教育・療育の充実」が37.3%で最も多く、次いで「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が25.1%、「雇用・就労支援の充実」が24.0%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と知的障害は「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、精神障害は「雇用・就労支援の充実」、発達障害と手帳・診断なしは「教育・療育の充実」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢／属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・難病	手帳・診断なし	医療的ケア児
総数	(67)	(210)	(39)	(204)	(11)	(270)	(62)
教育・療育の充実	22.4	17.1	23.1	36.3	45.5	51.9	21.0
親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	26.9	36.7	12.8	27.5	27.3	18.5	29.0
雇用・就労支援の充実	17.9	30.5	38.5	26.0	18.2	16.3	25.8
相談支援体制の充実	7.5	12.9	23.1	17.6	27.3	23.0	12.9
経済的支援の充実	4.5	15.7	23.1	13.2	9.1	15.6	4.8
障害理解・障害者差別解消の推進	14.9	14.8	20.5	13.2	18.2	11.1	16.1
趣味やスポーツ活動の充実	3.0	9.0	10.3	6.9	-	10.7	3.2
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実(住まい探しなど)	11.9	14.8	7.7	10.3	18.2	3.0	9.7
障害者の家族を対象とした支援	10.4	8.6	5.1	8.8	-	7.0	8.1
医療に関するサービスの充実	6.0	2.9	7.7	6.9	9.1	8.9	9.7
グループホームの整備・充実	11.9	17.6	5.1	6.9	-	1.1	8.1
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	11.9	10.5	7.7	3.9	-	3.7	8.1
日中活動系サービスの充実	13.4	10.0	2.6	4.4	9.1	1.5	9.7
入所施設の整備・充実	14.9	9.5	5.1	6.4	9.1	0.7	12.9
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実	14.9	3.3	7.7	3.4	18.2	2.2	12.9
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	-	2.9	5.1	3.9	-	3.3	1.6
災害時支援の充実	3.0	2.4	2.6	3.4	-	2.6	3.2
短期入所の充実	13.4	4.3	2.6	1.5	9.1	0.7	11.3
訪問系サービスの充実	7.5	4.3	5.1	1.5	-	0.4	8.1
建物・道路などのバリアフリー化	11.9	0.5	-	-	-	1.5	3.2
意思疎通支援の充実	-	1.9	2.6	1.5	-	1.5	-
福祉用具・補装具などの充実	3.0	-	-	-	-	-	-
その他	1.5	0.5	2.6	1.5	-	1.9	3.2
特になし	1.5	1.9	5.1	5.9	-	14.4	3.2
無回答	16.4	18.6	12.8	17.2	27.3	10.4	19.4

【通園先(小学校入学前)別】

単位:%、()内は回答者総数

選択肢/属性	保育園	子ども園	幼稚園	子ども総合センター (児童発達支援 センターあいあい)	子ども総合センター 以外の児童発達支援 などの療育機関	その他
総数	(139)	(50)	(63)	(56)	(114)	(6)
教育・療育の充実	47.5	50.0	60.3	41.1	47.4	16.7
親が高齢になったり、亡くなった時に 本人の権利を守る仕組みづくり	18.7	16.0	19.0	14.3	20.2	-
雇用・就労支援の充実	16.5	26.0	22.2	19.6	18.4	-
相談支援体制の充実	18.7	20.0	7.9	16.1	21.1	16.7
経済的支援の充実	13.7	8.0	25.4	12.5	14.9	-
障害理解・障害者差別解消の推進	18.0	8.0	14.3	16.1	14.9	-
趣味やスポーツ活動の充実	7.2	10.0	17.5	8.9	9.6	-
障害者向けの住まいの確保、 居住支援の充実(住まい探しなど)	2.2	4.0	-	1.8	3.5	16.7
障害者の家族を対象とした支援	3.6	10.0	14.3	8.9	10.5	-
医療に関するサービスの充実	10.1	14.0	6.3	5.4	7.9	16.7
グループホームの整備・充実	2.2	2.0	3.2	1.8	2.6	-
障害者福祉の人材確保・人材育成の 充実	2.2	4.0	3.2	1.8	2.6	-
日中活動系サービスの充実	2.9	-	1.6	1.8	2.6	-
入所施設の整備・充実	2.2	2.0	-	1.8	0.9	16.7
医療的ケアの必要な障害者に対する 支援の充実	2.9	6.0	1.6	1.8	2.6	16.7
当事者同士で支援しあえる仕組み づくり	3.6	4.0	3.2	5.4	5.3	-
災害時支援の充実	1.4	-	3.2	3.6	1.8	16.7
短期入所の充実	1.4	4.0	-	-	1.8	-
訪問系サービスの充実	0.7	-	1.6	1.8	0.9	-
建物・道路などのバリアフリー化	2.2	2.0	1.6	3.6	4.4	-
意思疎通支援の充実	2.2	-	1.6	3.6	3.5	-
福祉用具・補装具などの充実	-	-	-	-	-	-
その他	2.2	2.0	-	1.8	1.8	-
特になし	14.4	12.0	7.9	17.9	9.6	33.3
無回答	14.4	14.0	12.7	10.7	14.0	16.7

※ 通園・通所はしていないは回答者総数が少数のため非掲載

10 自由意見

問43 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

・「学校・教育」が47件と最も多く、次いで「区への意見・要望」が42件、「福祉サービス」が37件などとなっています。

回答の内容		件数
1	学校・教育	47
2	区への意見・要望	42
3	福祉サービス	37
4	保育・療育	23
5	将来の不安	17
6	経済的支援	15
7	家族支援	14
8	障害理解	8
9	健康・医療	4
10	その他	7
合計		214

※ ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【1 学校・教育】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
インクルーシブ教育は素晴らしいものだと思うが、支援級があつて良かった。親は普通級の児童と比べる時間が減り精神的負担が減る。新宿区には早く情緒級ができてほしい。	知的障害、 発達障害	男性、7歳
新宿区にも情緒支援学級を作つて欲しい。コミュニケーションが苦手な知的障害なしの子どもを普通学級に通わせているが、困り事が多い。出来ることなら情緒学級に通わせたい。情緒支援学級のある地域に引っ越しも考えている。	手帳・診断なし	男性、8歳
小学校就学時への大きな不安を感じている。幼稚園では個別に支援員がついて安心して過ごしているが、小学校入学後、通級の場合は支援を受けられる時数が少ないため、大人数のクラスの集団で上手く生活できるか不安。	手帳・診断なし	男性、3歳
不登校になった時に頼れるところが全くない。不登校児用のクラスは健常児しか対応してないと言われた。性的なことをどう教えたら良いか親が学べる場がない。	知的障害、 精神障害、 発達障害	男性、15歳
支援級を増やして欲しい。学区外の小学校への毎日の送迎は、仕事との両立で大変。近くにあれば、子供は自分で通える。移動支援も申請したが利用できる場所が見つからない。送迎付き放課後デイサービスも少ない。	知的障害	男性、6歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
1学校に1人、常に校内を巡回して必要に応じてサポートするスタッフを置いて欲しい。そういう方が中心となって障害者差別を解消するための教育も推進してほしい。	手帳・診断なし	女性、5歳
学校とまなびの教室の連携が取ってもらえない事に落胆している。子も親も小学校とまなびの学校に通うだけでも大変な思いをしている上に、まず障害の説明を保護者から行うことに驚いた。	聴覚・平衡機能障害	男性、9歳
就学相談の際の検査(WISC4)で数値が高かったために知的支援級に入ることができず、普通級に通うことになった。その結果、障害に対して理解のない周囲の対応に耐えられず、二次障害を起こし社会不安障害で精神障害者の手帳2級となった。小学校に情緒支援級の設置を望みます。	精神障害	男性、10歳
小学校の特別支援学級に通っているが、生徒が多く先生が目が行き届かない部分がある。学習面にだいぶ遅れがあり日常生活でも幼さが目立つが、学校でのそのあたりの指導はされていない。先生の数を増やす等してほしい。	手帳・診断なし	男性、7歳

【2 区への意見・要望】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
新宿区は、障害者福祉予算もしっかり確保していると感じる。障害のある子どもが幸せに、豊かに生きていくことを願うあまり、保護者からはどうしても強い言葉で希望を伝えることがあるが、職員の方には感謝の念が絶えない。今回の調査が今後の区政に僅かでも役に立てばうれしい。	肢体不自由、内部障害	男性、16歳
様々なサービスがあるのは認識しているが、具体的にどんな場で使えるのか分からない。とにかくアクションがこちらからになる。区の窓口で相談しても放置された経験があり、相談する気にもならず信用もできない。	肢体不自由、視覚障害	男性、14歳
必要なサービスを探す際に、ホームページがわかりづらく非常に探しづらいため、区全体のホームページの仕様を改善してほしい。就学に対する相談等、どこにまとめて相談したら良いか分からない。不明な点や利用できる福祉サービスについてまとめて相談できる担当者がいると安心。	知的障害	女性、5歳
障害者福祉施策は成人の内容ばかりで、障害児はおまけ程度であまり扱われない印象。福祉は申請制で、親が情報をかき集めなくてはいけない。障害児も制度から外れると一気に八方塞がりになる。障害児の状況を取り上げてほしい。	知的障害	男性、3歳
幼児期や義務教育期間中は支援が手厚いと感じるところもあるが、義務教育が終わったとたん、支援や相談に乗ってもらえるところが少ない。アンケートを実施して、改善しようとしているのであれば、情報提供も同じようにしてほしい。	発達障害	男性、16歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
障害のある子どもが、地域の中で安心して学び、育ち、保護者も働き続けられる環境を整えてほしい。特に、預け先の不足、学校行事での合理的配慮の不足、外出先での差別的な対応など、日常生活で困難に直面する場面が多くある。	肢体不自由、 聴覚・平衡機能 障害	女性、13歳
区内にリハビリ施設が欲しい。福祉施設は基本駅から遠く、バスの本数も少なく移動が大変。最低1時間に2本ほど運行があるとタクシーを使わずに家庭支援センターに通いやすくなるため、バスの本数を増やしてほしい。	肢体不自由、 知的障害	男性、9歳
未就学児(ASD、ADHD等、障害児)の柵付きの公園、広場等を作って欲しい。公園に遊びに行った時、順番待ちが出来ない。ジロジロたくさんの保護者、子どもに見られる、そんな事が続き外出できなくなっている。	発達障害	女性、4歳
新宿区では様々な支援が用意されているにも関わらず、そのサービス情報や窓口情報がホームページなどで分かりやすくまとまっていない。情報をサイトで1箇所にかきやすくまとめる、最初の窓口を一元化するなどして、対象のサービス情報が一覧で把握できたらありがたい。	知的障害	女性、2歳
「障害」と言われると気持ちが重くなるため、せめて行政文章では「障がい」と表記して欲しい。公教育におけるギフトド見支援を促進して欲しい。	手帳・診断なし	男性、6歳

【3 福祉サービス】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
放課後等デイサービス(送迎付き、長時間預かり型)の空きがない。送迎してくれる移動支援事業者が見つからない。長期休暇中の預かり時間が短い。民間のベビーシッターサービスも小学生までの所が多い。	知的障害	男性、11歳
福祉に興味があり人を助けたいと思える若い人材が働き続けられる環境にして欲しい。人手不足だと緊急の際など助けてもらえなく大変。また、しょっちゅうヘルパーなどの変更があると子どもの情緒にも影響があるため困る。	肢体不自由	男性、16歳
制度はあっても、福祉人材不足で利用できないことが多い。	知的障害	男性、15歳
就学に合わせて、放課後等デイサービスを利用したいが、空きが少なく、待機が何十人もいる状況。新設の施設情報などどのように入手したらよいかわからず、このままだと、4月以降、母親の正社員としての就労が継続できない。	手帳・診断なし	男性、5歳
現在、医療的ケア児が通える放課後デイなどが少なく、情報もほぼない。長期休暇中はずっと家で過ごし、運動不足になったり、学習の機会が極端に減ることが心配。	内部障害	女性、9歳
体操教室では軽度の人ばかりで、中度から重い子は体育のレベルが高くなってついて行けず居場所がなくなり、やめていく人が多い。障害の軽度、中度、重度のそれぞれの人数枠を決めて入れるようにしてほしい。	知的障害、 発達障害	男性、12歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
車イス利用というだけで受け入れてもらえない事が多々ある。身体をメインとした施設はほぼないし、移動支援もないため利用できない。	肢体不自由	女性、6歳
夜間の一時預かり利用などもして欲しい。	手帳・診断なし	男性、5歳

【4 保育・療育】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
本人にあった療育を見つけるのが難しいため、それぞれの特性にあった療育機関やデイサービスの情報があると助かる。幼児、小学校、中学校、高校、就職と、長いスパンで続けてサポート頂けると安心できる。	発達障害	男性、4歳
療育施設が少ないこと、また療育施設がストックビジネス化していることが問題である。本来はビジネスではなく、適切な人に適切なだけ与えるサービスであるはずなのに、過剰な囲い込みなどがある。質の良い療育機関は費用が高い。このため、完全な公営の療育施設が一番良いと思われる。	手帳・診断なし	男性、4歳
療育に通う子どもと保育園の子どもが同じ空間で過ごします。療育の先生が専門的な指導をしつつ、本人が保育園の様々な年齢クラスを自由に行ったり来たりできる。療育に通いながら保育園のように預けられるので親も助かっている。このような発達支援の療育が新宿区にもあると良い。	知的障害	男性、4歳
療育が保育園や学校で一緒にできると良い。放課後等デイサービスの待ちが何年もあったり入れる所が新宿はほぼない。入れないから他区へ行っている。	知的障害	男性、12歳
障害が重い子どもの親ほど、忙しくなり情報や制度を知る機会が少ない。フルタイムで働いていると療育すら通えない。小学校入学前に療育につながる事が大切だと感じる。	発達障害	男性、6歳
療育を受ける上での自己負担がないことで、より気軽に気楽に支援が受けられている。療育を経て伸びている部分が多い。一部の療育施設ではあまり個別性を重視した内容と感じられず、画一的なものだったため、内容を精査できる仕組みがあると、より良い施設が増えるのではいか。	手帳・診断なし	男性、4歳
本人にとってどのような療育が良いか、そばで見ている親が最終的に決めるのが良いと思うが、小さい頃から半年の間でも一緒に本人の成長をみてくれる、そんな相談員さんがいてくれて、色々なことを相談できたら心強い。	知的障害、 発達障害	女性、9歳
あきらかな障害ではなく何となく普通の子と違う・・・？という子どもに対して「障害者福祉」を利用して良いのか悩む。このような子でも相談して良いのか、もう少し明るく相談できる窓口があってほしい。	手帳・診断なし	男性、5歳

【5 将来の不安】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
将来の悩みが一番大きい。仕事ができるか自立して一人で住めるか、親がいなくなったら国が守ってくれるか。中学校や寄宿学校へ行けるとしたら、いじめが起こるのが心配。	知的障害、 発達障害	男性、9歳
新宿区の障がい者支援はとても充実していて、助かっている。ただ親亡き後の事については常に不安があるので、入所可能な施設の選択が更に広がるとありがたい。	知的障害	男性、9歳
今一番心配なのは卒業後の余暇の過ごし方で、放課後等デイサービスが18歳までしか利用できないため不安を感じている。同年代とふれあえる居場所が学校を卒業すると一気になくならないようにしてほしい。	知的障害、 発達障害	男性、16歳
特別支援学校を卒業した後の就労や余暇の過ごし方に不安がある。親も高齢になるため、その時に対応できるのか、居場所はあるのか心配。親と子どもと一緒に入所できる施設や一緒に受けることができるケアサービスがあると安心。	知的障害	女性、12歳
軽度とはいえ、言葉の理解が健常者とは特異であったり、コミュニケーションに難があったり将来独り暮らしするのは難しい。通勤寮のように最小限のプライベートを保ちつつ、少しの手助けがありながら、本人なりの自立した生活が出来る施設が2年間限定でなく、暮らし続けられたらよい。	精神障害	男性、12歳
将来的に、できるだけ早い段階で新宿区内のグループホームに入居できる環境が整うことを望んでいる。親が元気なうちに週末だけ帰ってくるような距離感で見守れれば、「この子は大丈夫」と安心して将来を託せると思う。	知的障害	男性、12歳
高校卒業後の居場所について不安を感じている。肢体不自由の為、排泄や移動、食事の面において支援が必要だが、生活介護事業所では物足りないレベルの障害を持つ場合の受け皿が乏しい。日中ショートやショートステイを利用したい気持ちもあるが、送迎が大変な事もあり、利用に至っていない。高校卒業後は、放課後デイのような施設がほとんど無くなるため、親の就労継続ができるかどうか不安。	肢体不自由、 知的障害	女性、14歳
親が高齢になったり、亡くなった後、住み慣れた地域で生活を送れるよう、福祉の支援体制の整備をしてほしい。	知的障害、 発達障害	男性、16歳

【6 経済的支援】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
放課後デイサービスの利用料金の補助があり、とても助かっている。補助がなければ利用は困難なので、今後も継続してほしい。	手帳・診断なし	男性、7歳
子どもが三人いて、放課後等デイサービスと学童など組み合わせ毎日、居場所を確保しているが、全部お金がかかるので経済的にしんどい。将来、姉弟に負担を掛けないためのお金の確保もしなければと必死です。	知的障害、 発達障害	女性、10歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
小学生になった時に放デイの利用料が心配。世帯所得で、差が大きく有りすぎる。適切な支援を受け続けるためにも金額を一律にしてほしいです。	手帳・診断なし	女性、3歳
どこかに通うにも個別、少人数のところを選ばなくてはいけないので余計に費用がかかってしまう。フリースクールなどの費用補助があったらありがたい。	発達障害、 難病	男性、17歳
聴覚障害に限らず、障害者の金銭的負担が無いよう、装具、器具などは、区や国が負担する制度を整備してもらいたい。税金を有効に使ってもらいたい。	聴覚・平衡機能 障害	男性、8歳
収入面での将来的な不安は大きいので、充実した経済的支援をいただくと安心につながるように思います。	知的障害	女性、16歳
学習障害の子はほとんど支援を受けられず、親が実費で習い事や私立に通わせるしかなく、経済的にもかなり苦しい。	発達障害	男性、16歳
障害を改善するための自費診療(栄養指導など)や、定期的な言語聴覚士によるトレーニング、自費の療育など経済的な負担が大きい。色々な手当があるが、所得制限があるため受けることができない。所得制限の撤廃・見直しをしてほしい。	知的障害	男性、11歳

【7 家族支援】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
障害者自身を支援するサービスの普及度に対して、その家族を支援するサービスの普及度は低い。障害を持つ子の親はどうしても焦りや孤独を味わう場面が多い。当事者だけでなく家族の精神的な負担が減らせる場が増えるとよい。	発達障害	男性、10歳
親が高齢になった際、きょうだい児に負担がかかるため、自治体としての支援体制を整備してほしい。	手帳・診断なし	女性、5歳
保護者自身の休息やきょうだい児への支援も含め、家族全体を支える仕組みが広がることを期待している。	肢体不自由、 知的障害	男性、9歳
障害者を育てる親を支援する施策がほしい。両親や親族と一緒に過ごすことが障害者本人にとっても幸せだと思う。仕事と介護の両立はとても大変で、身体的精神的な負担を感じる。両親のケアをしてくれる施策が充実すればよい。	知的障害	女性、7歳
放課後デイサービスだけでは本人の家族の困りごとは全く解決されない。様々な育てにくさから小さな頃(就学前)から保健センターや保育園にも相談してきたが、必要な支援にはその時にはたどり着かず孤独な育児の期間を過ごしてきた。幅広くサポート、支援がもらえるようにしてほしい。	手帳・診断なし	男性、8歳
障害者やその家族同士が話し合えるようなコミュニティ、居場所があれば、一人で抱え込んだり、本人や家族が追い詰められることが少なくなる。当事者間の交流の場所がもっとあれば良い。孤立させない体制を作してほしい。	手帳・診断なし	女性、5歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
親の精神的負担や経済的負担が大きい。理解できるのは同じ状況の障害児の親だけだと思う。相談機関も子どもの事しか相談できないので、ストレスで病気になる親も多い。	発達障害	男性、13歳
療育施設へ通わせて頂けてから変化もあり、これが成長(成果)なのか月齢によるものか分からないが、母一人で抱えるものが大きいので、共に育ててくれる環境、育児の相談が出来ることはありがたい。	手帳・診断なし	男性、5歳

【8 障害理解】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
自閉症スペクトラムに対しての認識の低さを感じる。子ども同士では助け合い差別もないのに、そこに親が加わると息子と接しないように避けられる。	発達障害	男性、5歳
障がい者向けだけではなく、共に生きる地域の人・子ども向けの情報発信・人材育成(学校等で、合理的配慮のために必要なことを備えたり、他の子どもたちに説明したりできる人)が必要なのではないか。	手帳・診断なし	女性、5歳
普通級に通う子どもたちは、交流を持たない児童に関しては、指をさすような行為を平気で行う。実際に直接交流を行なっている児童は少ない。副籍交流を利用する際、子どもと学校をよく知るスクールコーディネーター等、障害児と学級の子どもたちを楽しく明るく繋ぐ団体があるとよい。	知的障害	男性、9歳
趣味、運動、スポーツなどが一般の方と一緒に活動できる機会が増えると障害に対する理解も進みやすい。	知的障害	女性、11歳

【9 健康・医療】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
現在、体調が不安定な為、どこかで預かって欲しいとは思っていないが、その分医療面はずっと不安だと感じている。	肢体不自由、音声・言語・そしやく機能障害、難病	女性、9歳
訪問看護、医療ケア児のレスパイト制度も大きな支えです。レスパイト制度の利用条件に在宅だけでなく、病院受診の際の同行も許可してもらいたい。訪問してくれる看護師と医師からの話を一緒に聞くことも今後のケアに役に立ちます。	聴覚・平衡機能障害、内部障害	女性、0歳

【10 その他】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
障害のある子どもが大人になり、いつかその人生を終える時まで、ずっと孤独にならず人間らしく過ごせるようなサポートがあると、親として安心です。	肢体不自由、音声・言語・そしやく機能障害	男性、3歳
賃貸住宅で、子どものかんしゃくに伴う騒音で近隣住民とトラブルになった事がある。引越しを考えても衝動性の観点から1～2階に限定されるため、住居探しに苦慮している。	手帳・診断なし	男性、5歳

IV サービス事業者を対象とした調査

1 事業運営について

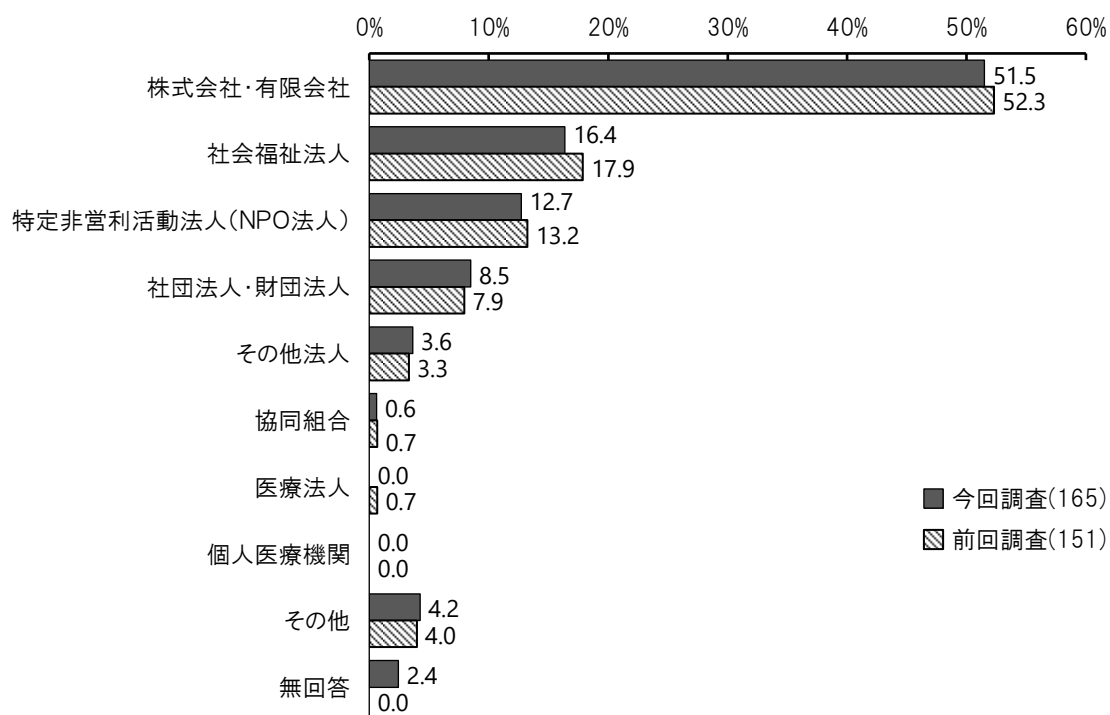
(1)経営主体

問1 貴事業所の経営主体をお聞きします。(○はひとつ)

◆「株式会社・有限会社」が51.5%

【全体】

・「株式会社・有限会社」が51.5%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が16.4%、「特定非営利活動法人(NPO法人)」が12.7%などとなっています。



【提供サービス別(参考)】

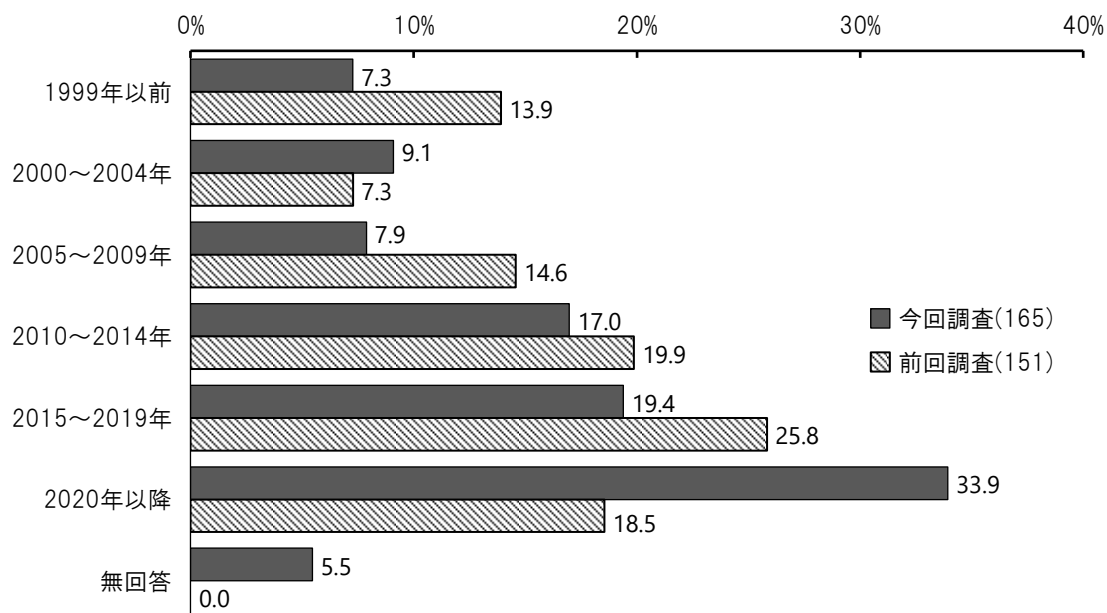
上段:人 下段:%	全体	社会福祉法人	医療法人	財団法人・ 社団法人	株式会社・ 有限会社	(NPO法人) 特定非営利 活動法人	協同組合	その他法人	個人医療機関	その他	無回答
全体	165 100.0	27 16.4	-	14 8.5	85 51.5	21 12.7	1 0.6	6 3.6	-	7 4.2	4 2.4
居宅介護	59 100.0	5 8.5	-	1 1.7	39 66.1	6 10.2	1 1.7	3 5.1	-	3 5.1	1 1.7
重度訪問介護	38 100.0	3 7.9	-	1 2.6	25 65.8	4 10.5	-	3 7.9	-	1 2.6	1 2.6
同行援護	15 100.0	1 6.7	-	-	5 33.3	5 33.3	1 6.7	1 6.7	-	1 6.7	1 6.7
行動援護	4 100.0	1 25.0	-	-	2 50.0	-	-	-	-	1 25.0	-
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	6 100.0	5 83.3	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-	-
短期入所(ショートステイ)	5 100.0	3 60.0	-	-	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	-
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	12 100.0	2 16.7	-	3 25.0	5 41.7	-	-	-	-	1 8.3	1 8.3
就労移行支援	17 100.0	2 11.8	-	2 11.8	13 76.5	-	-	-	-	-	-
就労選択支援	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
就労継続支援(A型)	3 100.0	-	-	-	3 100.0	-	-	-	-	-	-
就労継続支援(B型)	25 100.0	11 44.0	-	5 20.0	5 20.0	4 16.0	-	-	-	-	-
就労定着支援	15 100.0	1 6.7	-	2 13.3	11 73.3	1 6.7	-	-	-	-	-
自立生活援助	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-
共同生活援助 (グループホーム)	7 100.0	4 57.1	-	-	1 14.3	2 28.6	-	-	-	-	-
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	23 100.0	5 21.7	-	4 17.4	5 21.7	5 21.7	-	1 4.3	-	2 8.7	1 4.3
移動支援事業	26 100.0	4 15.4	-	1 3.8	14 53.8	2 7.7	1 3.8	1 3.8	-	2 7.7	1 3.8
地域活動支援センター事業	4 100.0	2 50.0	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	-	-
日中一時支援事業	4 100.0	3 75.0	-	-	-	1 25.0	-	-	-	-	-
児童発達支援	19 100.0	-	-	1 5.3	10 52.6	4 21.1	-	1 5.3	-	2 10.5	1 5.3
放課後等デイサービス	24 100.0	-	-	1 4.2	15 62.5	4 16.7	-	2 8.3	-	1 4.2	1 4.2
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
保育所等訪問支援	4 100.0	-	-	-	3 75.0	-	-	-	-	1 25.0	-
障害児相談支援	9 100.0	-	-	1 11.1	3 33.3	3 33.3	-	1 11.1	-	1 11.1	-
その他	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2)開業年

問2 貴事業所の開業年をお聞きます。

◆「2020年以降」が33.9%、

・「2020年以降」が33.9%で最も多く、次いで「2015～2019年」が19.4%、「2010～2014年」が17.0%などとなっています。



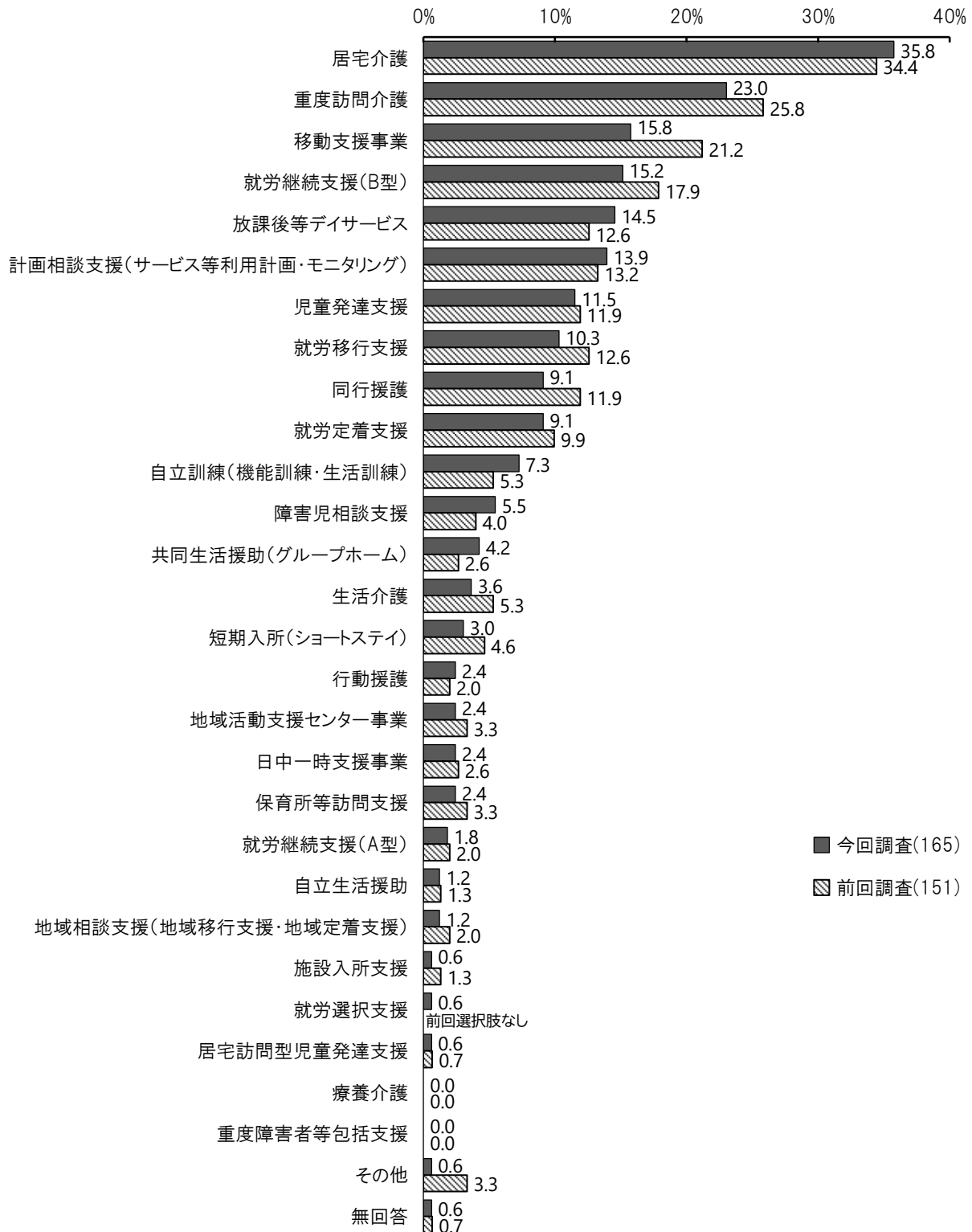
(3)提供しているサービス [複数回答]

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、相談支援、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞きします。(〇はいくつでも)

◆「居宅介護」が35.8%

【全体】

・「居宅介護」が35.8%で最も多く、次いで「重度訪問介護」が23.0%、「移動支援事業」が15.8%などとなっています。



【対象としている障害種別等別】

単位:%、()内は回答者総数

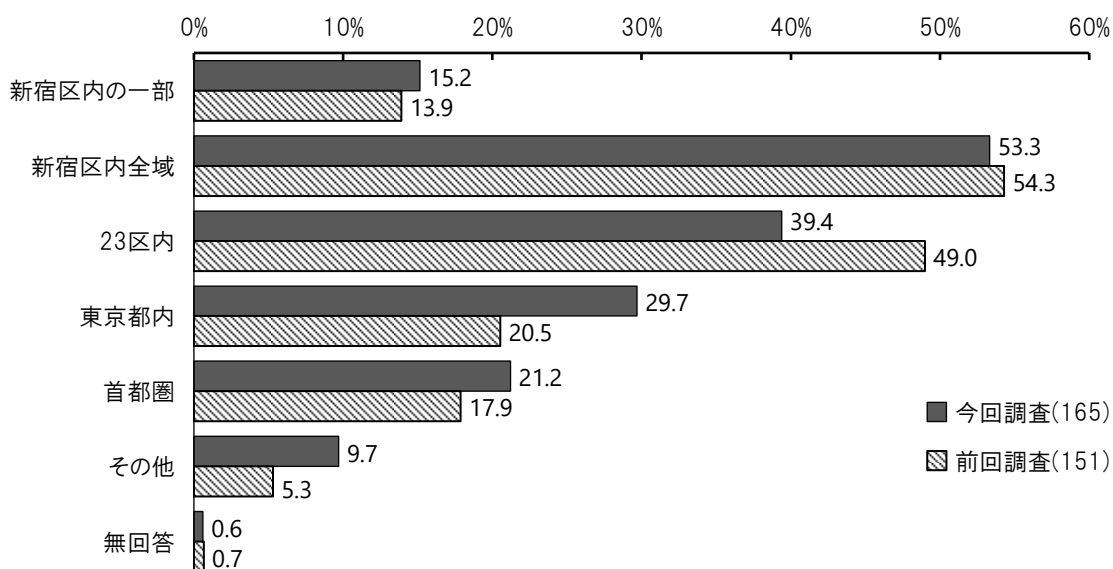
選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害 (高次脳機能障害を含む)	発達障害	難病
総数	(95)	(97)	(92)	(96)	(40)
居宅介護	60.0	35.1	32.6	29.2	60.0
重度訪問介護	37.9	26.8	25.0	24.0	57.5
移動支援事業	27.4	20.6	17.4	17.7	22.5
就労継続支援(B型)	11.6	14.4	18.5	11.5	10.0
放課後等デイサービス	6.3	17.5	3.3	18.8	2.5
計画相談支援(サービス等利用計画・モニタリング)	13.7	14.4	16.3	14.6	15.0
児童発達支援	4.2	12.4	1.1	13.5	-
就労移行支援	7.4	10.3	15.2	14.6	15.0
同行援護	15.8	7.2	6.5	7.3	7.5
就労定着支援	6.3	9.3	15.2	13.5	15.0
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	2.1	3.1	9.8	5.2	-
障害児相談支援	5.3	5.2	5.4	8.3	7.5
共同生活援助(グループホーム)	-	4.1	5.4	2.1	2.5
生活介護	4.2	4.1	1.1	1.0	-
短期入所(ショートステイ)	3.2	2.1	2.2	1.0	-
行動援護	4.2	4.1	3.3	4.2	5.0
地域活動支援センター事業	1.1	-	4.3	3.1	-
日中一時支援事業	3.2	3.1	-	2.1	-
保育所等訪問支援	2.1	2.1	1.1	3.1	-
就労継続支援(A型)	2.1	3.1	3.3	3.1	5.0
自立生活援助	1.1	1.0	2.2	2.1	2.5
地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)	-	1.0	1.1	1.0	-
施設入所支援	1.1	-	1.1	-	-
就労選択支援	1.1	1.0	1.1	1.0	2.5
居宅訪問型児童発達支援	1.1	-	-	-	-
療養介護	-	-	-	-	-
重度障害者等包括支援	-	-	-	-	-
その他	1.1	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-

(4)事業エリア [複数回答]

問4 貴事業所が事業を展開しているエリア(サービス利用対象者がお住まいの範囲)をお答えください。(〇はいくつでも)

◆「新宿区内全域」が53.3%

- ・「新宿区内全域」が53.3%で最も多く、次いで「23区内」が39.4%、「東京都内」が29.7%などとなっています。



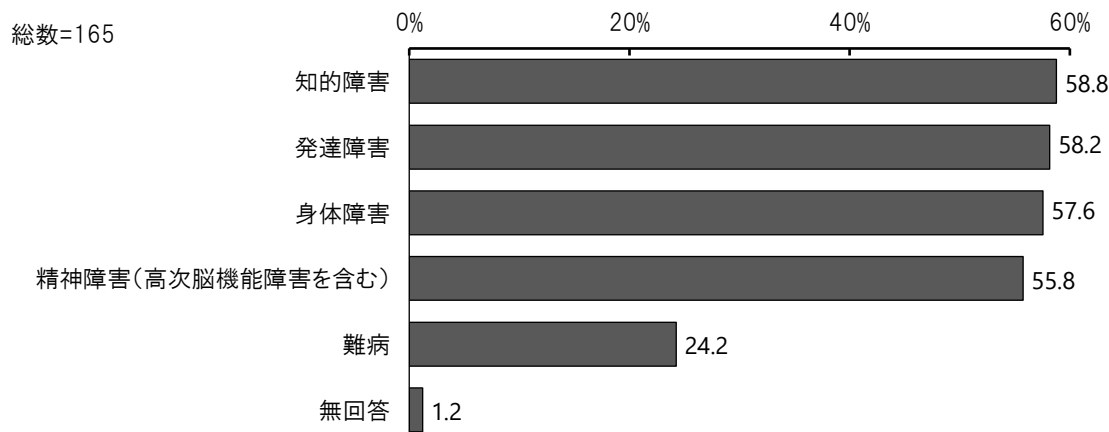
(5)対象としている障害種別等 [複数回答]

問5 貴事業所が主に対象としている障害種別等をお聞きます。(〇はいくつでも)

①対象としている障害種別等 [複数回答]

◆「知的障害」が58.8%

- ・「知的障害」が58.8%で最も多く、次いで「発達障害」が58.2%、「身体障害」が57.6%、「精神障害(高次脳機能障害を含む)」が55.8%、「難病」が24.2%となっています。

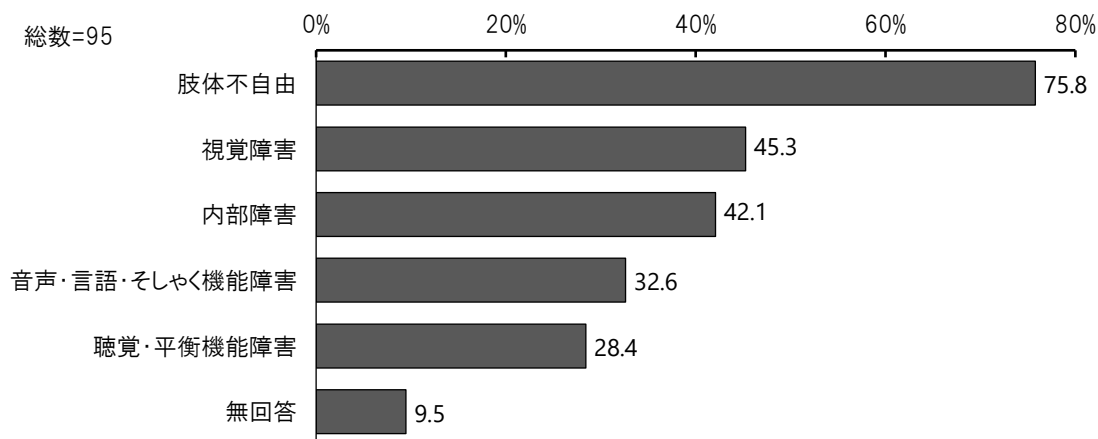


②対象としている身体障害の種類 [複数回答]

【参考】「身体障害」を選択した場合、可能であれば下記の種別を全てお選びください。

◆「肢体不自由」が75.8%

・「肢体不自由」が75.8%で最も多く、次いで「視覚障害」が45.3%、「内部障害」が42.1%などとなっています。



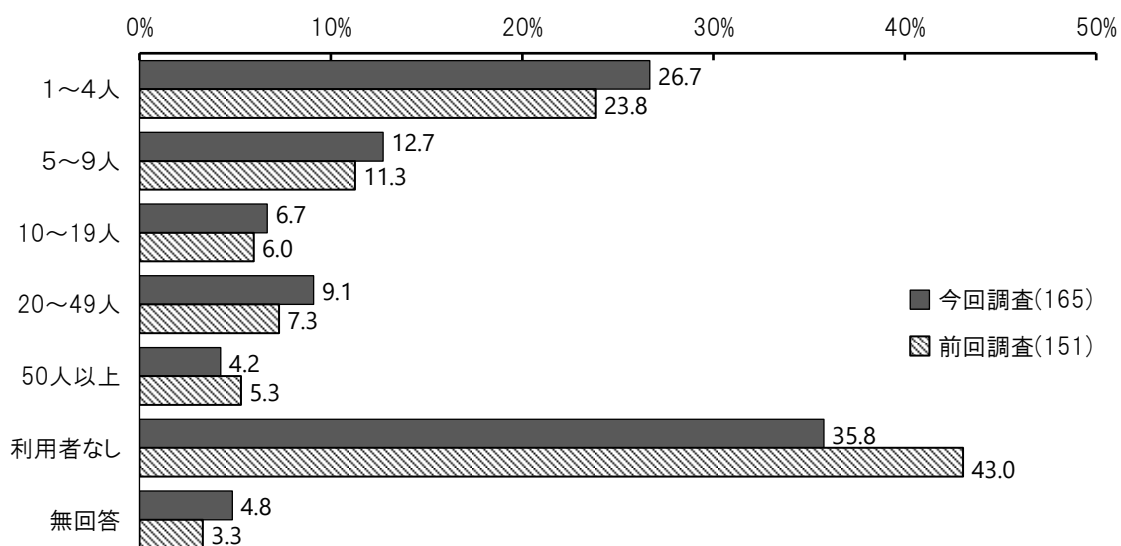
(6)利用者数

問6 貴事業所でサービスを提供している利用者数をお聞きします。障害別にお答えください。

①身体障害

◆「1~4人」が26.7%

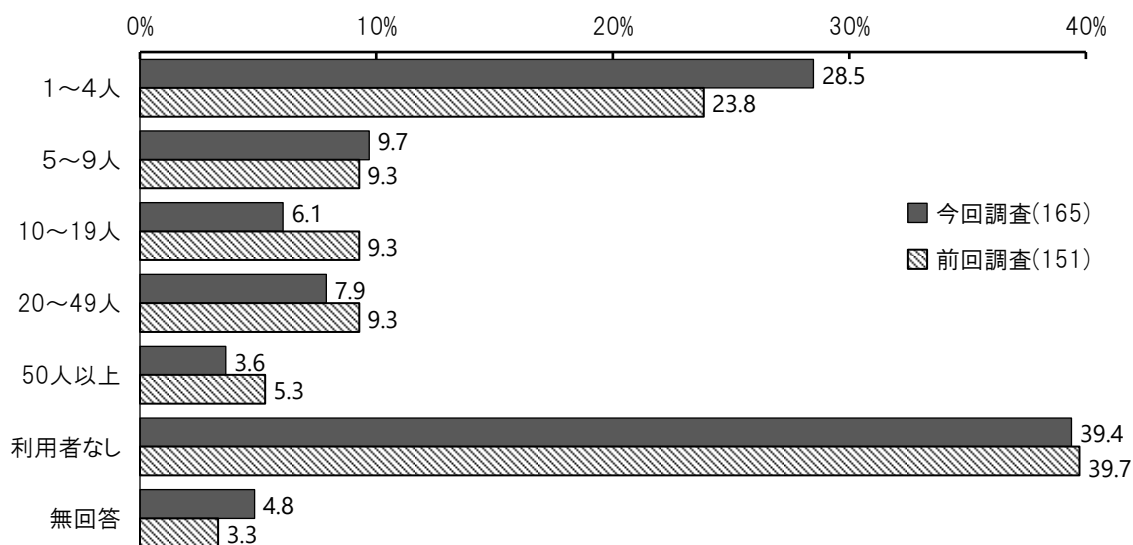
・「1~4人」が26.7%で最も多く、次いで「5~9人」が12.7%、「20~49人」が9.1%などとなっています。「利用者なし」は35.8%となっています。



②知的障害

◆「1～4人」が28.5%

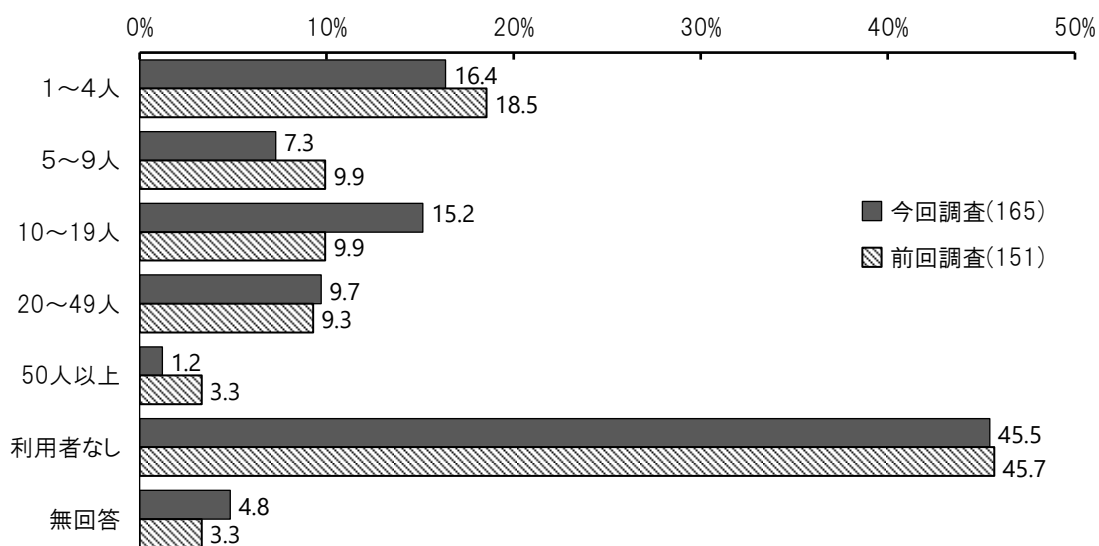
- ・「1～4人」が28.5%で最も多く、次いで「5～9人」が9.7%、「20～49人」が7.9%などとなっています。「利用者なし」は39.4%となっています。



③精神障害(高次脳機能障害を含む)

◆「1～4人」が16.4%

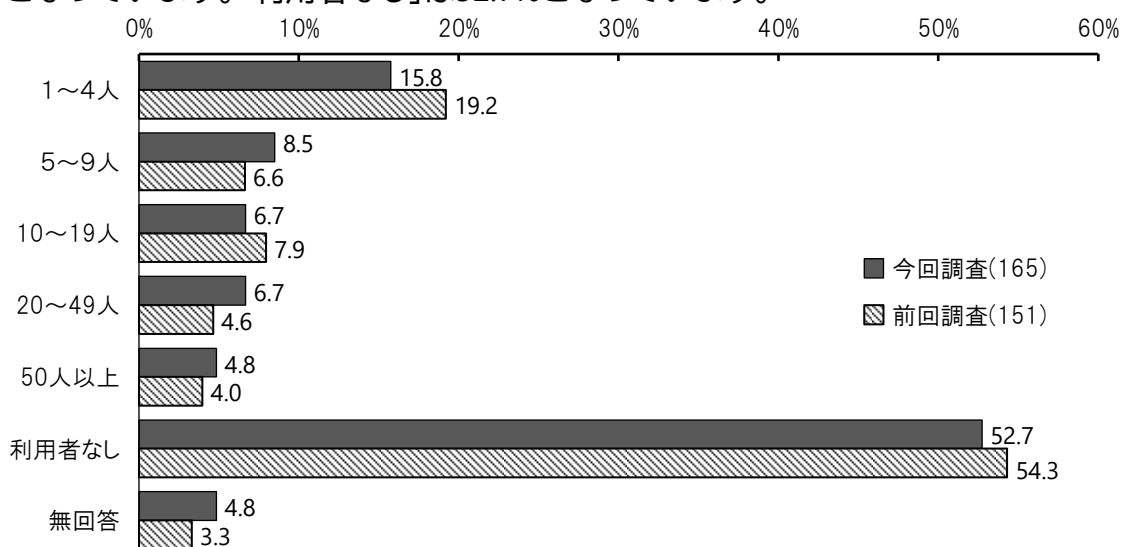
- ・「1～4人」が16.4%で最も多く、次いで「10～19人」が15.2%、「20～49人」が9.7%などとなっています。「利用者なし」は45.5%となっています。



④発達障害

◆「1～4人」が15.8%

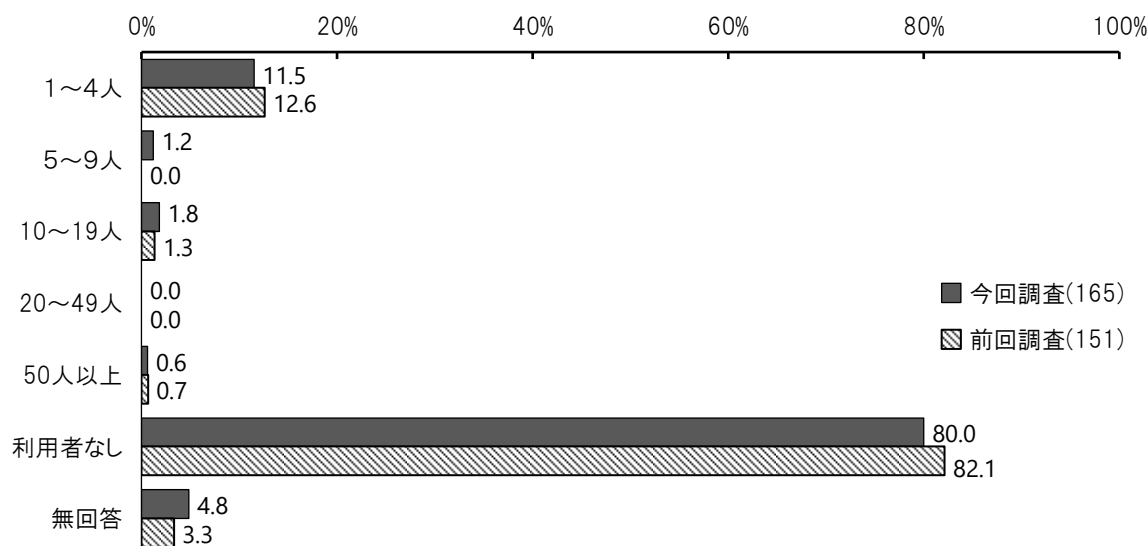
- ・「1～4人」が15.8%で最も多く、次いで「5～9人」が8.5%、「10～19人」と「20～49人」が6.7%などとなっています。「利用者なし」は52.7%となっています。



⑤難病

◆「1～4人」が11.5%

- ・「1～4人」が11.5%で最も多く、次いで「10～19人」が1.8%、「5～9人」が1.2%などとなっています。「利用者なし」は80.0%となっています。



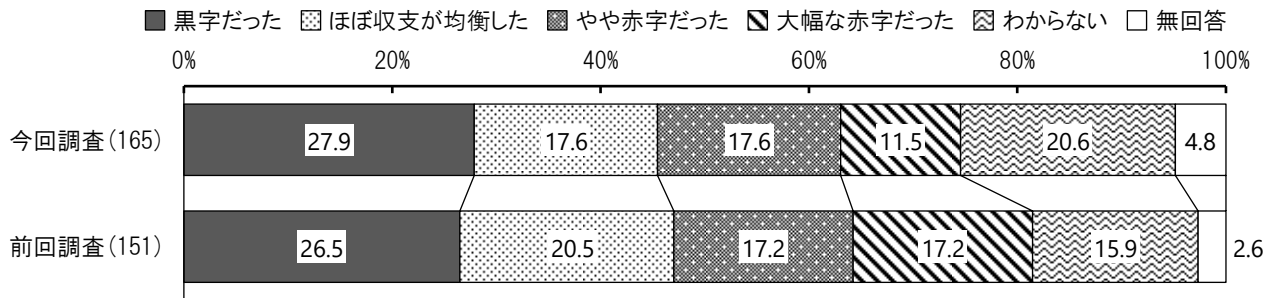
(7)事業収支

問7 貴事業所の令和6年度の事業の収支をお聞きます。(○はひとつ)

◆「黒字だった」が27.9%

【全体】

・「黒字だった」が27.9%で最も多く、次いで「ほぼ収支が均衡した」と「やや赤字だった」が17.6%、「大幅な赤字だった」が11.5%となっています。「わからない」は20.6%となっています。



【提供サービス別(参考)】

上段:人 下段:%	全体	黒字だった	ほぼ収支が 均衡した	やや赤字 だった	大幅な赤字 だった	わからない	無回答
全体	165 100.0	46 27.9	29 17.6	29 17.6	19 11.5	34 20.6	8 4.8
居宅介護	59 100.0	16 27.1	13 22.0	12 20.3	5 8.5	10 16.9	3 5.1
重度訪問介護	38 100.0	11 28.9	12 31.6	9 23.7	3 7.9	2 5.3	1 2.6
同行援護	15 100.0	6 40.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3
行動援護	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	6 100.0	2 33.3	2 33.3	-	-	1 16.7	1 16.7
短期入所(ショートステイ)	5 100.0	1 20.0	3 60.0	-	1 20.0	-	-
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	12 100.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	3 25.0	-
就労移行支援	17 100.0	4 23.5	1 5.9	7 41.2	1 5.9	3 17.6	1 5.9
就労選択支援	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
就労継続支援(A型)	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	1 33.3
就労継続支援(B型)	25 100.0	11 44.0	4 16.0	5 20.0	2 8.0	3 12.0	-
就労定着支援	15 100.0	7 46.7	1 6.7	3 20.0	1 6.7	3 20.0	-
自立生活援助	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0
共同生活援助 (グループホーム)	7 100.0	2 28.6	-	1 14.3	3 42.9	1 14.3	-
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	2 100.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	23 100.0	3 13.0	5 21.7	5 21.7	2 8.7	7 30.4	1 4.3
移動支援事業	26 100.0	9 34.6	6 23.1	5 19.2	2 7.7	3 11.5	1 3.8
地域活動支援センター事業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	-	2 50.0	-
日中一時支援事業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-
児童発達支援	19 100.0	3 15.8	5 26.3	2 10.5	3 15.8	5 26.3	1 5.3
放課後等デイサービス	24 100.0	6 25.0	6 25.0	2 8.3	5 20.8	4 16.7	1 4.2
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
保育所等訪問支援	4 100.0	-	1 25.0	-	1 25.0	2 50.0	-
障害児相談支援	9 100.0	2 22.2	2 22.2	-	2 22.2	2 22.2	1 11.1
その他	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-

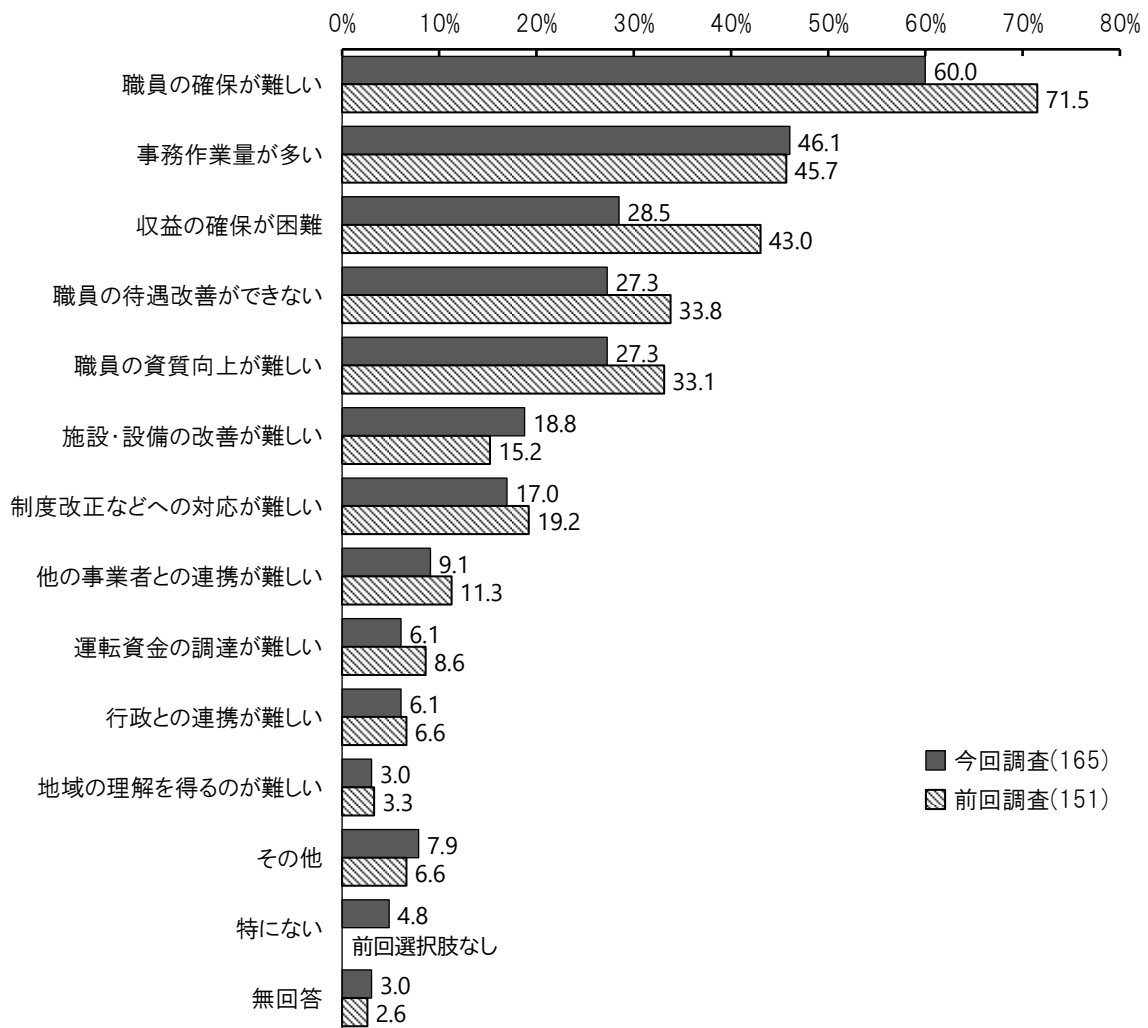
(8)経営上の課題 [複数回答]

問8 貴事業所を経営していく上で課題となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

◆「職員の確保が難しい」が60.0%

【全体】

・「職員の確保が難しい」が60.0%で最も多く、次いで「事務作業量が多い」が46.1%、「収益の確保が困難」が28.5%などとなっています。



【提供サービス別(参考)】

上段:人 下段:%	全体	職員の確保が 難しい	職員の待遇改善 ができない	職員の資質向上 が難しい	事務作業量が 多い	施設・設備の 改善が難しい	制度改正などへの 対応が難しい	収益の確保が 困難	調達が難しい	運転資金の 連携が難しい	他の事業者との 連携が難しい	行政との連携が 難しい	地域の理解を 得るのが難しい	その他	特にな い	無回 答
全体	165 100.0	99 60.0	45 27.3	45 27.3	76 46.1	31 18.8	28 17.0	47 28.5	10 6.1	15 9.1	10 6.1	5 3.0	13 7.9	8 4.8	5 3.0	
居宅介護	59 100.0	48 81.4	14 23.7	18 30.5	29 49.2	4 6.8	13 22.0	15 25.4	3 5.1	5 8.5	2 3.4	1 1.7	3 5.1	1 1.7	1 1.7	
重度訪問介護	38 100.0	32 84.2	6 15.8	10 26.3	23 60.5	1 2.6	10 26.3	11 28.9	3 7.9	4 10.5	2 5.3	1 2.6	2 5.3	-	-	
同行援護	15 100.0	9 60.0	2 13.3	3 20.0	10 66.7	1 6.7	2 13.3	3 20.0	1 6.7	1 6.7	-	-	3 20.0	-	1 6.7	
行動援護	4 100.0	1 25.0	-	2 50.0	2 50.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
生活介護	6 100.0	5 83.3	1 16.7	4 66.7	4 66.7	4 66.7	-	-	-	-	-	-	1 16.7	-	-	
短期入所(ショートステイ)	5 100.0	5 100.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
施設入所支援	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	12 100.0	5 41.7	1 8.3	3 25.0	5 41.7	5 41.7	2 16.7	7 58.3	-	1 8.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	-	
就労移行支援	17 100.0	3 17.6	4 23.5	3 17.6	9 52.9	4 23.5	1 5.9	6 35.3	-	1 5.9	1 5.9	1 5.9	2 11.8	-	2 11.8	
就労選択支援	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
就労継続支援(A型)	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	2 66.7	-	-	1 33.3	-	-	-	-	-	
就労継続支援(B型)	25 100.0	12 48.0	6 24.0	9 36.0	12 48.0	9 36.0	2 8.0	6 24.0	2 8.0	2 8.0	3 12.0	-	5 20.0	3 12.0	-	
就労定着支援	15 100.0	5 33.3	4 26.7	3 20.0	7 46.7	6 40.0	2 13.3	3 20.0	-	1 6.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3	-	2 13.3	
自立生活援助	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	
共同生活援助 (グループホーム)	7 100.0	7 100.0	3 42.9	2 28.6	5 71.4	1 14.3	3 42.9	3 42.9	1 14.3	-	1 14.3	-	-	-	-	
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	23 100.0	12 52.2	7 30.4	7 30.4	14 60.9	4 17.4	3 13.0	7 30.4	3 13.0	2 8.7	1 4.3	-	1 4.3	2 8.7	-	
移動支援事業	26 100.0	20 76.9	8 30.8	10 38.5	13 50.0	3 11.5	6 23.1	6 23.1	1 3.8	4 15.4	2 7.7	1 3.8	1 3.8	-	-	
地域活動支援センター事業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	
日中一時支援事業	4 100.0	4 100.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	
児童発達支援	19 100.0	13 68.4	6 31.6	6 31.6	8 42.1	6 31.6	2 10.5	7 36.8	2 10.5	1 5.3	-	1 5.3	1 5.3	1 5.3	1 5.3	
放課後等デイサービス	24 100.0	10 41.7	9 37.5	5 20.8	13 54.2	5 20.8	5 20.8	9 37.5	2 8.3	3 12.5	1 4.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2	
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
保育所等訪問支援	4 100.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	
障害児相談支援	9 100.0	4 44.4	3 33.3	3 33.3	7 77.8	1 11.1	-	3 33.3	1 11.1	-	-	-	-	-	-	
その他	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

2 職員について

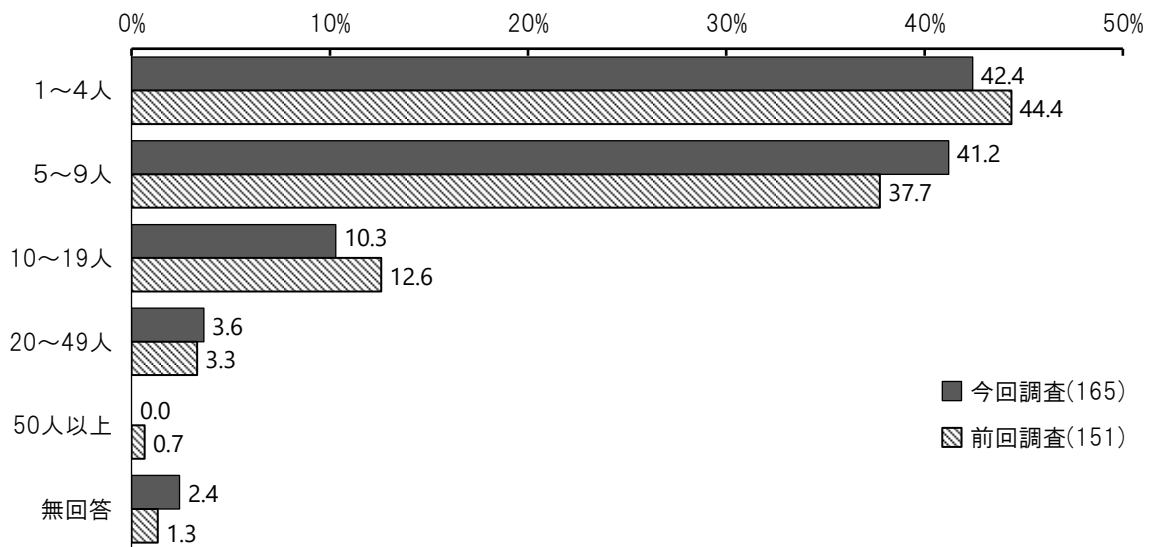
(1)職員数

問9 貴事業所の職員数をお聞きます。

①常勤職員

◆「1～4人」が42.4%

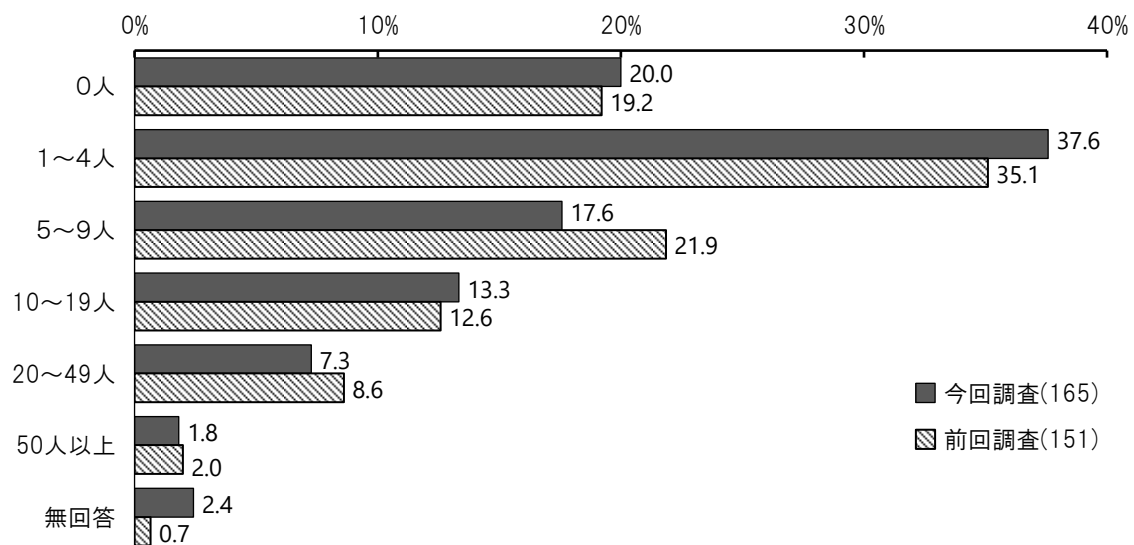
・「1～4人」が42.4%で最も多く、次いで「5～9人」が41.2%、「10～19人」が10.3%などとなっています。



②非常勤職員

◆「1～4人」が37.6%

・「1～4人」が37.6%で最も多く、次いで「5～9人」が17.6%、「10～19人」が13.3%などとなっています。「0人」は20.0%となっています。



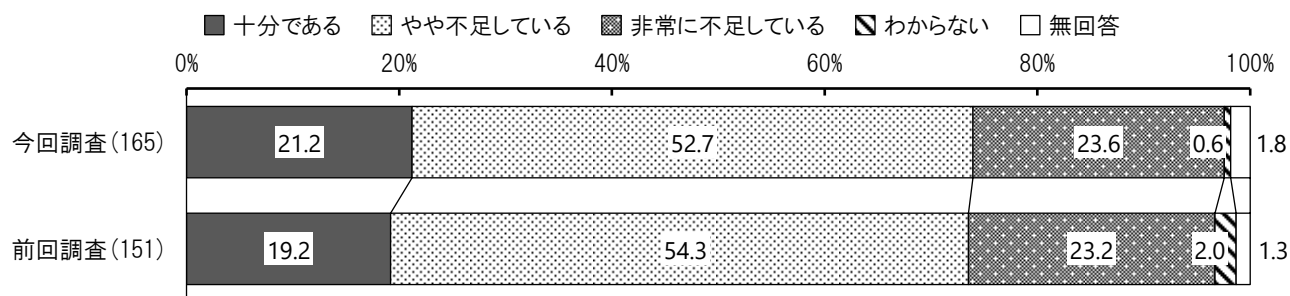
(2)職員の充足状況

問10 貴事業所の業務量に対して、職員の充足状況(人手)はいかがですか。(○はひとつ)

◆「やや不足している」が52.7%

【全体】

・「やや不足している」が52.7%で最も多く、次いで「非常に不足している」が23.6%、「十分である」が21.2%、「わからない」が0.6%となっています。



【提供サービス別(参考)】

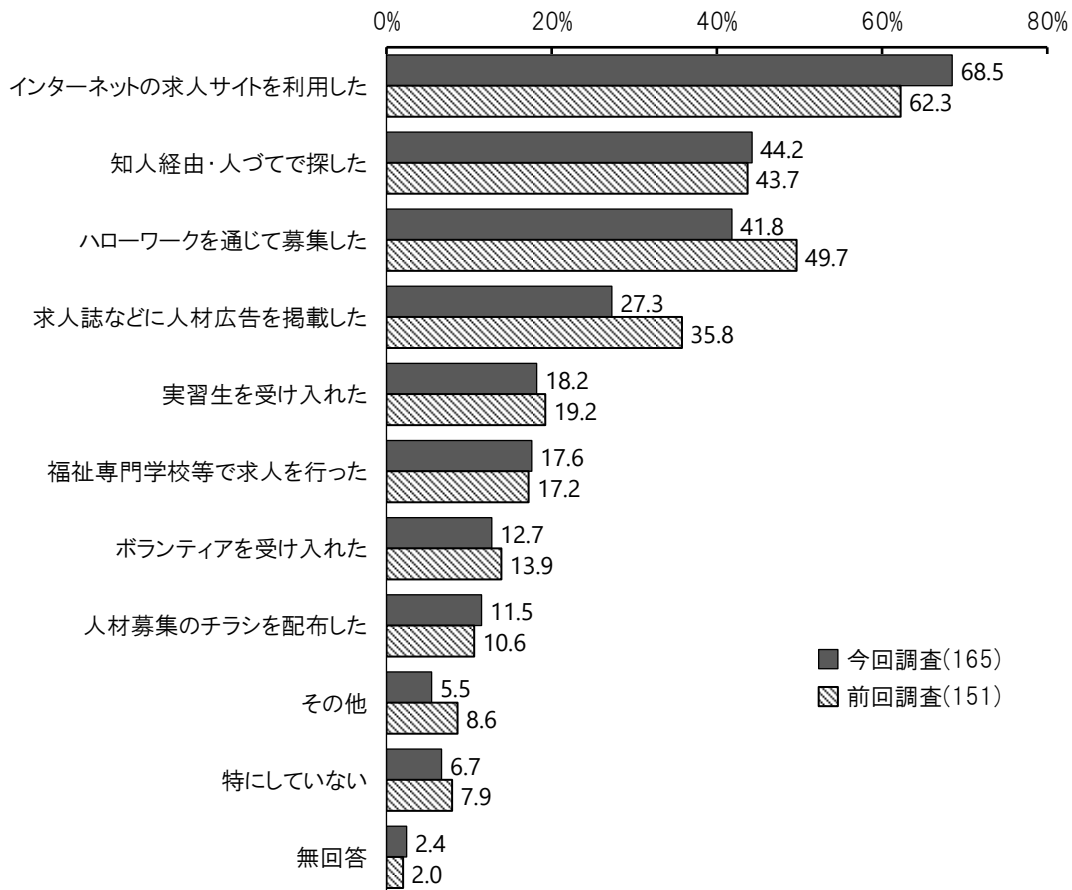
上段:人 下段:%	全体	十分である	やや不足 している	非常に不足 している	わからない	無回答
全体	165 100.0	35 21.2	87 52.7	39 23.6	1 0.6	3 1.8
居宅介護	59 100.0	3 5.1	27 45.8	27 45.8	-	2 3.4
重度訪問介護	38 100.0	1 2.6	19 50.0	16 42.1	-	2 5.3
同行援護	15 100.0	2 13.3	8 53.3	4 26.7	-	1 6.7
行動援護	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-	-	-
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	6 100.0	1 16.7	5 83.3	-	-	-
短期入所(ショートステイ)	5 100.0	-	5 100.0	-	-	-
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	12 100.0	5 41.7	5 41.7	2 16.7	-	-
就労移行支援	17 100.0	7 41.2	10 58.8	-	-	-
就労選択支援	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
就労継続支援(A型)	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-
就労継続支援(B型)	25 100.0	4 16.0	20 80.0	1 4.0	-	-
就労定着支援	15 100.0	5 33.3	10 66.7	-	-	-
自立生活援助	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0
共同生活援助 (グループホーム)	7 100.0	-	7 100.0	-	-	-
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	23 100.0	5 21.7	16 69.6	2 8.7	-	-
移動支援事業	26 100.0	4 15.4	12 46.2	9 34.6	-	1 3.8
地域活動支援センター事業	4 100.0	-	4 100.0	-	-	-
日中一時支援事業	4 100.0	-	3 75.0	1 25.0	-	-
児童発達支援	19 100.0	4 21.1	7 36.8	7 36.8	1 5.3	-
放課後等デイサービス	24 100.0	9 37.5	10 41.7	4 16.7	1 4.2	-
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
保育所等訪問支援	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-	-	-
障害児相談支援	9 100.0	3 33.3	5 55.6	-	-	1 11.1
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-

(3)人材確保のための取り組み [複数回答]

問11 貴事業所では、人材確保のための取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

◆「インターネットの求人サイトを利用した」が68.5%

・「インターネットの求人サイトを利用した」が68.5%で最も多く、次いで「知人経由・人づてで探した」が44.2%、「ハローワークを通じて募集した」が41.8%などとなっています。

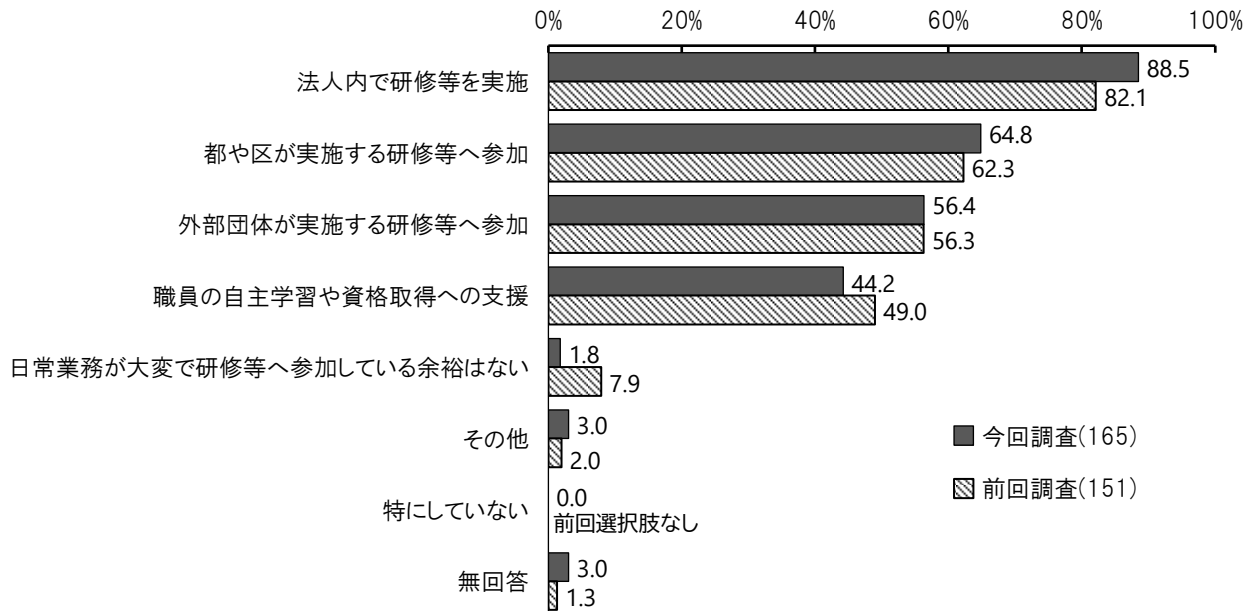


(4)人材育成のための取り組み [複数回答]

問12 貴事業所では、人材育成のための取組をしていますか。(〇はいくつでも)

◆「法人内で研修等を実施」が88.5%

・「法人内で研修等を実施」が88.5%で最も多く、次いで「都や区が実施する研修等へ参加」が64.8%、「外部団体が実施する研修等へ参加」が56.4%などとなっています。



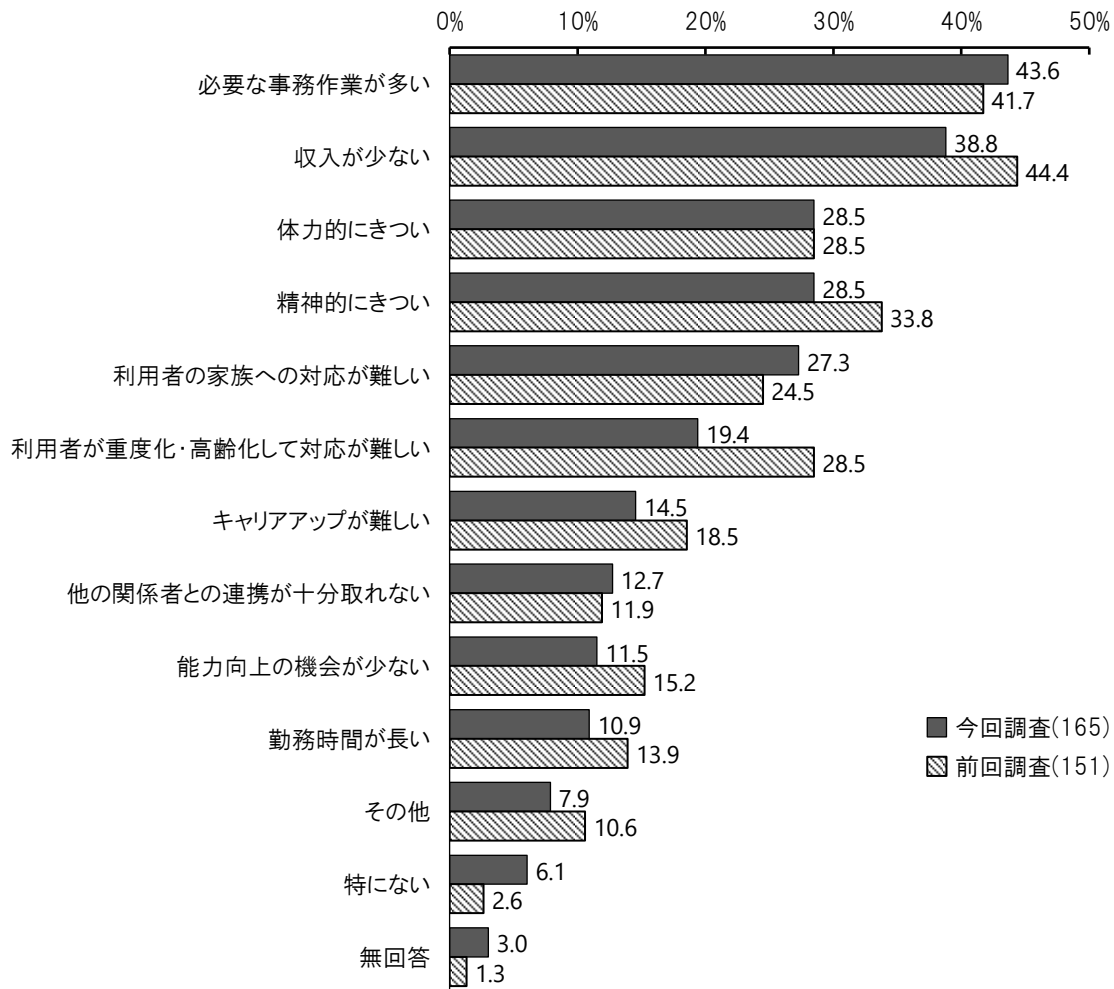
(5)職員が困っていること [複数回答]

問13 貴事業所の職員の方は、どのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

◆「必要な事務作業が多い」が43.6%

【全体】

・「必要な事務作業が多い」が43.6%で最も多く、次いで「収入が少ない」が38.8%、「体力的にきつい」と「精神的にきつい」が28.5%などとなっています。



【提供サービス別(参考)】

上段:人 下段:%	全体	勤務時間が長い	体力的にきつい	精神的にきつい	収入が少ない	能力向上の機会が 少ない	キャリアアップが 難しい
全体	165 100.0	18 10.9	47 28.5	47 28.5	64 38.8	19 11.5	24 14.5
居宅介護	59 100.0	10 16.9	26 44.1	21 35.6	16 27.1	2 3.4	6 10.2
重度訪問介護	38 100.0	5 13.2	15 39.5	13 34.2	10 26.3	2 5.3	4 10.5
同行援護	15 100.0	1 6.7	5 33.3	4 26.7	4 26.7	1 6.7	1 6.7
行動援護	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	6 100.0	-	-	-	2 33.3	-	1 16.7
短期入所(ショートステイ)	5 100.0	-	1 20.0	-	1 20.0	-	1 20.0
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	12 100.0	1 8.3	1 8.3	3 25.0	4 33.3	1 8.3	2 16.7
就労移行支援	17 100.0	1 5.9	4 23.5	8 47.1	9 52.9	1 5.9	2 11.8
就労選択支援	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-
就労継続支援(A型)	3 100.0	-	-	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7
就労継続支援(B型)	25 100.0	2 8.0	2 8.0	6 24.0	15 60.0	2 8.0	3 12.0
就労定着支援	15 100.0	1 6.7	5 33.3	9 60.0	8 53.3	2 13.3	3 20.0
自立生活援助	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-
共同生活援助 (グループホーム)	7 100.0	2 28.6	2 28.6	3 42.9	4 57.1	1 14.3	1 14.3
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	23 100.0	1 4.3	3 13.0	4 17.4	12 52.2	2 8.7	4 17.4
移動支援事業	26 100.0	7 26.9	9 34.6	8 30.8	9 34.6	2 7.7	4 15.4
地域活動支援センター事業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0
日中一時支援事業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	2 50.0	-	-
児童発達支援	19 100.0	-	7 36.8	2 10.5	6 31.6	7 36.8	3 15.8
放課後等デイサービス	24 100.0	-	6 25.0	1 4.2	7 29.2	5 20.8	3 12.5
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	-	-	-	-	-	-
保育所等訪問支援	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
障害児相談支援	9 100.0	-	3 33.3	1 11.1	5 55.6	-	-
その他	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0

上段:人 下段:%	利用者が高齢化・ 高齢化して 対応が難しい	利用者の家族へ の対応が難しい	他の関係者との 連携が十分取れ ない	必要な事務作業 が多い	その他	特になし	無回答
全体	32 19.4	45 27.3	21 12.7	72 43.6	13 7.9	10 6.1	5 3.0
居宅介護	10 16.9	20 33.9	6 10.2	17 28.8	3 5.1	2 3.4	3 5.1
重度訪問介護	8 21.1	14 36.8	2 5.3	11 28.9	3 7.9	2 5.3	2 5.3
同行援護	1 6.7	2 13.3	2 13.3	5 33.3	-	2 13.3	1 6.7
行動援護	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	4 66.7	5 83.3	-	6 100.0	1 16.7	-	-
短期入所(ショートステイ)	3 60.0	2 40.0	-	4 80.0	-	-	-
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	1 8.3	2 16.7	4 33.3	6 50.0	1 8.3	-	-
就労移行支援	3 17.6	6 35.3	2 11.8	11 64.7	2 11.8	-	-
就労選択支援	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-
就労継続支援(A型)	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-
就労継続支援(B型)	9 36.0	5 20.0	5 20.0	11 44.0	5 20.0	1 4.0	-
就労定着支援	3 20.0	5 33.3	3 20.0	7 46.7	1 6.7	-	-
自立生活援助	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0
共同生活援助 (グループホーム)	3 42.9	2 28.6	-	4 57.1	1 14.3	-	1 14.3
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	6 26.1	5 21.7	3 13.0	14 60.9	1 4.3	2 8.7	-
移動支援事業	5 19.2	13 50.0	3 11.5	9 34.6	1 3.8	1 3.8	1 3.8
地域活動支援センター事業	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-
日中一時支援事業	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	-	-	-
児童発達支援	2 10.5	4 21.1	2 10.5	10 52.6	-	2 10.5	1 5.3
放課後等デイサービス	2 8.3	4 16.7	2 8.3	10 41.7	1 4.2	4 16.7	1 4.2
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
保育所等訪問支援	1 25.0	1 25.0	-	3 75.0	-	-	-
障害児相談支援	2 22.2	1 11.1	1 11.1	6 66.7	-	-	1 11.1
その他	1 100.0	-	-	-	-	-	-

3 サービス提供について

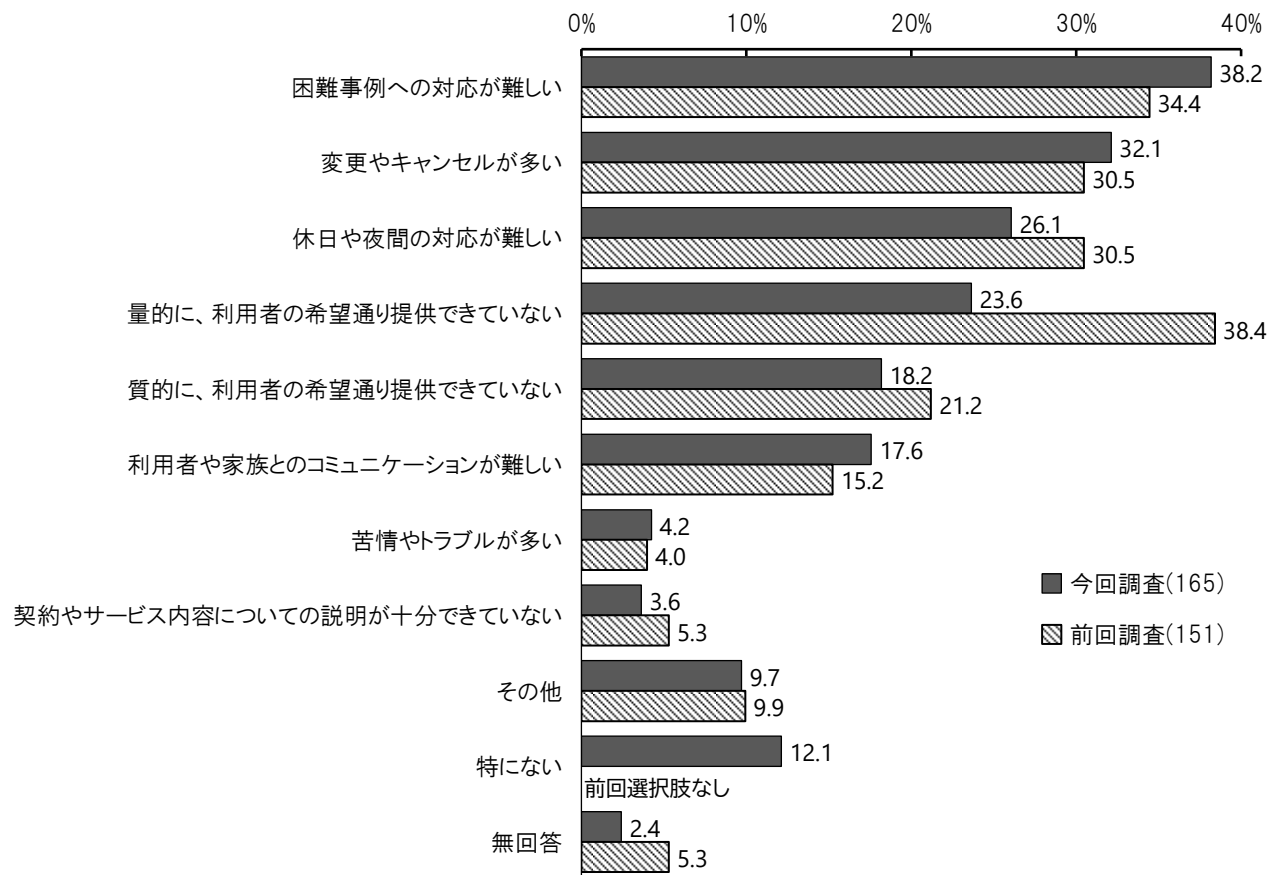
(1) サービス提供の課題 [複数回答]

問14 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

◆「困難事例への対応が難しい」が38.2%

【全体】

・「困難事例への対応が難しい」が38.2%で最も多く、次いで「変更やキャンセルが多い」が32.1%、「休日や夜間の対応が難しい」が26.1%などとなっています。



【提供サービス別(参考)】

上段:人 下段:%	全体	量的に、利用者の 希望通り提供できて いない	質的に、利用者の 希望通り提供できて いない	契約やサービス内容 についての説明が 十分できていない	利用者や家族とのコ ミュニケーションが 難しい	困難事例への対応が 難しい	休日や夜間の対応が 難しい	変更やキャンセルが 多い	苦情やトラブルが 多い	その他	特 に ない	無 回 答
全体	165 100.0	39 23.6	30 18.2	6 3.6	29 17.6	63 38.2	43 26.1	53 32.1	7 4.2	16 9.7	20 12.1	4 2.4
居宅介護	59 100.0	19 32.2	8 13.6	4 6.8	13 22.0	21 35.6	24 40.7	18 30.5	4 6.8	4 6.8	3 5.1	2 3.4
重度訪問介護	38 100.0	15 39.5	5 13.2	2 5.3	7 18.4	11 28.9	15 39.5	16 42.1	2 5.3	4 10.5	2 5.3	1 2.6
同行援護	15 100.0	4 26.7	-	1 6.7	3 20.0	3 20.0	8 53.3	7 46.7	2 13.3	3 20.0	1 6.7	-
行動援護	4 100.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	-	-	1 25.0	-
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	6 100.0	2 33.3	2 33.3	-	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	-	-	1 16.7
短期入所(ショートステイ)	5 100.0	1 20.0	2 40.0	-	-	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	12 100.0	2 16.7	2 16.7	-	-	2 16.7	3 25.0	5 41.7	-	-	3 25.0	-
就労移行支援	17 100.0	3 17.6	5 29.4	-	3 17.6	6 35.3	4 23.5	6 35.3	-	2 11.8	1 5.9	1 5.9
就労選択支援	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
就労継続支援(A型)	3 100.0	-	2 66.7	-	-	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-
就労継続支援(B型)	25 100.0	4 16.0	7 28.0	1 4.0	4 16.0	10 40.0	4 16.0	8 32.0	1 4.0	4 16.0	6 24.0	-
就労定着支援	15 100.0	2 13.3	5 33.3	-	2 13.3	5 33.3	4 26.7	4 26.7	-	2 13.3	1 6.7	-
自立生活援助	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0
共同生活援助 (グループホーム)	7 100.0	3 42.9	2 28.6	-	3 42.9	5 71.4	2 28.6	2 28.6	2 28.6	1 14.3	-	-
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	2 100.0	-	-	-	1 50.0	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	23 100.0	5 21.7	3 13.0	1 4.3	3 13.0	13 56.5	7 30.4	6 26.1	1 4.3	-	2 8.7	-
移動支援事業	26 100.0	9 34.6	5 19.2	4 15.4	7 26.9	10 38.5	9 34.6	7 26.9	1 3.8	2 7.7	1 3.8	1 3.8
地域活動支援センター事業	4 100.0	-	-	-	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-
日中一時支援事業	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-
児童発達支援	19 100.0	6 31.6	2 10.5	-	1 5.3	6 31.6	1 5.3	11 57.9	-	1 5.3	3 15.8	1 5.3
放課後等デイサービス	24 100.0	5 20.8	3 12.5	-	2 8.3	6 25.0	1 4.2	12 50.0	-	1 4.2	5 20.8	1 4.2
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
保育所等訪問支援	4 100.0	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0	3 75.0	-	-	1 25.0	-
障害児相談支援	9 100.0	3 33.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	3 33.3	1 11.1	2 22.2	1 11.1	-	2 22.2	1 11.1
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-

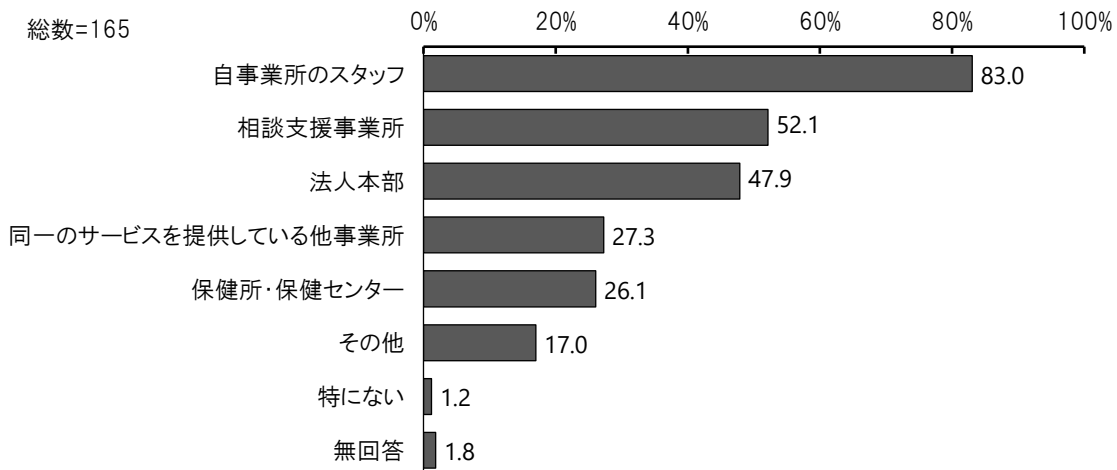
(2)利用者支援で困った時の相談先 [複数回答]

問15 貴事業所で、利用者支援で困った時の相談先はどこですか。(〇はいくつでも)

◆「自事業所のスタッフ」が83.0%

【全体】

・「自事業所のスタッフ」が83.0%で最も多く、次いで「相談支援事業所」が52.1%、「法人本部」が47.9%などとなっています。



【対象としている障害種別等別】

単位:%、()内は回答者総数

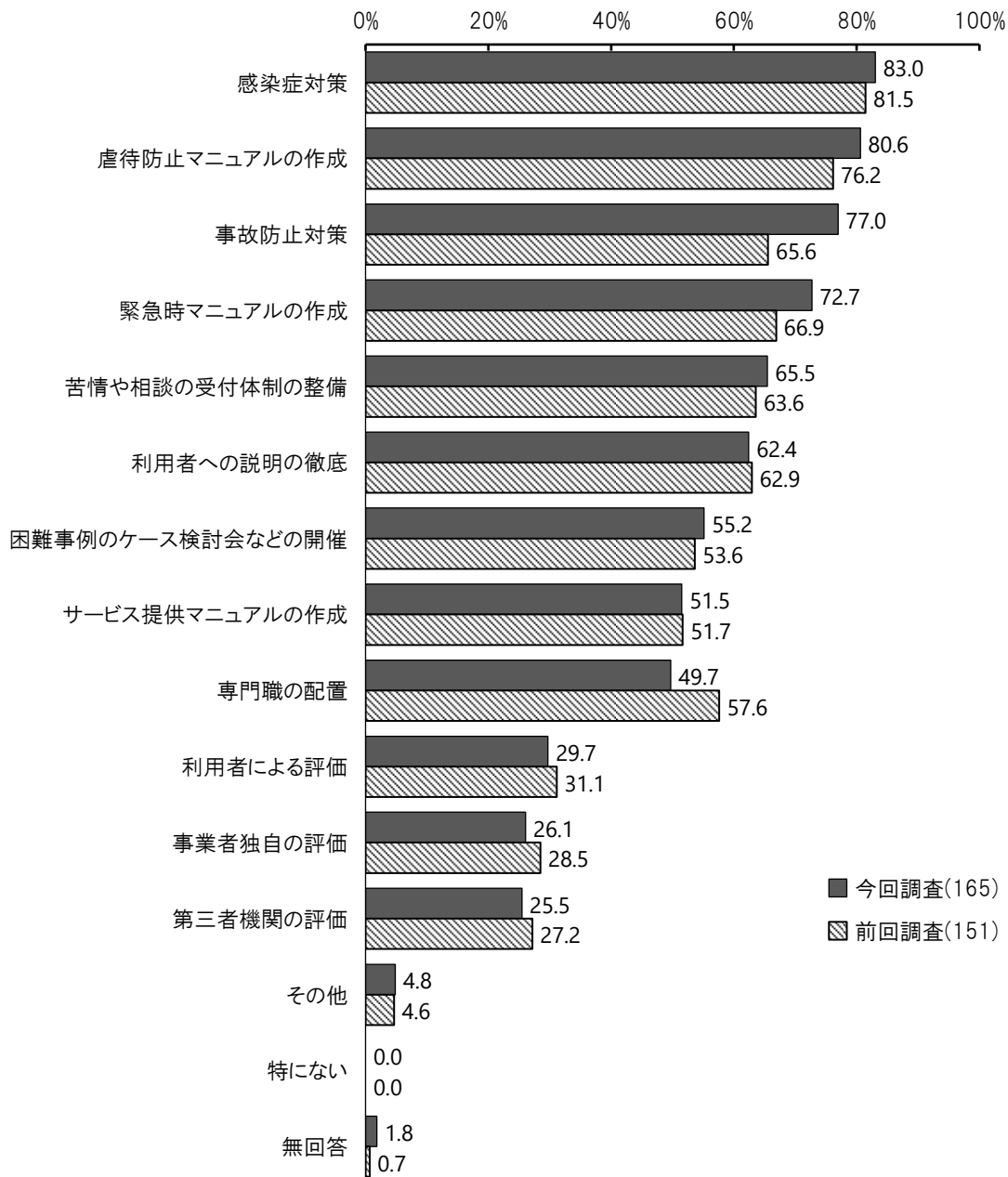
選択肢/属性	身体障害	知的障害	精神障害 (高次脳機能 障害を含む)	発達障害	難病
総数	(95)	(97)	(92)	(96)	(40)
自事業所のスタッフ	78.9	83.5	87.0	83.3	80.0
相談支援事業所	50.5	55.7	57.6	52.1	60.0
法人本部	45.3	45.4	44.6	42.7	45.0
同一のサービスを提供している他事業所	23.2	27.8	23.9	24.0	20.0
保健所・保健センター	23.2	26.8	39.1	30.2	32.5
その他	15.8	15.5	17.4	19.8	15.0
特にない	2.1	-	1.1	1.0	-
無回答	2.1	1.0	1.1	1.0	2.5

(3)サービス向上のための取り組み [複数回答]

問16 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。
(〇はいくつでも)

◆「感染症対策」が83.0%

・「感染症対策」が83.0%で最も多く、次いで「虐待防止マニュアルの作成」が80.6%、「事故防止対策」が77.0%などとなっています。



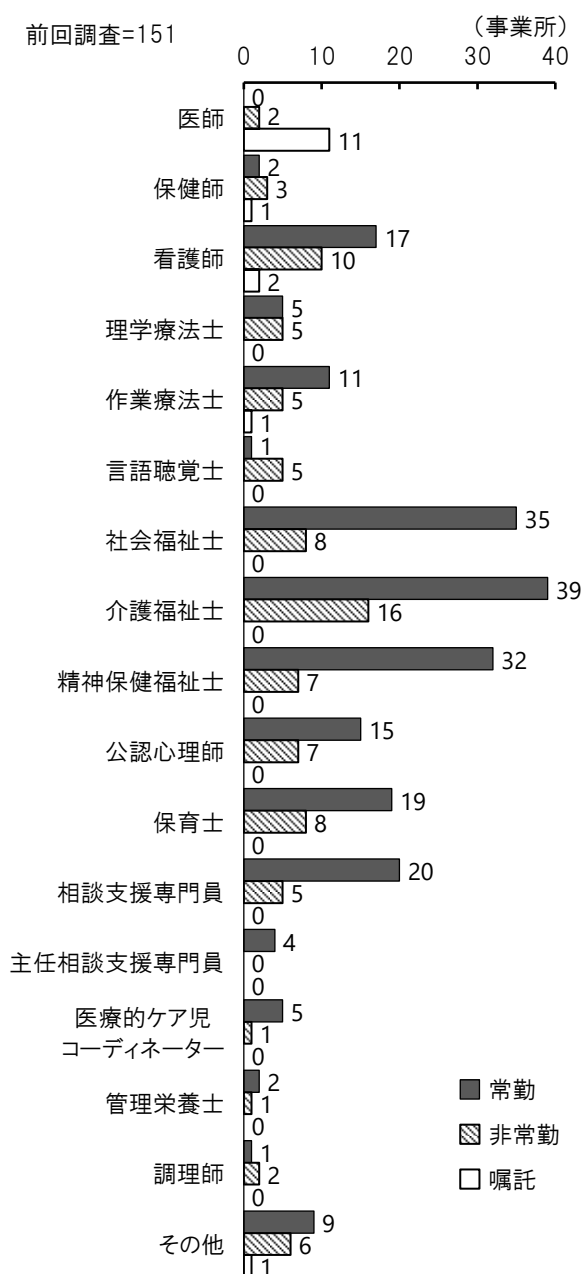
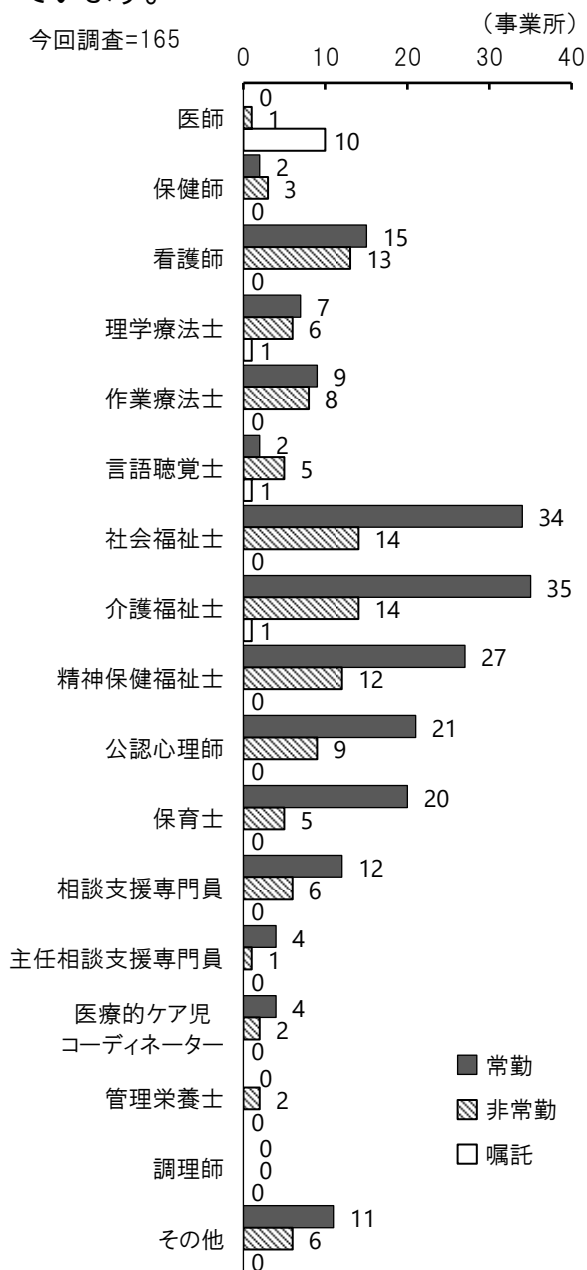
(4) 専門職の配置数

問17 サービス向上のため「専門職の配置」に取り組んでいる事業所にお聞きします。貴事業所で配置している専門職について、雇用形態別に人数をご記入ください。その他の場合は職種名もご記入ください。

① 専門職の配置数(配置している事業所数)

◆ 常勤は「介護福祉士」、非常勤は「社会福祉士」と「介護福祉士」、嘱託は「医師」を配置している事業所が多い

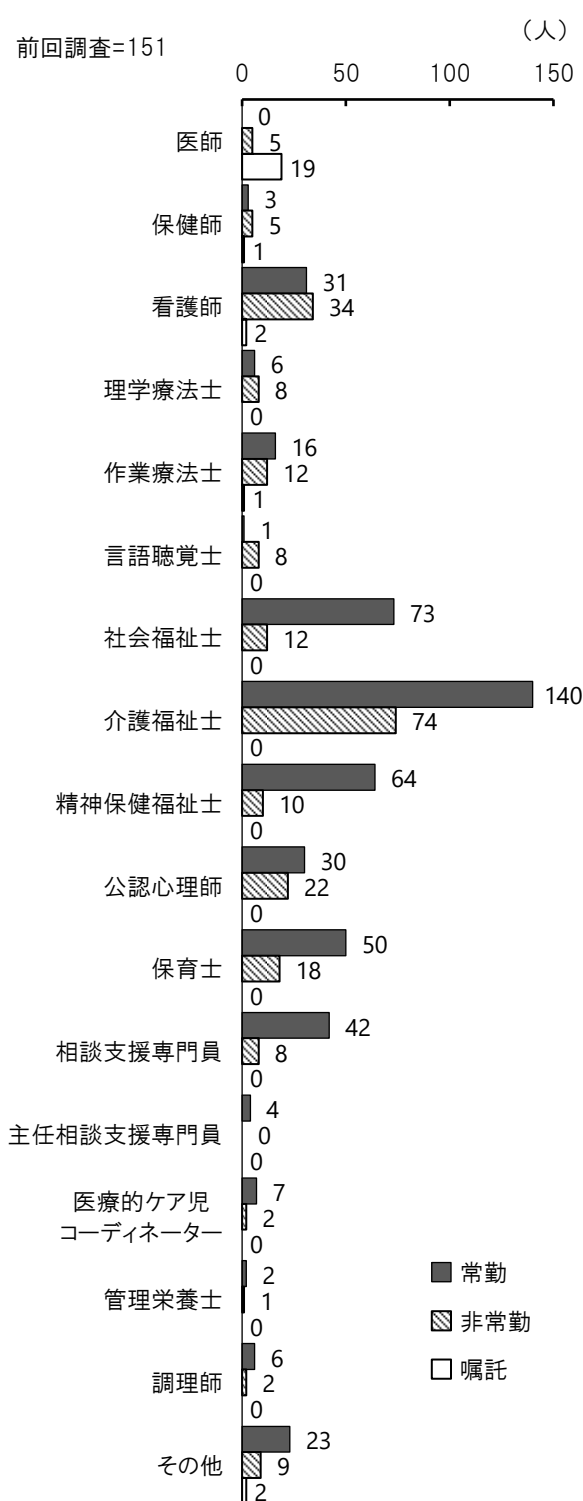
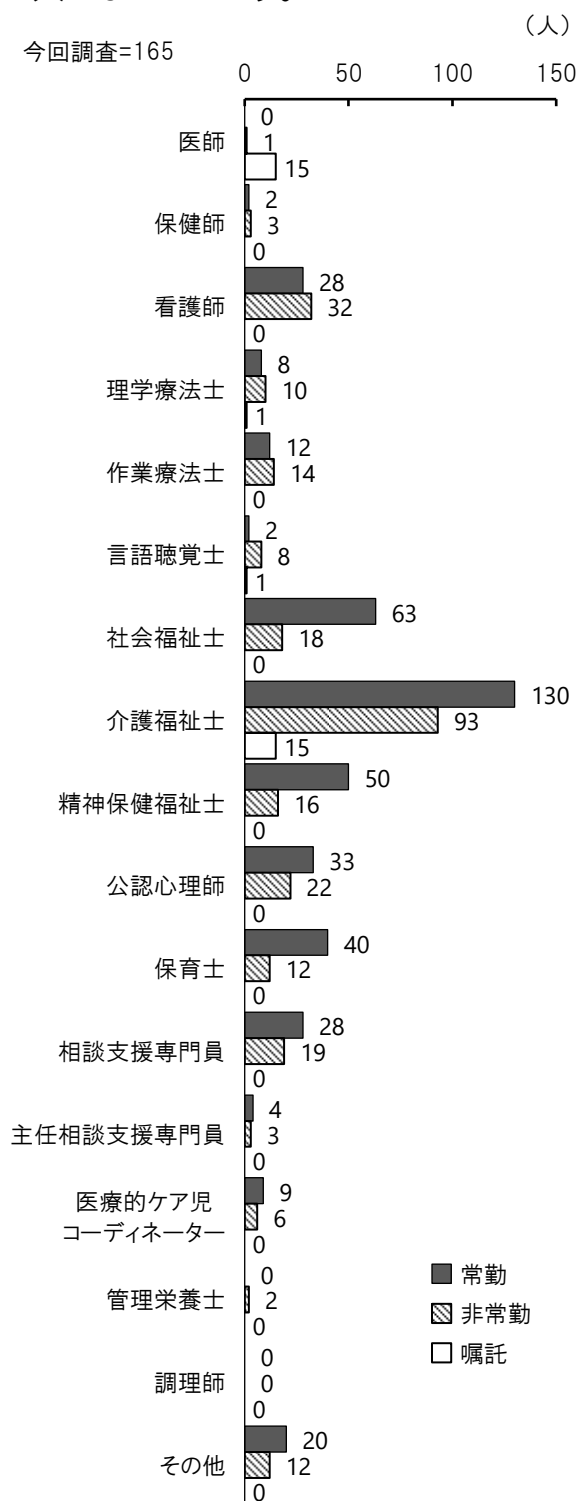
- ・ 常勤は、「介護福祉士」が35事業所と最も多く、次いで「社会福祉士」が34事業所、「精神保健福祉士」が27事業所などとなっています。
- ・ 非常勤は、「社会福祉士」と「介護福祉士」が14事業所と最も多く、次いで「看護師」が13事業所、「精神保健福祉士」が12事業所などとなっています。
- ・ 嘱託は、「医師」が10事業所、「理学療法士」と「言語聴覚士」、「介護福祉士」が1事業所となっています。



②専門職の配置数(配置人数合計)

◆常勤は「介護福祉士」、非常勤は「介護福祉士」、嘱託は「医師」と「介護福祉士」の配置人数が多い

- ・常勤は、「介護福祉士」が130人と最も多く、次いで「社会福祉士」が63人、「精神保健福祉士」が50人などとなっています。
- ・非常勤は、「介護福祉士」が93人と最も多く、次いで「看護師」が32人、「公認心理師」が22人などとなっています。
- ・嘱託は、「医師」と「介護福祉士」が15人と最も多く、次いで「理学療法士」と「言語聴覚士」が1人となっています。

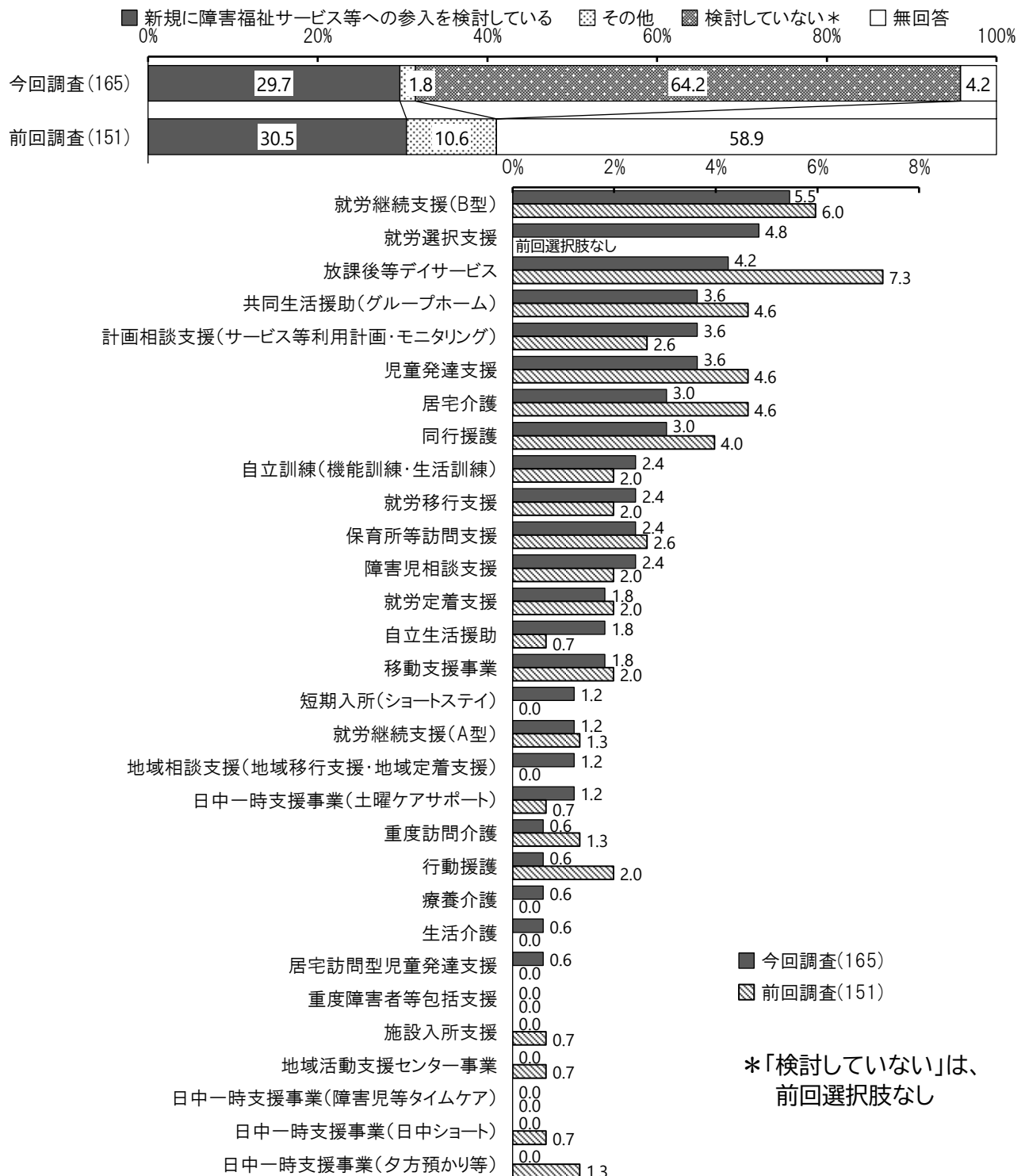


(5)新規サービスへの参入予定 [複数回答]

問18 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。
(○はいくつでも)

◆『新規に障害福祉サービス等への参入を検討している』事業者は29.7%、
サービス別では「就労継続支援(B型)」が5.5%

- ・回答者全体から「検討していない」及び「その他」と回答した事業者と無回答の事業者を差し引いた『新規に障害福祉サービス等への参入を検討している』事業者は29.7%となっています。
- ・「就労継続支援(B型)」が5.5%で最も多く、次いで「就労選択支援」が4.8%、「放課後等デイサービス」が4.2%などとなっています。「検討していない」は64.2%となっています。

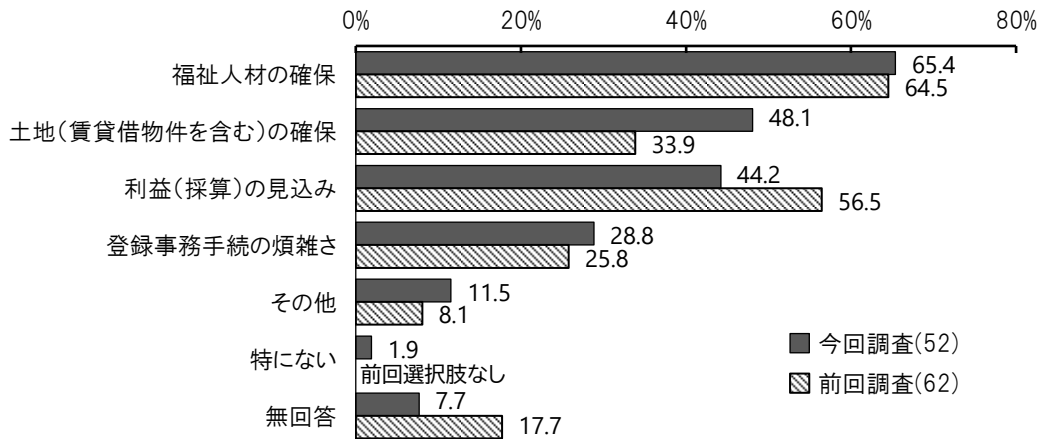


(6)新規サービスへの参入にあたっての課題 [複数回答]

問19 新規サービスへの参入予定がある事業所にお聞きします。参入にあたって課題となるものは何ですか。(〇はいくつでも)

◆「福祉人材の確保」が65.4%

- ・「福祉人材の確保」が65.4%で最も多く、次いで「土地(賃貸借物件を含む)の確保」が48.1%、「利益(採算)の見込み」が44.2%などとなっています。

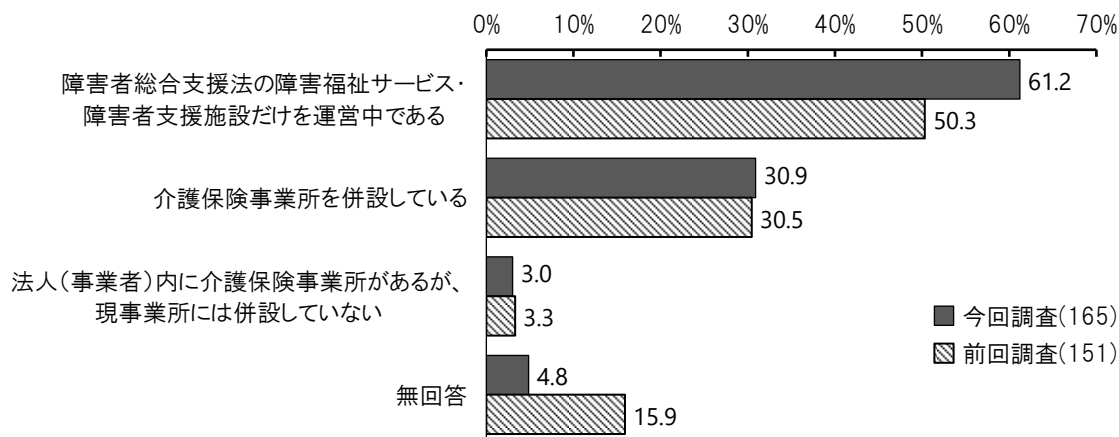


(7)介護保険事業所の併設状況

問20 貴事業所には、介護保険事業所を併設していますか。(〇はひとつ)

◆「障害者総合支援法の障害福祉サービス・障害者支援施設だけを運営中である」が61.2%

- ・「障害者総合支援法の障害福祉サービス・障害者支援施設だけを運営中である」が61.2%で最も多く、次いで「介護保険事業所を併設している」が30.9%、「法人(事業者)内に介護保険事業所があるが、現事業所には併設していない」が3.0%となっています。

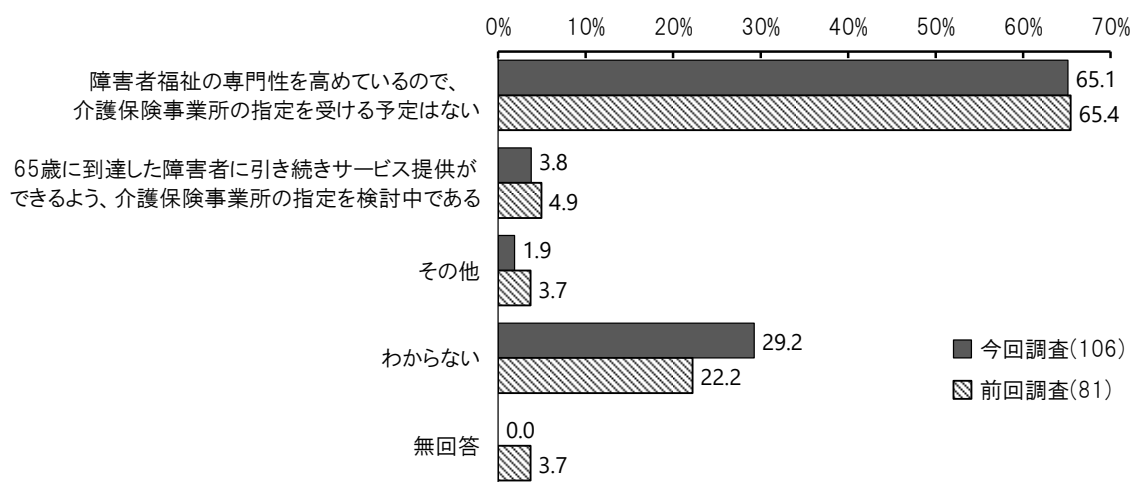


(8)介護保険事業所の指定を受ける予定

問21 介護保険事業所を併設していない事業所の方にお聞きします。貴事業所では、新たに介護保険事業所の指定を受ける予定はありますか。(〇はひとつ)

◆「障害者福祉の専門性を高めているので、介護保険事業所の指定を受ける予定はない」が65.1%

- ・「障害者福祉の専門性を高めているので、介護保険事業所の指定を受ける予定はない」が65.1%で最も多く、次いで「65歳に到達した障害者に引き続きサービス提供ができるよう、介護保険事業所の指定を検討中である」が3.8%、「その他」が1.9%となっています。「わからない」は29.2%となっています。

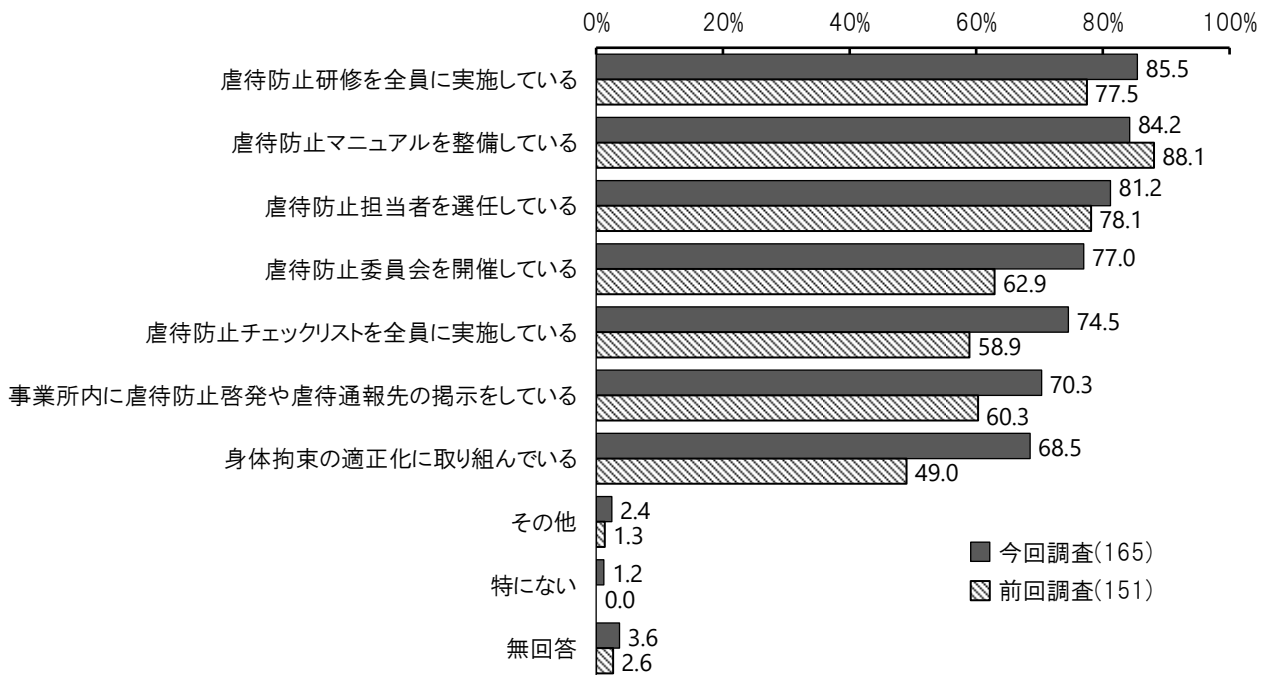


(9)障害者虐待防止に向けた取り組み [複数回答]

問22 貴事業所で、障害者虐待防止に向けて取り組んでいることを教えてください。
(〇はいくつでも)

◆「虐待防止研修を全員に実施している」が85.5%

- ・「虐待防止研修を全員に実施している」が85.5%で最も多く、次いで「虐待防止マニュアルを整備している」が84.2%、「虐待防止担当者を選任している」が81.2%などとなっています。

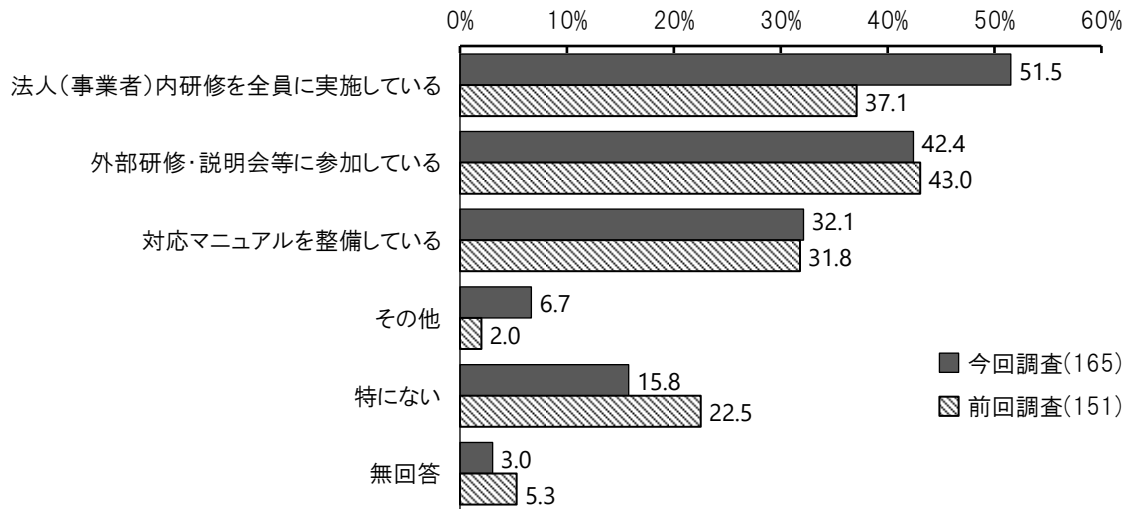


(10)障害者差別解消の推進に向けた取り組み [複数回答]

問23 貴事業所で、障害者差別解消の推進に向けて取り組んでいることを教えてください。
(〇はいくつでも)

◆「法人(事業者)内研修を全員に実施している」が51.5%

- ・「法人(事業者)内研修を全員に実施している」が51.5%で最も多く、次いで「外部研修・説明会等に参加している」が42.4%、「対応マニュアルを整備している」が32.1%などとなっています。「特にない」は15.8%となっています。



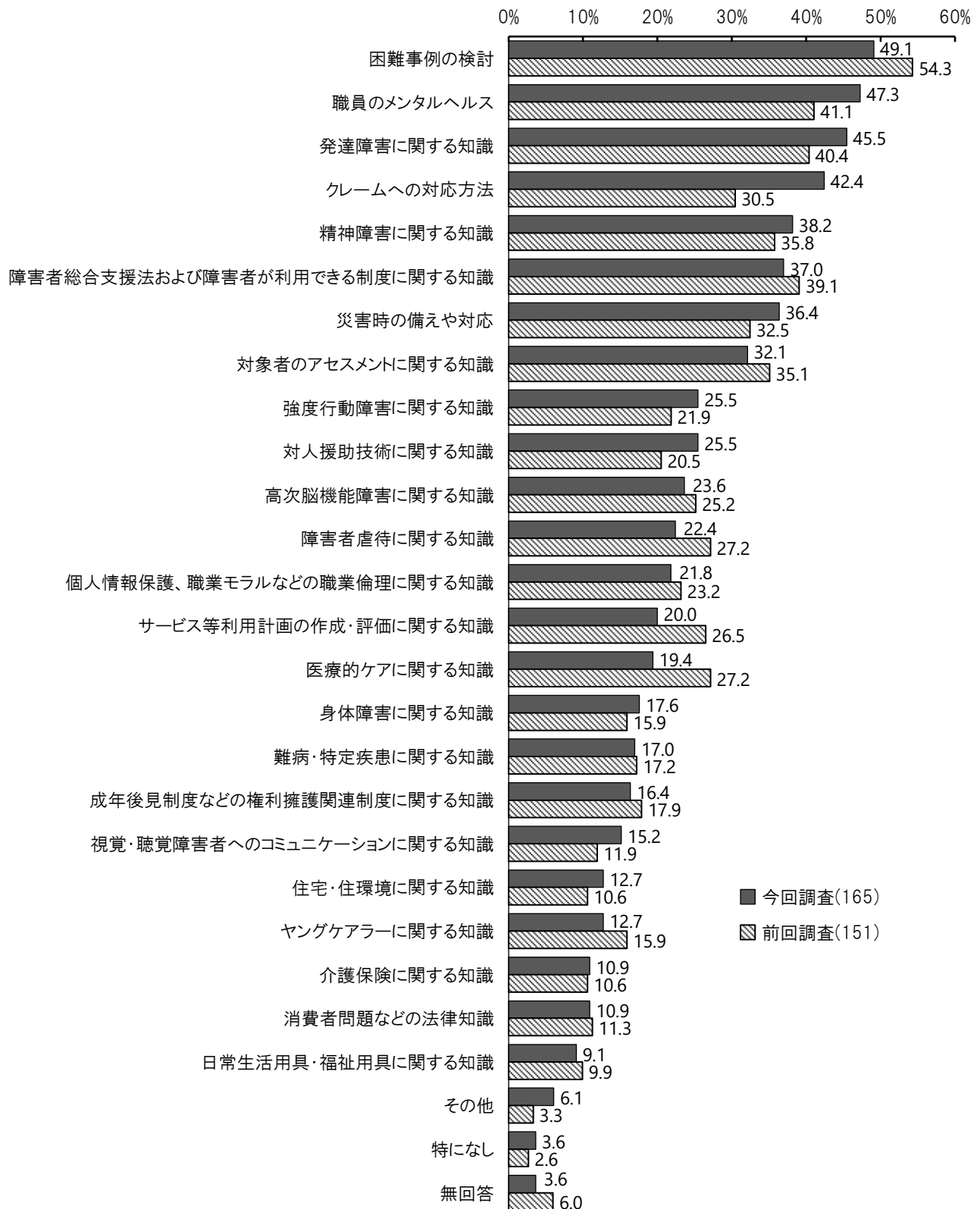
(11)区が開催する研修に希望する内容 [複数回答]

問24 区が開催する研修について、どのような内容を希望しますか。(〇はいくつでも)

◆「困難事例の検討」が49.1%

【全体】

・「困難事例の検討」が49.1%で最も多く、次いで「職員のメンタルヘルス」が47.3%、「発達障害に関する知識」が45.5%などとなっています。



【提供サービス別(参考)】

上段:人 下段:%	全体	困難事例の検討	身体障害に関する知識	強度行動障害に関する知識	精神障害に関する知識	発達障害に関する知識	高次脳機能障害に関する知識	難病・特定疾患に関する知識	対象者のアセスメントに関する知識	障害者総合支援法および障害者が利用できる制度に関する知識
全体	165 100.0	81 49.1	29 17.6	42 25.5	63 38.2	75 45.5	39 23.6	28 17.0	53 32.1	61 37.0
居宅介護	59 100.0	27 45.8	17 28.8	20 33.9	17 28.8	19 32.2	18 30.5	17 28.8	12 20.3	20 33.9
重度訪問介護	38 100.0	17 44.7	11 28.9	15 39.5	11 28.9	11 28.9	11 28.9	13 34.2	10 26.3	14 36.8
同行援護	15 100.0	9 60.0	5 33.3	7 46.7	5 33.3	6 40.0	5 33.3	3 20.0	4 26.7	3 20.0
行動援護	4 100.0	3 75.0	1 25.0	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	3 50.0	-	-	1 16.7	2 33.3
短期入所(ショートステイ)	5 100.0	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-	-	1 20.0	1 20.0
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	12 100.0	5 41.7	-	1 8.3	8 66.7	9 75.0	5 41.7	2 16.7	6 50.0	5 41.7
就労移行支援	17 100.0	10 58.8	-	-	12 70.6	12 70.6	5 29.4	2 11.8	8 47.1	6 35.3
就労選択支援	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
就労継続支援(A型)	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-
就労継続支援(B型)	25 100.0	12 48.0	4 16.0	5 20.0	12 48.0	14 56.0	8 32.0	3 12.0	9 36.0	12 48.0
就労定着支援	15 100.0	9 60.0	1 6.7	1 6.7	11 73.3	11 73.3	7 46.7	4 26.7	6 40.0	7 46.7
自立生活援助	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
共同生活援助 (グループホーム)	7 100.0	4 57.1	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	-	4 57.1	3 42.9
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	23 100.0	9 39.1	4 17.4	8 34.8	9 39.1	7 30.4	3 13.0	1 4.3	5 21.7	6 26.1
移動支援事業	26 100.0	15 57.7	9 34.6	11 42.3	8 30.8	10 38.5	10 38.5	7 26.9	9 34.6	10 38.5
地域活動支援センター事業	4 100.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0
日中一時支援事業	4 100.0	-	1 25.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	-	-	-	1 25.0
児童発達支援	19 100.0	10 52.6	5 26.3	7 36.8	6 31.6	10 52.6	1 5.3	1 5.3	8 42.1	5 26.3
放課後等デイサービス	24 100.0	14 58.3	4 16.7	7 29.2	6 25.0	13 54.2	1 4.2	1 4.2	9 37.5	10 41.7
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
保育所等訪問支援	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0	1 25.0
障害児相談支援	9 100.0	4 44.4	1 11.1	2 22.2	3 33.3	4 44.4	2 22.2	1 11.1	2 22.2	5 55.6
その他	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0

上段:人 下段:%	サービス等利用 計画の作成・評価に 関する知識	介護保険に関する 知識	対人援助技術に 関する知識	成年後見制度などの 権利擁護関連 制度に関する知識	障害者虐待に 関する知識	個人情報保護、職業 モラルなどの職業 倫理に関する知識	災害時の備えや 対応	消費者問題などの 法律知識	日常生活用具・福祉 用具に関する知識	視覚・聴覚障害者へ の「コミュニケーション」 に関する知識
全体	33 20.0	18 10.9	42 25.5	27 16.4	37 22.4	36 21.8	60 36.4	18 10.9	15 9.1	25 15.2
居宅介護	9 15.3	10 16.9	10 16.9	11 18.6	11 18.6	11 18.6	16 27.1	7 11.9	7 11.9	10 16.9
重度訪問介護	7 18.4	7 18.4	8 21.1	7 18.4	6 15.8	7 18.4	11 28.9	5 13.2	4 10.5	6 15.8
同行援護	4 26.7	2 13.3	3 20.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3	3 20.0	2 13.3	2 13.3	3 20.0
行動援護	- -	2 50.0	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	- -	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	- -	3 50.0	- -	- -	- -
短期入所(ショートステイ)	- -	2 40.0	- -	- -	1 20.0	- -	3 60.0	- -	- -	- -
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	4 33.3	1 8.3	5 41.7	1 8.3	2 16.7	6 50.0	5 41.7	2 16.7	- -	2 16.7
就労移行支援	2 11.8	1 5.9	10 58.8	1 5.9	4 23.5	5 29.4	8 47.1	2 11.8	- -	- -
就労選択支援	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
就労継続支援(A型)	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -	- -
就労継続支援(B型)	6 24.0	2 8.0	7 28.0	4 16.0	6 24.0	5 20.0	14 56.0	3 12.0	1 4.0	5 20.0
就労定着支援	2 13.3	- -	8 53.3	1 6.7	3 20.0	4 26.7	6 40.0	2 13.3	- -	1 6.7
自立生活援助	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
共同生活援助 (グループホーム)	- -	1 14.3	- -	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6	- -	- -
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	7 30.4	3 13.0	8 34.8	3 13.0	4 17.4	6 26.1	8 34.8	1 4.3	3 13.0	3 13.0
移動支援事業	5 19.2	8 30.8	8 30.8	7 26.9	7 26.9	8 30.8	10 38.5	5 19.2	5 19.2	6 23.1
地域活動支援センター事業	1 25.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0
日中一時支援事業	- -	1 25.0	- -	- -	1 25.0	- -	2 50.0	- -	- -	1 25.0
児童発達支援	5 26.3	1 5.3	5 26.3	3 15.8	8 42.1	6 31.6	9 47.4	1 5.3	4 21.1	3 15.8
放課後等デイサービス	5 20.8	2 8.3	7 29.2	5 20.8	7 29.2	5 20.8	8 33.3	1 4.2	2 8.3	3 12.5
居宅訪問型児童発達支援	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
保育所等訪問支援	2 50.0	- -	1 25.0	- -	2 50.0	2 50.0	2 50.0	- -	1 25.0	1 25.0
障害児相談支援	4 44.4	- -	4 44.4	3 33.3	3 33.3	4 44.4	4 44.4	1 11.1	3 33.3	2 22.2
その他	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -

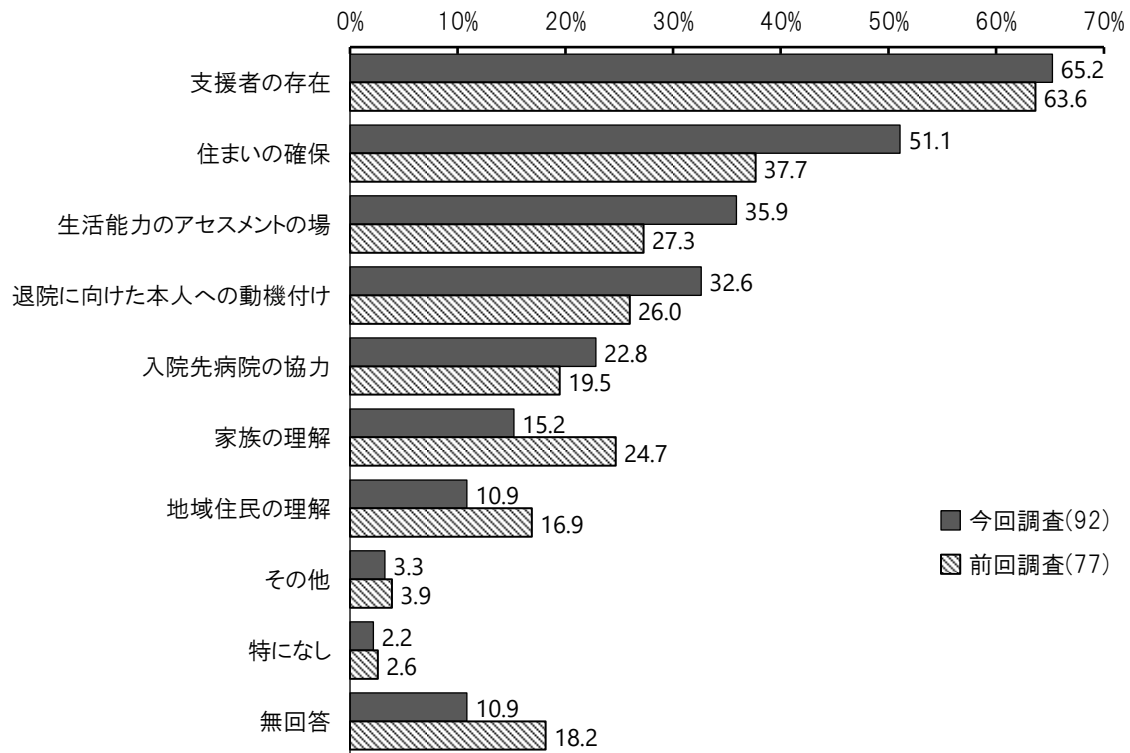
上段:人 下段:%	住宅・住環境に 関する知識	クレームへの対応 方法	職員の メンタルヘルス	医療的ケアに 関する知識	ヤングケアラーに 関する知識	その他	特になし	無回答
全体	21 12.7	70 42.4	78 47.3	32 19.4	21 12.7	10 6.1	6 3.6	6 3.6
居宅介護	9 15.3	19 32.2	20 33.9	17 28.8	8 13.6	4 6.8	4 6.8	4 6.8
重度訪問介護	7 18.4	14 36.8	13 34.2	13 34.2	5 13.2	3 7.9	2 5.3	3 7.9
同行援護	3 20.0	4 26.7	2 13.3	1 6.7	1 6.7	2 13.3	-	1 6.7
行動援護	1 25.0	2 50.0	2 50.0	-	1 25.0	-	-	-
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	- -	4 66.7	5 83.3	-	-	1 16.7	-	-
短期入所(ショートステイ)	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	2 16.7	7 58.3	6 50.0	1 8.3	-	1 8.3	-	-
就労移行支援	2 11.8	9 52.9	13 76.5	2 11.8	-	1 5.9	-	1 5.9
就労選択支援	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
就労継続支援(A型)	- -	2 66.7	3 100.0	-	-	-	-	-
就労継続支援(B型)	3 12.0	14 56.0	16 64.0	3 12.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0
就労定着支援	3 20.0	10 66.7	13 86.7	3 20.0	-	1 6.7	-	1 6.7
自立生活援助	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0
共同生活援助 (グループホーム)	- -	4 57.1	3 42.9	-	-	1 14.3	1 14.3	-
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	- -	1 50.0	-	-	-	-	-	-
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	4 17.4	9 39.1	9 39.1	2 8.7	3 13.0	1 4.3	2 8.7	-
移動支援事業	6 23.1	12 46.2	12 46.2	8 30.8	7 26.9	-	1 3.8	3 11.5
地域活動支援センター事業	2 50.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-
日中一時支援事業	- -	1 25.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	-	-	-
児童発達支援	1 5.3	7 36.8	8 42.1	5 26.3	5 26.3	-	-	1 5.3
放課後等デイサービス	1 4.2	9 37.5	8 33.3	6 25.0	7 29.2	-	-	1 4.2
居宅訪問型児童発達支援	- -	- -	1 100.0	-	-	-	-	-
保育所等訪問支援	- -	- -	1 25.0	-	-	-	-	-
障害児相談支援	2 22.2	2 22.2	3 33.3	2 22.2	3 33.3	-	1 11.1	1 11.1
その他	- -	- -	1 100.0	-	-	-	-	-

(12)長期入院者の地域移行を促進するために必要なこと [複数回答]

問25 精神障害者の支援を行っている事業所にお聞きします。長期入院者の地域移行を促進するために、何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆「支援者の存在」が65.2%

・「支援者の存在」が65.2%で最も多く、次いで「住まいの確保」が51.1%、「生活能力のアセスメントの場」が35.9%などとなっています。



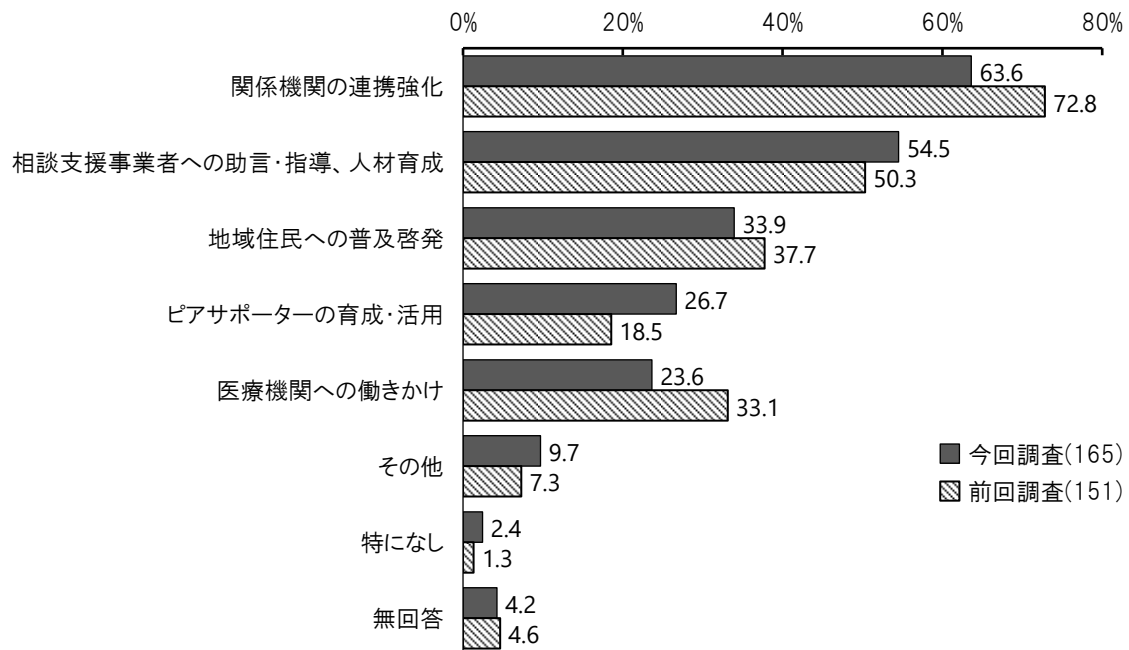
(13)障害者が暮らしやすい地域づくりのために力を入れるべきこと[複数回答]

問26 障害者が暮らしやすい地域づくりのために、区が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。(○は3つまで)

◆「関係機関の連携強化」が63.6%

【全体】

・「関係機関の連携強化」が63.6%で最も多く、次いで「相談支援事業者への助言・指導、人材育成」が54.5%、「地域住民への普及啓発」が33.9%などとなっています。



【提供サービス別(参考)】

上段:人 下段:%	全体	関係機関の 連携強化	相談支援事業 者への助言指 導、人材育成	医療機関への 働きかけ	ピアサポーター の育成・活用	地域住民への 普及啓発	その他	特になし	無回答
全体	165 100.0	105 63.6	90 54.5	39 23.6	44 26.7	56 33.9	16 9.7	4 2.4	7 4.2
居宅介護	59 100.0	28 47.5	36 61.0	12 20.3	10 16.9	18 30.5	6 10.2	1 1.7	5 8.5
重度訪問介護	38 100.0	20 52.6	21 55.3	8 21.1	8 21.1	6 15.8	6 15.8	-	4 10.5
同行援護	15 100.0	8 53.3	8 53.3	2 13.3	1 6.7	5 33.3	2 13.3	-	2 13.3
行動援護	4 100.0	4 100.0	4 100.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-
療養介護	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
生活介護	6 100.0	4 66.7	4 66.7	-	1 16.7	4 66.7	-	-	-
短期入所(ショートステイ)	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	4 80.0	-	-	-
重度障害者等包括支援	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
施設入所支援	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	12 100.0	10 83.3	8 66.7	3 25.0	5 41.7	5 41.7	-	-	-
就労移行支援	17 100.0	16 94.1	9 52.9	5 29.4	7 41.2	4 23.5	1 5.9	-	-
就労選択支援	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
就労継続支援(A型)	3 100.0	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-
就労継続支援(B型)	25 100.0	19 76.0	15 60.0	7 28.0	11 44.0	8 32.0	1 4.0	1 4.0	-
就労定着支援	15 100.0	13 86.7	8 53.3	5 33.3	8 53.3	4 26.7	2 13.3	-	-
自立生活援助	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0
共同生活援助 (グループホーム)	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	-	3 42.9	2 28.6	1 14.3	-
地域相談支援(地域移行 支援・地域定着支援)	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
計画相談支援(サービス等 利用計画・モニタリング)	23 100.0	17 73.9	7 30.4	5 21.7	9 39.1	10 43.5	3 13.0	1 4.3	-
移動支援事業	26 100.0	14 53.8	14 53.8	5 19.2	5 19.2	10 38.5	5 19.2	-	3 11.5
地域活動支援センター事業	4 100.0	2 50.0	4 100.0	2 50.0	1 25.0	3 75.0	-	-	-
日中一時支援事業	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	-	-	-
児童発達支援	19 100.0	11 57.9	8 42.1	6 31.6	3 15.8	5 26.3	1 5.3	2 10.5	2 10.5
放課後等デイサービス	24 100.0	14 58.3	10 41.7	5 20.8	6 25.0	8 33.3	2 8.3	2 8.3	2 8.3
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
保育所等訪問支援	4 100.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	-	-	1 25.0
障害児相談支援	9 100.0	8 88.9	2 22.2	2 22.2	4 44.4	3 33.3	-	-	1 11.1
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-

(13)連携強化が必要だと感じる対象 [複数回答]

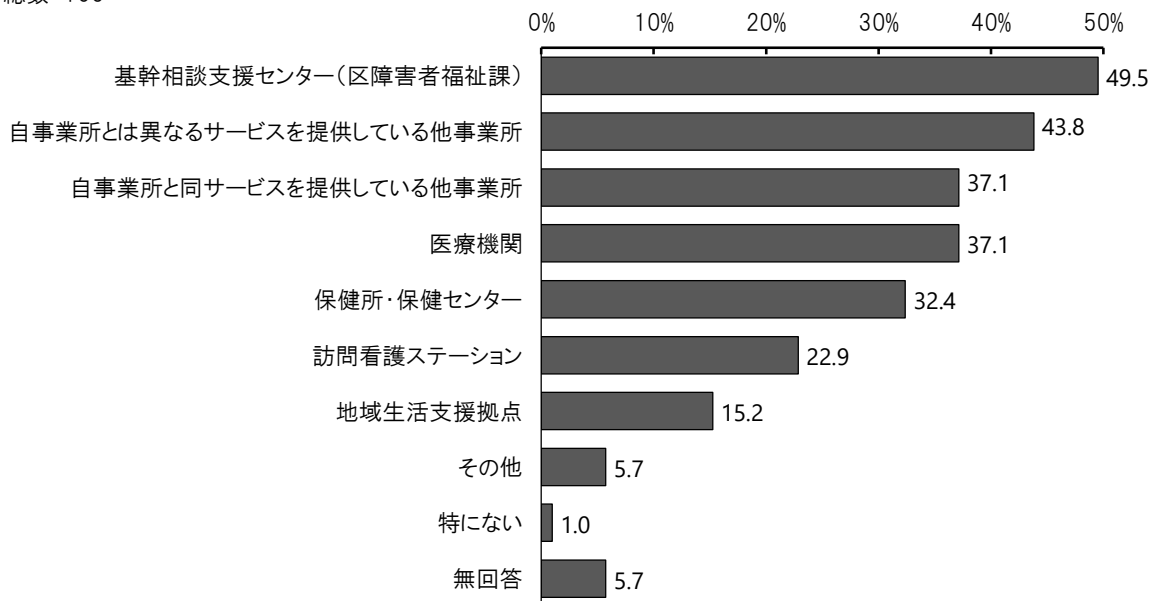
問27 問26で「関係機関の連携強化」が必要だと回答した事業所の方にお聞きします。
 連携強化が必要だと感じる対象は何だと思えますか。(〇は3つまで)

◆「基幹相談支援センター(区障害者福祉課)」が49.5%

【全体】

- ・「基幹相談支援センター(区障害者福祉課)」が49.5%で最も多く、次いで「自事業所とは異なるサービスを提供している他事業所」が43.8%、「自事業所と同サービスを提供している他事業所」と「医療機関」が37.1%などとなっています。

総数=105



【対象としている障害種別等別】

単位:%、()内は回答者総数

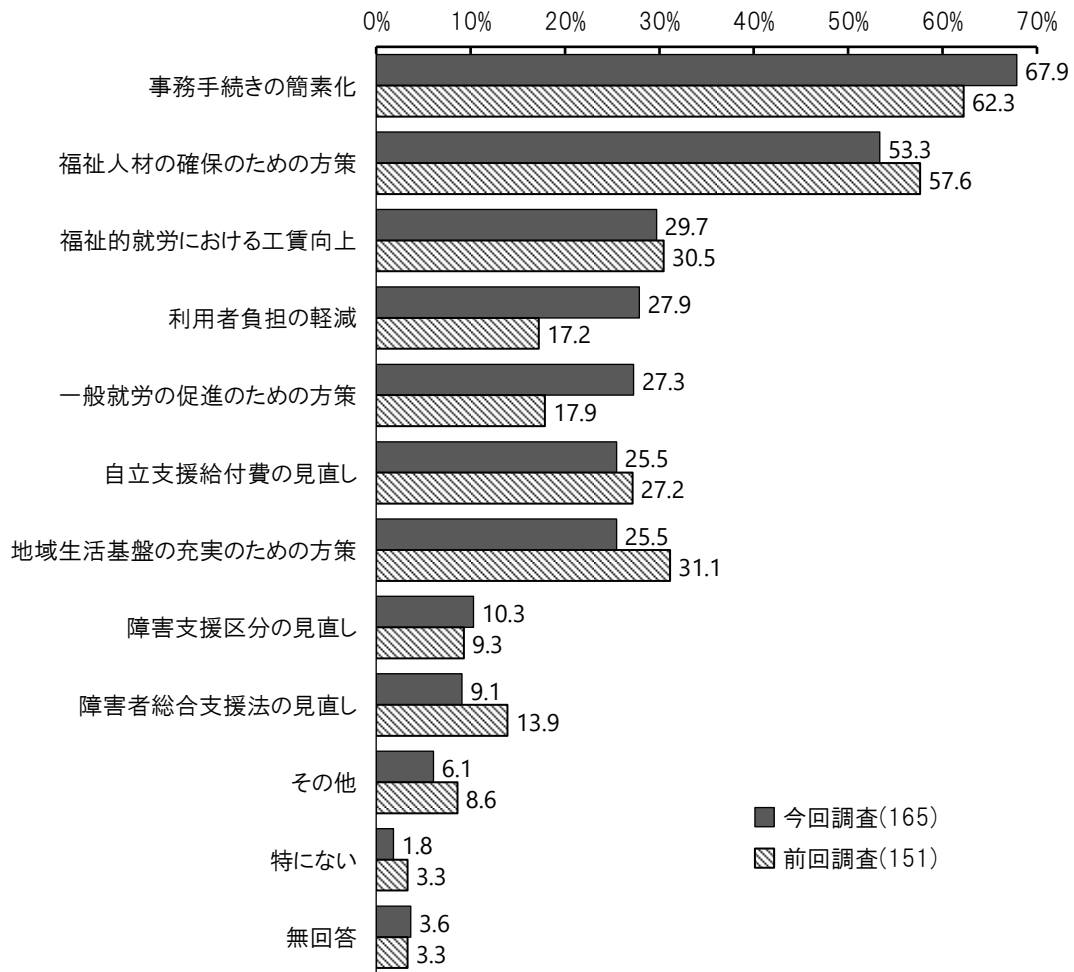
選択肢/属性	身体障害	知的障害	障害(高次脳機能障害を含む)	発達障害	難病
総数	(55)	(64)	(67)	(66)	(28)
基幹相談支援センター(区障害者福祉課)	52.7	46.9	47.8	48.5	53.6
自事業所とは異なるサービスを提供している他事業所	50.9	46.9	37.3	39.4	32.1
自事業所と同サービスを提供している他事業所	38.2	39.1	25.4	40.9	28.6
医療機関	25.5	32.8	40.3	37.9	25.0
保健所・保健センター	25.5	32.8	41.8	37.9	35.7
訪問看護ステーション	16.4	17.2	28.4	25.8	14.3
地域生活支援拠点	23.6	18.8	13.4	12.1	21.4
その他	5.5	4.7	6.0	4.5	3.6
特にない	-	-	1.5	-	-
無回答	7.3	7.8	6.0	6.1	10.7

(14)障害者施策に期待すること [複数回答]

問28 貴事業所では、今後の障害者施策について、どのようなことを期待していますか。
(○はいくつでも)

◆「事務手続きの簡素化」が67.9%

- ・「事務手続きの簡素化」が67.9%で最も多く、次いで「福祉人材の確保のための方策」が53.3%、「福祉的就労における工賃向上」が29.7%などとなっています。



4 自由意見

問29 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・「区への意見・要望」が18件と最も多く、次いで「福祉制度・人材育成」が16件、「啓発」が3件などとなっています。

回答の内容		件数
1	区への意見・要望	18
2	福祉制度・人材育成	16
3	啓発	3
4	その他	5
合計		40

※ ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【1 区への意見・要望】

意見の内容	提供サービス
子どもに障害がある保護者に対して、相談できる窓口を開かれた形で提供し、児童発達支援や放課後等デイサービス、保育所等訪問支援との連携を図って欲しい。	児童発達支援・放課後等デイサービス
学生など、若い未就労層が障害者福祉に興味を持ってもらえるような、行政からの働きかけを期待している。	居宅介護・重度訪問介護・移動支援事業
新宿区は特にセルフプランで利用している方も多く、相談支援事業所を介さないため、放課後等デイサービス事業所同士の横のつながりが難しいと感じる。区などが間に入って、つながりやすくしてもらえるとありがたい。	放課後等デイサービス
障害者福祉と比べて、介護保険制度の方が良いと思われる福祉用具について、状態に合わせて変更可能なレンタルにしてほしい。現状の基準額ではまともな用具が給付されません。新宿区の民間住宅は家賃が高いため、バリアフリーの区営住宅も必要だと思います。	計画相談支援
区立施設における事業運営の定期的な確認、見直しの場を区と運営施設で設けてほしい(建物等、サービスと対象利用者の状態のマッチング、適正な環境)。	生活介護・就労継続支援(B型)
相談員が足りない区があったら教えてほしい。事務所等経費が掛かりすぎる為。	計画相談支援・障害児相談支援
役所ができることをもう少し周知してもほしい。細かいことも含めると周知しきれないかもしれないが、困ったことがあれば役所へのような案内をしてもよいのではないか。	居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業
新宿区でも事業所への助成金や補助金によるバックアップはあるが、他の自治体を実施しているような事業所向けの助成金や補助金を取り入れてほしい。社会の状況に合わせて、区独自で自立支援給付費等の公定価格にプラスアルファの補助金を付加してほしい。	計画相談支援・児童発達支援・放課後等デイサービス・障害児相談支援

意見の内容	提供サービス
児童発達支援事業において、1日の利用が10人となっています。しかし土曜日は保護者からのニーズが高く、10人以上の利用希望が出ており、そうしたニーズに対応できるように1日の利用人数枠を増やしてほしい。	児童発達支援
事務手続きを簡素化。様々な補助金等の提案はありがたいが、それに対する手続き、手間ひまがかかり過ぎて困っている。ただでさえ人材不足を問題視されているのに、そこに時間を費やすのは本当に本末転倒はなはだしい。	居宅介護・同行援護・行動援護・移動支援事業
各種申請に関わる事務をデジタル化してほしい。①事業者情報を一元管理して、部署横断的に共有する。②入力フォームを使う事により計算間違いを防止できる。③押印をなくしたので印刷、封入、切手貼付、投函をなくし手間ひま経費を減らし、利用者へのケアに時間をかけることが出来る。	共同生活援助 (グループホーム)
区内の通所施設に関して、定員の6割を区内在住者で充たせば、8割の家賃補助が区から助成される。定員の6割を充たす基準ではなく、1人でも区内在住障害者に対してサービスを提供している施設に関しては、按分した家賃補助をお願いしたい。	就労継続支援 (B型)・ 就労定着支援
基幹相談支援センターの役割が見えづらい。基幹センターがどのようにこうした調整を行っているのか、現場からはあまり見えない。事業所や利用者にとって“役割が見える形”になると、よりスムーズなサービス調整につながるのではないか。	居宅介護・ 重度訪問介護・ 移動支援事業

【2 福祉制度・人材育成】

意見の内容	提供サービス
若い人が将来を描ける仕事として関心を持ってもらうためにも、報酬を社会一般のレベルまで引き上げていかないと人は集まらない。長く続けられる魅力ある仕事、やりがいのある仕事として定着させるには、報酬単価を上げていかないとムリです。基本報酬の見直しを望みます。きちんとした給与、賞与が支払える仕事にして下さい。加算取得など条件付きでは事業所がどんどん減少していく。	居宅介護・ 重度訪問介護・ 同行援護・ 移動支援事業
重度訪問を辞め、介護保険一本にする事業所が増えてきている。指定を取り消していなくても社内(事業所内)で新規の受け入れをストップしている所も多い。人材確保にしろ、職員の定着にしろ、待遇の面での困難が大きい。サービスの報酬が上がり事業所、従業員共に十分な収入が見込めるようになることを期待する。	居宅介護・ 重度訪問介護
今の制度だと、事業者側は記録や加算要件の対応に追われてしまい、利用者への支援に直結しない業務が多い。しかも自治体との契約単価も低めで、続けていくのが難しくなっている。「成果指標をはっきりさせる」「監査や加算要件を全国で統一フォーマットにして、事務負担を減らす」「成果/円」を基準にした合理的な単価設定、成果に応じて契約が動く仕組みへの移行」こうした工夫が必要。	自立訓練(機能訓練・ 生活訓練)
リワークをもっと気軽に利用できるとありがたい。1ヶ月の休職の際にも1週間単位で就労移行のリワーク活用が出来ることで、回復を早めることが出来るのではと考える。現状、長期休職者向け制度なので短期休職を長引かせないための制度があるとありがたい。	就労移行支援・ 就労定着支援

意見の内容	提供サービス
長期入院患者様の地域移行については、どこまで見守りや支援を提供し、段階的に自立に向けて支援量を調整していくか、という判断が非常に難しい。退院後の生命・身体の安全を「誰が、どこまでの範囲で担保し、責任を持つのか」が曖昧になったり、受け入れ先に偏ったりしやすい点が、退院支援のリスクアセスメントを困難にしている。こうした負担を軽減するために、客観的なガイドラインや、それに基づいて判断を支援する公的な専門機関が整備されるとよい。	計画相談支援
職員の処遇改善は、処遇改善加算より本体報酬が上がればよい。福祉業界に人を集めるなら、報酬をほかの業界より魅力ある状態にする必要がある。人材の冗長性もない。	就労継続支援(B型)
オンラインで参加できる研修で身近な事例を紹介してほしい。	就労移行支援・ 就労定着支援
人材確保と報酬改定と精神疾患の見直し。介護職を公務員へ。	居宅介護・重度訪問 介護・移動支援事業
必要なサービスは、障害者自身だけではなく、その家族など多岐にわたると思います。特に、今、問題になっているヤング・ケアラーのことなどは深刻です。障害者自身や家族が生活しやすいようサポートし又相談に乗ることが大切だと思う。	居宅介護・ 重度訪問介護・ 移動支援事業
介護保険の利用者で手一杯で障害者の受け入れが出来ていない。	居宅介護
移動支援に関して、30分のサービスなど人手不足、移動距離などを考え請負う事が難しくなっている。	居宅介護
利用者の急な欠席での給付金はほぼないに等しく運営にかかる費用と合っていない。物価高騰してるが報酬が上がるわけでも無い為、働く人のモチベーションも上がらない。	放課後等デイサービス
放課後等デイサービスに対するネガティブなイメージがあるので、デザイン面なども含め、イメージアップが必要。欠席加算が安すぎる。職員の賃金を上げたくても、売上がアップしていないので難しい。	放課後等デイサービス

【3 啓発】

意見の内容	提供サービス
最近では学校で点字の授業も行われていますが、実際に視覚障害者に接する機会は少ない。教育の現場に障害者の方を派遣して、お話や遊戯をする機会を設けることが出来れば、地域交流も含めた啓発活動が行えるのではないかと。	自立訓練(機能訓練・ 生活訓練)・就労移行 支援・就労継続支援 (B型)・就労定着支援
小学校から指導要領の中に福祉に関する学習を盛り込むことで、子どもたちにとって障害・福祉が良い意味で当たり前のことになり、偏見や差別などが減るのではないかと。	就労継続支援(B型)
障害の有無にかかわらず暮らしやすい街、誰もが住みたいと思える街となりえるように、障害に対する正しい知識をすべての人が持ちえるような取り組みが大切だと思う。	短期入所(ショートス テイ)・自立訓練(機 能訓練・生活訓練)・ 計画相談支援

資料（調査票）

ここから調査がはじまります

この調査票で、「あなた」とあるのは、『あて名ご本人』のことです。

できるかぎりあて名ご本人がお答えください。ご本人が回答できない場合は、ご家族や介助の方が、あて名ご本人の立場や利益に沿った回答となるよう、現在の状況を踏まえてご回答ください。

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

- 1 あて名ご本人
- 2 ご家族の方
- 3 その他

1 ご本人について

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他
- 4 回答しない

問3 あなたの年齢をお聞きます。令和7年11月1日現在の満年齢をお書きください。

歳

問4 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 父親
- 2 母親
- 3 配偶者・パートナー
- 4 子 (18歳未満)
- 5 子 (18歳以上)
- 6 兄弟姉妹
- 7 その他親族
- 8 ひとり暮らし
- 9 グループホーム等での集団生活
- 10 その他

2 障害や健康の状況について

問5 あなたが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度も○をつけてください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けている方は、当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 身体障害者手帳 (1級 2級 3級 4級 5級 6級) →1に○をつけた方は問6へ

2 愛の手帳 (1度 2度 3度 4度)

3 精神障害者保健福祉手帳 (1級 2級 3級) →3又は4に○をつけた方は問7へ

4 自立支援医療 (精神通院医療) の給付

5 難病医療の給付

(病名:)

(診断を受けてからの期間: 年 か月) →1,3,4に○をつけなかった方は問8へ

6 これらの手帳や医療券などは持っていない

問6 問5で「1 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きます。

どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)
- 2 音声・言語・そしゃく機能障害
- 3 視覚障害
- 4 聴覚・平衡機能障害
- 5 内部障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)

問7 問5で「3 精神障害者保健福祉手帳」又は「4 自立支援医療（精神通院医療）の給付」若しくは両方を回答された方にお聞きします。

どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 統合失調症
- 2 気分障害（うつ病・双極性障害）
- 3 神経症（不安障害・パニック障害・強迫性障害・PTSD・摂食障害など）
- 4 発達障害 ※下記選択肢の中から当てはまる診断名に○をつけてください。
- 5 高次脳機能障害
- 6 依存症（アルコール・薬物等）
- 7 その他（ ）
- 8 わからない

- ① 自閉スペクトラム症（ASD）
- ② 注意欠如・多動症（ADHD）
- ③ 学習障害（LD）
- ④ 発達性協調運動障害

ここからは全ての方にお聞きします。

問8 あなたは日常的に必要なとしている医療的ケアがありますか。(○はいくつでも)

- 1 人工呼吸器
- 2 気管切開の管理（ガーゼ交換等）
- 3 鼻咽喉工アウエイの管理
- 4 酸素療法
- 5 吸引
- 6 ネブライザーの管理
- 7 経管栄養
- 8 中心静脈カテーテルの管理
- 9 皮下注射
- 10 血糖測定
- 11 継続的な透析
- 12 導尿
- 13 排便管理
- 14 痙攣時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）
- 15 特に必要としていない

問9 あなたは、障害や心身の不調・特性について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(○はいくつでも)

- 1 専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）
- 2 専門の診療所・クリニック
- 3 一般病院
- 4 大学病院
- 5 訪問診療
- 6 訪問看護
- 7 その他（ ）
- 8 医療機関には相談していない

問10 あなたは、毎日の生活の中のどのような場面で、介助や支援が必要ですか。

(○はいくつでも ※全てに当てはまる場合は1に○)

- 1 全て
- 2 食事
- 3 排せつ
- 4 入浴
- 5 寝返り
- 6 着替え
- 7 調理・掃除・洗濯等の家事
- 8 室内の移動
- 9 洗顔・歯磨き
- 10 代読・代筆
- 11 電話の利用・代行
- 12 お金の管理
- 13 日常の買物
- 14 通院、通学・通勤
- 15 通院、通学・通勤以外の外出
- 16 日常生活に必要な意思の伝達
- 17 日常生活動作の見守り
- 18 薬の管理
- 19 区役所や事業者などの手続き
- 20 その他（ ）
- 21 介助や支援は必要ない

→21に○をつけた方は問15へ

問11 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。

あなたを介助・支援している人はどなたですか。

【主な介助者】と【その他の介助者】についてお答えください。

【主な介助者】(○はひとつ)

- | | | | | | |
|---|-----------|---|-----------|---|---------|
| 1 | 父親 | 4 | 子 (18歳未満) | 7 | ホームヘルパー |
| 2 | 母親 | 5 | 子 (18歳以上) | 8 | その他 () |
| 3 | 配偶者・パートナー | 6 | 兄弟姉妹 | | |

【その他の介助者】(○はいくつでも)

- | | | | | | |
|---|-----------|---|-----------|---|---------|
| 1 | 父親 | 4 | 子 (18歳未満) | 7 | ホームヘルパー |
| 2 | 母親 | 5 | 子 (18歳以上) | 8 | その他 () |
| 3 | 配偶者・パートナー | 6 | 兄弟姉妹 | | |

問12 問11の【主な介助者】で「1」～「6」のいずれかを回答された方にお聞きします。

あなたを主に介助・支援している人は何歳ですか。(○はひとつ)

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 15歳未満 | 4 | 30～39歳 | 7 | 60～64歳 |
| 2 | 15～19歳 | 5 | 40～49歳 | 8 | 65～74歳 |
| 3 | 20～29歳 | 6 | 50～59歳 | 9 | 75歳以上 |

問13 問11の【主な介助者】で「1」～「6」のいずれかを回答された方にお聞きします。

あなたを主に介助・支援している人は、あなた以外の人を介助・支援する

ことがありますか。それはどのような場合ですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------|---|--------------|
| 1 | 高齢者の介護 | 4 | あなた以外の障害者の介護 |
| 2 | 乳幼児の子育て | 5 | その他 () |
| 3 | 病人の看護 | 6 | ない |

問14 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。

主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうですか。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------------|----|--------------------|
| 1 | 一緒に住んでいる家族に頼む | 7 | グループホーム、福祉ホームに入居する |
| 2 | 別に住んでいる親族に頼む | 8 | 病院に入院する |
| 3 | ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する | 9 | 成年後見人を立てる |
| 4 | 訪問看護を利用する | 10 | その他 () |
| 5 | ショートステイを利用する | 11 | まだわからない |
| 6 | 施設に入所する | | |

3 相談や福祉の情報について

問15 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----|-----------------|----|--------------------|
| 1 | 健康状態に不安がある | 11 | 家族以外の人間関係に支障がある |
| 2 | 着替えや食事などが十分できない | 12 | 障害や病气に対する周囲の理解がない |
| 3 | 家事などが十分できない | 13 | 困ったとき相談する相手がいない |
| 4 | 介助者の負担や健康が心配 | 14 | 役所などの手続きが難しい |
| 5 | 外出に支障がある | 15 | 病气や障害を理解した上で診てもらえる |
| 6 | 進学・学校について困っている | | 診療所が近くにない |
| 7 | 就労について困っている | 16 | 物価の値上がりなど経済的に不安がある |
| 8 | 緊急時の対応に不安がある | 17 | 将来に不安を感じている |
| 9 | 災害時の避難に不安がある | 18 | その他 () |
| 10 | 家族の人間関係に支障がある | 19 | 特にない |

問16 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 近所の人
- 3 友人・知人・職場の人
- 4 民生委員・児童委員
- 5 障害者の当事者会や家族の会
- 6 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 7 サービス等利用計画を作成した相談支援専門員
- 8 ヘルパー等福祉従事者
- 9 施設の職員
- 10 医療機関等の関係者
(医師・看護師・ソーシャルワーカー)
- 11 障害者福祉課の窓口
- 12 保健所・保健センター
- 13 地域生活支援拠点(*)
- 14 福祉事務所のケースワーカー
- 15 新宿区社会福祉協議会
- 16 地域活動支援センター
- 17 高齢者総合相談センター
- 18 インターネット等の情報
(メール相談、SNS等を含む)
- 19 その他()
- 20 相談する相手はいない

 *地域生活支援拠点とは

住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるような支援を提供できる仕組み。新宿区には基幹相談支援センター(障害者福祉課内)のほか、障害者福祉センター(身体障害)、シャロームのみ風(知的障害)、障害者生活支援センター(精神障害)の3つの拠点があります。また、令和7年度中に、中落合一丁目区有地を活用した民設民営のグループホーム等施設が開設し、こちらも地域生活支援拠点となる予定です。

問17 あなたは、区役所や基幹相談支援センターなどに気軽に相談するために、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 電話やファクスでの相談
- 2 電子メールでの相談
- 3 自宅での訪問による相談
- 4 休日や夜間の相談
- 5 専門性の高い相談
- 6 身近な地域での相談
- 7 定期的な相談
- 8 障害者やその家族など同じ立場の人による相談
- 9 どんな相談にも対応できる総合窓口
- 10 相談窓口に関する情報提供
- 11 プライバシーの遵守
- 12 聴覚・視覚・言語障害などに対する
- 13 その他()
- 14 特にない

問18 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- 1 区の広報紙
- 2 区のホームページ
- 3 障害者福祉課
- 4 保健センター
- 5 福祉施設
- 6 テレビ・ラジオ
- 7 インターネット
- 8 新聞・書籍
- 9 障害等の当事者会や家族の会
- 10 医療機関
- 11 その他()
- 12 特にない

問19 あなたが、過去1年間に利用した、通信機器を使った機能・サービスは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 電子メールの送受信
- 2 ホームページやブログ、動画の閲覧
- 3 SNSの利用
(Facebook、X、LINE、Instagramなど)
- 4 二次元コード、バーコードなどの読み取り
- 5 オンライン講座、ウェブ会議等への参加
(Zoom、Microsoft Teamsなど利用)
- 6 金融取引(インターネットによる銀行・証券取引など)
- 7 商品・サービスの購入
- 8 電子自治体の利用(公共の施設・講座の予約など)
- 9 その他()
- 10 インターネットに接続可能な通信機器
(スマホ・タブレット・PC)を持っていない

4 日中活動や仕事について

問20 あなたは、平日の日中、主にどのよう過ごしていますか。(○はひとつ)

- 1 正社員・正職員として働いている (テレワークを含む)
- 2 パート・アルバイト・派遣社員などで働いている
- 3 自宅で働いている (自営業・内職・家業の手伝いなど)
- 4 就労継続支援事業所 (A型・B型)、福祉作業所などで働いている
- 5 通所施設に通っている
- 6 (生活介護・自立訓練・地域活動支援センター・デイケア等) 大学・学校などに通っている
- 7 職業訓練中 (就労移行支援事業所を含む)
- 8 就職活動中
- 9 自宅で家事をしている
- 10 育児をしている
- 11 休職中
- 12 その他 ()
- 13 特になにもしていない

→1~4のいずれかに○を

つけた方は問21、22へ

→5~13のいずれかに

○をつけた方は問23へ

問21 問20で「1」~「4」のうちいずれかを回答された方にお聞きします。

仕事で得ている給与・工賃の金額について、税金を引く前の合計月額はいくらですか。(○はひとつ)

- 1 1万円未満
- 2 1万円以上3万円未満
- 3 3万円以上5万円未満
- 4 5万円以上10万円未満
- 5 10万円以上15万円未満
- 6 15万円以上20万円未満
- 7 20万円以上

問22 問20で「1」~「4」のうちいずれかを回答された方にお聞きします。

仕事をすすめる上で困っていることはありますか(○はいいくつでも)

- 1 収入が少ない
- 2 身体的につらい
- 3 精神的につらい
- 4 通勤が大変
- 5 職場の人間関係
- 6 職場での相談相手がいない
- 7 職場の障害理解が不足している
- 8 職場環境が障害に対応していない
- 9 仕事を覚えるのが難しい
- 10 その他 ()
- 11 特にない

ここからは全ての方にお聞きします。

問23 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きします。(○は3つまで)

- 1 年金 (障害基礎年金など)
- 2 給与・報酬 (一般就労)
- 3 工賃など (福祉的就労)
- 4 事業収入 (自営業等)
- 5 手当 (障害者手当など)
- 6 生活保護費
- 7 親族の扶養又は援助
- 8 その他 ()

問24 障害のある方が企業などで働くためにはどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- 1 就労に向けての相談支援
- 2 就労してからの相談支援
- 3 転職・退職に応じた相談支援
- 4 障害特性に合った職業訓練
- 5 職場での就労体験
- 6 自分に合った仕事を見つけての支援
- 7 障害者向けの求人情報の提供
- 8 障害特性に合った仕事を見つけての支援
- 9 障害に応じた柔軟な勤務体系
- 10 職場の障害理解の促進
- 11 ジョブコーチなどからの支援
- 12 職場のバリアフリー化
- 13 通勤経路のバリアフリー化
- 14 テレワーク (による在宅勤務) の定着
- 15 その他 ()
- 16 特にない

5 外出やバリアフリーについて

問25 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。(○は3つまで)

- 1 歩道の段差や傾斜があると移動が困難
- 2 建物の段差や階段があると移動が困難
- 3 バスやタクシーの利用が困難
- 4 駅構内の移動や乗換えが困難
- 5 券売機の利用が困難
- 6 トイレの利用が困難
- 7 疲れたときの休憩場所がない
- 8 自動車・自転車で危険を感じる
- 9 立て看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある
- 10 外出するのに支援が必要である
- 11 外出したくても介助者がいない
- 12 その他()
- 13 特にない

問26 あなたは、地域との交流やボランティア活動などの社会参加について、どのようなことに興味・関心がありますか。(○はいくつでも)

- 1 地域との交流(イベントへの参加等)
- 2 当事者同士の交流
- 3 スポーツ又は文化的な活動を行う団体やサークルへの参加
- 4 ボランティア活動
- 5 当事者として、障害についての知識や理解を広める活動
- 6 ピアサポート活動(*)
- 7 その他()

*ピアサポート活動とは

ピア(peer)は、日本語で「同じ立場にある仲間」という意味です。ピアサポート活動とは、自らが障害や疾病の経験を持ち、その経験を生かしながら、他の障害者のために行う支援活動のことを言います。

ピアサポート活動を行う人のことを、ピアサポーターと呼びます。

問27 あなたが、スポーツや運動(気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わない階段移動、体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの等を含む。)をする頻度はどの程度ですか。(○はひとつ)

- 1 ほほ毎日
- 2 週3～5回程度
- 3 週2回程度
- 4 週1回程度
- 5 月1～3回程度
- 6 年数回程度
- 7 行っていない

問28 あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。(○はいくつでも)

- 1 住宅設備改善費用の貸付・助成
- 2 家具転倒防止や耐震化など災害対策
- 3 公営住宅への優先入居の拡充
- 4 民間賃貸住宅の入居支援(部屋探しを含む)
- 5 グループホームなどの整備
- 6 その他()
- 7 特にない

6 福祉サービスについて

問29 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いますか。各サービスにつき、現在利用している場合は1に○を、2～3年以内に利用したい場合は2に○をつけてください。どちらにも当てはまらない場合は何も書かず先へお進みください。

※ 問29でお伺いするサービスは、障害福祉サービス等です。
介護保険サービスなど高齢者向けサービスは含めないでください。

(1) 自宅での生活を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。	1	2
② 重度訪問介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。	1	2
③ 重度障害者等 包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。	1	2

(2) 外出を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。	1	2
② 行動援護	行動障害のある方に、移動介助や危険回避の援護などをを行います。	1	2
③ 移動支援事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。	1	2

(2) 外出を支援するサービス(続き)

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
④ タクシー利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャ利用券を別に交付します。	1	2

(3) 日中の活動を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。	1	2
② 地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。	1	2
③ 日中一時支援事業(土曜ケア サポート)	生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。	1	2

(4) 一時的な支援を行うサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 短期入所 (ショートステイ)	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。	1	2
② 日中一時支援事業 (日中サポート)	介護を行う芳の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。	1	2

(5)自立や就労を支援するサービス

サービス名	サービスの内容		回答はこちらに ↓	
			1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。通所型と宿泊型があります。		1	2
② 就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。		1	2
③ 就労継続支援 (A型・雇用型)	障害者に雇用型の就労や生産活動の機会を提供します。		1	2
④ 就労継続支援 (B型・非雇用型)	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。		1	2
⑤ 自立生活援助	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。		1	2
⑥ 就労定着支援	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。		1	2
⑦ 重度障害者等 就労支援事業	重度障害者等に対する就労支援として、雇用施策と運動して、通勤、職場等で必要となる支援を行います。		1	2

(6)住まいの場・住まいに関するサービス

サービス名	サービスの内容		回答はこちらに ↓	
			1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。		1	2
② 療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。		1	2
③ 共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。		1	2
④ 福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。		1	2

(7)補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

サービス名	サービスの内容		回答はこちらに ↓	
			1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 補装具費の 支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。		1	2
② 日常生活用具 給付事業	日常生活における福祉用具の給付を行います。		1	2
③ 住宅設備 改善費の給付	在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。		1	2

(8)日常生活のサービス

サービス名	サービスの内容		回答はこちらに ↓	
			1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。		1	2
② 意思疎通支援 事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。		1	2
③ 重症心身 障害児等在宅 レスパイト等	医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。		1	2
④ 巡回入浴 サービス	在宅で寝たきりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。		1	2
⑤ 自立支援医療	障害者を軽減する医療(更生医療・育成医療・精神通院医療)を給付します。		1	2
⑥ 日中一時支援 事業(障害児等 タイムケア)	障害児(者)の日中活動終了後・放課後・夏休み等の長期学校休校中の活動場所を提供します。 ※年齢制限はありません		1	2

(9) 精神障害者を対象としたデイケア

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 保健センター デイケア	グループでの活動を通じて生活習慣や対人関係を築けるようになるための場の提供を行います。	1	2
② 精神科医療 ショートケア、 デイケア、 ナイトケア	精神科治療(医療保険)の一環。グループ活動を通して、生活習慣や対人関係の練習など社会復帰の準備を行う場です。	1	2

(10) 難病患者に関する支援

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 在宅難病患者 一時入院事業	難病医療の給付を受けている方で、介護者が一時的に介護できなくなった場合、東京都が委託している病院に短期間入院することができます。	1	2
② 難病患者・家族 会「しんじゆく 難病サロン」	難病を抱えながらも自分らしく生活するため、療養生活の情報交換や体験を分かち合うことができます。	1	2

問30 あなたは、サービス利用に関して困っていることがありますか。(○はい/×でも)

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 区役所での手続きが大変
- 3 利用できる回数や日数が少ない
- 4 事業者との利用日等の調整が大変
- 5 サービスの質が良くない
- 6 利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない
- 7 サービス等利用計画が立てられていない
- 8 利用者負担(自己負担)が大きい
- 9 その他()
- 10 特になし

問31 障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。利用していない方は問32へ進んでください。

サービス等利用計画について、現状を教えてください。(○はひとつ)

- 1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している
- 2 介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネジャーにケアプランを作成依頼している
- 3 自分及び家族や支援者とセルフプランを作成している

問31 を回答するにあたっての解説

障害のある方が必要なサービスをより安心して利用することができるように、障害福祉サービスを利用する方は「サービス等利用計画」を作ることとなっています。自分でご自身のサービスを組み立てるセルフプランもあります。

- サービス等利用計画
障害者総合支援法が定めている障害福祉サービスを利用する際に必要な、ご本人のための計画(トータルプラン)です。
ご本人・ご家族の希望する生活やサービスの利用意向に基づき、区の指定を受けた特定相談支援事業所の相談支援専門員が福祉、保健、医療、教育、就労、住宅等の総合的な視点から、地域での自立した生活を支えるための「サービス等利用計画」を作成します。
「サービス等利用計画」を作成すると、相談支援専門員が、サービス提供事業所の手配や連絡調整を行ったり、定期的に自宅への訪問を行い、計画の見直しを行ったりします。
新宿区が指定した18歳以上の方の特定相談支援事業所は、新宿区基幹相談支援センターを始め、26 か所の事業所があります(令和7年10月1日現在)。

サービス等利用計画の作成を依頼したい場合は、福祉部障害者福祉課支援係係地区担当(電話:03-5273-4583、ファクス:03-3209-3441)へお問い合わせください。

- セルフプラン
相談支援専門員に依頼せずに、ご本人・ご家族や身近な支援者が計画を作成することもできます。サービス提供事業所の手配はご本人・ご家族が行うこととなります。

7 災害対策について

問34 あなたが、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 災害の情報を知り方がない
- 2 助けを求める方法がない
- 3 近くに助けてくれる人がいない
- 4 一人では避難できない
- 5 避難所の設備が障害に対応しているか
- 6 避難所で必要な支援が受けられるか不安
- 7 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 8 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
- 9 医療機器の電源確保が心配
- 10 避難物資や情報を得たい
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問35 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

- 1 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
- 2 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている
- 3 疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている
- 4 近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている
- 5 新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している
- 6 避難所の位置を知っている
- 7 避難所などで配慮してほしいことを書き添えている
- 8 防災訓練に参加したことがある
- 9 「要配慮者災害用セルフプラン」を作成している
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問32 65歳以上の方(40～64歳で特定疾病の、いわゆる介護保険の「第2号被保険者」の方を含みます)にお聞きします。それ以外の方は問34へ進んでください。あなたに当てはまるものはどれですか。(○はひとつ)

- 1～2に○をつけた方は問33へ進んでください
- 1 要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している
 - 2 要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している
 - 3 要介護・要支援認定を受けているが、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない
 - 4 要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない
 - 5 介護保険が利用できる年齢に到達しているが、障害固有のサービス(同行支援や就労支援など)を利用中なので、介護保険サービスを利用していない
 - 6 要介護・要支援認定で非該当になったので、介護保険サービスを利用せず、障害福祉サービスを利用している
 - 7 その他 ()
- 3～7に○をつけた方は問34へ進んでください

問33 問32で「1」「2」のいずれかを回答し、障害福祉サービスを利用したことがある方にお聞きします。介護保険サービスを利用して、どんなことがありましたか。(○はいくつでも)

- 1 ケアマネジャーに何でも相談できるようになった
- 2 福祉用具がレンタルできるようになった
- 3 障害福祉サービスにない訪問リハビリ、夜間対応型訪問といった介護保険サービスが煩雑だった
- 4 サービスの支給量が減ってしまった
- 5 同じサービス提供事業所を利用し続けることができず、介護保険事業所に変更することになった
- 6 利用者自己負担が増額した
- 7 障害福祉サービスの上乗せの相談手続きが煩雑だった
- 8 その他 ()
- 9 特にない

8 権利擁護について



問36～38 を回答するにあたっての解説

障害者差別解消法

障害者差別解消法では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。そのことによって、障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指しています。

● 「不当な差別的取扱いの禁止」とは

この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しています。これを「不当な差別的取扱いの禁止」といいます。

例：「障害を理由に窓口対応を拒否される」「車いすを理由に交通機関の乗車を拒否される」など

● 「合理的配慮の提供」とは

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたとき（*）に、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。これを「合理的配慮の提供」といいます。

* 言語（手話を含む。）、点字、拡大文字、筆談、実物を示すことや身振りなどのサインによる合図、触覚など様々な手段により意思が伝えられることをいいます。通訳や障害のある人の家族、支援者、介助者、法定代理人など、障害のある人のコミュニケーションを支援する人のサポートにより本人の意思が伝えられることも含まれます。

障害者差別を受けたと感じたときのご相談は、福祉部障害者福祉課福祉推進係

（電話：03-5273-4516、ファクス：03-3209-3441）へお問い合わせください。

問36 あなたは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感じる取扱いを受けた経験がありますか。当てはまる場面の番号に○をし、内に具体的な内容をご記入ください。（○はいいくつでも）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 区役所などの行政機関で | 7 福祉サービスで |
| 2 公共交通、公共施設などで | 8 住む場所や家を借りる場面で |
| 3 職場で | 9 情報、コミュニケーションで |
| 4 学校、教育の場面で | 10 近隣、地域で |
| 5 病院・診療所などで | 11 その他（ |
| 6 民間サービス（飲食店、習い事など）で | 12 特にない |

具体的な内容:

問37 あなたが、障害者への配慮として良いと思ったこと、配慮があった助かったこと、改善されたと感じたことありますか。当てはまる場面の番号に○をし、内に具体的な内容をご記入ください。（○はいいくつでも）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 区役所などの行政機関で | 7 福祉サービスで |
| 2 公共交通、公共施設などで | 8 住む場所や家を借りる場面で |
| 3 職場で | 9 情報、コミュニケーションで |
| 4 学校、教育の場面で | 10 近隣、地域で |
| 5 病院・診療所などで | 11 その他（ |
| 6 民間サービス（飲食店、習い事など）で | 12 特にない |

具体的な内容:

問38 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備
- 2 障害者差別解消に向けた取組に関する情報の提供・発信
- 3 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行
- 4 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催
- 5 地域や学校等で交流の機会を増やすこと
- 6 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと
- 7 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実
- 8 障害についての講演会や疑似体験会の開催
- 9 障害者の一般就労の促進
- 10 その他 ()
- 11 特になし

問39 成年後見制度を利用したいと思えますか。(〇はひとつ)

- 1 現在、利用している
- 2 今後利用したい
- 3 利用は考えていない
- 4 わからない

→1又は2に〇をつけた方は問41へ →3又は4に〇をつけた方は問40へ

問40 問39で「3 利用は考えていない」又は「4 わからない」と回答した方に

お聞きします。

その理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- 1 制度の利用を必要とする状況ではない
- 2 制度内容、手続きがわかりにくい
- 3 相談先がわからない
- 4 費用の負担が心配
- 5 信頼できる後見人候補者が思い当たらない
- 6 その他 ()
- 7 特に考えたことがない

9 将来について

問41 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(〇はひとつ)

- 1 必要に応じてサービスを利用しながら 地域で在宅生活を継続する
- 2 グループホーム、福祉ホームで生活する
- 3 障害者の入所施設に入所する
- 4 高齢者の入所施設に入所する
- 5 その他 ()
- 6 わからない
- 7 障害者の入所施設に入所する

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分にない人の権利を守る制度です。成年後見人などがこうした人の意思を尊重し、法律面や生活面でその人らしい生活を守るため、お手伝いします。

成年後見人などは以下の役割を担います。

①生活・医療・介護・福祉に関する契約などのお手伝い

本人がその人らしい生活を送るため、本人の生活等に係る契約などのお手伝いをします。

②財産の管理

本人の資産や収支状況を把握し、本人のために必要かつ相当な支出を計画的に行い、資産を安全に管理します。

制度について詳しく知りたい方は、新宿区成年後見センター

(電話:03-5273-4522、ファクス:03-5273-3082)へお問い合わせください。

問42 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

- | | | | |
|----|-----------------------|----|------------------------------------|
| 1 | 障害理解・障害者差別解消の推進 | 14 | 障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実（住まい探しなど） |
| 2 | 相談支援体制の充実 | 15 | 建物・道路などのバリアフリー化 |
| 3 | 医療に関するサービスの充実 | 16 | 当事者同士で支援しあえる仕組みづくり |
| 4 | 医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実 | 17 | 趣味やスポーツ活動の充実 |
| 5 | 教育・療育の充実 | 18 | 経済的支援の充実 |
| 6 | 雇用・就労支援の充実 | 19 | 災害時支援の充実 |
| 7 | 訪問系サービスの充実 | 20 | 障害者の家族を対象とした支援 |
| 8 | 日中活動系サービスの充実 | 21 | 障害者福祉の人材確保・人材育成の充実 |
| 9 | 短期入所の充実 | 22 | 親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり |
| 10 | 意思疎通支援の充実 | 23 | その他（ |
| 11 | 福祉用具・補装具などの充実 | 24 | 特にない |
| 12 | グループホームの整備・充実 | | |
| 13 | 入所施設の整備・充実 | | |

10 自由意見

問43 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※ お書きいただいたご意見・ご要望に、個別にお答えすることはできかねますが、計画策定の際の参考にさせていただきます。

質問は以上で終わりです。
調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和7年12月8日(月)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたご調査票を入れて、ポストに投函してください。封筒に切手を貼る必要はありません。
また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒に、ご住所お名前をお書きにならないよう、お願いします。

ここから調査が始まります

この調査票で、「あなた」とあるのは、『あて名ご本人』のことで、

できるかぎりあて名ご本人がお答えください。ご本人が回答できない場合は、ご家族や施設の職員の方が、あて名ご本人の立場や利益に沿った回答となるよう、現在の状況を踏まえてご回答ください。

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

- 1 あて名ご本人
- 2 ご家族の方
- 3 施設の職員
- 4 その他 ()

1 ご本人について

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他
- 4 回答しない

問3 あなたの年齢をお聞きます。令和7年11月1日現在の満年齢をお書きください。

歳

問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳 (1級 2級 3級 4級 5級 6級)
- 2 愛の手帳 (1度 2度 3度 4度)
- 3 精神障害者保健福祉手帳 (1級 2級 3級)
- 4 これらの手帳は持ってない

問5 問4で「1 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きます。
どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)
- 2 音声・言語・そしゃく機能障害
- 3 視覚障害
- 4 聴覚・平衡機能障害
- 5 内部障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)

2 施設入所について

問6 あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 新宿区内
- 2 23区内
- 3 東京都 (23区内を除く)
- 4 関東甲信越 (東京都を除く)
- 5 東北
- 6 その他 ()

問7 あなたが現在の施設に入所してから年数をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 1年未満
- 2 1年以上～3年未満
- 3 3年以上～5年未満
- 4 5年以上～10年未満
- 5 10年以上～20年未満
- 6 20年以上
- 7 わからない

問8 あなたが現在の施設に入所することになった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 家族から自立するため
- 2 リハビリや生活面の訓練を受けるため
- 3 生活が保障され安心感があるため
- 4 家族による介助が難しくなったため
- 5 常時介助が必要なため
- 6 医療的なケアが必要なため
- 7 住まいに支障があったため
- 8 在宅福祉サービスが不十分なため
- 9 家族などに勧められたため
- 10 その他 ()
- 11 わからない

3 施設での生活について

問9 あなたが一時、出身世帯(施設)に入る前に住んでいた家)などに帰るときに困ることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 帰る手段がない、または移動が難しい
- 2 帰るときに介助者がいない
- 3 交通費などにお金がかかる
- 4 出身世帯の建物が障害に対応していない
- 5 出身世帯では十分な介助が受けられない
- 6 帰ったときは一人でいることが多い
- 7 家族や親族がいない
- 8 緊急の場合が不安である
- 9 その他 ()
- 10 特に困ることはない

問10 あなたは、施設での生活に満足していますか。(○はひとつ)

- 1 非常に満足している
- 2 やや満足している
- 3 やや不満である
- 4 非常に不満である
- 5 わからない

問11 あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 身の回りのことが自分では十分にできない
- 2 健康状態に不安がある
- 3 プライバシーが十分に保たれない
- 4 1日の生活のリズムが自由にならない
- 5 施設の設備に不満がある
- 6 仕事や訓練に不満がある
- 7 外出の機会が少ない
- 8 施設の職員の対応に不満がある
- 9 人間関係がうまく築けない
- 10 困ったとき相談する相手がいない
- 11 家族とあまり会えない
- 12 将来の生活に何となく不安を感じる
- 13 その他 ()
- 14 特に困ることはない

4 相談や福祉の情報について

問12 あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。(○はいくつでも)

- 1 介護・看護の質の向上
- 2 健康への配慮
- 3 プライバシーへの配慮
- 4 生活内容（食事・入浴等）の改善
- 5 施設の設備の改善
- 6 日中活動の充実
- 7 外出機会の増加
- 8 職員の対応の改善
- 9 余暇活動の充実
- 10 相談体制の充実
- 11 地域生活に向けた訓練の充実
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

問13 あなたは日常的に必要な医療的ケアがありますか。(○はいくつでも)

- 1 人工呼吸器
- 2 気管切開の管理（ガーゼ交換等）
- 3 鼻咽喉エアウェイの管理
- 4 酸素療法
- 5 吸引
- 6 ネブライザーの管理
- 7 経管栄養
- 8 中心静脈カテーテルの管理
- 9 皮下注射
- 10 血糖測定
- 11 継続的な透析
- 12 導尿
- 13 排便管理
- 14 嚥食時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）
- 15 特に必要なとしていない

問14 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に3～4回
- 3 週に1～2回
- 4 月に1～3回
- 5 あまり外出しない

問15 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きます。(○は2つまで)

- 1 年金（障害基礎年金など）
- 2 工賃など（福祉的就労）
- 3 生活保護費
- 4 親族の扶養または援助
- 5 その他（ ）

問16 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 施設の職員
- 3 第三者委員会等
- 4 友人・知人
- 5 卒業した学校の教職員
- 6 障害等の当事者会や家族の会
- 7 サービス等利用計画を作成した相談支援専門員
- 8 医療関係者（医師、看護師、ソーシャルワーカー）
- 9 官公庁の窓口（区の障害者福祉課等）
- 10 保健所・保健センター
- 11 社会福祉協議会
- 12 インターネット等の情報
- 13 その他（ ）
- 14 相談する相手はいない

問17 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 相談支援専門員
- 3 友人・知人
- 4 官公庁の広報紙
- 5 官公庁のホームページ
- 6 官公庁の窓口（区の障害者福祉課等）
- 7 保健センター
- 8 テレビ・ラジオ
- 9 インターネット
- 10 新聞・書籍
- 11 障害等の当事者会や家族の会
- 12 医療機関
- 13 施設の職員
- 14 その他（ ）
- 15 特にない

5 権利擁護について

問18 あなたは、障害者虐待の防止に向けた取組を知っていますか。(○はいくつでも)

- 1 施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる
- 2 施設の外に障害者虐待について相談できる人がいる
- 3 障害者虐待の相談や通報先が明らかになっている
- 4 その他 ()
- 5 わからない

※ 障害のある方や障害者虐待を発見した方からの届出や通報・相談は、新宿区障害者虐待防止センター(電話:03-5273-4368、ファクス:03-3209-3441)へご連絡ください。



問19～20を回答するにあたっての解説

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人の権利を守る制度です。成年後見人などがこうした人の意思を尊重し、法律面や生活面でその人らしい生活を守るため、お手伝いします。

成年後見人などは以下の役割を担います。

①生活・医療・介護・福祉に関わる契約などのお手伝い

本人がその人らしい生活を送るため、本人の生活等に係る契約などのお手伝いをします。

②財産の管理

本人の資産や収支状況を把握し、本人のために必要かつ相当な支出を計画的に行いつつ、資産を安全に管理します。

制度について詳しく知りたい方は、新宿区成年後見センター

(電話:03-5273-4522、ファクス:03-5273-3082)へお問い合わせください。

問19 成年後見制度を利用したいと思えますか。(○はひとつ)

- 1 現在、利用している
- 2 今後利用したい

→1又は2に○をつけた方は問21へ

- 3 利用は考えていない
- 4 わからない

→3又は4に○をつけた方は問20へ

問20 問19で「3 利用は考えていない」又は「4 わからない」と回答した方に

お聞きします。

その理由はなんですか。(○はいくつでも)

- 1 制度の利用を必要とする状況ではない
- 2 制度内容、手続きがわかりにくい
- 3 相談先がわからない
- 4 費用の負担が心配
- 5 信頼できる後見人候補者が思い当たらない
- 6 その他 ()
- 7 特に考えたことがない

6 今後の暮らし方について

問21 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)

- 1 施設を退所して、在宅の福祉サービスを利用しながら新宿区内で生活したい
- 2 施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい
- 3 施設を退所して、今の施設周辺のグループホームで生活したい
- 4 現在の施設で生活したい
- 5 別の施設で暮らしたい
- 6 わからない

問22 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|---------------------------------------|
| 1 障害理解・障害者差別解消の推進 | 14 障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実(住まい探しなど) |
| 2 相談支援体制の充実 | 15 建物・道路などのバリアフリー化 |
| 3 医療に関するサービスの充実 | 16 当事者同士で支援しあえる仕組みづくり |
| 4 医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実 | 17 趣味やスポーツ活動の充実 |
| 5 教育・療育の充実 | 18 経済的支援の充実 |
| 6 雇用・就労支援の充実 | 19 災害時支援の充実 |
| 7 訪問系サービスの充実 | 20 障害者(障害児)の家族を対象とした支援 |
| 8 日中活動系サービスの充実 | 21 障害者福祉の人材確保・人材育成の充実 |
| 9 短期入所の充実 | 22 親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり |
| 10 意思疎通支援の充実 | 23 その他() |
| 11 福祉用具・補装具などの充実 | 24 特にない |
| 12 グループホームの整備・充実 | |
| 13 入所施設の整備・充実 | |

7 自由意見

問23 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※ お書きいただいたご意見・ご要望に、個別にお答えすることはできかねますが、計画策定の際の参考させていただきます。

質問は以上で終わります。

調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

令和7年12月8日(月)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたご調査票を入れて、ポストに投函してください。封筒に切手を貼る必要はありません。

また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒に、ご住所お名前をお書きにならないよう、お願いします。

ここから調査がはじまります

問1 この調査票に回答していただく方は、あて名のお子さんから見ても、どなたにあたりますか。(○はひとつ)

- 1 父親
- 3 両親以外の家族
- 2 母親
- 4 その他()

1 お子さんについて

問2 お子さんの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他
- 4 回答しない

問3 お子さんの年齢をお聞きます。令和7年11月1日現在の満年齢をお書きください。

 歳

問4 あて名のお子さんと一緒に住んでいるのは誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 父親
- 4 祖父母
- 2 母親
- 5 その他親族
- 3 兄弟姉妹
- 6 その他()

2 障害や健康の状況について

問5 お子さんを持っている手帳や医療券などの種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度も○をつけてください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳 (1級 2級 3級 4級 5級 6級) →1に○をつけた方は問6△

2 愛の手帳 (1度 2度 3度 4度)

3 精神障害者保健福祉手帳 (1級 2級 3級)

4 自立支援医療 (精神通院医療) の給付

5 発達障害 ※下記選択肢の中から当てはまる診断名に○をつけてください。

- ①自閉スペクトラム症 (ASD) ③ 学習障害 (LD)
- ②注意欠如・多動症 (ADHD) ④ 発達性協調運動障害

6 高次脳機能障害

7 難病医療の給付

(病名:)

(診断を受けてからの期間: 年 か月)

- 8 これらの手帳等は持っていないし、診断も受けていない →8に○をつけた方は問7△
→1と8に○をつけなかった方は問8△

問6 問5で「1 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きます。どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)
- 4 聴覚・平衡機能障害
- 2 音声・言語・しゃく機能障害
- 5 内部障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)
- 3 視覚障害

→問8△進んでください。

問7 問5で「8 これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」と回答された方にお聞きします。

お子さんの発達の特徴として心配なことはありませんか。(○はいくつでも)

- 1 言葉が遅れている
- 2 落ち着きがない
- 3 こだわりが強い
- 4 コミュニケーションが苦手
- 5 感覚の問題 (感覚過敏、感覚鈍麻)
- 6 発達に偏りがある
- 7 不器用なところがある
- 8 かんしゃくが強い
- 9 なんとなく他の子と違うと感じる
- 10 その他 ()
- 11 あてはまるものはない

ここからは全ての方にお聞きします。

問8 お子さんの障害や心身の不調・特性について、初めてわかったのは、どのようなときでしたか。(○はひとつ)

- 1 生まれてまもなく知らされた
- 2 家族や周りの人が気付いた
- 3 乳幼児健診で知らされた
- 4 育児相談などで知らされた
- 5 医療機関で診察したときに知らされた
- 6 保育園、子ども園、幼稚園の先生が気付いた
- 7 学校の先生が気付いた
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問9 お子さんは日常的に必要なとしている医療的ケアがありますか。(○はいくつでも)

- 1 人工呼吸器
- 2 気管切開の管理 (ガーゼ交換等)
- 3 鼻咽喉頭エアウェイの管理
- 4 酸素療法
- 5 吸引
- 6 ネブライザーの管理
- 7 経管栄養
- 8 中心静脈カテーテルの管理
- 9 皮下注射
- 10 血糖測定
- 11 継続的な透析
- 12 導尿
- 13 排便管理
- 14 痙攣時の対応 (座薬、吸引、酸素投与等)
- 15 特に必要としていない

問10 お子さんの障害や心身の不調・特性について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(○はいくつでも)

- 1 専門病院 (療育・リハビリ科・精神科など)
- 2 専門の診療所・クリニック
- 3 一般病院
- 4 大学病院
- 5 訪問診療
- 6 訪問看護
- 7 その他 ()
- 8 医療機関には相談していない

問11 お子さんは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。

(○はいくつでも ※全てに当てはまる場合は1に○)

- 1 全て
 - 2 食事
 - 3 排せつ
 - 4 入浴
 - 5 寝返り
 - 6 着替え
 - 7 室内の移動
 - 8 洗顔・歯磨き
 - 9 通院、通園・通学
 - 10 通院、通園・通学以外の外出
 - 11 日常生活に必要な意思の伝達
 - 12 日常生活動作の見守り
 - 13 学習の支援
 - 14 その他 ()
 - 15 介助や支援は必要ない
- 15に○をつけた方は問15△

問12 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。

お子さんを主に介助・支援している人はどなたですか。(○はひとつ)

- 1 父親
- 2 母親
- 3 兄弟姉妹
- 4 祖父母
- 5 その他親族
- 6 ホームヘルパー
- 7 その他 ()

3 相談や福祉の情報について

問13 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。お子さんを介助・支援する立場から、どのような悩みや不安を抱えていますか。(〇はいくつでも)

- 1 介助してくれぬ人が足りない
- 2 何かあった時に介助を頼める人がいない
- 3 他の家族の協力が少ない
- 4 仕事に出られない
- 5 長期的な外出ができない
- 6 介助や支援の方法がわからない
- 7 休養やくつろぐ時間がない
- 8 身体的な負担が大きい
- 9 健康について不安がある
- 10 体調不良でも病院に行く時間がない
- 11 睡眠が不足している
- 12 精神的な負担が大きい
- 13 経済的な負担が大きい
- 14 周囲の人や職場などの理解がない
- 15 子どもの特性による育てにくさを感じる
- 16 きょうだい児の世話が十分にできない
→16に〇をつけた方は問14△
- 17 その他()
- 18 特に悩みや不安はない

→16以外に〇をつけた方は問15△

問14 問13で「きょうだい児の世話が十分にできない」と回答した方にお聞きします。

具体的にどのような悩みや不安を抱えていますか。(〇はいくつでも)

- 1 きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない
- 2 きょうだい児に障害のあるお子さんの世話をさせることがある
- 3 きょうだい児が親に代わって家事をすることがある
- 4 きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる
- 5 きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない
- 6 その他()

問15 お子さんが、日常生活で困っていることがありますか。(〇はいくつでも)
(お子さんの思いをご回答ください)

- 1 健康状態に不安がある
- 2 障害のため、身の回りのことが十分でない
- 3 親の健康が心配である
- 4 外出が大変である
- 5 住まいに不便を感じている
- 6 災害時の避難に不安がある
- 7 緊急時の対応に不安がある
- 8 学校などの先生とうまくいかない
- 9 友だちとの関係がうまくいかない
- 10 障害や病気に對する周りの理解がない
- 11 困ったとき相談する相手がいない
- 12 病気や障害を理解した上で診てもらえない
診療所が近くにない
- 13 生活にお金がかかるとに不安がある
- 14 将来に不安を感じる
- 15 その他()
- 16 特になし

問16 お子さんやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 友人・知人・近所の人
- 3 学校の教員
- 4 保育園・子ども園・幼稚園の先生
- 5 民生委員・児童委員
- 6 障害等の当事者会や家族の会
- 7 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 8 障害児支援利用計画を作成した相談支援専門員
- 9 ヘルパー等福祉従事者
- 10 ペアレントメンター
(相談の研修を受けた障害児等の保護者)
- 11 スクールカウンセラー
- 12 医療機関等の関係者
(医師・看護師・ソーシャルワーカー)
- 13 障害者福祉課の窓口
- 14 障害者福祉課以外の区の窓口
- 15 保健所・保健センター
- 16 子ども総合センター(*)
(児童発達支援センターあひあい)
- 17 子ども総合センター(総合相談係)
- 18 子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関
- 19 子ども家庭支援センター
- 20 教育委員会・教育センター
- 21 地域生活支援拠点(*)
- 22 新宿区社会福祉協議会
- 23 東京都児童相談センター
- 24 インターネット等の情報
(メール相談、SNS等を含む)
- 25 その他()
- 26 相談する相手はいない

💡 *子ども総合センター(児童発達支援センターあひあい)とは

心身の発達に心配や障害のあるお子さまが、家庭や地域で健やかに成長できるよう、利用できるサービスの情報提供や利用するための手続き、各サービス利用計画の作成等、発達に関する総合的な相談支援を行います。

- ・児童発達支援、保育所等訪問支援、放課後等デイサービス利用にあたる申請、変更手続き
- ・居宅介護サービス利用等の計画相談

◇ 所在地 ◇ 〒160-0022 新宿区新宿 7-3-29 (電話:03-3232-0679)

💡 *地域生活支援拠点とは

住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるような支援を提供できる仕組み。新宿区には基幹相談支援センター(障害者福祉課内)のほか、障害者福祉センター(身体障害)、シャロームのみ風(知的障害)、障害者生活支援センター(精神障害)の3つの拠点があります。また、令和7年度中に、中落合一丁目区有地を活用した民設民営のグループホーム等施設が開設し、こちらも地域生活支援拠点となる予定です。

問 17 区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 電話やファクスでの相談
- 2 電子メールでの相談
- 3 スマートフォンによるアプリや SNS での相談
- 4 自宅での訪問による相談
- 5 休日や夜間の相談
- 6 専門性の高い相談
- 7 身近な地域での相談
- 8 定期的な相談
- 9 障害者(児)や家族など同じ立場の人による相談
- 10 どんな相談にも対応できる総合窓口
- 11 相談窓口に関する情報提供
- 12 プライバシーの遵守
- 13 その他()
- 14 特にない

問18 障害などに関する知識や福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。

(○はいくつでも)

- 1 区の広報紙
- 2 区のホームページ
- 3 区の窓口
- 4 保健センター
- 5 テレビ・ラジオ
- 6 インターネット
(ホームページやプログラムの閲覧など)
- 7 SNS (Facebook、X、Instagram、YouTube など)
- 8 新聞・書籍
- 9 障害等の当事者会や家族の会
- 10 医療機関
- 11 学校の先生
- 12 保育園・子ども園・幼稚園の先生
- 13 児童発達支援などの療育機関
- 14 相談支援専門員
- 15 その他()
- 16 知る方法がわからない

4 教育・保育について

問19 お子さんが通園・通学などをしているところをお聞きます。

※ A,B,C,D のどれかひとつに○をつけた後、その中で当てはまる数字(1~19)に○をつけてください。

A 小学校入学前(○はいくつでも)

- 1 保育園
- 2 子ども園
- 3 幼稚園
- 4 子ども総合センター
- 5 子ども総合センター以外の児童発達支援
などの療育機関
- 6 その他 ()
- 7 通園・通所はしていない

(児童発達支援センターあいあい)

→Aにあてはまる方は問 20、21、23~25 をお答えください

B 小中学校等に在学中 (○はひとつ)

- 8 小学校の通常の学級
- 9 小学校の通常の学級とまなびの教室
(特別支援教室)
- 10 小学校の特別支援学級
- 11 特別支援学校の小学部
- 12 中学校の通常の学級
- 13 中学校の通常の学級とまなびの教室
(特別支援教室)
- 14 中学校の特別支援学級
- 15 特別支援学校の中学部

→Bにあてはまる方は問 22~25 をお答えください

C 高等学校等に在学中 (○はひとつ)

- 16 高等学校 (定時制・通信制を含む)
- 17 特別支援学校の高等部
- 18 その他の学校 ()

→Cにあてはまる方は問 22~24、26 をお答えください

D 義務教育終了後、通学はしていない

- 19 義務教育終了後、通学はしていない
具体的には何をしていますか。

()

→Dにあてはまる方は問 27へ

問20 問19で「A 小学校入学前(1~7)」と回答した方にお聞きます。

通園生活や今後の進路等で困っていることや心配していることはありませんか。
(○はいくつでも)

- 1 通園の送迎が大変
- 2 周囲の子どもの関係が心配
- 3 いじめについて心配
- 4 園の先生の指導の仕方が心配
- 5 本人の成長が心配
- 6 今後の進路について迷っている
- 7 子どもの将来に不安がある
- 8 保育や教育・療育に関する情報が少ない
- 9 療育・リハビリテーションの機会が少ない
- 10 費用など経済的な負担が大きい
- 11 その他 ()
- 12 特に困っていることや心配はない

問21 問19で「A 小学校入学前(1~7)」と回答した方にお聞きます。

小学校ほどの教育機関を希望しますか。(○はひとつ)

- 1 小学校の通常の学級
- 2 小学校の通常の学級とまなびの教室
(特別支援教室)
- 3 小学校の特別支援学級
- 4 特別支援学校の小学部
- 5 わからない

→問 23へ進んでください。

問22 問19で「B 小中学校等に在学中(8~15)」または「C 高等学校等に在学中(16~18)」と回答した方にお聞きます。

通学生活等で困っていることや心配していることはありませんか。(○はいくつでも)

- 1 通学の送迎が大変
- 2 周囲の子どもの関係が心配
- 3 いじめについて心配
- 4 先生の指導の仕方が心配
- 5 本人の成長が心配
- 6 今後の進路について迷っている
- 7 子どもの将来に不安がある
- 8 教育や療育に関する情報が少ない
- 9 療育・リハビリテーションの機会が少ない
- 10 費用など経済的な負担が大きい
- 11 その他 ()
- 12 特に困っていることや心配はない

問23 問19で「A 小学校入学前(1～7)」、「B 小中学校等に在学中(8～15)」又は

「C 高等学校等に在学中(16～18)」と回答した方にお聞きします。

放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等に在る以外の時間は、お子さんはどのように過ごしていますか。(○はいくつでも)

- 1 家族といふ
- 2 友人、知人といふ
- 3 一人といふ
- 4 ヘルパーなど外出する
- 5 学童クラブへ行く
- 6 放課後子どもひろばに行く
- 7 タイムケア事業を利用する
- 8 ショートステイを利用する
- 9 児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する
- 10 習い事や塾へ行く
- 11 その他 ()
- 12 特に何もしていない

問24 問19で「A 小学校入学前(1～7)」、「B 小中学校等に在学中(8～15)」又は

「C 高等学校等に在学中(16～18)」と回答した方にお聞きします。

放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等に在る以外の時間は、お子さんがどのように過ごすることを希望していますか。(○はいくつでも)

- 1 地域の同世代の子どもと遊ばせたい
- 2 学童クラブを利用したい
- 3 放課後子どもひろばを利用したい
- 4 習い事や塾に行かせたい
- 5 タイムケア事業を利用したい
- 6 ショートステイを利用したい
- 7 児童発達支援、放課後等デイサービス
- 8 その他 ()
- 9 特にない

問25 問19で「A 小学校入学前(1～7)」または「B 小中学校等に在学中(8～15)」と回答した方にお聞きします。

中学校(中学部)卒業後はどのような進路を希望しますか。(○はひとつ)

- 1 高等学校(定時制・通信制を含む)に通う
- 2 特別支援学校の高等部に通う
- 3 専門学校・専修学校に通う
- 4 障害者向けの日中活動に通う
- 5 仕事をする
- 6 その他 ()
- 7 わからない

→問27へ進んでください

問26 問19で「C 高等学校等に在学中(16～18)」と回答した方にお聞きします。

高等学校(高等部)卒業後の日中の過ごし方は、どのようにしたいと思いますか。(○はいくつでも)

※ この設問では、「お子さんの希望」と「保護者の方の希望」をそれぞれ伺います。

お子さんの希望

- 1 大学や短期大学へ通う
- 2 専門学校や専修学校へ通う
- 3 職業訓練学校へ通う
- 4 企業等へ就職する
(パート、アルバイト等を含む一般就労)
- 5 自分で仕事をする
(自営業(フリーランス)など)
- 6 就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う
- 7 自立訓練(生活訓練・機能訓練)事業所へ通う
(障害者生活支援センターなど)
- 8 生活介護事業所へ通う(あゆみの家、生活実習所があれば福祉園など)
- 9 その他 ()
- 10 わからない

保護者の方の希望

- 1 大学や短期大学へ通う
- 2 専門学校や専修学校へ通う
- 3 職業訓練学校へ通う
- 4 企業等へ就職する
(パート、アルバイト等を含む一般就労)
- 5 自分で仕事をする
(自営業(フリーランス)など)
- 6 就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う
- 7 自立訓練(生活訓練・機能訓練)事業所へ通う
(障害者生活支援センターなど)
- 8 生活介護事業所へ通う(あゆみの家、生活実習所があれば福祉園など)
- 9 その他 ()
- 10 わからない

5 外出やバリアフリーについて

問27 お子さんは、どのくらいの頻度で外出(通園・通学含む)していますか。(○はひとつ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週に1～2回 | 5 あまり外出しない |
| 2 週に3～4回 | 4 月に1～3回 | |

問28 お子さんは、外出(通園・通学以外)に関してどのようなことで困っていますか。

(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 歩道の段差や傾斜があると移動が困難 | 8 自動車・自転車に危険を感じる |
| 2 建物の段差や階段があると移動が困難 | 9 立て看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある |
| 3 バスやタクシーの利用が困難 | 10 外出するのに支障が必要である |
| 4 駅構内の移動や乗り換えが困難 | 11 外出したくても介助者がいない |
| 5 券売機の利用が困難 | 12 その他 () |
| 6 トイレの利用が困難 | 13 特にない |
| 7 疲れたときの休憩場所がない | |

問29 お子さんが、スポーツや運動(気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わない階段移動、体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの等を含む。)をする頻度はどの程度ですか。(○はひとつ)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 4 週1回程度 | 6 年数回程度 |
| 2 週3～5回程度 | 5 月1～3回程度 | 7 行っていない |
| 3 週2回程度 | | |

6 福祉サービスについて

問30 お子さんは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いますか。各サービスにつき、現在利用している場合は1に○を、2～3年以内に利用したい場合は2に○をつけてください。どちらにも当てはまらない場合は何も書かず先へお進みください。

※ 問30でお伺いするサービスは、障害福祉サービス等です。

A. 主に18歳未満の方が利用するサービス

(1)主に18歳未満の方が利用するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 児童発達支援	療育を必要とする障害児等が施設に通い、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。	1	2
② 放課後等デイサービス	就学している障害児に、放課後や休校日に生活能力の訓練、社会交流機会を提供します。	1	2
③ 保育所等訪問支援	保育所等に通う障害児が集団生活に適応するために必要な専門的支援を提供します。	1	2
④ 障害児入所支援	福祉型障害児入所施設と医療型障害児入所施設の2種類。入所手続きは児童相談センターが窓口です。	1	2
⑤ 日中一時支援事業(障害児等タイムケア)	障害児の放課後及び夏休み等の長期学校休校中の活動場所を提供します。	1	2
⑥ 在宅児等訪問支援	障害児等の自宅を訪問し、遊びや生活の指導、情報提供を行います。	1	2
⑦ 障害幼児一時保育	一時的に保育が必要なとき、障害幼児等の保育を行います。	1	2
⑧ 居宅訪問型児童発達支援	障害児等の居宅を訪問し、日常生活における動作の指導、知識技能の付与等の支援を行います。	1	2

B 児童期～成人期を通じて利用できるサービス

(2)自宅での生活を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。	1	2
② 重度障害者等包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。	1	2

(3)外出を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。	1	2
② 行動援護	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。	1	2
③ 移動支援事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。	1	2
④ タクシー利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャー利用券を別に交付します。	1	2

(4)一時的な支援を行うサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 短期入所 (ショートステイ)	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。	1	2
② 日中一時支援事業 (日中ショート)	介護を行う方の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。	1	2

(5)補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。	1	2
② 日常生活用具給付事業	日常生活における福祉用具の給付を行います。	1	2
③ 住宅設備改善費の給付	在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。	1	2

(6)日常生活のサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。	1	2
② 意思疎通支援事業	手話通訳者、要約筆記記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。	1	2
③ 重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス	医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。	1	2
④ 巡回入浴サービス	在宅で寝たきりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2

(7)医療に関する支援

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 自立支援医療	障害を軽減する医療(更生医療・育成医療・精神通院医療)を給付します。	1	2

C. 主に18歳以上の方が利用するサービス

(8)自宅での生活を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 重度訪問介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。		2

(9)日中の活動を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。		2
② 地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。		2
③ 日中一時支援事業(土曜ケアサポート)	生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。		2

(10)自立や就労を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 自立訓練(機能訓練・生活訓練)	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。通所型と宿泊型があります。		2
② 就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。		2
③ 就労継続支援(A型・雇用型)	障害者に雇用型の就労や生産活動の機会を提供します。		2
④ 就労継続支援(B型・非雇用型)	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。		2

(10)自立や就労を支援するサービス(続き)

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
⑤ 自立生活援助	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。		2
⑥ 就労定着支援	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。		2
⑦ 重度障害者等就労支援事業	重度障害者等に対する就労支援として、雇用施策と連動して、通勤、職場等での必要となる支援を行います。		2

(11)住まいの場・住まいに関するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。		2
② 療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。		2
③ 共同生活援助(グループホーム)	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。		2
④ 福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。		2

問31 お子さんのサービス利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 区役所での手続きが大変
- 3 利用できる回数や日数が少ない
- 4 事業者との利用日等の調整が大変
- 5 サービスの質が良くない
- 6 利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない
- 7 障害児支援利用計画が立てられていない
- 8 利用者負担(自己負担)が大きい
- 9 その他()
- 10 特にない

問 32 を回答するにあたっての解説

障害のある方が必要なサービスをより安心して利用することができるように、障害福祉サービスを利用する方は「サービス等利用計画」や「障害児支援利用計画」を作ることとなります。自分や家族がサービスを組み立てるセルフプランもあります。

● **サービス等利用計画**

障害者総合支援法が定めている障害福祉サービスを利用する際に必要な、ご本人のための計画です。

● **障害児支援利用計画**

児童福祉法が定めている障害児向けサービスを利用する際に必要な、ご本人のための計画（トータルプラン）です。ご本人・ご家族の希望する生活やサービスの利用意向に基づき、区の指定を受けた障害児相談支援事業所の相談支援専門員が福祉、保健、医療、教育、就労、住宅等の総合的な視点から、地域での自立した生活を支えるための「障害児支援利用計画」を作成します。「障害児支援利用計画」を作成すると、相談支援専門員が、サービス提供事業所の手配や連絡調整を行ったり、定期的に自宅への訪問を行い、計画の見直しを行ったりします。新宿区が指定した18歳未満の方のための相談支援事業所は、区役所の基幹相談支援センター、子ども総合センターのほか、13か所の民間の事業所があります（令和7年10月1日現在）。

計画作成を依頼したい場合は、福祉部障害者福祉課支援係地区担当者

（電話：03-5273-4583、ファクス：03-3209-3441）へお問い合わせください。

● **セルフプラン**

相談支援専門員に依頼せずに、ご本人・ご家族や身近な支援者が計画を作成することもできます。サービス提供事業所の手配は家族が行うことになります。

問32 障害福祉サービス・児童福祉法に基づくサービスを利用している方にお聞きます。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成について、現状を教えてください。(〇はひとつ)

- 1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している
- 2 家族や支援者とセルフプランを作成している

問33 あなたは、サービスの利用者負担(自己負担)をどのように感じていますか。

(〇はひとつ)

- | | | |
|-------------|-----------------|-------------|
| 1 非常に負担に感じる | 3 あまり負担に感じない | 5 サービスを利用して |
| 2 やや負担に感じる | 4 利用者負担は支払っていない | ない |

7 災害対策について

問 34 お子さんやご家族の方が、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 災害の情報を知る方法がない | 8 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 |
| 2 助けを求めする方法がない | 9 医療機器の電源確保が心配 |
| 3 近くに助けてくれる人がいない | 10 避難物資や情報を得たい |
| 4 一人では避難できない | 11 その他() |
| 5 避難所の設備が障害に対応しているか不安 | 12 特にない |
| 6 避難所で必要な支援が受けられるか不安 | |
| 7 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい | |

問35 お子さんやご家族の方は、災害に対してどのような備えをしていますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている | 6 避難所の位置を知っている |
| 2 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている | 7 避難所などで配慮してほしいことを書きとめてある |
| 3 疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている | 8 防災訓練に参加したことがある |
| 4 近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている | 9 「要配慮者災害用セルフプラン」を作成している |
| 5 新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している | 10 その他() |
| | 11 特にない |

8 権利擁護について

問 36～38 を回答するにあたっての解説

障害者差別解消法

障害者差別解消法では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。そのことによって、障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指しています。

● 「不当な差別的取扱いの禁止」とは

この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しています。これを「不当な差別的取扱いの禁止」といいます。

例：「障害を理由に窓口対応を拒否される」「車いすを理由に交通機関の乗車を拒否される」など

● 「合理的配慮の提供」とは

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたとき(*)に、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。これを「合理的配慮の提供」といいます。

* 言語(手話を含む。)、点字、拡大文字、筆談、実物を示すことや身振りなどのサインによる合図、触覚など様々な手段により意思が伝えられることをいいます。通訳や障害のある人の家族、支援者、介助者、法定代理人など、障害のある人のコミュニケーションを支援する人のサポートにより本人の意思が伝えられることも含まれます。

障害者差別を受けたと感じたときのご相談は、福祉部障害者福祉課福祉推進係

(電話:03-5273-4516、ファクス:03-3209-3441)へお問い合わせください。

問36 あなたのお子さんは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感じる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号に○をし、内に具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 区役所などの行政機関で | 7 福祉サービスで |
| 2 公共交通、公共施設などで | 8 住む場所や家のことで |
| 3 保育園、子ども園、幼稚園などで | 9 情報、コミュニケーションで |
| 4 学校、教育の場面で | 10 近隣、地域で |
| 5 病院・診療所などで | 11 その他() |
| 6 民間サービス(飲食店、習い事など)で | 12 特にない |

具体的な内容:

問37 障害者差別解消法と関連して、障害などへの配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありませんか。あてはまる場面の番号に○をし、内に具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 区役所などの行政機関で | 7 福祉サービスで |
| 2 公共交通、公共施設などで | 8 住む場所や家のことで |
| 3 保育園、子ども園、幼稚園などで | 9 情報、コミュニケーションで |
| 4 学校、教育の場面で | 10 近隣、地域で |
| 5 病院・診療所などで | 11 その他() |
| 6 民間サービス(飲食店、習い事など)で | 12 特にない |

具体的な内容:

問 38 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備
- 2 障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信
- 3 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行
- 4 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催
- 5 地域や学校等で交流の機会を増やすこと
- 6 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと
- 7 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実
- 8 障害についての講演会や疑似体験会の開催
- 9 障害者の一般就労の促進
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問 39～40を回答するにあたっての解説

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人の権利を守る制度です。成年後見人などがこうした人の意思を尊重し、法律面や生活面でその人らしい生活を守るため、お手伝いします。

成年後見人などは以下の役割を担います。

①生活・医療・介護・福祉に関わる契約などのお手伝い

本人がその人らしい生活を送るため、本人の生活等に係る契約などのお手伝いをします。

②財産の管理

本人の資産や収支状況を把握し、本人のために必要かつ相当な支出を計画的に行い、資産を安全に管理します。

制度について詳しく知りたい方は、新宿区成年後見センター

(電話:03-5273-4522、ファクス:03-5273-3082)へお問い合わせください。

問39 成年後見制度を知っていますか。(〇はひとつ)

- 1 詳しく知っている 3 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 2 概要については知っている 4 知らない

問40 お子さんが成人した後、成年後見制度を利用したいと思いませんか。(〇はひとつ)

- 1 利用したい 2 利用は考えていない 3 わからない

9 将来について

問41 お子さんは成人後、どのような生活を希望していますか。(○はひとつ)

- 1 必要に応じてサービスを利用しながら
域で在宅生活を継続する
- 2 グループホーム、福祉ホームで生活する
- 3 障害者の入所施設に入所する
- 4 その他()
- 5 わからない

問42 お子さんが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 障害理解・障害者差別解消の推進
- 2 相談支援体制の充実
- 3 医療に関するサービスの充実
- 4 医療的ケアの必要な障害者に対する支援
- 5 教育・療育の充実
- 6 雇用・就労支援の充実
- 7 訪問系サービスの充実
- 8 日中活動系サービスの充実
- 9 短期入所の充実
- 10 意思疎通支援の充実
- 11 福祉用具・補装具などの充実
- 12 グループホームの整備・充実
- 13 入所施設の整備・充実
- 14 障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実(住まい探しなど)
- 15 建物・道路などのバリアフリー化
- 16 当事者同士で支援しあえる仕組みづくり
- 17 趣味やスポーツ活動の充実
- 18 経済的支援の充実
- 19 災害時支援の充実
- 20 障害者の家族を対象とした支援
- 21 障害者福祉の人材確保・人材育成の充実
- 22 親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり
- 23 その他()
- 24 特にない

10 自由意見

問43 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

※ お書きいただいたご意見・ご要望に、個別にお答えすることはできかねますが、計画策定の際の参考にさせていただきます。

**質問は以上で終わりです。
調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。**

令和7年12月8日(月)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたこの調査票を入れて、ポストに投函してください。封筒に切手を貼る必要はありません。
また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒に、ご住所お名前をお書きにならないよう、お願いします。

差し支えなければ、会社・事業所名とご担当者様のお名前、連絡先の電話番号をお書き下さい。

会社・事業所名	
ご担当者様	
電話番号	

※ ご記入いただいた会社・事業所名等は、アンケート回収状況の確認のみ使用します。ご回答いただいた内容については統計的な処理を行い、回答者が特定されることはありませんので、ご協力をお願いします。

1 事業運営について

問1 貴事業所の経営主体をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 社会福祉法人
- 2 医療法人
- 3 社団法人・財団法人
- 4 株式会社・有限会社
- 5 特定非営利活動法人 (NPO法人)
- 6 協同組合
- 7 その他法人
- 8 個人医療機関
- 9 その他 ()

問2 貴事業所の開業年をお聞きます。

西暦 年

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、相談支援、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞きます。(○はいくつでも)

※ 介護保険サービスは含めないでください。

- 1 居宅介護
- 2 重度訪問介護
- 3 同行援護
- 4 行動援護
- 5 療養介護
- 6 生活介護
- 7 短期入所 (ショートステイ)
- 8 重度障害者等包括支援
- 9 施設入所支援
- 10 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)
- 11 就労移行支援
- 12 就労選択支援
- 13 就労継続支援 (A型)
- 14 就労継続支援 (B型)
- 15 就労定着支援
- 16 自立生活援助
- 17 共同生活援助 (グループホーム)
- 18 地域相談支援 (地域移行支援・地域定着支援)
- 19 計画相談支援 (サービス等利用計画・モニタリング)
- 20 移動支援事業
- 21 地域活動支援センター事業
- 22 日中一時支援事業
- 23 児童発達支援
- 24 放課後等デイサービス
- 25 居宅訪問型児童発達支援
- 26 保育所等訪問支援
- 27 障害児相談支援
- 28 その他 ()

問4 貴事業所が事業を展開しているエリア(サービス利用対象者がお住まいの範囲)をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 新宿区内の一部 (地域:)
- 2 新宿区内全域
- 3 23区内 (地域:)
- 4 東京都内 (地域:)
- 5 首都圏 (地域:)
- 6 その他 ()

問5 貴事業所が主に対象としている障害種別等をお聞きます。(○はいくつでも)

- 1 身体障害
- 2 知的障害
- 3 精神障害 (高次脳機能障害を含む)
- 4 発達障害
- 5 難病

【参考】「1 身体障害」を選択した場合、可能であれば下記の種別をお選びください。

(○はいくつでも)

- ① 肢体不自由(上肢・下肢・体幹等)
- ② 音声・言語・そしゃく機能障害
- ③ 視覚障害
- ④ 聴覚・平衡機能障害
- ⑤ 内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)

問6 貴事業所でサービスを提供している利用者数をお聞きます。
障害別にお答えください。

※ 重複障害の方については主たる障害についてご回答ください。

障害の種類	人数	障害の種類	人数
(1) 身体障害	人	(4) 発達障害	人
(2) 知的障害	人	(5) 難病	人
(3) 精神障害 (高次脳機能障害を含む)	人		

問7 貴事業所の令和6年度の事業の収支をお聞きます。(○はひとつ)

- 黒字だった 3 やや赤字だった 5 わからない
- ほぼ収支が均衡した 4 大幅な赤字だった

問8 貴事業所を営営していく上で課題となっていることは何ですか。(○はいくつでも)

- 職員の確保が難しい
- 職員の待遇改善ができない
- 職員の資質向上が難しい
- 事務作業量が多い
- 施設・設備の改善が難しい
- 制度改正などへの対応が難しい
- 収益の確保が困難
- 運転資金の調達が難しい
- 他の事業者との連携が難しい
- 行政との連携が難しい
- 地域の理解を得るのが難しい
- その他 ()
- 特にない

2 職員について

問9 貴事業所の職員数をお聞きます。

職員	人数	職員	人数
(1) 常勤職員	人	(2) 非常勤職員	人

問10 貴事業所の業務量に対して、職員の充足状況(人手)はいかがですか。
(○はひとつ)

- 十分である
- やや不足している
- 非常に不足している
- わからない

問11 貴事業所では、人材確保のための取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

- 求人誌などに人材広告を掲載した 6 知人経由・人づてで探した
- インターネットの求人サイトを利用した 7 美習生を受け入れた
- 人材募集のチラシを配布した 8 ボランティアを受け入れた
- ハローワークを通じて募集した 9 その他 ()
- 福祉専門学校等で求人を行った 10 特にない

問12 貴事業所では、人材育成のための取組をしていますか。(○はいくつでも)

- 法人内で研修等を実施 5 日常業務が大変で研修等へ参加している
- 外部団体が実施する研修等へ参加 余裕はない
- 都や区が実施する研修等へ参加 6 その他 ()
- 職員の自主学習や資格取得への支援 7 特にない

問13 貴事業所の職員の方は、どのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

- 勤務時間が長い 7 利用者が重度化・高齢化して対応が難しい
- 体力的にきつい 8 利用者の家族への対応が難しい
- 精神的にきつい 9 他の関係者との連携が十分取れない
- 収入が少ない 10 必要な事務作業が多い
- 能力向上の機会が少ない 11 その他 ()
- キャリアアップが難しい 12 特にない

3 サービス提供について

問14 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。
(○はいくつでも)

- 量的に、利用者の希望通り提供できていない 5 困難事例への対応が難しい
- 質的に、利用者の希望通り提供できていない 6 休日や夜間の対応が難しい
- 契約やサービス内容についての説明が十分できていない 7 変更やキャンセルが多い
- 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい 8 苦情やトラブルが多い
- 9 その他
- 10 特にない

問 15 貴事業所で、利用者支援で困った時の相談先はどこですか。(○はいくつでも)

- 1 自事業所のスタッフ
- 2 法人本部
- 3 同一のサービスを提供している他事業所
- 4 相談支援事業所
- 5 保健所・保健センター
- 6 その他 ()
- 7 特になし

問16 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。
(○はいくつでも)

- 1 困難事例のケース検討会などの開催
- 2 事業者独自の評価
- 3 利用者による評価
- 4 第三者機関の評価
- 5 専門職の配置
- 6 サービス提供マニュアルの作成
- 7 緊急時マニュアルの作成
- 8 虐待防止マニュアルの作成
- 9 事故防止対策
- 10 感染症対策
- 11 利用者への説明の徹底
- 12 苦情や相談の受付体制の整備
- 13 その他 ()
- 14 特になし

問17 問16で「5 専門職の配置」を選択された事業所にお聞きします。
貴事業所で配置している専門職について、雇用形態別に人数をご記入ください。
その他の場合は職種名もご記入ください。

職種名	常勤	非常勤	嘱託
(1)医師	人	人	人
(2)保健師	人	人	人
(3)看護師	人	人	人
(4)理学療法士	人	人	人
(5)作業療法士	人	人	人
(6)言語聴覚士	人	人	人
(7)社会福祉士	人	人	人
(8)介護福祉士	人	人	人
(9)精神保健福祉士	人	人	人
(10)公認心理師	人	人	人
(11)保育士	人	人	人
(12)相談支援専門員	人	人	人
(13)主任相談支援専門員	人	人	人
(14)医療的ケアコーディネーター	人	人	人
(15)管理栄養士	人	人	人
(16)調理師	人	人	人
(17)その他()	人	人	人

問18 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。
(○はいくつでも)

- ※ 介護保険サービスは含めないでください。
- 1 居宅介護
 - 2 重度訪問介護
 - 3 同行援護
 - 4 行動援護
 - 5 療養介護
 - 6 生活介護
 - 7 短期入所 (ショートステイ)
 - 8 重度障害者等包括支援
 - 9 施設入所支援
 - 10 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)
 - 11 就労移行支援
 - 12 就労選択支援
 - 13 就労継続支援 (A型)
 - 14 就労継続支援 (B型)
 - 15 就労定着支援
 - 16 自立生活援助
 - 17 共同生活援助 (グループホーム)
 - 18 地域相談支援 (地域移行支援・地域定着支援)
 - 19 計画相談支援 (サービス等利用計画・モニタリング)
 - 20 移動支援事業
 - 21 地域活動支援センター事業
 - 22 日中一時支援事業 (障害児等タイムケア)
 - 23 日中一時支援事業 (土曜ケアサポート)
 - 24 日中一時支援事業 (日中シヨート)
 - 25 日中一時支援事業 (夕方預かり等)
 - 26 児童発達支援
 - 27 放課後等デイサービス
 - 28 居宅訪問型児童発達支援
 - 29 保育所等訪問支援
 - 30 障害児相談支援
 - 31 その他 ()
 - 32 検討していない

問19 問18で32以外を回答した事業所にお聞きします。
参入にあたって課題となるものは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 福祉人材の確保
- 2 土地 (賃貸借物件を含む) の確保
- 3 登録事務手続の煩雑さ
- 4 利益 (採算) の見込み
- 5 その他 ()
- 6 特になし

問20 貴事業所には、介護保険事業所を併設していますか。(○はひとつ)

- 1 介護保険事業所を併設している →1に○を付けた方は問22へ進んでください
- 2 法人(事業者)内に介護保険事業所があるが、現事業所には併設していない
- 3 障害者総合支援法の障害福祉サービス・障害者支援施設だけを運営中である →2、3に○を付けた方は問21へ進んでください

問21 問20で2または3と回答した事業所の方にお聞きします。

貴事業所では、新たに介護保険事業所の指定を受ける予定はありますか。(○はひとつ)

- 1 障害者福祉の専門性を高めているので、介護保険事業所の指定を受ける予定はない
- 2 65歳に到達した障害者に引き続きサービス提供ができるよう、介護保険事業所の指定を検討中である
- 3 その他()
- 4 わからない

問22 貴事業所で、障害者虐待防止に向けて取り組んでいることを教えてください。(○はいくつでも)

- 1 虐待防止マニュアルを整備している
- 2 虐待防止研修を全員に実施している
- 3 虐待防止チェックリストを全員に実施している
- 4 事業所内に虐待防止啓発や虐待通報先の掲示をしている
- 5 虐待防止担当者を選任している
- 6 虐待防止委員会を開催している
- 7 身体拘束の適正化に取り組んでいる
- 8 その他()
- 9 特にない

問23 貴事業所で、障害者差別解消の推進に向けて取り組んでいることを教えてください。(○はいくつでも)

- 1 対応マニュアルを整備している
- 2 法人(事業者)内研修を全員に実施している
- 3 外部研修・説明会等に参加している
- 4 その他()
- 5 特にない

問24 区が開催する研修について、どのような内容を希望しますか。(○はいくつでも)

- 1 困難事例の検討
- 2 身体障害に関する知識
- 3 強度行動障害に関する知識
- 4 精神障害に関する知識
- 5 発達障害に関する知識
- 6 高次脳機能障害に関する知識
- 7 難病・特定疾患に関する知識
- 8 対象者のアセスメントに関する知識
- 9 障害者総合支援法および障害者が利用できる制度に関する知識
- 10 サービス等利用計画の作成・評価に関する知識
- 11 介護保険に関する知識
- 12 対人援助技術に関する知識
- 13 成年後見制度などの権利擁護関連制度に関する知識
- 14 障害者虐待に関する知識
- 15 個人情報保護、職業モラルなどの職業倫理に関する知識
- 16 災害時の備えや対応
- 17 消費者問題などの法律知識
- 18 日常生活用具・福祉用具に関する知識
- 19 視覚・聴覚障害者へのコミュニケーションに関する知識
- 20 住宅・住環境に関する知識
- 21 クレームへの対応方法
- 22 職員のメンタルヘルス
- 23 医療的ケアに関する知識
- 24 ヤングケアラーに関する知識
- 25 その他()
- 26 特になし

問25 精神障害者の支援を行っている事業所にお聞きします。

長期入院者の地域移行を促進するために、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 住まいの確保
- 2 支援者の存在
- 3 生活能力のアセスメントの場
- 4 家族の理解
- 5 地域住民の理解
- 6 退院に向けた本人への動機付け
- 7 入院先病院の協力
- 8 その他()
- 9 特になし

問26 障害者が暮らしやすい地域づくりのために、区が特に力を入れるべきことは何だ
と思いますか。(〇は3つまで)

- 1 関係機関の連携強化
- 2 相談支援事業者への助言・指導、人材育成
- 3 医療機関への働きかけ
- 4 ピアサポーターの育成・活用
- 5 地域住民への普及啓発
- 6 その他()
- 7 特になし

問27 問26で1を選択した事業所の方にお聞きします。
連携強化が必要だと感じる対象は何だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 自事業所と同サービスを提供している他事業所
- 2 自事業所とは異なるサービスを提供している他事業所
- 3 医療機関
- 4 訪問看護ステーション
- 5 基幹相談支援センター(区障害者福祉課)
- 6 保健所・保健センター
- 7 地域生活支援拠点
- 8 その他()
- 9 特になし

問28 貴事業所では、今後の障害者施策について、どのようなことを期待していますか。
(〇はいくつでも)

- 1 利用者負担の軽減
- 2 自立支援給付費の見直し
- 3 地域生活基盤の充実のための方策
- 4 一般就労の促進のための方策
- 5 福祉的就労における工賃向上
- 6 福祉人材の確保のための方策
- 7 事務手続きの簡素化
- 8 障害支援区分の見直し
- 9 障害者総合支援法の見直し
- 10 その他()
- 11 特になし

4 自由意見

問29 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※ お書きいただいたご意見・ご要望に、個別にお答えすることはできかねますが、計画策定の際の参考にさせていただきます。

質問は以上で終わりです。
調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和7年12月8日(月)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたこの調査票を入れて、ポストに投函してください。
封筒に切手を貼る必要はありません。

この刊行物は、業務委託により270部印刷製本しています。その経費として1部あたり2,600円（税別）かかっています。ただし、編集時の職員人件費等は含んでいません。

新宿区障害者生活実態調査報告書

刊行物作成番号 2025-20-2910

発行年月 令和8年3月

編集・発行 新宿区 福祉部 障害者福祉課

〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

電話 03(5273)4516

ファクス 03(3209)3441